ゼノブレイド2

XENOBLADE2 OFFICIAL ARTWORKS ALST RECORD

BY KBG GUIDES

オフィシャルアートワークス
アルスト・レコード



ファミ通 責任編集



© 2017 Nintendo / MONOLITHSOFT

Xenoblade2
ゼノブレイド

Xenoblade2 黄金の国イーラ
ゼノブレイド

オフィシャルアートワークス
アルスト・レコード

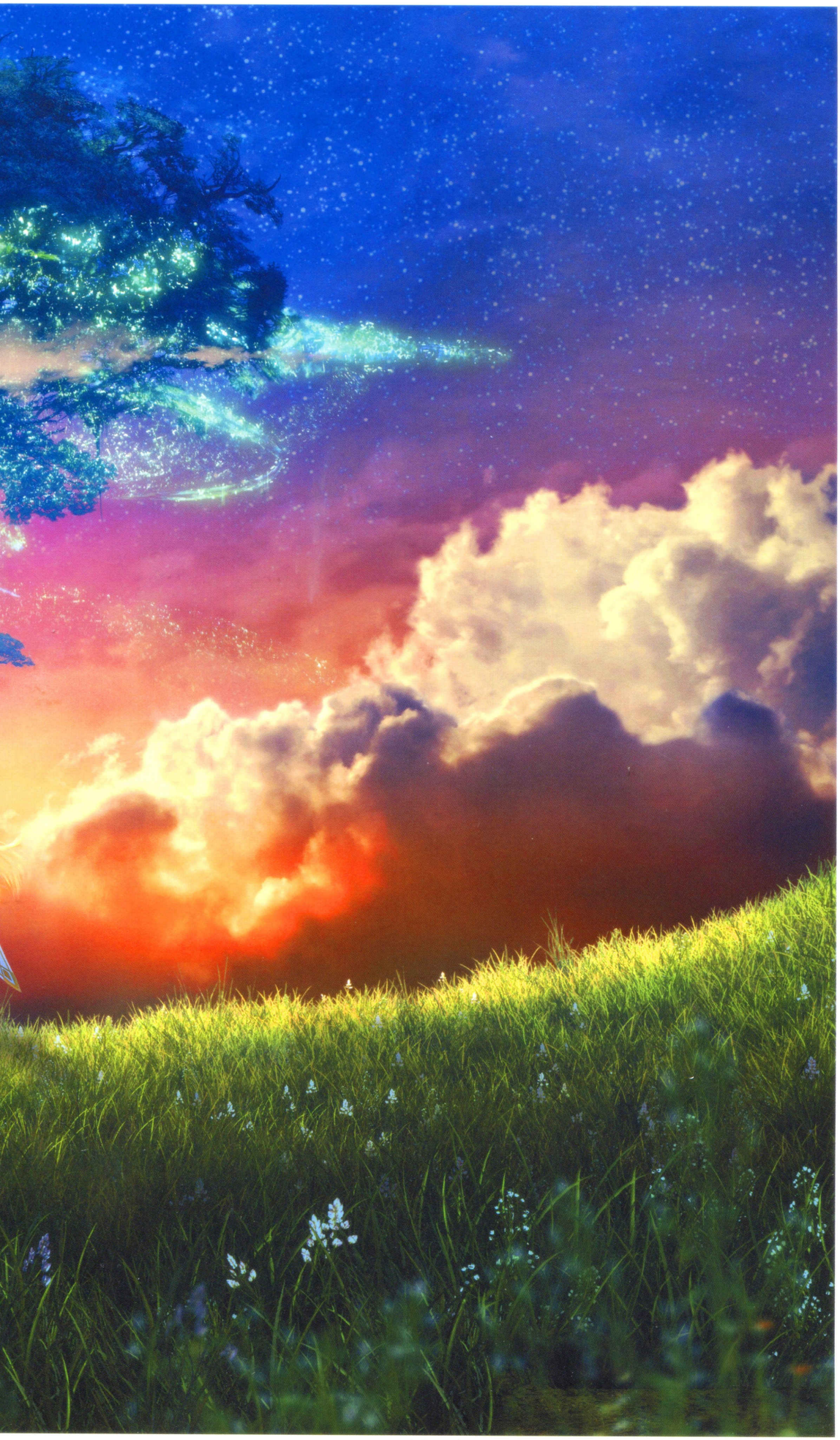






◆『ゼノブレイド2』メインビジュアル／パッケージ

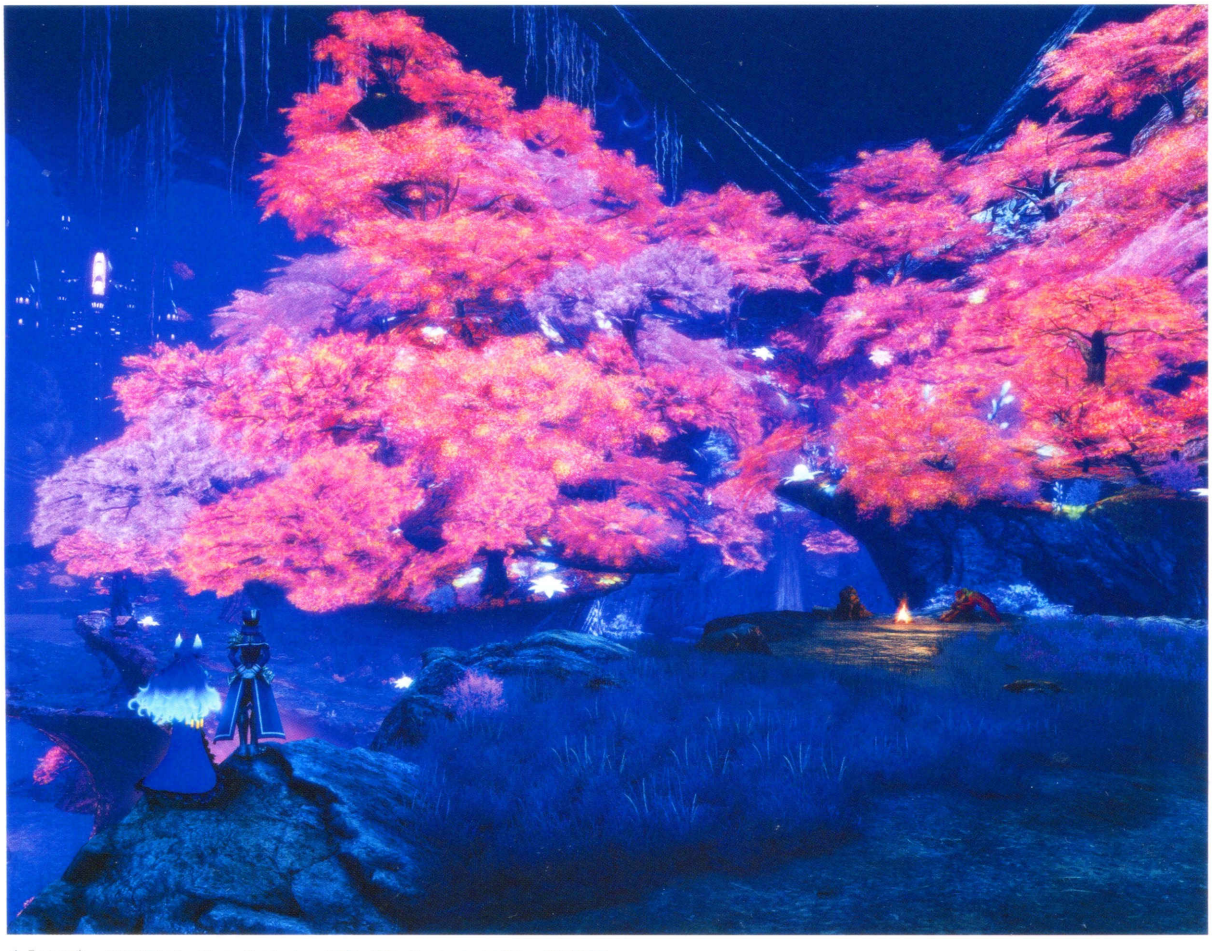




◆『ゼノブレイド2』別バージョンのパッケージ／“Collector's Edition”に同梱



◆『ゼノブレイド2』パッケージ裏



◆『ゼノブレイド2』別バージョンのパッケージ裏／"Collector's Edition"に同梱



Illustrator's Comment

気合を入れて描いた一枚です。ラフではマルベーニもいましたが割愛しました。このイラストのホムラとヒカリは、ゲーム本編にも使用されています。（齋藤将嗣）

◆『ゼノブレイド2』“Collector's Edition”外箱イラスト

◆『ゼノブレイド2 黄金の国イーラ』メインビジュアル／パッケージ

◆『ゼノブレイド2 黄金の国イーラ』パッケージ裏



◆『ゼノブレイド2 オリジナル・サウンドトラック』アートワーク

Illustrator's Comment

『ゼノブレイド2』の音楽に聴き入っているホムラとヒカリをイメージして描きました。"Collector's Edition"のパッケージアート同様にレイヤーをあまり使わない塗りかたをしています。（齋藤将嗣）



◆週刊ファミ通 表紙（2017年12月7日号）

Illustrator's Comment

『ゼノブレイド2』発売目前でゲームに興味を持ってくれたらうれしいなぁという思いで描きました。（齋藤将嗣）

Illustrator's Comment

本編と黄金の国イーラ編をクリアした後に見られるご褒美のようなイラストとして描きました。キャラクターたちがそれぞれ思い思いに楽しく行進しているので、細かく見ていただけたらうれしいです。（森修将嗣）





◆ご褒美イラスト



Illustrator's Comment

500年よりも遙か昔、レックスともマルベーニとも違うひとりのドライバーが、KOS-MOS Re：とT-elos Re：をエンゲージして世界樹登頂に挑戦し、失敗して死んだ。アルストの雲海に落ちていくふたり。
KOS-MOS Re：「T-elos Re:、残念ながらメモリーから貴方の情報が消えていきます」
T-elos Re：「貴様と私の腐れ縁だ……また会えるさ」
……という、CHOCOの個人的な妄想を元に合作させていただきました。デザインしたキャラクターを交換しまして、田中久仁彦先生がT-elos Re：を、CHOCOがKOS-MOS Re：と背景を作画担当しています。(CHOCO)

Illustrator's Comment

このイラストはCHOCOさんの作品にお邪魔させていただいた……という体ですので、自分が語ることは難しいのですが、僭そうに言うのなら"『ゼノブレイド2』という琥珀の中に閉じ込められた、これまでの想い"です。巡り巡って出会ったふたり、そしてまた離れていくまでの、夢のようなひととき。『ゼノブレイド2』の仕事には自分の大切にしたい部分、良くしていきたい部分がたくさんありました。それを思い起こさせてくれる一枚です。
CHOCOさん、ありがとうございました！(田中久仁彦)



◆ご褒美イラスト



◆ヒカリ フィギュア用イラスト

Illustrator's Comment

ホムラと対になって飾れるようなポージングにしました。ホムラといっしょに飾ると互いの剣がクロスして"X"に見えるのがポイントです。（齋藤将嗣）



◆ホムラ フィギュア用イラスト

Illustrator's Comment

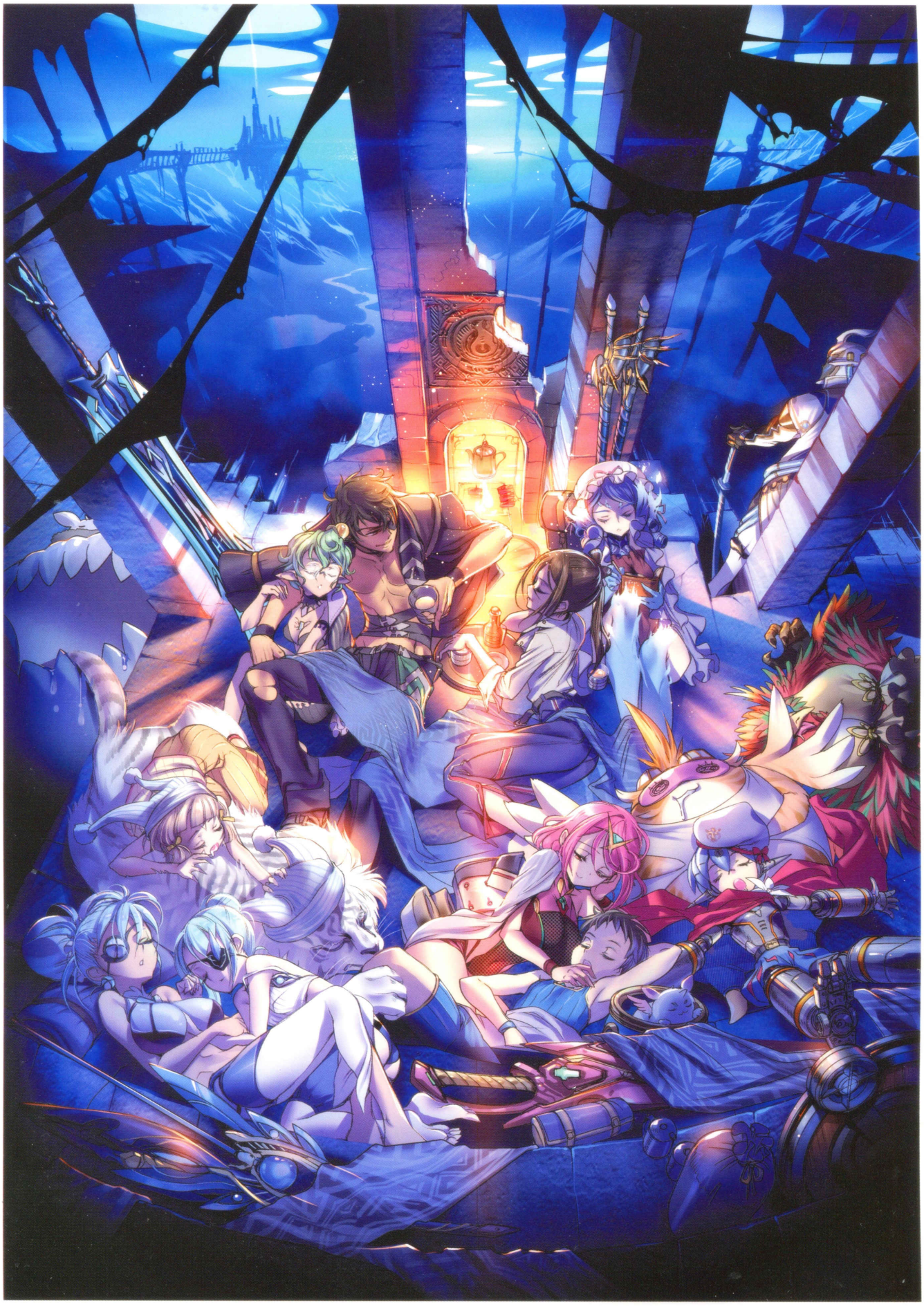
フィギュア映えするような躍動感のあるポージングです。あまりホムラがしない、キリッとして自信に満ちた表情にしました。（齋藤将嗣）



◆本書表紙／描き下ろしイラスト

Illustrator's Comment

旅が終わってリラックスしているホムラとヒカリをイメージし、あまり暗い色は使わずにふわっとした空気感を出しました。（齋藤将嗣）



◆描き下ろしイラスト

Illustrator's Comment

劇中でみんな、ふだんのゴツい戦闘服のまま寝ているというのに、ビャッコおまえだけそんなかわいいナイトキャップ被ってるとはズルい！　キャラクターのふだんの生活が見える場面というのが大好きなので、同じく景観が大好きなルクスリアの廃墟で、こんなラフな格好で休んでいるんだろうなというシーンを想像して描いてみました。メンバーはCHOCOが実際に使っている組み合わせです。暖炉で焼いている串焼きは僕が想像した「アデル焼き」。でも、実際は粉物だそうで……。(CHOCO)



◆描き下ろしイラスト

Illustrator's Comment

ニアがブレイドに変身するシーンって、もしかして本当はすごい速さで着替えてるんじゃないだろうか？　ということは、つなぎの下には例のインナーを着ているはず……！（※CHOCOの個人的な妄想です）（CHOCO）



◆描き下ろしイラスト

Illustrator's Comment

ミクマリ「レックスー！　この水着エルマにもらったんだ♥」
セオリ「お姉ちゃん、はしゃぎすぎ……」
「ゼノ」シリーズと言えば水着。水着がないはずがない。というわけで水着デザインしておきましたんでここに置いておきますね。（CHOCO）



Illustrator's Comment

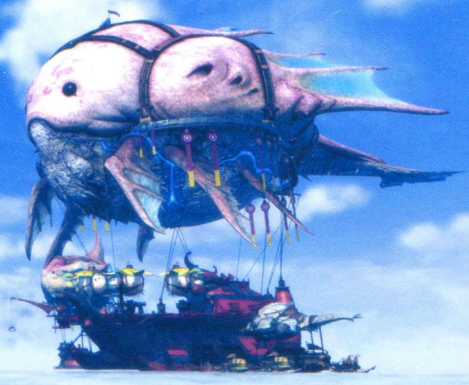
本物の「海」でくつろぐ3人。ステキな物をステキなシチュエーションで描きたかったから！劇中だとあり得ないシーンだけど、自由でいいんだ。ワガママでいいんだよね！ ブネウマさんの水着はCHOCOが勝手にデザインしました。それにしても大きい。（CHOCO）



◆描き下ろしイラスト

ゼノブレイド2
オフィシャルアートワークス
アルスト・レコード

CONTENTS



CHARACTERS
[キャラクター]

キャラクター紹介 026
相関図(本編) 026
相関図(黄金の国イーラ) 028
レックス 030
ホムラ 034
ヒカリ 038
プネウマ(覚醒ホムラ・ヒカリ) 042
じっちゃん(セイリュウ) 044
ニア 046
ビャッコ 052
トラ 054
ハナJS 056
ハナJK 060
ハナJD 064
メレフ 068
カグツチ 072
ジーク 076
サイカ 078
ヴァンダム 082
スザク 084
ワダツミ 086
グレン 088
ヂカラオ 090
ヴァサラ 092
メイ 094
メノウ 096
ユウオウ 098
イダテン 100
クビラ 102
カサネ 104
ミクマリ 106
セオリ 108
トキハ 110
ザクロ 112
アザミ 114
ナナコオリ 116
ニューツ 118
ウカ 120
リンネ 122
ムスビ 124
シキ 126
ライコ 128
ヤエギリ 130
イブキ 132
ホタル 134
KOS-MOS Re: 136
テンイ 138
ツキ 140
T-elos Re: 142
ハナバスター 144
ヒバナ 146
カムヤ 148
シュルク 150
フィオルン 151
エルマ 152
シン 154
メツ 156
ヨシツネ 158
ベンケイ 160
サタヒコ 162
カムイ 164
ラゴウ 166
オオツチ 168
ザンテツ 170
マルベーニ 172
タテゾー 174
センゾー 175
キク 176
ネフェル 178
ローデリッヒ 180
モーフ 181
ゼーリッヒ 182
フォーティス 183
プニン 183
バーン 184
ムイムイ 184
ニルニー 186
ラゲルト 187
イオン 188
コルレル 189
クラウス 190
ラウラ 192
カスミ(ファン・レ・ノルン) 194
アデル 196
ミノチ(コール) 198
ユーゴ 200
ミルト 202
イーラ王 203
ゼッタ 204
ラダリア 205
バルトリッチ 206
スタニフ 207
ゴウト 208
コモンブレイド 209
各国にいるその他のキャラクター 212
武器 220

WORLD
[世界]

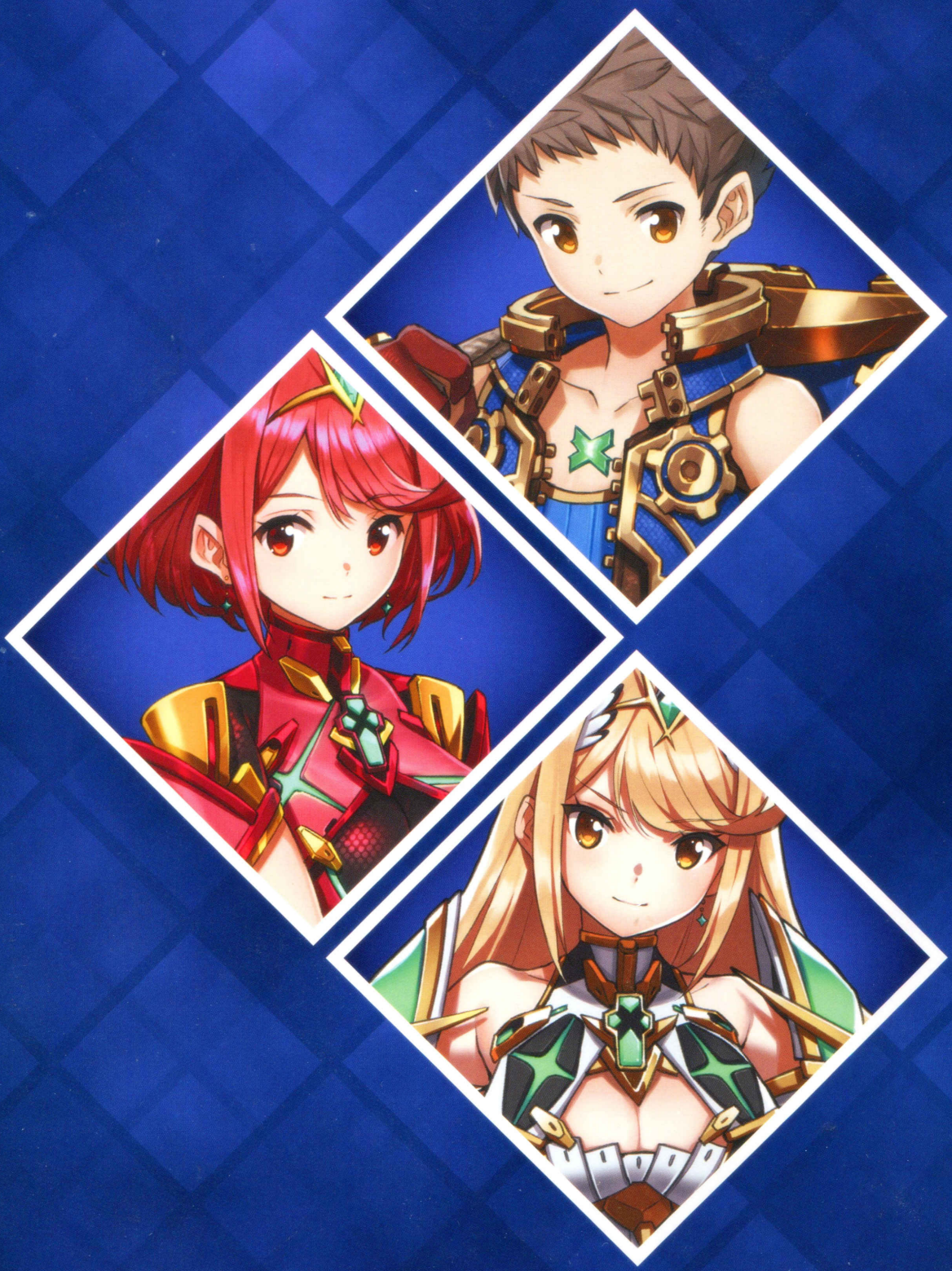
巨神獣&フィールド 236
アヴァリティア商会 236
古代船 239
グーラ 240
インヴィディア 245
スペルビア 249
アーケディア 254
ルクスリア 257
リベラリタス 260
モルスの地 264
世界樹 265
第一低軌道ステーション 266
イーラ 268
モノケロス 272
マルサネス 272
小型巨神獣 273
イメージボード 276
モンスター 278
小物・オブジェクト 294

EXTRA
[エクストラ]

ストーリープレイバック 308
本編 308
黄金の国イーラ 313
戦闘後の掛け合いセリフ 316
本編 316
黄金の国イーラ 324
キズナトーク 326
スタッフロール 348
本編 348
黄金の国イーラ 350

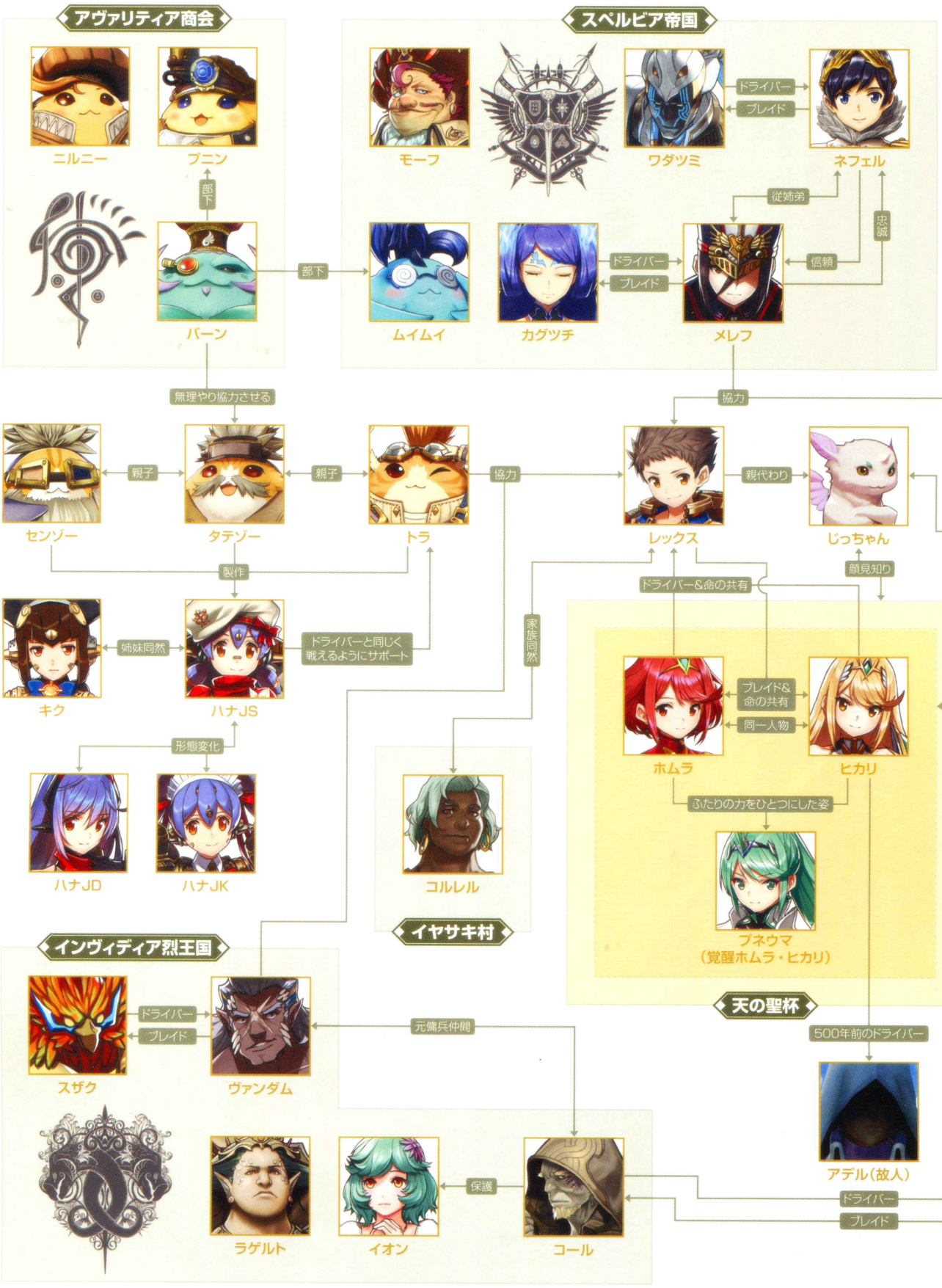
CHARACTERS

[キャラクター]



キャラクター紹介

アルストの世界に住むキャラクターたちを設定画とセットで紹介する。イラストレーターからのコメントも載せているので、キャラクターに対する想いも感じてほしい。



Xenoblade2 ゼノブレイド 相関図

ルクスリア王国


ゼーリッヒ

親子


ジーク

ドライバー
ブレイド


サイカ


フォーティス




ニア

ドライバー
ブレイド


ビャッコ


ラウラ（故人）

離反後に敵対

500年前のドライバー

秘密結社イーラ

顔見知り


シン


サタヒコ

ドライバー
ブレイド


オオツチ


ヨシツネ

ドライバー
ブレイド


カムイ

かつての敵
心情を察して協力

能力を取り戻すために
身柄を狙う


メツ

ドライバー
ブレイド


ザンテツ


ベンケイ

ドライバー
ブレイド


ラゴウ



ドライバー

ブレイド

ブレイドの世界を作るために倒す

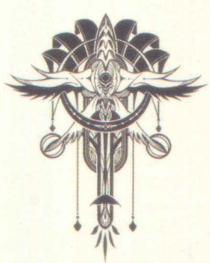

マルベーニ

ドライバー
ブレイド


ファン

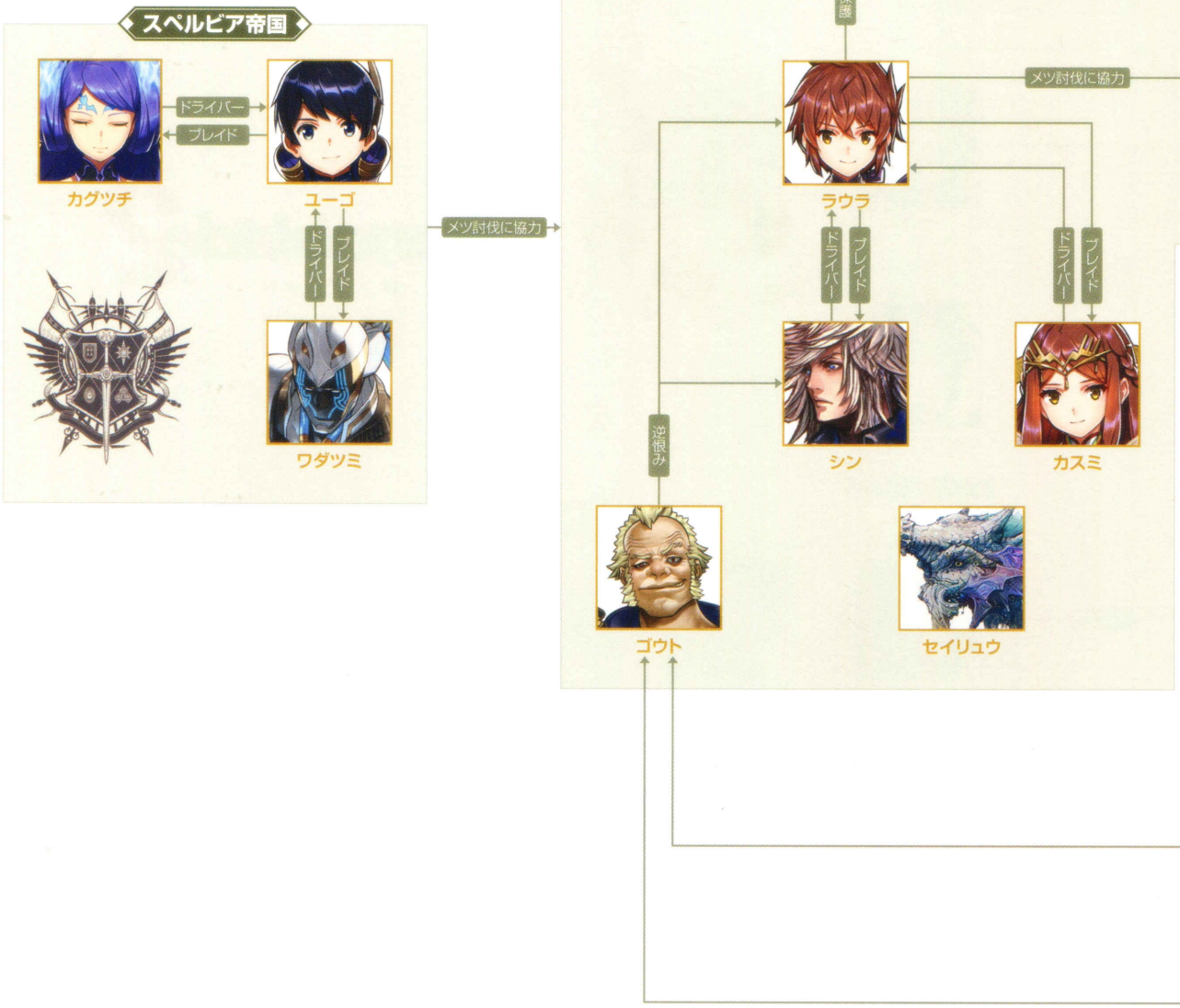

クラウス

逢いたい



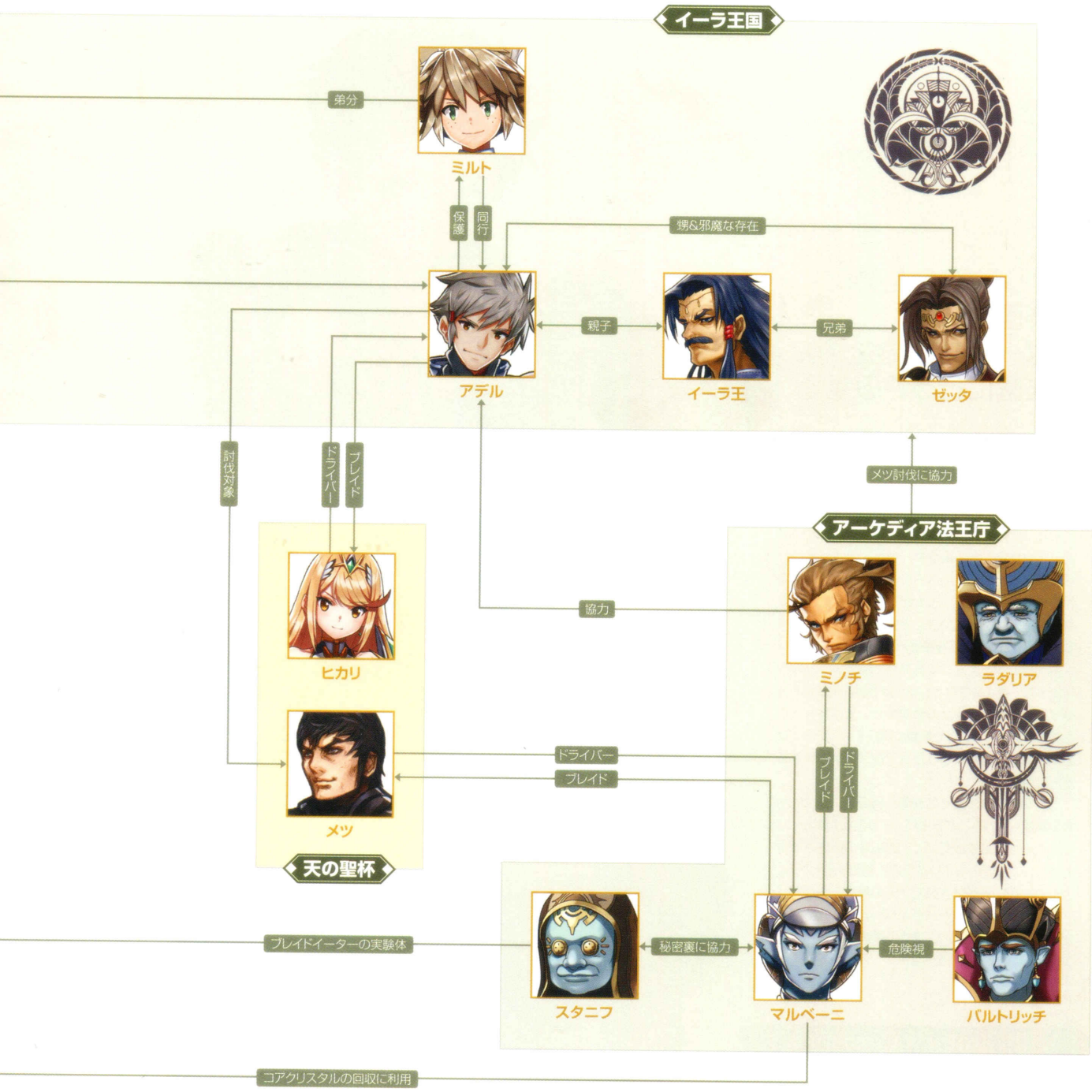
アーケディア法王庁

Xenoblade2 黄金の国イーラ 相関図



◎キャラクター紹介　五十音インデックス

英字	KOS-MOS Re：	136	
	T-elos Re：	142	
ア行	アザミ	114	
	アデル	196	
	イーラ王	203	
	イオン	188	
	イダテン	100	
	イブキ	132	
	ヴァサラ	092	
	ヴァンダム	082	
	ウカ	120	
	エルマ	152	
ア行	オオツチ	168	
カ行	カグツチ	072	
	カサネ	104	
	カスミ	194	
	カムイ	164	
	カムヤ	148	
	キク	176	
	クビラ	102	
	クラウス	190	
	グレン	088	
	ゴウト	208	
	コール	198	
カ行	コモンブレイド	209	
	コルレル	189	
サ行	サイカ	078	
	ザクロ	112	
	サタヒコ	162	
	ザンテツ	170	
	ジーク	076	
	シキ	126	
	じっちゃん	044	
	シュルク	150	
	シン	154	
	スザク	084	
サ行	スタニフ	207	
	セイリュウ	044	
	ゼーリッヒ	182	
	セオリ	108	
	ゼッタ	204	
	センゾー	175	
タ行	タテゾー	174	
	チカラオ	090	
	ツキ	140	
	テンイ	138	
	トキハ	110	
	トラ	054	



ナ行	ナナコオリ	116	
	ニア	046	
	ニューツ	118	
	ニルニー	186	
	ネフェル	178	
ハ行	バーン	184	
	ハナJD	064	
	ハナJK	060	
	ハナJS	056	
	ハナバスター	144	
	バルトリッチ	206	
	ヒカリ	038	
ハ行	ヒバナ	146	
	ビャッコ	052	
	ファン	194	
	フィオルン	151	
	フォーティス	183	
	ブニン	183	
	ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）	042	
	ベンケイ	160	
	ホタル	134	
	ホムラ	034	
マ行	マルベーニ	172	
	ミクマリ	106	
マ行	ミノチ	198	
	ミルト	202	
	ムイムイ	185	
	ムスビ	124	
	メイ	094	
	メツ	156	
	メノウ	096	
	メレフ	068	
	モーフ	181	
ヤ行	ヤエギリ	130	
	ユウオウ	098	
	ユーゴ	200	
ヤ行	ヨシツネ	158	
ラ行	ライコ	128	
	ラウラ	192	
	ラゲルト	187	
	ラゴウ	166	
	ラダリア	205	
	リンネ	122	
	レックス	030	
	ローデリッヒ	180	
ワ行	ワダツミ	086	

レックス

■CV：下野 紘
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：ドリンク、美術
■好きなアイテム：トリゴ風タルタリ焼き、珊瑚オセロ

「オレは君のために
楽園に行く。
君一人だけのために
楽園に行ってみせる」

◆楽園を目指す少年

若くしてサルベージャーを生業として、生計を立てている少年。幼いころから楽園の存在を信じており、巨神獣や物資を奪い合う戦争や、大地が沈む不安がなくなるように、楽園につながる手がかりを探すためにサルベージャーになった。前向きで行動力もあるが、お人好しな性格が災いして窮地に陥ってしまうことも。その性格を、ともに行動するじっちゃんから指摘されていた。

古代船の中でホムラを発見した直後にシンの手によって一度は命を落としてしまうが、ホムラのドライバーとなり、彼女の命を半分、分け与えられたことで復活。ホムラを楽園に連れていくため、秘密結社イーラと対峙しながらアルスト中を旅することになる。

ニアやトラなど数々の仲間と出会い、時には別れも経験しながら、ドライバーとしても人間としても大きく成長を遂げていく。モルスの断崖ではホムラと、ホムラのもうひとつの人格であるヒカリ、ふたりの想いを受け入れて、天の聖杯の真のドライバーであるマスタードライバーとして覚醒を果たした。その力をもって、世界の破壊を防ぐために、シンやメツとの戦いへ赴く。

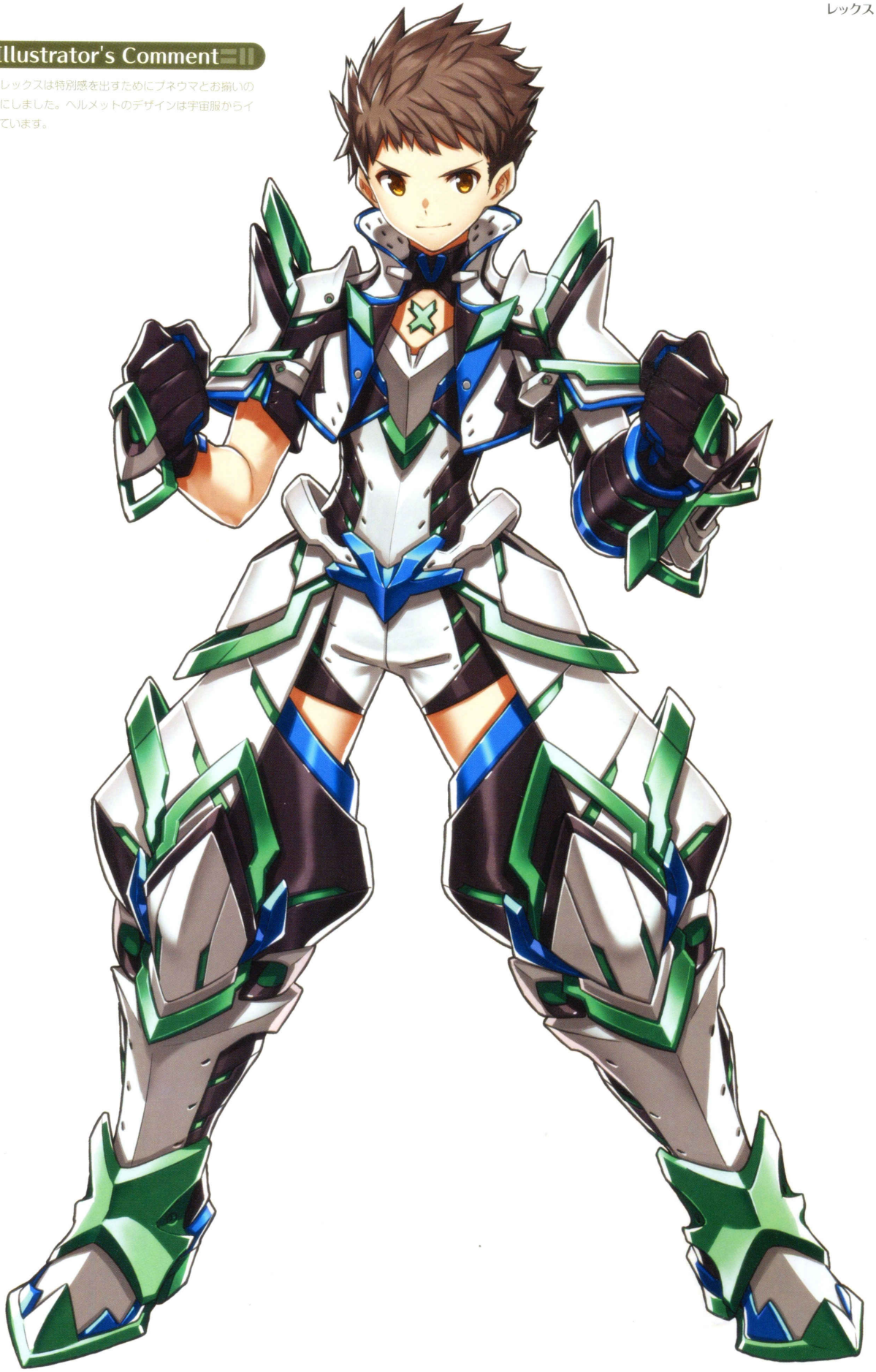
Illustrator's Comment

いちばん初めにデザインしたのがレックスです。少年らしさやサルベージャーという職業を意識したデザインにしました。

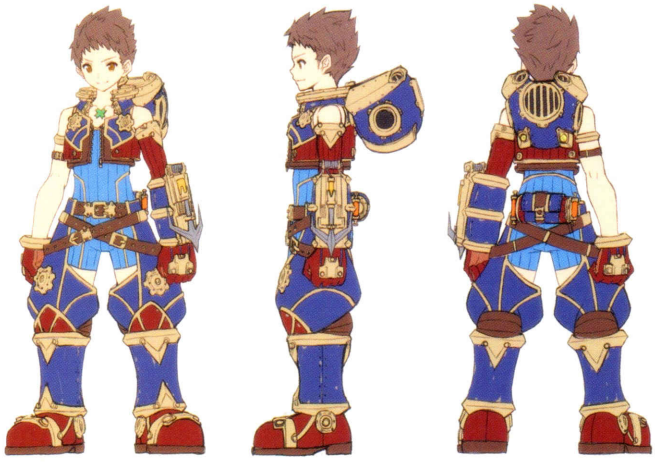


Illustrator's Comment

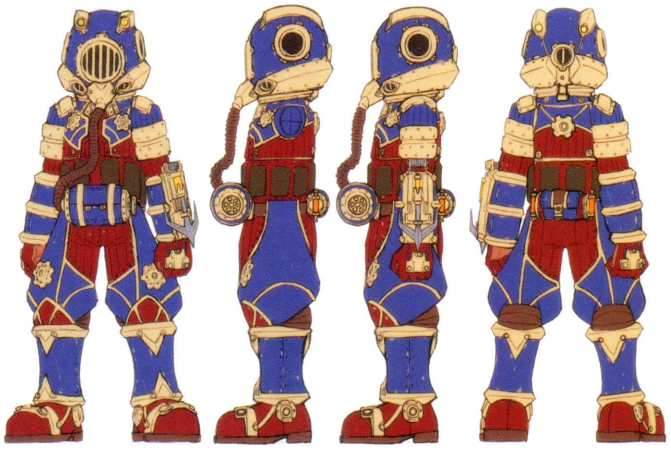
覚醒したレックスは特別感を出すためにブネウマとお揃いのデザインにしました。ヘルメットのデザインは宇宙服からイメージしています。



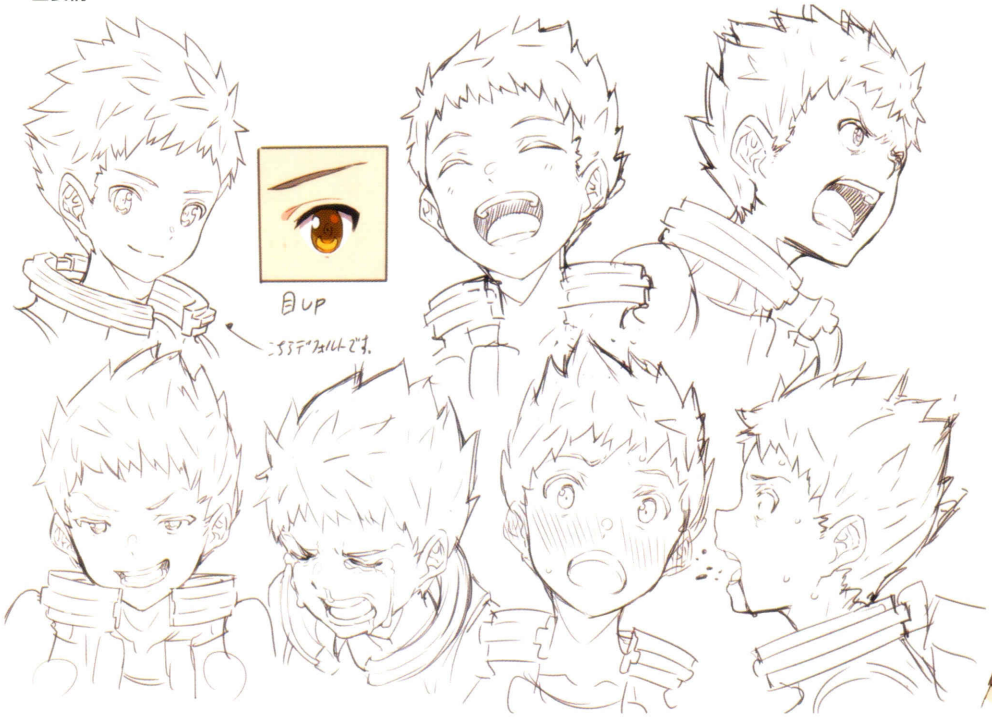
■三面図①（潜水服）



■三面図②（潜水服ヘルメット装着）



■表情



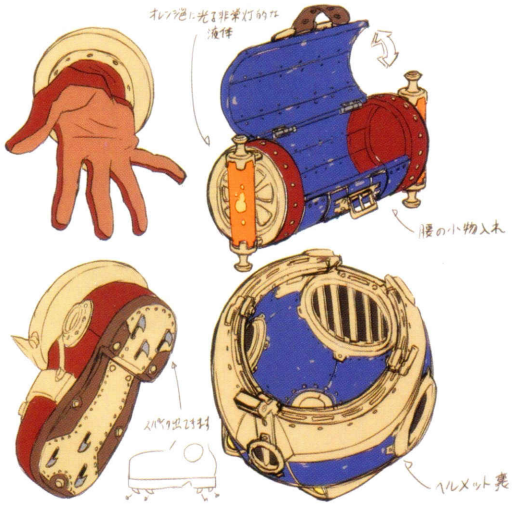
■幼少期



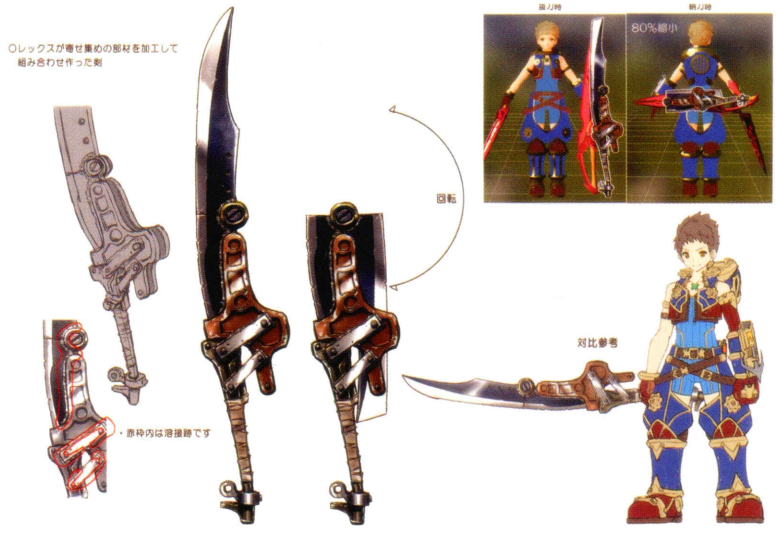


■バストアップ

■パーツの詳細



■初期装備（ジャンクソード）



■水着デザイン



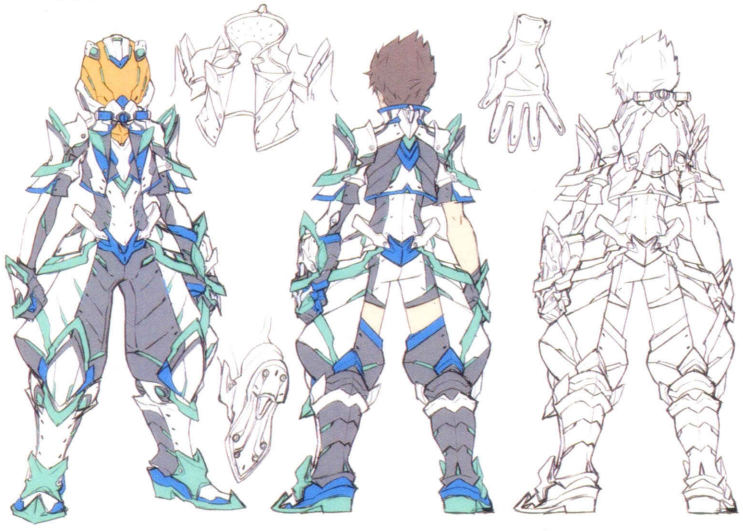
■カラーバリエーション案



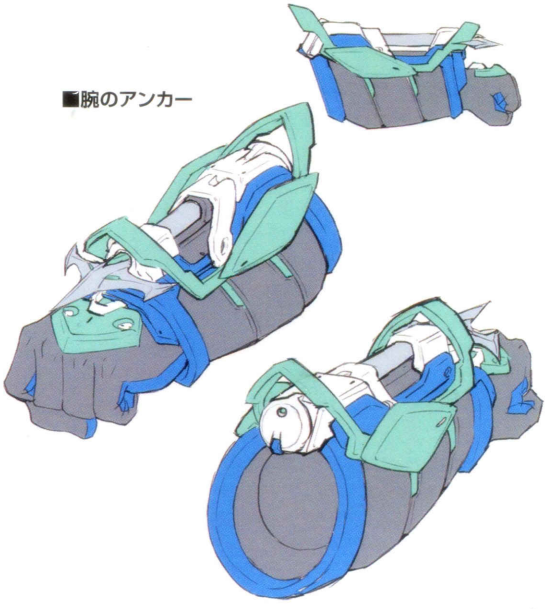


マスタードライバー

■三面図



■腕のアンカー



ホムラ

■CV：下地 紫野
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：火
■ロール：攻撃
■武器種：聖杯の剣
■好きなジャンル：野菜、書物
■好きなアイテム：セリオスティー、木目アルプホルン



私を、楽園に連れて行って

◆心優しき伝説のブレイド

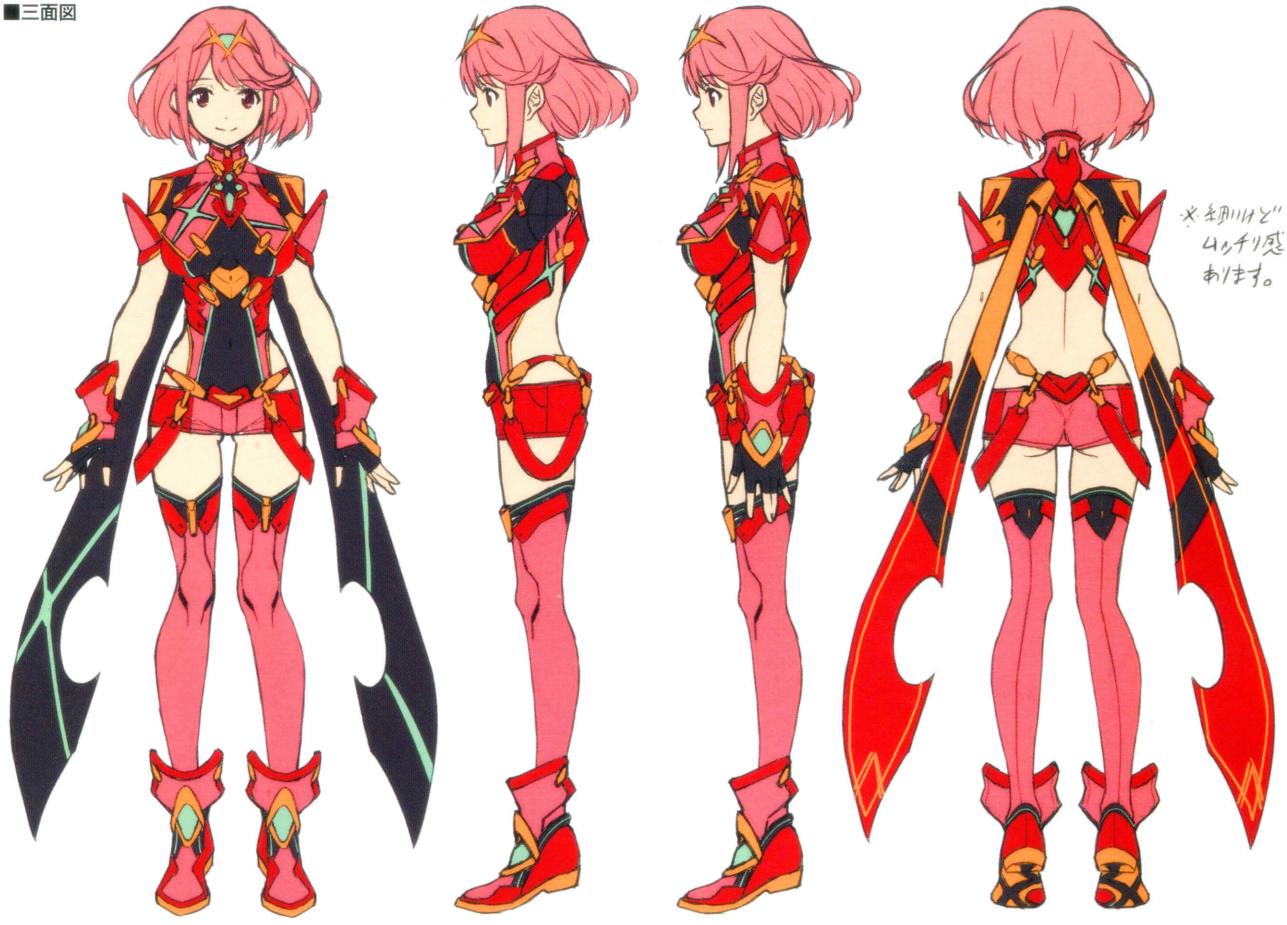
伝説として語り継がれてきた、天の聖杯と呼ばれるブレイドの少女。控えめで心優しい性格だが、一度決めたことは曲げない芯の強さも持つ。500年に渡って古代船の中で眠っていたところ、レックスの手によって目覚める。シンの攻撃で命を落としたレックスと夢の中で邂逅し、故郷である楽園へ連れて行ってもらうために自らの命の半分を分け与え、彼のパートナーになった。旅をする中でレックスに惹かれていくが、楽園を目指す本当の理由を明かせないことや、自分の存在を巡っての戦いに巻き込んでしまうことに負い目を感じていく。

ルクスリアではレックスたちを守るため、自らを差し出し、天の聖杯の力をメツに奪われてしまう。その後、助けに来たレックスに対して、自分が楽園を目指す理由は自身の存在を神に消滅させてもらうことであると明かした。レックスひとりで楽園を目指すよう涙ながらに訴えるが、揺らぐことのない彼の強い意志を感じ取り、天の聖杯としての力を完全に覚醒させる。消滅するためではなく、父である神がなぜ自分を生み出したのかを知るため、改めてレックスとともに楽園を目指すことを決意する。

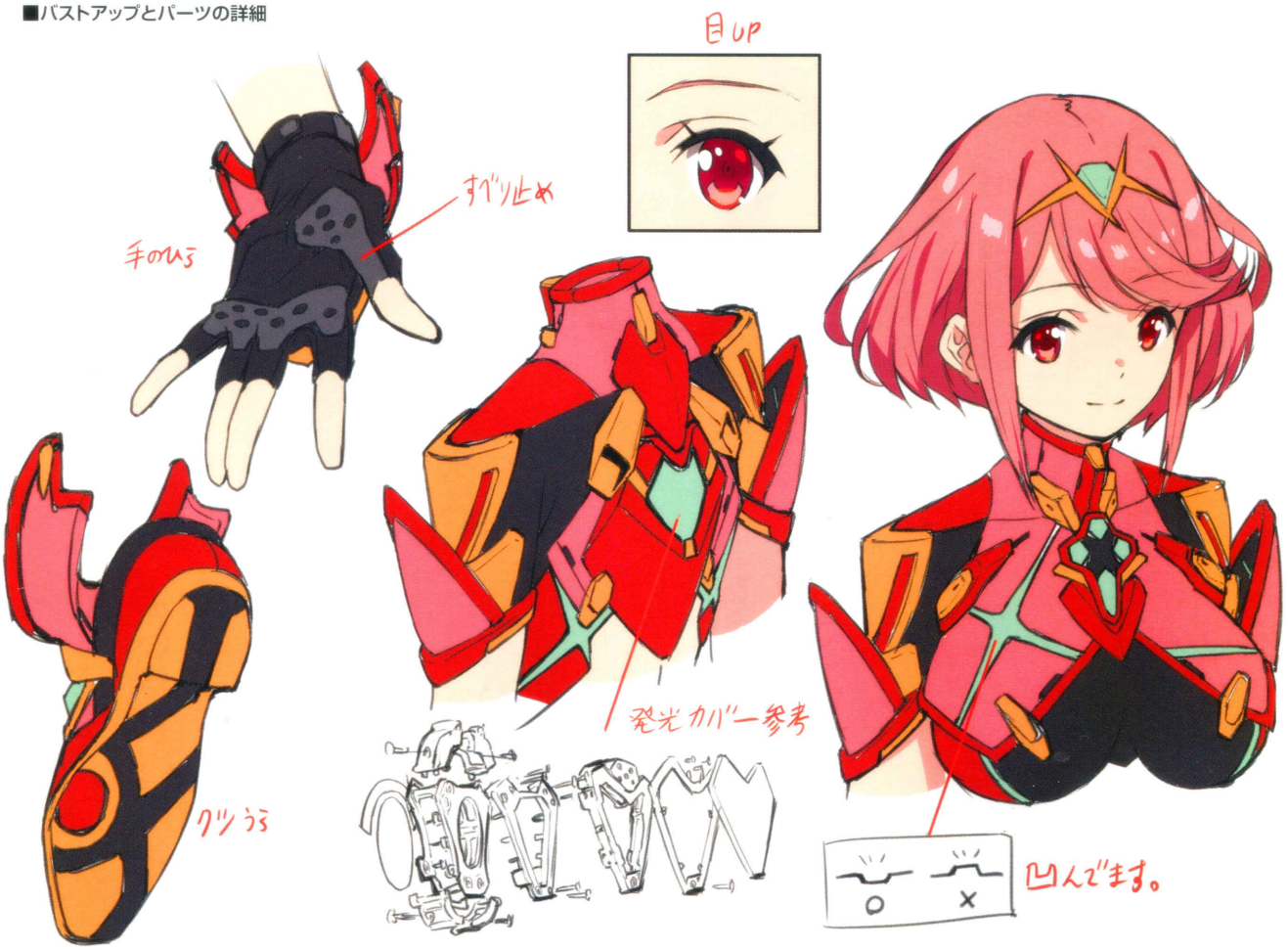
Illustrator's Comment

二番目にデザインしたホムラですがいちばんデザインがすんなりと出たキャラクターかもしれません。名前の通り、炎と、ヒカリのもう一人の姿ということを意識してデザインしました。

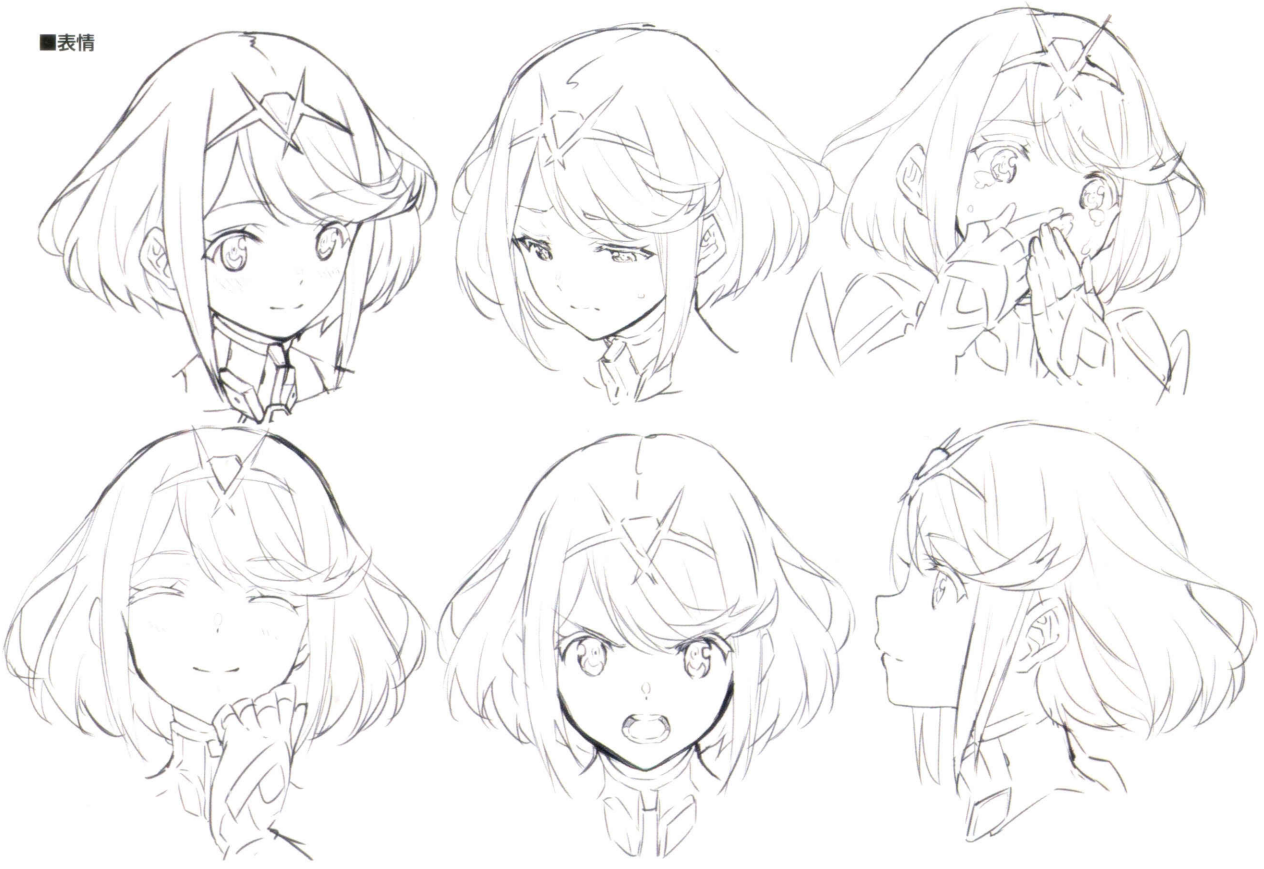
■三面図



■バストアップとパーツの詳細



■表情



■ホムラのポンチョ



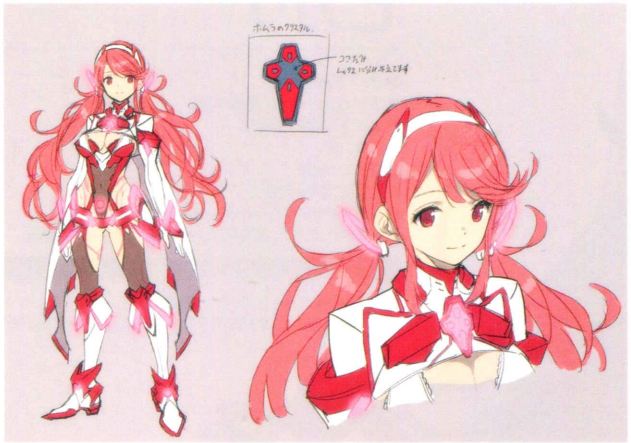
■カラーバリエーション案



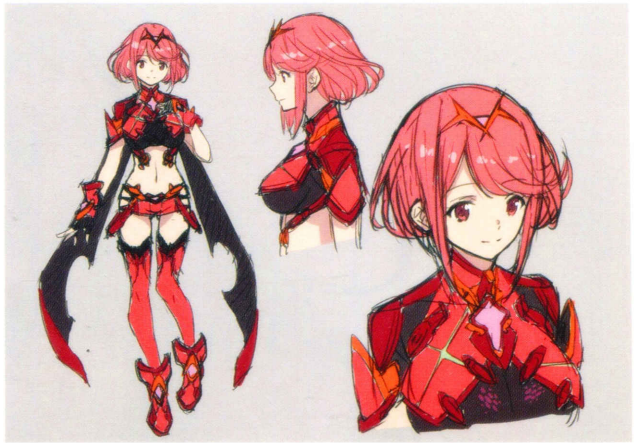
■水着デザイン



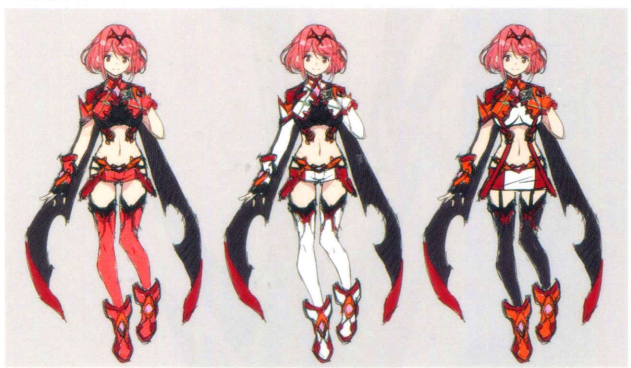
■初期デザイン①



■初期デザイン②



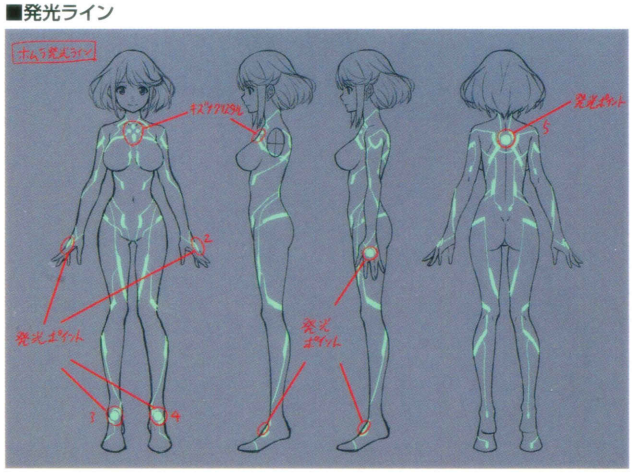
■初期デザイン③



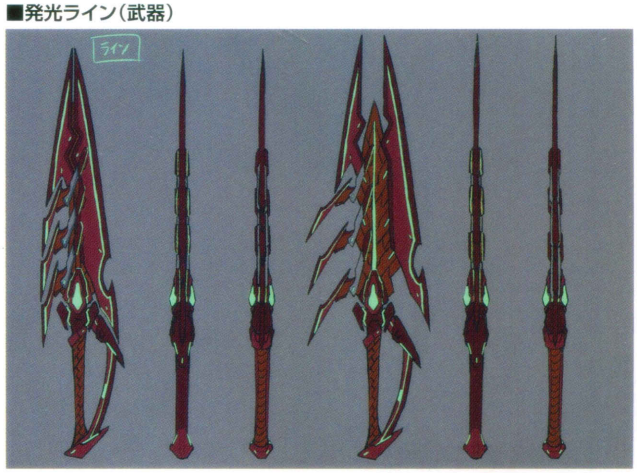
■イヤリング初期案



■発光ライン



■発光ライン（武器）



■武器①



■武器②



ヒカリ

■CV：下地 紫野
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：光
■ロール：攻撃
■武器種：聖杯の剣
■好きなジャンル：スイーツ、美術
■好きなアイテム：雲海蟹クリームコロッケ、最後の合唱

『黄金の国イーラ』

■好きなジャンル：スイーツ、肉類
■好きなアイテム：奇跡のミラクルパフェ、バニットペッパー



それでも君は私達が欲しい？

◆天の聖杯の本来の人格

ホムラのもうひとつの人格で、天の聖杯の真の姿。体格や顔つきはホムラと同じだが、服装や髪型などが異なる。性格も正反対で非常に勝ち気だが、ただ素直になれないだけで根は優しい。レックスによってホムラが目覚めた後もしばらく表に出ることはなかったが、カラムの遺跡における秘密結社イーラとの戦いで、絶体絶命のレックスを救いたいホムラの想いが爆発したことで覚醒を果たした。以降は自らもブレイドとして力を振るい、楽園を目指して戦いに身を投じる。なお、ホムラとヒカリは互いのことを認識しているだけでなく記憶を共有しており、思考の中で会話を行うことも可能で非常に仲もいい。

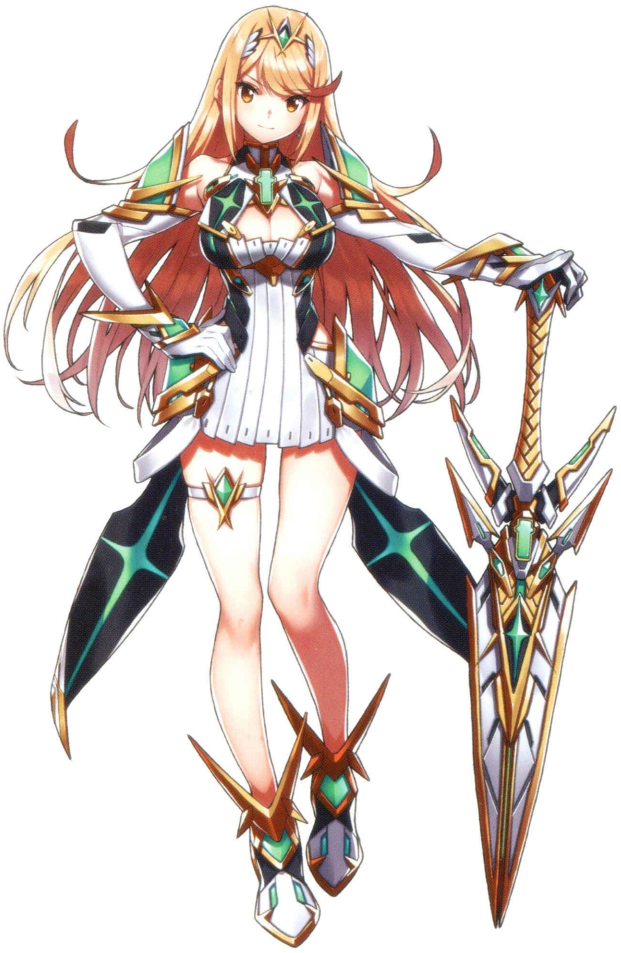
『黄金の国イーラ』

500年前の聖杯大戦ではアデルと同調し、ともに行動している。人間に対してあまり興味がなく、どこか冷めたような感覚で接することが多い。しかしラウラやシンたちと旅を続ける中で、頑なだった心は解けていく。メツとの最終決戦で、自らの力が強大すぎるがゆえに多くの命を奪ってしまったことにショックを受け、もうひとつの人格であるホムラを生みだした。

Illustrator's Comment

ヒカリの顔や髪型は初期に決まっていたのですが、服装でだいぶ悩みました。おもに胸周りと腰のヒラヒラをどうするかで何パターンか出しました。

「黄金の国イーラ」バージョン



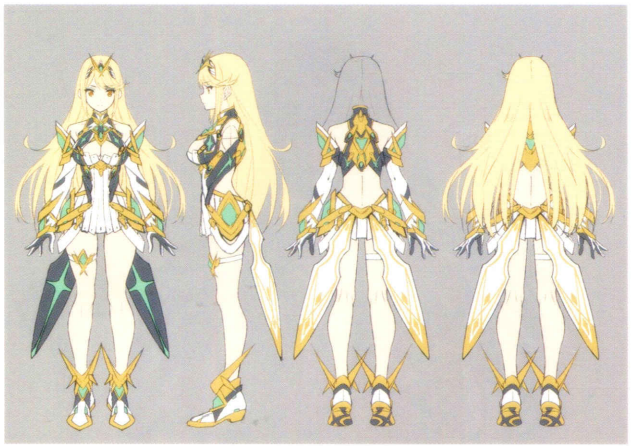
■『大乱闘スマッシュブラザーズ SPECIAL』バージョン



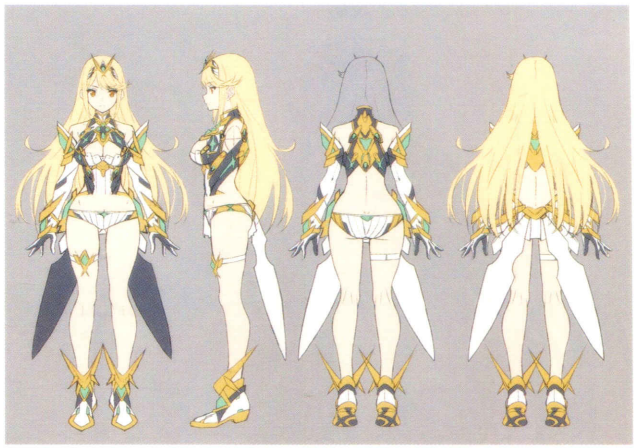
■表情



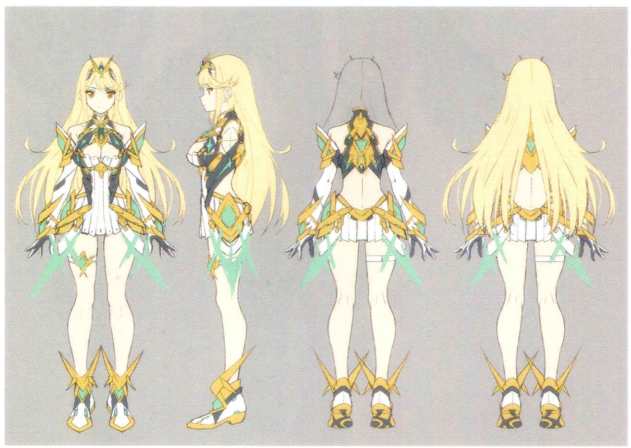
■三面図①



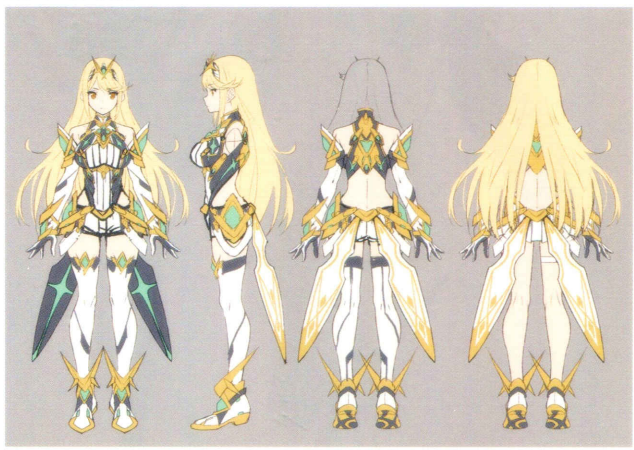
■三面図②



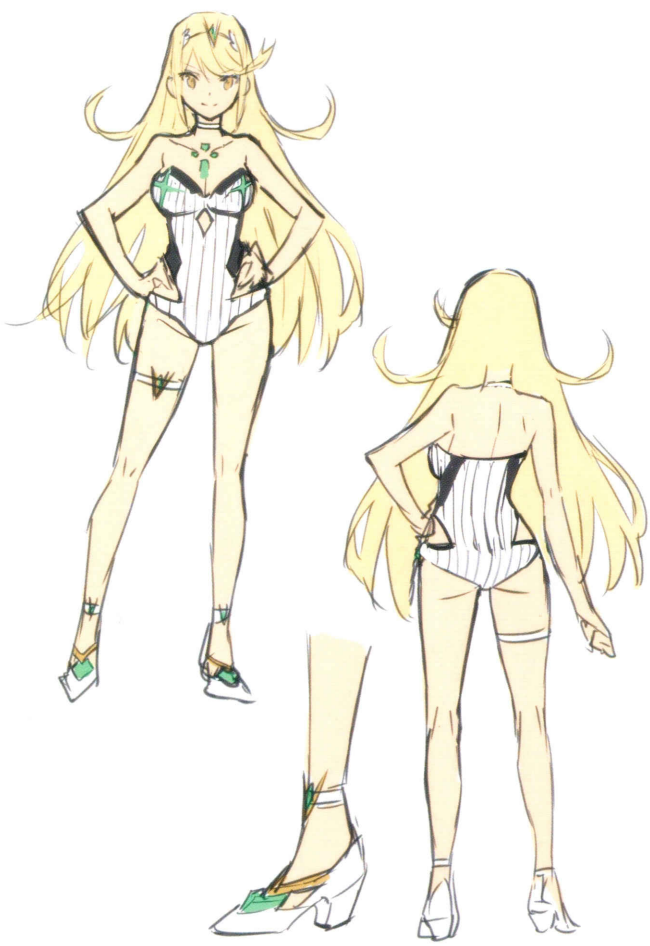
■デザイン案①



■デザイン案②



■水着デザイン



■カラーバリエーション案



■初期デザイン



■武器



プネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）

■CV：下地 紫野
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：光
■ロール：攻撃
■武器種：聖杯の剣



「ありがとう、レックス。
私に光をくれて」

◆真の力を覚醒させた天の聖杯

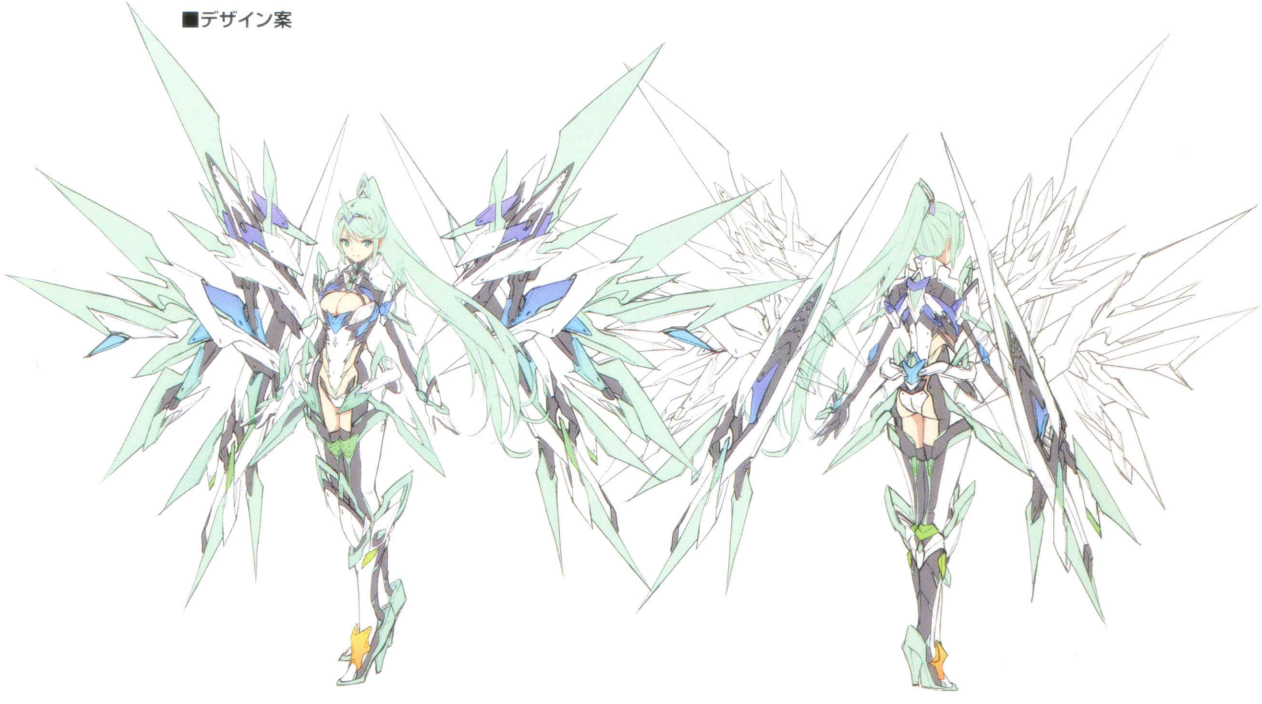
ホムラとヒカリの想いをすべて受け入れ、レックスがマスタードライバーとして覚醒したことで、天の聖杯としての真の力を解放した姿。髪型や衣装がふたりとは大きく異なっているほか、性格にもやや変化が生じている。ふたりの人格が融合した形で、口調はホムラの穏やかさとヒカリのフランクさを合わせたよう。本人としてはどちらの名前で呼ばれても問題はないらしい。創造主のクラウスから本当の名前が「プネウマ」と知らされても、ホムラまたはヒカリの名で呼ばれることを望んだ。

能力面では、天の聖杯の第三の剣を完全に制御できるようになっており、戦闘能力が格段に向上。また、ドライバーが望んだ現象を実際に起こすという、常識を逸脱した能力を有している。初めて覚醒した際のシンとの戦いで、レックスは無意識にこの能力を使いこなし、本来できないはずの粒子加速を行っていた。ヒカリのかつてのドライバーであるアデルは、この力を使いこなせなかったために、第三の剣をエルピス霊洞に封印していた。楽園での戦いにおいて、メツが消滅した後、アイオーンの力を使って楽園の崩壊を止めるためにひとり留まることを決意。レックスたちを逃がすことに成功した後、力を使い果たしてしまう。

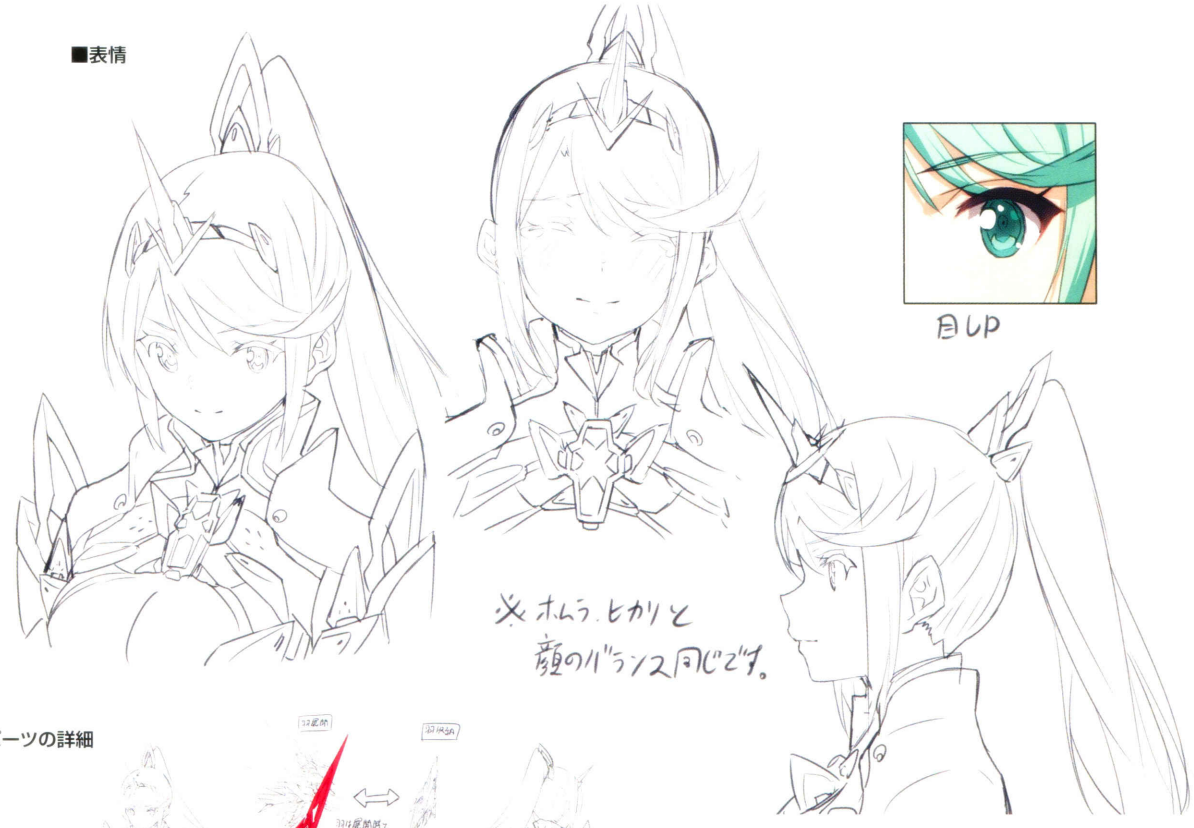
Illustrator's Comment

パワーアップして強くなったという実感を与えられるようなデザインを意識しました。本当はロングヘアーにしたかったのですが、ヒカリと差別化するためにポニーテールにしました。

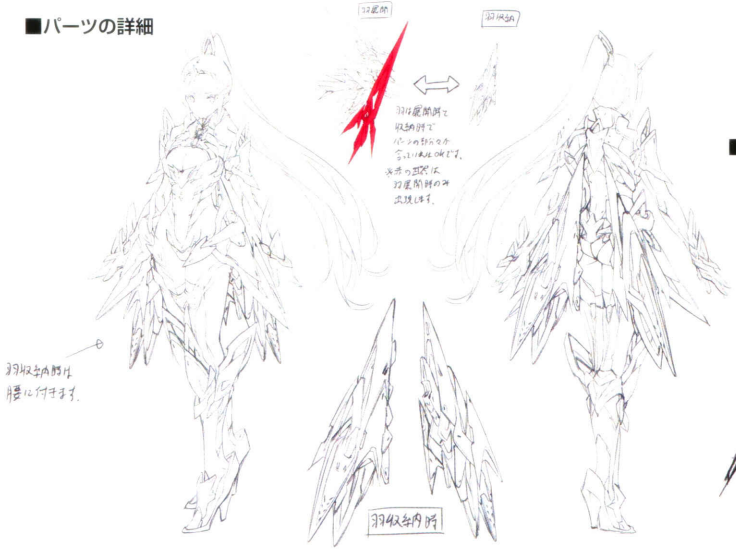
■デザイン案



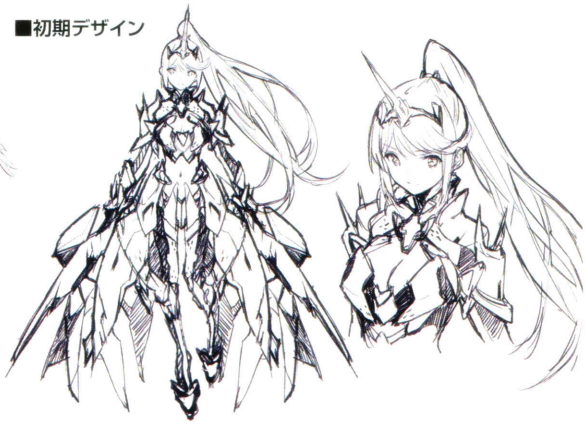
■表情



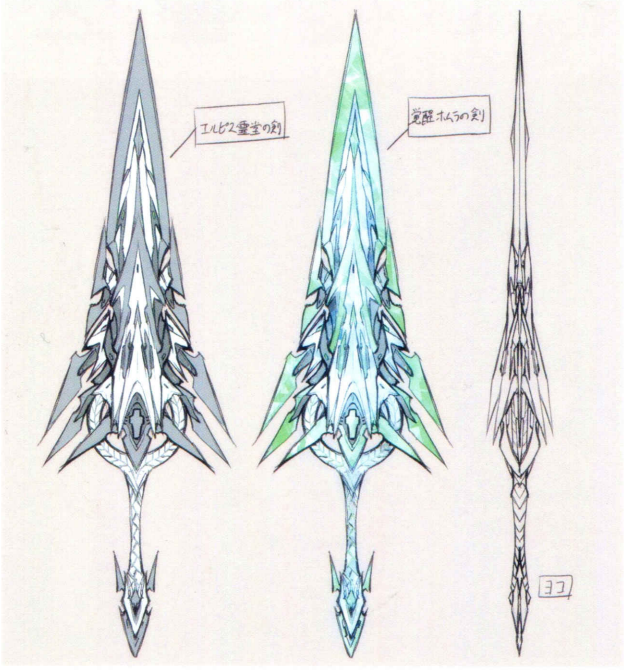
■パーツの詳細



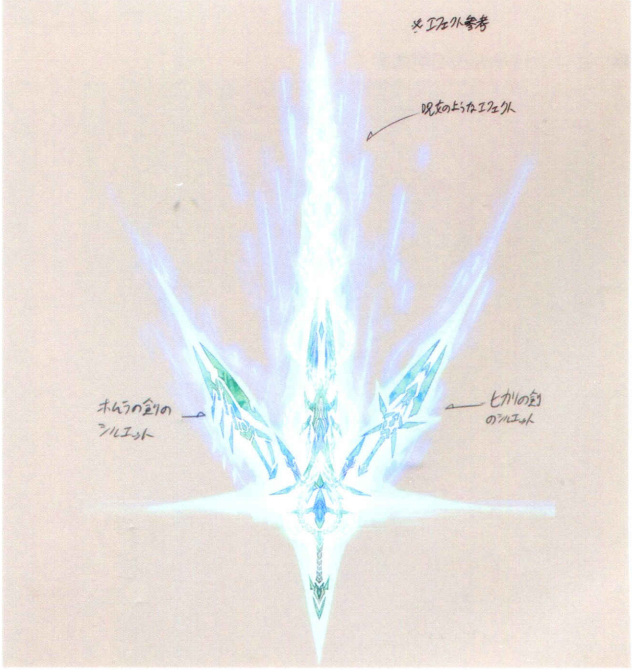
■初期デザイン



■第3の剣



■第3の剣（最終）



じっちゃん（セイリュウ）

■CV：千葉 繁
■イラストレーター：モノリスソフト



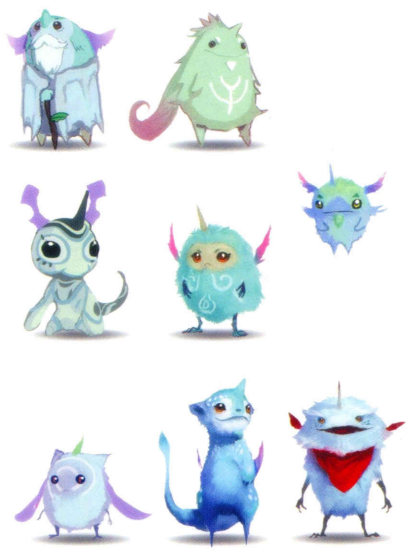
それがワシら巨神獣のさだめじゃからな

◆レックスを見守る保護者兼指南役

レックスの住む家を背中に乗せている巨神獣。レックスにとっては保護者であり、戦闘術の基礎を教えた師匠のような存在でもある。元々はイーラ王国で生まれたブレイドで、巨神獣となってからはブレイドのときの記憶こそないものの、新たな出会いがあることに満足しているようだ。聖杯大戦のころはアデルに協力しており、シンのことも以前のドライバーだったころからの知り合いとのこと。聖杯大戦の中でヒカリとともにメツと戦い、大戦終結後は、アデルから自身の死後もイヤサキ村を守るように頼まれ、以後数百年間に渡り村を守ってきた。

レックスと旅を続ける中、秘密結社イーラの戦艦が放った砲撃から彼を守るために身を呈したことで致命傷を負ってしまう。一命を取り留めるが、全身の代謝を最大限にして身体機能を維持した結果、数10cmほどにまで体が縮んでしまった。それでも数百年の知識や記憶が失われることはなく、未熟なレックスを的確に導く指南役として旅をともにする。元の姿に戻るまで300年はかかるとされていたが、楽園を脱出する直前にホムラから力を与えられ、復活を果たす。

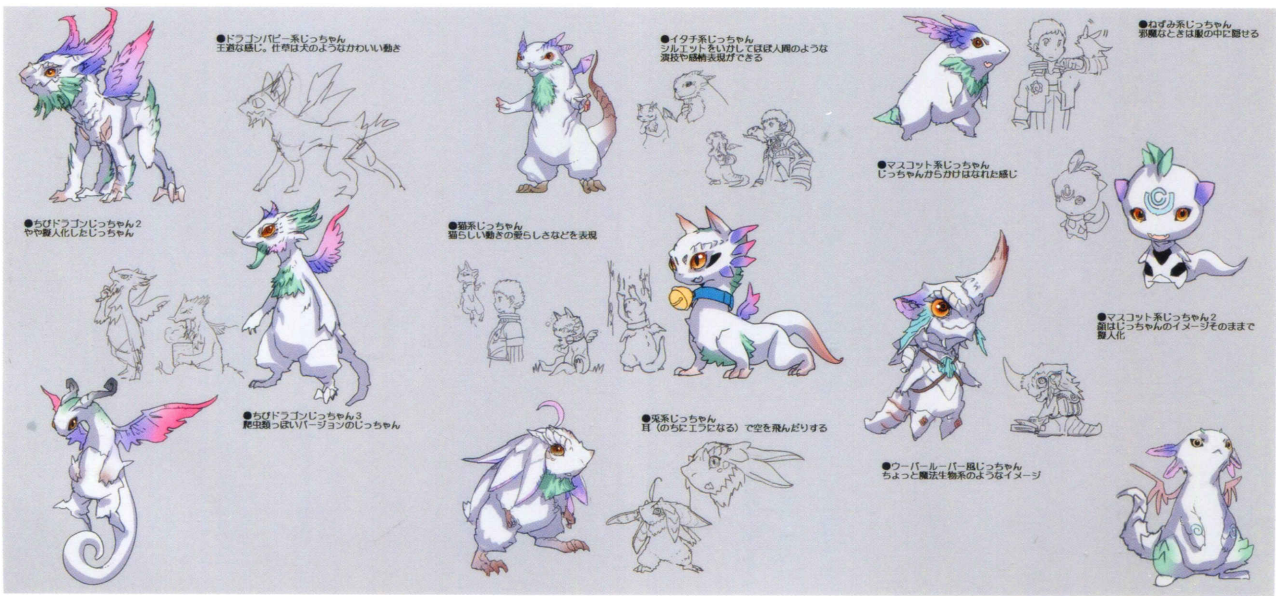
■小さいじっちゃんの初期案①



■小さいじっちゃんのラフ



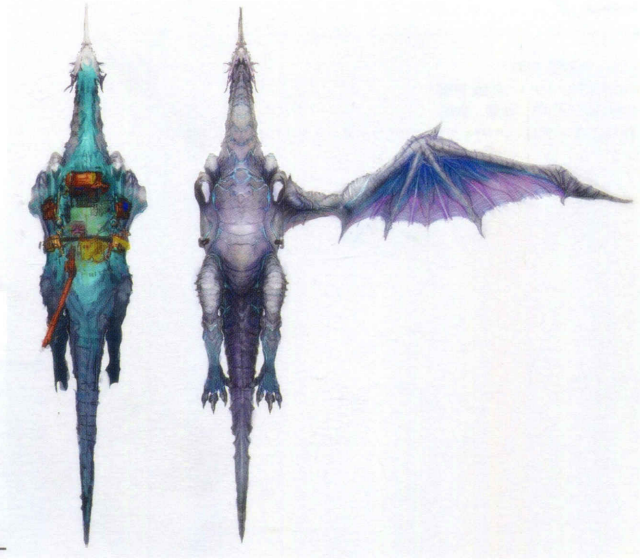
■小さいじっちゃんの初期案②



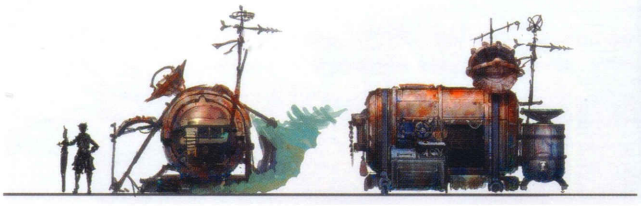
■側面図



■上面図



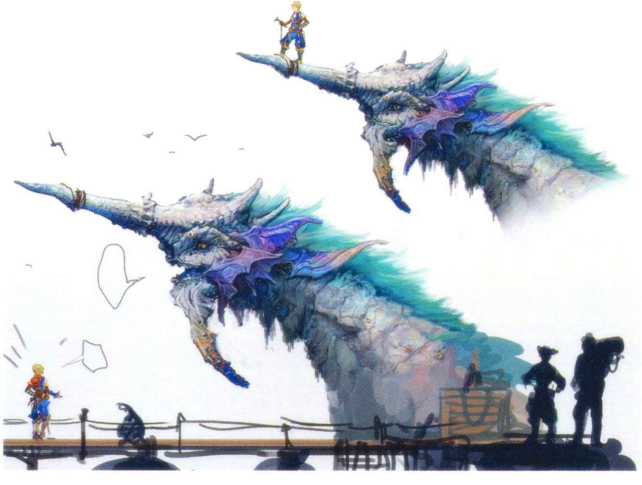
■背中の建物



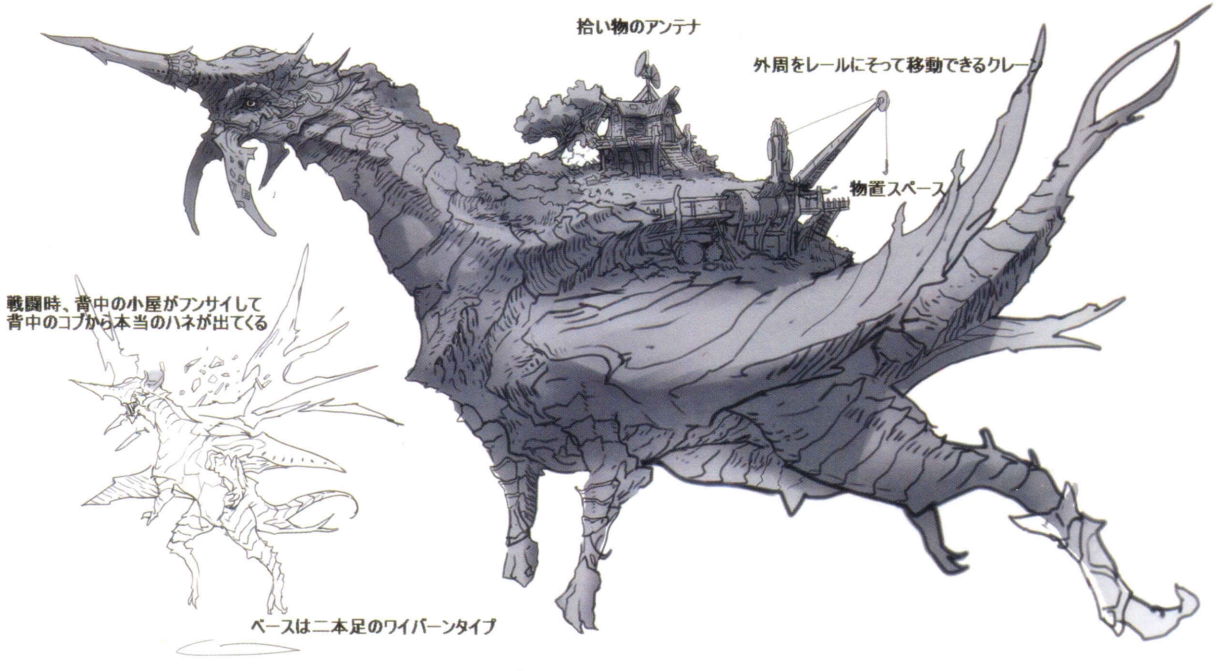
■会話イメージ



■レックスとの対比イメージ



■建物やクレーンなど全体の案



ニア

■CV：大和田 仁美
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：魚類、織物
■好きなアイテム：クリームオレンジパラータ、スペルビアベアの木彫り



「アタシはもう縛られない。
過去にも、シンにも、
ブレイドである自分にも！」

◆悲しい過去を持つネコ耳少女

動物のような耳や八重歯がチャームポイントの少女。当初は秘密結社イーラのメンバーだったが、古代船でシンが容赦なくレックスやほかのサルベージャーたちの命を奪おうとしたことに憤慨し、その場で組織からの離反を決意する。実は人間ではなくブレイドで、かつてはグーラのとある領主の家で暮らしていた。その領主の娘が重病にかかり、領主があらゆる手段を尽くした結果、治療も叶わぬうえに領主の地位まで失う。最終的に領主は娘の細胞をニアの中に移植し、ニアの中で生き続けるという手段を選ぶ。これによりニアはマンイーターとなり、領主の死後はアーケディア法王庁から「人喰いブレイド」と呼ばれ、ビャッコとともに逃亡生活を続けていた。そのときにシンに助けられた恩義もあり、一度はイーラに戻ろうとするが、レックスから楽園に行くための協力を懇願されて、彼の旅に同行する。自身がマンイーターであることや、生命を再生させる能力を持つことは隠し続けていたが、エルピス霊洞でレックスから「もっと自由でいいんじゃないか」と言われたことで吹っ切れて、過去に縛られずブレイドの力を使うことを決意した。

Illustrator's Comment

髪型と服で悩んだキャラです。初期案ではくせっ毛やロングヘアなどのパターンを出しました。服装は民族衣装ぽい服もデザインしましたが、動きやすくブレイドだということを隠すために全身を覆う衣装をデザインしました。

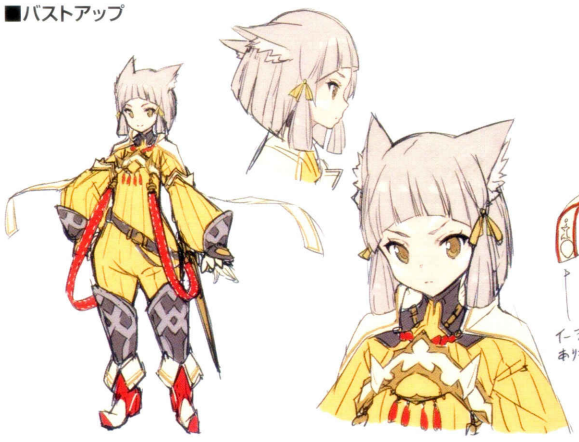


■CV：大和田 仁美
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：水
■ロール：回復
■武器種：シミター
■好きなジャンル：魚類、楽器
■好きなアイテム：ゆきんこポテサラダ、こそこそスニーキング

Illustrator's Comment

ニアの本来の姿なので神秘的なデザインにしました。初期案は少しSFテイストなデザインでしたが和風なデザインにしました。耳と髪の毛が伸びるのはパワーアップ感を出すためです。

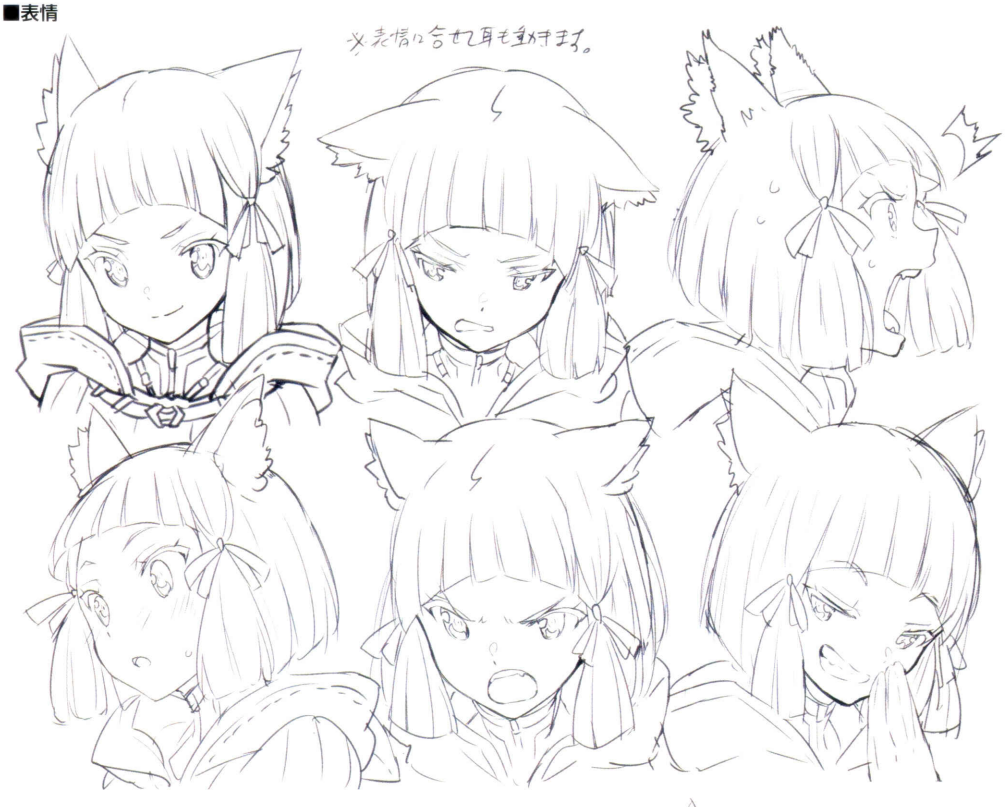
■バストアップ



■二面図



■表情





■初期デザイン①



■初期デザイン②



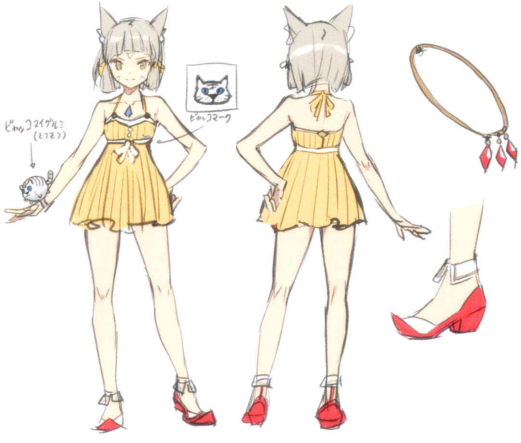
■初期デザイン③



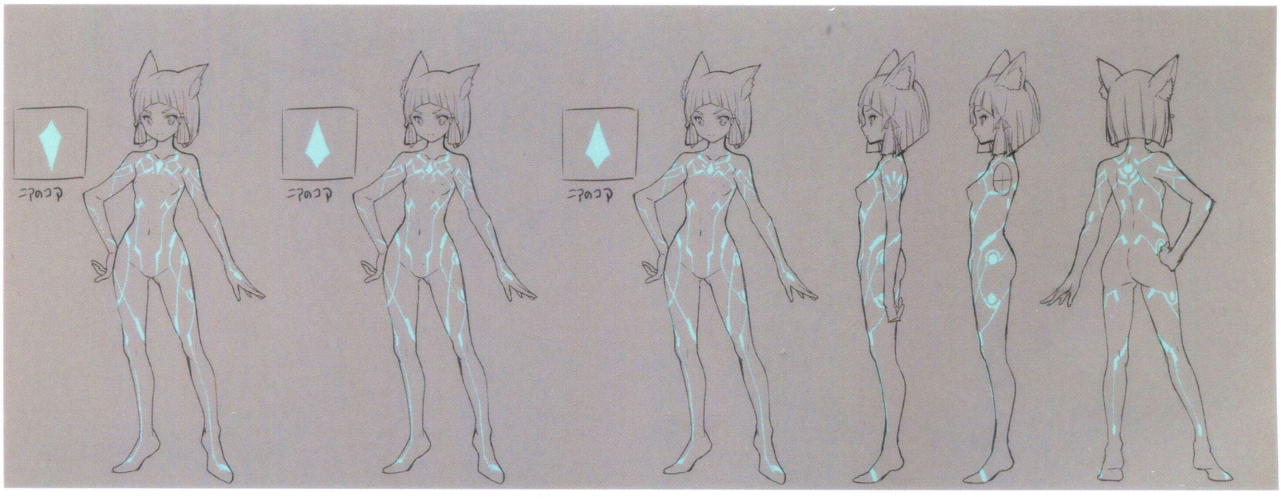
■カラーバリエーション案



■水着デザイン

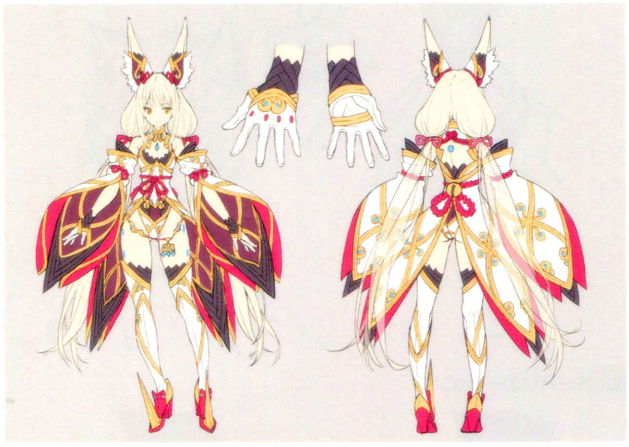


■発光ライン

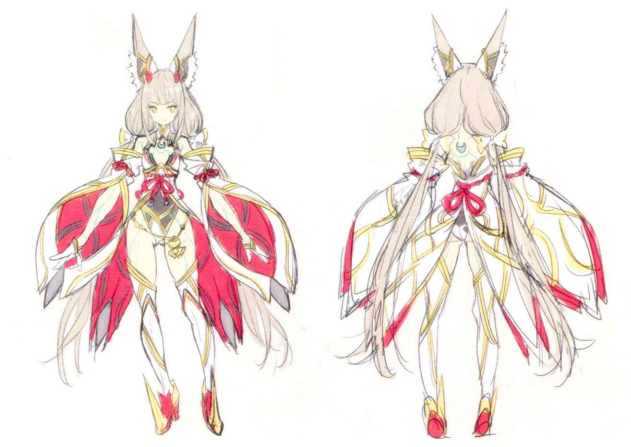


ブレイド

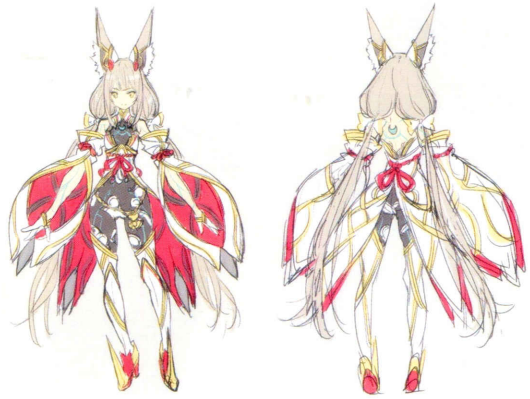
■二面図



■デザイン案①



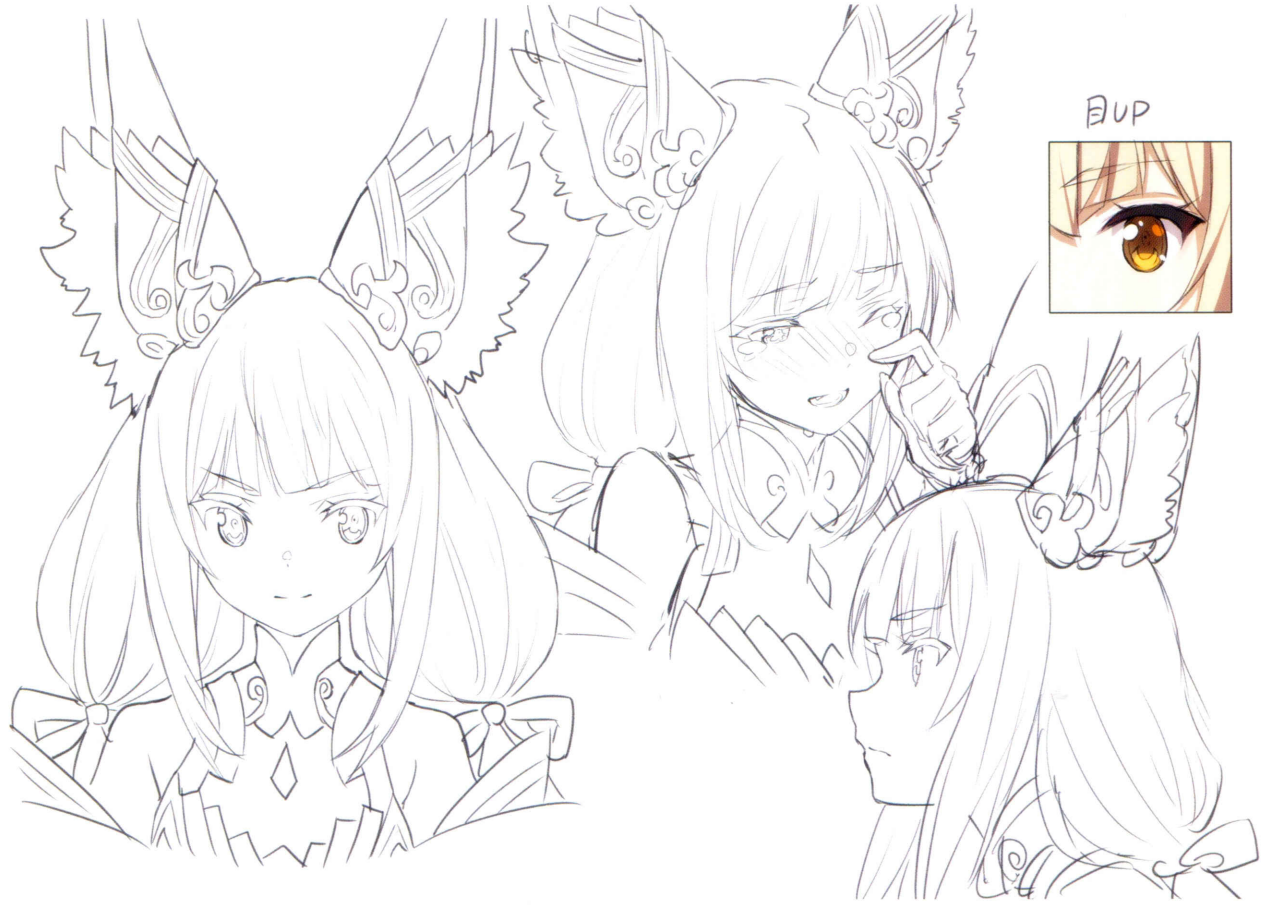
■デザイン案②



■デザイン案③



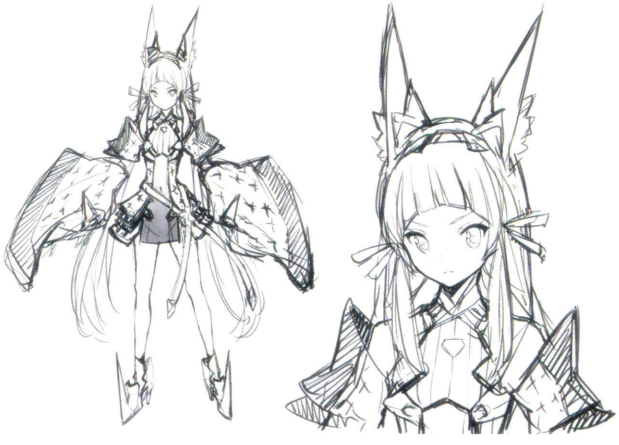
■表情



■カラーバリエーション案



■初期デザイン



■発光ライン



ビャッコ

■CV：稲田 徹
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：動物
■属性：水
■ロール：回復
■武器種：ツインリング
■好きなジャンル：肉類、ボードゲーム
■好きなアイテム：ワクワク干しマンボウ、万年杉の琴



お嬢様は私がお守りいたします

◆ニアに付き従う白き獣

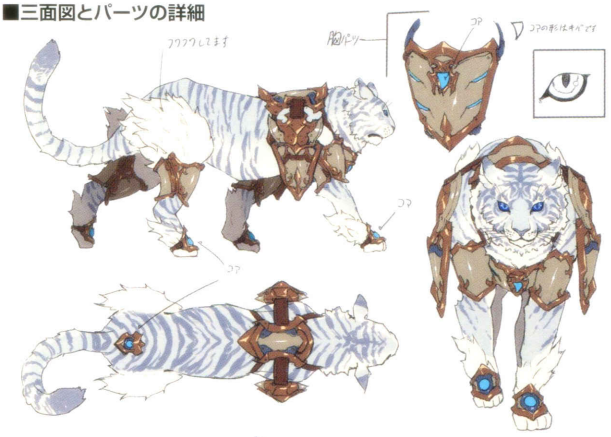
名前の通り白い虎の姿をしたブレイド。ニアを「お嬢様」と呼んで彼女に付き従っており、彼女のブレイドとしてつねに力を振るう。領主の娘としてのニアの世話をしていたせいか、口調や物腰はまるで執事であるかのように非常に柔らかく、ニアに対してだけでなく誰にでも敬語で接する。自身の背中に乗せるのはニアだけだと強く誓っており、その誓いは仲間であるレックスたちが相手でも破られることはない。

年長者ということもあり、各国の歴史をはじめ多くの知識を持っている。しかし真面目すぎる性格のために、レックスからおもしろい話はないかと聞かれた際には、スペルビア軍の編成に関する話をしてしまうなど融通が効かないところも。ちなみに、レックスとニアからは慰めの言葉をかけられるが、ビャッコ本人は本当におもしろかったのかと気にしていた。同じ年長者であるじっちゃんとは気が合うようで、意気投合する様子を見せている。

Illustrator's Comment

あまり動物はデザインしないので新鮮でした。初期案ではたてがみはなかったのですが、ニアが乗ったときに手が置けるようにたてがみを足しています。CGモデリングではデザイン画より若干マスコット感を強調していただきました。

■三面図とパーツの詳細



■ナイトキャップ



■初期デザイン



■発光ライン



■武器



■カラーバリエーション案



トラ

■CV：野中 藍
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：ドリンク、楽器
■好きなアイテム：ジューシーサモ、カラ織のスツール



「だからトラは、こいつを
完成させてドライバーに
なって大活躍するも！」

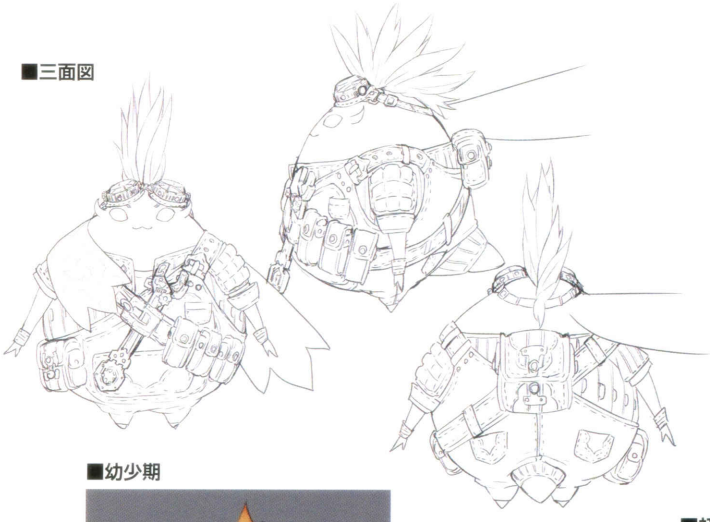
◆ドライバーに憧れるメカが好きなノポン族

ドライバーになることを夢見る、ノポン族の少年。ドライバーへの憧れが強いため、新米ではあるがレックスのことをアニキと呼んで慕う。トラ自身はドライバー適性がなく、コアの同調に失敗した際は三日三晩鼻血が止まらなくなってしまった。それでもドライバーになる夢を諦めることができず、メカの技術と知識を活かして人工ブレイドであるハナの完成に心血を注いでいく。そして、祖父のセンゾーが殺され、父のタテゾーから製作途中だった設計図とエーテル炉を託されて、ひとりでハナの開発を進めていたが、その後レックスの協力もあってハナは見事に完成。ハナのドライバーとして、レックスとともに行動するようになる。スペルビアの廃工場ではタテゾーと再会。センゾー殺害とタテゾー誘拐の黒幕であるバーンの陰謀を阻止し、タテゾーとキクの救出にも成功する。なお、自室にはハナに着せるためと思われる衣装を多数揃えていたことや、ハナに「萌え萌えモード」なる謎の仕様を搭載しているなど、自身の趣味をハナに反映させようとしている点について、女性陣から大不評を買っていた。

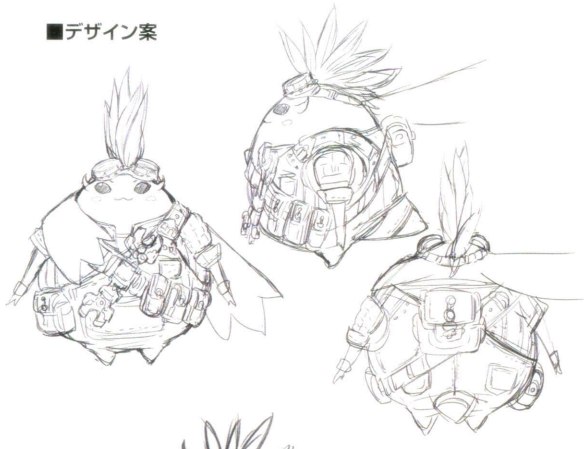
Illustrator's Comment

ノポン族をデザインできるのが本当にうれしかったです。わんぱくなメカニックマンをイメージしてデザインしました。個人的に気に入っているポイントはゴーグルです。

■三面図



■デザイン案

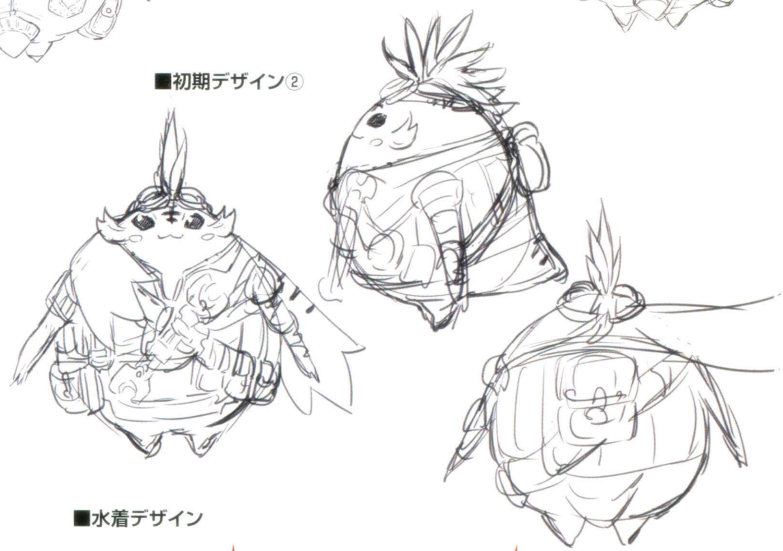


■幼少期



ノポンの子供ベースにトラのゴーグルを乗せて下さい。
父親が襲われるシーンで出て来るので、
子供ノポンの三角形の笑った口では無い方が良いです。

■初期デザイン②



■初期デザイン



■水着デザイン



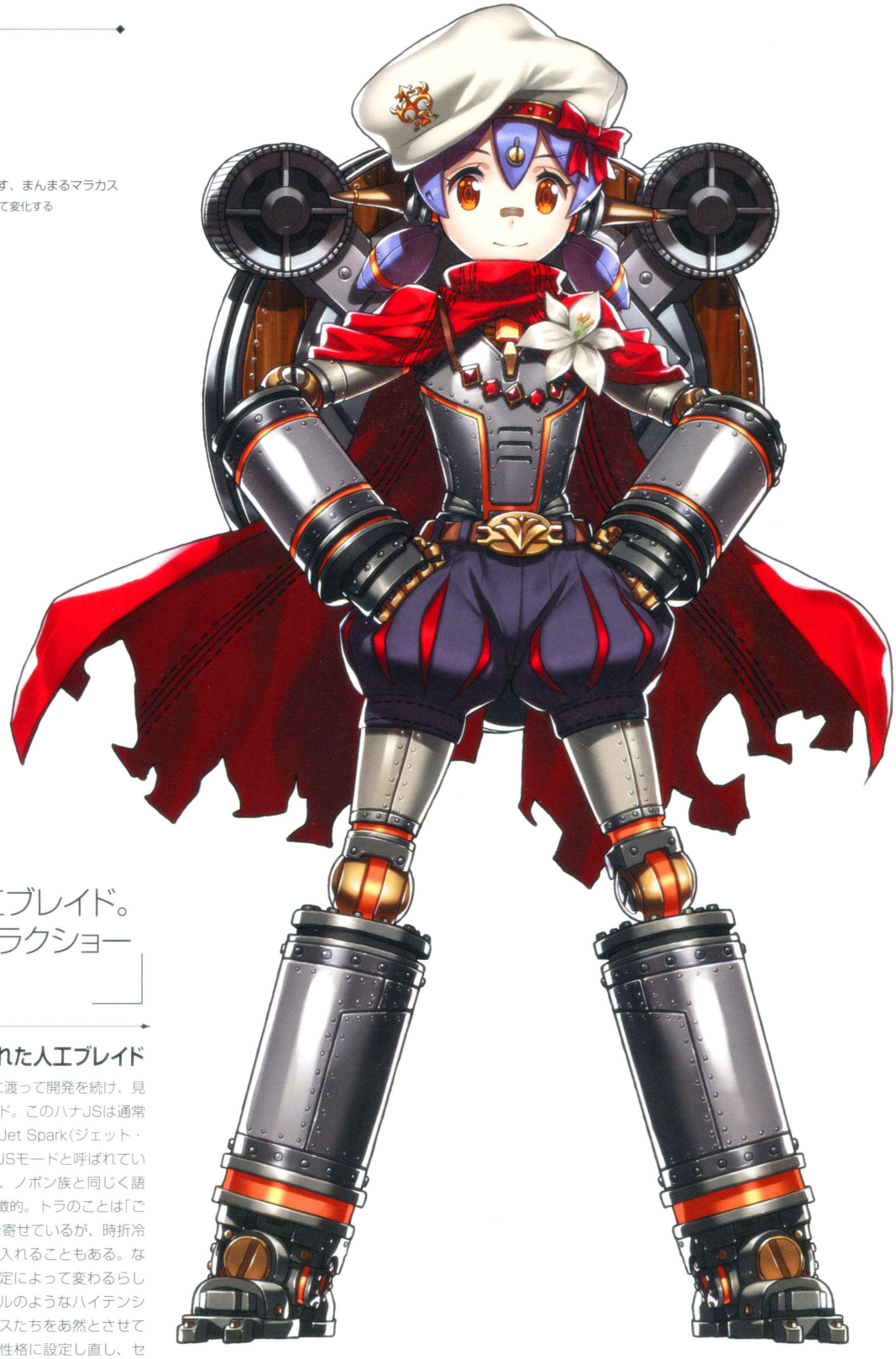


■カラーバリエーション案



ハナJS

■CV：久野 美咲
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：地（※）
■ロール：防御（※）
■武器種：ハナシールド
■好きなジャンル：主食、楽器
■好きなアイテム：ぷちぷちじゅーす、まんまるマラカス
※初期状態。ハナライズのパーツによって変化する



「ハナは人工ブレイド。このくらいラクショーですも」

◆3代に渡って作られた人工ブレイド

トラが祖父の代から3代に渡って開発を続け、見事に完成させた人工ブレイド。このハナJSは通常形態にあたり、正式名称の「Jet Spark（ジェット・スパーク）モード」を略してJSモードと呼ばれている。ノポン語を話せるため、ノポン族と同じく語尾に「も」をつける口調が特徴的。トラのことは「ご主人」と呼んで全幅の信頼を寄せているが、時折冷静な口調で鋭いツッコミを入れることもある。なお、性格は起動前の初期設定によって変わるらしく、初起動の際にはアイドルのようなハイテンションぶりを見せて、レックスたちをあ然とさせていた。慌てたトラが現在の性格に設定し直し、センゾーの趣味だと弁明していたが、真偽のほどは定かではない。多彩な機能を搭載しており、足からのジェット噴射による飛行能力や、人間を遥かに上回る腕力を持つ。またエーテルを自己発生させるエーテル炉が体内に搭載されているため、ルクスリアの牢屋やエルピス霊洞といった、通常のブレイドが能力を封じられる環境でも問題なく力を発揮できる。ちなみに、最初の設計者であるセンゾーしか把握していない能力もあるとのこと。

Illustrator's Comment

頼りになる女の子型ロボのハナはどんどんパワーアップしていくので、最初のハナJSは機械の無骨さを強調したデザインにしました。

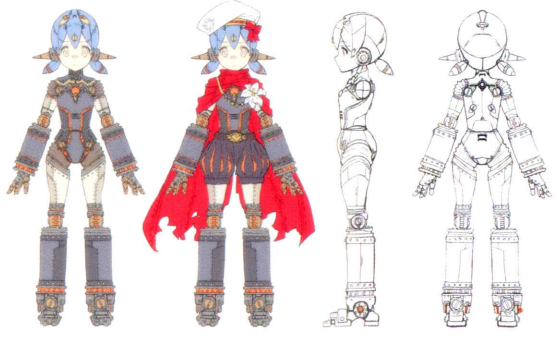
■表情①



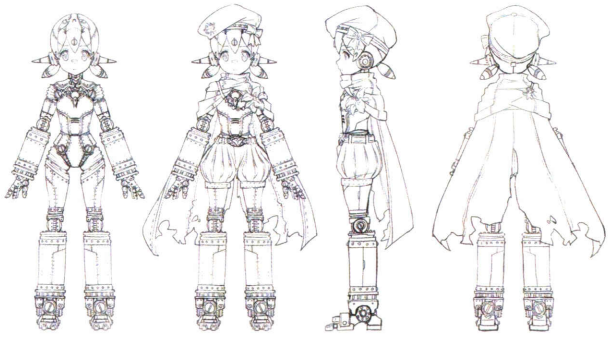
■表情②



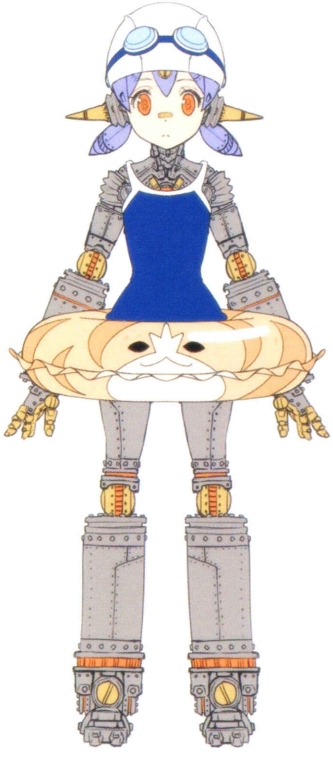
■三面図①



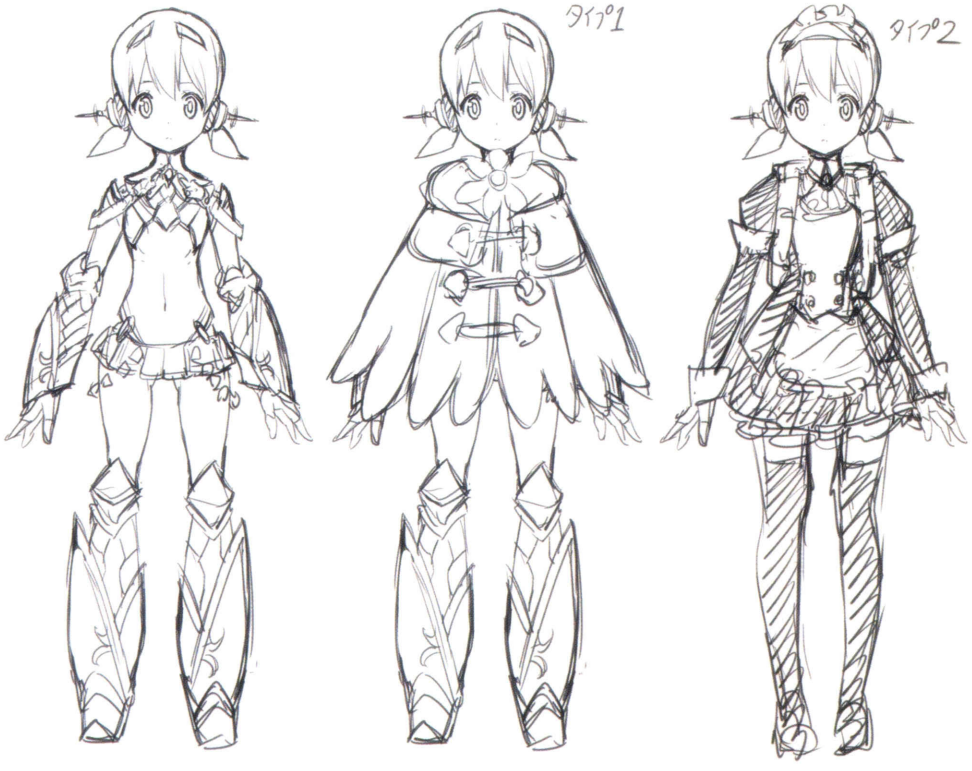
■三面図②



■水着デザイン



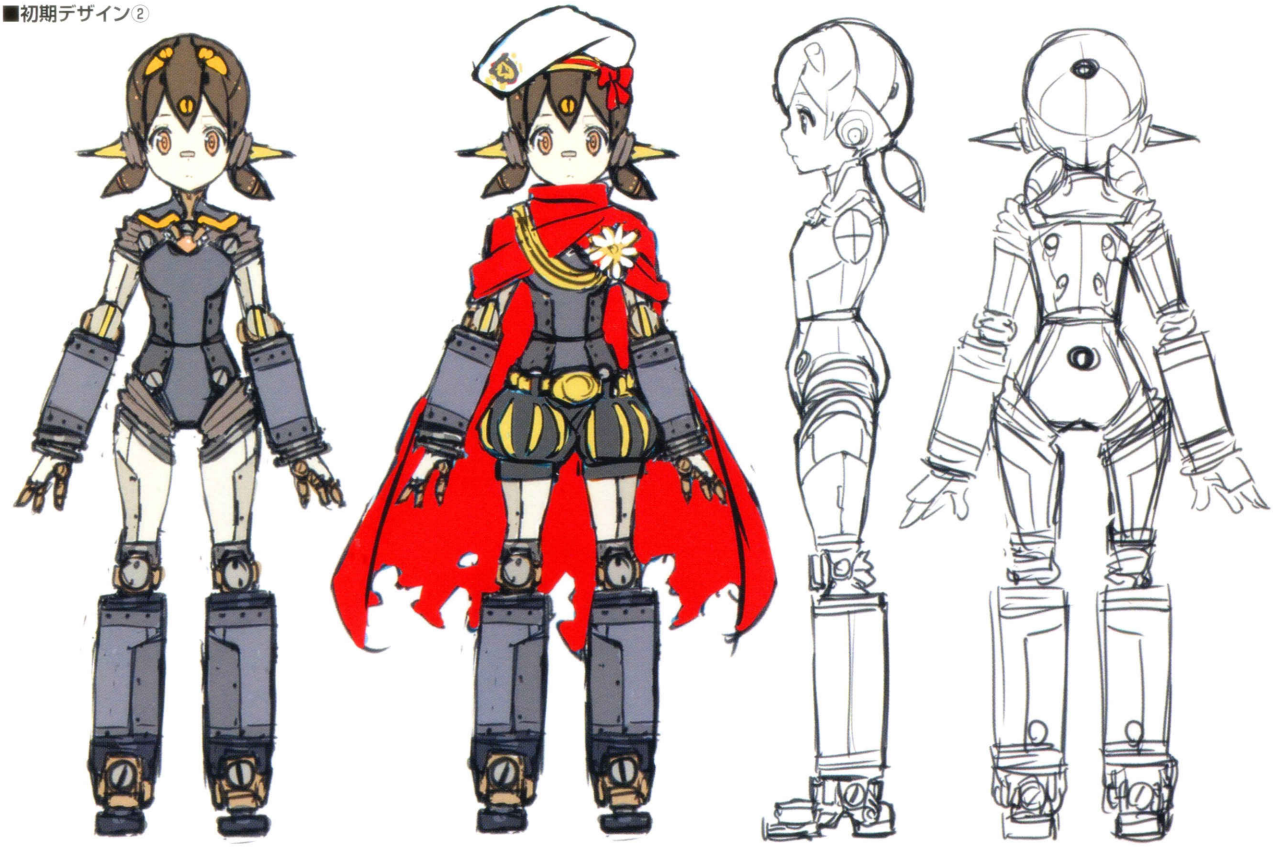
■初期デザイン①



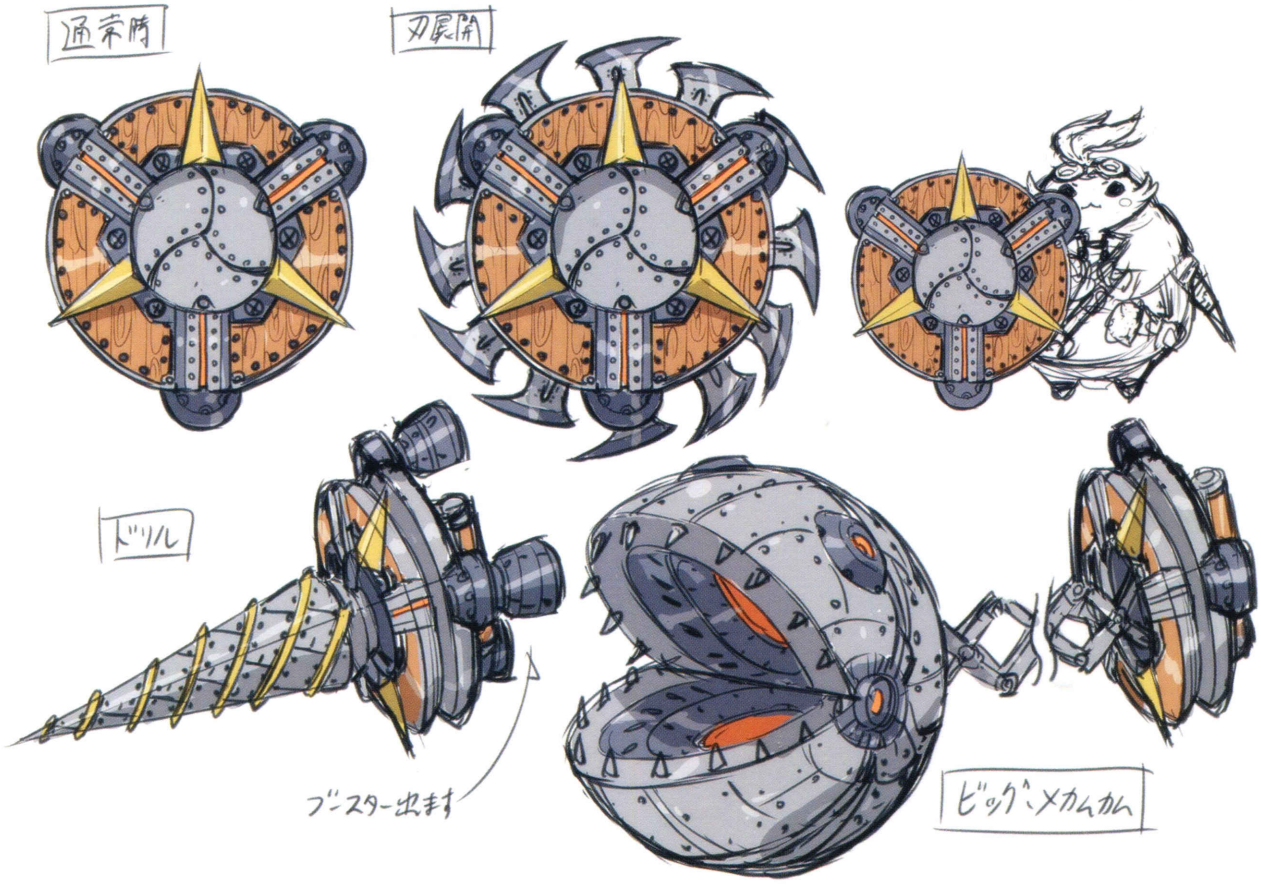
■カラーバリエーション案



■初期デザイン②



■武器



ハナJK

■CV：久野 美咲
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：火(※)
■ロール：防御(※)
■武器種：ハナアームズ
■好きなジャンル：野菜、美術
■好きなアイテム：満天ジュエルタルト、玄武織のブロード
※初期状態。ハナライズのパーツによって変化する



「了解ですも、ご主人！
チェンジ・JKモード・
スイッチオン！」

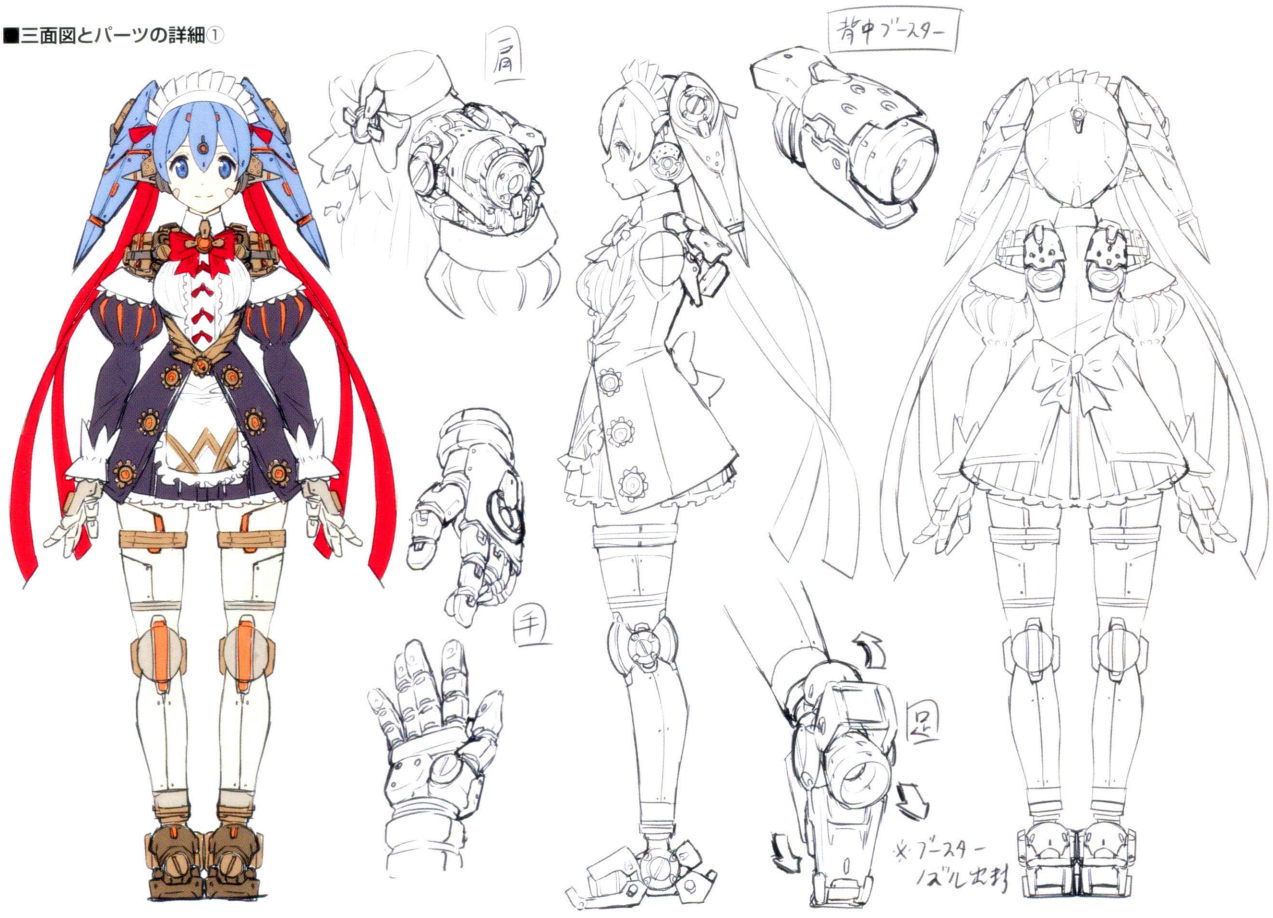
◆エーテル炉を完全起動した第2形態

ハナの第2形態で、正式名称は「Justice Knight(ジャスティス・ナイト)モード」、略してJKモードと呼ばれる。タテゾーが完成させた姉妹機のキクをスターターにすることで、体内のエーテル炉を完全起動させることに成功。この姿へとパワーアップを果たした。性能面の向上に伴って外見年齢も上がっており、身長や髪の毛(？)が伸びている。性格や口調に大きな変化はないが、JSモードのときはメカの要素が強かった衣装はミニスカートのメイド風へと変化。戦闘面では、JSモード時はドリルのついた盾を使っていたのに対し、ミサイルやキャノンを発射する多機能型の武器を使うようになっている。

Illustrator's Comment

JSでは髪型がおさげでしたが、キクの意匠を受け継いだ服装にはツインテールが似合うと思いました。じつは服のボタンの数をふたつにするか3つにするかで悩みました。

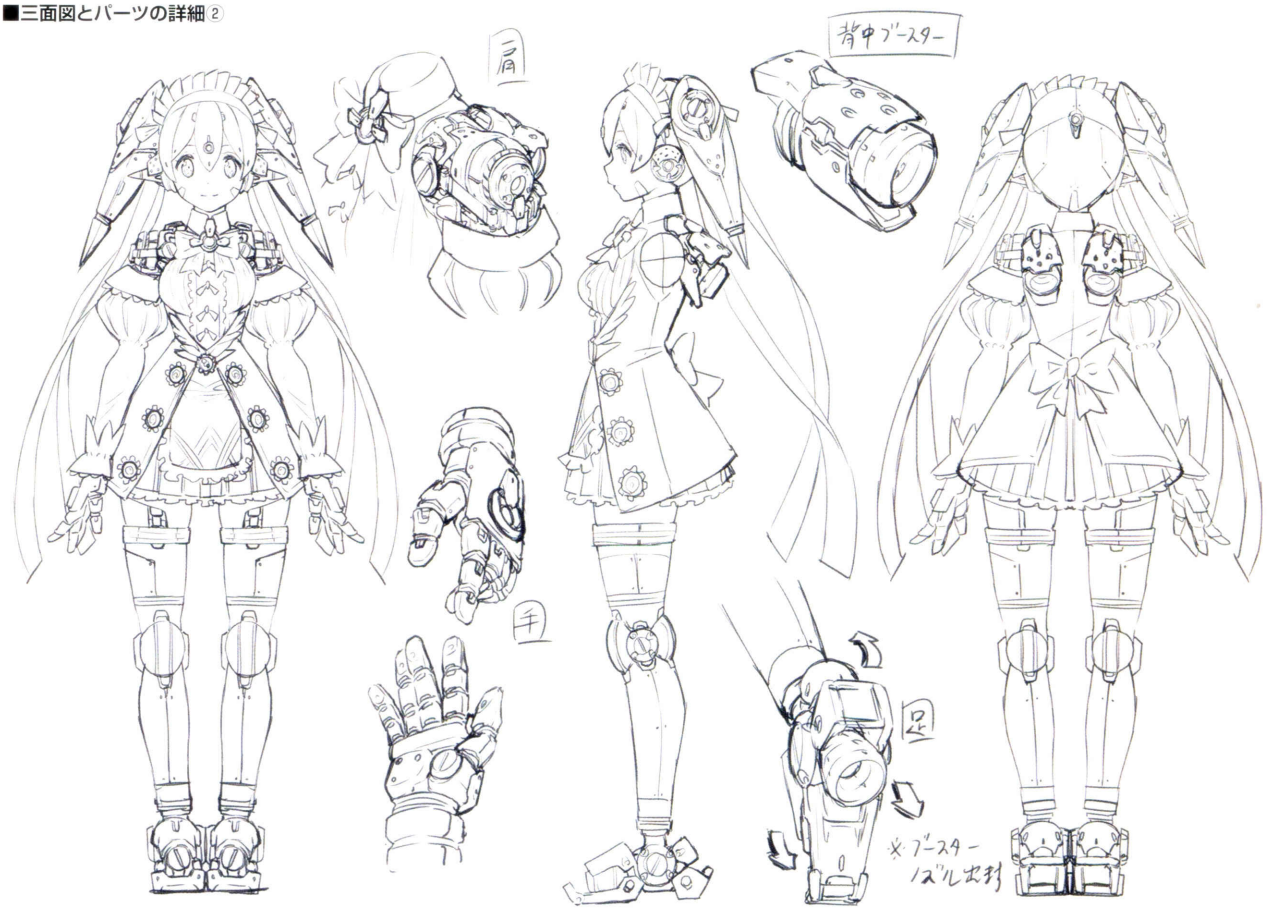
■三面図とパーツの詳細①



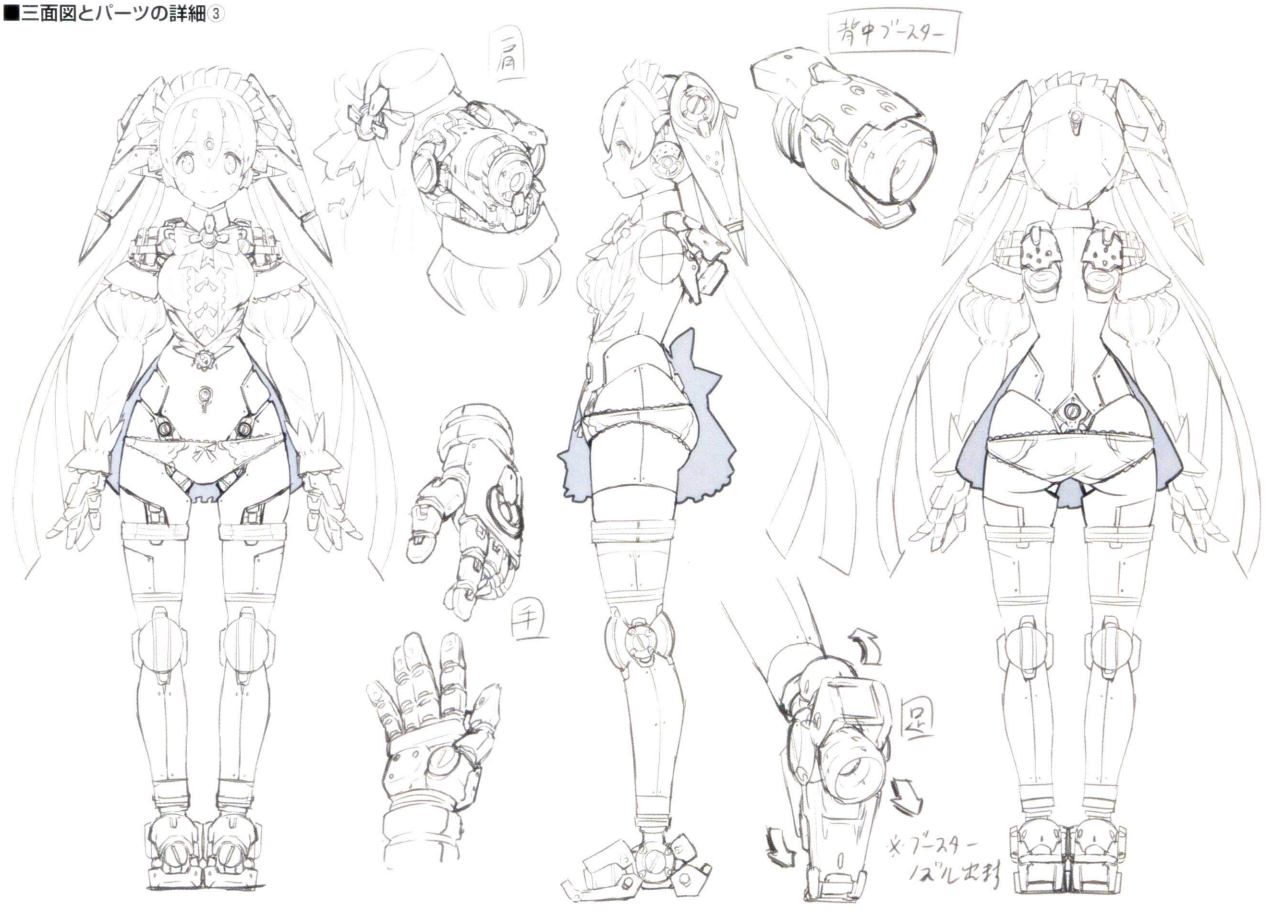
■表情



■三面図とパーツの詳細②



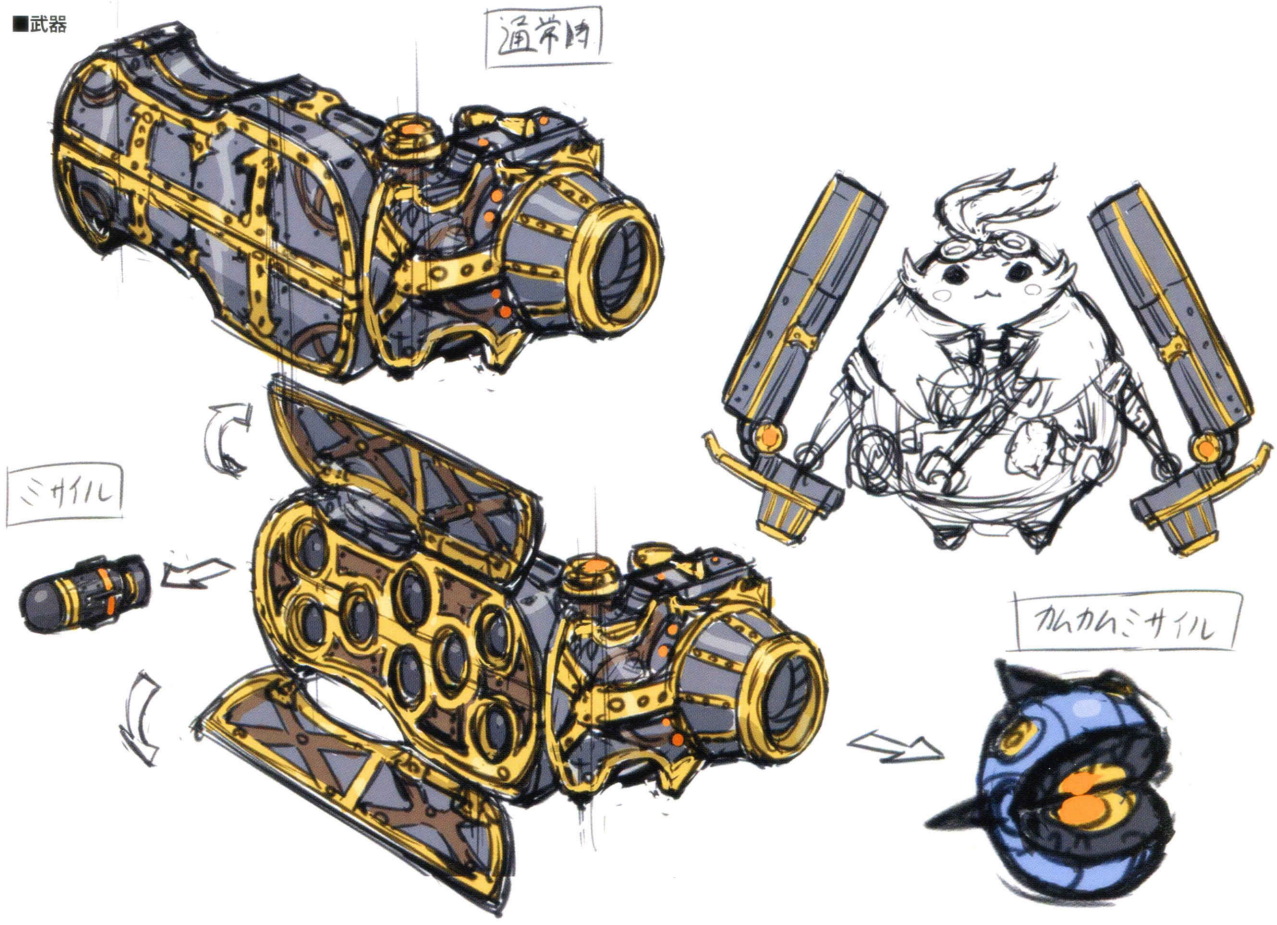
■三面図とパーツの詳細③



■カラーバリエーション案



■武器



ハナJD

■CV：久野 美咲
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：氷（※）
■ロール：攻撃（※）
■武器種：ハナセイバー
■好きなジャンル：主食、織物
■好きなアイテム：めろめろめろんパフェ、風花のコーム
※初期状態。ハナライズのパーツによって変化する

「ご主人がハナを
大切にしてくれる
からですも」

◆大人の女性に進化した第3形態

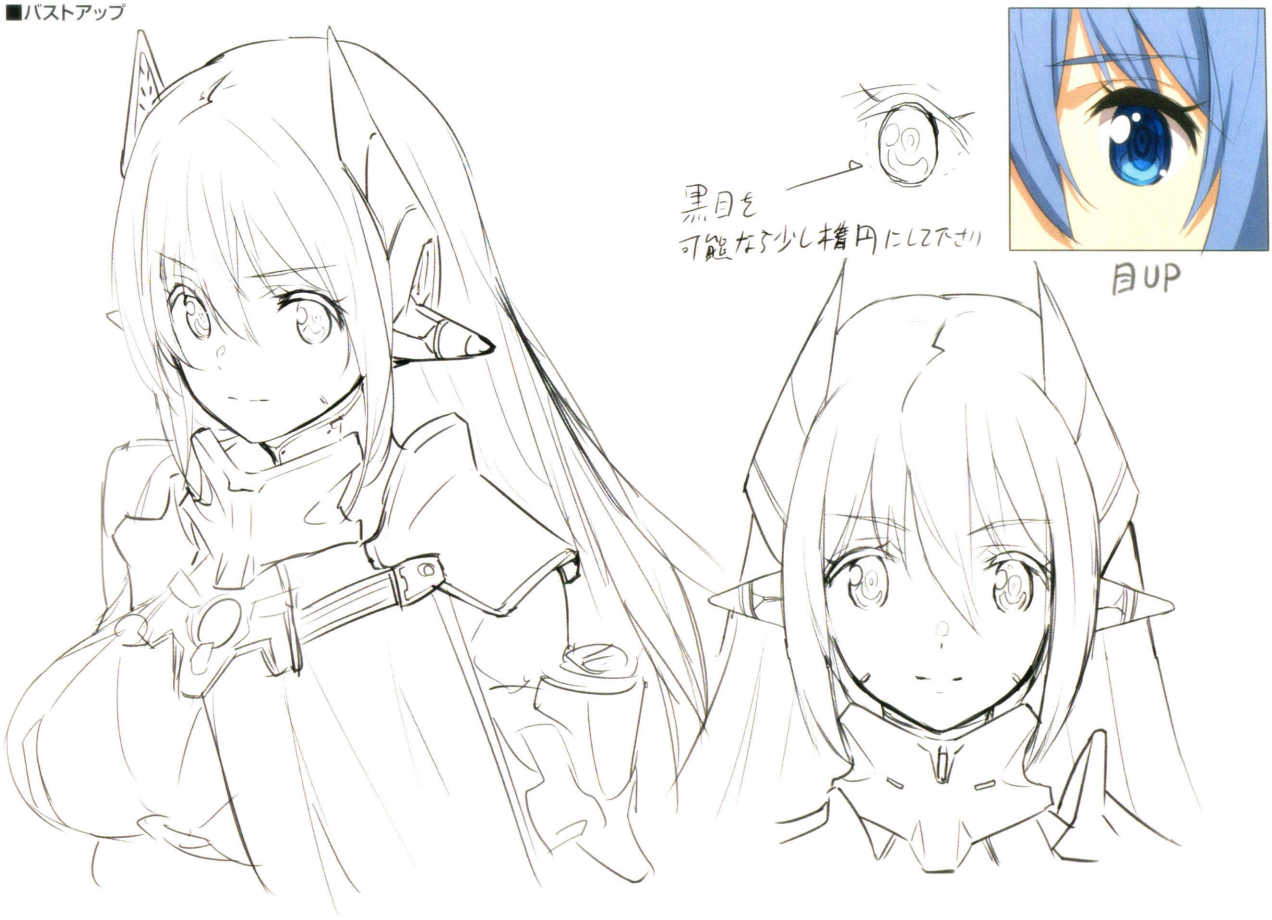
ハナの第3形態。ハナをよりアダルティな女性にするため、トラとタテゾーが力を合わせて開発を進め、レックスたちの協力も得てパワーアップさせた姿。正式名称は「Judgment Day（ジャッジメント・デイ）モード」で、略してJDモードと呼ばれる。トラ曰く、モード名は「スペルビアの温泉に左足から入るか右足から入るか悩んでるときにふと思いついた」とのことで、ハナ本人からは大した由来ではないと一蹴されていた。JKモードからさらに成長を遂げ、ロングヘアをなびかせた大人の女性のような外見に。性格面に大きな変化はないが、やや落ち着いた口調で話すようになっている。武器はハナセイバーというエーテルの刃を使用。なお、攻撃の際に「ハナ・イグニッション」や「ハナ・アンリミテッド」といった横文字を多用するが、ハナ本人はその意味をよくわかっておらず、「かっこいいから」という理由でトラがつけただけとのこと。



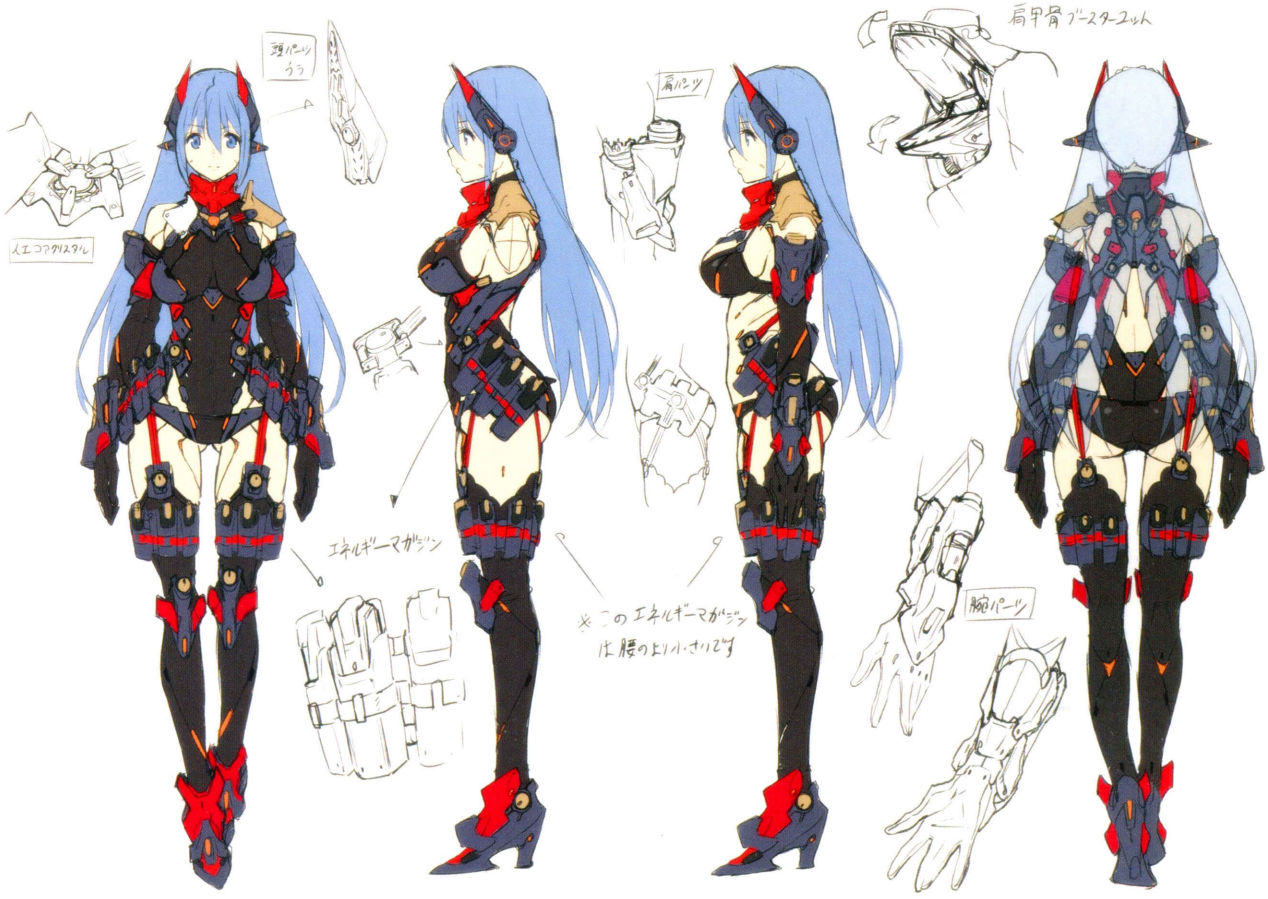
Illustrator's Comment

ハナの完成系のJDは、ブネウマのつぎに最先端の技術が使われている感じをデザインしました。マントの位置と長さがお気に入りです。ハナシリーズは待機モーションで踊るので、マントの文様はピアノの鍵盤をモチーフにしました。

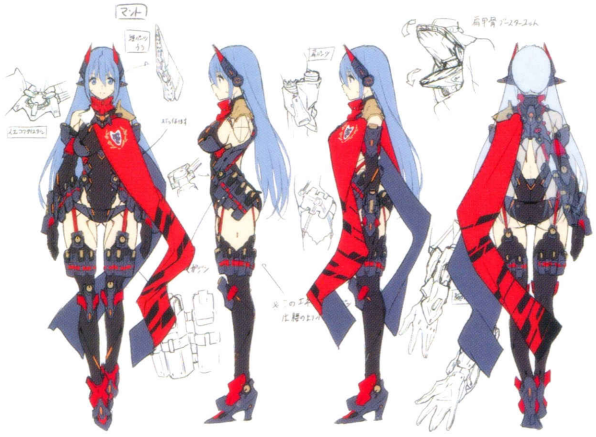
■バストアップ



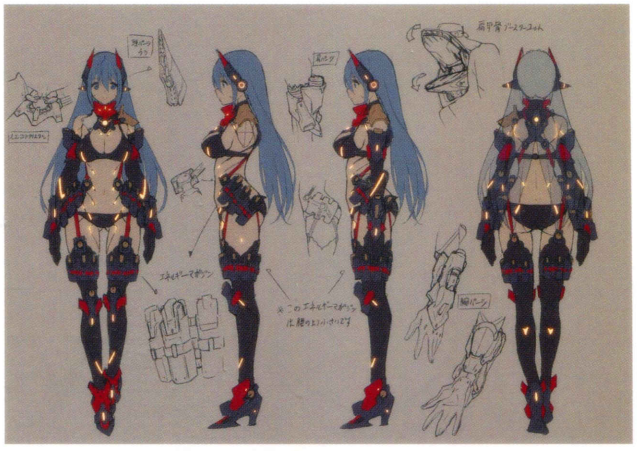
■三面図とパーツの詳細①



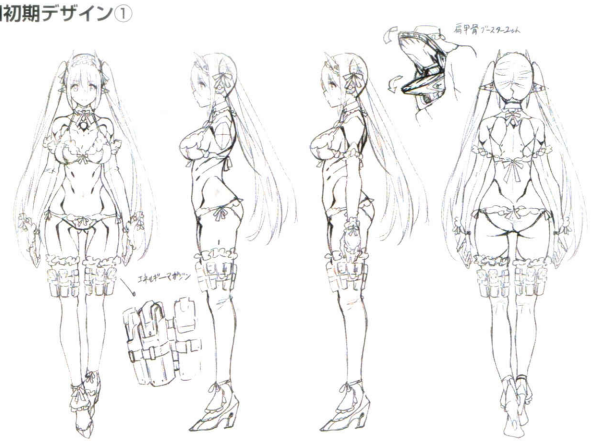
■三面図とパーツの詳細②



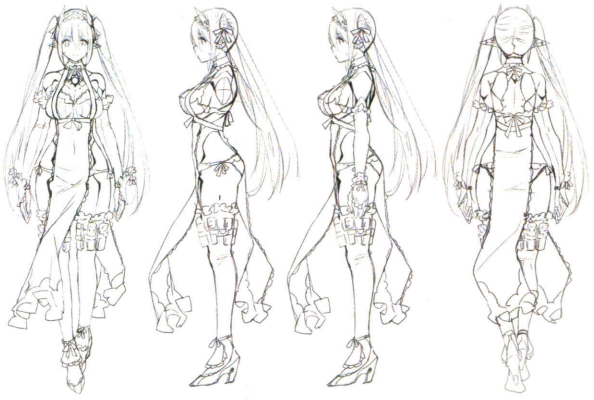
■三面図とパーツの詳細③（発光ライン）



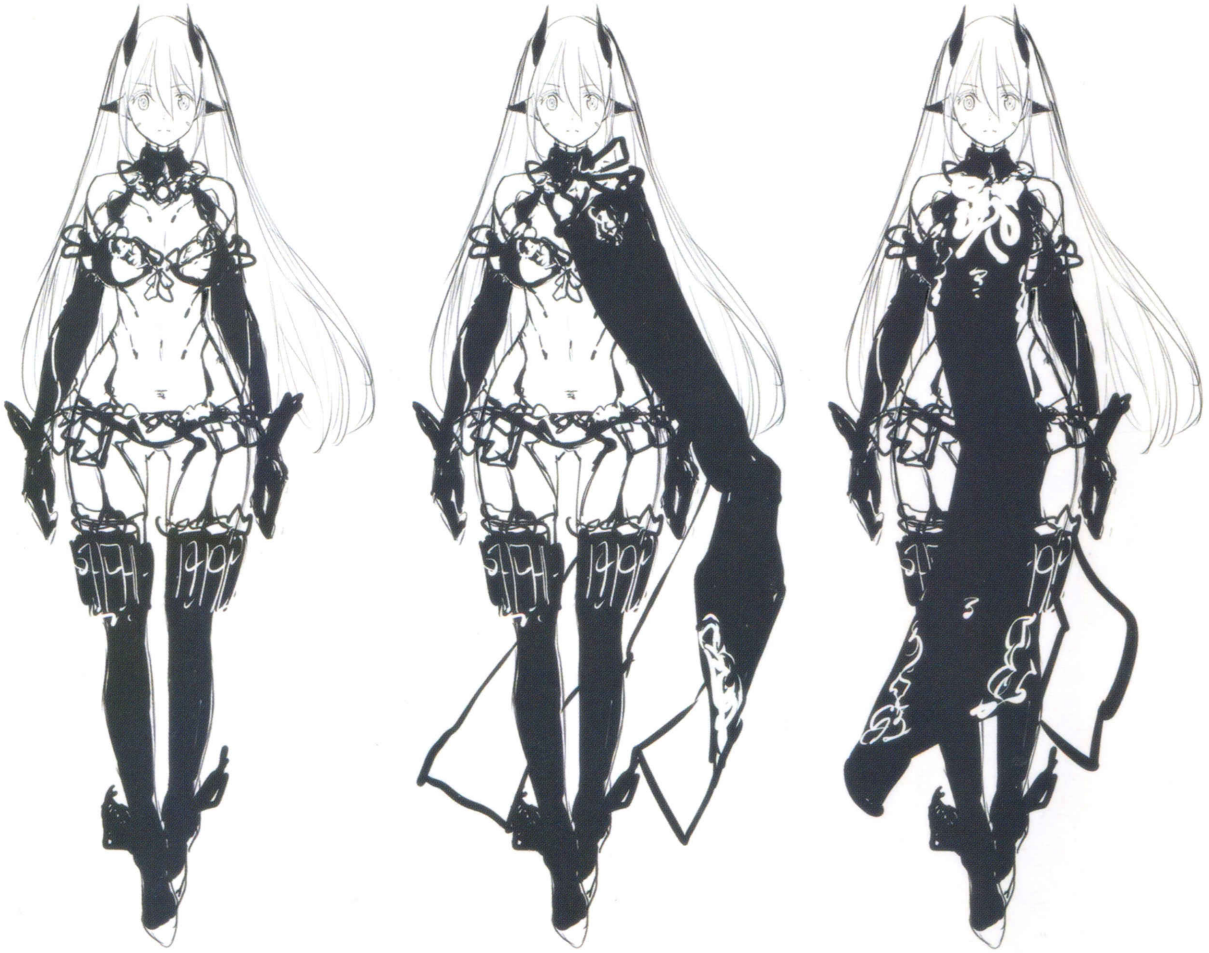
■初期デザイン①



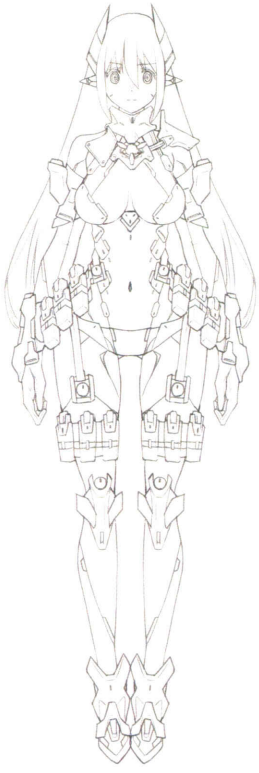
■初期デザイン②



■初期デザイン③



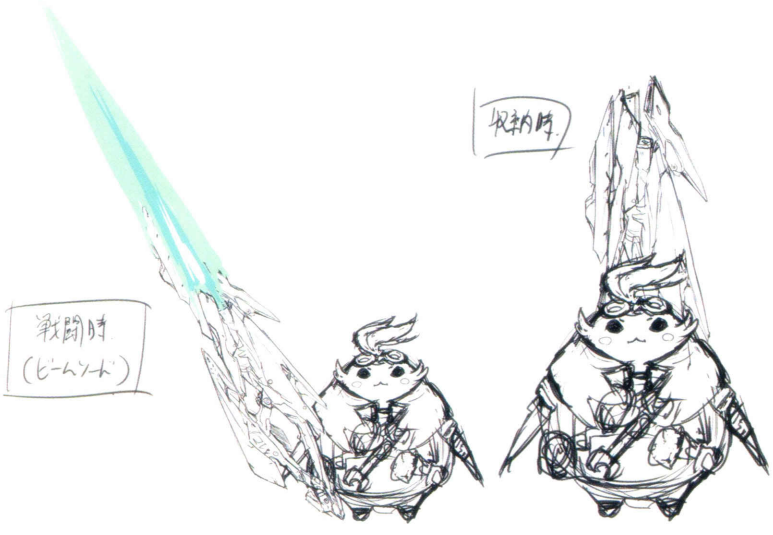
■設計図



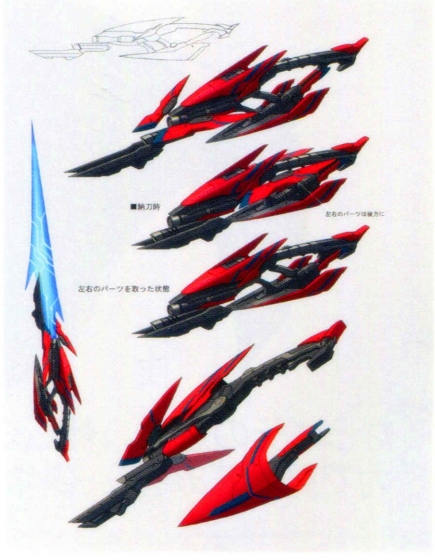
■カラーバリエーション案



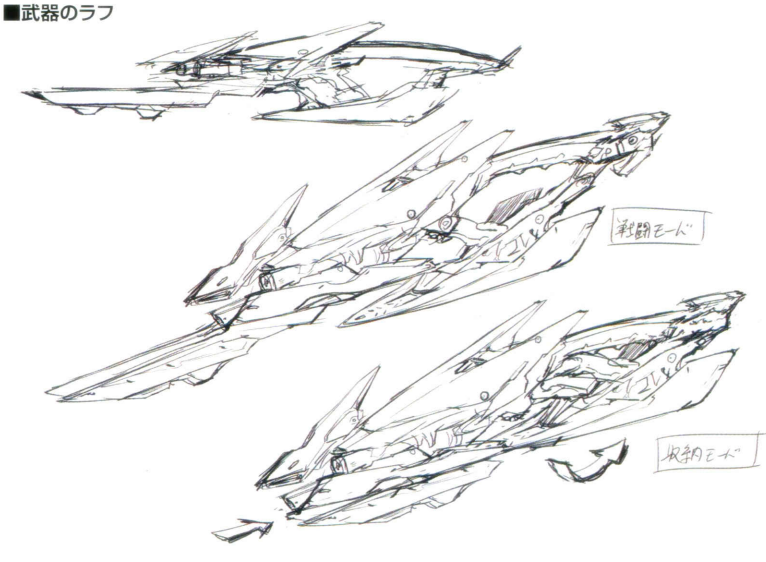
■武器①



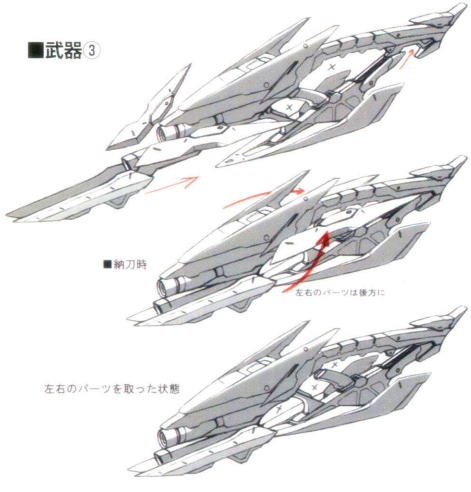
■武器②



■武器のラフ



■武器③



メレフ

■CV：斎賀 みつき
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：野菜、美術
■好きなアイテム：カタレッタ、スチームオルガン



「ならばその意志、等しく力で見せてみろ！　少年！」

◆帝国最強に君臨する男装の麗人

スペルビア帝国の特別執権官。2本の連結型サーベルと青い炎を駆使して華麗に戦う姿から「炎の輝公子」という異名を持ち、スペルビア最強のドライバーとして恐れられている。精悍な顔つきや口調から男性のように見えるが、性別は女性。スペルビア皇族の生まれで、現皇帝のネフェルの従姉にあたる。スペルビアの皇帝は代々男子が継承することが慣例とされているため、ネフェルが生まれるまでは彼の父である前皇帝によって、次期皇帝候補として男子のように育てられてきた。

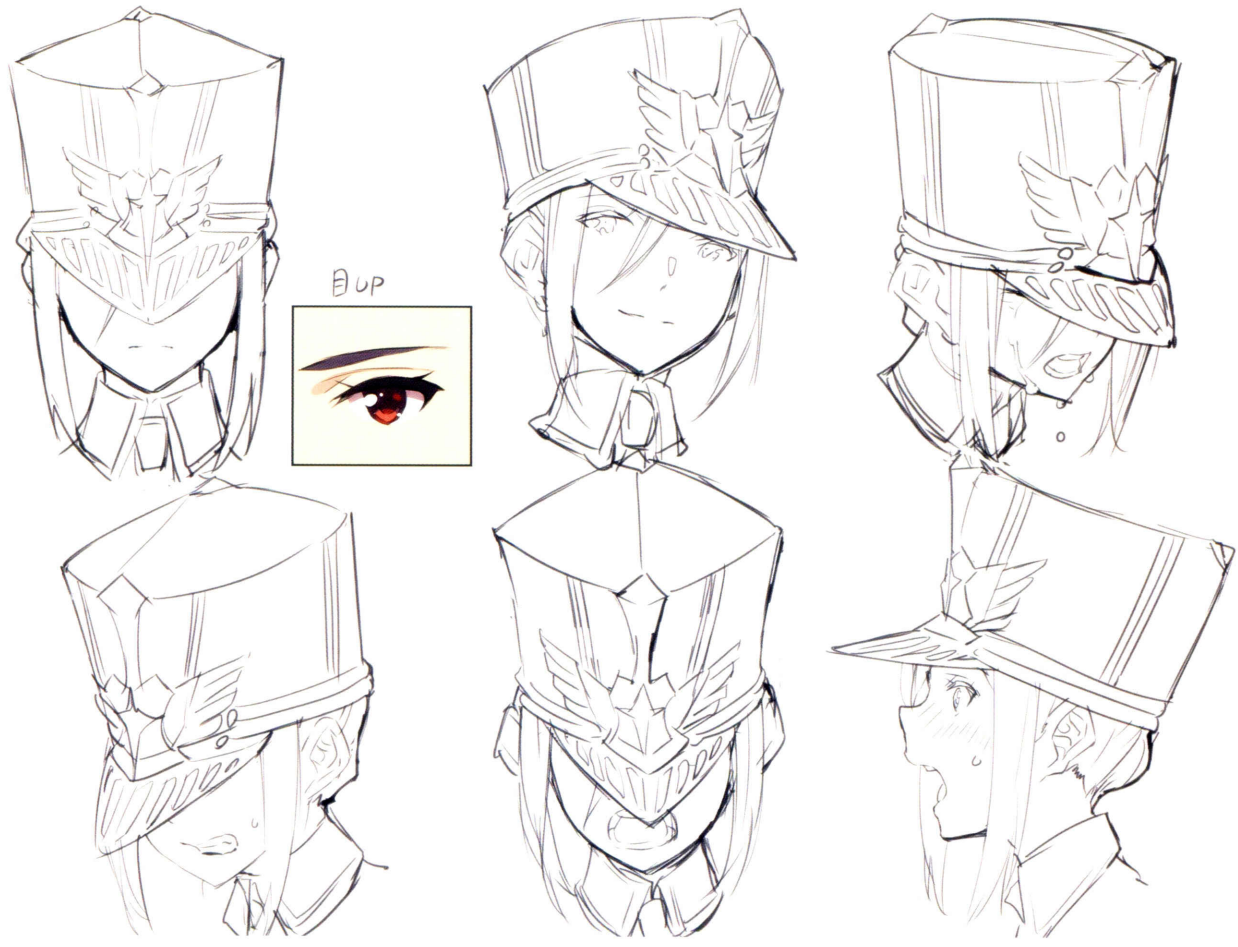
当初は天の聖杯の力を危険視していたため、ホムラを確保しようとレックスたちとは敵対していた。しかし、スペルビアで発生した兵士襲撃事件の際に一時休戦のうえで共闘。さらに廃工場で秘密結社イーラに追い詰められたレックスを助けに現れ、窮地を脱することに成功した。以降は天の聖杯を監視するという名目で、スペルビアの代表としてレックスの旅に同行し、次第に彼の目的や考えに興味を惹かれるようになっていく。その後、ネフェルから天の聖杯とドライバーの護衛をするよう勅命を受け、正式な仲間として旅を続けることとなった。

Illustrator's Comment

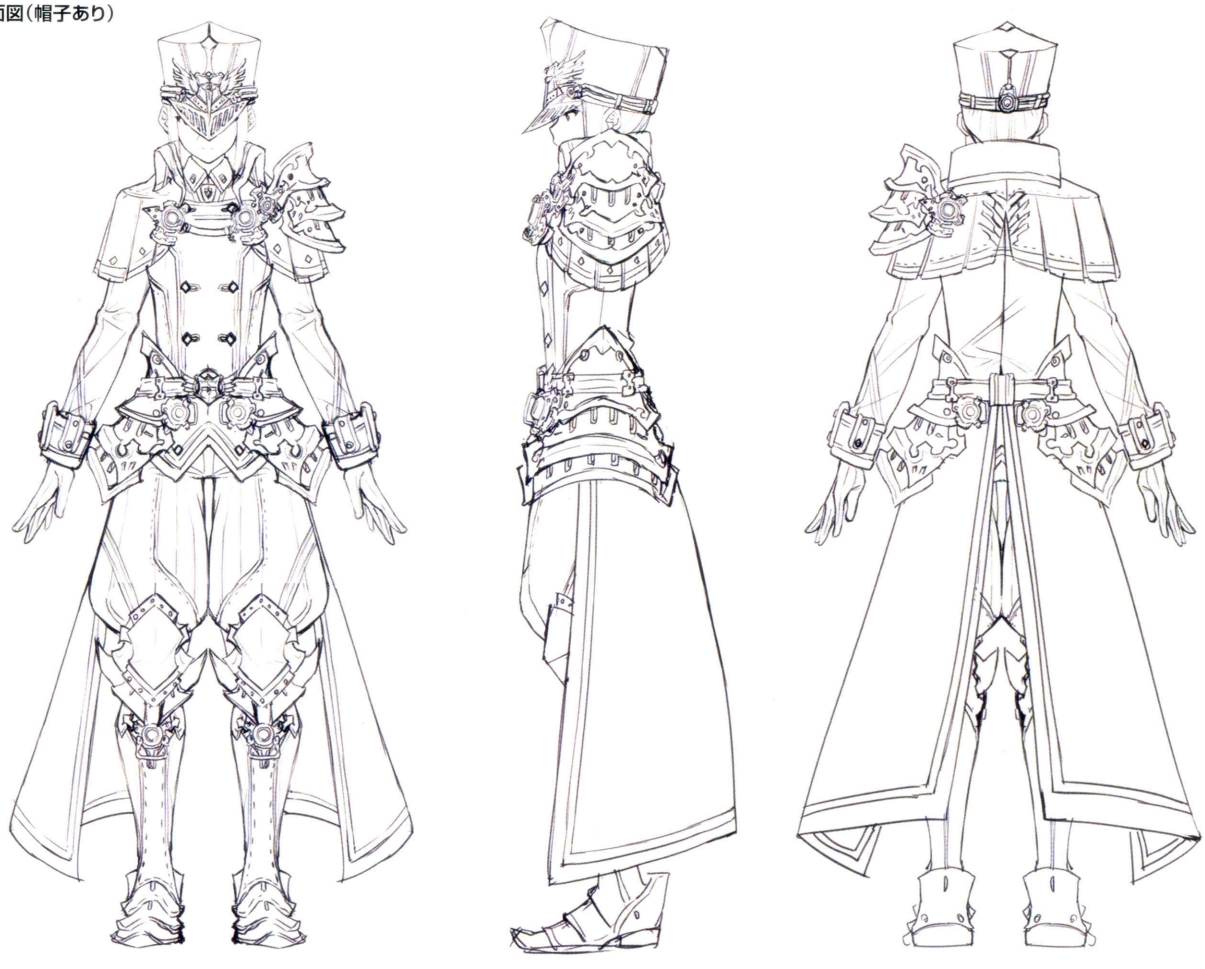
高橋さん(※)のプロットを読んだとき、初めにイメージが浮かんだキャラクターのひとりです。初期案では肩からのマントを羽織っていましたが、モデリングの都合上、腰からのヒラヒラに変更しました。

※株式会社モノリスソフトの高橋哲哉氏。本作の総監督や企画・原案、脚本、作詞を担当。

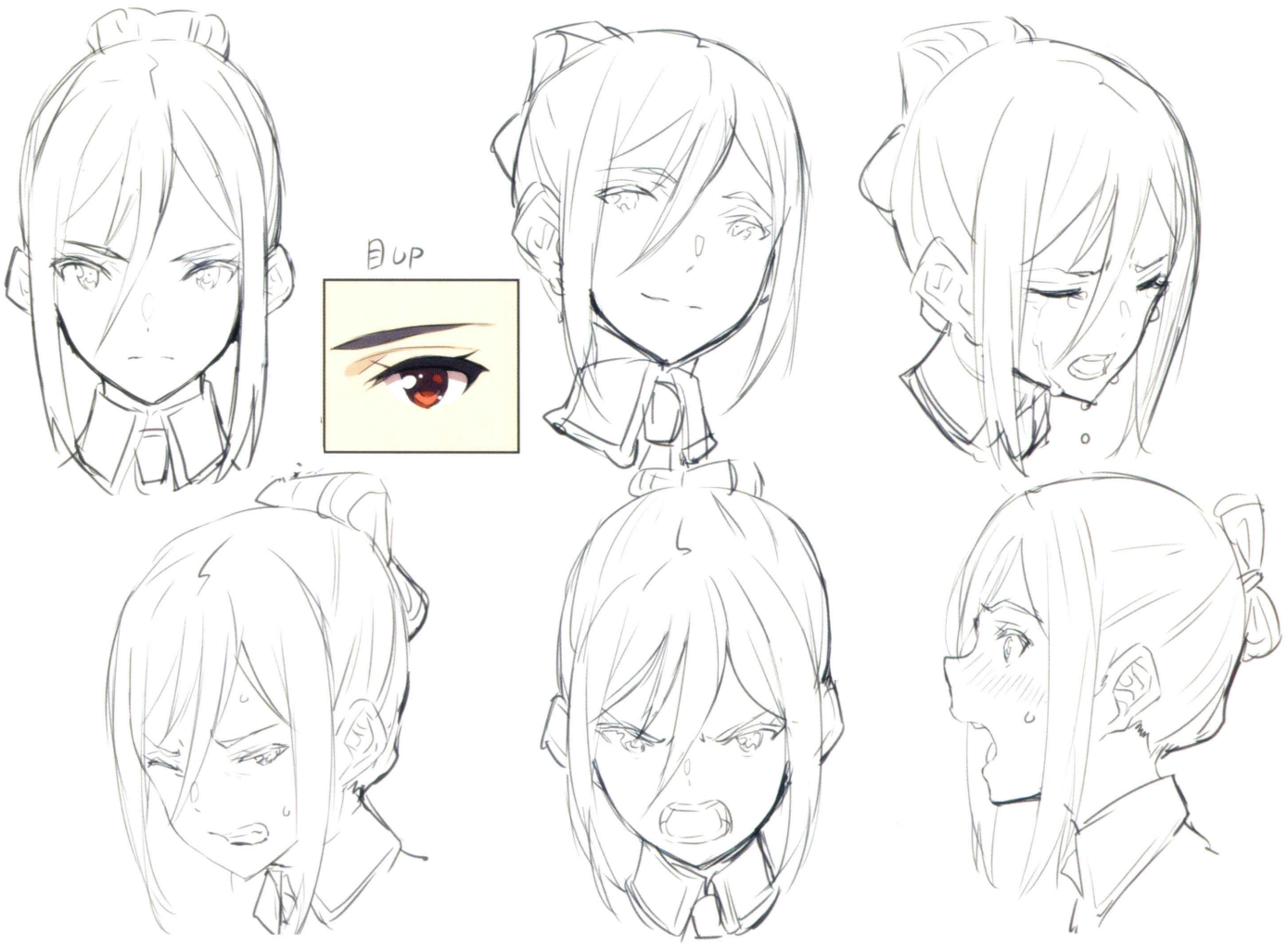
■表情（帽子あり）



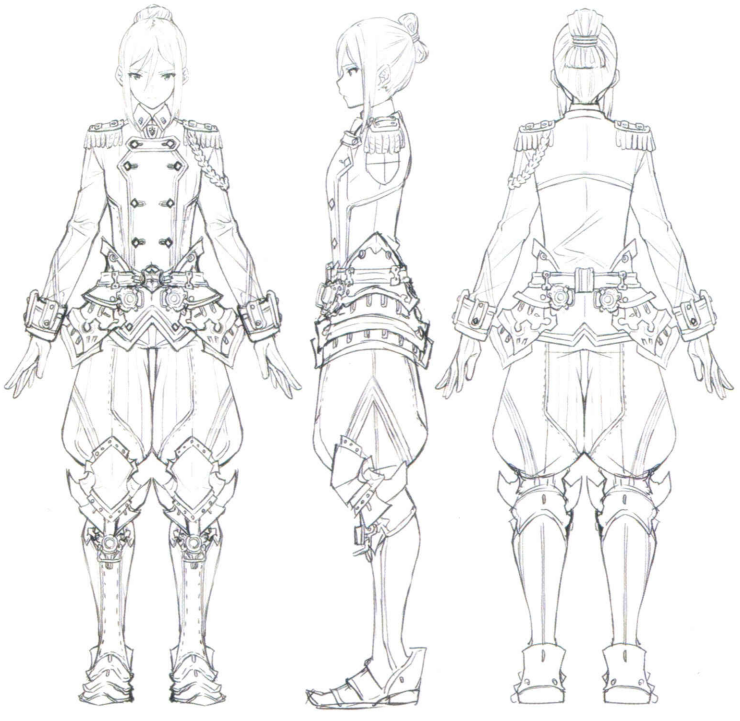
■三面図（帽子あり）



■表情（帽子なし）



■三面図（帽子なし）



■二面図



■初期案



■水着デザイン





■カラーバリエーション案

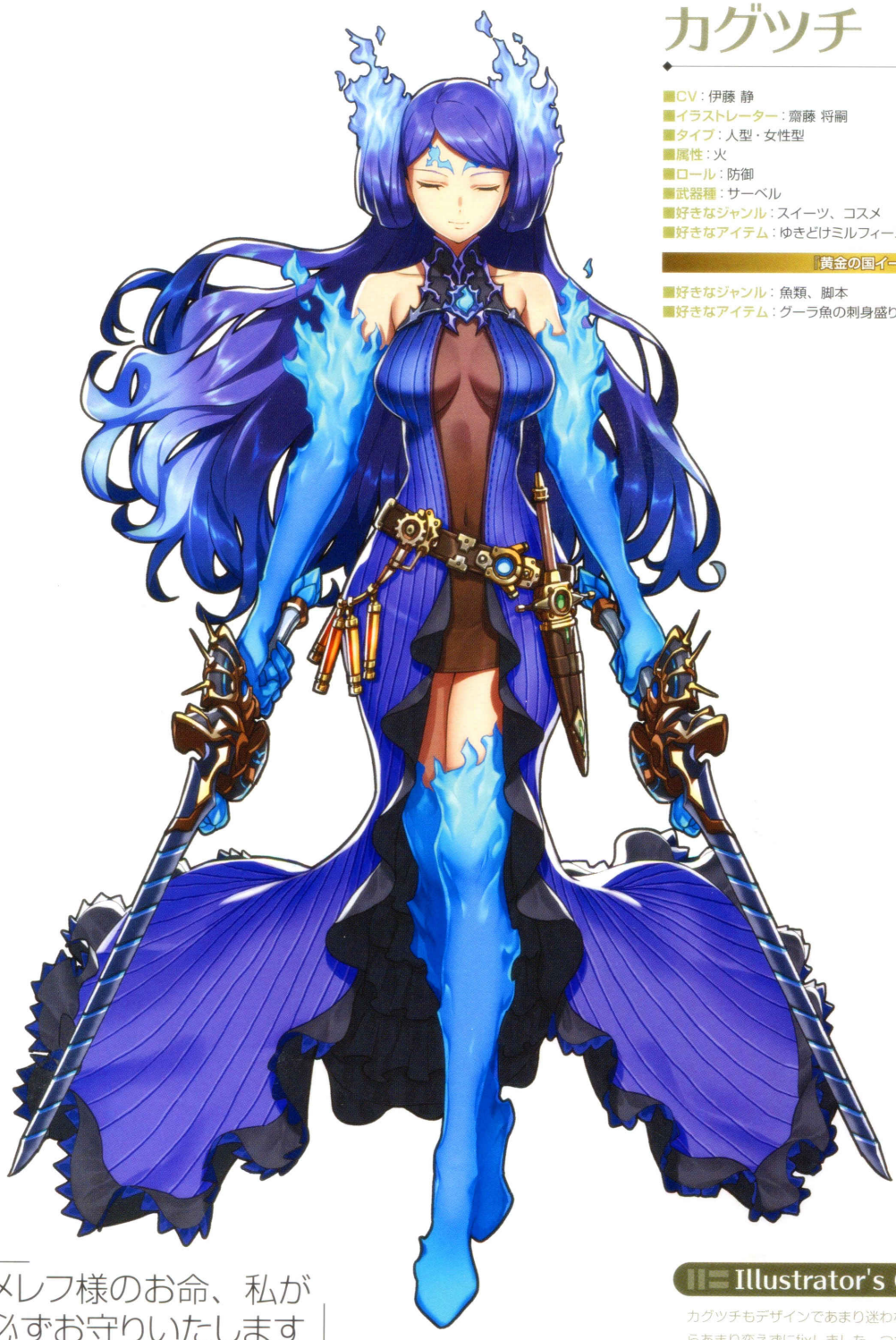


カグツチ

■CV：伊藤 静
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：火
■ロール：防御
■武器種：サーベル
■好きなジャンル：スイーツ、コスメ
■好きなアイテム：ゆきどけミルフィーユ、アルス油ハンドクリーム

『黄金の国イーラ』

■好きなジャンル：魚類、脚本
■好きなアイテム：グーラ魚の刺身盛り合わせ、守るべきもの



「メレフ様のお命、私が必ずお守りいたします」

◆青い炎を操る帝国最強のブレイド

メレフに仕える女性型ブレイド。身に纏っている衣装が示すように、メレフの異名にもなっている青い炎を操る能力を持つ。スペルビア帝国においては特別なブレイドで、「スペルビアの宝珠」とも呼ばれている。スペルビア最強のブレイドとして知られており、その戦闘能力がメレフがいない状態で単独行動をしても並のブレイドが敵わないほど。またブレイドとしては非常に珍しく、スペルビア内に彼女自身の役職を持つ。ブレイドが一度コアクリスタルに戻ると記憶をすべて失ってしまうのはカグツチも例に漏れずだが、彼女が事細かに記した日記がスペルビアの公式資料として保管されており、過去の自分を確認できる。

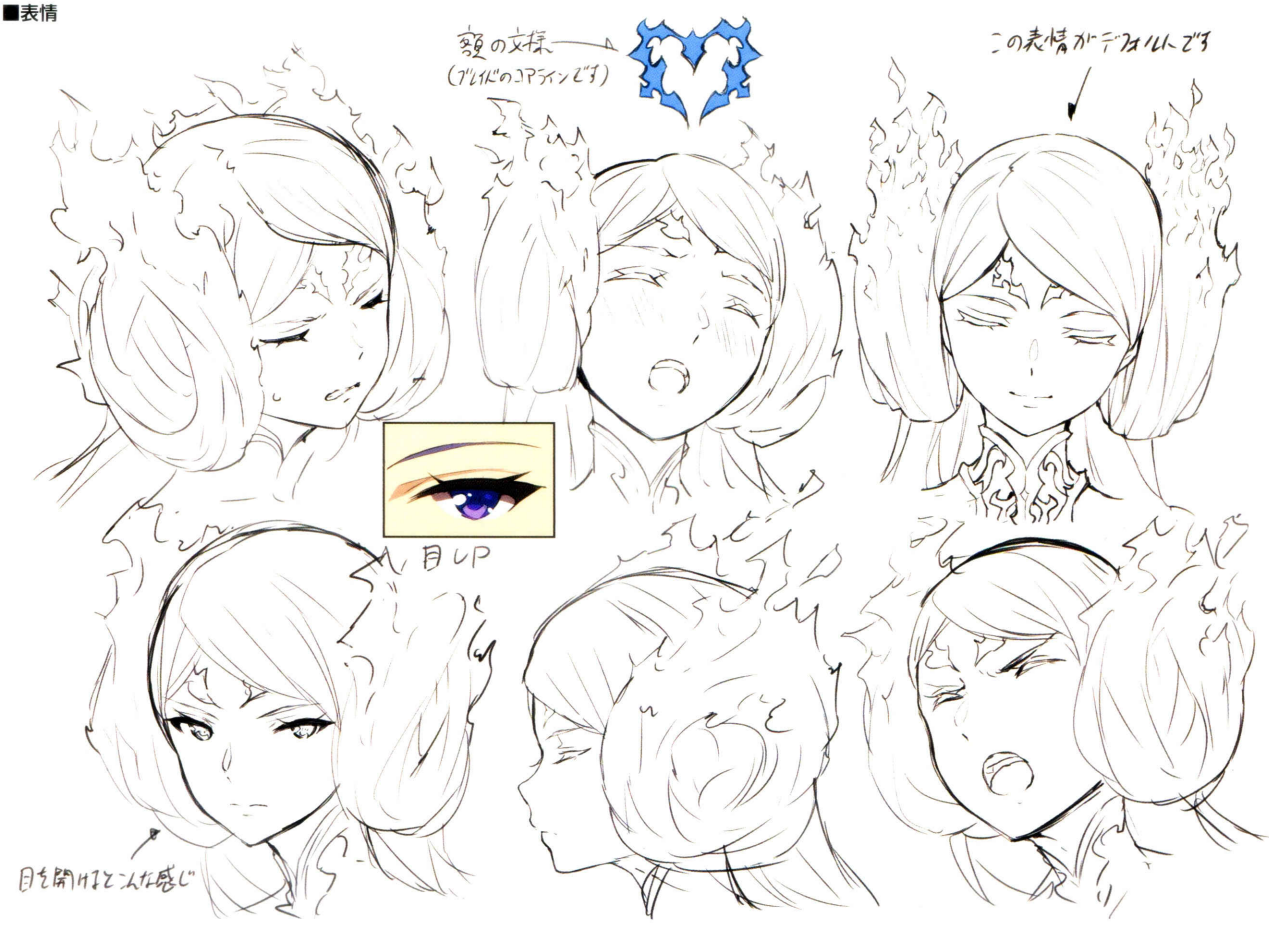
『黄金の国イーラ』

ワダツミとともにスペルビア皇帝に代々受け継がれるという伝統があるため、500年前は当時の皇帝だったユーゴのブレイドとして仕えている。ワダツミがユーゴのことをそばで護衛しているのに対し、カグツチは単独行動することもしばしば。実力は確かなものがあるが、計略を絡めた戦闘スタイルを主とするため、真っ向から勝負を仕掛けるヒカリとは馬が合わずにいる。

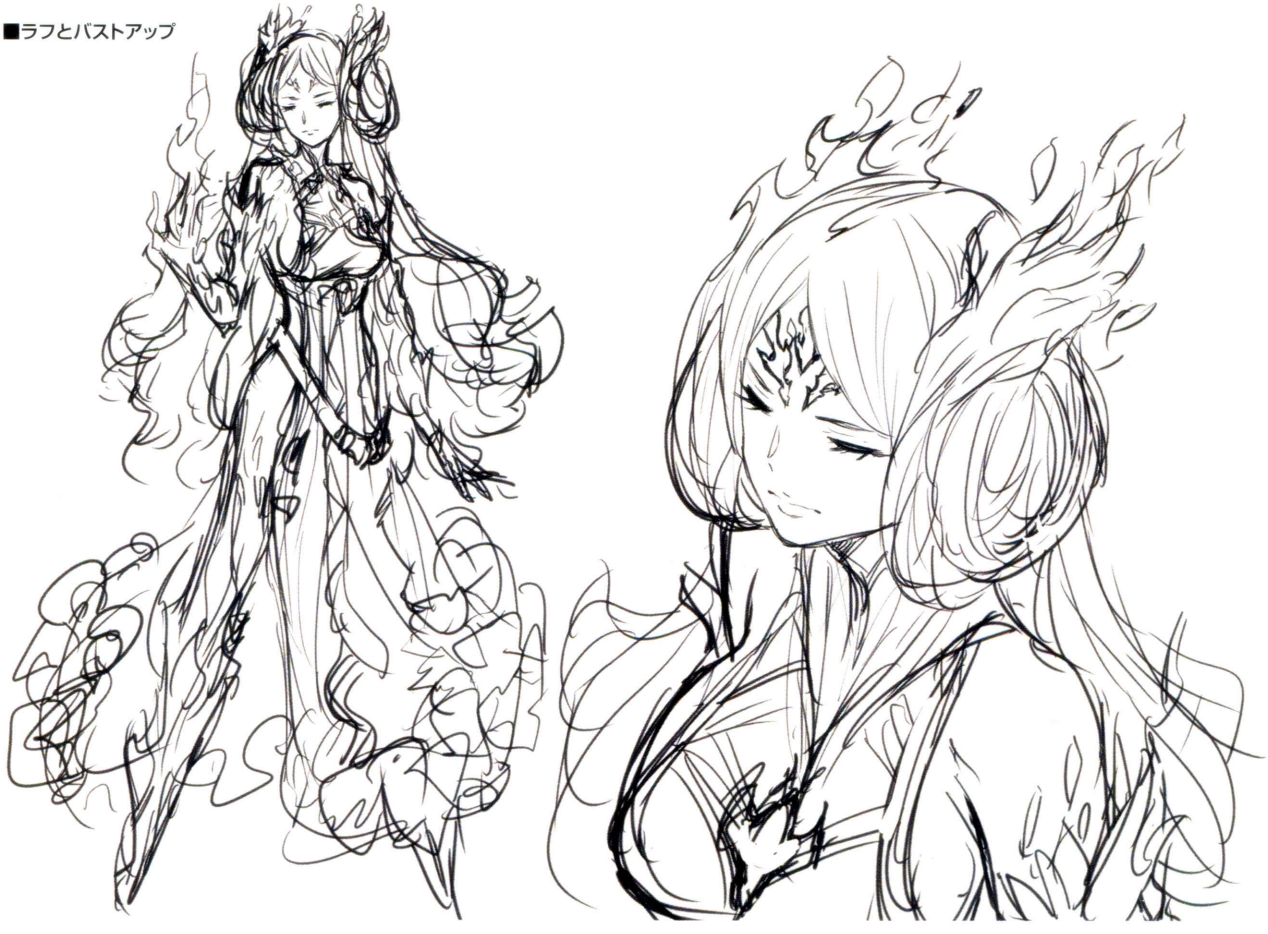
Illustrator's Comment

カグツチもデザインであまり迷わなかったですね。ラフ案からあまり変えずにfixしました。つねに目を開けている案もありましたが、結局目は閉じたままになりました。

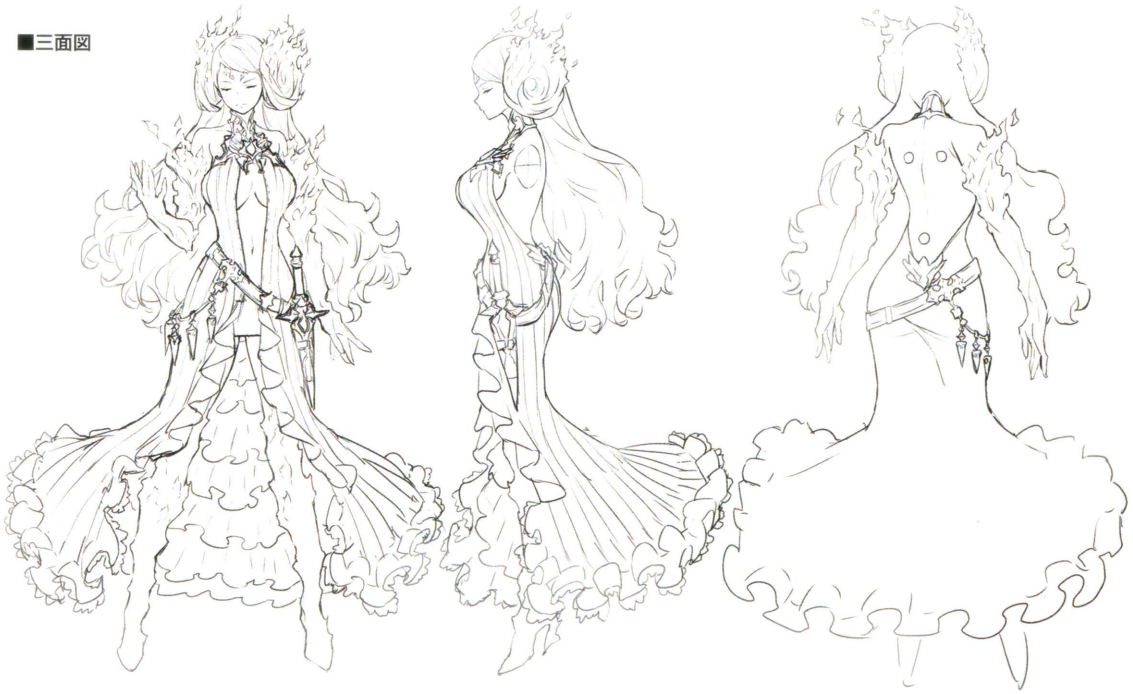
■表情



■ラフとバストアップ



■三面図



■コアクリスタル



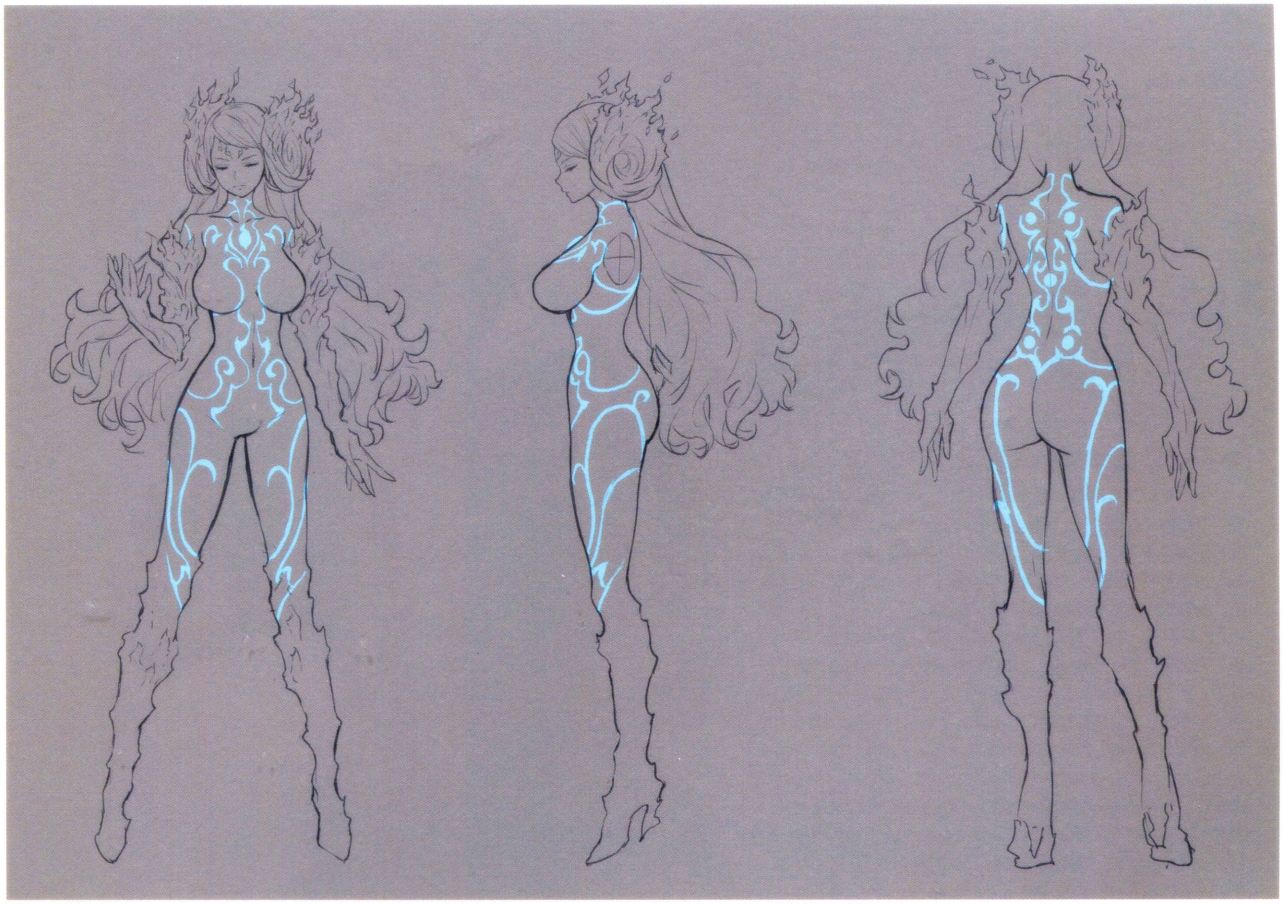
■カラーバリエーション案



■水着デザイン



■発光ライン



■武器



ジーク

■CV：津田 健次郎
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：肉類、織物
■好きなアイテム：英雄アデル焼き、雪花水晶の壺

「どや？　ワイがちょっと
本気出したらこんなもんや」

◆不運に負けない流れ者のドライバー

亀をデザインした眼帯と身の丈ほどもある大剣、そして関西弁が特徴的なドライバー。「雷轟のジーク」という二つ名の通り、激しい雷による攻撃を得意とする。天の聖杯を狙って、レックスに何度も戦いを挑んできた。なお凄まじい不運の持ち主のため、戦闘後には必ず悲惨な目に遭っている。

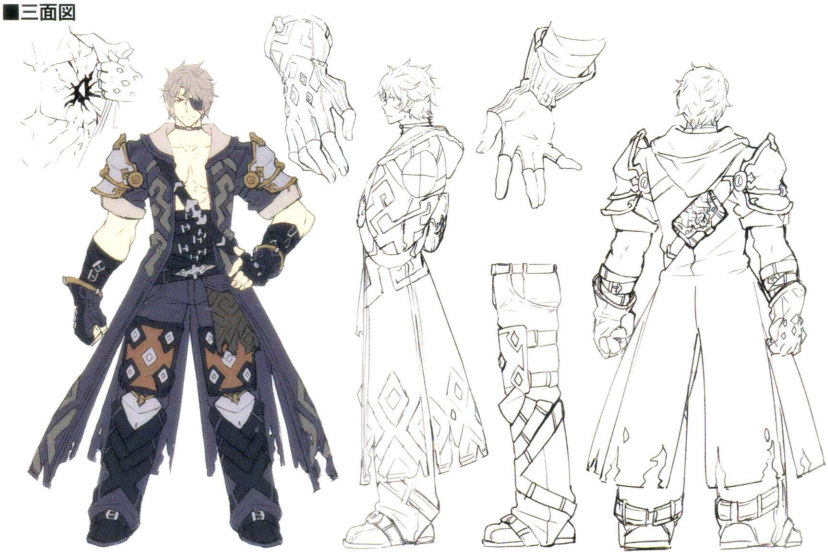
「ジーク・B・極・玄武」は本名ではなく、本人がかっこいいと思って名乗っている真名。その正体はルクスリア王国の第一王子で、本名は「ジーフリト・ブリューネ・ルクスリア」。鎖国を貫くルクスリアに嫌気が差して出奔してから、10年に渡って世界を救う方法を探しながら各地を転々としてきた。瀕死の重傷を負っていたところをアーケディア法王庁に救われ、サイカのコアクリスタルの一部を移植するという特殊な手段によって一命を取り留めると、ブレイドイーターとして新たに歩み始める。レックスたちに戦いを挑んだのも、実は世話になっていたアーケディアに自ら見定め役を買って出たものだった。巨神獣兵器の暴走事故後の首脳会談を終えた後、ルクスリアへ帰国。父であるゼーリッヒ国王からの依頼で改めてレックスに同行する。



Illustrator's Comment

ジークの初期案では日本刀を持っていましたが、シンとかぶるので大剣になりました。決定稿では肩幅を少し広げて頼もしさを出しました。

■三面図



■立ちポーズのラフ



■表情



■眼帯



■デザイン案

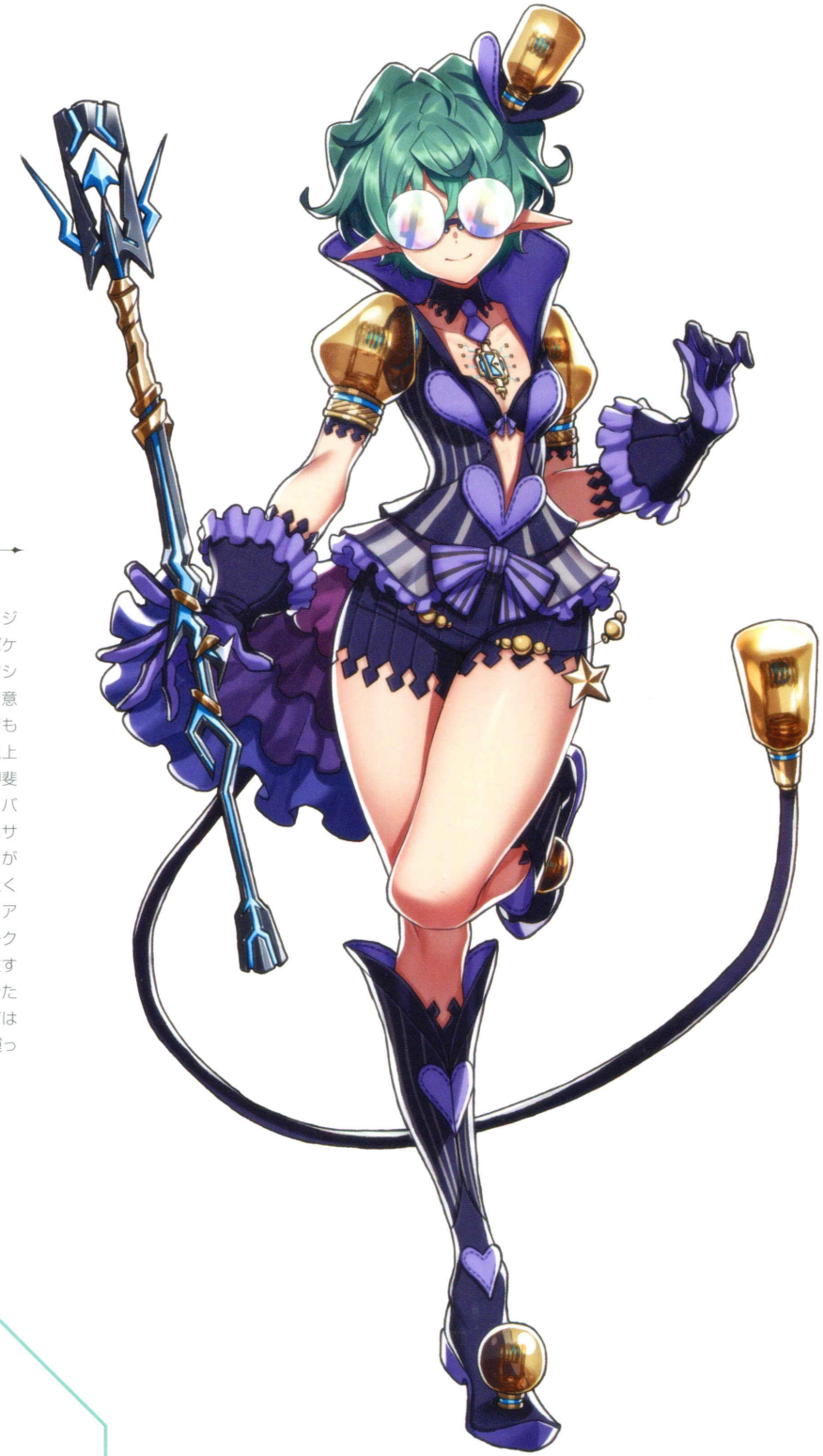


■カラーバリエーション案



サイカ

■CV：広橋 涼
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：攻撃
■武器種：大剣
■好きなジャンル：肉類、書物
■好きなアイテム：マヨヤキタコ、ムーンスターリップ

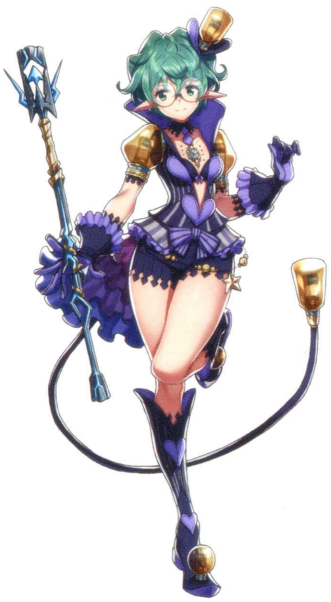


「なんせウチの王子様、めっちゃ運が悪うてな」

◆ジークのかけがえない相棒

メガネをかけた少女型のブレイド。ドライバーであるジークと同じく関西弁で話し、彼とは漫才コンビのようにボケやツッコミをくり広げたり、ふたり揃ってオーバーリアクションを見せたりする。ルクスリアの巨神獣であるゲンブと意思疎通でき、雲海から浮上させられる特別なブレイドでもある。ジークがルクスリアを出奔したころから、10年以上に渡ってともに行動しており、まるで母親のように甲斐甲斐しく彼の世話を焼いている。ジークとのあいだにはドライバーとブレイドという関係を超えた強い絆が結ばれており、サイカ自身も彼をひとりの異性として意識している。ジークが旅の途中で瀕死に陥った際は、ジークとの記憶を失いたくない一心で必死に助けようとした。結果的にアーケディア法王庁の手によって自身のコアクリスタルの一部がジークに移植されることになるが、自分の一部が彼の中に存在することに喜びを感じている。本人はジークへの想いをひた隠しにしているが、メレフやカグツチに気付かれて慌ててはぐらかすことも。ただし強い絆とは裏腹に、ジークの不運っぷりや、ネーミングセンスの悪さには辟易している。

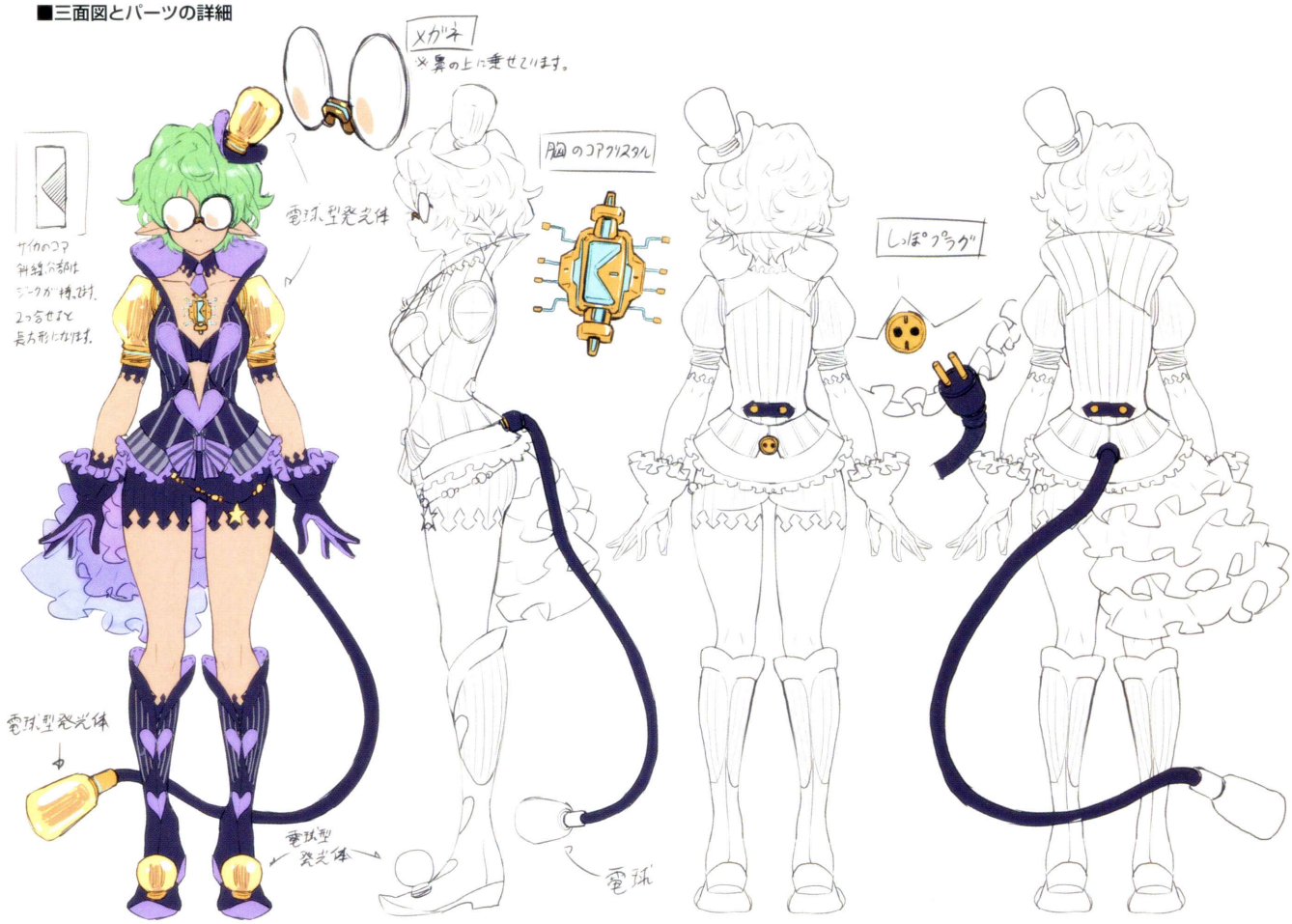
「メガネ通過」バージョン



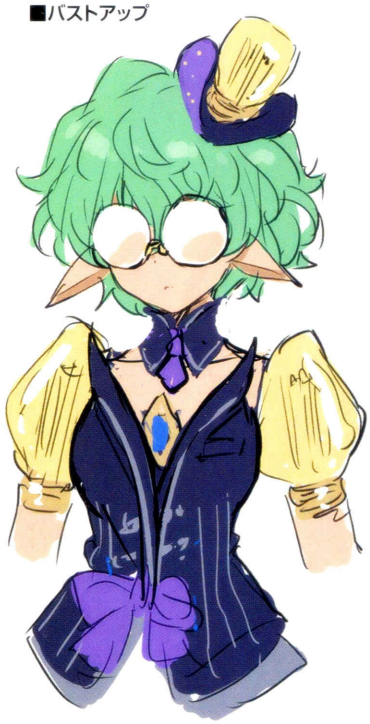
Illustrator's Comment

サイカはいちばん悩んだキャラかもしれません。初期案では避雷針のような棒や丸いレーダーのようなものを付けたりしていました。決定稿は電球をモチーフにしましたが、高橋さんからはブレイドのイメージにぴったりだと言われました。

■三面図とパーツの詳細



■バストアップ



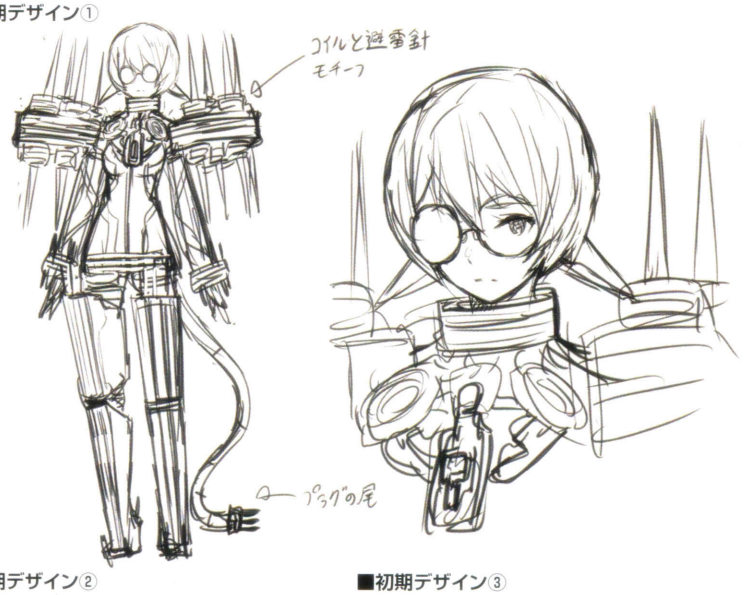
■表情①



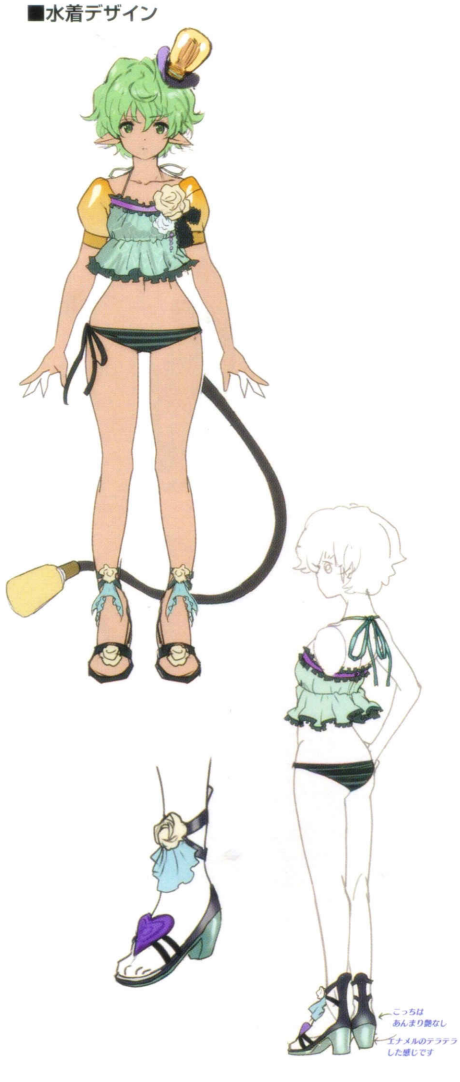
■表情②



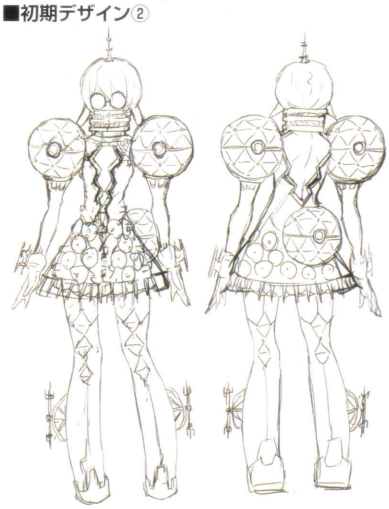
■初期デザイン①



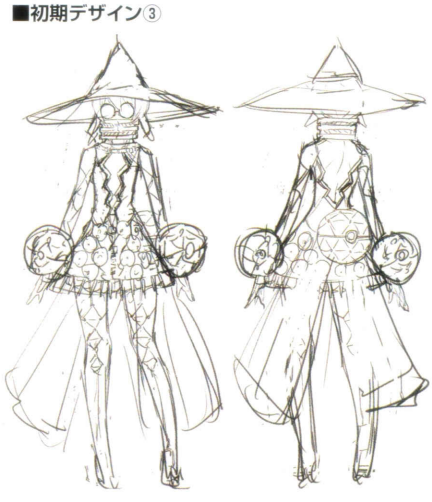
■水着デザイン



■初期デザイン②



■初期デザイン③



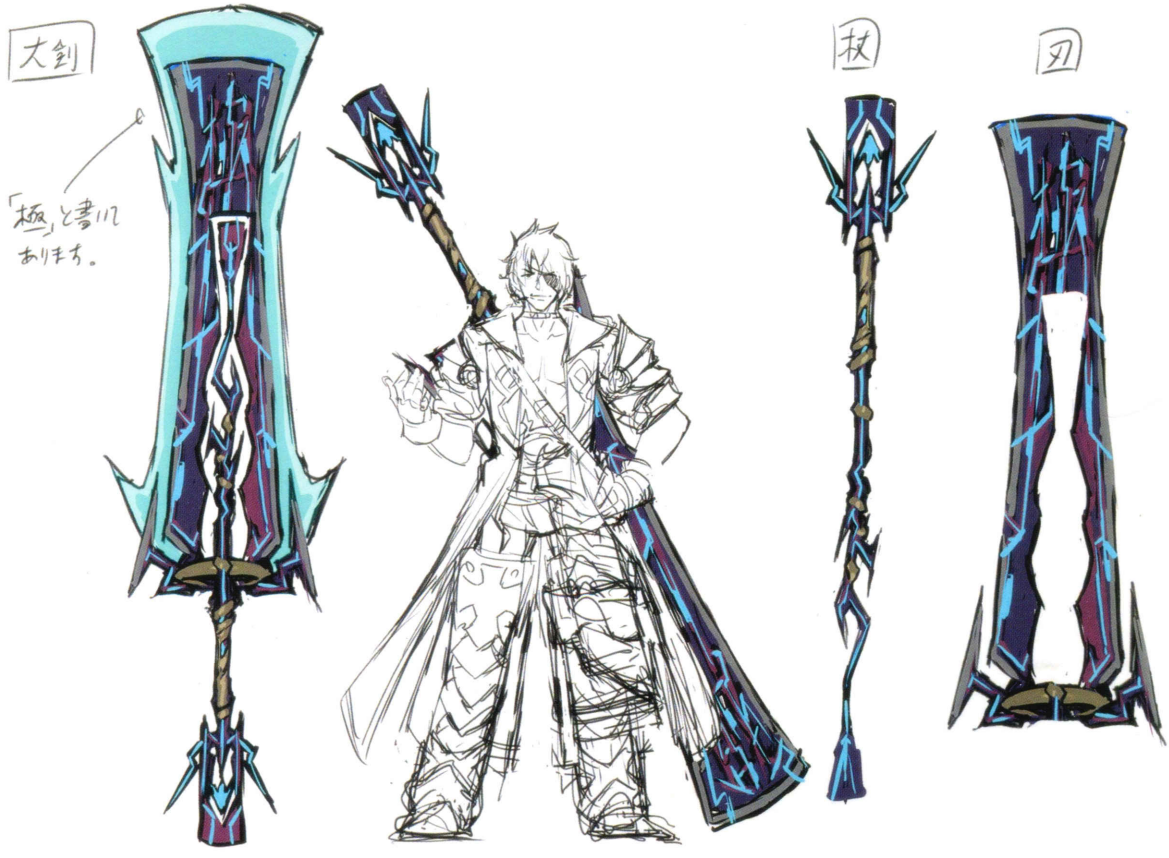
■カラーバリエーション案



■大剣と杖

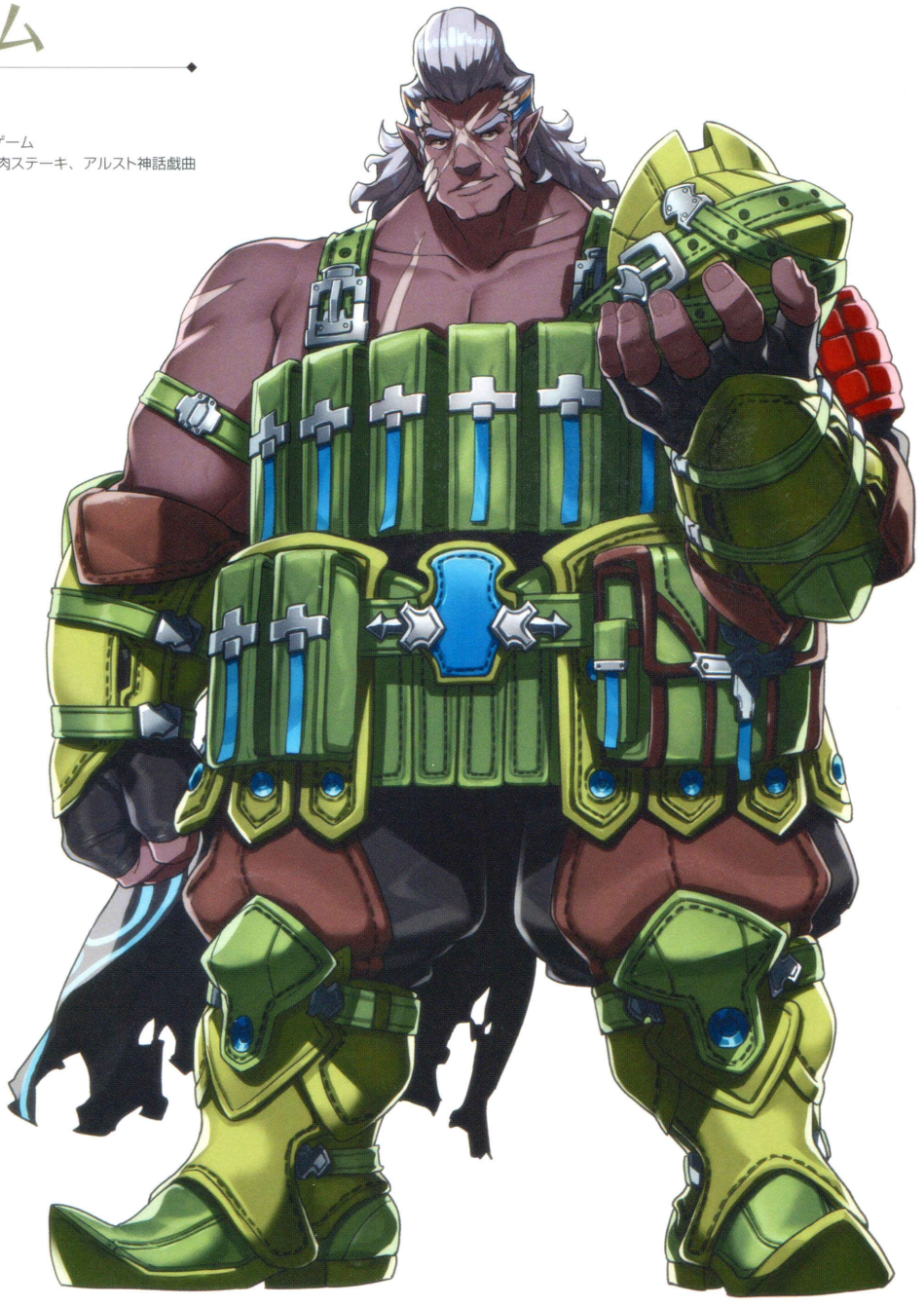


■大剣と杖（ラフ）



ヴァンダム

■CV：玄田 哲章
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■好きなジャンル：主食、ボードゲーム
■好きなアイテム：骨付きアルマ肉ステーキ、アルスト神話戯曲



「いいかぁレックスー！　お前の戦を、戦えー!!」

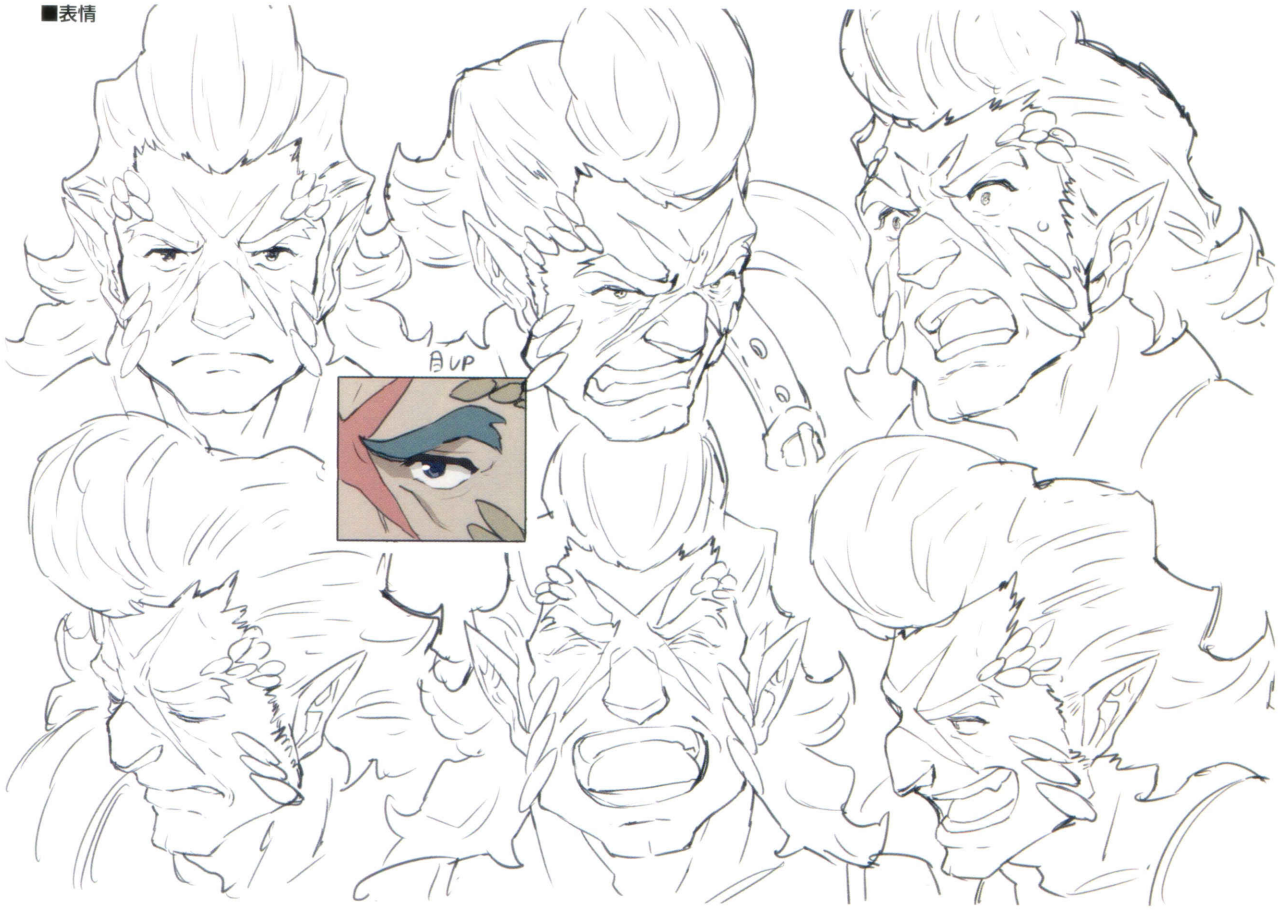
◆豪快で気さくな傭兵団長

インヴィディア烈王国に拠点を置く傭兵団「フレースヴェルグ」の団長。屈強な肉体を誇り、性格も大らかで豪放磊落そのもの。大雑把なように見えて気配りができており、団員の様子などもしっかりと観察している。その度量の広さと確かな実力から、フレースヴェルグの団員はもちろん、ほかの傭兵団からも多大な信頼を寄せられる存在。レックスと初対面時には天の聖杯を巡って争ったが、本気で奪おうとしていたわけではなく彼の実力を確かめるためだった。その後、人智を超えた力を持つ天の聖杯のドライバーであるレックスを一人前にするため、彼に協力する。しかしカラムの遺跡で起きた秘密結社イーラとの戦いで、レックスたちを逃がそうと必死の抵抗を試みるも、メツの力の前に屈してその命を散らす。ヴァンダムの生き様は仲間たちに大きな影響を与え、とくに両親のいないレックスにとっては父親のような存在として心に深く刻まれた。ヴァンダム自身も息子を亡くしており、その姿をレックスに重ねていたことが協力する理由のひとつ。なお「ヴァンダム」という名前は、彼が小さいときに憧れた有名人からとった偽名で、本名は「アクィラ・バローネ・ソル・エステリオーレ」という。

Illustrator's Comment

初期案では決定稿ほどマッチョではありませんでした。キャラクターの個性をシルエットにも出したかったので、大胆に角ばったシルエットにしました。個人的に好きなキャラクターのひとりです。

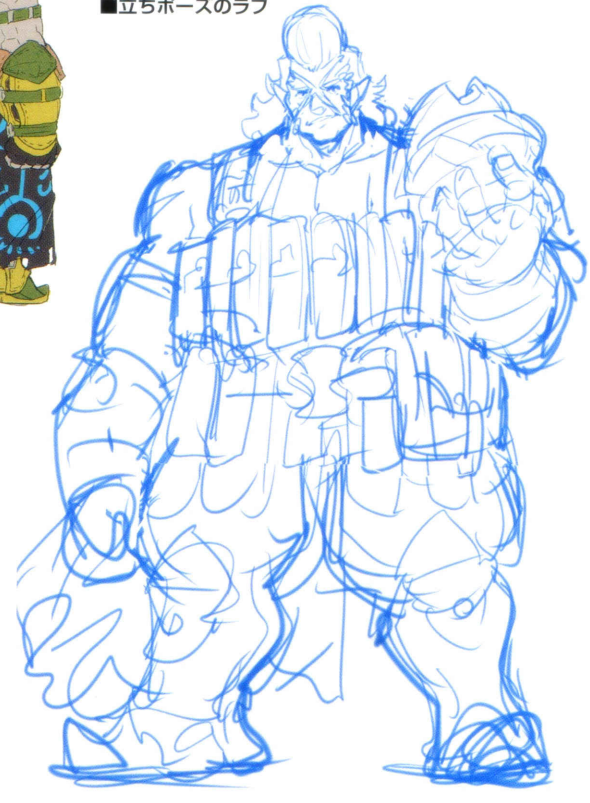
■表情



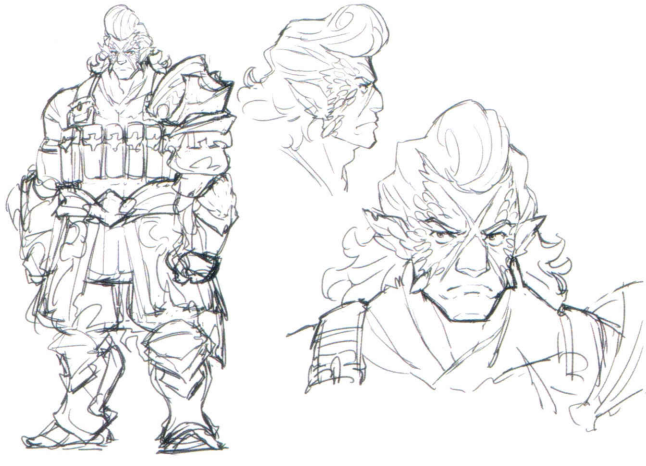
■三面図



■立ちポーズのラフ



■バストアップ



スザク

■CV：藤本 たかひろ
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型
■属性：風
■ロール：攻撃
■武器種：ツインサイス
■好きなジャンル：魚類、ボードゲーム
■好きなアイテム：樹木染めこしまき、アビスタージョンの丸焼き



「その者の意志を継ぐことが、俺がすべきこと」

◆義を重んじる風使い

鳥人のような姿をしたヴァンダムのブレイド。ヴァンダムが武器として使用するツインサイスも、スザクが生み出したもの。ヴァンダムの死後は一度コアクリスタルに戻る。その後、巨神獣内に発生したエーテル瘴気を取り払うためにレックスが同調。激しい風を巻き起こす能力で、いとも簡単に瘴気を取り払うことに成功した。

新たにレックスと同調したことでヴァンダムのブレイドだったころの記憶は失っているが、ヴァンダムの話を聞いただけで、コアクリスタルは奪われたのではなく受け継がれたのだ、と事の経緯をすべて把握するだけの優れた洞察力を見せた。また、義に厚い性格も持ち合わせており、ヴァンダムの意志を継いでレックスを守ることが、自分の新たな使命であると語る。なお、ヴァンダムと同調していたことが影響しているかは定かではないが、口調が彼と似たものになっており、そのことをレックスたちから指摘されていた。

Illustrator's Comment

ビャッコと同じく動物型でとても楽しくデザインさせていただきました。難しかったのは色です。名前の通り初めは赤で塗っていましたが、ヴァンダムのブレイドということで羽に緑色を足しました。顔の青い髭は『ゼノブレイド』シリーズ伝統の直角髭です。

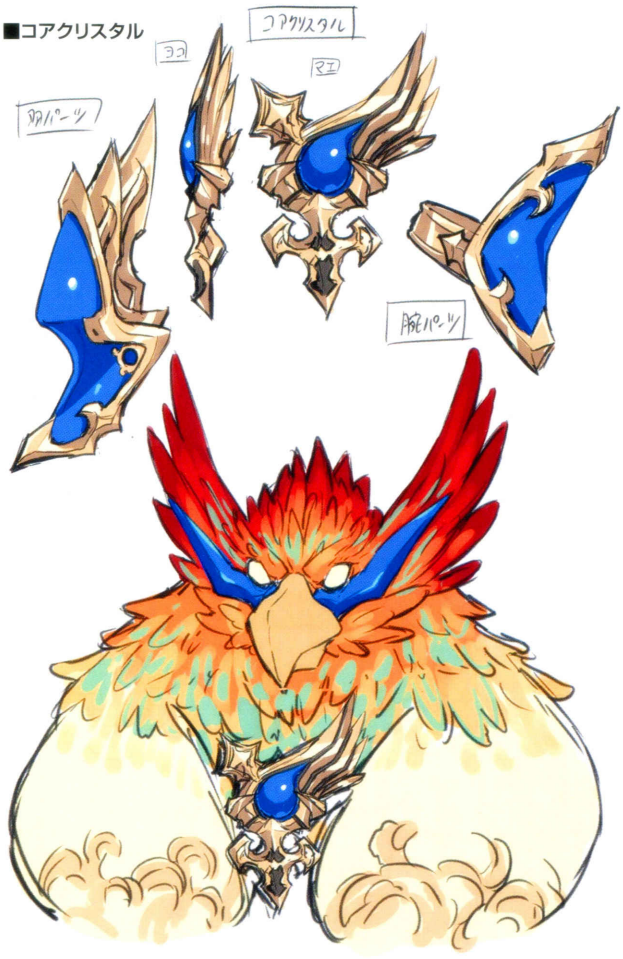
■三面図



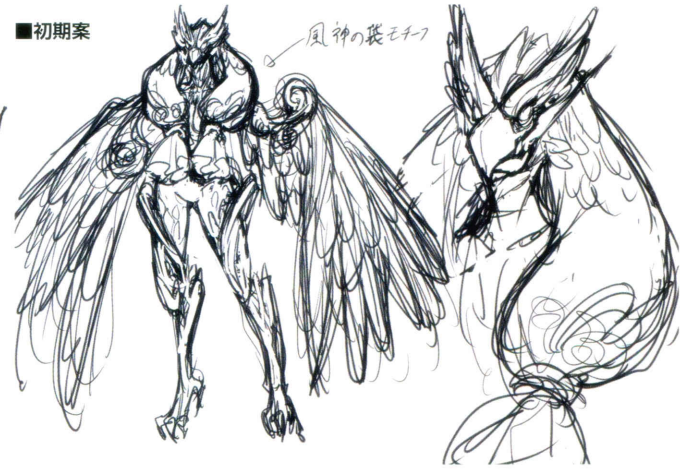
■身体の詳細



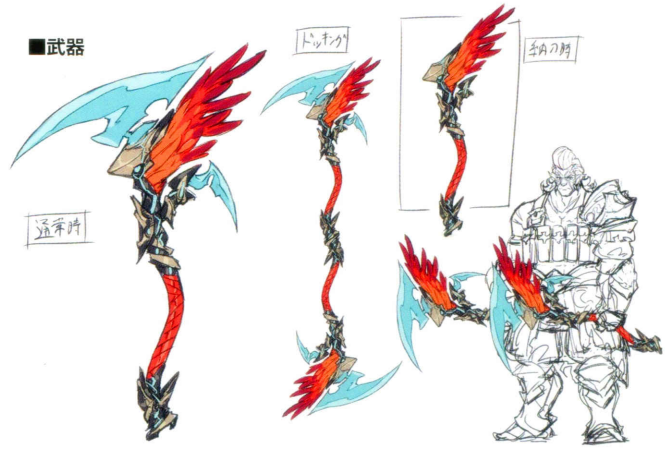
■コアクリスタル



■初期案



■武器



ワダツミ

■CV：池田 秀一
■イラストレーター：コザキユースケ
■タイプ：人型・男性型
■属性：水
■ロール：防御
■武器種：刀
■好きなジャンル：スイーツ、美術
■好きなアイテム：フォンダン餅、モッテコラ人形

『黄金の国イーラ』

■好きなジャンル：スイーツ、護符
■好きなアイテム：芳醇プラチナキャンディ、遠視の護符



「陛下――
お戯れもほどほどに
なさいませんと―」

◆冷静沈着な皇帝の護衛役

スペルビア皇帝であるネフェルのブレイド。白いロングコートのような衣装と、青白く輝く太刀が特徴。カグツチと同じく、歴代のスペルビア皇帝に仕えてきたブレイドで、ドライバーを守護することをつねに第一に考えて行動している。高い戦闘能力を誇るが性格は非常に紳士的で、どのような状況であっても落ち着きを忘れない冷静さもあわせ持つ。メレフやカグツチがネフェルの元から安心して離れられるのは、こういったワダツミの力があってこそ。なお、大きな危険がない時には、ネフェルの執務を補助することもある。バーンによる暗殺未遂事件でネフェルが仮死状態に陥ったことでコアクリスタルへと戻り、以降はメレフのブレイドとして、その力を振るうようになる。

『黄金の国イーラ』

聖杯大戦のころは、当時のスペルビア皇帝であるユーゴのブレイドとしてラウラたちの旅に同行。ユーゴに絶対の忠誠を誓っており、冷静な視点から一行を見守っているが、ユーゴのことを思うあまり過保護になってしまうことも。ユーゴやカグツチが絶賛するほど料理が得意という一面が明かされ、中でも魚料理は絶品とのこと。

Illustrator's Comment

・デザインについてのこだわり
侍や騎士をモチーフに、神聖で理知的な雰囲気を出すようにしました。

・気に入っている点
水色のパイプを後ろ髪にした部分です。背後からの良い特徴になったかなと思います。

・苦労した点
全体に水色をどう配置するかという部分で、結構悩みました。

・注目して欲しい点
頼りがいのある全体のシルエットですかね。

・その他でお客様に伝えたい事
ぜひ末永くお供させて頂ければ嬉しいです！

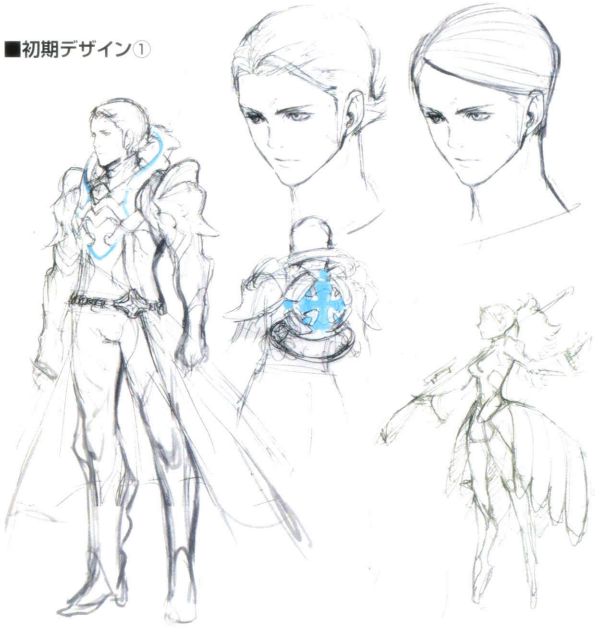
■二面図とパーツの詳細



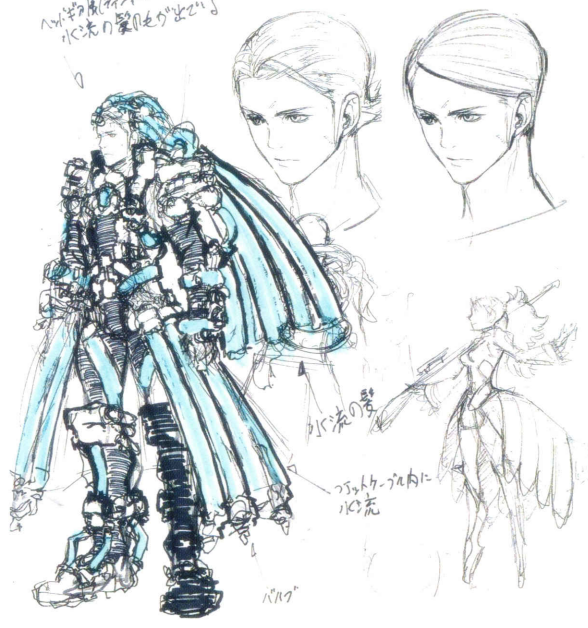
■立ちポーズのラフ



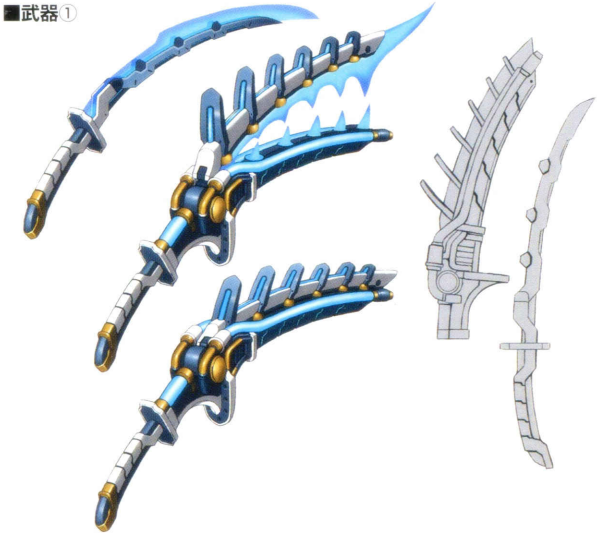
■初期デザイン①



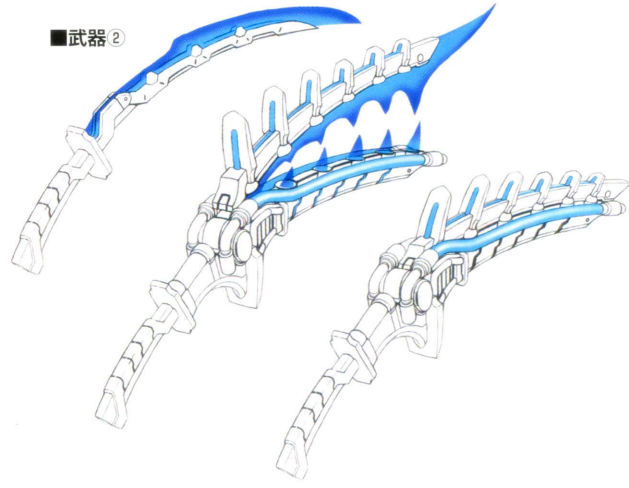
■初期デザイン②



■武器①



■武器②



グレン

■CV：古谷 徹
■イラストレーター：岩本 稔
■タイプ：人型・男性型
■属性：氷
■ロール：防御
■武器種：ハンマー
■好きなジャンル：肉類、楽器
■好きなアイテム：エストラルステーキ、メイラム森林冒険紀行



正義の鉄拳をブチかまそうぜ

◆正義感に溢れた熱き血潮の持ち主

強い正義感を持った男性型ブレイド。傭兵団任務を続ける中で、自分のブレイドの力は弱き者を救い、強き者を挫くためにあると確信していた。しかしドライバーのサンドストレームから、正義は生きるのに邪魔なものと言われ、反論するのならハーハルという女性を調べてみるといいと告げられる。グレンは、ハーハルとダンス仲間だった女性のクーシュやハーハルの母親アデラなどから聞き出した情報を元に、彼女との接触に成功。そこでハーハルが、人を元気にする効果があるものの依存性が高くスペルビアでは輸出入が禁止されている飲み物を高値で売り、母親の病気を治すためのお金を手にしようとしていたことを知る。得意だったダンスでひたむきにお金を稼いでいたハーハルを誘惑し、彼女の手を汚させたのがサンドストレームだと知ったグレンは怒りを露わにし、サンドストレームに正義の鉄槌を下した。

氷を操る戦闘を得意とし、自身の背丈に迫ろうかという大きなハンマーを片手に闘うのが特徴。熱血漢らしくステーキを好む一方で、読書が趣味だという意外な一面も持っている。

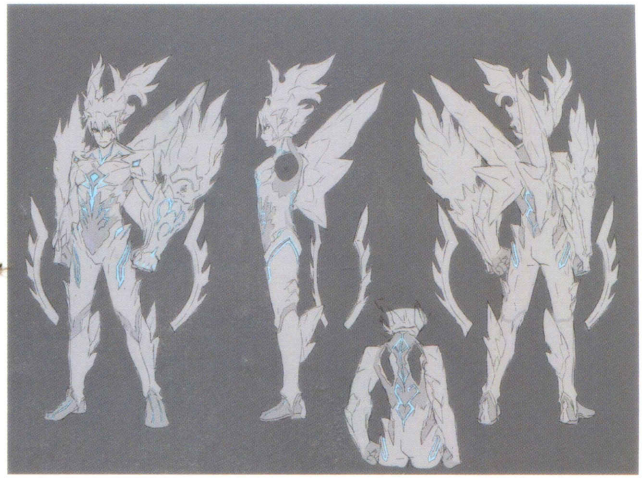
Illustrator's Comment

皆さんそうかと思いますが、設定を複数いただき、好きなものをひとつ選ばせていただくというような発注をしていただきました。本来1体だけデザインする予定でしたが、どの設定も詳細で魅力的だったため、筆がのりラフを2体分出させていただいたところ、結果2体とも描かせていただけることになりました。幸せの極みです！
グレンは「前回は火属性だが今回は氷属性」というキーワードをいただき、ぱっと「凍った炎」を連想して、一気にラフデザインができました。使命感と正義感の強さを、少年漫画のようなまっすぐな目で表現しています。こういった王道で熱いキャラクターは近年では逆に珍しいため、とても新鮮で楽しく描けました。ゲーム制作に関わるものとして、炎が凍るような表現は再現が難しいだろうと思っていたのですが、リテイクをいただくことなくイラストをそのまま再現していただき、モノリスソフト様の再現力の高さには本当に驚きました。

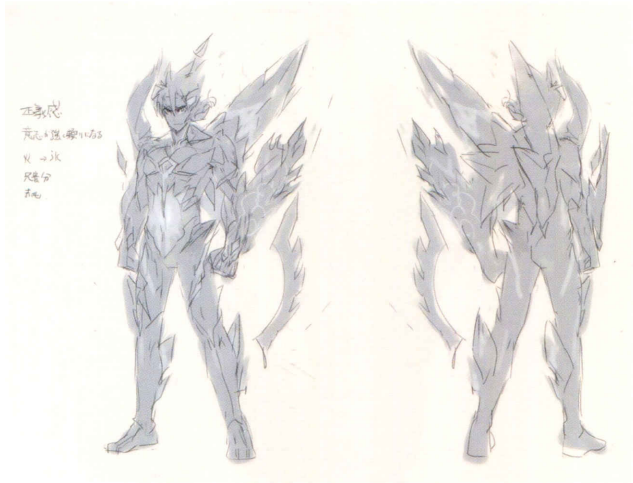
■顔アップ



■三面図



■ラフデザイン



■武器と詳細



ヂカラオ

■CV：武内 駿輔
■イラストレーター：相場 良祐
■タイプ：人型・男性型
■属性：地
■ロール：攻撃
■武器種：ランス
■好きなジャンル：主食、書物
■好きなアイテム：マリン甘酢あんかけ、雪原ノポンたたき



「しっかりしろ、俺がついている」

◆心優しき黒の魔人

威圧的な外見ながら、穏やかな性格をしたブレイド。人に頼られると張り切り、嬉しいと素直に感情を言葉にするなど健気な一面も見せる。

しかし見た目と片言のような話しかたから初対面の相手とは意思の疎通がなかなか取れず、ルクスリア王国の街で出会ったエーヴェルトもヂカラオの姿を見て慄いていた。それでもヂカラオは、落石事故で生き埋めになった人たちを助けてほしいという声に応えようと、一目散に事故が起こった採掘現場へと向かう。救助を終えた直後、落石を起こしたゴゴールというモンスターを発見。ヂカラオは一度は見失ってしまうも、レックスたちとともに街の外に点在する足跡を頼りに捜索を続け、ゴゴールを再度見つけ出す。街の人を怖がらせたことを許せずにいたヂカラオだったが、後から現れたゴゴールの母親を見て、これまで親子が街の人にしてきたことは自らの住処を守るためだったと把握する。ヂカラオは、住処を守る代わりに人を襲わないという約束をゴゴールと交わし、ゴゴールの住処を脅かさないようエーヴェルトら街の住人を説得し、無事に事態を収束させた。

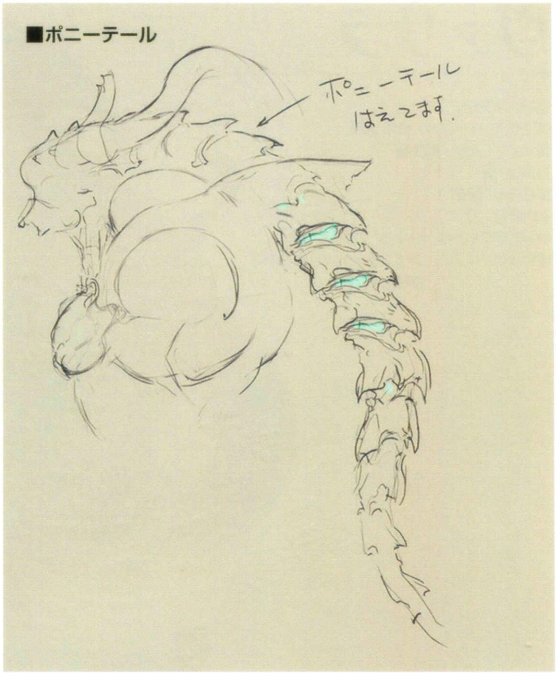
Illustrator's Comment

久しぶりの『ゼノ』ということで、楽しく描かせていただきました。強く男らしい異形のデザインです。そんなヂカラオの絵もなかなか男前でいいかと思ってましたが、実際のゲームの中で命を吹き込まれた真のヂカラオはもう最の高ですね。とにかくかわいい。驚きのかわいさです。そしてかっこいい。いやー、いいですね、ヂカラオ。大好き。

■ラフデザイン



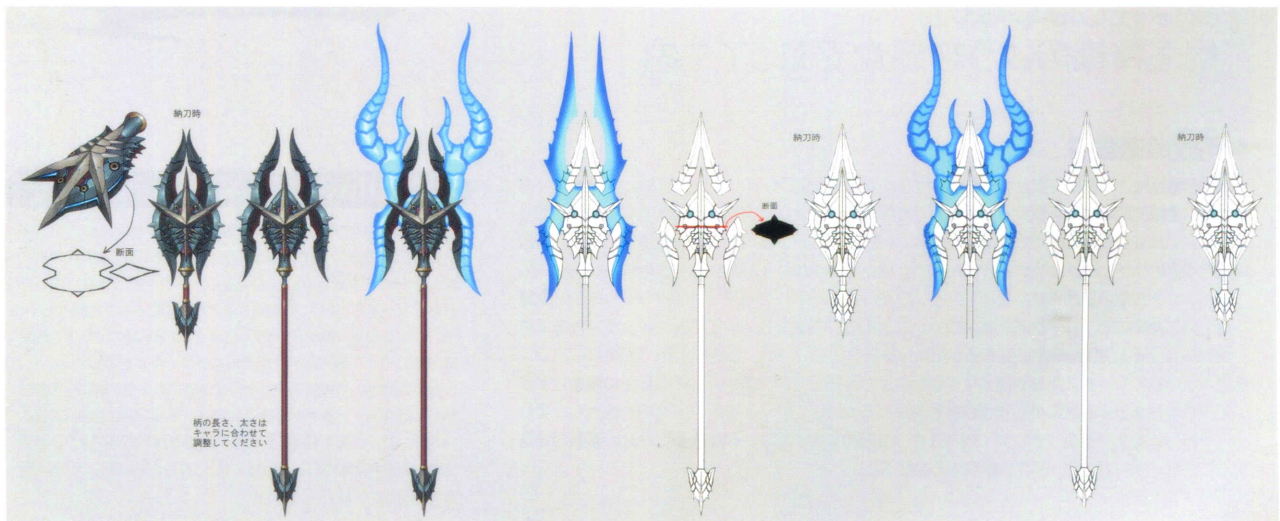
■ポニーテール



■三面図



■武器(デザイン：松本 秀幸)



ヴァサラ

■CV：KENN
■イラストレーター：鈴木 康士
■タイプ：人型・男性型
■属性：闇
■ロール：防御
■武器種：刀
■好きなジャンル：ドリンク、美術
■好きなアイテム：アイスキャベツの雪酢あえ、赤棹三味線



「我は殺しはしない。
例え貴様のような悪党であってもな」

◆不殺の暗殺者

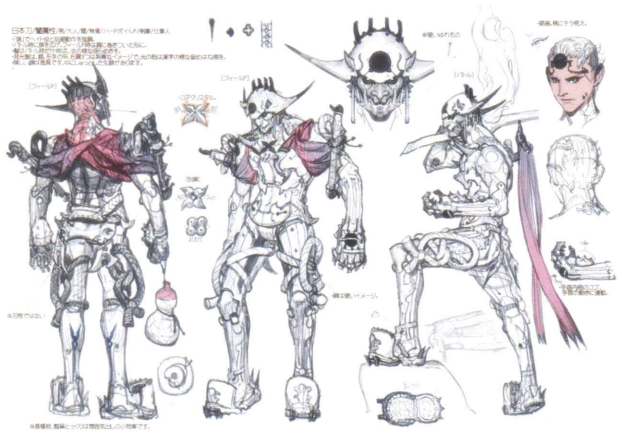
鎧兜を纏う武士のような姿をし、自らを「我」と呼ぶ男性型ブレイド。レックスたちと出会う20年前は、依頼であれば女子供でも暗殺する「無常の断罪者」という異名で恐れられていた。しかし現在は、いかなる悪党であっても「死で償うのは楽すぎる」という考えで不殺を貫いている。普段は寡黙で近寄りがたい存在だが、弱き者を救い、悪党を裁くという信念を持って積極的に行動する。

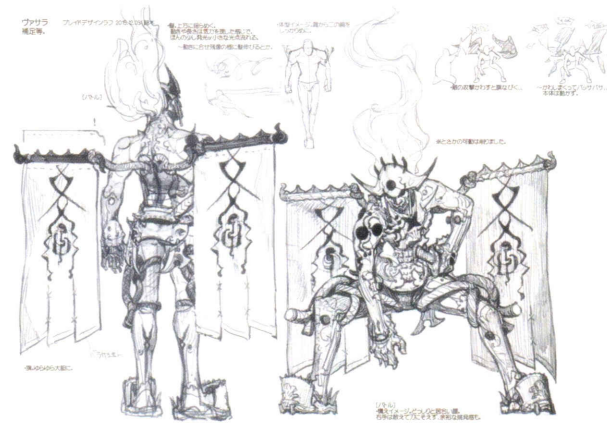
スペルビア帝国の貧民街で、エレノアという女性から強引に金を取り立てようとしていた金貸しを発見した際にも、レックスたちよりもいち早く動いて退治した。その後、レックスたちにこれは単なる民間人の揉め事ではなさそうだから調査をしていいか、と提案する。協調性に乏しく、身勝手な行動でレックスたちを困らせていたヴァサラだったが、調査を進める最中に起きたエレノア殺害事件をきっかけに少しずつ仲間を頼るようになっていく。レックスたちと協力し、エレノアを殺した犯人であるブラッド・ロブスターの頭領を追い詰め、倒すことに成功。頭領の命を奪うことなく罪を償わせ、事件は解決するのだった。

Illustrator's Comment

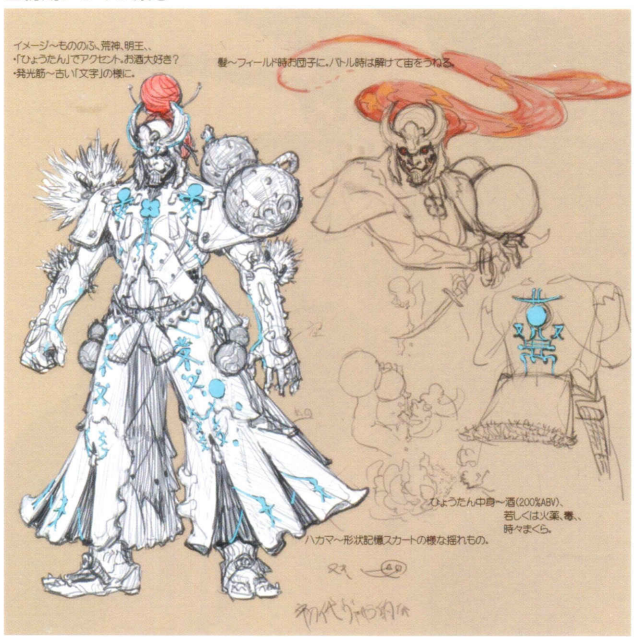
お話をいただいた際、彼の名は未設定でした。私は『ゼノブレイドクロス』にデザインで少し参加していたこともあり、何かそれにちなんだモチーフがうれしいと相談し……ヴァサラとなりました（『ゼノブレイドクロス』に登場する異星人のロボットと同名）。また、レアブレイドのゲストデザイン内では最初期の制作で自由度は手探り……ダメ元なアイデアも拾っていただき楽しめました。佇まいは渡世人や戦旗を挿した野武士のイメージ。闇属性の割に派手なのはヘイト集め役の彼の気遣い。ゲーム中に刮目してほしいのは、パーツ毎の質感。肩に巻いた旗はバトル時に下り、右肩の発光彫り物が露わに。強面なのにイケボイスは仮面の下の素顔を……妄想するも。

■三面図と詳細





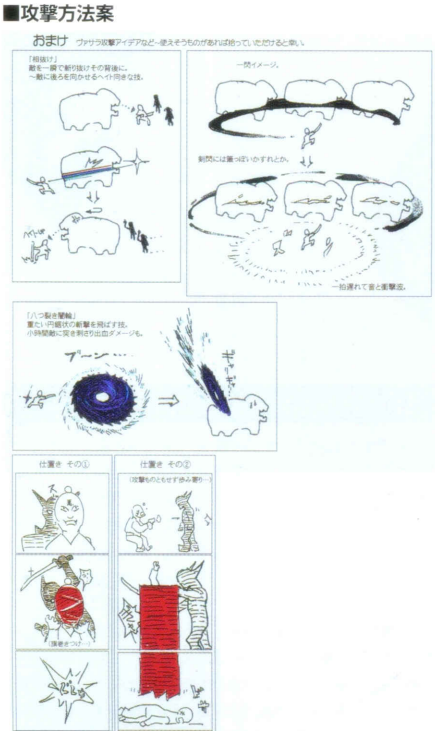
■初期デザイン案①



■初期デザイン案②



■攻撃方法案



■武器と詳細



メイ

■CV：千本木 彩花
■イラストレーター：梅津 泰臣
■タイプ：人型・女性型
■属性：闇
■ロール：攻撃
■武器種：ランス
■好きなジャンル：スイーツ、織物
■好きなアイテム：カリカリスノウピクルス、ケーニクリッヒ・ウール



アタシはアタシのコアの命ずるまま自由に生きていく

◆何物にも縛られない不良少女

ゴシック風のドレスに身を包んだブレイドの少女。目つきが鋭く独特な言い回しを好むため、他人を寄せ付けないような雰囲気を醸し出しているが、実はガールズトークが好きで、織り物が趣味だったりと年頃の少女らしい一面を持っている。

「世界破滅教（アンファング・オイタナジー）」という怪しげな宗教団体から娘を取り戻してほしいと依頼を受けた際には、不良娘のような気質を発揮して自分の武勇伝を語りつつ、放置することを提案していた。しかし世界破滅教が、子供だけでなく大人まで巻き込んで謎の儀式を行っていると知り、レックスから説得されたことで渋々調査をすることに。そこで遭遇した司祭から世界破滅教の思想を聞き、神や悪魔に頼ろうとしていることを嘲笑。自らの力で世界を変えていくべきだと力説して司祭を強引に納得させた後、ほかの場所で行われていた儀式も止めることに成功した。助け出した依頼人の娘には、きびしくもやさしい言葉を投げかける。無事に依頼を果たし親子で抱き合う姿を見届けたメイだが、自分にはひとりで生きていく方が性に合っていると憎まれ口を叩く。

Illustrator's Comment

ゲームのキャラデザは久しぶりだったので気合いが入りました。通常はアニメのキャラデザがメインですし、監督業が主体になっているのでゲームのキャラ依頼は純粋にうれしかったですね。メイはアニメではやれない点、つまり色数や線、形にこだわりました。それと僕らしさのデザインセンス。モノリスソフトのプロデューサーからも、梅津デザインを流行関係なく求められたので、自らを再考しながら（笑）メイを作りました。絵柄は日々変化していくものなんです。一見、同じように見えて実は微細に違っているんですね。これは意識的にそうしている部分もあります。絵のクセは残ってしまうので、そのクセと変化させたいバランスの融合、これが今回のデザインにも反映されています。クライアントの希望をそこに落としこんで最終的に立体のキャラクターとして成立させる。その過程が楽しくもあり苦労する点なんですね。メイを堪能して下さい。

■三面図と詳細



■武器のラフ



■武器



メノウ

■CV：種﨑 敦美
■イラストレーター：コザキユースケ
■タイプ：人型・女性型
■属性：地
■ロール：攻撃
■武器種：アックス
■好きなジャンル：ドリンク、美術
■好きなアイテム：干しマグロと香草のあら汁、アーム・ジョー



ここではどんな鉱石に出会えるのかな？

◆鉱石が好きな母親的存在

中世の魔女のような衣装を纏っている女性型ブレイド。レックス一行の中ではサポート役に回ることが多く、母親のようにやりたいことを我慢していると思われている。休息をとっている際にやりたいことを問われ、珍しい鉱石を見つけてみたいと回答。その後、貴重な宝石を追い求めるノポン族を助けたお礼に宝石商を紹介されてからは、アルスト各地で新たな鉱石をつぎつぎと採掘しては鑑定をしてもらうことに。なかなか未知の鉱石が見つからず苦労する一行は、最終的にモルスの地の朽ちたイーラへと向かう。そこでついに新種の鉱石を発見し、レックスたちの勧めによって「メノウ」という名前をつける。願いを果たしたメノウは、今まで以上に力を尽くして仲間たちをサポートすることを決意した。

なお、見るだけで気絶してしまうほど虫が嫌いで、戦闘で遭遇すると奇声を上げて拒絶することも。鉱石の「メノウ」を採掘した場所にも多数の虫が徘徊していたが、勇気を出して戦い見事勝利を収めていた。しかし嫌いな点が功を奏してか、虫型の敵に大ダメージを与える能力を持っている。

Illustrator's Comment

・**デザインについてのこだわり**
鮮やかなピンクと、個人的にはかなり奇をてらった全体のシルエット。

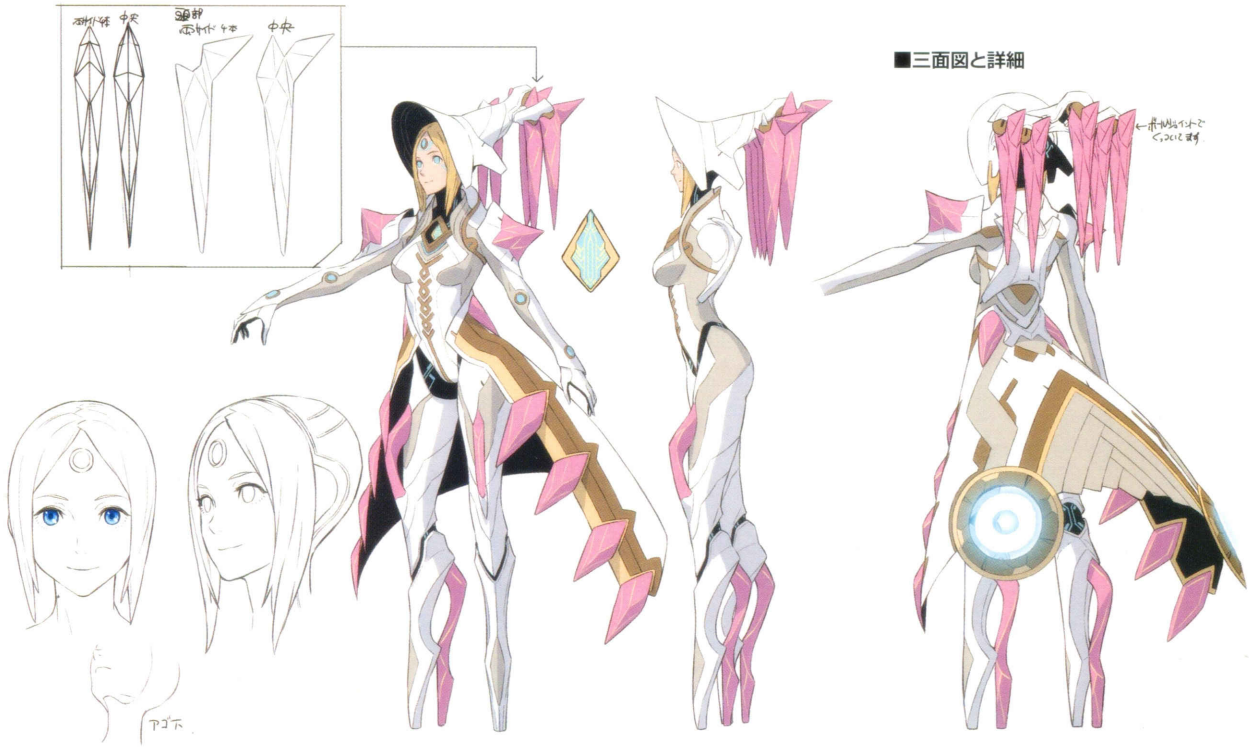
・**気に入っている点**
頭部の帽子の形ですかね？　けっこう珍しい形だと思います。あとポニーテールをイメージした後頭部のボリューミーな飾りも気に入っています。

・**苦労した点**
モチーフが自由だったことが、逆にデザインのとっかかりを掴むまでたいへんでした。

・**注目して欲しい点**
アメリカ開拓時代の女性のドレスのシルエットを取り入れたシルエットです。

・**その他でお客様に伝えたい事**
かわいがっていただけてるでしょうか？

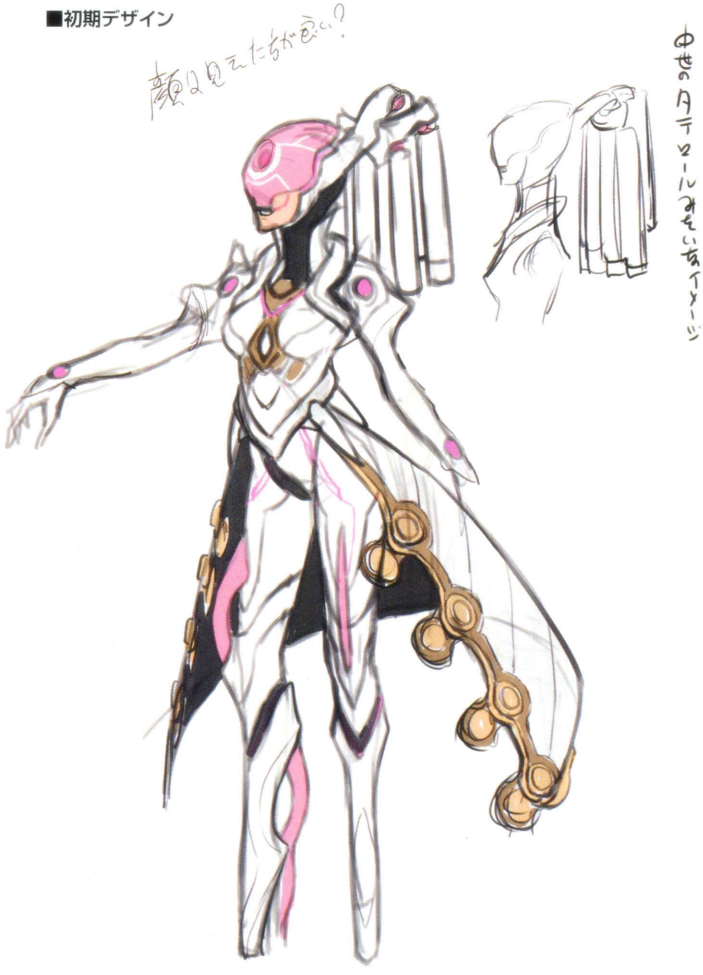
■三面図と詳細



■武器（デザイン：トナミカンジ）



■初期デザイン



■武器案（デザイン：トナミカンジ）



ユウオウ

■CV：前野 智昭
■イラストレーター：嵯峨 空哉
■タイプ：人型・男性型
■属性：水
■ロール：攻撃
■武器種：アックス
■好きなジャンル：スイーツ、織物
■好きなアイテム：ネオングレープディング、日帰り帝国秘湯めぐり



Illustrator's Comment

「太古の海の断片的な情報」というコンセプトで、潜水艇にまつわるモチーフ（レギュレーター、ハイドロヘッドホン等）や魚の骨をイメージしてデザインしました。状況に応じてヒレや尾に形態変化させられるよう、四肢はシリンダーに入った弾性のあるグミ的な半液体として表現しています。コア・クリスタルのシルエットはクリオネ、耳の下にはエラがあり、髪はエーテル受容器かつ感覚器官のため三つ編みの先端はセンサーです。差し色のバリエーションは当初ブルー系と紫系があり、最終的にはモノリスソフトさんでチョイスしていただきました。青い部分が夜間あれほど光るとは予想しなかったので、初めて実機で見た時には新鮮な驚きを味わいました。

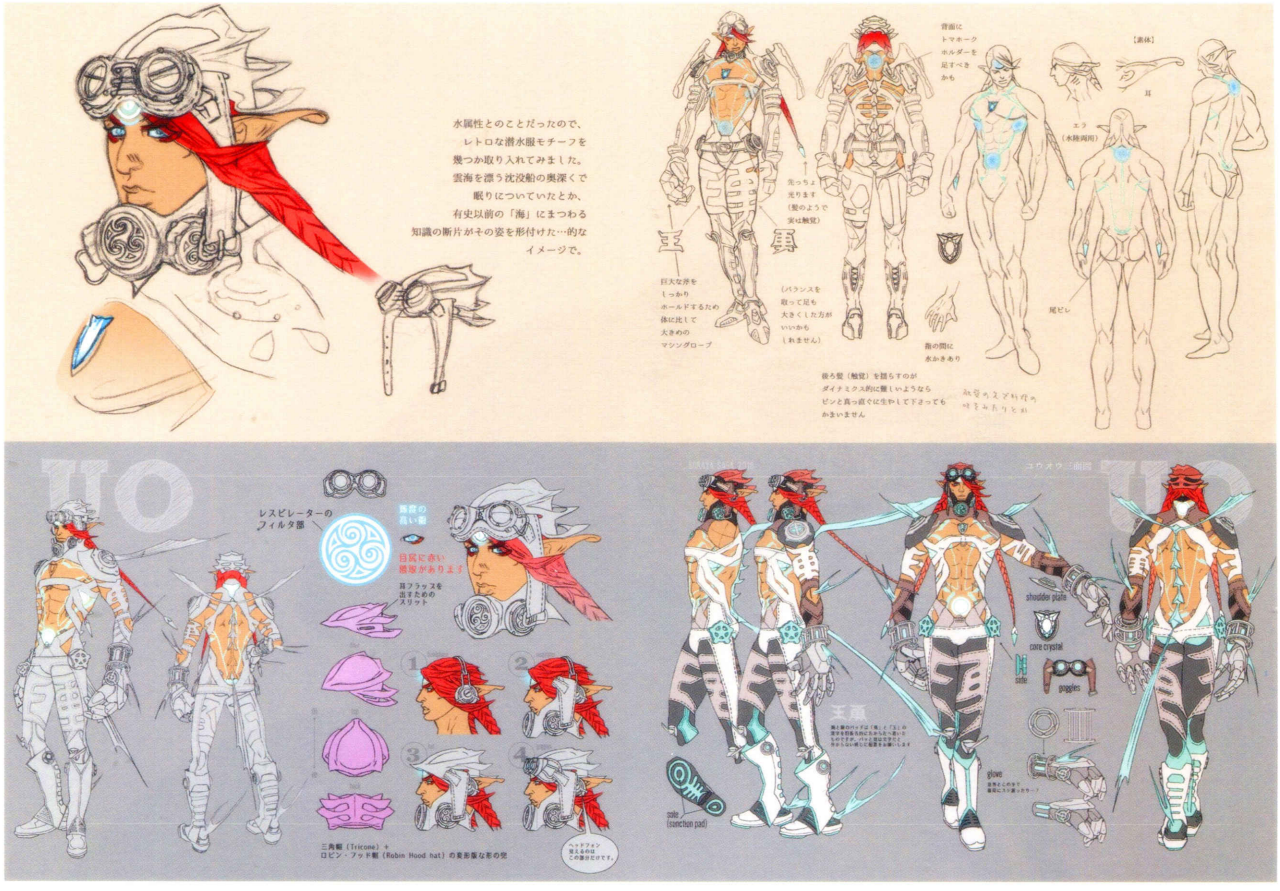
「また私の作った
スイーツを食べてもらえるかな？」

◆パティシエを夢見る屈強なブレイド

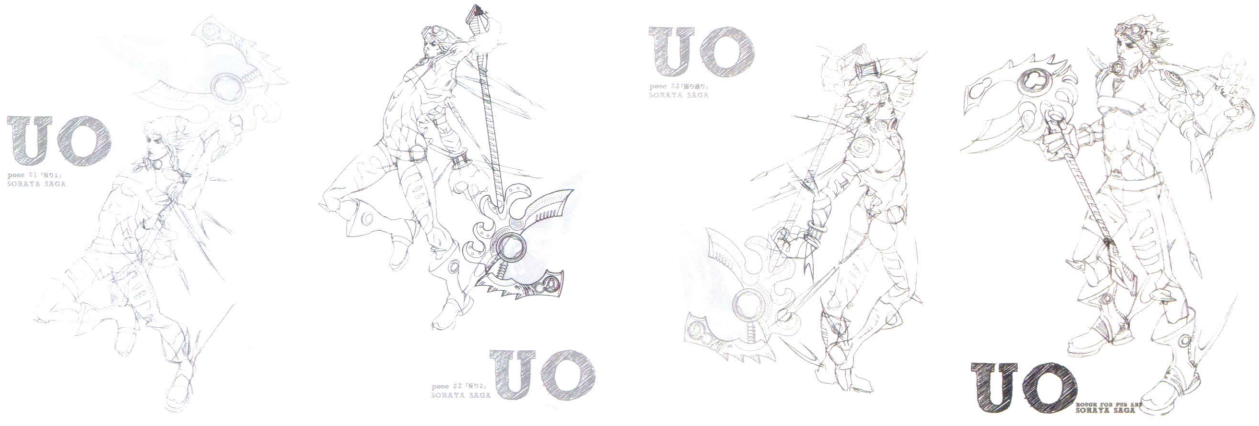
手足と背中にヒレがついており、顔にゴーグルのようなものも装着している男性型のブレイド。水泳選手を思わせる外見で、まさにアスリートと言うべき引き締まった肉体だが、じつはスイーツ作りが好きという意外な一面を持っている。パティシエになりたいという夢があったものの、ブレイドである以上戦いに赴く運命は避けられないため、諦めを感じていた。しかし、とある依頼で料理店の経営者の依頼をこなしたことで、報酬として店をプレゼントされる。オープンにあたってレックスたちの協力を得て、ケーキ、プリン、ドリンクなど、さまざまなオリジナルメニューを完成させていく。無事に自信作を完成させたユウオウのお店には、オープン初日から多数の客が押し寄せて大繁盛。仲間たちからは、戦いよりも料理をしているほうが似合っていると笑顔で称されていた。

戦闘においては外見のイメージ通り、水属性のエーテルを駆使して戦う。アックスを得物としており、攻撃的な能力に特化している。

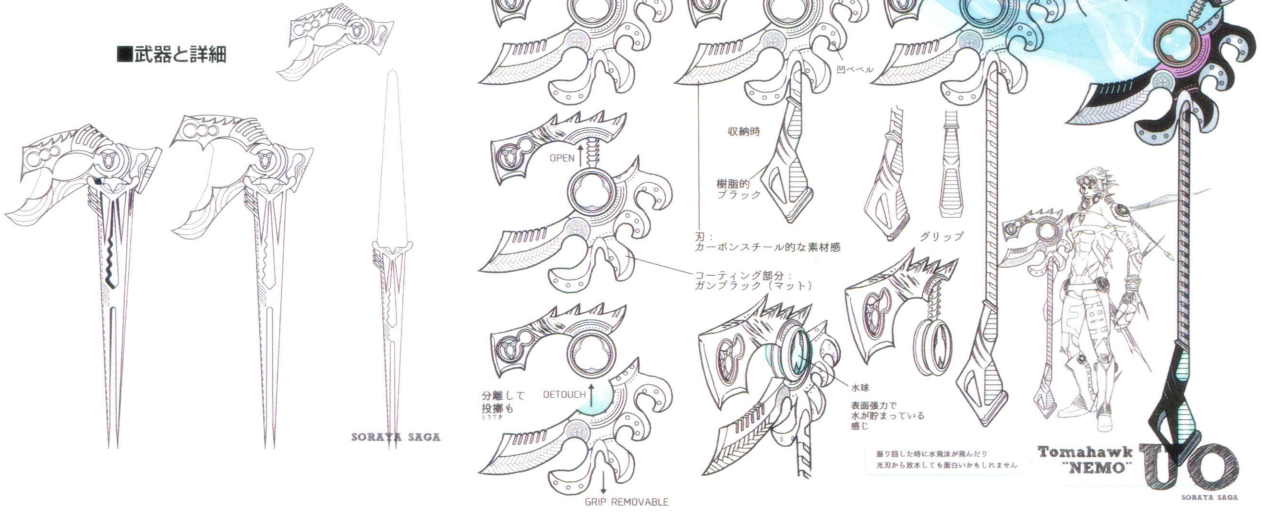
■三面図と詳細



■立ちポーズのラフ案



■武器と詳細



イダテン

■CV：平野 綾
■イラストレーター：I-IV
■タイプ：人型・男性型
■属性：風
■ロール：回復
■武器種：ボール
■好きなジャンル：主食、コスメ
■好きなアイテム：ドデカきのこパイ、フローズンオーディファ



残さず綺麗に食べるっポッ!

◆高速の食いしん坊レアブレイド

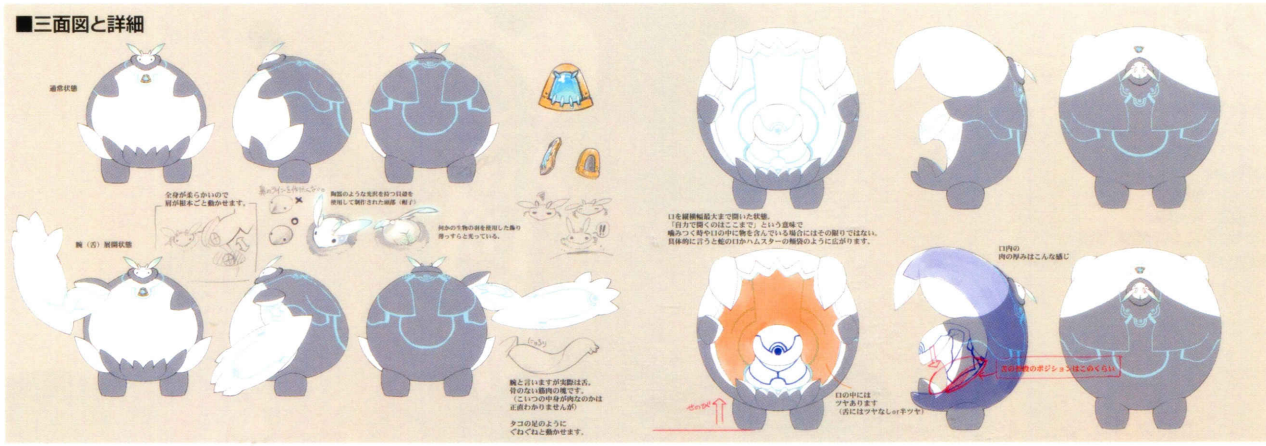
頭が着脱し、腹部が開閉するなど不可思議な構造をした身体を持つレアブレイド。大きな球体のような姿とは裏腹に、ほかの巨神獣との間を一瞬で行き来できるほど足が速い。しかし怒りで我を忘れたまま高速で移動すると、どこへ行ってきたのか自分でもわからなくなるという難点がある。

異常なまでの食欲を持っており、アヴァリティア商会にある倉庫に食料を溜め込んでいるほど。また威勢のいい食べっぷりから、知らず知らずのうちにノポンからの人気を集めている。しかし食べ物以外にほとんど興味を示さない節があり、ノポンの純真な心を奪った罪は万死に値する、と怪盗マウマウから身勝手な因縁をつけられて勝負を挑まれた際にも、まるで興味を示さず。あまりにも不憫な対応に、勝負の行く末を見守っていたレックスたちがマウマウのフォローをするほどだった。3回行われた勝負は皮肉にもイダテンが勝ち越したが、それでも当の本人は勝負の後に振る舞われたキノコ料理に夢中になるばかり。勝ち負けに対して気にも止めず、勝負は最後までマウマウのひとり相撲で終わるのだった。

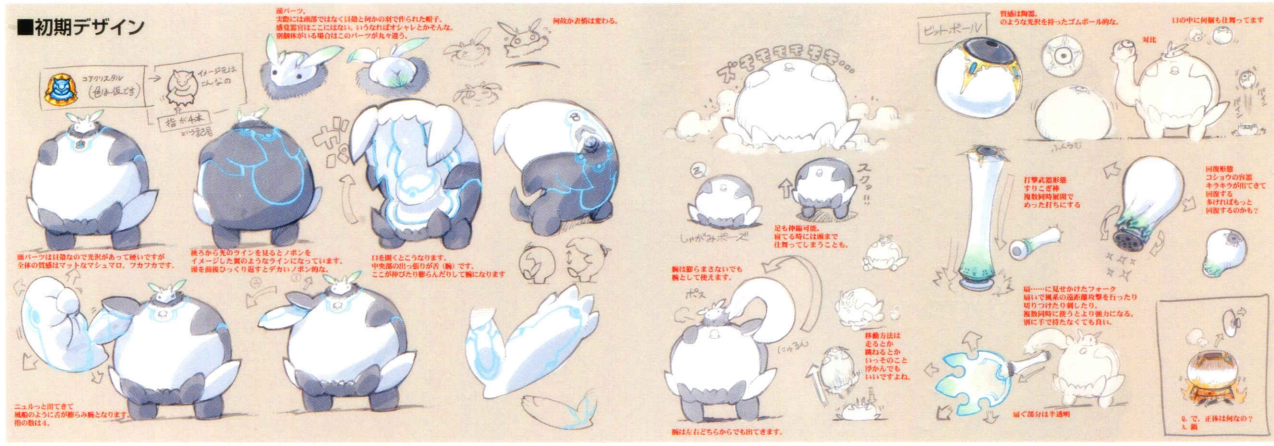
Illustrator's Comment

「移動が速く、大食いで、ノポンにモテるブレイド。ちょっとくらい人型じゃなくてもいいよ☆」という注文であった。まず転がれば移動が速く、ノポンにモテる丸いシルエット。上下に大きく開き内部でエーテル分解する大食いギミック。手っぽい部分は奥歯であり、舌を飛び出す腕と見せかける。だがこの設計で造形すると頭部がない。なので綺麗な貝殻に穴を開けて目を作り、花びらとフワフワの羽で飾り立てた「頭に見える帽子」を被せて完成とした。イダテンの同種族は個体ごとに帽子が違う文化であることだろう。帽子の表情が変わる理由を『ゼノ』世界万能の言葉「エーテル」に任せ……完璧である、と提出したら「ここまで堂々と人型外してくるとは思わなんだわ」的なお言葉をいただいた。でもおもしろいからOKだそうである。

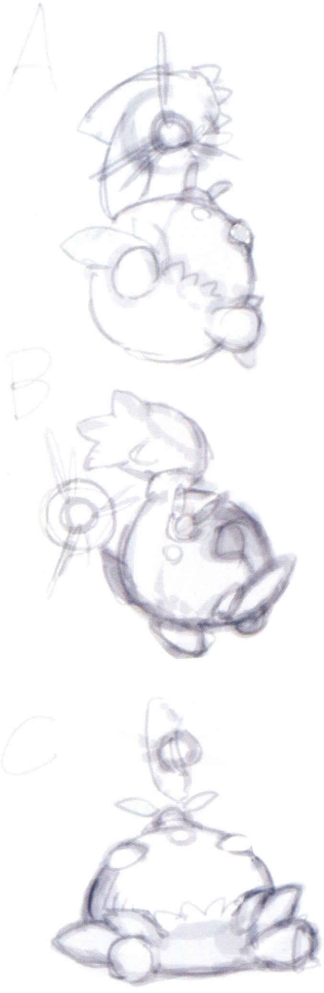
■三面図と詳細



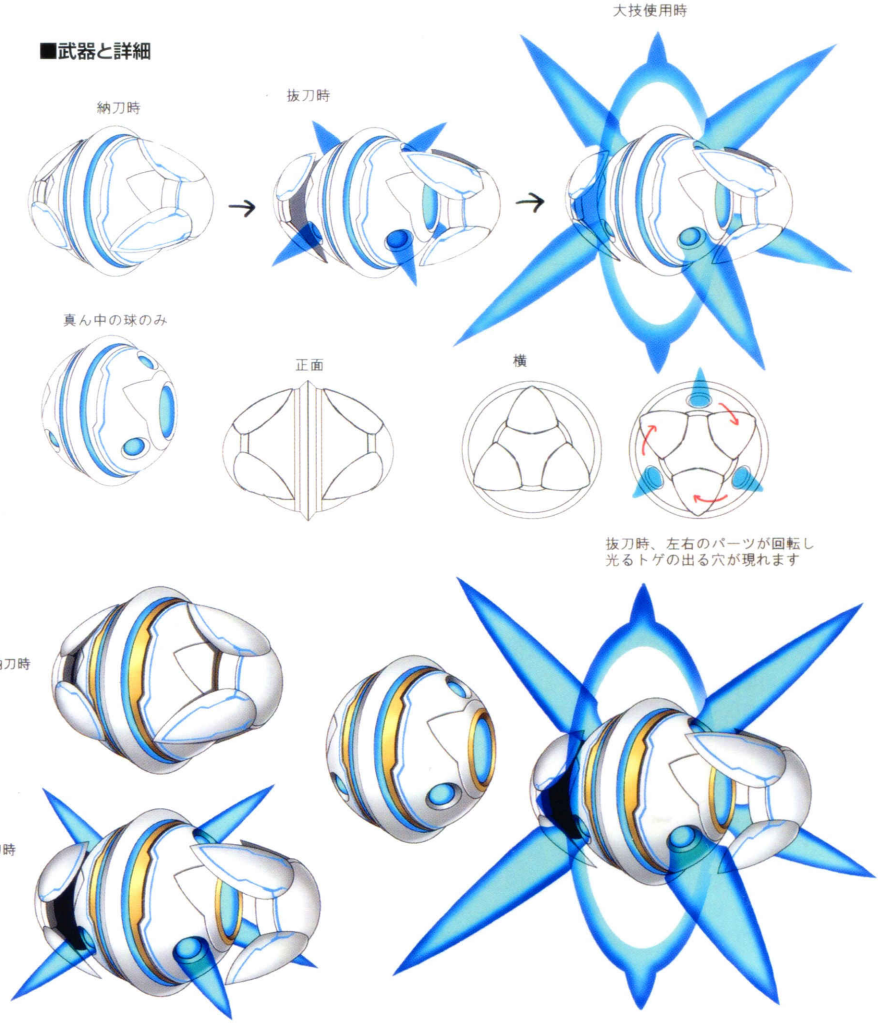
■初期デザイン



■立ちポーズのラフ



■武器と詳細



クビラ

■CV：宮野 真守
■イラストレーター：hakus
■タイプ：人型・男性型
■属性：火
■ロール：攻撃
■武器種：アックス
■好きなジャンル：魚類、美術
■好きなアイテム：アロマノカリスボワレ、黒い花畑



我が覇道は今なお続いておるのだ

◆高慢な態度を崩さない自称・国王

豪奢な衣装を身に纏った男性型のブレイド。ブレイドになる以前は一国の王だったと豪語しており、性格も口調も高慢かつ尊大。ドライバーであるレックスたちのことも見下しており、仕える臣下だと考えている。臣下が働くことを当然としているため、各地の探索はおろか戦闘においてもほとんど役に立つことがない。それどころか、ブレイドとして戦うことに疑問を持ち、悩むようになっていく。そんな姿を見たレックスたちからの提案で、クビラが王だったという国について調査を行うことに。各地で発見した古い文献を元に調査を進めていくが、結局クビラの国について知ることはできなかった。すると、調査の最中に現れたモンスターを撃退したレックスたちを認めるようになり、また過去に縛られることは王としてふさわしくないとクビラは考え始める。過去ではなく、新たな覇道を歩み王国を築いていくため、隠していた本来の実力を見せるようになったクビラは、戦闘で活躍こそするが、性格に変化はなかった。

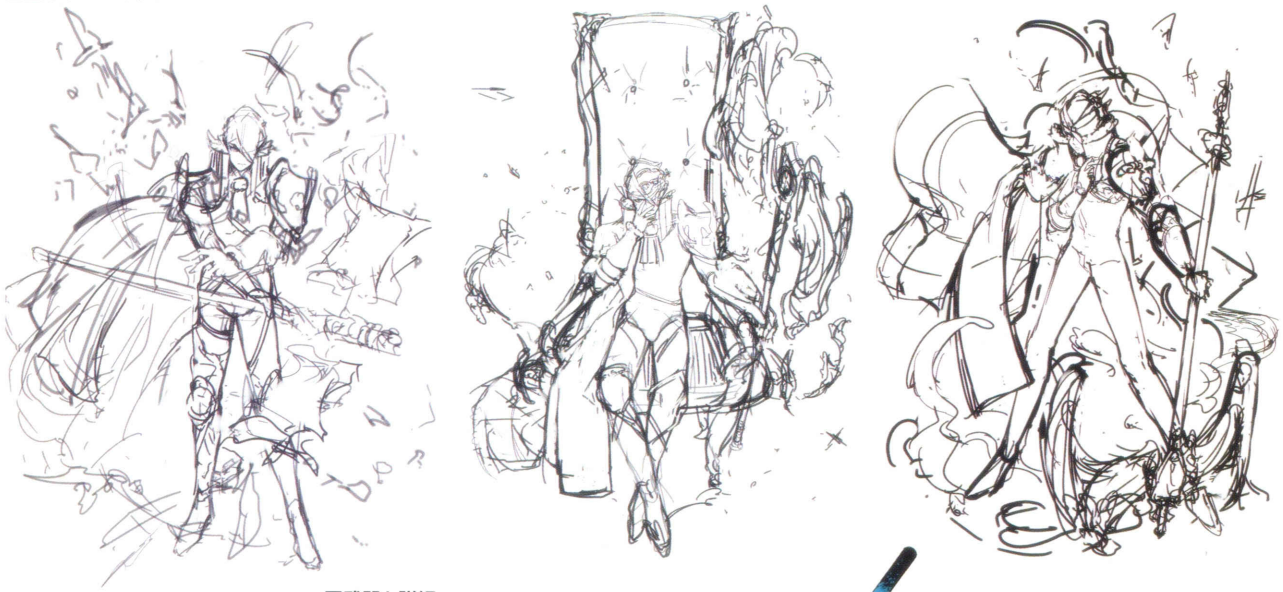
Illustrator's Comment

THE・王様なクビラ。デザインのテーマは、スタイリッシュ＋ゴージャスです。体の一部を黄金の筋繊維のようにしました。財宝で身体を構成できてしまうのはさすが王……というイメージでデザインしています。戦闘時には腕周りのマントを収納し動きやすいようにするなど工夫しました。そして、ぜひ注目してもらいたいのはゲーム中の待機モーション、椅子でくつろぐクビラです。当初、イラストのラフ案で椅子に座ったクビラを描いたのですが、なんとこのラフ案を拾っていただき、モデルにまでしていただきました。いまとなってはあの玉座なしではクビラを語ることはできません。『ゼノブレイド2』という作品に対する、モノリスソフトさんの細部にまで光る強いこだわりが見えました。

■三面図と詳細



■立ちポーズのラフ



■武器と詳細



カサネ

■CV：水瀬 いのり
■イラストレーター：しらび
■タイプ：人型・女性型
■属性：闇
■ロール：防御
■武器種：ハンマー
■好きなジャンル：主食、コスメ
■好きなアイテム：妖精フェルメリの彫像、天文占い大辞典



「私は幸運の
女神なんですから！」

◆周囲に不幸を呼ぶ幸運の女神

後頭部に不気味な狐のお面をつけ、全身に包帯を巻いたような衣装が目を引くブレイドの少女。幸運を追い求めているため、幸福を呼ぶと言われる「幸福のサチベリアパン」を食べに行くが、その直後グーラのトレイタ風車広場に向かうと、突然風車が壊れてしまうのを目撃する。カサネが修理の手伝いを申し出たため、シュビア木材所にいるオットを探しに行くことに。その最中に出会ったクポンから、20年前にカサネの周囲で数え切れないほどの不幸が起きたことを聞かされる。実際にその後、襲ってきたターキンたちに落雷が直撃したり、クポンが大木の下敷きになったりという不可解な事態が起きるが、カサネにまったく自覚はなし。自らを「幸福の女神」であると信じて疑わず、満面の笑顔を見せるのだった。なお、どのような真相があるかは不明だが、周囲に不幸が起きる直前には、必ず狐のお面がカタカタと動いている。

Illustrator's Comment

・気に入っている点
後頭部の狐面の擬似的なケモミミです。武器が槌ということもあり、体の釘や白服などは丑の刻参り的なものをイメージしました。

・苦労した点
ゲーム内では3Dなので、デザインが細かすぎず動いたときに見た目が映えるようにするのに悩みました。

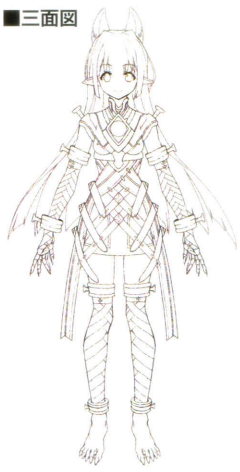
・注目して欲しい点
キャラクターの見た目やそのギャップです。

・その他でお客様に伝えたい事
魅力的なキャラクターたちが多く登場しますが、カサネもいっしょに冒険を楽しんでいただけたらうれしいです。

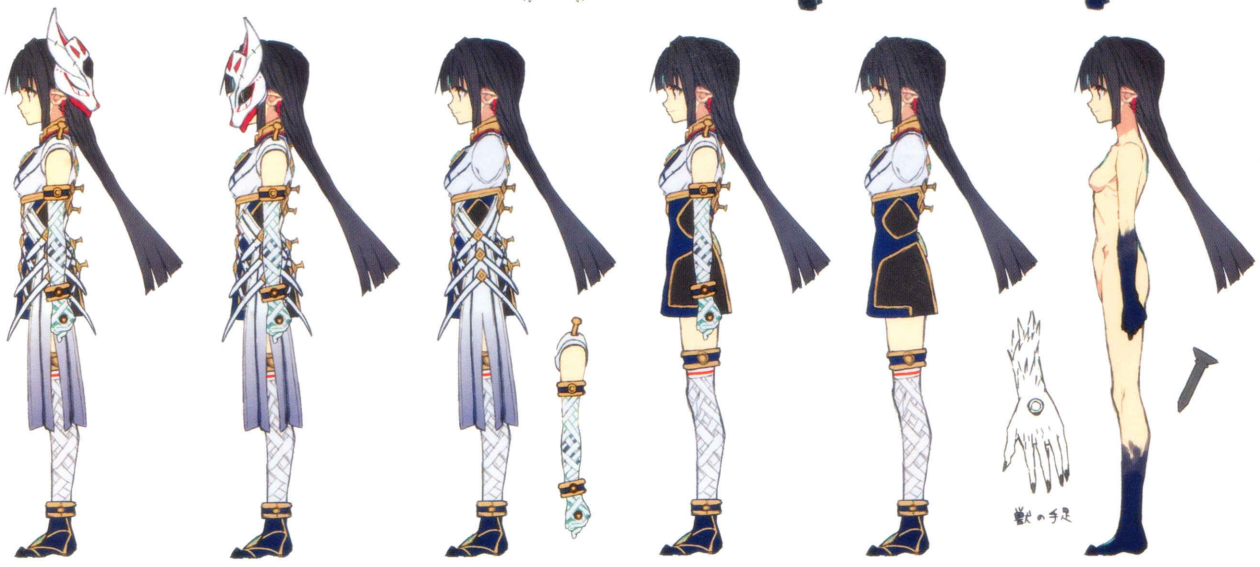
■立ちポーズのラフ



■三面図







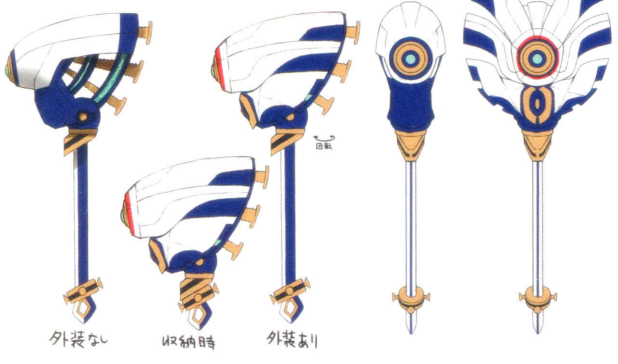
■初期デザイン



■武器と詳細①



■武器と詳細②

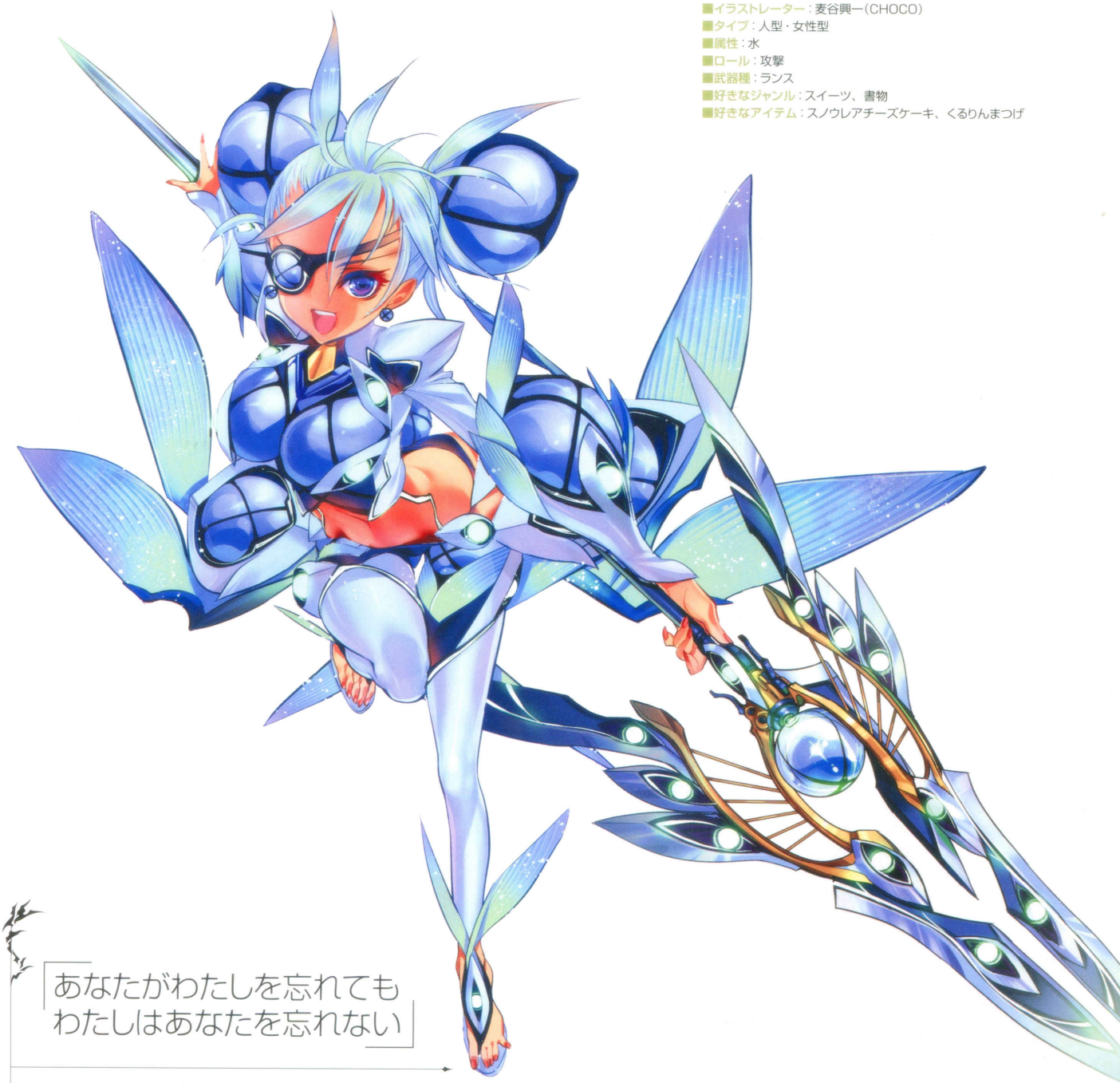


■武器と詳細③



ミクマリ

■CV：佐倉 綾音
■イラストレーター：麦谷興一（CHOCO）
■タイプ：人型・女性型
■属性：水
■ロール：攻撃
■武器種：ランス
■好きなジャンル：スイーツ、書物
■好きなアイテム：スノウレアチーズケーキ、くるりんまつげ



「あなたがわたしを忘れても
わたしはあなたを忘れない」

◆コアクリスタル狩りを行う槍使い

右目につけた眼帯が特徴的なブレイドの少女。明るい性格とは裏腹に、当初は別のドライバーのもとで、セオリとともにコアクリスタル狩りという盗賊行為を行っていた。しかし同調していたドライバーを倒したことでミクマリだけがコアクリスタルへと戻り、レックスたちのブレイドとなる。その後、インヴィディア烈王国の街を歩いていると、メモがくくりつけられた槍がミクマリ目がけて飛んでくる。差出人は不明だが、記憶が報酬だという文面が気になり、一行はメモの指示に従うと、途中でセオリと度々遭遇。記憶を失っているミクマリは、セオリが何者なのかレックスたちに問い詰めていく。話を聞いてもミクマリは納得できず、さらにメモで指示された場所に向かうと、再びセオリが現れる。セオリは自身のドライバーにそそのかされて、ミクマリを取り戻すために行動していたことが判明する。戦いの最中、セオリは命令に逆らって自らのドライバーを攻撃。コアクリスタルに戻っていくセオリに、ミクマリは再会の約束を交わすのだった。

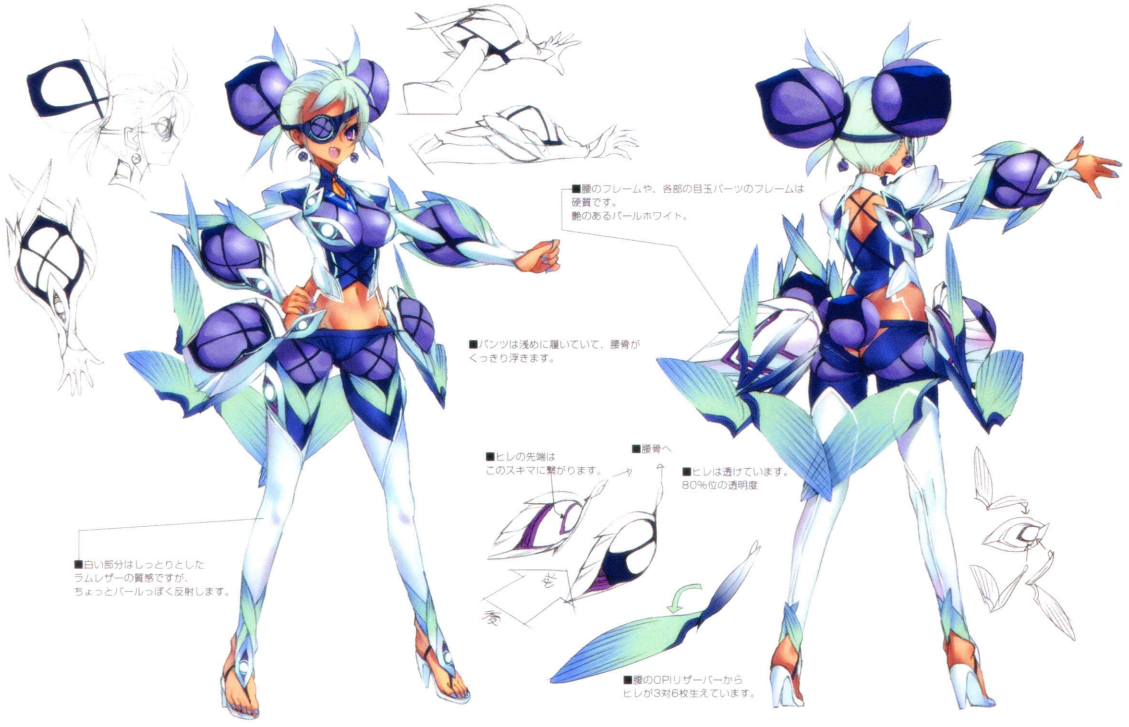
Illustrator's Comment

セオリとミクマリは血は繋がっていないけれども、よく似た義姉妹ということでセットでデザインしました。コアクリスタルはよく似ていますがちょびっと形が違います。並んだときの見栄えの為に左右対称の眼帯というアイデアも、最初の打ち合わせですぐ決まった覚えがあります。それぞれ水と氷ということで、カチカチの氷とぷるんぷるんの水風船のエレメントをリピートしているだけなので、じつは単純なデザインです。ミクマリの水風船は「触ると気持ちいい感触だけど倫理的に触っちゃいけないパーツ」を触って良いところにいっぱい配置したら気持ちいいデザインになるんじゃない？　というコンセプトです。三人称視点のゲームですので二人とも背面におもしろいキャラクター性がでるように気を付けました。ミクマリは戦闘時に各部のヒレが展開してシルエットが派手になりますが、これはトビウオのヒレがモチーフです。足もサンダルにして水に入ったときに気持ちいい印象になるようにしました。細かいところですがペディキュアも塗ってあります。

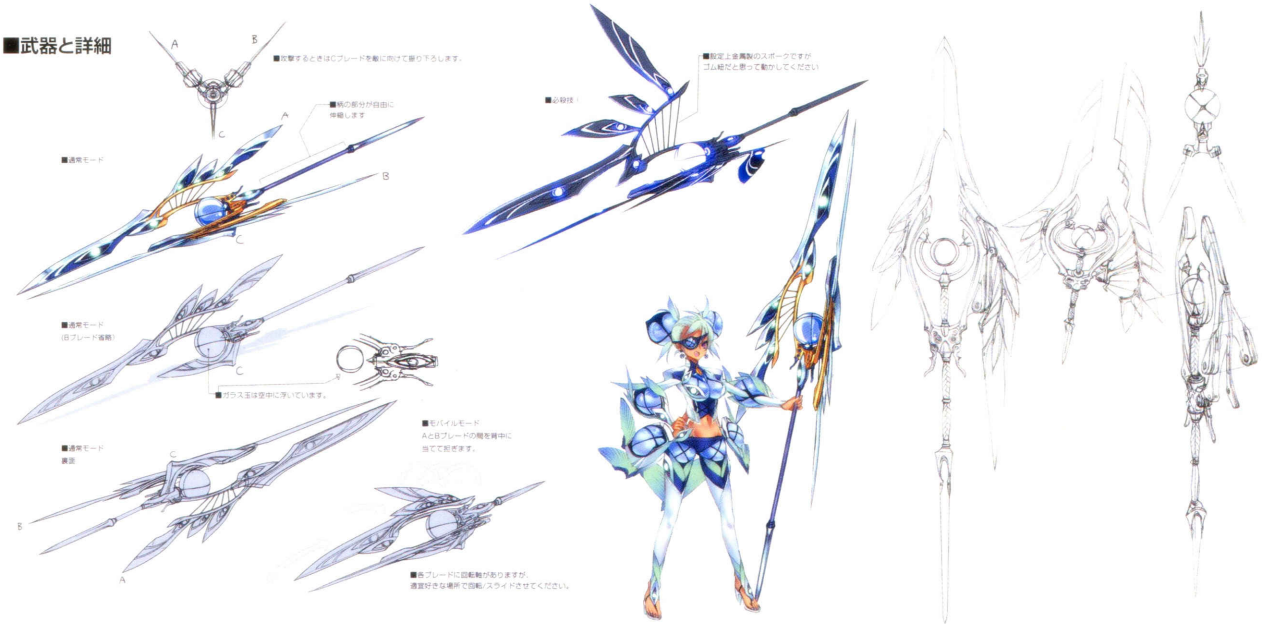
■バストアップとパーツの詳細







■武器と詳細



セオリ

■CV：川澄 綾子
■イラストレーター：麦谷興一（CHOCO）
■タイプ：人型・女性型
■属性：氷
■ロール：防御
■武器種：刀
■好きなジャンル：野菜、ボードゲーム
■好きなアイテム：野菜煮込みルーシチ、雪花キラキラ香水



「私がいないと
お姉ちゃんはすぐ
寂しがるんだから」

◆クールな少女剣士

ミクマリとコンビでコアクリスタル狩りをしていたブレイドの少女。ミクマリとは逆の左目に眼帯をつけており、性格も対照的で物静か。ミクマリだけがコアクリスタルに戻った後は、新たなドライバーとなったレックスたちを密かにつけ回し、指示を書いたメモをミクマリの槍につけて放っていた。それらの行動理由はミクマリを取り戻すためだったが、じつはドライバーの策略によるものだったと発覚。ミクマリを殺すというドライバーからの指示には従うことはできず、逆にドライバーを倒して自らがコアクリスタルに戻ってしまう。その後、ミクマリと同じくセオリもレックスたちのブレイドとなる。

姉妹の絆を感じ始めていたミクマリに対して、セオリは無関心だったが、インヴィディア烈王国の街で子供たちの手助けをした際に気持ちに変化が表れ始める。子供たちの満面の笑顔を見たときに初めて、ミクマリのことを「お姉ちゃん」と呼び、本当の意味での姉妹の絆が生まれることとなった。

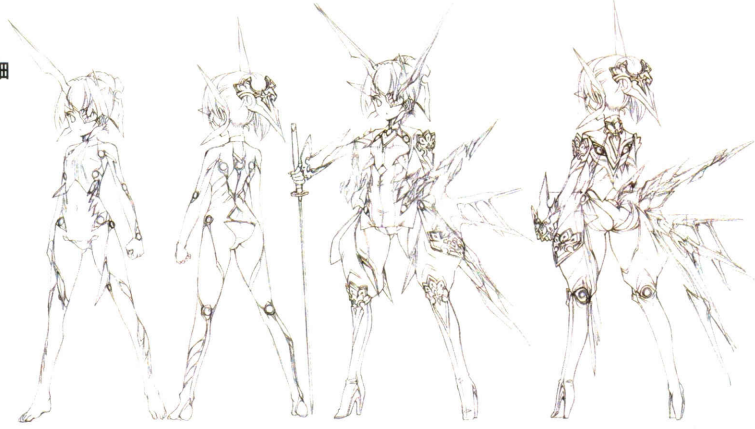
Illustrator's Comment

セオリは一見露出度が低くてセクシーさを抑えているように見えますが、じつは太もも外側以外ぴっちりシルエットだったり、前垂れ部分はスクール水着の構造になっていたりしております。元々軍服のような制服の指定がありましたが、詰め襟等で全身きっちり包み込むことでホンの一部の肌をより輝かせて見えるようにしました。ところどころ生えてる氷のスパイクも「服の下でどんな風に生えてるの？」といろいろな想像が掻き立てられる仕様になっております。「眼帯を取るとどうなっているのか」とかも、いろいろプレイヤーの皆さんに想像していただこうと思っております。

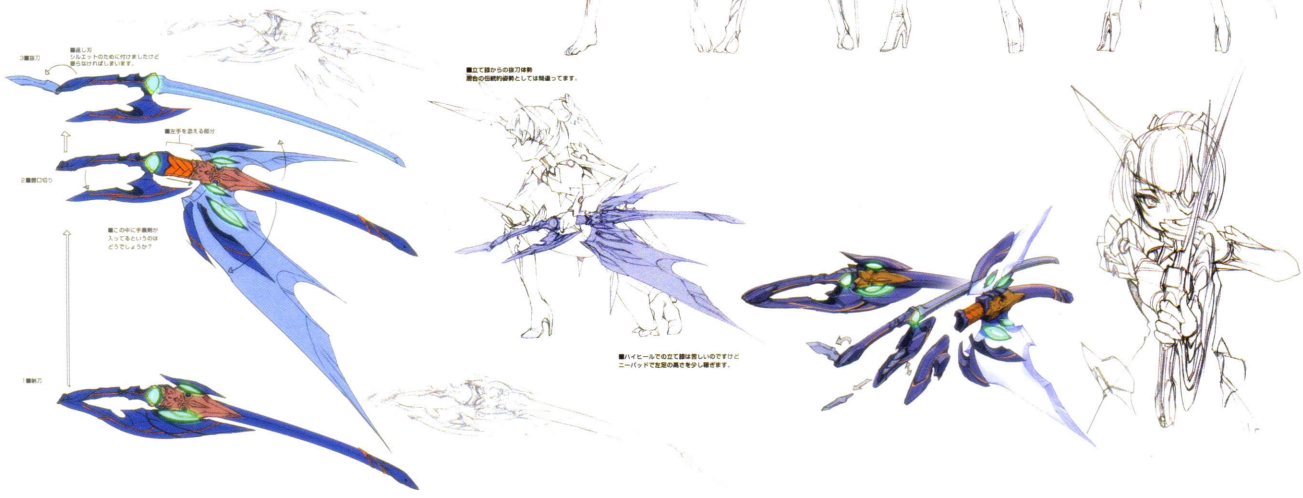
■バストアップとパーツの詳細



■インナー詳細



■武器と詳細





トキハ

■CV：小清水 亜美
■イラストレーター：木村 貴宏 & RICCA
■タイプ：人型・女性型
■属性：氷
■ロール：攻撃
■武器種：ランス
■好きなジャンル：魚類、織物
■好きなアイテム：深煎り・クロ・コーヒー、フォンス・ヴィオロネ

私のこの意志は永久不変

◆正義感を貫く女騎士

強い正義感を持つ、褐色肌の女性型ブレイド。アヴァリティア商会で行方不明の子供たちの調査を依頼された際には、誰よりも率先して行動していた。まさに子供たちを連れ去ろうとしている誘拐犯を見つけ、尋問したところ各国の子供たちを運ぼうとしている港へ向かうことに。その港が人工ブレイド施設の中にあると知った一行は、子供たちを迅速に救出するために二手に分かれて施設内へ突入する。そこで誘拐事件の黒幕であるスペルビア人のマッドサイエンティストと遭遇。彼は古の技術を復活させて、人工ブレイドを超越する生体兵器を生み出す研究を行っており、その一環として各国から子供たちを集めて生体実験をくり返していた。子供たちを人質にとられて窮地に陥るトキハだったが、自らの意志は命を失っても消えることはないと断言し、マッドサイエンティストを圧倒。さらにレックスたちが助太刀にやってきて形勢逆転する。敵がくり出す兵器も退けるが、レックスたちはマッドサイエンティストをどのように処分すべきか悩んでしまう。そんな彼らにトキハは、法で裁くことを優しく進言するのだった。

Illustrator's Comment

『ゼノ』シリーズといえばゲーム未プレイながら「T-elos」のデザインラインが大好物で、今回「氷属性の実直な女騎士、お姉さんキャラ、ランス使い」というお題をいただいた瞬間に「銀髪で褐色！」と閃きました。まさか、のちに本家T-elosが参戦するとはこのときは思いもよらず……。当初は和テイストでミニ丈の白い着物に甲冑、姫カットを高く結んで、と考えていたのでその名残りが見て取れます。ランスを操ってくるくる回るようなアクションを想定して、華麗なシルエットになるといいなと思いつつ髪と下半身でなびき物を用意しました。モデリングの再現度には文句のつけようがなく、モーションのテストではランスを使ったポールダンスのようなアクションもあり、まさに願ったり叶ったりの出来栄えです。

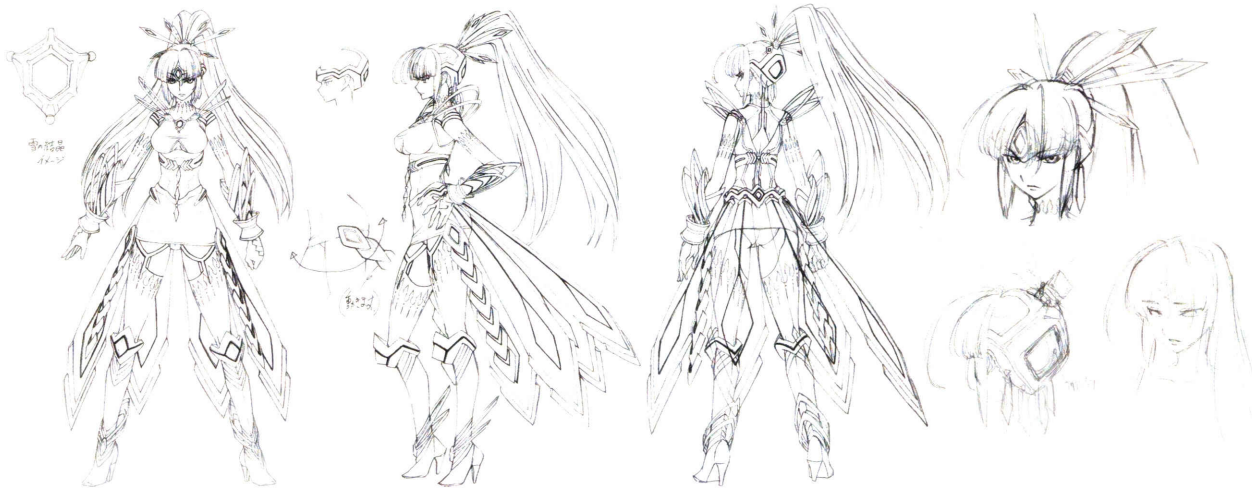
■ラフデザイン



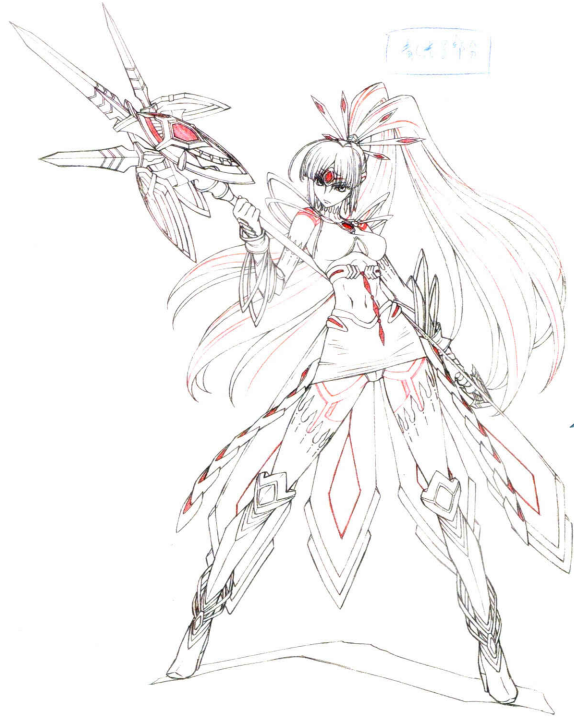
■発光ラインとインナー



■三面図とバストアップ



■青く光る部分



■武器（デザイン：松本 秀幸）





ザクロ

■CV：赤﨑 千夏
■イラストレーター：山下 しゅんや
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：回復
■武器種：ナックルクロー
■好きなジャンル：ドリンク、コスメ
■好きなアイテム：フルールパパロア、巻貝エクステ

「女子力っていうのはねー
女の子の戦いに
必要不可欠のパワーなんだよ！」

◆多感な年頃のおしゃべりガール

元気満点でおしゃべりが大好きな女性型ブレイド。右手の爪が稲妻の形をしており、露出の高いレオタードのような衣装が特徴的。年頃の女の子らしく気分屋で、気に入らない宿屋に宿泊した際にはヒカリと言い合いになり、どちらの女子力が優れているかを勝負することに。かくして、敗者は公衆の面前で流行の踊りを踊るという、負けられない戦いの火蓋が切って落とされた。その勝敗を判定するために、ニアやメレフなど仲間たちも巻き込まれていってしまう。10数回以上に渡って勝負が行われるものの、いずれも引き分けかノーゲームという不毛な結果が続いていく。朝まで勝負は続き、最終的にふたりが出した答えは、「仲間の中でもお互いが最高の女子だ」というものだった。仲直りしてお互いを褒め称え合う一方で、巻き込まれた仲間たちは怒り心頭。結局ザクロとヒカリは正座させられて説教されたうえ、ふたり揃って踊らされることになってしまう。この一連の騒動を反省したザクロは、これからは楽しくおしゃべりをしたいと笑顔を見せた。

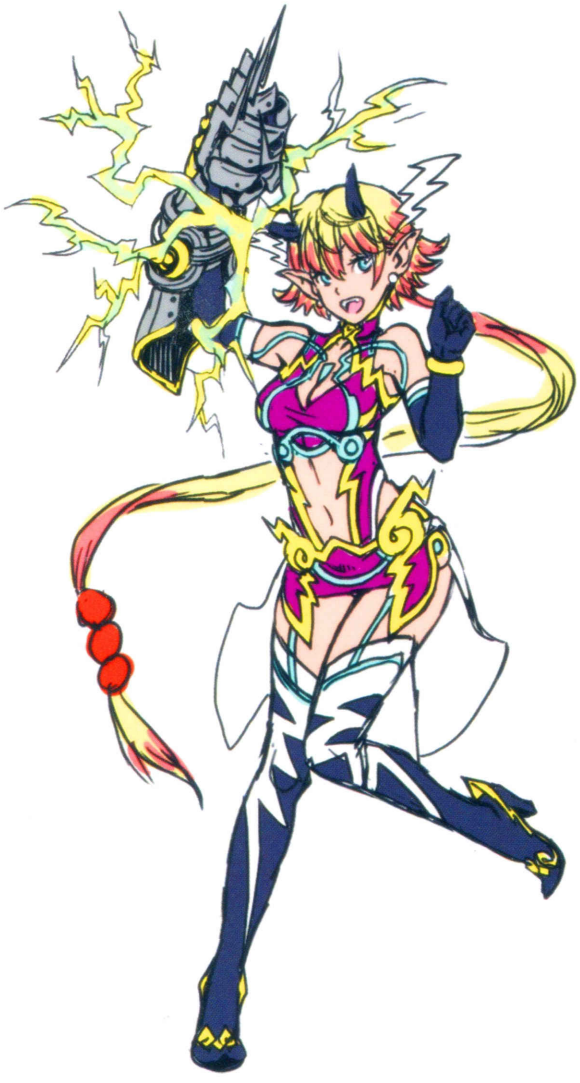
Illustrator's Comment

とにかく健康的な色気のあるキャラクターを心がけました。水着のような衣装は雷神とチャイナドレスをイメージしています。雷の記号的なギザギザをあちこちに配して、気が強くて自信家という性格をなんとなく匂わせてみました。肌の色は数パターン提出してスタッフに選んでいただいたのですが、候補には紫肌や褐色などもありました。

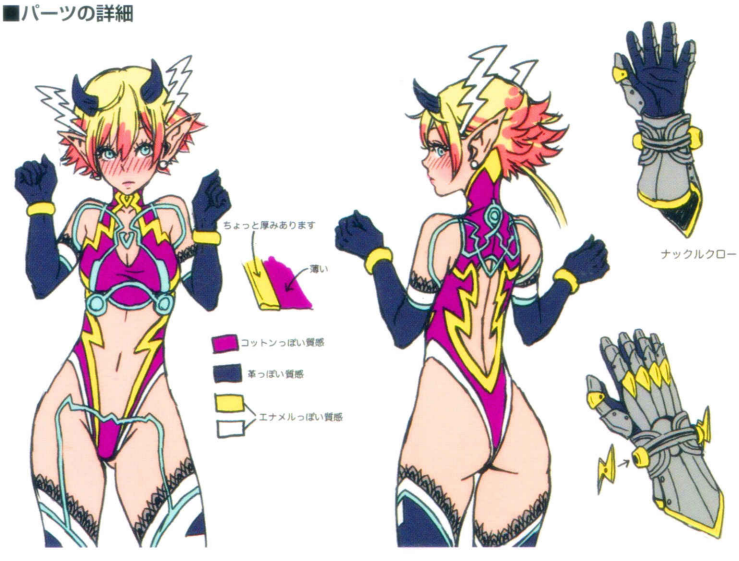
■三面図とバストアップ



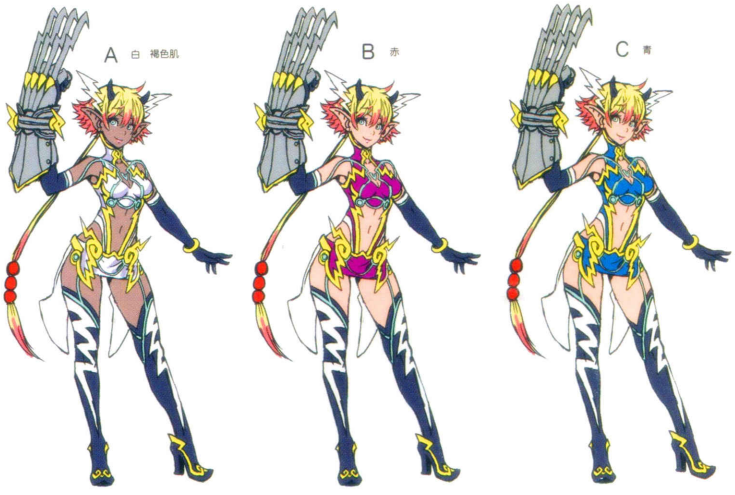
■立ちポーズのラフ



■パーツの詳細



■カラー案



アザミ

■CV：斎藤 千和
■イラストレーター：hakus
■タイプ：人型・女性型
■属性：闇
■ロール：攻撃
■武器種：エーテルキャノン
■好きなジャンル：ドリンク、書物
■好きなアイテム：蒸気雪花タブレ、
オパール珊瑚の口紅



よく見ててね私の愛しのドライバー

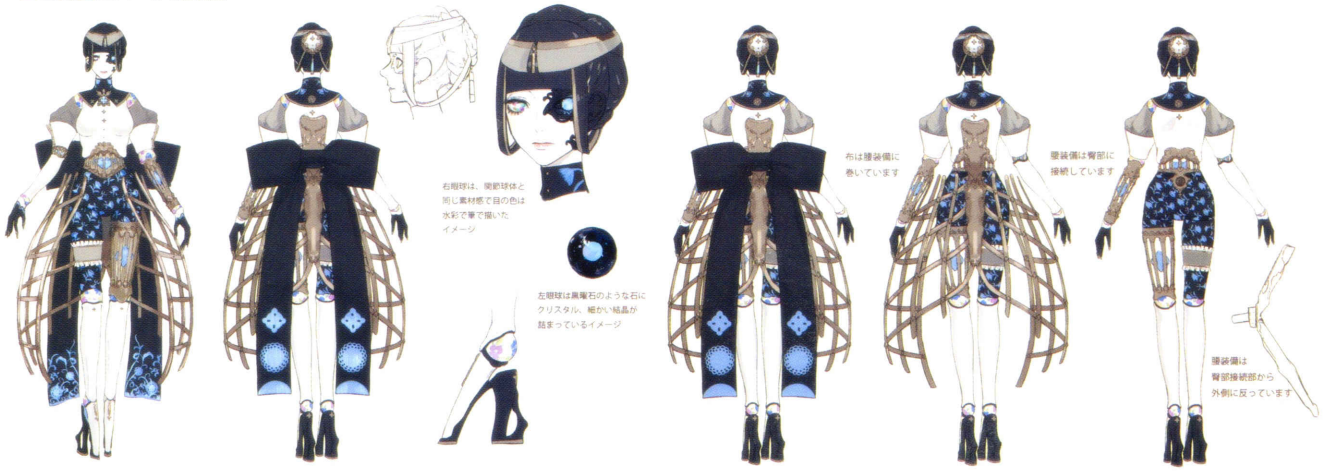
◆千里先も見通す邪眼の持ち主

まるで球体関節人形のような外見をした、女性型ブレイド。体の一部がフレームのみになっていて、内部が露出しているように見える。左目に装着しているパーツはただの飾りではなく、「千里邪眼」と呼ばれる特殊な能力で、距離や障害物に関係なく、自身がいる場所とは別の巨神獣の様子すらも確認できる。インヴィディア烈王国の港で発見した怪しげな集団を追跡する際には、「千里邪眼」の能力を最大限に活かして動向を逐一探ることに成功。一度はアザミの単独行動で輸送船を沈めてしまったが、再度の調査でその集団が危険な毒薬を運んでいたことを突き止める。さらにアザミの活躍で毒薬を使う装置の設置場所まで発見し、見事犯人の捕縛に成功。犯人から装置を止める手段について嘘を教えられたものの、アザミは悪戯っぽい笑みを浮かべながら装置を破壊してしまう。無事に事件を解決してドライバーから褒められたアザミは、うれしそうにもっと褒めるよう懇願するのだった。なおドライバーに対する想いは強く、役に立とうとする献身的な一面も見せる。

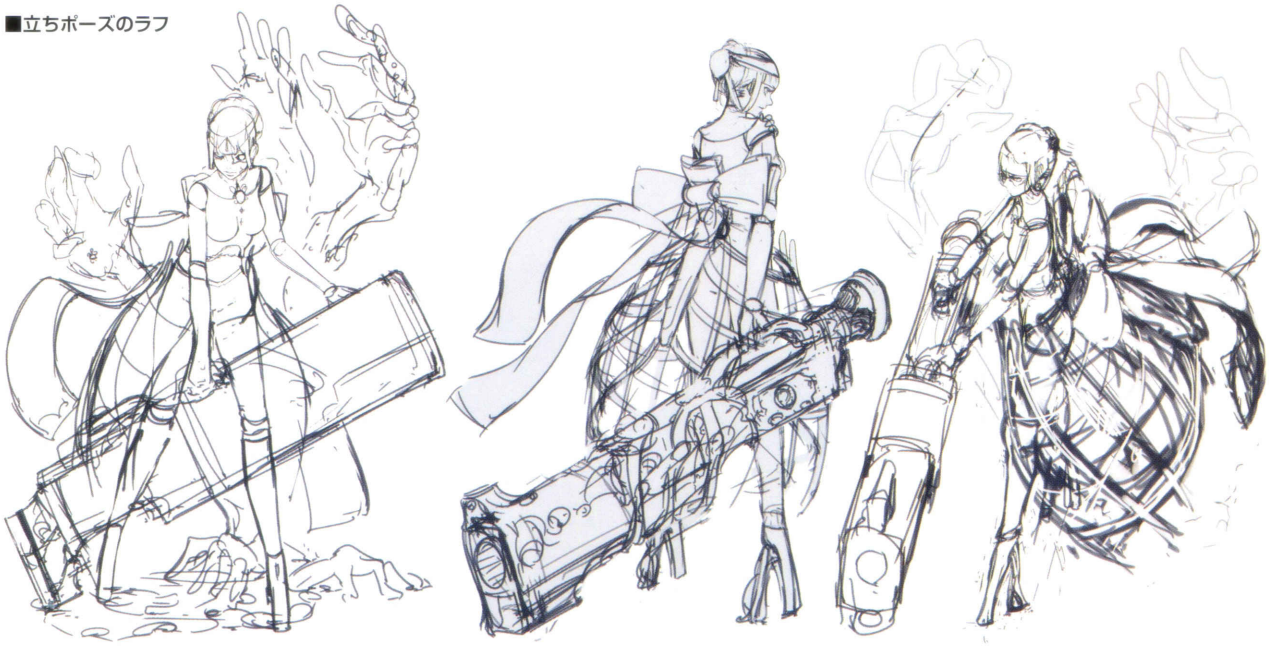
Illustrator's Comment

ドライバーに対し執着心が強いアザミ。まず芯の部分にパッと見、敵キャラのような怖さや不気味さが滲み出るキャラクター像が合いそうと感じました。そんな重すぎる愛情（ヤンデレ？）をもつ彼女を3つの要素で表現しています。ひとつは球体関節に白磁の肌、ドールのような見た目の印象を出しました。ドールのあの今にも動き出しそうな不気味さを感じさせる艶っぽさが、アザミにピッタリだと感じました。ふたつ目は、クリスタルを収める檻のようなパーツと腰に装着しているクリノリンです。腰のドレスの骨組み、後ろから見ると人間のアバラ骨のようにしています。束縛の強そうな彼女を、網状、檻状の要素で表現しました。最後は武器であるエーテルキャノン。これは趣味なのですが、巨大な武器を女の子が振り回すってギャップがあっていいですよね。

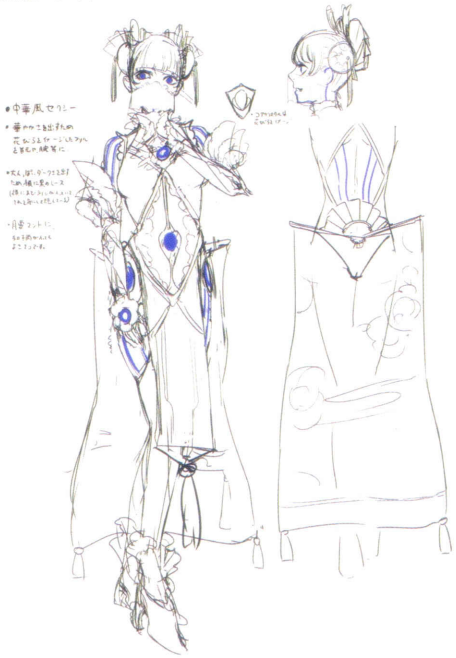
■二面図とパーツの詳細



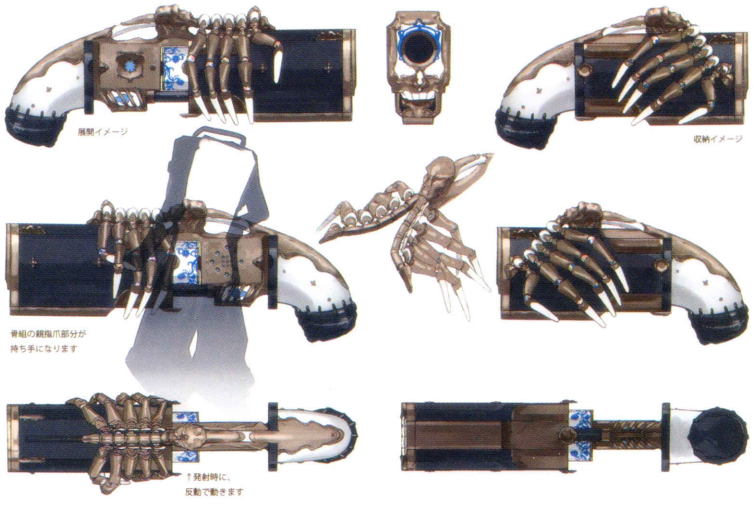
■立ちポーズのラフ



■初期デザイン



■武器と詳細



ナナコオリ

■CV：日高 里菜
■イラストレーター：江端 里沙
■タイプ：人型・女性型
■属性：氷
■ロール：回復
■武器種：ナックルクロー
■好きなジャンル：スイーツ、コスメ
■好きなアイテム：トリゴリウト、スチームオルガン



私自身が楽しんで歌うね！

◆音楽の才能を秘めた内気な少女

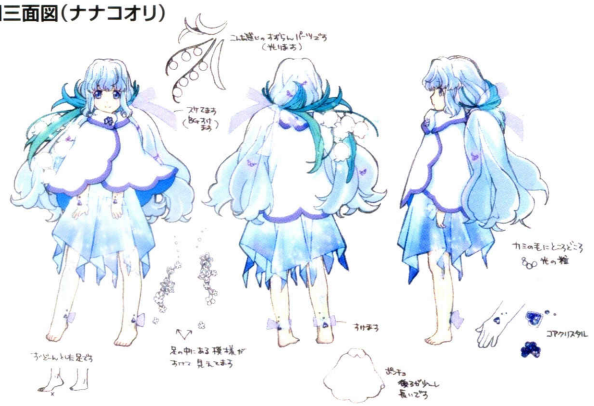
雪のように白い肌と衣装が印象的な、儚げな雰囲気を持つ少女型ブレイド。相棒であるシロクマのクマリンとともに誕生し、つねに寄り添い合って行動している。ブレイドであるものの臆病で戦いを好まない性格のため、戦闘においてはクマリンがドライバーのサポートを一手に引き受けている。

音楽の才能があるものの、恥ずかしがり屋な性格であることに悩んでいたが、グーラで女の子を励ますために披露した弾き語りに目をつけた音楽プロデューサーからスカウトされる。自分自身を変えたいという想いで初めてのコンサートに臨み、残念ながら失敗に終わってしまうものの、熱狂的なファンを獲得。そこからきびしいレッスンを重ねて、劇場でのコンサートを幾度も経験し、成功と失敗をくり返しながら成長を遂げていく。やがて大きな公演を迎えるが、直前になり緊張で歌えなくなってしまう。するとグーラで励ました女の子が、ナナコオリの影響で練習したという弾き語りを披露してくれる。歌は楽しいものだと改めて気付き、彼女とともにコンサートを大成功に導くのだった。

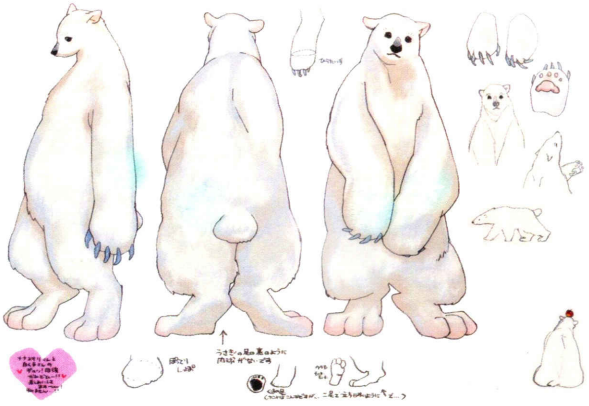
Illustrator's Comment

「氷・シャープな感じ」はツキで、「雪・パウダースノーふんわり感」でナナコオリをイメージしました。「くまりん」は白熊っぽく……だけど少し人間っぽい、その中間をイメージして……ただの白熊っぽくない感じでデザイン進めさせていただきました！　「くまりん」を「ぎゅっ！」っとしたら体力が回復！（リアル自分が回復すると思ったので……（笑））など、アクションにまでお願いをしてしまって……本当にスタッフの皆様にご迷惑おかけしました……!!　できあがった3Dモデルを見たときは「すごーーーーいいい!!」と感動とありがたい気持ちで涙でました……！

■三面図（ナナコオリ）

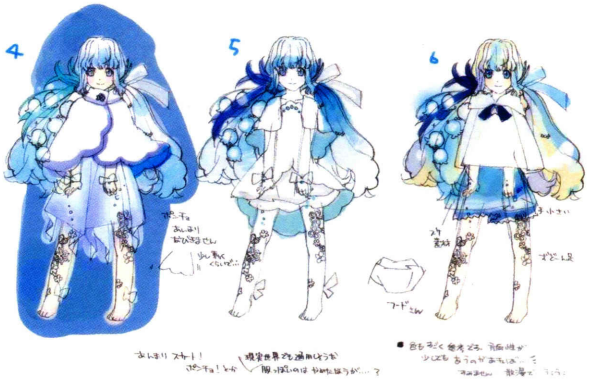


■三面図（クマリン）

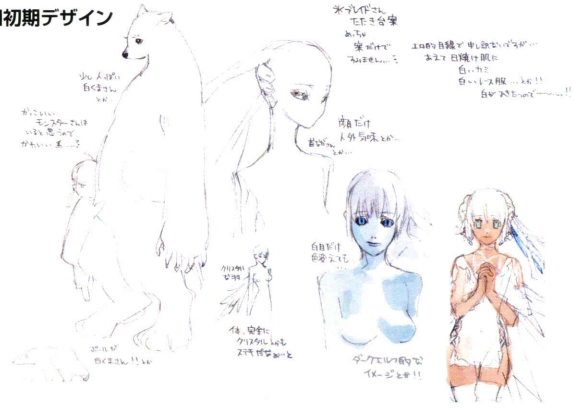


■デザイン案





■初期デザイン





■回復案



■武器
（デザイン：モノリスソフト）



ニューツ

■CV：日笠 陽子
■イラストレーター：野上 武志
■タイプ：人型・女性型
■属性：火
■ロール：防御
■武器種：刀
■好きなジャンル：肉類、楽器
■好きなアイテム：アーミーフィールド、電撃ロースのスタミナ炒め



「この4本の腕を失うことになろうと最後まで皇帝陛下をお守りいたしますぞ！」

◆巨神獣兵器マニアの女軍人

露出の多い軍服を着ており、語尾に「～～であります」とつけて話す、まさに女軍人という表現が最適なブレイド。自分自身の腕とは別に巨大な豪腕を自在に操ることができ、戦闘の際にはそちらの腕が持つ極太の刀を振るってドライバーをサポートする。また、後頭部にもひとつ目がついているのも特徴。

無類の巨神獣兵器好きで、とくにスペルビア帝国の技術を高く評価しており、巨神獣戦艦は最高の船だと興奮気味に話していた。そして同時に軍人であることに誇りも持っており、兵器の技術だけで戦い訓練を怠けているスペルビア兵たちと衝突してしまう一幕も。その中で巨神獣兵器の攻撃に耐えるという離れ業を見せて、ニューツの評判は兵士たちのあいだで急速に広まっていく。そして武勇伝を聞きつけた兵士たちの嘆願により、スペルビア皇帝であるネフェルも参加する模擬訓練に加わることに。反帝国主義者たちが訓練に乗じて襲撃してくるが見事撃退して、全員捕えることに成功。ネフェルからの絶対的な信頼も勝ち取ったのだった。

Illustrator's Comment

ニューツについては、「ミリタリーっぽいのが欲しい」というモノリスソフト様の要望に乗っかり、ワル乗りして作りました。後頭部の目玉を実装してもらったのが最大の喜びです。ゲームのキャラクターをデザインするのは初めてでしたが、実際のゲームでは、こちらが想定していなかったおもしろいアクションをしているのが新鮮で、楽しいお仕事になりました。自分の腕に乗るとかなにそれかっこいい！　モノリススタッフすげえ。どうか皆様、あのミリオタ眼鏡っ子をよろしくお引き回しのほどを。

■パーツの詳細

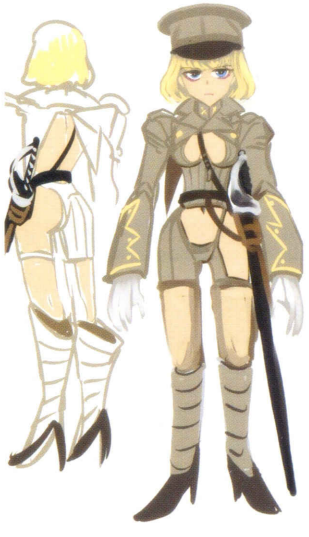








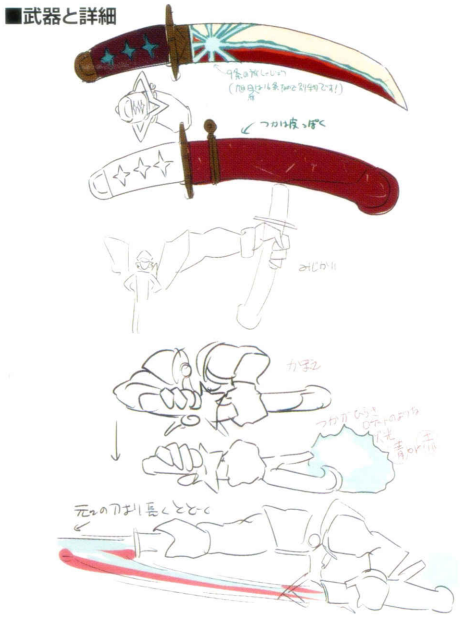
■デザイン案①



■デザイン案②



■武器と詳細



ウカ

■CV：M・A・O
■イラストレーター：日暮 央
■タイプ：人型・女性型
■属性：地
■ロール：回復
■武器種：ナックルクロー
■好きなジャンル：魚類、楽器
■好きなアイテム：トリコロールボール、鳶之油揚



「何とか説得しようと
一生懸命、
話しかけたんですよ！」

◆フォネクスと話せる猪突猛進少女

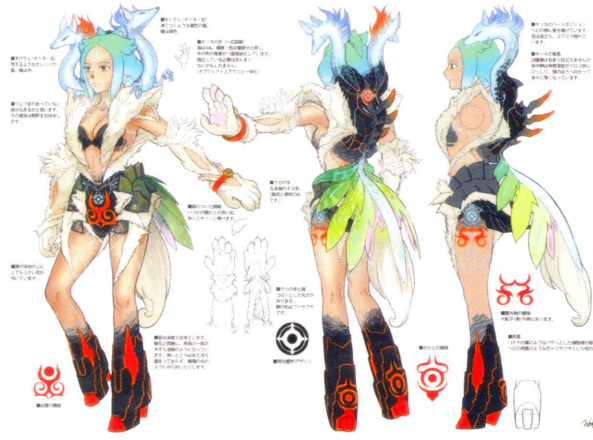
鼻がキツネのようになっているという外見的特徴を持つ、女性型のブレイド。両手に装着したナックルによる肉弾戦を得意とするが、本人の性格はいたってのほほんとしている。

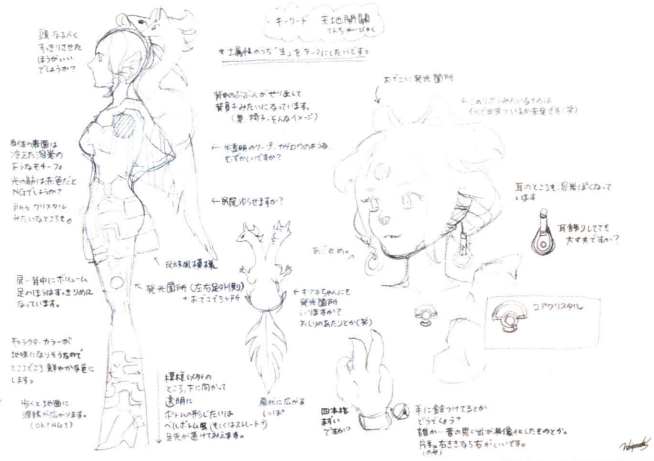
両肩にスケタン、カクタンという生物を乗せており、会話も行える。またフォネクスとも会話が可能で、イヤサキ村の近くにいたフォネクスからは、幼なじみのフォネクスが行方不明になったことを聞かされる。なぜかスペルビア帝国のせいだと言って張り切るウカは、レックスたちの制止も聞かず、強引に捜索を開始。リベラリタスだけでなくアルストの各地まで捜索範囲を広げ、フォネクスたちから情報を得ていった結果、テンペランティアでモンスターに捕まっていると判明。モンスター相手でも会話できると信じるウカだったが、結局話は通じず戦うこととなるも、無事にモンスターを撃退して、フォネクスの救出に成功する。そしてこの一連の騒動終了後、スペルビア嫌いの原因は、スペルビアの巨神獣と会話を試みたものの、まったく会話にならなかったことだということがウカ本人から明かされた。

Illustrator's Comment

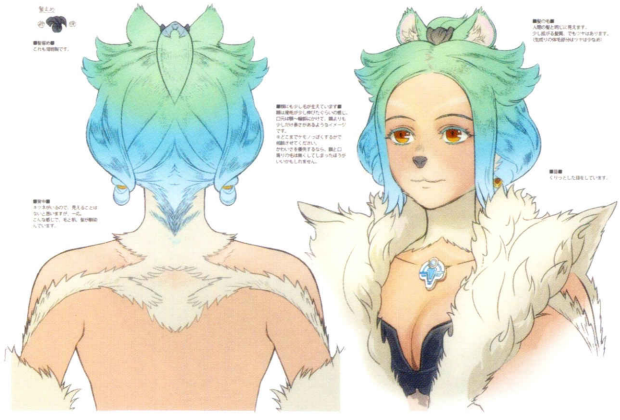
「民族衣装を着た地属性の若い女性キャラ」、「人間的な衣服とは差別化されたデザイン」等のポイントを抑える形で、ウカのデザイン作業がスタートしました。獣を背負っているデザインの初稿ラフから、背負子的な見た目をウカ本体とうまく馴染ませていく過程と、パーツがアニメーションするナックルのデザイン、そして毛の表現にやや苦労しました。私の、癖が強い絵柄のウカが、『ゼノブレイド2』の世界観にとてもマッチした3Dキャラクターのウカとなり、その画像映像がモノリスソフトの小島さんから送られてきたときは、強い感動を覚え、何度も眺めました。素晴らしい作品に参加させていただき、どうもありがとうございました。

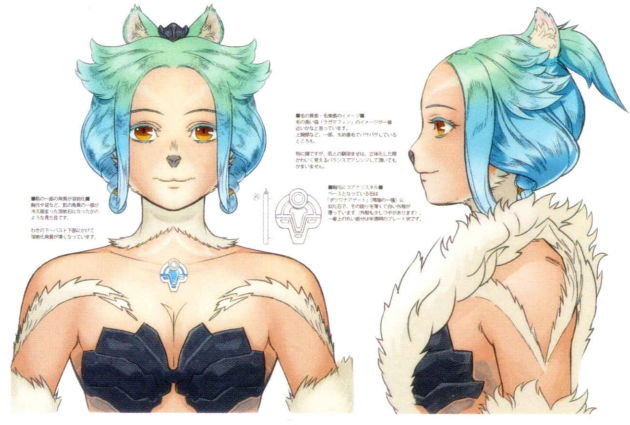
■三面図とパーツの詳細



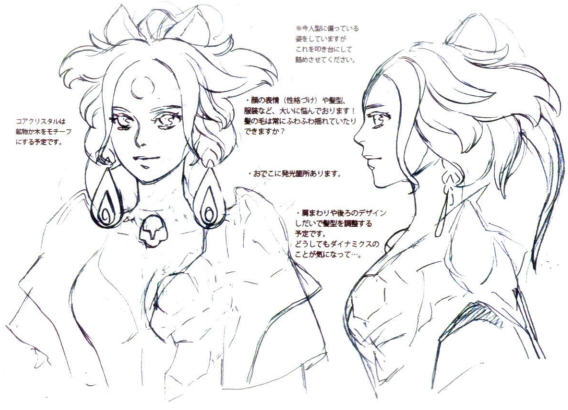


■バストアップと詳細

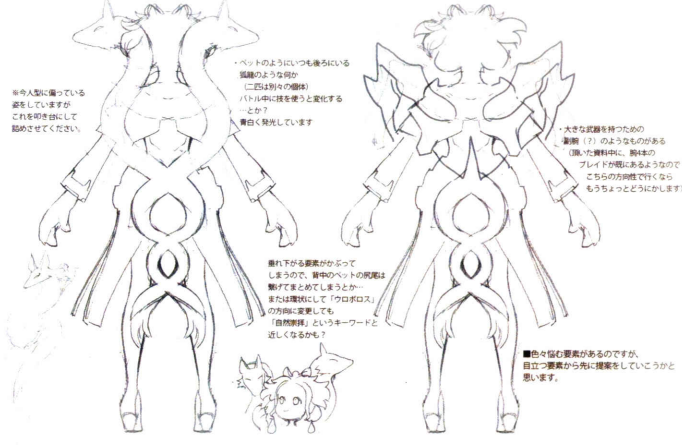




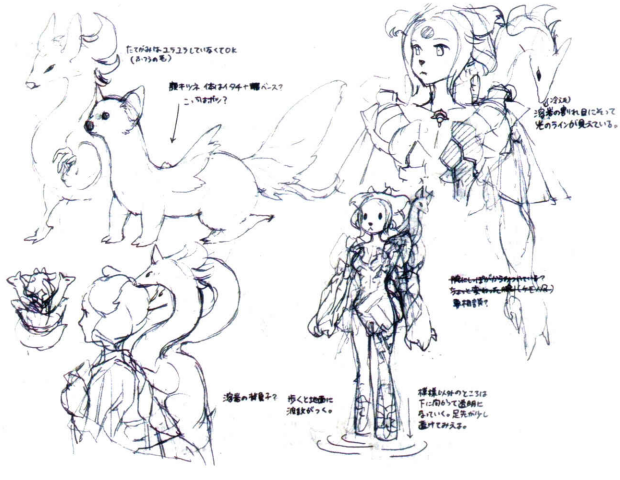
■初期デザイン①



■背面図の詳細



■初期デザイン②



■武器と詳細



リンネ

■CV：小澤 亜李
■イラストレーター：パセリ
■タイプ：人型・女性型
■属性：水
■ロール：攻撃
■武器種：エーテルキャノン
■好きなジャンル：スイーツ、織物
■好きなアイテム：アーケディアンティー、エフィムの銅像



「この子たちとお茶会を開くことで
ワラワの夢は叶うのじゃ」

◆ハーレムを夢見るお嬢様

「妾」という一人称で、古風な話しかたをするブレイドの少女。移動中だけでなく、戦闘中までも空飛ぶバスタブに入っている。

お金と女子が大好きで、ハーレムを作ることが夢。レックスに100万Gという大金を貯めさせて、理想のハーレムを作るためにリベラリタスにある島を購入する。しかし、「バカンスに最適な、世界中の女性が憧れる常夏のリゾート地」という触れ込みだったその島は、何の変哲もないただの離れ小島だった。自分が騙されたことを知ったリンネは怒りに打ち震えて、島を買わせたノポン族の商人を見つけ出し、払った金を取り返すことを決意する。レックスたちを無理やり連れ回して情報を集め、やがてリンネは商人を追い詰めることに成功。しかし商人に挑発されたリンネは怒りのあまり強烈な蹴りをお見舞いして、商人が持っていたお金が街中に散らばってしまう。お金は自分のものだとリンネが主張すると、拾った女性や子供たちが駆け寄ってくる。その姿に感動したリンネは、今までの邪な気持ちを改めて、純粋に楽しむためのお茶会を開く。

Illustrator's Comment

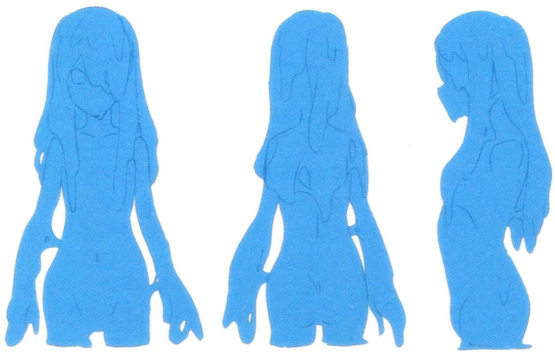
リンネのデザインについてはツインテールが腕に変形したり、水になったりとギミックを仕込もうと思いましたが、最終的には巻き貝デザインに落ち着きました。水属性の要素や、くるくる巻きということで「リンネ」という名前にも掛け合わさり、良い記号になってくれたと思います。また、水着とロイヤル感を組み合わせるのに難儀しました。バスタブギミックはモノリスソフトさんからいただいたもので、いろいろな要素が詰め込めてとても気に入っています。



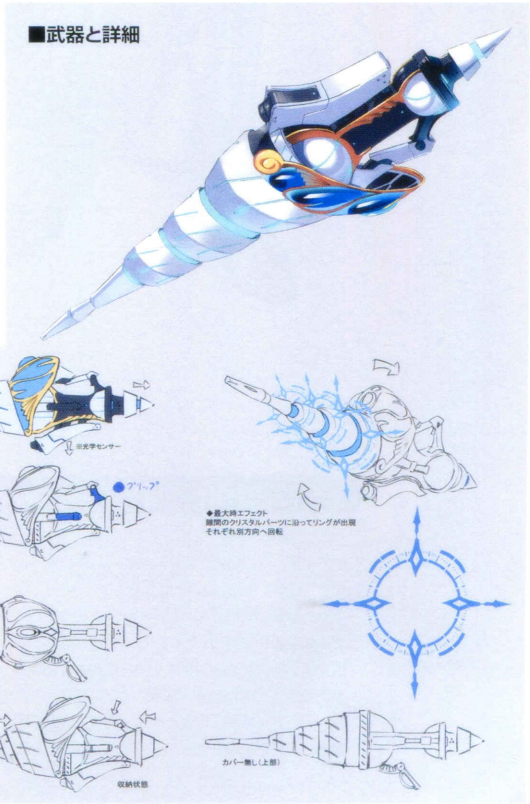
■三面図(リンネ)



■三面図(水のあいじん)



■武器と詳細





ムスビ

■CV：高橋 美紀
■イラストレーター：麻宮 騎亜
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：回復
■武器種：ボール
■好きなジャンル：魚類、コスメ
■好きなアイテム：蜜豆おはぎ、トリゴ織粉雪巾着

「この家を見て、温かいというか懐かしい気分になりまして」

◆抜けた一面も持つ心優しき乙女

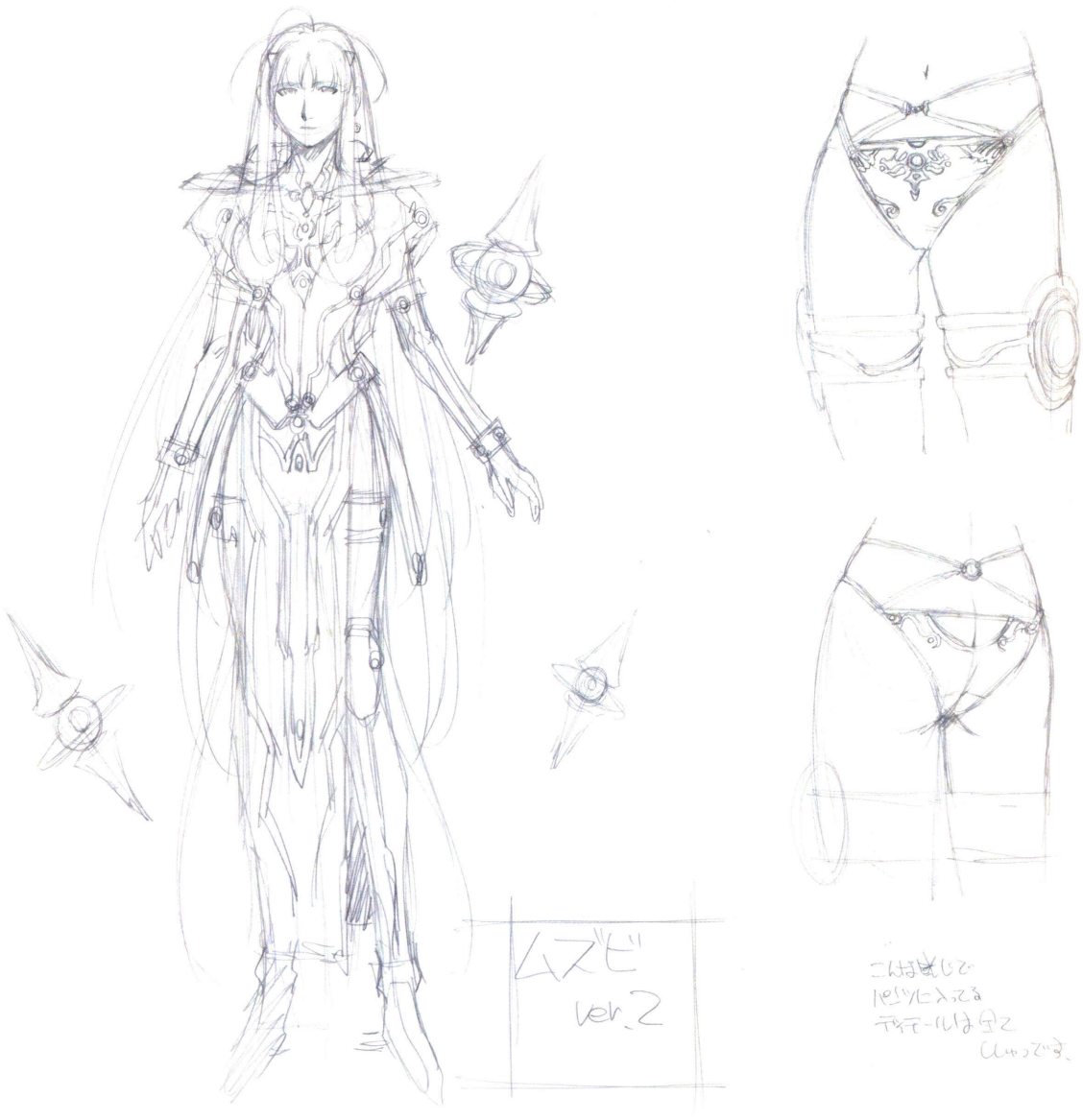
白を基調とした衣装を身に纏い、神聖な雰囲気を醸し出す女性型ブレイド。その神々しさとは裏腹に、おっちょこちょいな一面が目立ち、口調や性格も幼さを感じさせる。名前の通りおむすびを得意料理としており、その味は絶品と評判。

元々はトリゴの街に住むドフセイ老人のブレイドで、買い物中に困っているときにレックスたちから話しかけられたことで知り合う。グーラで買えない食材をレックスたちに手に入れてきてもらい、少しずつ交流を深めていく。ドフセイはかつて凄腕のドライバーであり、ムスビもブレイドとしてともに戦っていたが、彼の現役引退に伴って薪割りや料理など生活面のサポートをしている。その後もレックスたちがドフセイからの依頼でさまざまな物を届けたり、彼の子供たちに会って預かり物を渡していくのを見守っていたが、ドフセイがムスビへの感謝の気持ちを語りながら静かに息を引き取ったためコアクリスタルに戻ってしまう。レックスたちのブレイドとなったムスビはドフセイの記憶を失ってしまうが、後に彼の子供たちと出会い、彼の人柄を改めて知ることになる。

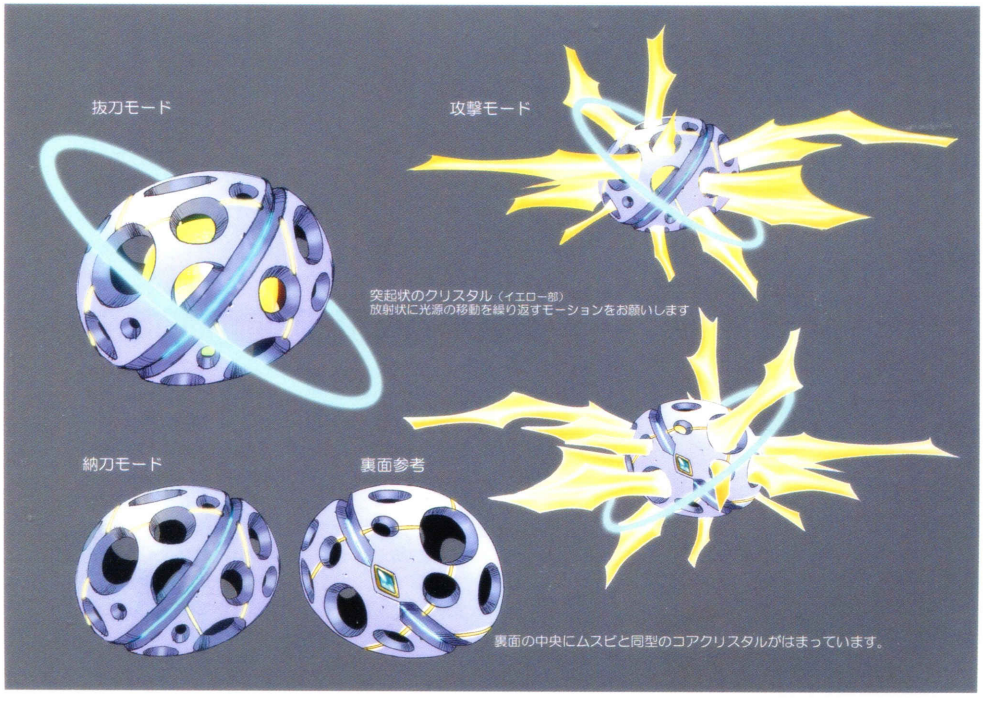
Illustrator's Comment

ムスビに関しては、クライアントのほうから僕の過去の作品のキャラクターのイメージで発注されました（担当の方がファンらしく、じつはこういうケースは多いんです）。苦労した点は、周りに浮かんでいるガジェット等、ゲーム世界の法則があったのでそれを守らなければいけないというところでしょうか（当たり前ですが）。ムスビは癒しのキャラクターなので、攻撃的ではないデザインにしました。色はもう金髪で、コスチュームは白。この白に金っていうのは、高貴なイメージとともに看護師などの白い服をイメージしています。声は声優の高橋美紀さんがやられているのですが、声優として現場復帰第1号ということで声にも注目してください。

■ラフデザイン

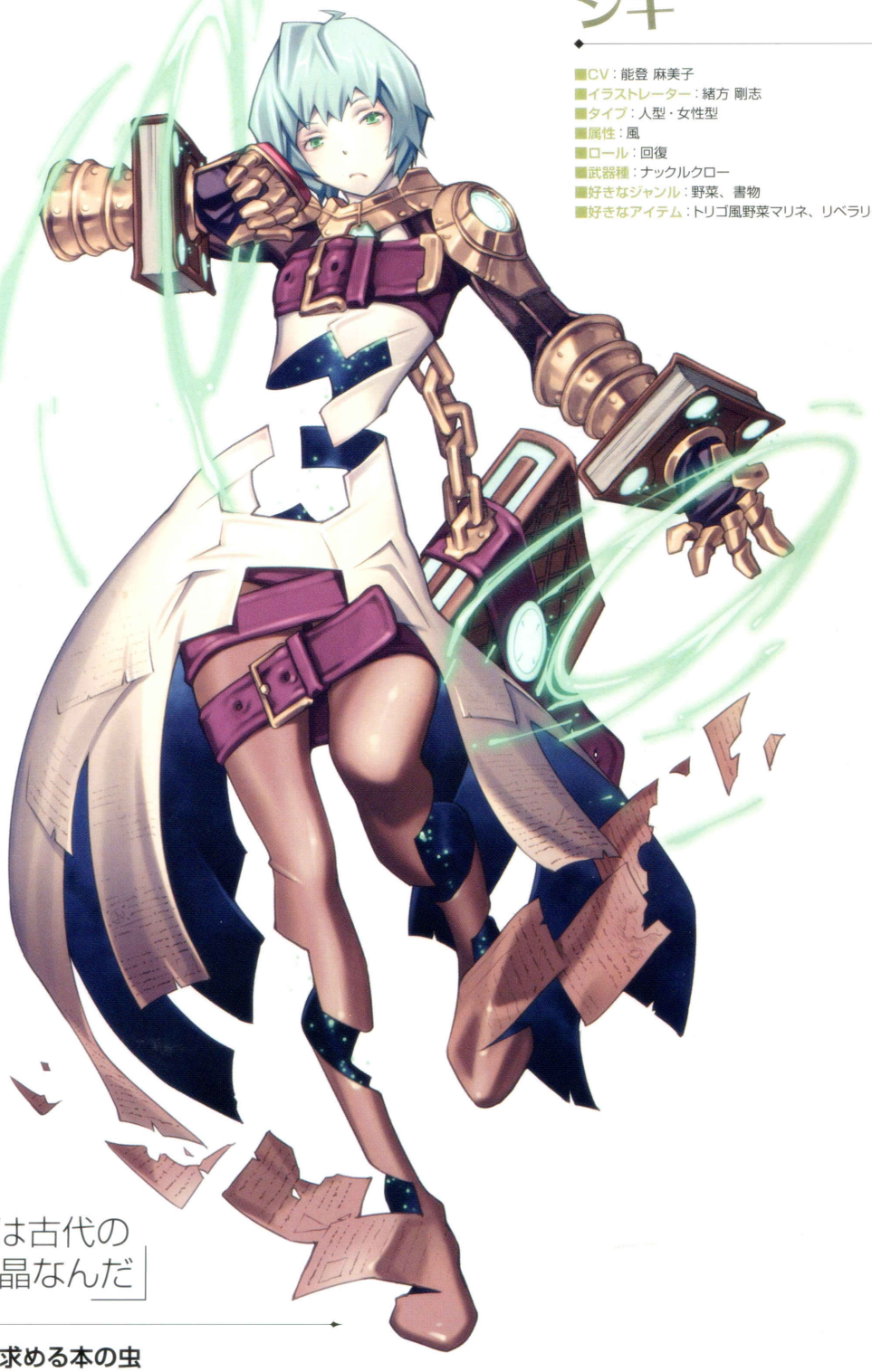


■武器と詳細



シキ

■CV：能登 麻美子
■イラストレーター：緒方 剛志
■タイプ：人型・女性型
■属性：風
■ロール：回復
■武器種：ナックルクロー
■好きなジャンル：野菜、書物
■好きなアイテム：トリゴ風野菜マリネ、リベラリタス・ライフ



「この部屋は古代の英知の結晶なんだ」

◆貪欲に知識を求める本の虫

体の一部が何枚もの紙で構成されているブレイド、その中でも腹部が空洞になっている点が目を引く。中性的な外見で、一人称も「ボク」であるが性別は女性。本の形をしたナックルを装備していることからもわかるように、知的好奇心が強く書物を読むことが大好き。書店でたくさんの本に囲まれた際には、店主と本の内容や作者について盛り上がり、上機嫌になる。

知識の探求には余念がなく、歴史学や鉱物学といった学問だけに限らず、自身の特異な体の構造にも興味を示している。とくに強く追い求めているのが超古代の知識で、アヴァリティア商会のオークションで古文書を買い集め、それらを解読したことで古代の石板の在り処を突き止めた。調査を進めて宝の地図らしきものを発見した一行は、それが世界樹のとある部屋を指し示していることに気付く。そこに辿り着いたものの、モンスターがいるのみで何もなかったことに落胆するレックスたちだが、シキは部屋そのものが古代の英知の結晶であることに胸を躍らせるのだった。

Illustrator's Comment

「本が好きな打撃系キャラ」という、ちょっと変わった設定だったので、最初、自主ボツ含めてけっこうな数のラフを描いた覚えがあります。最終的には全身が本をバラしたような紙で構成されつつ、「でもまだ知識欲が満たされないのでお腹を構成する紙が足りていない、しかもボディー攻撃が効かなそう！」というのを思いついたあとはスラスラ描けました。気に入っているところはそのお腹のあたりと、それでも打撃系に進んだ心意気を買って本を突き抜けさせた手のデザイン（最初は本を殴って突き抜けたようなデザインで描いたのですが、僕の仕事的にも背徳感が半端なかったので止めました）。後は知識欲に縛られている感じと切っても切れない感じを出したかった極太鎖でつながった本です。

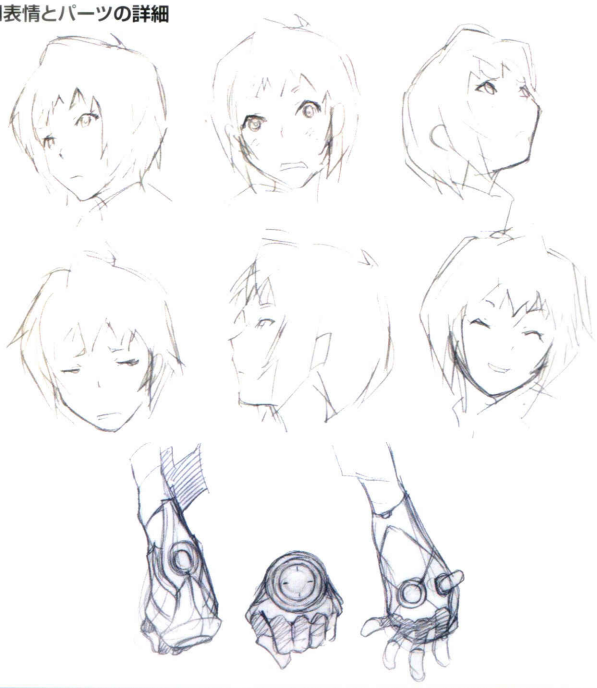
■二面図

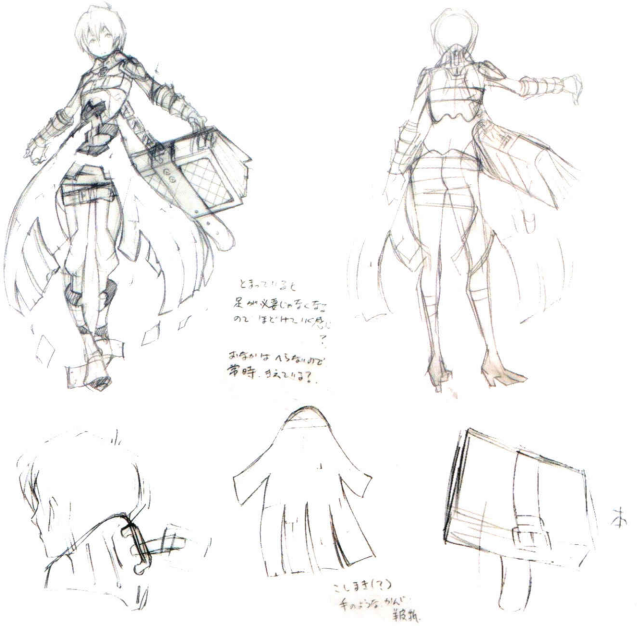


■発光ライン

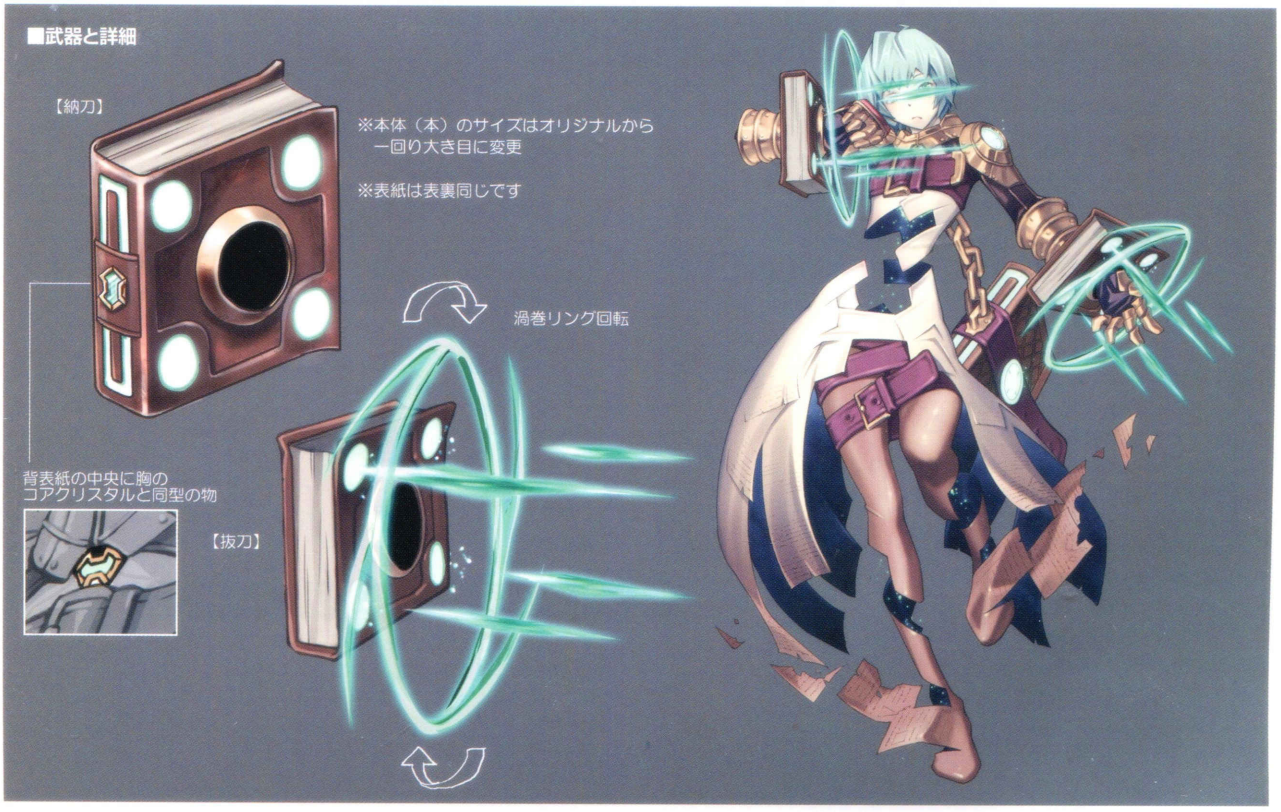


■表情とパーツの詳細





■武器と詳細



ライコ

■CV：茜屋 日海夏
■イラストレーター：水 あさと
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：防御
■武器種：ハンマー
■好きなジャンル：肉類、楽器
■好きなアイテム：はちみつみるく・オレ、メタルスネア



「ゴロゴロドッカーン!!
とライコ、
がんばりますね！」

◆制御不能の感電少女

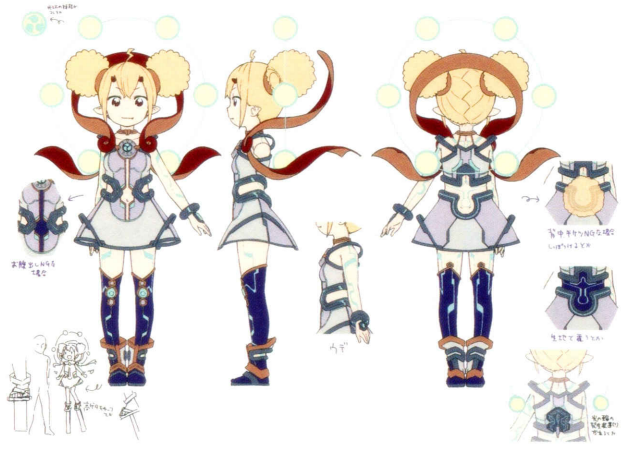
自身の体と同じくらいの大きさがある大鎚を、豪快に振り回して戦うブレイドの少女。雷神の太鼓のようなものを背負っていることが示すように、戦闘では雷属性の技を使用する。

自身が持つ強力な雷の力を制御しきれていないため、近くにいる人を感電させてしまうことも多い。トリゴの街で子供たちだけでなくレックスたちまで感電させた際には、パニックになって逃げ出してしまった。自分の力に自信を持っていたライコは、人の助けになるどころか傷つけてしまったことにショックを受ける。しかしレックスたちの説得を受けて、力を制御できるようになるようにしぶしぶながらも練習を重ねることに。アルスト各地で経験を積んで雷を制御できるようになったライコは、以前感電させてしまったトリゴの街の子供に再会。子供もライコも緊張した面持ちで握手を交わすが、感電する様子は見られない。するとふたりは緊張が解けて、一気に喜びを爆発させる。こうして、自身の力がただ強力なだけでなく、人の役に立つことを知ったライコは、明るい笑顔でドライバーに感謝を述べるのだった。

Illustrator's Comment

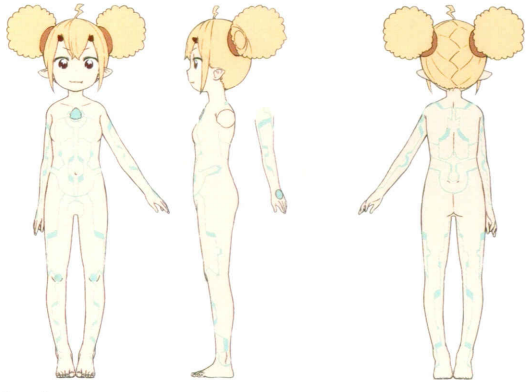
ファンタジーの経験はあまりなかったため、モチーフにした雷神、雷様などのデザインとすり合わせる点に苦労しました。気に入ってるところは髪の毛のふたつのもじゃもじゃですね、雷様といえばもじゃもじゃですし。自分の絵柄を再現した表情や、別案として描いていて気に入っていた同調時の雷に打たれる前の髪型など、ぜひ注意して見てください。

■三面図とパーツの詳細





■発光ライン

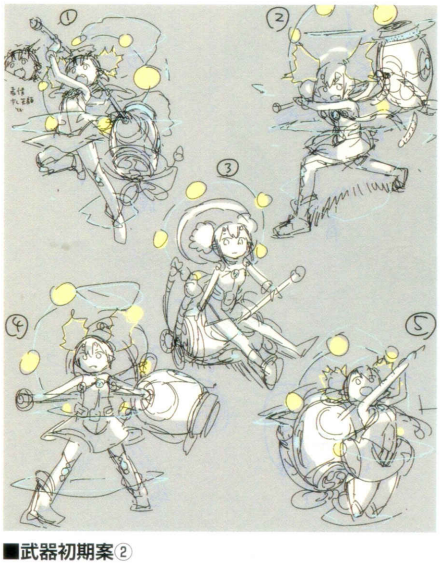




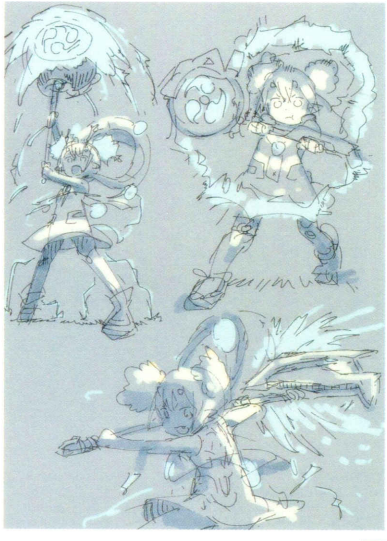
■初期デザイン



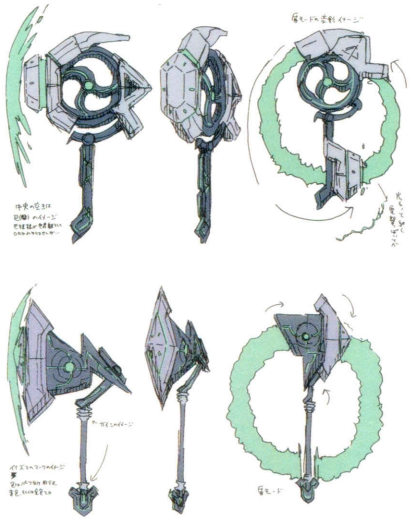
■立ちポーズのラフ



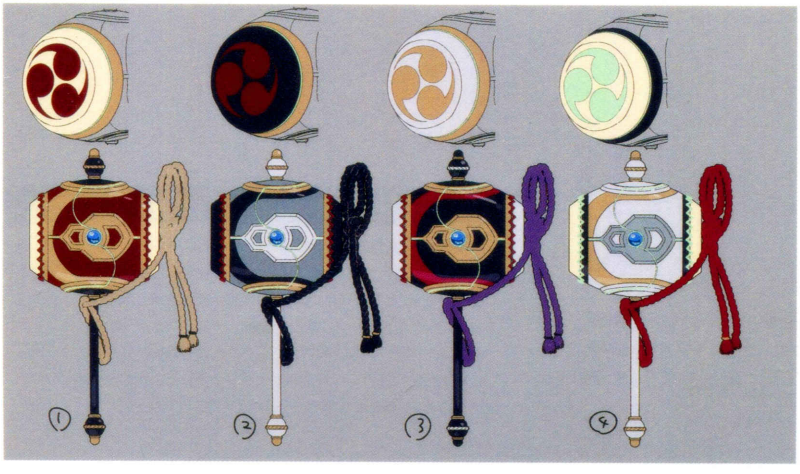
■武器の使用案



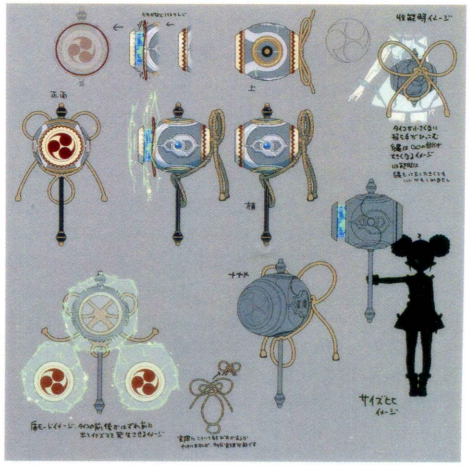
■武器初期案①



■武器初期案②



■武器と詳細





ヤエギリ

■CV：竹達 彩奈
■イラストレーター：岩本 稔
■タイプ：人型・女性型
■属性：風
■ロール：攻撃
■武器種：アックス
■好きなジャンル：肉類、書物
■好きなアイテム：テッカ鳥の炭焼き、隠れ勇者ガラードの肖像画

「アタシが求める最強はやっぱり
一対一のタイマン勝負なんだ！」

◆最強を目指す一本気な少女

風神のような袋を持っているブレイドの少女。アルスト最強のブレイドを目指して修行中の身であり、つねに強い相手との戦いを求めている。天の聖杯であるホムラやヒカリのことを一方的にライバル視しており、何かにつけて手合わせを申し込もうとするが敵対感情があるわけではない。聖杯大戦時に自分も存在していれば、きっとヒカリに戦いを申し込んでいただろうと発言するが、当のヒカリからは軽く流されてしまった。

強敵を求めるあまり、傭兵団任務を名目にして各地に赴くこともあったヤエギリだが、任務に飽きてしまいレックスたちにさらなる強者との戦いを迫り始める。ヒカリと戦うことも辞さないというヤエギリにレックスたちは困惑するものの、ヒカリが封印された古のモンスターのことを思い出し、それと戦うために情報を集めていく。各地で集めた情報を元に殺戮獣王アンドラスの封印を解くと、その凄まじい強さにヤエギリは感嘆。嬉々として戦いに興じ見事打倒するが、仲間の力あっての勝利に満足がいかず、さらなる強さを求めてドライバーと力を合わせることを誓う。

Illustrator's Comment

「戦闘大好き武闘派」、「明るい性格」というキーワードをいただき、風属性ということもあり、嵐の中で仁王立ちをしてにやりと笑う風神の女の子が浮かびました。風を纏い逆立つ髪と腰布、竜巻をイメージする螺旋などをデザインに取り入れています。「強いヤツと戦いたい」と、戦闘をスポーツ感覚で解釈していることから褐色の肌と、さりげないリボン結びでスポーツ少女ぽさを演出しました。元気いっぱいのヤエギリですが、落ち込んで丸くなるのが可愛いですね！

■三面図



■後光のリング



■立ちポーズのラフ



A　色っぽくも力強いポーズ

胸の露出とインナー（パンツ）の見た目は大丈夫でしょうか？

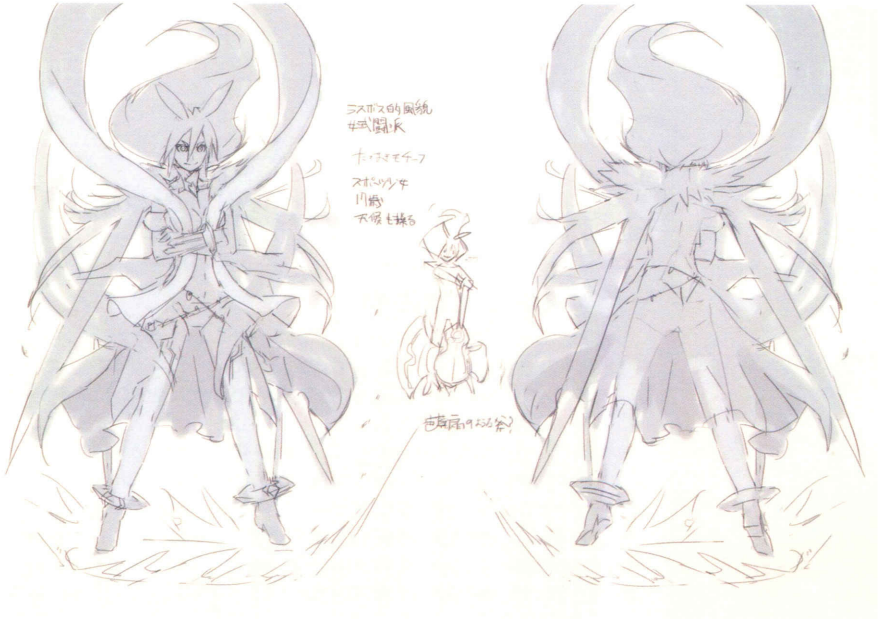
B　腕を前に

胸とインナー（パンツ）を隠し気味に

C　腕を組んで仁王立ち

常に腕を組んでいるイメージです！

■ラフデザイン



■武器



イブキ

■CV：悠木 碧
■イラストレーター：田中 久仁彦
■タイプ：人型・女性型
■属性：風
■ロール：防御
■武器種：ハンマー
■好きなジャンル：野菜、コスメ
■好きなアイテム：ミートパプリカの野菜詰め、雪花キラキラ香水



やっぱりイブキの方が賢いよ？

◆物忘れが激しい鳥少女

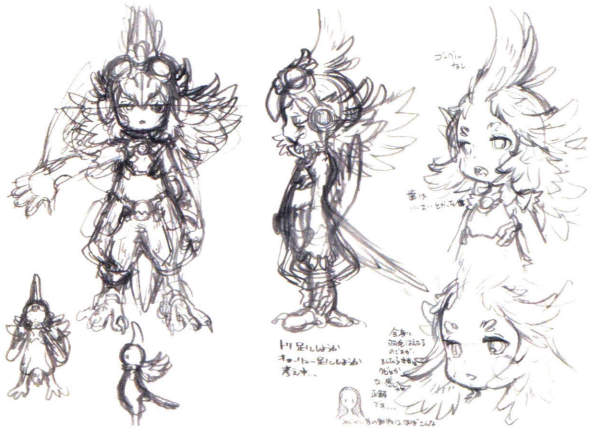
小柄な鳥人間といった風貌のブレイド。外見では判別しにくいが、性別は女性にあたる。間延びした話しかたをするのんびりとした性格で、とてつもなく物忘れが激しい。3歩歩くどころかその場で忘れてしまうほど強烈で、自分が直前に発した言葉や、ドライバーの名前さえ忘れることも。

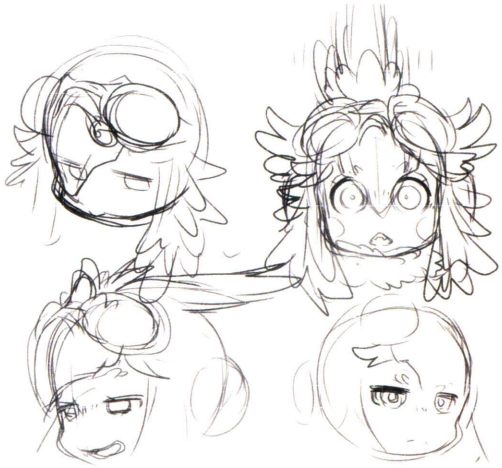
小柄な鳥ということで、しばしばターキンに間違われてしまうこともあり、そのせいで、商会の証をターキンに奪われた武器商人のンガンガから八つ当たりを受けてしまった。ターキンに似ていると言われて憤慨したイブキは、自分がターキンより賢いことを示すために、商会の証を取り返すと啖呵を切る。情報を元にターキンの砦を見つけて捜索するが、なぜかターキンたちから姫と騒ぎ立てられてしまう。無事に商会の証は取り返すが、今度は行方不明になったというターキンの姫を探すことに。ルクスリア王国で姫を発見してターキンたちによる宴会が始まるが、ターキンもイブキも壮絶な鳥頭っぷりを発揮し合って、レックスたちは困惑してしまうのだった。

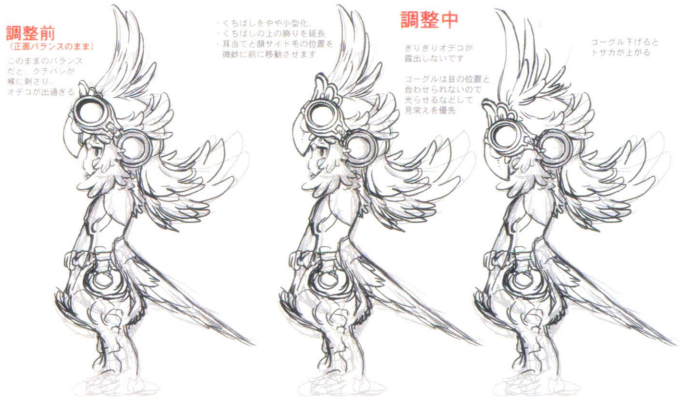
Illustrator's Comment

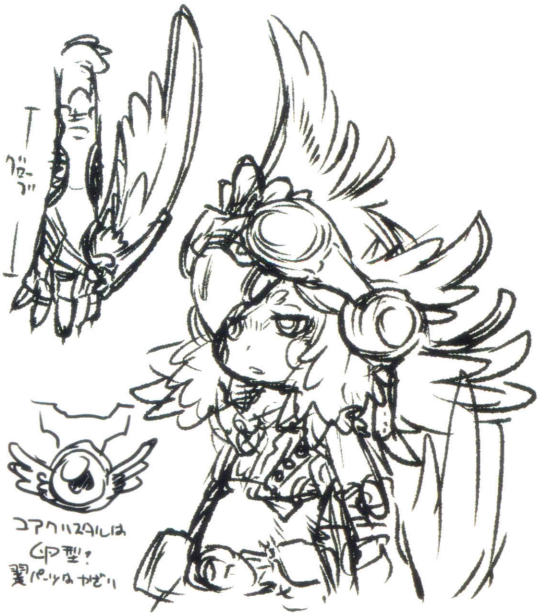
今回デザインするにあたり、必要最低限の情報だけいただいて作業しました。自分は引っ張られやすい質なのでそうしたのですが、結果的に自分らしさがもっとも出せたデザインになったと思います。昔はデフォルメばかり描いていたからでしょう、やっぱりこういうバランスがしっくりくるようです。モチーフは鳥ということで、昔飼っていたオカメインコをベースに据え、『ゼノ』にまつわるキャラクターのイメージを取り入れてまとめました。ちょこまか動いてる姿を初めて観せていただいた時は、かわいくて思わず身悶えしてしまいました。かわいくモデリングしてくださってありがとうございます。「鳥？　兎じゃなくて？」と、依頼を受けたとき思ってしまったのはここだけの秘密です(笑)。

■パーツの詳細など















■武器（デザイン：松本 秀幸）



ホタル

■CV：石原 夏織
■イラストレーター：タイキ
■タイプ：人型・男性型
■属性：地
■ロール：回復
■武器種：ボール
■好きなジャンル：野菜、美術
■好きなアイテム：カラ織リーフケープ、餅雪団子



「ボクはこの人たちと大樹を守るんだ！」

◆自然を愛する腹黒美少年

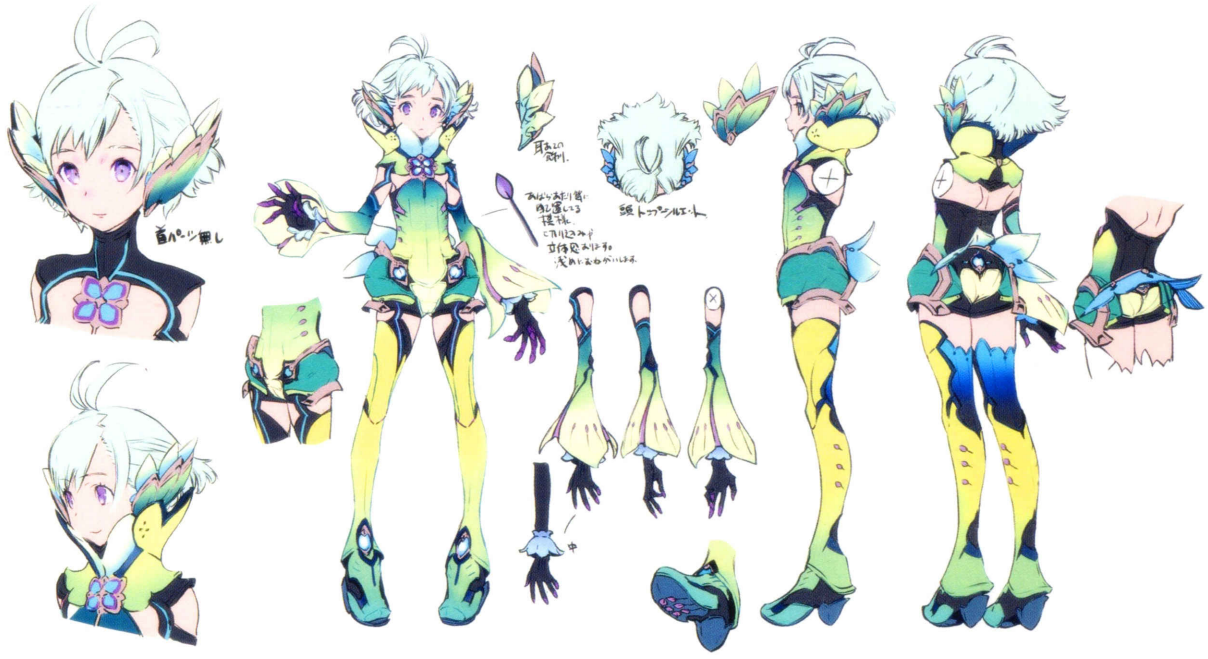
女の子と見間違えるほど、可憐な容姿をしたブレイドの少年。自身の美しさについて自覚しており、それを利用して他人の心につけこむ小悪魔のような性格の持ち主。裏表のある性格だが、草花や自然を愛する心は本物で、生物の命と同じくらい大切にしている。楽園であらゆる自然が死滅した光景を見た際には心を痛めていたが、緑を蘇らせる方法はまだあると気付き元気を取り戻す。

インヴィディア烈王国の水田では、突然傭兵たちから「機密文書」を渡せと因縁をつけられることに。戦闘で近くにあった大樹が傷ついたことに心を痛めるも、大樹を治す薬や添え木を集めるため、ホタルは自身の魅力をフル活用していく。必要なものをすべて集めて大樹の補修に成功するが、そこへ再び傭兵たちが出現。難なく撃退には成功するが、傭兵たちは周辺の樹々に火を放ってしまい、自然を傷つけられたホタルの怒りは頂点に達する。なんとか鎮火することに成功し大樹まで戻ると、街の人々が大樹を守るため傭兵たちに必死に抵抗していた。自然を大切にする人々の姿を目の当たりにして、ホタルは改めて感動するのだった。

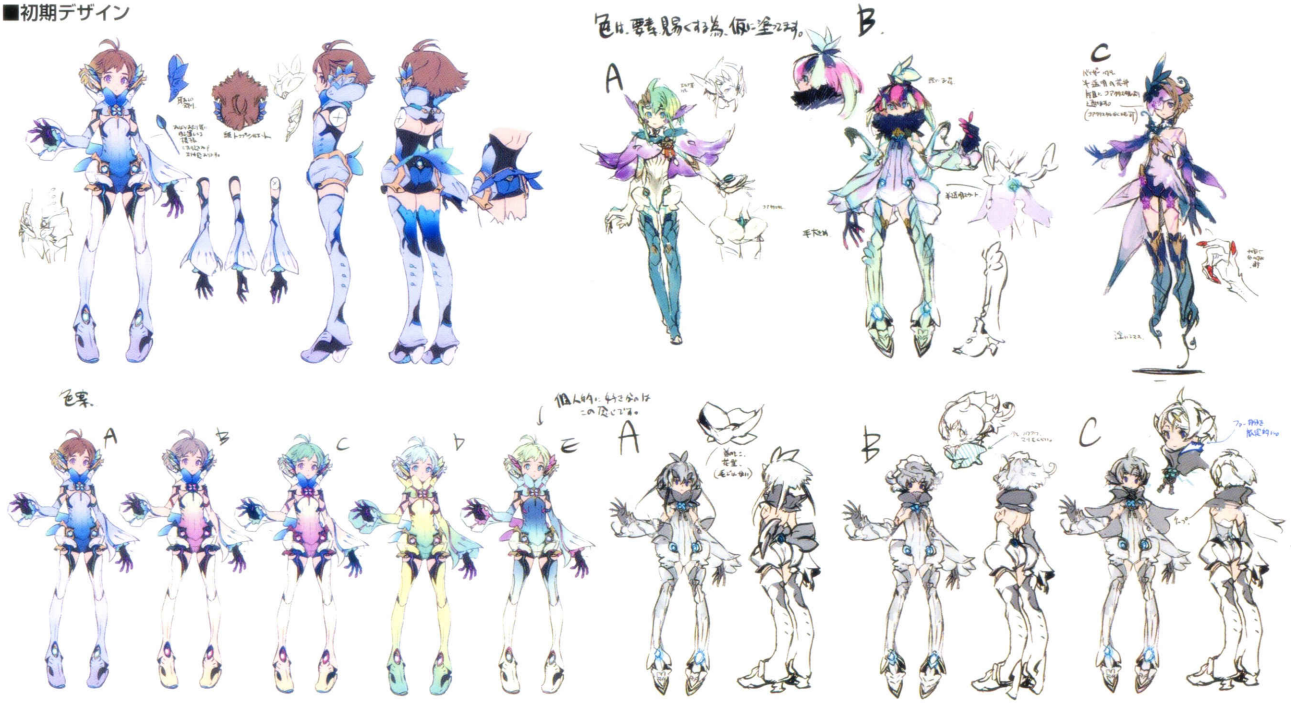
Illustrator's Comment

いわゆる男の娘ということで、ぎりぎり男性だと言い訳ができるラインを模索しつつ、他NPCを魅了させるというエピソードを成立させるために女性的なかわいさを引き立たせるようデザインしています。スレンダーな肢体とキュートなお尻周りの処理が魅力の核となるようにと考えておりました。3Dモデルでそれらがめいっぱい表現されていて、ホタルの魅力を客観的に確認できたのがうれしかったです。

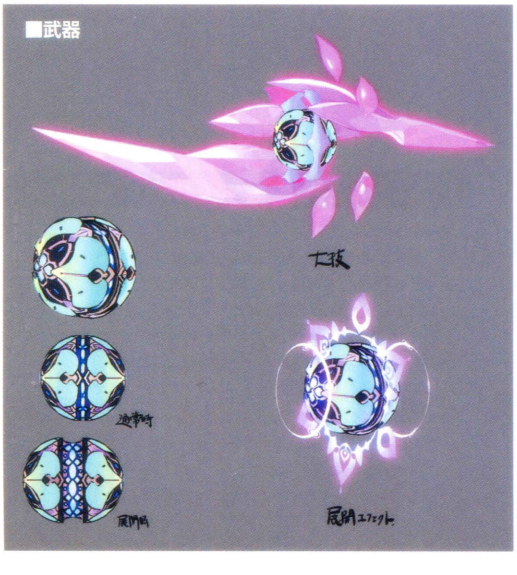
■三面図とパーツの詳細



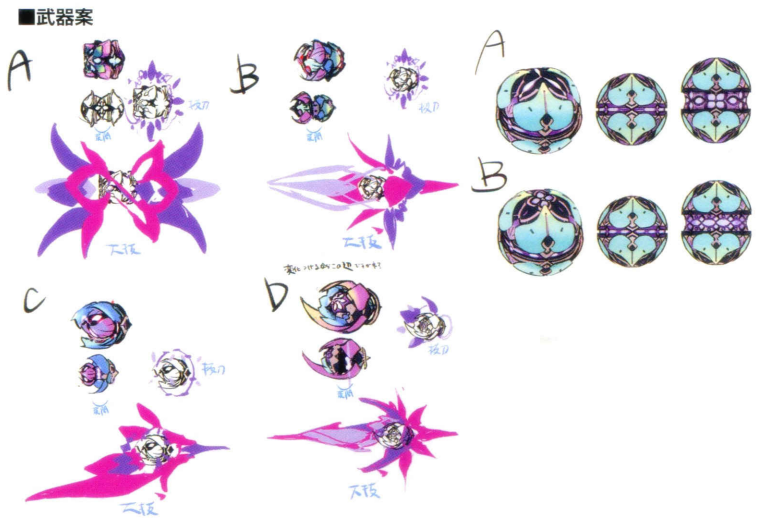
■初期デザイン



■武器



■武器案



KOS-MOS Re:

■CV：鈴木 麻里子
■イラストレーター：田中 久仁彦
■タイプ：人型・女性型
■属性：光
■ロール：攻撃
■武器種：エーテルキャノン
■好きなジャンル：主食、ボードゲーム
■好きなアイテム：剣闘士相撲、シュニンカレー



「気にしないでください
あなたを守るのが私の任務ですから」

◆脅威の性能を誇るアンドロイド

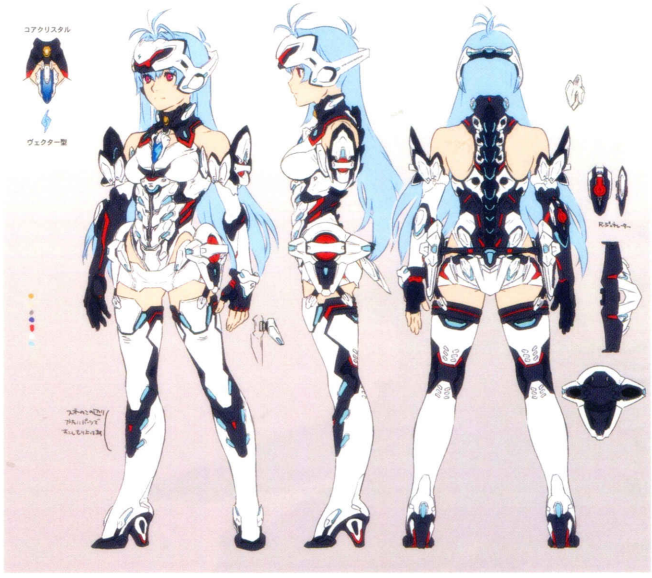
全身武器庫とでも言うべき多彩な兵装を搭載しており、近距離から遠距離まで状況に合わせた戦法をとれるブレイド。ドライバーのことを「マスター」と呼んで付き従い、無機質な話しかたではあるが日常的な会話も問題なく可能で、自らの考えによって行動もするため完全な機械というわけではない。なお自身の記憶とは別のデータが記録されていて、それらはコアクリスタルに戻っても消えることはないとのこと。そのデータを誰がどのような理由で埋め込んだのかは、KOS-MOS Re：本人も知らない。

世界樹やスペルビア帝国で人工ブレイドが大量発生した際には、相転移砲の圧倒的な威力を見せてレックスたちを驚愕させる。しかしその戦いぶりに感動したジークの従姉の娘であるアステルからいたく気に入られ、モルスの地に連れて行くよう懇願されてしまう。そこでは自らの身を盾にしてアステルをモンスターから守り、彼女からさらなる信頼を獲得。力を制御するためのコアチップを渡され、人間そのものの優しい笑顔で感謝を述べていた。

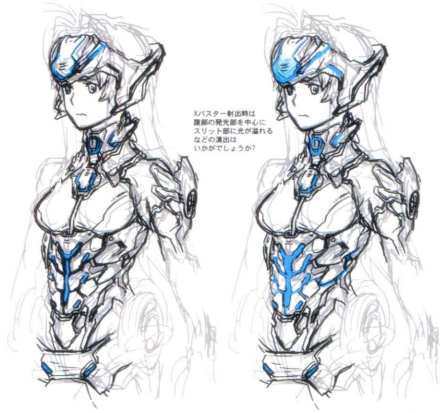
Illustrator's Comment

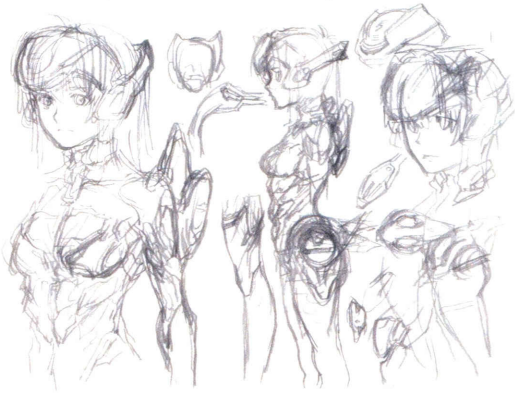
依頼はver.1を、とのことでしたが、田中久仁彦版の新しいKOS-MOSを描かせていただきました。作業開始直後は『ゼノサーガ エピソードI[力への意志]』後の筐体プランのひとつと想定していましたが、「ブレイドは武器の擬人化？」と考え始めると、「ならばその武器は『ゼノサーガ』シリーズの擬人化であり、このKOS-MOSもそう在るべき」と作業意識が変わりました。『ゼノサーガ』シリーズのKOS-MOSデザイナー、CHOCOさんへのレスを心がけました（改めて、彼はすごいデザイナーだと思いました）。後にも先にもこれだけデザインに時間のかかったキャラクターはないと思いますが（ご迷惑をおかけしました）、『ゼノブレイド2』のテーマ的にもこの気持ちの乗せかたで描いて良かったと思います。

■三面図とパーツの詳細



■パーツの詳細





■表情とバイザー

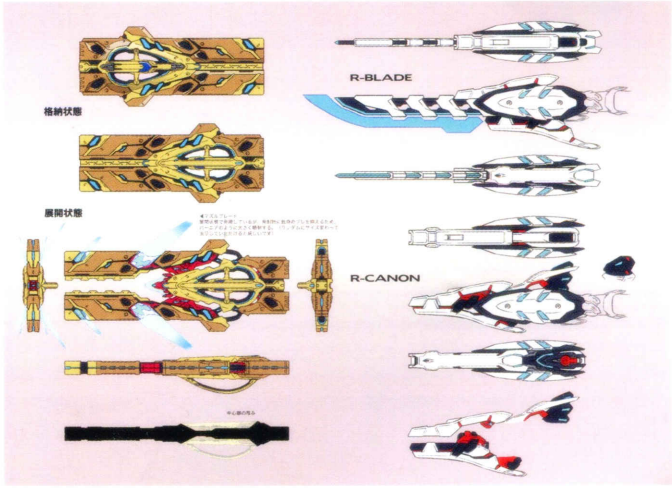


■マーキングの文字

KOS-MOS:REFRAIN
XXXX
Vector Industry Second Development Room Made
Code Name:KP-X Selial No.00000000000000001.2 Human type body ver.6.02.493d
built XXXX

Meister:Shion Uzuki,Allen Ridgely

■武器と詳細



テンイ

■CV：遠藤 綾
■イラストレーター：皆葉 英夫
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：攻撃
■武器種：エーテルキャノン
■好きなジャンル：ドリンク、ボードゲーム
■好きなアイテム：月光バナナ・オレ、ジュエルピリヤード



「人々の幸せのために
力を使っていきたいんだ」

◆圧倒的な力を秘める古代の兵器

巨大な竜の外骨格のようなものを身に纏って、浮遊しながら移動する女性型のブレイド。非常に高い戦闘能力を有しており、過去には自らの暴走によってルクスリア王国のテオスピティ神殿を破壊してしまったが、当時のドライバーが自害したことでテンイはコアクリスタルに戻り、事態は収束した。コアクリスタルは神殿跡の祭壇に封印されていたが、レックスたちが発見して封印を解いたことで復活を果たす。

過去に暴走を起こして悲劇を招いたことを自覚しているため、迷惑をかけないようにと力を振るうことにためらう一面も。ゼーリッヒから強力なモンスターの討伐を依頼された際にも、自身の暴走に対する不安を吐露する。しかしゼーリッヒにドライバーとの絆を信じることを諭されて、過去を清算する意味も込めて、討伐に向かうことを決意。しかし、戦闘中に危機を招いてしまい、テンイは封印していた力を解放、暴走を恐れて姿を消してしまう。それでもレックスたちの必死の説得によりその心に光が差し、暴走状態からも解放され、真の意味で仲間となる。

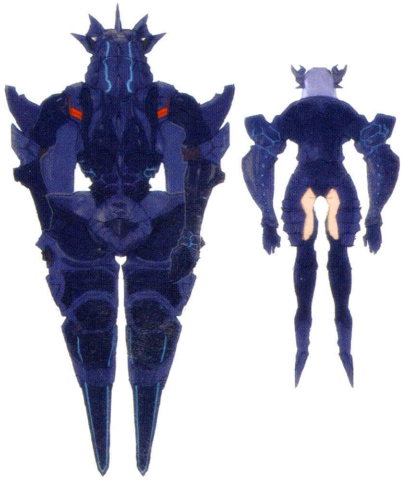
Illustrator's Comment

テンイの中に、中くらいのテンイがいて、その中に小さいテンイがいて……という、マトリョーシカ的なものを狙ったのですが、見事に仕様制限で狙いが外れて2段階にしかできませんでした。惜しい……。

■正面とバストアップ



■背面



■コアクリスタル



■バストアップ



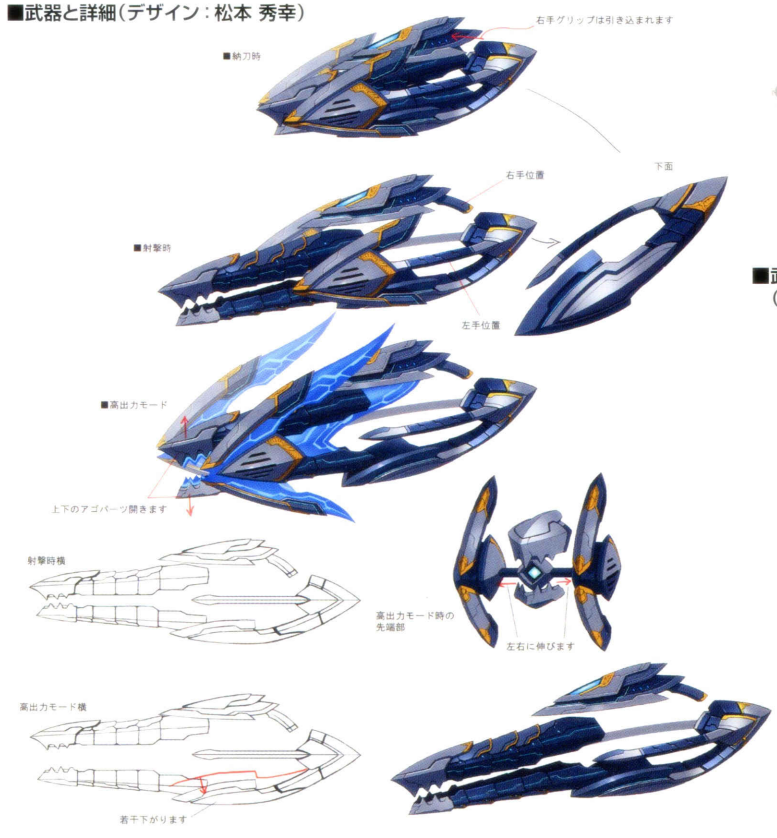
■側面



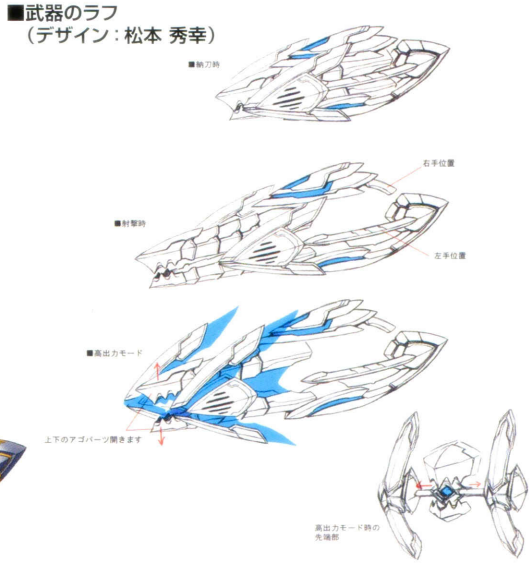




■武器と詳細（デザイン：松本 秀幸）



■武器のラフ
（デザイン：松本 秀幸）



ツキ

■CV：進藤 尚美
■イラストレーター：江端 里沙
■タイプ：人型・女性型
■属性：氷
■ロール：回復
■武器種：ボール
■好きなジャンル：野菜、コスメ
■好きなアイテム：サモの果実あんかけ、ルクスリアイスキューブ



「あんたの人を思いやる純粋な心は
この世界のどんなものよりも
美しいんよ」

◆大人の色香を漂わせる氷の精霊

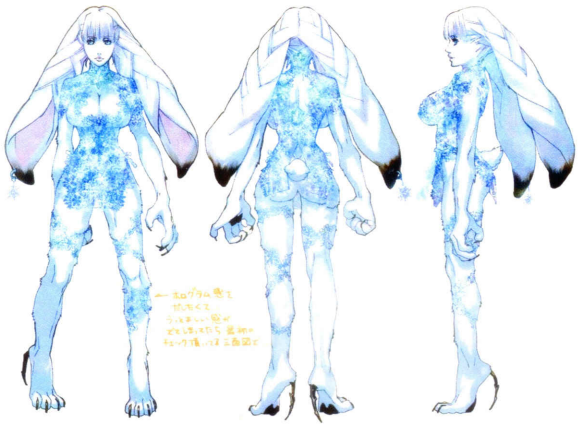
全身を氷に包まれた、精霊のような外見の女性型ブレイド。京都弁で話し、外見だけでない大人の色気を放っている。外見の通り氷を自在に操ることができ、戦闘でも氷を駆使した必殺技をくり出すほか、氷の彫刻を作るという得意技も持つ。

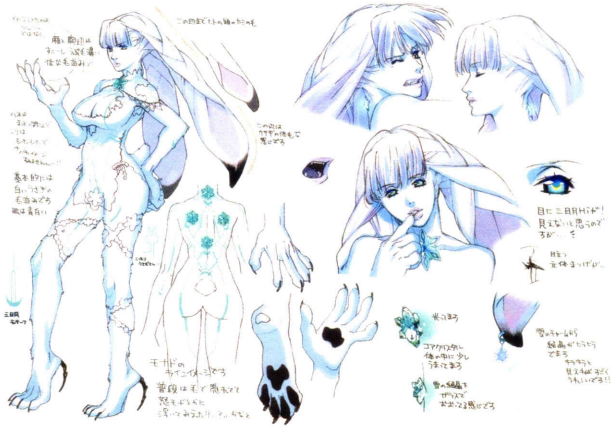
美しい外見は同性から憧れの対象になることもあり、ルクスリア王国ではキアスティーナという少女から「どうすればそんなに綺麗になれるのか」と質問攻めにあっていた。しどろもどろになりながら質問に答えると、キアスティーナは満足げに帰っていく。しかしその夜、キアスティーナの母親から彼女が行方不明になったことを聞かされ、その原因に心当たりのあったツキはレックスたちを連れて捜索を開始する。雪の中に埋もれたキアスティーナを見つけた一行は、無事保護に成功。そして母親の元へキアスティーナを連れ帰ると、探していたという小さな花を手渡されるツキ。キアスティーナの純粋な想いに心を打たれたツキは、自分よりも綺麗なものはその心だと伝える。するとキアスティーナから「いつかツキをブレイドにする」と宣言され、優しく微笑み返すのだった。

Illustrator's Comment

「氷属性キャラのデザイン」とのことだったので、氷の表現がアニメーションではしにくいのもあり、「氷の結晶レース」を身にまとう感じで表現してみました。それと「ブレイドはプレイヤーさんについて行くことが多く、背中の方が見えがち」と伺っていたので、「うさしっぽとおしり」がデザインのポイントです！　3Dモデルの胸の形で、いろいろとワガママを取り入れてくださったモノリスソフトのスタッフの皆様には本当に感謝しております！

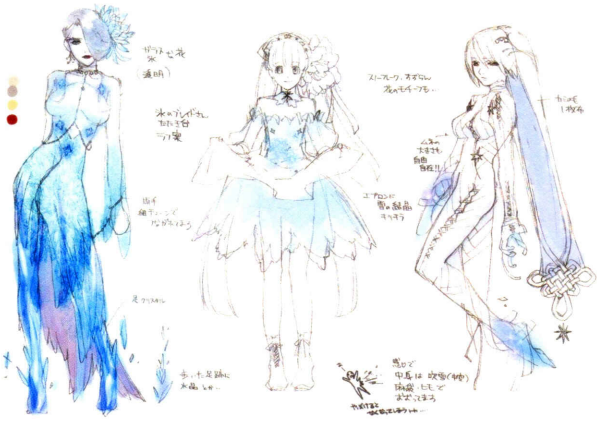
■三面図とパーツの詳細



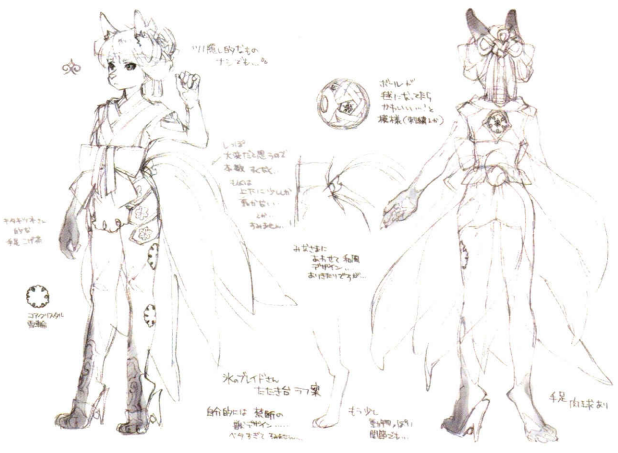


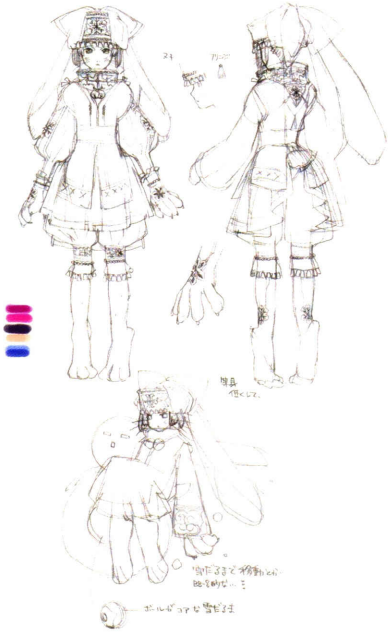
■デザイン案



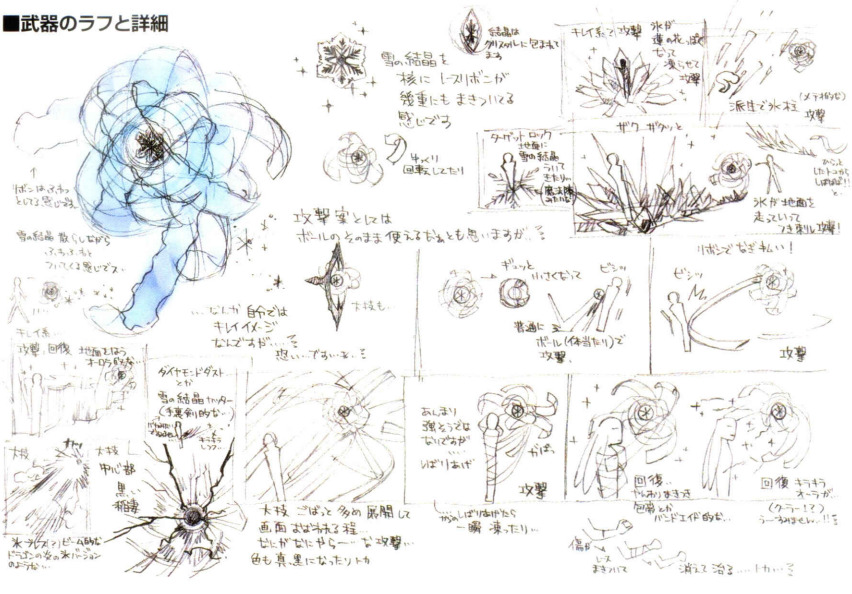








■武器のラフと詳細



T-elos Re:

■CV：鈴木 麻里子
■イラストレーター：麦谷興一（CHOCO）
■タイプ：人型・女性型
■属性：闇
■ロール：攻撃
■武器種：アックス
■好きなジャンル：楽器、書物
■好きなアイテム：ミリタリーヴァイオリン、
簡単サルベージマニュアル



戦いこそがブレイドの本分だ

◆好戦的な女性型アンドロイド

髪や肌の色以外の外見はKOS-MOS Re：と似ているが、感情表現がより豊かなうえに、性格が非常に好戦的という違いがある。なお、T-elos（テロス）という名前には「終わり」や「完成」といった意味がある。

カラムの遺跡でアーケディア法王庁の僧兵に襲撃された際にも、その好戦的な性格が遺憾なく発揮され、ほかの残党を探し出すために無理やり尋問を始めた。その結果、ハンザッグ荒野に僧兵たちの残党の棲み家があることを聞き出して、巨神獣兵器ごと全滅させることに見事成功。ドライバーからその能力が心強いと言われてT-elos Re：はうれしそうな様子を見せるが、「敵に回さなくてよかった」という意味であることを彼女は知る由もなかった。

Illustrator's Comment

田中先生のKOS-MOS Re:を拝見してから、それでは僕もお返しに描く！　ということでT-elosをリデザインさせていただきました。基本的にキープコンセプトで当時の「ゴシック寺院の擬人化」のテーマのまま、いまの自分のナチュラルな絵柄で描き直しただけ……のつもりです。賛否両論あった新装備「メガネ」をつけた理由は……すっごい似合うでしょ？……だからなのですが、もうちょっと説明すると、T-elosは『ゼノサーガ』本編以外にも、KOS-MOSといっしょにさまざまなスピンオフ作品に出張しました。だから僕の中で彼女は「T-elosという役を演じるT-elosという名の女優のお姉さん」と感じるようになってきまして、そのお姉さんの素の姿を描くと破廉恥なレオタードではなくミニスカートのワンピースを普段着として、いつもメガネをかけているあの姿になるのです。ゲーム製品版を拝見してからのデザインでしたので、Switchの画面でさまざまな質感表現ができることがわかり、革やストッキング生地などの違いを指定させていただきましたが、モノリスソフトのソウルメイトたるモデラーさんにきっちり再現していただきました。服の構造を説明する為に胸元のインナーの設定も描きましたが、いやそれは透けて見えるようにしてって指定じゃなくて…　あー！　そんなこと一言も頼んでないのに！　あー!!

■二面図とパーツの詳細



■ヒールなど詳細





■相転移砲と表情①



■ロゴ



■顔アップ



■表情②



■武器と詳細



■ハンドガン



ハナバスター

■CV：ハナMk-Ⅱ……久野 美咲　　ハナバスター……加瀬 康之
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型
■属性：光
■ロール：防御
■武器種：ハンマー
■好きなジャンル：肉類、ボードゲーム
■好きなアイテム：あまあまういんな、ノボボヤード



Illustrator's Comment

トラがロボになるイメージでデザインしました。初期案ではいろいろなタイプのロボをデザインしましたが、ノボンがロボに変形する形に落ち着きましたね。ビームタイプのトサカがお気に入りです。

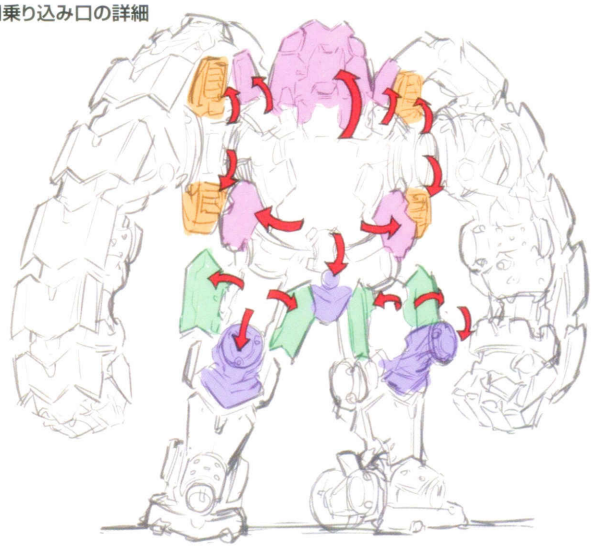
お嬢を卒倒させるくらいの活躍をしてみせますよ

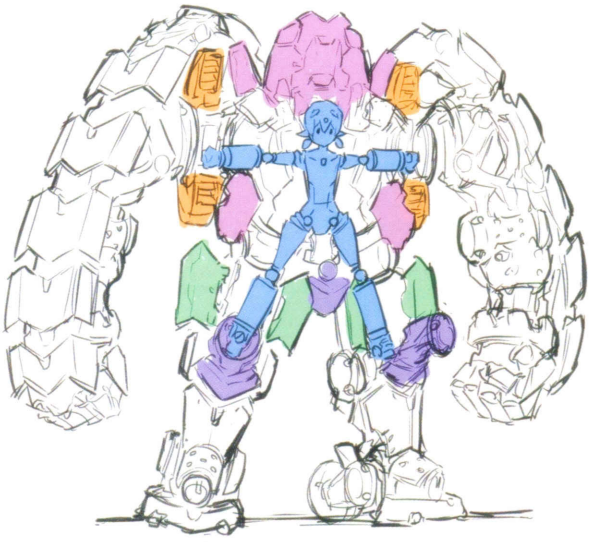
◆性格に難ありのノボン型人工ブレイド

ハナのデータを元にセンゾーが開発した、ノボン族の形をした大型の人工ブレイド。ハナが遠隔操作するハナMk-Ⅱが胸部に乗り込み、ハナバスターには人工知能が搭載されている。このためハナバスターは、トラ専用のブレイドというわけではなく、誰とでも同調が可能。なおハナMk-Ⅱとの合体以外に人形への変形機構も搭載しているなど、センゾーの趣味がふんだんに詰め込まれている。また人工知能により会話も可能。しかし自信家でかつ融通が効かない性格のため、ドライバーを困惑させることも。操縦者であるハナのことは「お嬢」と呼んで慕っている。

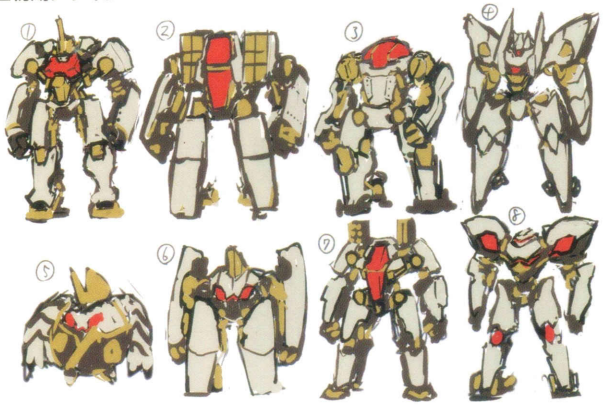
レックスたちが差出人不明の手紙に従ってコモンブレイドの戦闘データを集めていると、なんと死んだと思われていたセンゾーと再会。レックスたちは、彼からハナMk-Ⅱとハナバスターを託されることとなった。なお、名前の由来はハナを倒すほどの高性能を目指したというものだが、じつはほかの名前候補が「ハナチャントロボ」、「スタミナスA」といったものしかなく、ハナは仕方なしに現在の名前を選んだらしい。

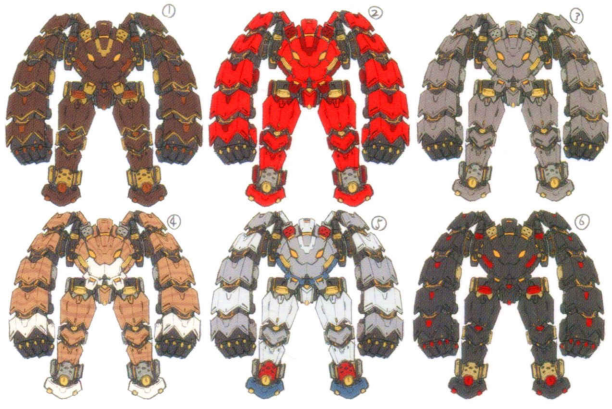
■乗り込み口の詳細



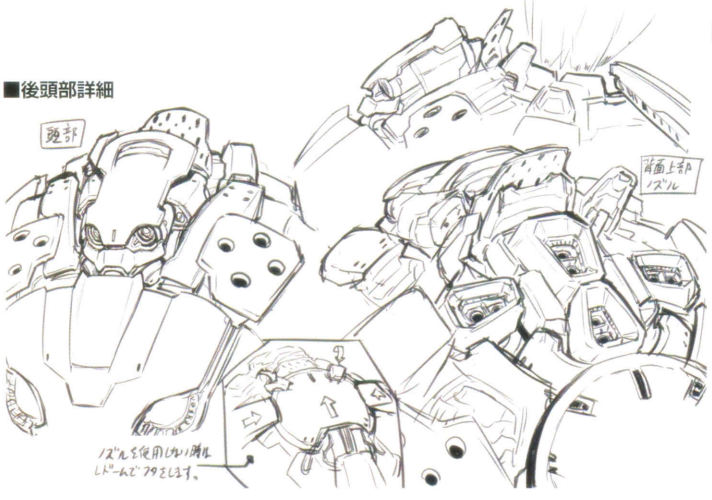


■初期デザイン

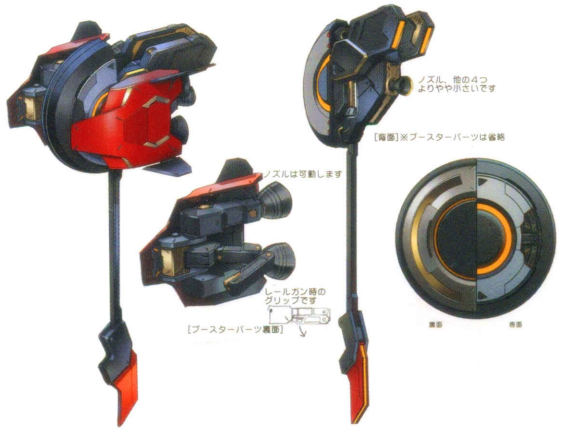


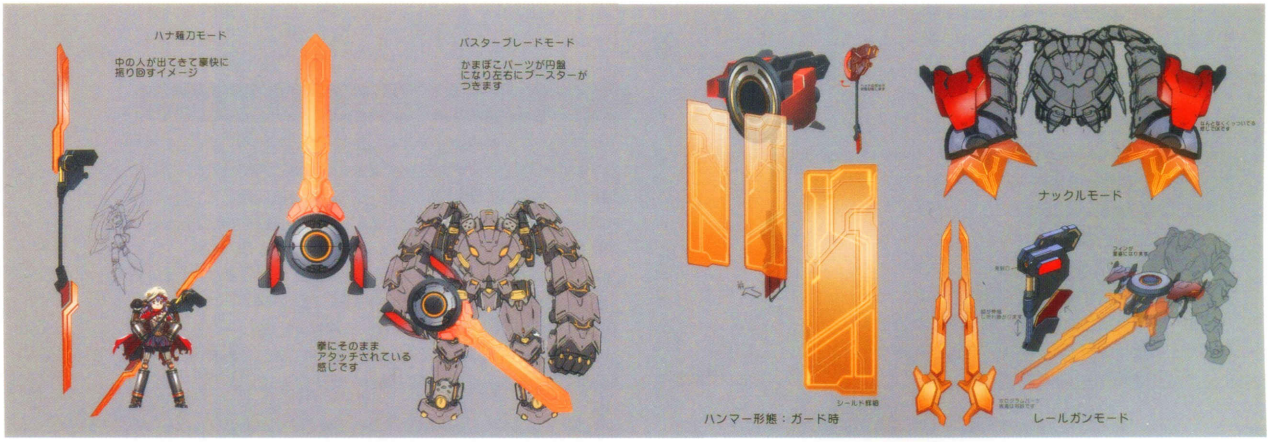


■後頭部詳細



■武器と詳細（デザイン：モノリスソフト）





ヒバナ

■CV：高森 奈津美
■イラストレーター：あっと
■タイプ：人型・女性型
■属性：火
■ロール：回復
■武器種：ボール
■好きなジャンル：主食、スイーツ
■好きなアイテム：サンシャインパイ、ピリ辛ストラルーシチ



「あたし、ホムラ先輩に近づけましたか？」

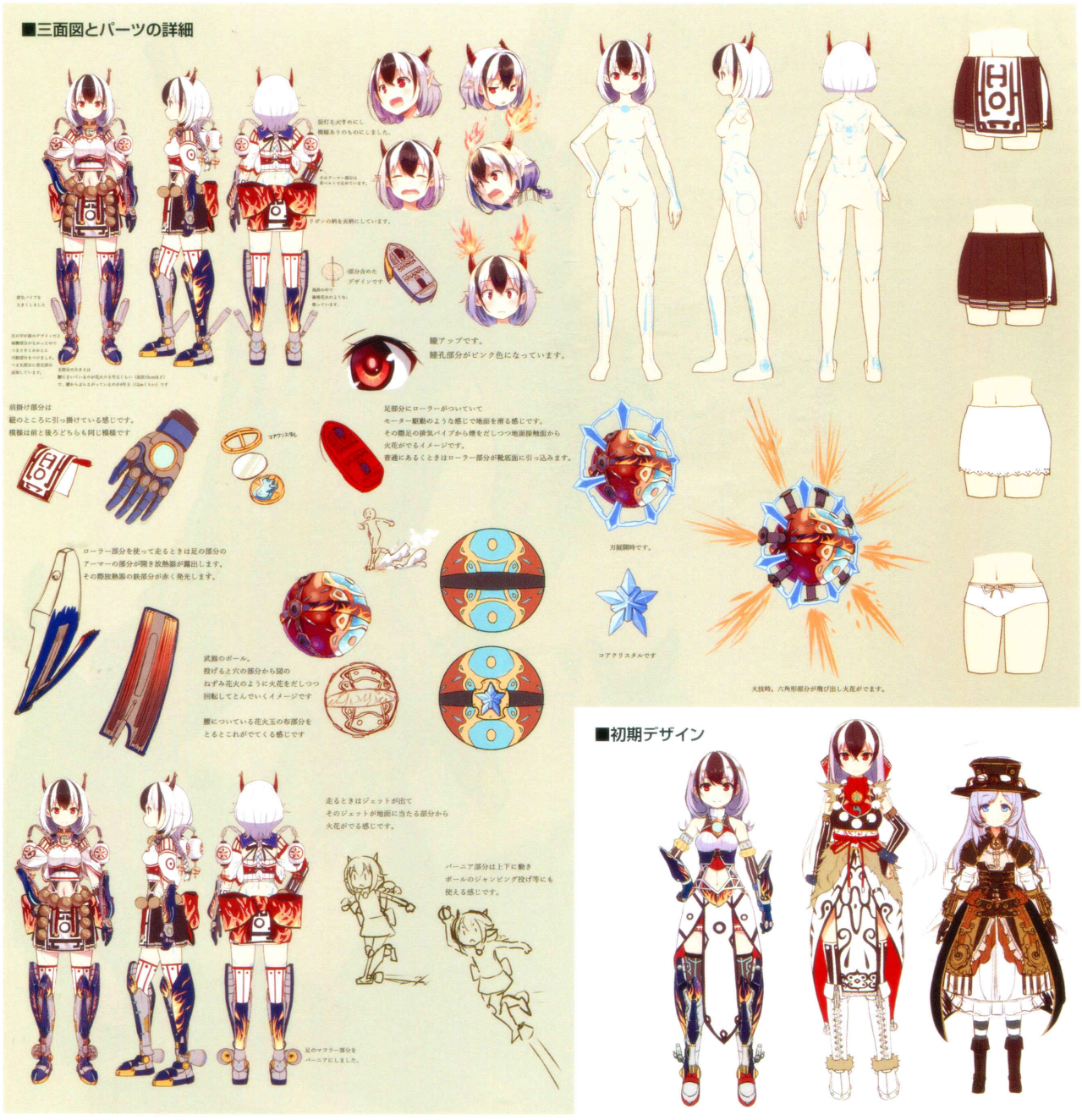
◆弾ける明るさの少女

名前の通り、花火玉のようなボールを武器にして戦う明朗快活な少女のブレイド。花火玉は腰回りのあたりにも大量に装着している。ホムラのことを「先輩」と呼んで慕っており、その優しさを目の当たりにしては度々感動している。ホムラのようになりたいと思っているが、直情的な性格ゆえになかなか上手くいかない。イヤサキ村で行方不明になっている人々を見つけてほしいと依頼された際も、子供たちを連れ去るイグーナたちを見て思わず声を上げた結果、取り逃がしてしまった。しかしヒバナの行動は決して無駄だったわけではなく、彼女の必死な声が諦めかけていた子供たちの心に希望の火を灯していたと知る。失敗を糧にして成長したと感じるヒバナだったが、ホムラからはまだまだ半人前であることをからかわれてしまうのだった。なお、料理の腕前でもホムラには遠く及ばないが、激辛料理だけは得意としている。

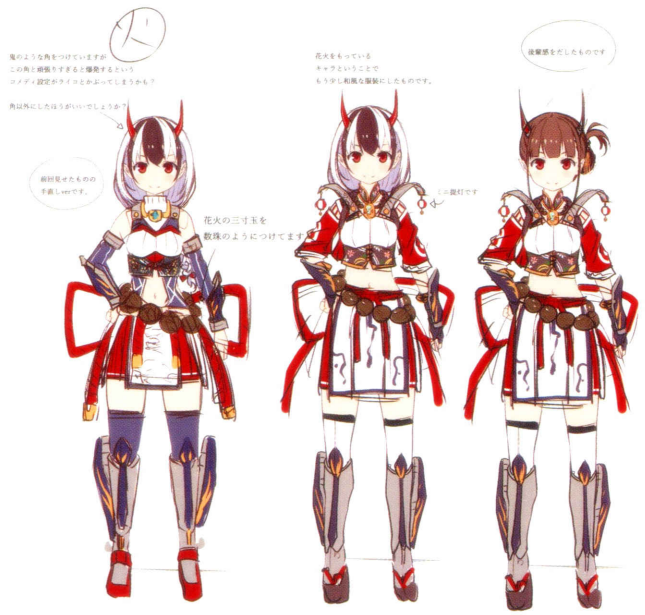
Illustrator's Comment

元々ファンタジーやSFなイラストを描いたりしないので、まず打ち合わせ前に数種類のデザインを持って行き、モノリスソフト様とどの方向性がいいかと話し合った結果、モノトーンの髪と足にメカがついている、いまのデザインでいこうということになりました。最初の指定では武器が槍だったので、バーニア部分がバイクに付いているようなマフラーで、煙を上げながら突進していくという感じだったのですが、腰に花火玉がついているからボールにしようということでマフラーをバーニアにしました。必殺技のときのジャンプしながらの攻撃だったり、ネズミ花火のように火花を散らしながらボールが飛んでいくなど、技の部分の提案も汲んでいただき、とても満足できるキャラクターになりました。

■三面図とパーツの詳細



■初期デザイン





カムヤ

■CV：村瀬 歩
■イラストレーター：足立 慎吾
■タイプ：人型・男性型
■属性：光
■ロール：防御
■武器種：打刀
■好きなジャンル：ドリンク、ボードゲーム
■好きなアイテム：びかびかじゅーす、ノポンチェス



「信じるに値するドライバーばかりだろ？」

◆実力に裏付けされた自信家

黒い翼のようなマフラーがトレードマークの少年型ブレイド。イヤサキ村に伝わる、「必ず正しいことをする者に託すべし」と言い伝えられていた特別なコアクリスタルから誕生する。2本の刀を有しているが、ドライバーに渡すのは1本のみ。もう1本は「フツの刀」と呼ばれる刀で、カムヤ曰くあまりにも強力すぎるためドライバーには扱いが難しいらしく、渡されることはない。自分の力に絶対的な自信を持っているキザな性格で、困難な依頼であっても気軽に引き受け仲間を困惑させることも。サンクトスチェインを守るために兵士を駐屯させようとしたものの、ガルウスたちが占拠しているため困っているという話を聞いた際には、仲間たちに相談することもなくガルウスの討伐を引き受けてしまった。無事にガルウスの討伐には成功するものの、その後も困っている人々から同時にいくつも頼みごとをされ、それでもすべて即座に引き受けて、さらにキザなセリフを臆面もなく放つカムヤだが、自信満々なのはドライバーたちの力と意志を信じているからだとわかり、仲間たちの見る目も変わっていくのだった。

Illustrator's Comment

「ライコを超えるロリっ子ブレイドを描けばいいんだな!?」と意気込んでモノリスソフトさんとの打ち合わせに臨んだら、まさかの男の子の依頼だったので驚きました(笑)。ですがレックスの相棒になるような男の子が欲しいとの依頼に、とてもやりがいを感じて取り組みましたよ。黒衣だけど光属性で、居合抜きだけど二刀流という相反する要素を持つオーダーで、デザイン作業はとても楽しかったです。動かして楽しいキャラクターになるようにと長くたなびくストールを付けたり、太刀の抜きかたのモーション等、いろいろなアイデアにモノリスソフトさんが応えてくれ、めっちゃかっこいいカムヤが産まれました。とくに納刀してから背中に太刀を戻すモーションが大好きです。でも、つぎは女の子を……。

■三面図と詳細①



■ストールの詳細①



■詳細②



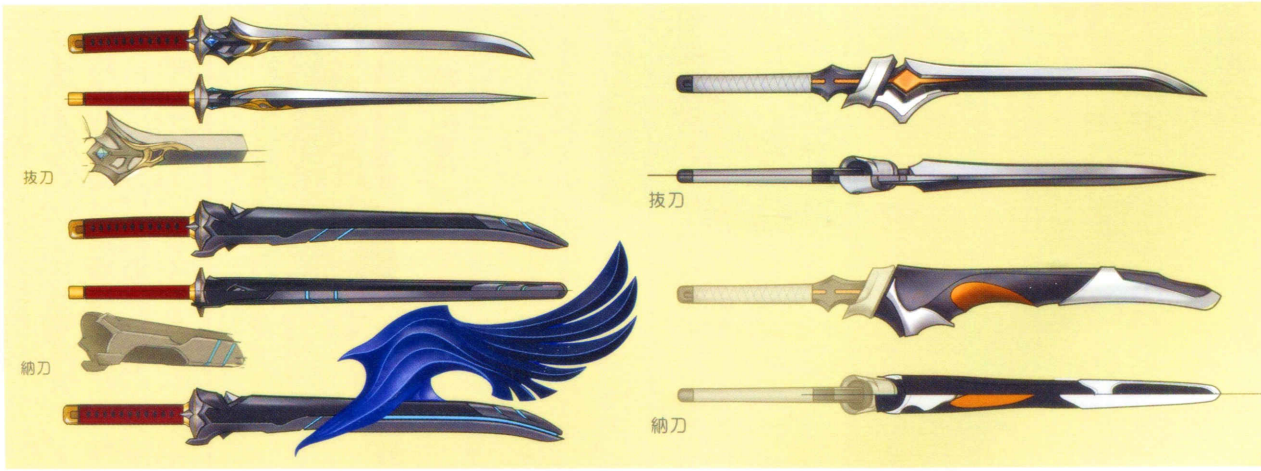
■ストールの詳細②



■顔アップ



■武器



シュルク

■CV：浅沼 晋太郎
■イラストレーター：田中 久仁彦
■タイプ：人型・男性型
■属性：光
■ロール：攻撃
■武器種：モナド
■好きなジャンル：野菜、書物
■好きなアイテム：真・英雄アデル焼き、スペルビア帝国軍兵器図鑑



未来を！　切り開く!!

◆未来を予見する異世界からの来訪者

『ゼノブレイド』の主人公。機械いじりや武器開発など、技術の探求を追い求める気質のため、争いごとは好まず肉体労働も苦手。しかし、研究していた謎の剣・モナドを手にした際に未来の出来事を映像として見られる「未来視（ビジョン）」という現象を体験したことから、世界を守るための戦いに巻き込まれていく。

アルストとは別の世界の人物だが、挑戦の地に迷い込んでレックスたちと出会いを果たす。レックスに力を貸すことになるが直接同行するわけではなく、「アルスト・リンクリング」という特殊なアイテムを使って精神だけがアルストにやってきて、レックスとともに行動する形になる。ほかのブレイドと同様、さまざまな能力や必殺技で戦闘やギミック攻略でも活躍。なおブレイドではないため、エルピス霊洞でも能力が抑制されることはない。敵の強力な攻撃を事前に察知できる「未来視（ビジョン）」も健在で、レックスにとって大きな助けとなる。

Illustrator's Comment

KOS-MOS Re:の作業後、追加でフィオルンとともに発注を受けました。雰囲気は『ゼノブレイド』の初回特典CDに使用していただいたイラストが元になっていて、今作のための設定画は存在しません。作業としてはフィオルンとともに3Dモデルの監修とイラストになります。ただ、原作に思い入れのあるユーザーさんが多い作品ですので、受けるときも、作業中もかなり悩みました。2日間寝込んだりもしました（笑）。でも、このモデルは今作のためのものですし、「今の自分」は所詮「今の自分」でしかありませんので、このようなシュルクになりました。アホ毛はちょっとやり過ぎました。すみません（笑）。

フィオルン

■CV：中尾 衣里
■イラストレーター：田中 久仁彦
■タイプ：人型・女性型
■属性：風
■ロール：回復
■武器種：ナイフ
■好きなジャンル：魚類、コスメ
■好きなアイテム：氷魚とサモのポ・ト・フー、もちもち化粧水



「こうしてまたシュルクと
一緒に戦うの、なんだか
ちょっと嬉しい」

◆異世界からやってきた双剣使いの少女

『ゼノブレイド』のメインヒロイン。シュルクと同じくコロニー9で暮らしており、防衛隊員の見習いを務める。見習いではあるが戦闘能力は非常に優れており、入隊テストの時点で隊員たちから高い評価を受けていた。コロニー9が襲撃を受けた際に死亡したと思われていたが、機神界に連れて行かれ機械の体となって生きていたことが判明する。なお、シュルクとは互いに好意を抱き合っているが、お互い恋愛感情に対して疎いため、深い関係までは発展していない状態。

アルストへはシュルクと同様、挑戦の地に迷い込む形でやってきてレックスと出会うことに。「アルスト・リンクリング」によって精神という形でレックスに同行する点や、ブレイドのように能力制限を受けない点もシュルクと共通している。

Illustrator's Comment

シュルクと同じように「いまの田中久仁彦」タッチで描かせていただきました。ただ、シュルクもそうなのですが3Dモデル監修を難航させてしまい、複数のフィオルンができてしまいました……（すみません）。でも、どのフィオルンもいい感じでモデルが作られていて、改めてスタッフさんのモデリング技術はすごいと思いました。初回特典CDのイメージに固着してしまったため、長髪以外頭にありませんでしたが、もしゼロスタートだったらショートヘアverの案も出していたかもしれませんね……？

エルマ

■CV：桑島 法子
■イラストレーター：田中 久仁彦
■タイプ：人型・女性型
■属性：闇
■ロール：攻撃
■武器種：デュアルソード
■好きなジャンル：魚類、美術
■好きなアイテム：魔除けのマダラ織毛布、配管ストロースムージー



「私の身体、すぐに疲れたりしないようにできてるのよ」

◆冷静沈着な歴戦の女戦士

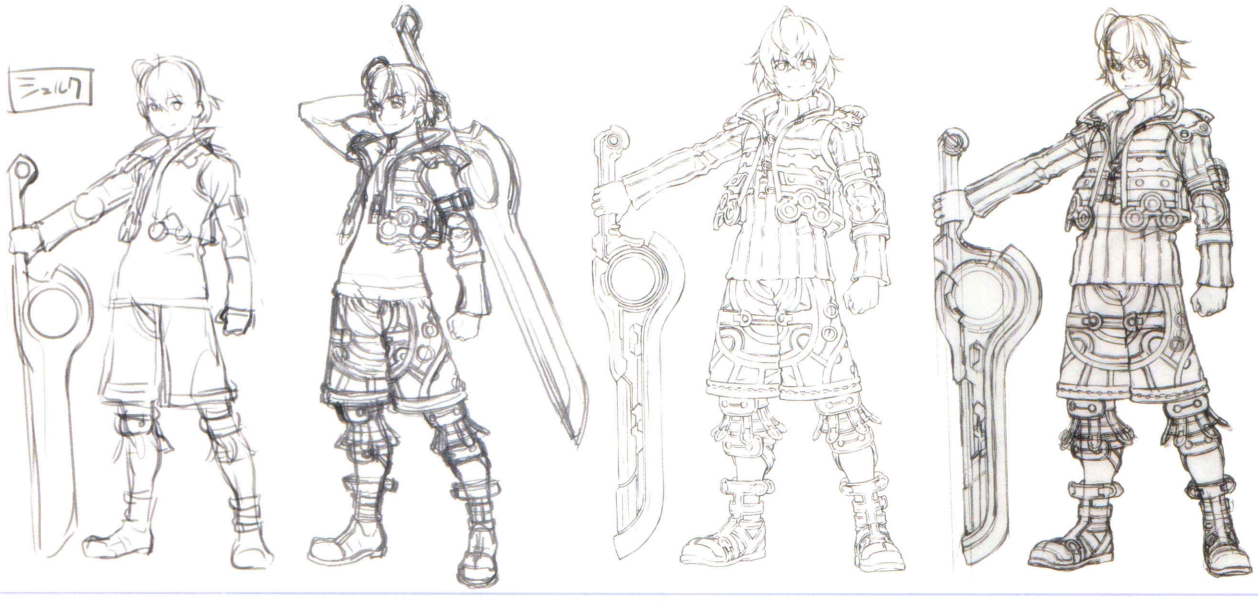
『ゼノブレイドクロス』における主要キャラクター。民間軍事組織「ブレイド」のチームリーダーを務める女性。つねに冷静沈着で、的確な判断力と洞察力を持つことから組織のメンバーの尊敬を集めている。地球では統合政府軍特殊作戦車両教導隊（通称ドール隊）に所属しており、大佐という高官を務めていた。じつは地球人ではなく、その正体は地球消滅前に唯一地球にいた異星人。本来は存在しないようなオーバーテクノロジーの数々を、ひとりで地球にもたらしていた。

ノポン・ダイセンニンが用意したバトルシミュレーターを使用した際に、意識がアルストにある挑戦の地へと飛ばされてしまい、そこで出会ったレックスたちを敵対する異星人のエネミーデータと勘違いし、戦いを挑むことになった。戦闘終了後には誤解が解けて、修行も兼ねる形でレックスへの協力を決める。当初は挑戦の地でのみ共闘できる形だったが、レックスが挑戦の地での戦いを突破していった結果、ノポン・ダイセンニンの計らいによってアルスト全体で同行可能になった。

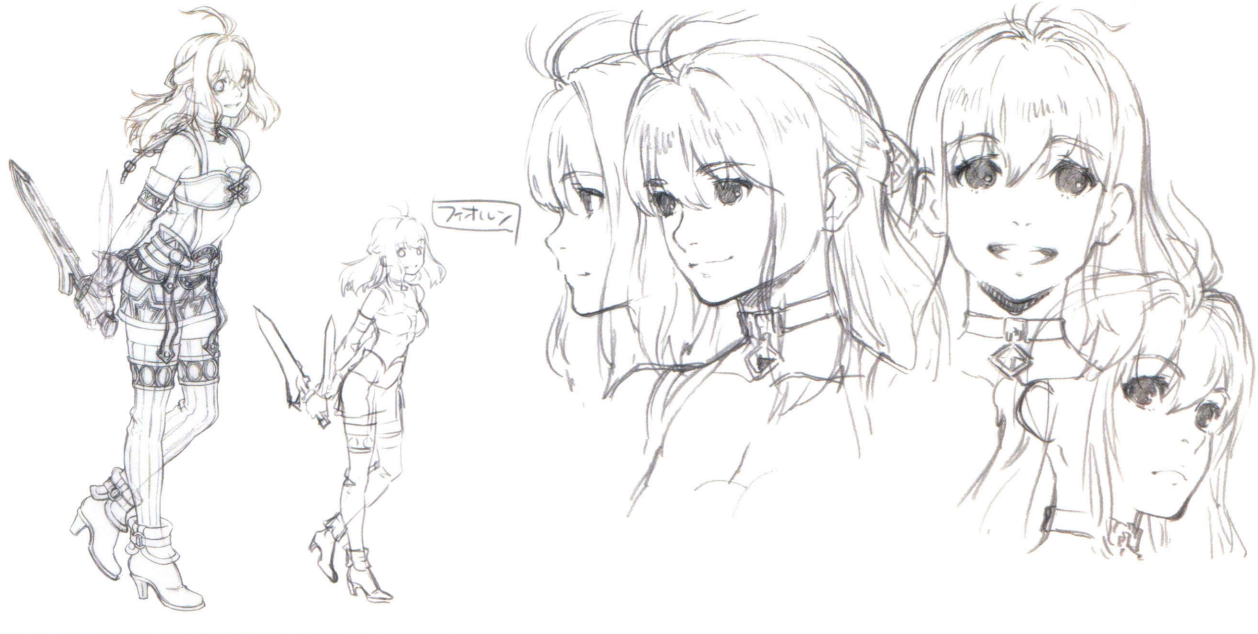
Illustrator's Comment

今作のエルマは『ゼノブレイドクロス ザ・シークレットファイル アート・オブ・ミラ』に掲載された線画のイメージにより近くなっています。よってシュルク、フィオルン同様、今作のための設定画は存在しません。3Dモデルが先行していましたが、スケジュールがタイトでしたので監修はあまりできませんでした。ですが、その少しの監修だけで充分でした。すごいですね！　イラストには没があり（自主的没でじつはシュルクも）、実質2枚描きました。最後になりますが、今回の仕事は自分的に『ゼノ』シリーズを総括し、能力を出し切った仕事になりました。『ゼノブレイド2』に参加できてうれしかったです。モノリスソフトさん、これからも素敵な作品を創りつづけてください。ありがとうございました。

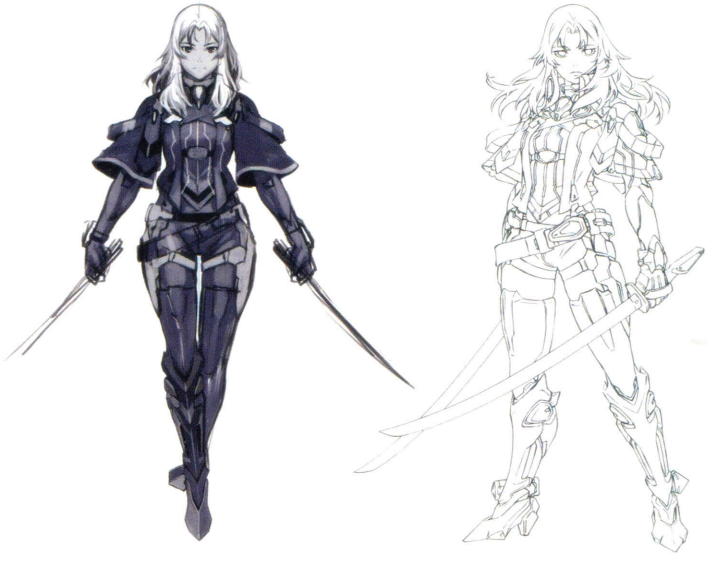
シュルク



フィオルン



エルマ



シン

■CV：櫻井 孝宏
■イラストレーター：野村 哲也
■タイプ：人型・男性型
■属性：氷
■武器種：古刀
■好きなジャンル：魚類、チャーム
■好きなアイテム：コンゴウイワナの天ぷら、ナチュラルチャーム

「終わりにしよう
俺達の役目は
次へと渡されたんだ」

◆仮面の奥に激情を秘めるイーラの首魁

秘密結社イーラの首魁で、仮面を装着した冷酷な剣士。世界を滅ぼす力として天の聖杯を永きに渡って探しており、ホムラが眠る古代船の情報を掴んだ際はバーンに依頼してレックスにサルベージさせた。そこで一度はレックスの命を奪うがホムラと命を分け合って復活されてしまい、以降は天の聖杯を巡って敵対する。モルスの地では脱出まで一時的に共闘するも、世界樹では再び立ちはだかり、レックスたちに最後の戦いを挑む。戦いの末に敗北を認め、メツを止めることを託してマルベーニを道連れにしながら自らの消滅を選ぶ。

『黄金の国イーラ』

500年前はイーラ王国で「イーラの秘宝」や「最強のブレイド」と呼ばれていた。ラウラが誤って同調してからは、彼女を守るブレイドとして力を振るっていく。聖杯大戦にも参加し、メツとの死闘の末に大戦終結に尽力する。しかし旅の途中で、かつての自分が記した日記を読んでブレイドの存在意義に疑問を抱くように。さらにアーケディア法王庁の襲撃で致命傷を負ったラウラの心臓を取り込み、マンイーターとなってからは、神や世界を滅ぼすためにメツと手を組んで秘密結社イーラを結成した。



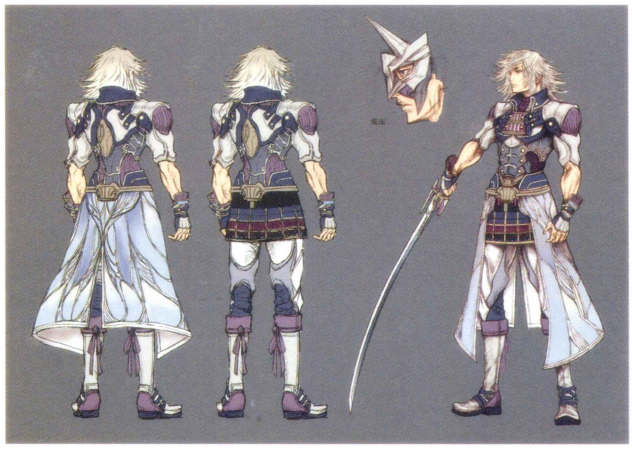
「黄金の国イーラ」バージョン



Illustrator's Comment

カリスマ性の高い敵役として、自分がこれまでデザインしたいくつかのキャラクターの要素を例として挙げていただいていたので、それをベースにメツとの関係性を大事に考えました。そこでシンのイメージは白として、名前から和テイストをミックスし、これによってほかのイーラの方向性も決まりました。極端なスリーピーアイがミステリアスで余裕のある顔つきになったと思います。

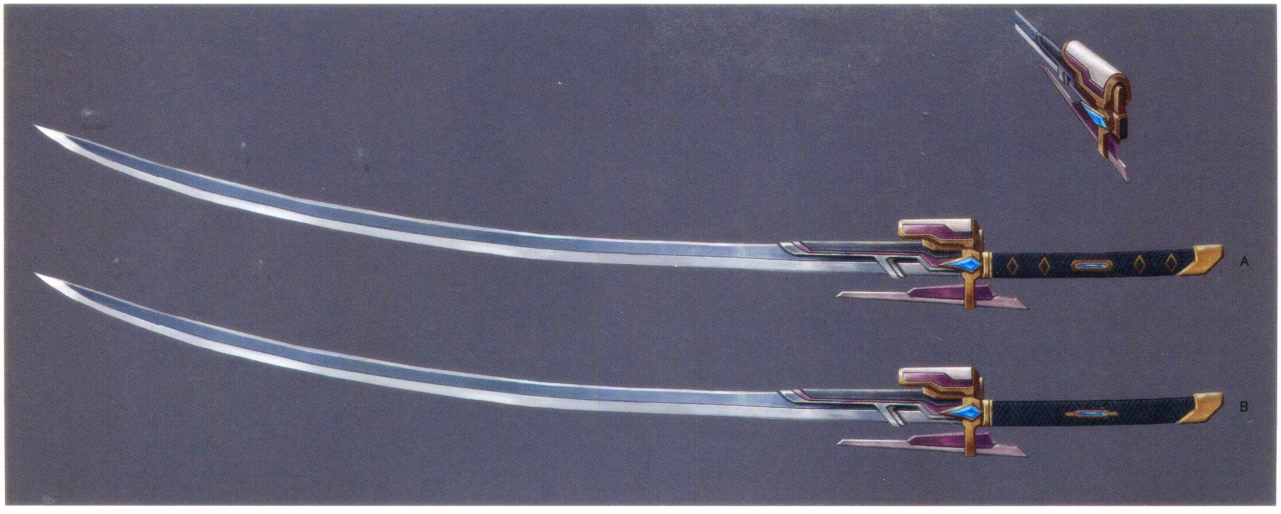
■二面図



■フード



■武器



■最終形態（デザイン：モノリスソフト）



メツ

■CV：中村 悠一
■イラストレーター：野村 哲也
■タイプ：人型・男性型



「もっと早くお前に
出会ってたなら――
色んな世界が
見えたんだろうな――」

◆世界を破壊する天の聖杯

秘密結社イーラのナンバー2。仲間に対しては思いやりのある兄貴分な気質を見せるため、組織内での信頼は厚い。ザンテツと同調してドライバーのように振舞っているが、その正体はホムラやヒカリと同じく、天の聖杯として生み出されたブレイドで、本当の名前は「ロゴス」。シンが抱いている絶望や悲しみは、かつての自身やドライバーのマルベーニが原因であると自覚しているため、人類や世界への破壊衝動はシンの目的のために向けられるようになった。ホムラから天の聖杯の力を取り戻すが、相性の悪いニアの能力やマスタードライバーとして覚醒したレックスの前に苦戦。楽園では最強の僕「アイオーン」に乗って世界を滅ぼそうとする。

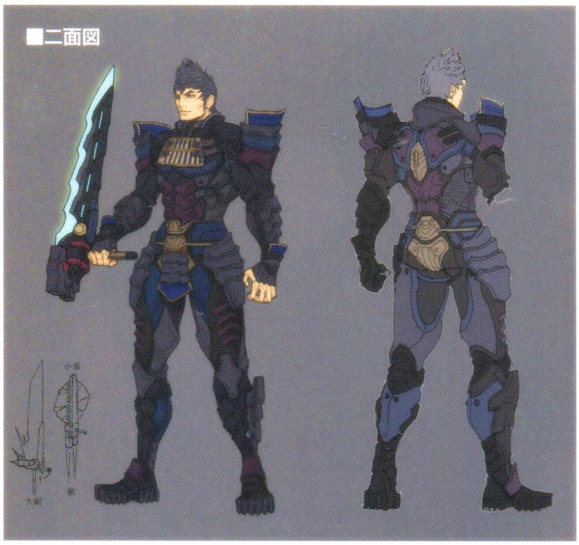
『黄金の国イーラ』

マルベーニのブレイドとなり、彼の強い破滅願望の影響を受けたことで、自らが世界を消滅に導く存在と認識するようになった。ドライバーの力がなくとも問題なく力を発揮できるため、マルベーニの元を離反した後、世界を消滅に導かんと聖杯大戦を引き起こす。

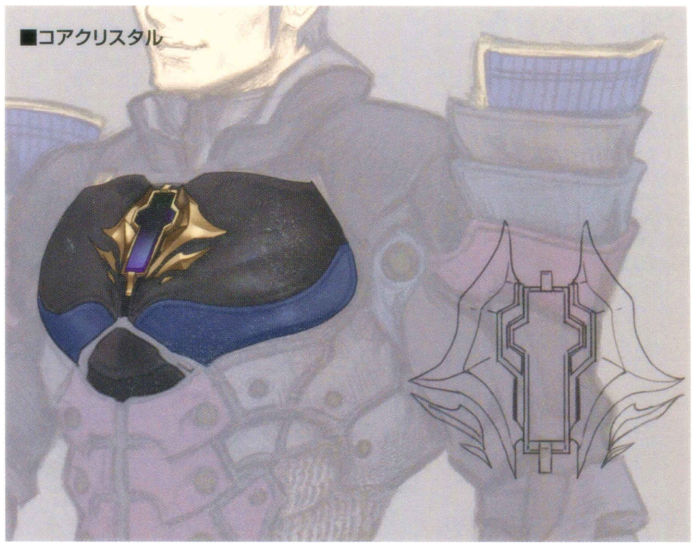
Illustrator's Comment

オーダーの際にメツに対する思いを強く感じ、シンと対になる存在としてシンと同時にデザインを行い、対極の黒をイメージとしました。ダークヒーロー的なアーマーに覆われながらも肉体派として動きが取りやすいように、防御用ではなく攻撃用のアーマーを少し意識しました。男らしい眉毛が良いアクセントになったかなと思っています。

■二面図



■コアクリスタル



■モナドの詳細（デザイン：モノリスソフト）



喰鎧封斬轟

ヨシツネ

■CV：島﨑 信長
■イラストレーター：野村 哲也
■タイプ：人型・男性型
■属性：雷
■ロール：回復
■武器種：鎌
■好きなジャンル：主食、ボードゲーム
■好きなアイテム：燻製ミツメダカのブレゼ、シュリブ座の証人



「それを大事と思えるから。
そのために、生きられる」

◆残忍さを内に秘めるイーラの頭脳

秘密結社イーラに所属するドライバーで、組織における頭脳役を担っている青年。赤い眼鏡をかけており丁寧な口調で話すため知的に見えるが、目的達成のためならば卑劣な行為も厭わない残忍な一面を持つ。そういった性格から、仲間であるメツから「ゲス」と評されることもある。その一方で想定外の事態が起きると激しく取り乱し、口調も一転して荒々しいものに変貌する。当初はカムイをブレイドとして戦っていたが、初めて目覚めたヒカリの攻撃で彼女が消滅し、その後再びレックスと戦ったときにはブレイドなしで武器を生み出す。じつはヨシツネはマンイーターであり、生み出した弓は彼自身の力によるもの。ベンケイのことを妹と扱うのは、自身と彼女のドライバーが兄妹であり、その兄妹の細胞によってふたりがマンイーターになったことに起因している。アーケディア法王庁と戦艦マルサネスの交戦開始後は、サタヒコの指示によってシンを保護するため世界樹へと向かう。しかし現れたマルベーニによってベンケイの命を奪われ、仇討ちを挑むも返り討ちにあい、コアクリスタルを奪われ死亡した。

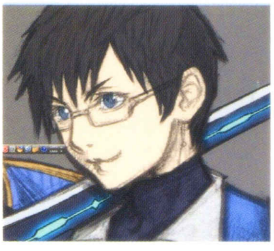
Illustrator's Comment

設定では知略家でありベンケイとの関係が強調されていたので、そこを拾ってデザインしましたが、本編では少し方向性が変わっていたかもしれません。単なる美少年にはしたくなかったので、眼鏡を小道具として取り入れ、眼鏡の奥の目に内なる残忍性の様な二面性が出る様にと考えました。

■二面図



■表情

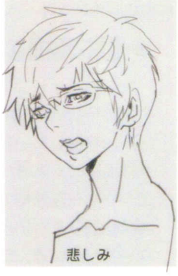
















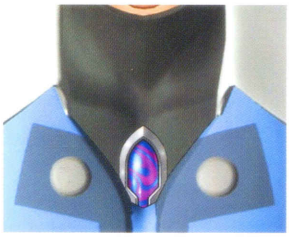


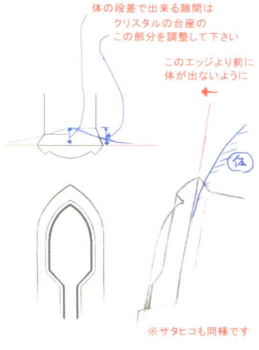




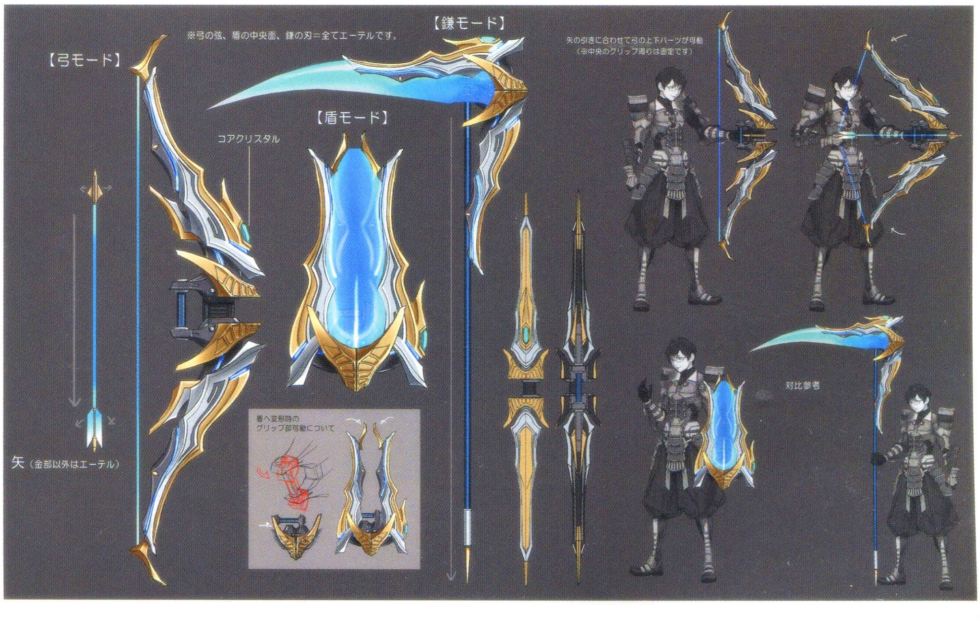


■コアクリスタル





武器（デザイン：モノリスソフト）



ベンケイ

■CV：のぐち ゆり
■イラストレーター：野村 哲也
■タイプ：人型・女性型
■属性：地
■ロール：攻撃
■武器種：薙刀
■好きなジャンル：野菜、コスメ
■好きなアイテム：オーディファジェルタルト、フェル・クッシェルティア



「気色悪いんだよ！
サタ！
後でぶっ飛ばして
やるから、くたば
んじゃないよ！」

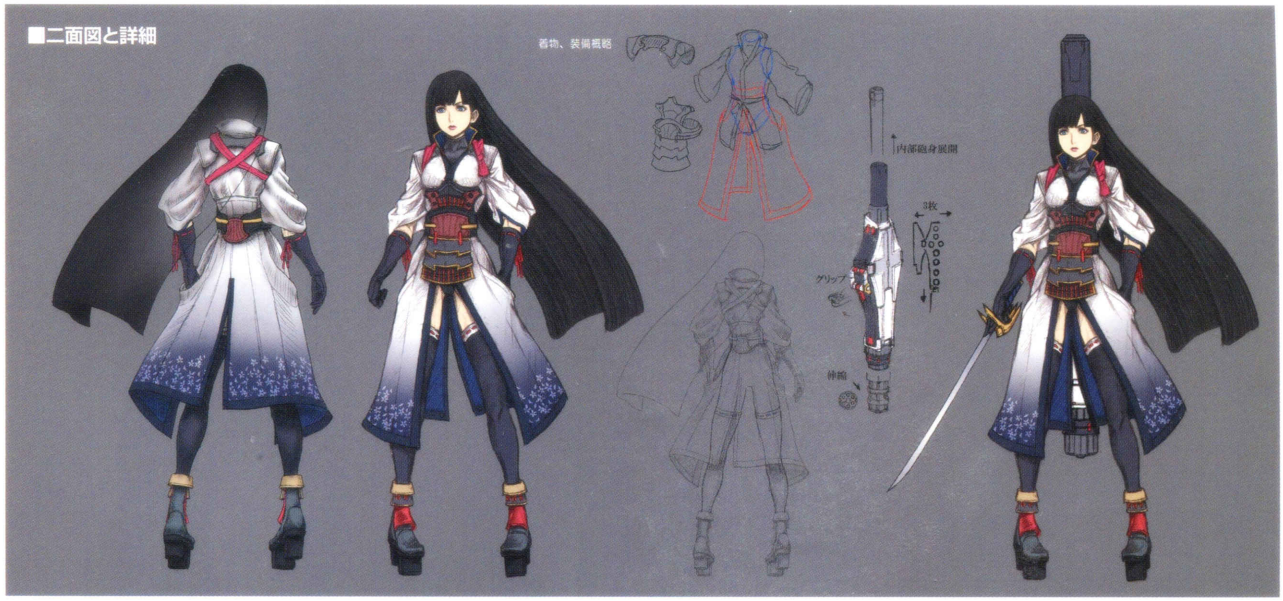
◆短気で粗暴な秘密結社イーラの紅一点

秘密結社イーラのドライバーで、レックスたちと戦う前は「千本狩り」と称して数多くのドライバーを倒していた。長い黒髪が特徴的な美貌とは裏腹に、非常に口が悪くて短気。さらに面倒くさがりな性格でもある反面、物を並べる際は順番通りでないと気が済まないという几帳面さも持っている。ラゴウをブレイドとして同調しており、初めてレックスたちと対峙したときは彼の武器である大筒を用いて戦っていた。しかしベンケイもヨシツネと同じくマンイーターであり、ヒカリによってラゴウが消滅させられた以降は、自身の武器である薙刀で戦うようになる。自身とヨシツネのドライバーの関係から、ヨシツネと血縁関係こそないものの、彼に妹扱いされている。そのことを口では嫌がっているようにこぼすものの、その実は大事にされているという事実に喜んでいる表情も見せていた。なおサタヒコからは毎日のように口説かれているが、軽くあしらい続けている。世界樹にヨシツネとともに向かった際、傷付いたシンを治療しようとした瞬間、突然現れたマルベーニの奇襲を受けてその命を散らす。

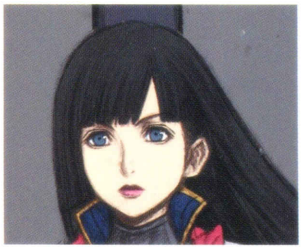
Illustrator's Comment

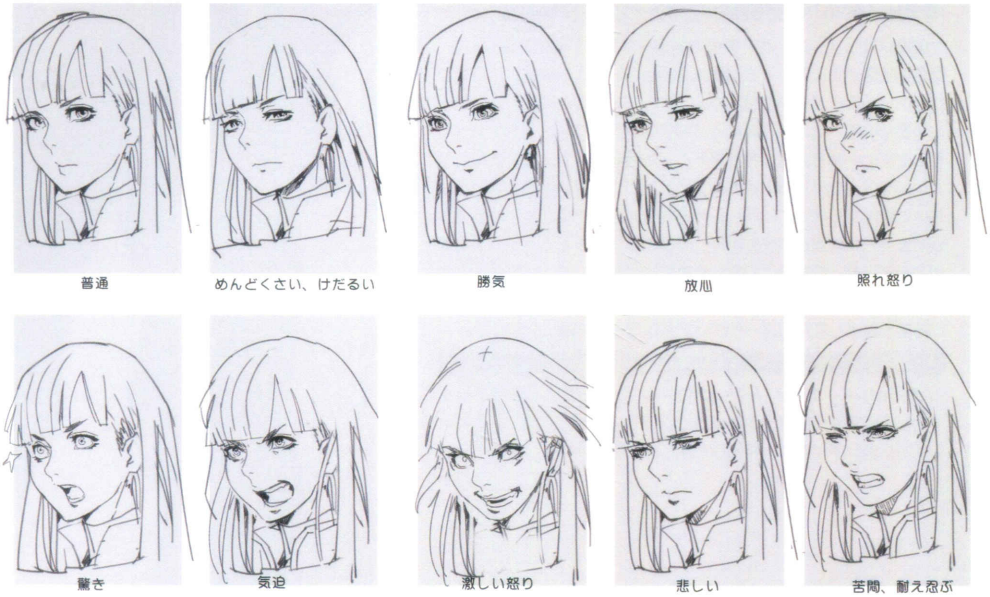
「まさか女性でこの名前とは」と、設定をいただいたときに驚きましたが、格好も少し遊び心をと思い、高下駄風のブーツを履かせてみたり、たすき掛けをさせてみたりしました。容姿はもっと幼くしようか悩みましたが、ヨシツネやサタヒコとの絡みを考えると、いまくらいが限界かなと思いました。が、本編の他キャラクターたちのバランスからすれば、もっと幼い感じにしてもよかったかなと思います。

■二面図と詳細

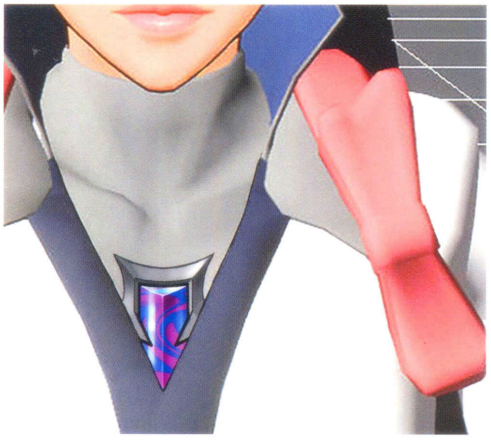


■表情





■コアクリスタル



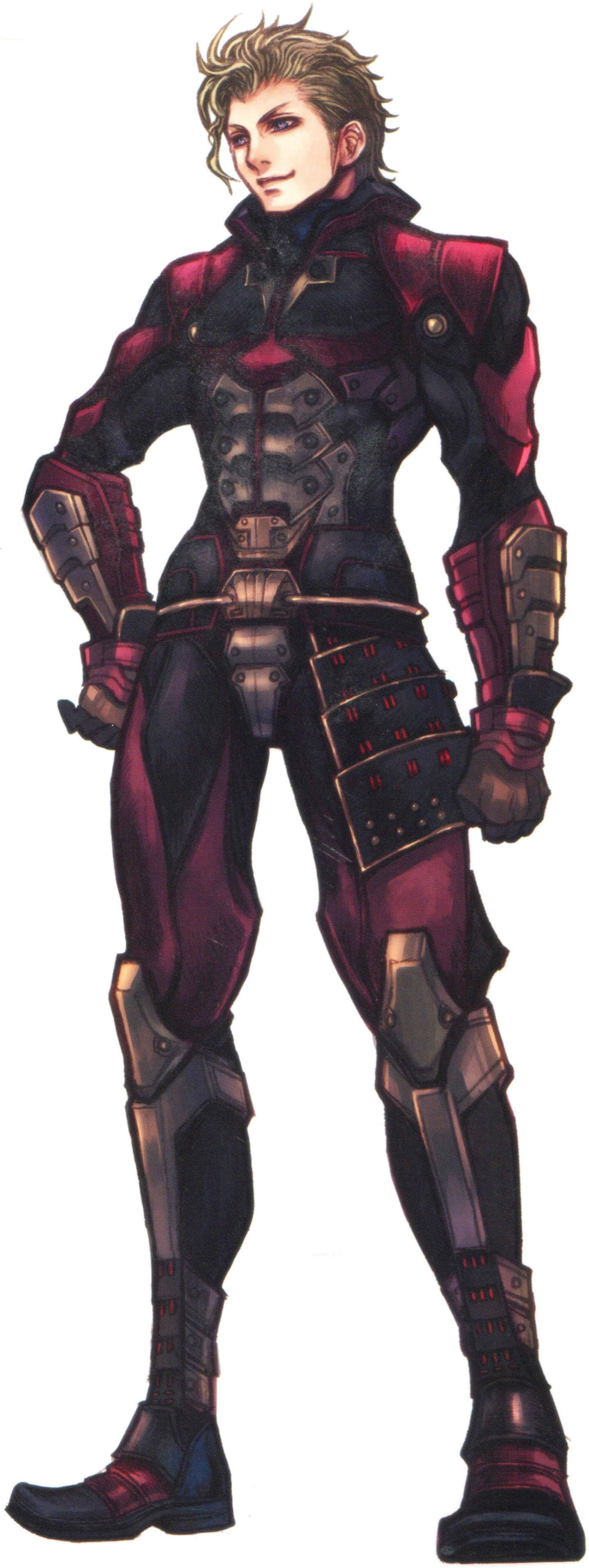


■武器と詳細（デザイン：モノリスソフト）



サタヒコ

■CV：青年……浪川 大輔　　幼少……長久 友紀
■イラストレーター：野村 哲也
■タイプ：人型・男性型
■属性：闇
■ロール：防御
■武器種：扇
■好きなジャンル：ドリンク、書物
■好きなアイテム：ミルフィーユ野菜グリル、ルクスリアンベルベット



行け！　行って見せてくれ！
お前の見つけた答えを!!

◆軽口を叩く秘密結社イーラの伊達男

秘密結社イーラの一員。手先の器用さや機械の知識を活かして、おもに戦艦や人工ブレイドの調整を担当している。軟派な性格だがベンケイのことを心から想っていて、ことあるごとに彼女にアピールするものの、本人からはまるで相手にされていない。そういった軽口を叩く一方で非常に視野が広く、戦闘においては血気盛んなベンケイをフォローする。世界樹では各国の巨神獣を率いて戦いを仕掛けてきたマルベーニに対し、仲間たちを戦艦マルサネスから下ろしてすべての攻撃を引き受ける。サタヒコはかつてマルベーニがブレイドイーターの実験に利用した難民の生き残りで、マルベーニのブレイドを支配下に置く能力に屈することなく戦い続け、レックスに希望を見出しながらアーケディア法王庁の巨神獣に突撃した。

『黄金の国イーラ』

秘密結社イーラのメンバーではシンとの付き合いがもっとも古く、聖杯大戦当時にラウラに保護されともに旅をしていた。このときはまだ幼い少年で、人見知りが激しく冷めた性格をしていた。

「黄金の国イーラ」バージョン

（デザイン：モノリスソフト）

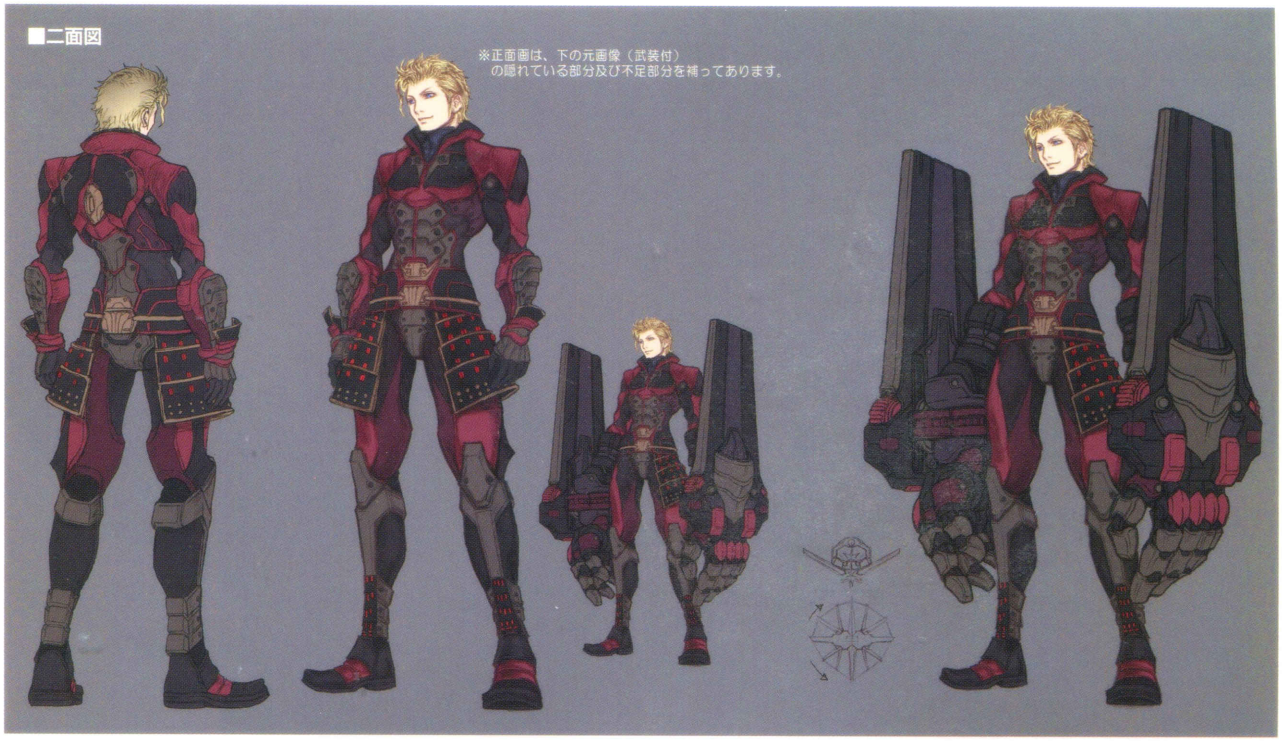


Illustrator's Comment

当初は武器込みのデザイン依頼で、下書き段階では5人の武器込みのデザインでしたが、そのときに巨大な盾を両手に装着しているというオーダーでした。なので、サタヒコに関しては身の丈近い盾ありきでデザインしてしまったため、武器なしの姿が自分にはさみしく感じています。

■二面図

※正面画は、下の元画像（武装付）
の隠れている部分及び不足部分を補ってあります。



■表情





■コアクリスタル



見えない部分のイメージ
（全体ではありません）



■武器と詳細（デザイン：モノリスソフト）



カムイ

■CV：山岡 ゆり
■イラストレーター：モノリスソフト
■タイプ：人型・女性型
■属性：雷
■ロール：攻撃
■武器種：小太刀
■好きなジャンル：魚類、楽器
■好きなアイテム：アルスト美術名画全集、オーチェシャ



へいへーい♪　最終章、かにゃ?

◆自由奔放な情報収集役

ヨシツネと同調している女性型ブレイド。白い甲冑のような装備で、背中には3対の羽がついている。表情が見えにくいが明るく自由奔放な性格で、語尾に「〜〜にゃ」とつけて話すことが多いのも特徴。エーテルの流れを繊細に把握できるという能力があり、これを活かしてヨシツネのサポートをするのがおもな役目となっている。戦闘においてはヨシツネに二本の小太刀を生成するほか、周囲の空間に存在するエーテルエネルギーを操って、相手の攻撃の属性に相反する場を瞬時に作り出すことも可能。そのため、レックスたちのブレイドから力を奪い、一方的な戦いを展開したことも。またドライバーであるヨシツネの影響か、イオンを人質にしてホムラを誘い出すといった卑劣な手段に対してもためらう様子は一切見られない。カラムの遺跡ではレックスたちを追い詰めるが、覚醒したヒカリの圧倒的な力の前に歯が立たず、消滅してコアクリスタルへと戻った。

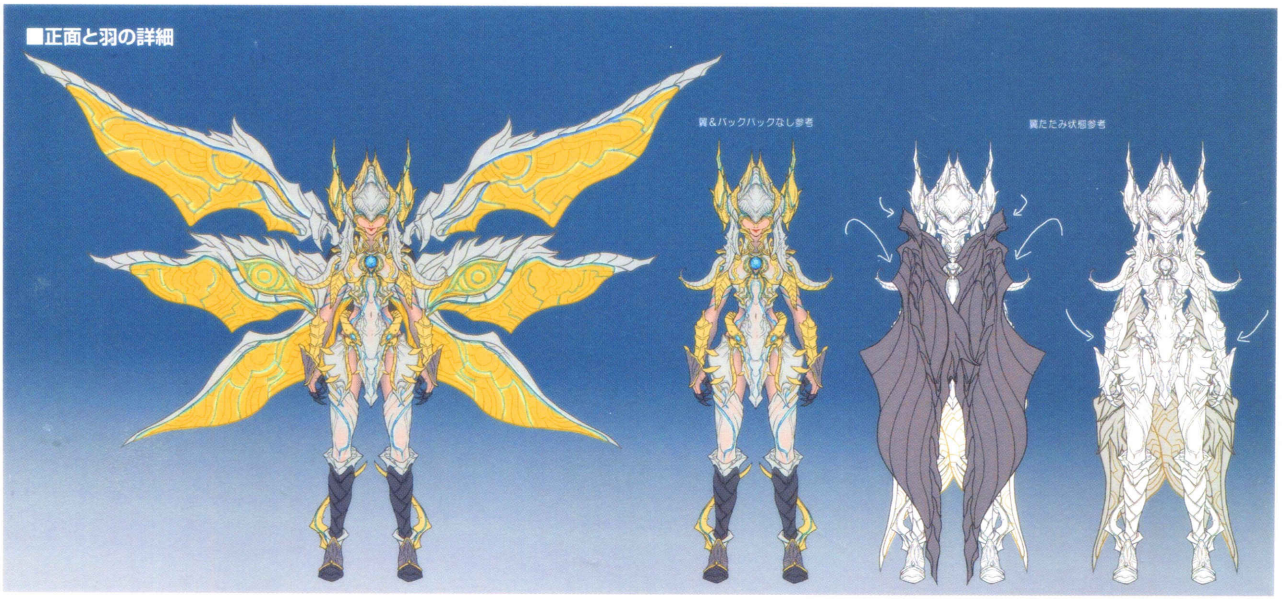
■全身イラストの別ポーズ



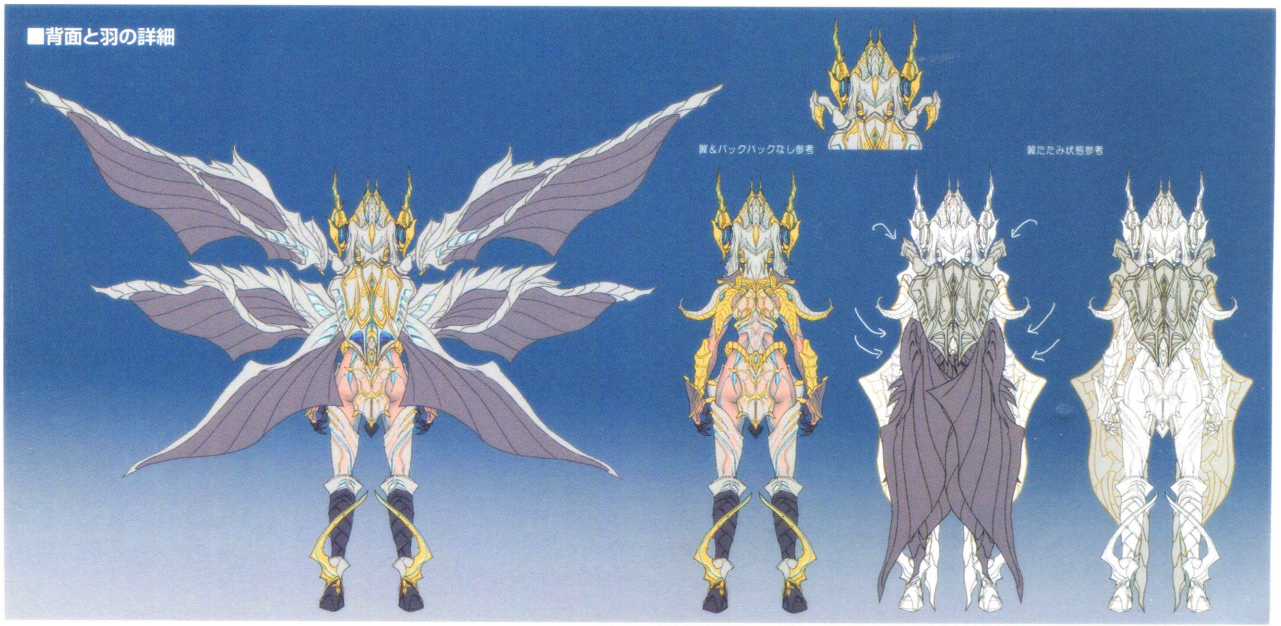
■武器（デザイン：野村 哲也）



■正面と羽の詳細



■背面と羽の詳細



ラゴウ

■CV：平井 啓二
■イラストレーター：モノリスソフト
■タイプ：人型・男性型
■属性：火
■ロール：攻撃
■武器種：大筒
■好きなジャンル：ドリンク、美術
■好きなアイテム：アルマミルクレモンティー、天へと昇るアルス



なぜなら武を志す者――
武器を選ぶようでは
一人前とは言えぬ

◆4本の武器を操る武人

ベンケイと同調している男性型ブレイド。腕が4本あるのが最大の特徴で、ドライバーであるベンケイは大筒のみを使って戦うが、ラゴウはそれぞれの腕に槍、斧、刀、槌といった異なる武器を持っている。一人称は「某」で、口調だけでなく性格も武人そのもの。武を極めたいという想いが強く、4種類の武器を扱うのはそれぞれの長所で短所を補い合うため。すべてを完璧に使いこなしてこそ、真の武人であると考えている。武器そのものにもこだわりがあるようで、各地の武器屋で眼鏡にかなう武器を探すこともある。レックスたちとはスペルビア帝国の廃工場で対峙し、ベンケイやオオツチとともに追い詰めることに成功。しかしヒカリが放った強力な一撃を受けて、コアクリスタルに亀裂が走りそのまま消滅してしまう。

■立ちポーズ案①



■立ちポーズ案②



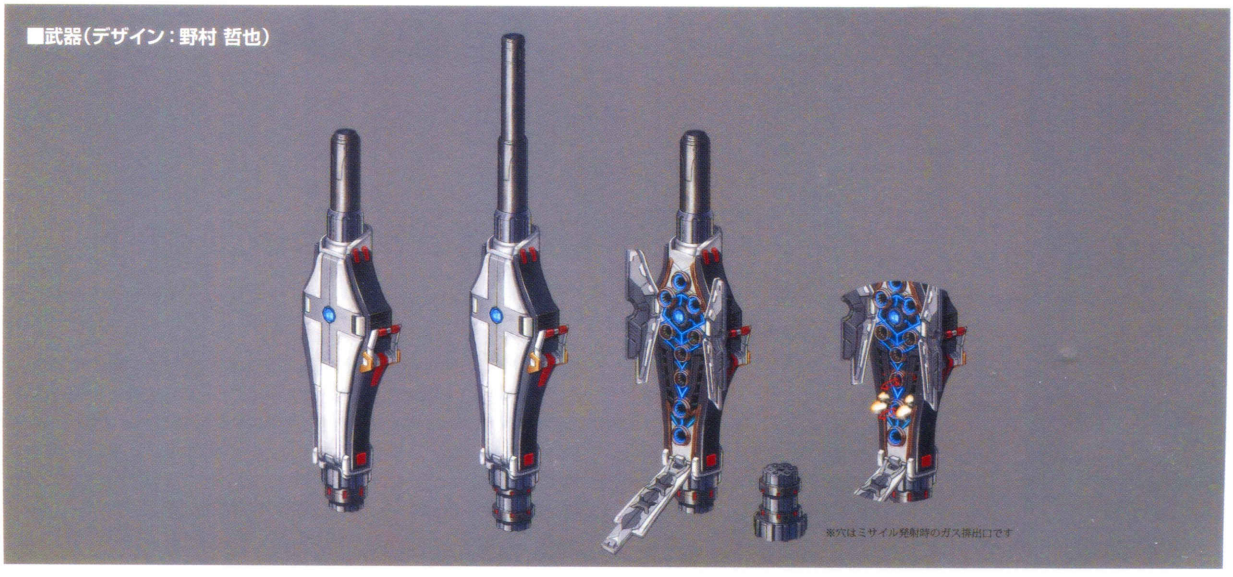
■二面図



※紅布等なし参考

※正面画では異なりますが、腕は４本共に共通です。

■武器（デザイン：野村 哲也）



※穴はミサイル発射時のガス排出口です



オオツチ

■CV：利根 健太朗
■イラストレーター：モノリスソフト
■タイプ：人型・男性型
■属性：地
■ロール：防御
■武器種：手甲
■好きなジャンル：肉類、織物
■好きなアイテム：マスタードコルデス、吹雪の中の聖歌隊

ムテキのオレ様に何でもお任せあれってことだ！

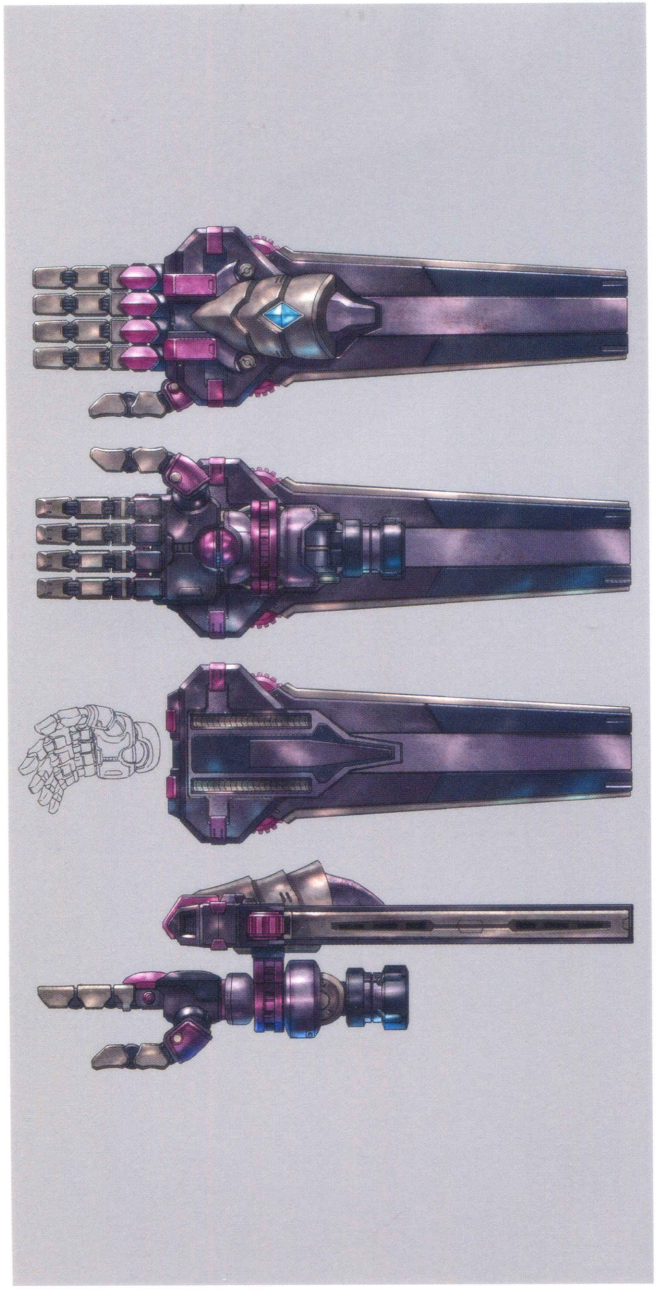
◆力自慢の大型ブレイド

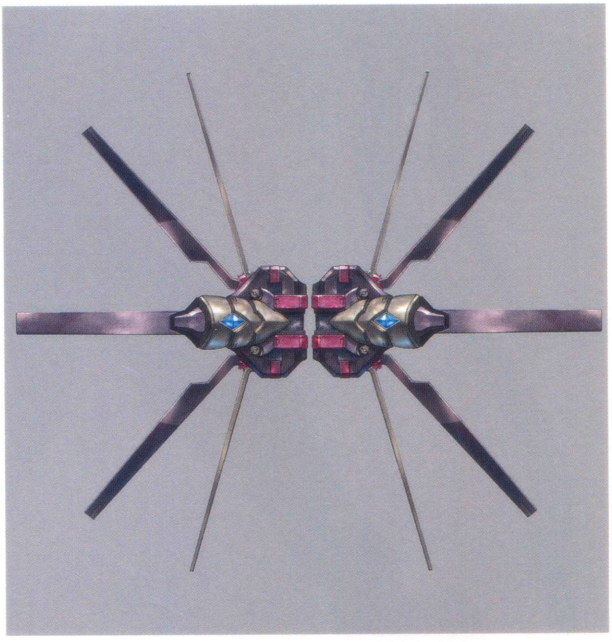
サタヒコの相棒として同調している、大型のブレイド。サタヒコが見上げるほどの体躯の通り怪力の持ち主で、本人もその腕っぷしには多大な自信を持っている。本人いわく、巨神獣兵器であるトルトガくらいならば持ち上げられるとのこと。器用で細かい作業を得意とするサタヒコとはいいコンビで、互いを補い合う関係になっている。戦闘においては大きな体と手甲を活かした防御的な立ち回りを得意としており、攻撃的な戦法を主とするベンケイたちとのコンビネーションは隙がなく非常に強力。スペルビア帝国の廃工場での戦いにおいてもそのコンビネーションでレックスたちを追い詰めるものの、メレフの加勢によって形勢逆転を許してしまい、ヒカリの一撃を受けて消滅した。

■二面図



■武器（デザイン：野村 哲也）







ザンテツ

■CV：勝 杏里
■イラストレーター：モノリスソフト
■タイプ：人型・男性型
■属性：風
■ロール：防御
■武器種：旋棍
■好きなジャンル：肉類、楽器
■好きなアイテム：パイプジェンガ、鉄板肉のソースグリル



「だから一人で生きるってのに憧れちまうんだよ」

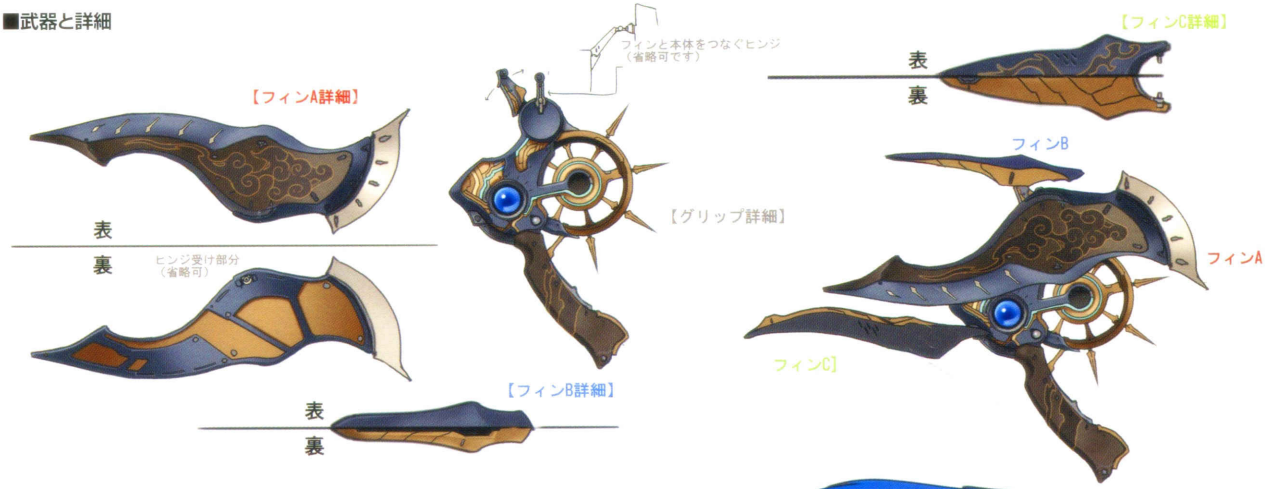
◆自由に憧れる黒き戦士

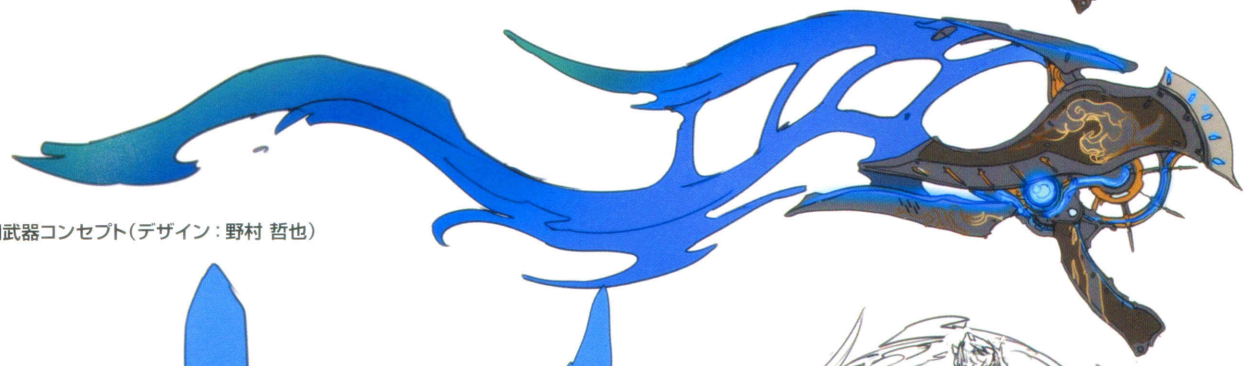
メツと同調しているブレイド。甲冑を纏った全身真っ黒の爬虫類のような姿をしている。風来坊というべき飄々とした性格で、馴れ合いを好まずひとりで行動することが多い。ドライバーに従うことを良しとするオオツチとは正反対な考えかたのため言い合いになることもあるが、心から嫌っているわけではなくケンカ仲間のような関係。ホムラが眠っていた古代船の中ではメツとともにレックスに力を貸すが、それ以降はメツのブレイドとしてレックスたちの前に立ちはだかる。しかしカラムの遺跡でヒカリが覚醒し、天の聖杯である彼女の圧倒的な力の前に為す術もなく敗北。カムイとともに消滅して、コアクリスタルに戻る。

■二面図

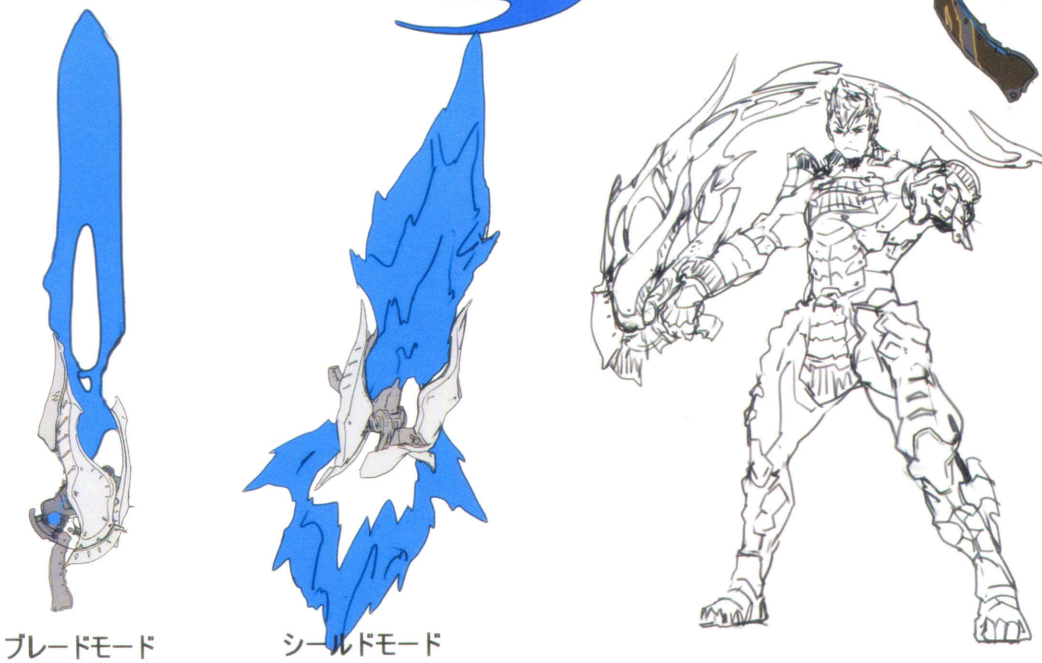


■武器と詳細





■武器コンセプト（デザイン：野村 哲也）



マルベーニ

■CV：諏訪部 順一
■イラストレーター：齋藤 将嗣



「神（ちち）よ――
まだ届かぬの
ですか――」

◆憎悪渦巻くアーケディア法王

穏やかな印象を与えるアーケディア法王庁の法王。その印象とは違い、人間や世界を憎悪する冷酷な本性を持つ。幼少期に母親を野盗に殺され、さらに自身が救った兵士が略奪行為を行っていたという事実に絶望し、人間と世界への破滅願望を抱くようになった。自分のブレイドであるファンのコアクリスタルの半分を取り込んで、ブレイドだけでなく巨神獣まで制御する能力を持つ。レックスたちや秘密結社イーラが世界樹に辿り着いた際は、アーケディアの巨神獣を率いて襲撃。さらに各国の巨神獣も呼び寄せるがレックスたちに解放され、マルサネスの特攻でアーケディアも沈没。レックスたちを倒して世界樹と一体化しようとするが、シンによって消滅させられてしまう。

『黄金の国イーラ』

500年前はアーケディアの助祭を務めていた。楽園でヒカリとメツのコアクリスタルを入手するが、同調したメツは自身の元を離れ聖杯大戦を引き起こしてしまう。メツが敗れて聖杯大戦が終結した後、ラダリアとバルトリッチを暗殺して自らが法王となり、天の聖杯の力を恐れてイーラ王国の残党軍を襲撃し壊滅させている。

「黄金の国イーラ」バージョン



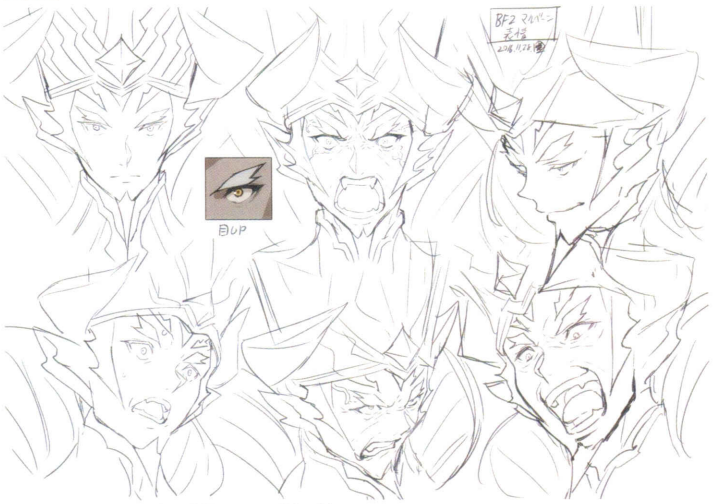
Illustrator's Comment

マルベーニの威厳に負けないような複雑な文様を描きました。背中には世界樹の文様が入っています。描いていて楽しかったキャラの一人です。

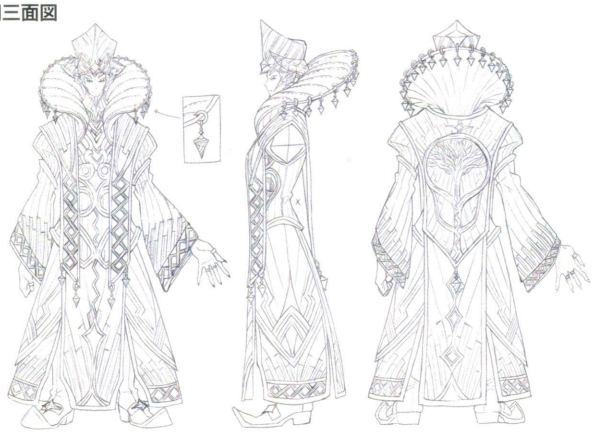
■二面図



■表情



■三面図



■ラフとバストアップ



■幼少期



■500年前の姿



■最終形態



タテゾー

■イラストレーター：モノリスソフト



「逃げるもトラ これをもって遠くへ」

◆人工ブレイドを手がける心優しき研究者

トラの父親で、長い口ひげがトレードマークのノポン族。実父にあたるセンゾーとともに、人工ブレイドであるキクの開発を行っていた。センゾーが殺される場面を目の当たりにしていることもあり、キクに対する思い入れは強い。ムイムイによってキクが命令に従うだけの兵器に改造されてしまった際にも、センゾーの形見であり夢なんだと言い、破壊されるのを拒んだ。

他人とコミュニケーションを取ることが苦手で、若いころは一日中研究に没頭する日々を過ごしていた。そんな内気な性格を持つタテゾーを放っておけなかった女性と幸いにも結婚するが、自身が変わらず研究に明け暮れていたため、愛想を尽かされ出ていかれてしまうという苦い経験がある。

■ラフと詳細



センゾー

■イラストレーター：モノリスソフト



「ワシはセンゾーも トラのじいちゃんも」

◆ロマンを追い求める偉大な研究者

トラの祖父で、立派に蓄えたあごひげとゴーグルが特徴的なノポン族。人工ブレイドに対する凄まじい情熱と優れた技術力を持ち、エーテルを自己発生できるエーテル炉をひとりで完成させた。一方で、周囲が残念がるほど壊滅的にネーミングセンスがないなど抜けた一面もある。

タテゾーとともに人工ブレイドの開発に取り掛かり始めた際に、ムイムイの襲撃によって命を落としたとされていた。しかし実は身体の一部を改造して生きていたことが、トラに届けられたセンゾーの手紙をきっかけに発覚。センゾーはトラと感動的な再会を果たすと、自身のロマンを込めた人工ブレイドのハナバスターとハナMk-Ⅱを託すのだった。

■ラフ





キク

■イラストレーター：齋藤 将嗣



「ご主人様はいつも
カイショク カイミン
カイベンですも」

◆主人を慕う人工ブレイド

センゾーとタテゾーが開発していた女性型人工ブレイド。丁寧な言葉遣いが特徴で、タテゾーのことをご主人様と呼んでいる。自宅でくつろぐタテゾーに辛辣な言葉を投げかけるなど、時折ぞんざいに扱うこともあるが信頼関係は厚い。

最初に開発された人工ブレイドであることから、ハナとは姉妹のような関係。ハナから姉様と呼ばれて慕われており、キクも彼女を妹と呼んでいる。ハナのリクエストに応えてハナJDの衣装を作るなど、姉らしい一面を見せることも。

ムイムイの手で命令に逆らえないようにする制御装置を付けられた際には、人工ブレイドを量産するために必要なコアチップをスペルビア兵から奪うように指示されていた。バーンの命令によってハナに戦いを挑むも敗れ、破壊されそうになるが、タテゾーがかばってくれたのをきっかけに理性を取り戻し始める。思うように身体が動かない中、胸に仕込まれていた制御装置を自らの手で取り出して破壊することに成功。その後、操られていたときに犯した罪を償おうと、残された力を使ってハナのエーテル炉を完全起動させた。

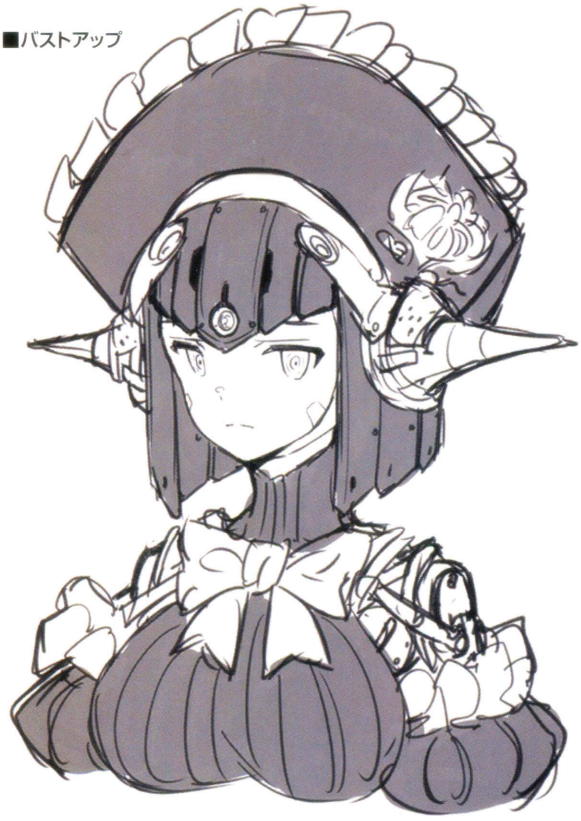
Illustrator's Comment

ハナの前に作られたお姉さん的存在のキクは、しっかり者のイメージで描きました。個人的に背中のブースターが気に入っています。

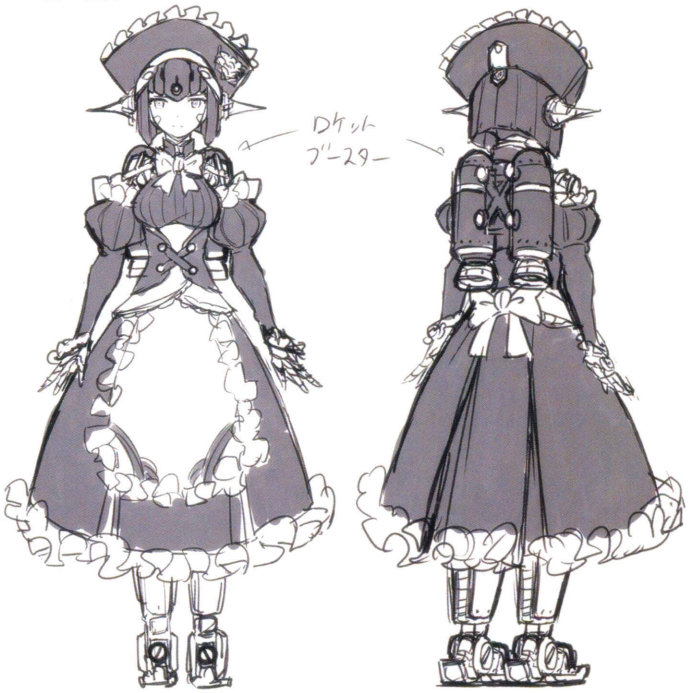
■フード



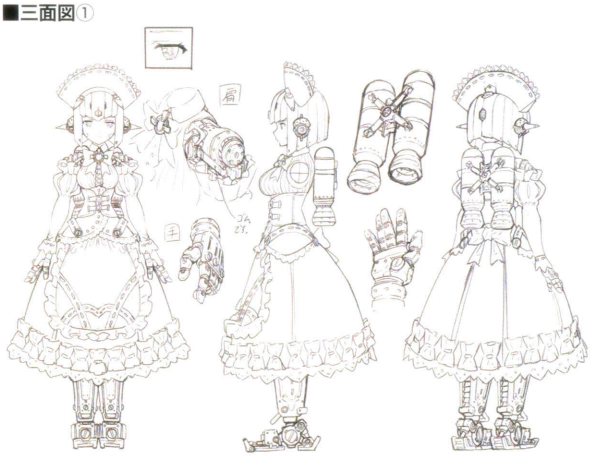
■バストアップ



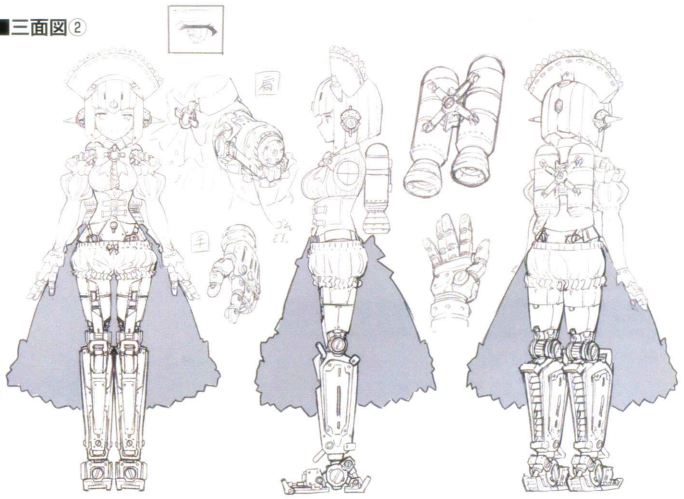
■二面図



■三面図①



■三面図②



ネフェル

■CV：石田 彰
■イラストレーター：齋藤 将嗣



「あなたは素晴らしい
力を持っている。
そして力は正しく
使われるべきです」

◆国を愛する少年皇帝

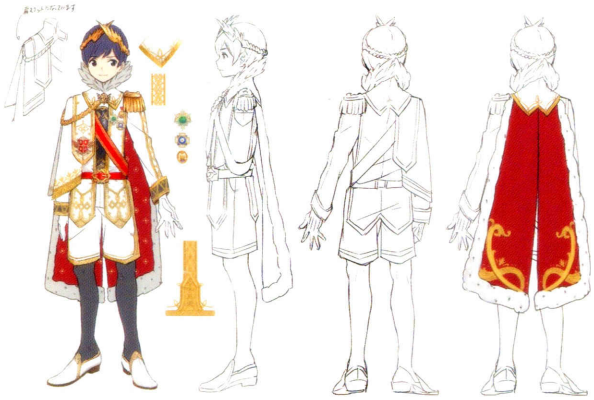
スペルビア帝国の現皇帝。外見は少年そのものだが国の未来や国民のことを大切に想う名君で、非常に高い支持率を誇る。臣下たちにも敬語で接する大らかな姿勢を見せることから、寄せられている信頼も厚い。ただその一方で、ブリューナクやリントブルムなどの反政府組織からは命を狙われる。メレフとは現在こそ主君と臣下の関係だが、本来は血の繋がった従姉弟どうしで、執務とは関係なくふたりきりのときには彼女のことを「従姉さん」と呼んで慕っている。

平和的な思想の持ち主のため、長年対立関係にあるインヴィディア烈王国との開戦については否定的。軍備拡張を図ろうとする開戦派の元老院に対して、メレフとともに慎重な態度を見せている。テンペランティアでの巨神獣兵器暴走事故後、インヴィディアとの二国会談が行われた際に、グーラの分割統治を提案しようとしていた。そこでバーンの襲撃を受けて一度は仮死状態に陥るが、ニアの能力で一命を取り留める。その後、旅を続けたいというメレフの真意を見抜き、ワダツミを託したうえでレックスの護衛として同行を命じた。

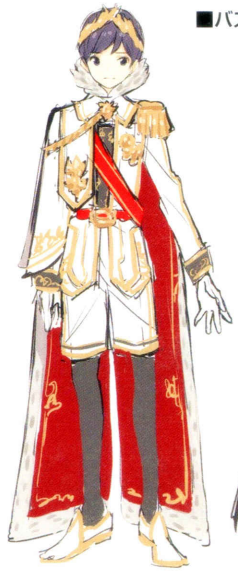
Illustrator's Comment

初期案ではレックスより背が高くもう少しお兄さん風だったのですが、レックスと背丈を合わせて欲しいとオーダーがありました。短パンで少年らしさを出しています。

■三面図①



■バストアップ





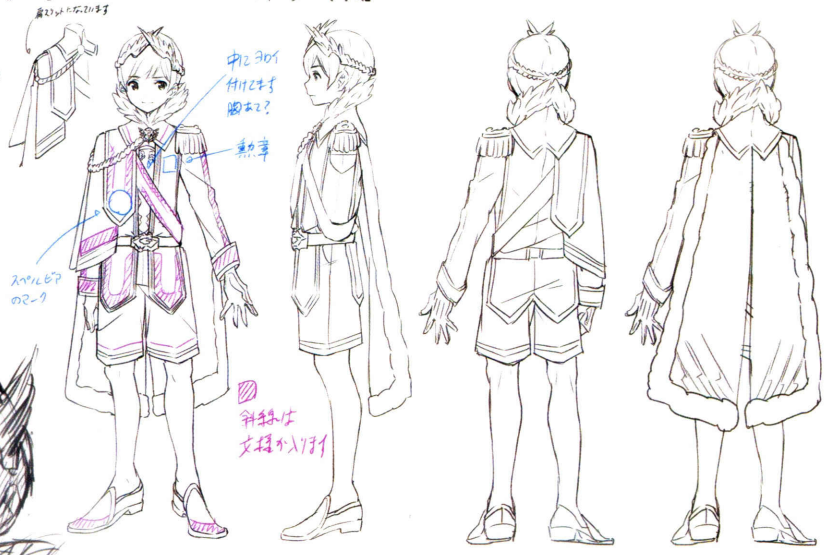
■表情





目UP

■三面図②



■初期デザイン



ローデリッヒ

■イラストレーター：モノリスソフト



「グーラで疲弊した我が国の
数的劣勢、ようやく覆せるか」

◆開戦派の元老院議員

スペルビア帝国の元老院に所属する議員。元老院の中でもとくにインヴィディア烈王国との戦争を推進する開戦派であり、和平を望むメレフやネフェルにとっては悩みの種となっている人物。インヴィディアとのあいだには明確な戦力差があるため、埋めるためにさまざまな手段を画策する。ネフェルによって禁止されていたテンペランティアの巨神獣兵器発掘を密かに再開したり、バーンに資金提供を行って人工ブレイドを生産させていた。テンペランティア視察後にシンに巨神獣兵器を奪われたことで、インヴィディアとの関係に亀裂を生んでしまう。過激な行動が目立つが国を愛する想いは本物で、戦争は目的ではなく国を救うための手段と考えていた。

■ラフと詳細

スーツ的なをきたおっさんです
「スペルビアの文官」と
「ローデリッヒ議員」共通です

帽子の飾り：真鍮製

シルクの光沢感
のあるプリーツシャツ
ボタンは隠れています



シャツ襟元は
皮です

パイピングは
金属です



ここの部分
少し硬くて
梨地のような質感です

スチームパンク風
歯車模様がプリントされています。うっすらエンボス加工になってます



街MOB：スペルビア文官バージョンです

モーフ

■CV：平井 啓二
■イラストレーター：モノリスソフト



「テロリストの分際で生意気ね！」

◆スペルビア凱旋を目論む権威主義者

女性のような口調で話す、グーラの領事の中年男性。私利私欲の塊であり現在の地位には満足しておらず、スペルビア本国への凱旋を企てている。そのためスペルビアの高官であるメレフに媚びを売るが、部下たちには容赦ない暴言を吐くなど極端な二面性の持ち主。また、バーンとも裏取引を行っており、天の聖杯であるホムラがグーラへ流れ着いた情報を入手した際は、自らの手柄にするためにスペルビア本国へ一切報告はせずにホムラを捕らえようとしていた。ホムラを捕えるためドライバーとしてレックスたちに挑むが、ブレイドを盾にするという卑怯な手段ばかりで敗北。失敗を重ねた結果、更迭処分となりグーラの領事から外されてしまった。

■ラフと詳細



ゼーリッヒ

■CV：牛山 茂
■イラストレーター：モノリスソフト



「天の聖杯には消えてもらう」

◆ルクスリアを統制する厳格な国王

ルクスリア王国の国王で、ジークの実父にあたる男性。若いころは世界各地を回るサルベージャーで伝説と謳われていた宝を探していたが、彼の父である先王が急逝したため夢を諦め、王位を継承する決断をした。

ルクスリアの民を統べる者として強い責任感を持っており、国の鎖国政治に反発するジークに対してきびしい。またルクスリアを窮地に追い込もうとするアーケディア法王庁に強く反抗。ホムラがアーケディアに利用される可能性を潰すべく、彼女を封印するという強引な方法で解決を試みたが、結果的に状況が悪化したため自分の非を認めてレックスたちに謝罪する。その後、ルクスリアの鎖国体制を解き、本当の意味で国と国民を守ることを誓った。

■ラフと詳細



フォーティス

■イラストレーター：モノリスソフト



「いや やはり結構ですぞ！
無性に悪い予感がいたしますので！」

◆用心深きルクスリアの宰相

ルクスリア王国で宰相を務める男性。やや無愛想な顔をしているが物腰は柔らかく、自分より年齢が下に見える相手でも丁寧な言葉で接する。

主君であるゼーリッヒの右腕という重要なポジションにいることもあり、保守的な考えが強く危険を事前に察知する感覚が鋭い。ライコが電気の力を使って肩を揉んであげようかという提案してきた際に、一度は言葉に甘えてお願いをするも、彼女が自身の力をうまくコントロールできていないことを見抜くと、無性に悪い予感がすると言い慌てて断った。

プニン

■イラストレーター：モノリスソフト



「バーン会長がお前のことを
お呼びだも」

◆レックスと顔見知りのノポン族

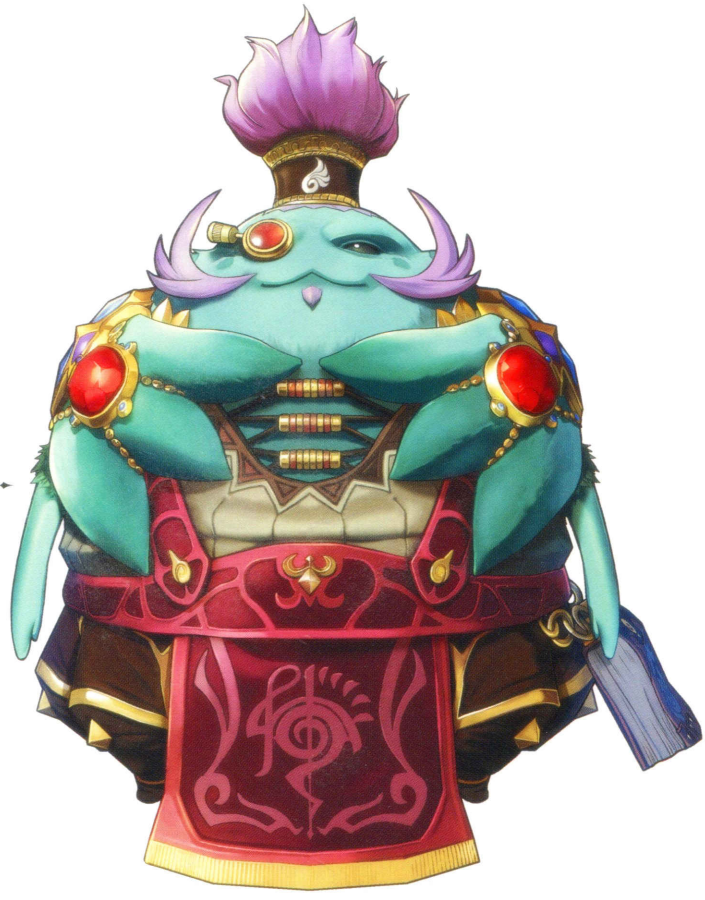
アヴァリティア商会で働く、レックスと顔見知りのノポン族。レックスからは「プニンさん」と呼ばれて懐かれている。レックスが腕の立つサルベージャーだとバーンに紹介し、古代船を探索する仕事を取り次いだ。

仕事に対して献身的に取り組むものの、理不尽な理由で怒られてうまくいかないことが多い。古代船探索の際には、命の危険を感じたため仕事を中断して逃げたことに対してバーンから叱責を受けてしまう。インヴィディア烈王国とスペルビア帝国の首脳会談では、最高の料理を作ってほしいという依頼で料理集団「火龍団」を手配するも、暗殺者と勘違いしたレックスたちによって集団が全員倒され、料理が提供できない事態にさせられた。

バーン

■CV：大塚 明夫
■イラストレーター：モノリスソフト

「よく来てくれたも
アヴァリティア商会会長の
バーンだも」



◆あらゆる悪事に手を染める金の亡者

トラの2倍はある大きな身体と、頭部や指につけた派手な装飾品が目を引くノポン族。表向きはアヴァリティア商会を取りまとめる会長だが、金を稼ぐためなら非人道的な悪事に手を染めることも躊躇わない裏の顔を持っている。センゾーを殺害し、タテゾーを誘拐した事件の黒幕で、彼らの技術を悪用して大量生産した人工ブレイドを秘密結社イーラに売り渡していた。

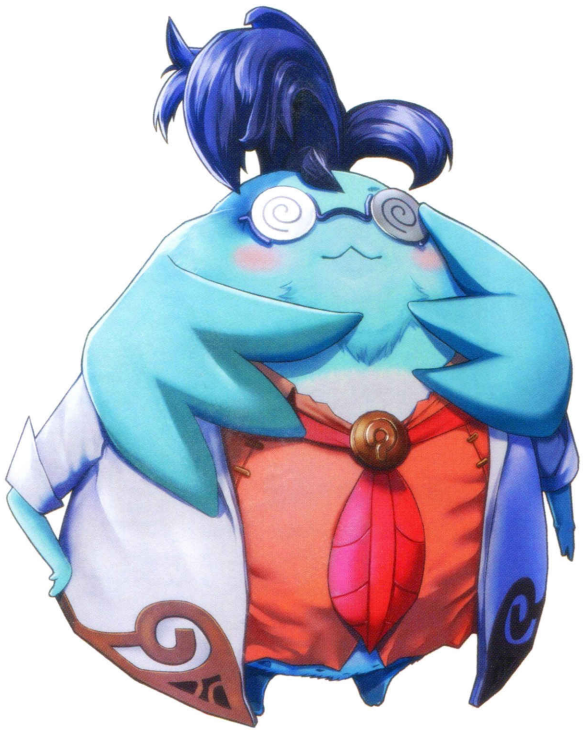
数々の悪事が白日の下にさらされて会長の座を追われた際にも、強い商人魂を持ち続け、金儲けのためにインヴィディア烈王国とスペルビア帝国の両国による戦争を意図的に起こすことを密かに企てる。レックスたちによって作戦は失敗に終わるが、最後まで負けず嫌いな性格を貫いて戦い続けた。

■ラフと詳細



ムイムイ

■CV：三ツ矢 雄二
■イラストレーター：モノリスソフト



「ふ、その人工ブレイドを手に
入れる機会を待ってましたも」

◆改造技術に長けたバーンの腹心

渦巻き模様の眼鏡とモヒカンのヘアースタイルがトレードマークのノポン族。かつてセンゾーの助手を務めていたためトラのことを知っており、スペルビア帝国にレックスたちがやってきた際は協力を申し出た。しかし、じつはバーンの部下であり、レックスたちに協力したのもバーンの命令によってハナのエーテル炉を奪うためだった。センゾーの助手となったのも、バーンの指示でキクを奪取することが目的。センゾー殺害の真犯人であり、タテゾーとキクを連れ去ったうえにキクに改造を施している。廃工場ではレックスたちを誘き出し、改造したキクに続いてサクラに乗り込んで戦いを仕掛けるが敗北。気絶しているあいだに、バーンに見捨てられてしまった。

■ラフと詳細







下の服はパツンパツンな感じです
研究職っぽくヨレヨレでちょっと不健康そう



ニルニー

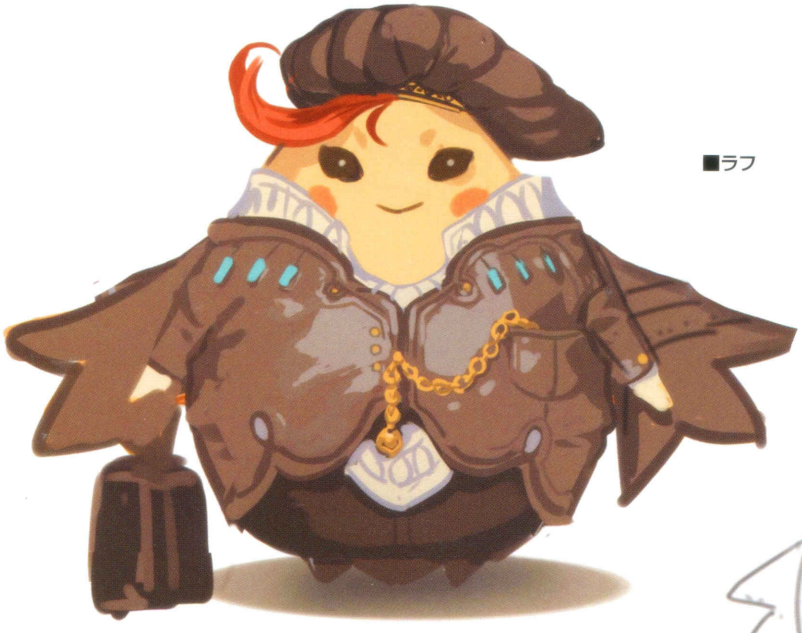
■イラストレーター：モノリスソフト

「軍施設に侵入し、
兵士達を襲ったのは、
この人達ではありませんも――」

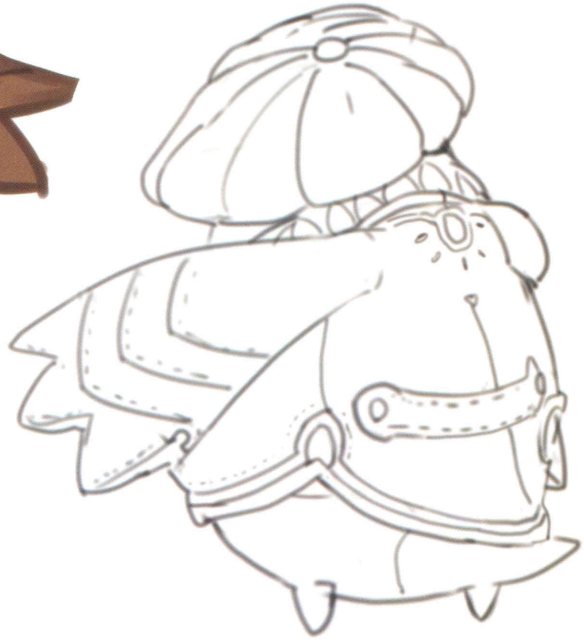


◆バーンの動向を追う内偵

アヴァリティア商会の諜報局に所属するノポン族。しかしバーンに従っているわけではなく、アヴァリティア商会の内偵を行うことが目的だった。レックスたちがスペルビア帝国に入国した後も密かに尾行を続けており、キクによるスペルビア兵の襲撃を目撃。襲撃犯をハナだと疑うメレフに対して目撃情報を伝え、レックスたちの冤罪を晴らすことに成功した。悪事が暴かれたバーンが会長の座を追われた後は、アヴァリティア商会の代表代行に就任。巨神獣兵器暴走事故後に行われた、インヴィディア烈王国とスペルビアの二国会談には裁定委員として出席し、バーンが首長の暗殺を企てていることをメレフに伝え、事件の発生を未然に防いでいる。



■ラフ



ラゲルト

■CV：小山 茉美
■イラストレーター：モノリスソフト

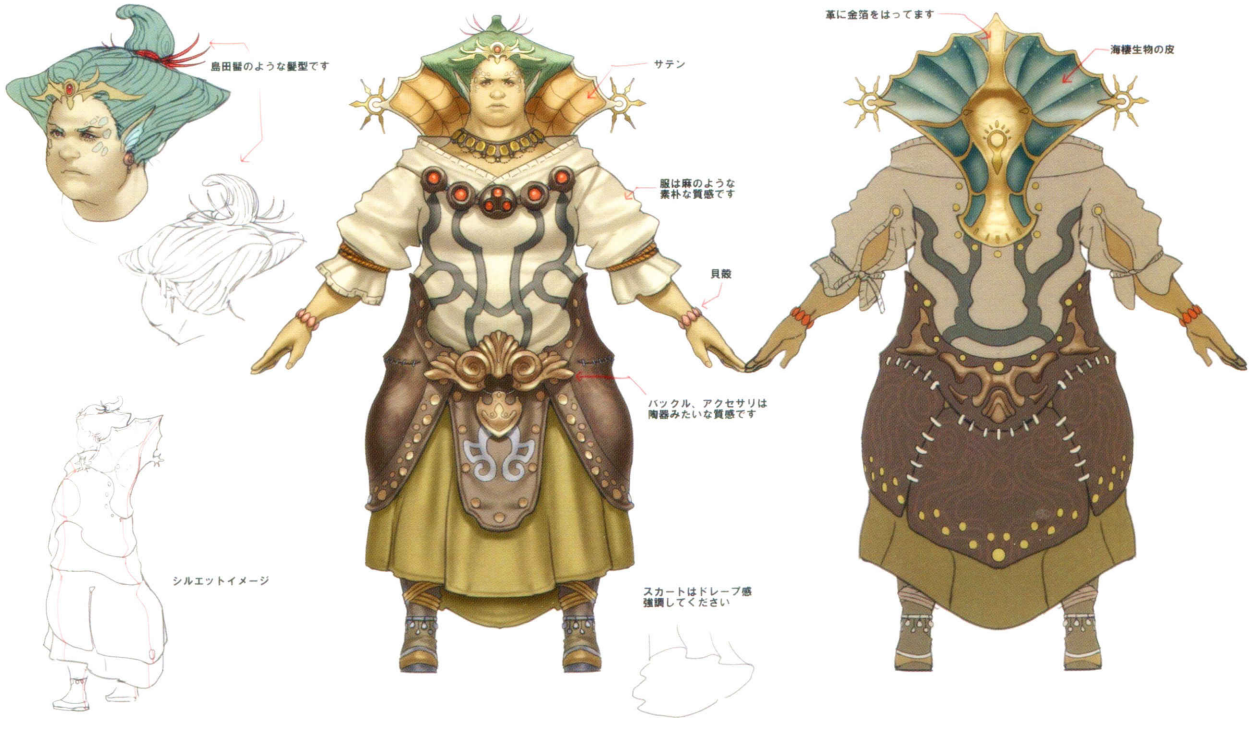
「まさかあの様な
行動に出るとはね――
若さ故か、それとも――」

◆厳しくも聡明な女王

インヴィディア烈王国の女王。愛国心の強さから、テンペランティアでの巨神獣兵器暴走事故後に開かれた首脳会談では、自軍への被害が甚大になった責任をネフェルにきびしく追及する。しかし、その後に行われた二国会談の最中、バーンによる暗殺計画をネフェルが身を呈して防いでくれたことで心を動かされ、一時停戦の受け入れを決意。天の聖杯の力が世界の行く末を左右すると悟り、戦時体制は維持しつつも状況を見守る道を選ぶ冷静さと聡明さも併せ持っている。また後に、フレースヴェルグ傭兵団の目覚ましい活躍を耳にして、盗まれてしまったインヴィディアに伝わる秘宝を奪還するようにレックスたちに依頼する。



■ラフと詳細



イオン

■イラストレーター：モノリスソフト

「あなたなら――
おじいちゃんを助けられる？」



◆コールの体調を心配する心優しい少女

インヴィディア烈王国で暮らす、水色の髪が印象的な少女。おとなしい性格で、自分の思いや感情を言葉にして発することは少ない。インヴィディアの配給所で兵士に後ろから突き飛ばされ、身勝手な言い分を突きつけられた際にも反発することはなく、悲しげな顔を見せるだけだった。

首都の一角で劇場を営むコールのことを「おじいちゃん」と呼び、彼の身体が老化によって日に日に悪くなるのを誰よりも心配している。コールを助けたい一心でいた彼女は、彼を救える力を持つヨシツネに大胆にもひとりで近づいた。しかし巧みな話術によって身柄を拘束され、ホムラを呼び出そうと画策するヨシツネとメツの人質になってしまうのだった。

■ラフと詳細

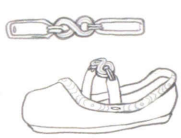


【ラフ】



←革紐装飾

■サイド留め具
木の玉装飾＋金属つぶし玉



胸元と太腿は
革素材のイメージです→



コルレル

■イラストレーター：モノリスソフト

「あんたなんとなく似てるよ
レックスの母親に」

◆レックスを育てたイヤサキ村の女性

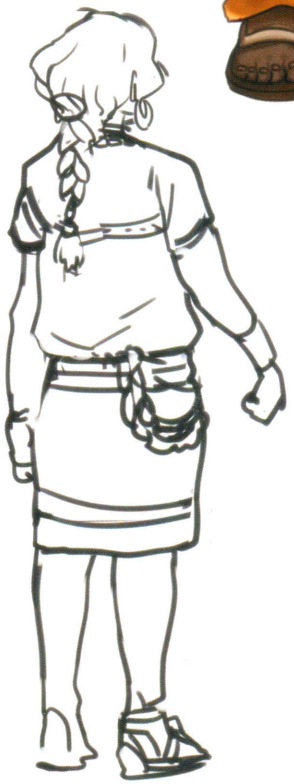
幼くして両親を亡くしたレックスの面倒を見てきた、イヤサキ村の女性。面倒見がいいため子供に好かれやすく、レックスが仲間を連れて久しぶりにイヤサキ村に帰ってきたときにも多くの子供に囲まれていた。

言葉や感情を包み隠さない性格で、初対面のホムラに「レックスはいい嫁を連れてきた」、「昔はドライバーと添い遂げるブレイドも結構いた」と伝えたり、彼の両親が亡くなったときのことを思い出すと人目もはばからず涙を流す。ホムラには、ひとりで悩まないで困ったときにはその荷物をレックスに肩代わりさせるよう、密かにアドバイスする。その後レックスには、よそ見をせずに前だけ見て進むように、と力強いエールを送った。



■ラフ





クラウス

■CV：浅沼 晋太郎
■イラストレーター：齋藤 将嗣

「楽園の全ての情報と
権限をお前に譲渡した」

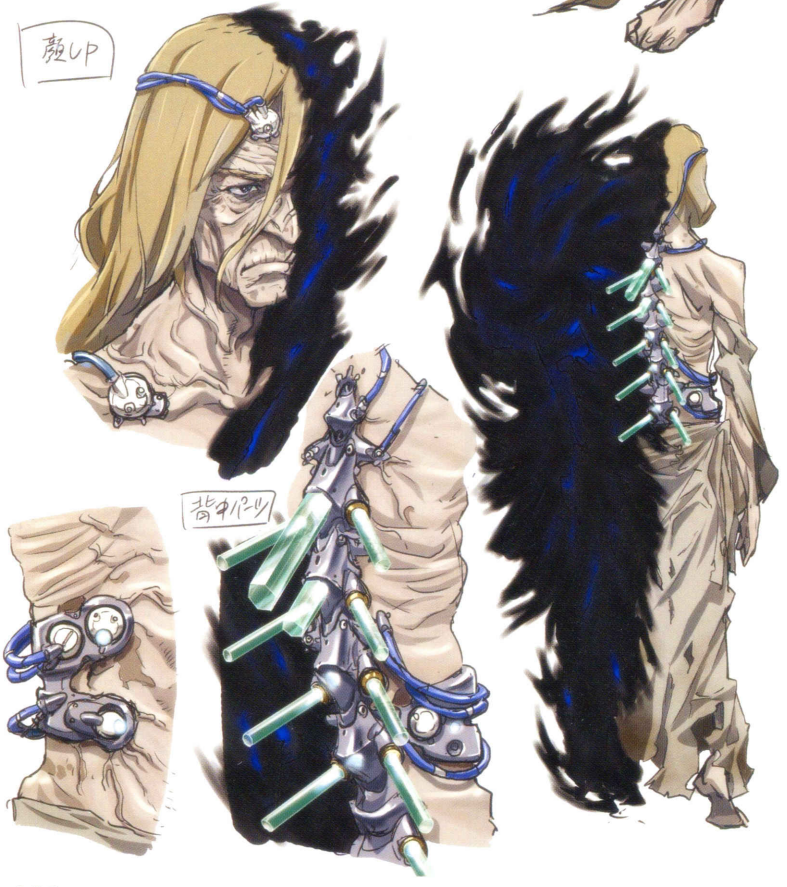
◆自身の消滅を願う世界の創造主

アルストの創造主で、天の聖杯の生みの親でもある老人男性。争いの絶えない旧文明時代の人類に絶望していた彼は、新たな世界を創造しようとゲートの力を使う。しかし人や物のすべてを次元の彼方へと飛ばしてしまい、自身の半身も失うという大失敗に終わる。世界を滅ぼした罪を償うために雲海を作り、人間やブレイドなどを生み出して世界を再生させた。

やがて自らが創造した人類が、旧文明時代の人類と何ひとつ変わらないという結論に至ると、世界の消滅を運命として受け入れるようになってしまう。しかしレックスとホムラの同調をきっかけに、世界が変わるかもしれないと希望を持ち、ホムラとヒカリに楽園の情報と権限のすべてを託すのだった。



■バストアップと背面の詳細

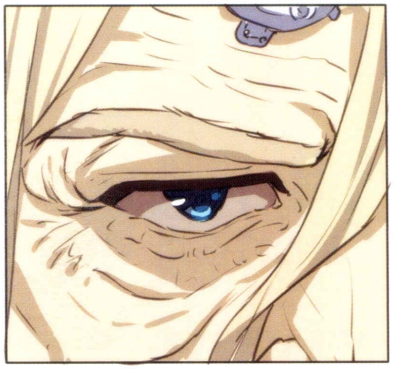


Illustrator's Comment

初期案では後光のような時計の歯車をモチーフにした椅子に座っていましたが諸事情でなしになりました。クラウスがおじいちゃんになったらどうなるかをイメージして描きました。

■バストアップ

※とにかくシワクチャです。



目UP

■デザイン案



ラウラ

■CV：早見 沙織
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■属性：火(※)
■武器種：組み紐
■好きなジャンル：肉類、護符
■好きなアイテム：ウルスのルージュ煮込み、黄金の国の護符
※初期状態。アクセサリーの装備スロットで変化する



「そんなことない。
変われるよ、必ず」

◆聖杯大戦を生き抜いたドライバー

聖杯大戦時に活躍していた女性ドライバー。幼少期に母の愛人だったゴウトがコアクリスタルを盗んできた際、誤って同調したことでシンのドライバーとなった。その直後にゴウトに殺されそうになるもののシンに助けられてからは彼とともに成長していき、後に同調したカスミも加えて傭兵として名を馳せていく。500年後の世界では基本である、ブレイドの武器を借りて戦うという戦法はこのころにラウラたちが編み出したもの。しかしそのきっかけは、まともな武器を買うお金がなかったという理由であった。なおラウラ自身は拘束用の組み紐と徒手空拳による、近距離格闘戦を得意としている。堅苦しい場が苦手という理由で正規の組織には属さず傭兵稼業を続けていたが、イーラ王国の王都防衛戦での活躍がきっかけで、イーラ王から騎士の称号を授与されイーラ王国の正式なドライバーとなる。探し続けていた母の死を乗り越えてアデルとともにメツ討伐の旅に加わり、聖杯大戦終結まで生き抜いた。しかしマルベーニの命令によるイーラ王国の残党軍狩りにより致命傷を受け、死を悟ったラウラは自らの心臓をシンに託す形で息を引き取る。

「本編」バージョン



Illustrator's Comment

もうひとりの主人公という位置付けでデザインしました。ファン(カスミ)がおしとやかな女の子らしいデザインなので、ラウラは少しボーイッシュな感じにしました。

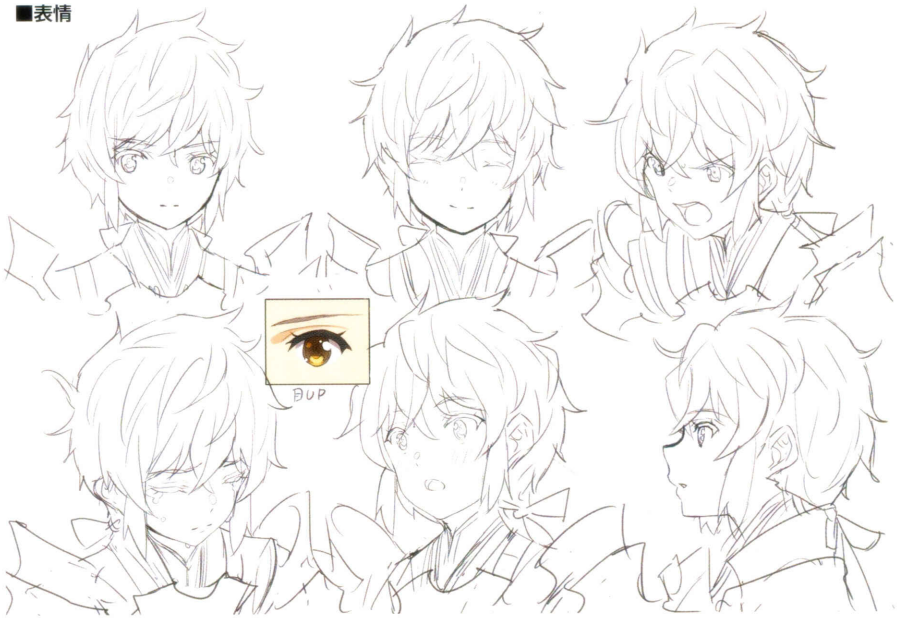
■三面図①



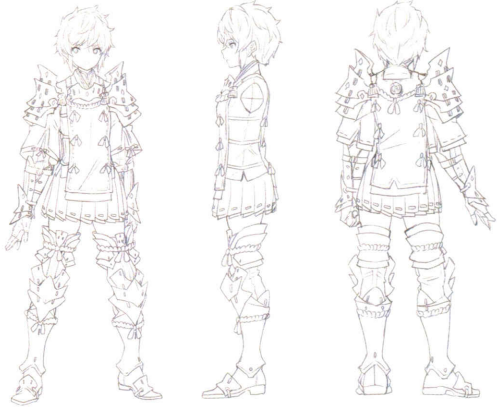
■三面図②



■表情



■三面図③



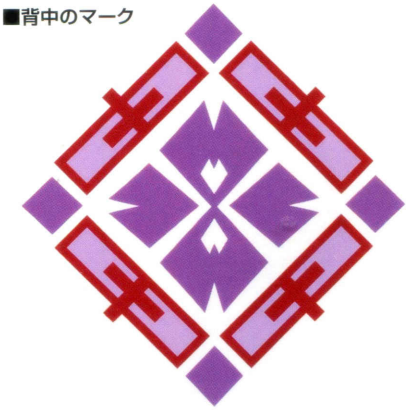
■武器



■初期デザイン



■背中のマーク



カスミ（ファン・レ・ノルン）

■CV：早見 沙織
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■タイプ：人型・女性型
■属性：風
■武器種：錫杖
■好きなジャンル：野菜、脚本
■好きなアイテム：フラワーサラダ、イーラの騎士



「私はラウラ様と同じ姿に
生まれてこられて幸せです」

◆ラウラに瓜二つな優しきブレイド

聖杯大戦のころにラウラと同調して戦いに参加していた、巫女のような衣装を纏う女性型ブレイド。髪の色や長さこそ違うもののラウラと顔立ちが似ており、お互いに親近感を抱いている。体型も近いため、服の貸し借りなども行っていた。ラウラの母の行方を探って別行動をした後に合流し、聖杯大戦を最後までラウラたちとともに戦い抜く。ラウラやシンとの絆は深いが、ラウラがシンとの連携を優先することには嫉妬している。周囲のエーテルを操作する能力を持っているため、ブレイドだけでなく巨神獣の動きを抑制できる。この能力は天の聖杯であるヒカリやメツにも有効なうえ、複数を対象にしたり抑制の度合いを調整できるなど非常に汎用性が高く強力。

本編

500年後にはマルベーニと同調して、ファン・レ・ノルンという名前で呼ばれており、アーケディアの女神とも称えられている。テンペランティアでの巨神獣兵器暴走事故の際にレックスたちに同行するが、現れたシンの動きを止めきれずにコアクリスタルを破壊されてしまう。マルベーニにコアクリスタルを分けていたことで消滅しなかったため、彼女の死は国葬として扱われた。

「ファン・レ・ノルン」

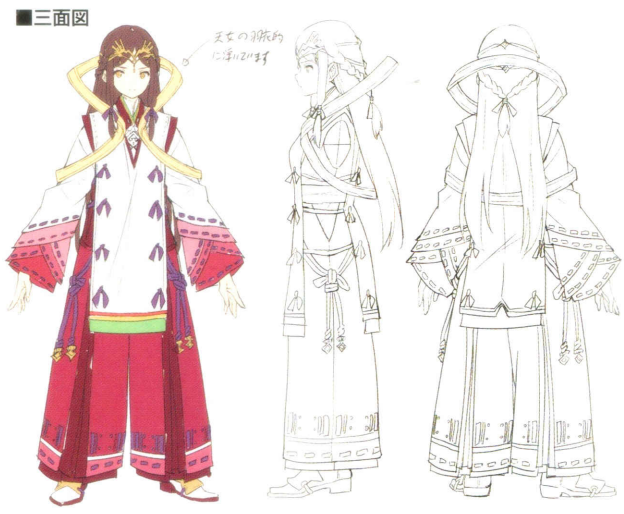


Illustrator's Comment

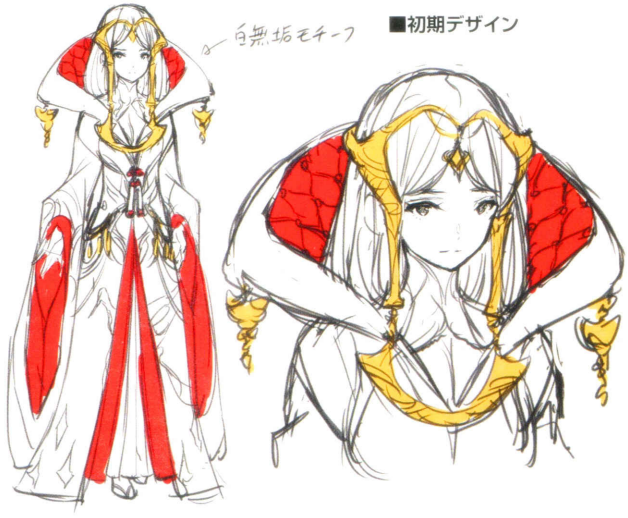
ラウラとファン（カスミ）はデザインをどうするか少し悩みました。モチーフは巫女さんで天女の羽衣を足すことでブレイドが持つ不思議さを出しました。

ファン

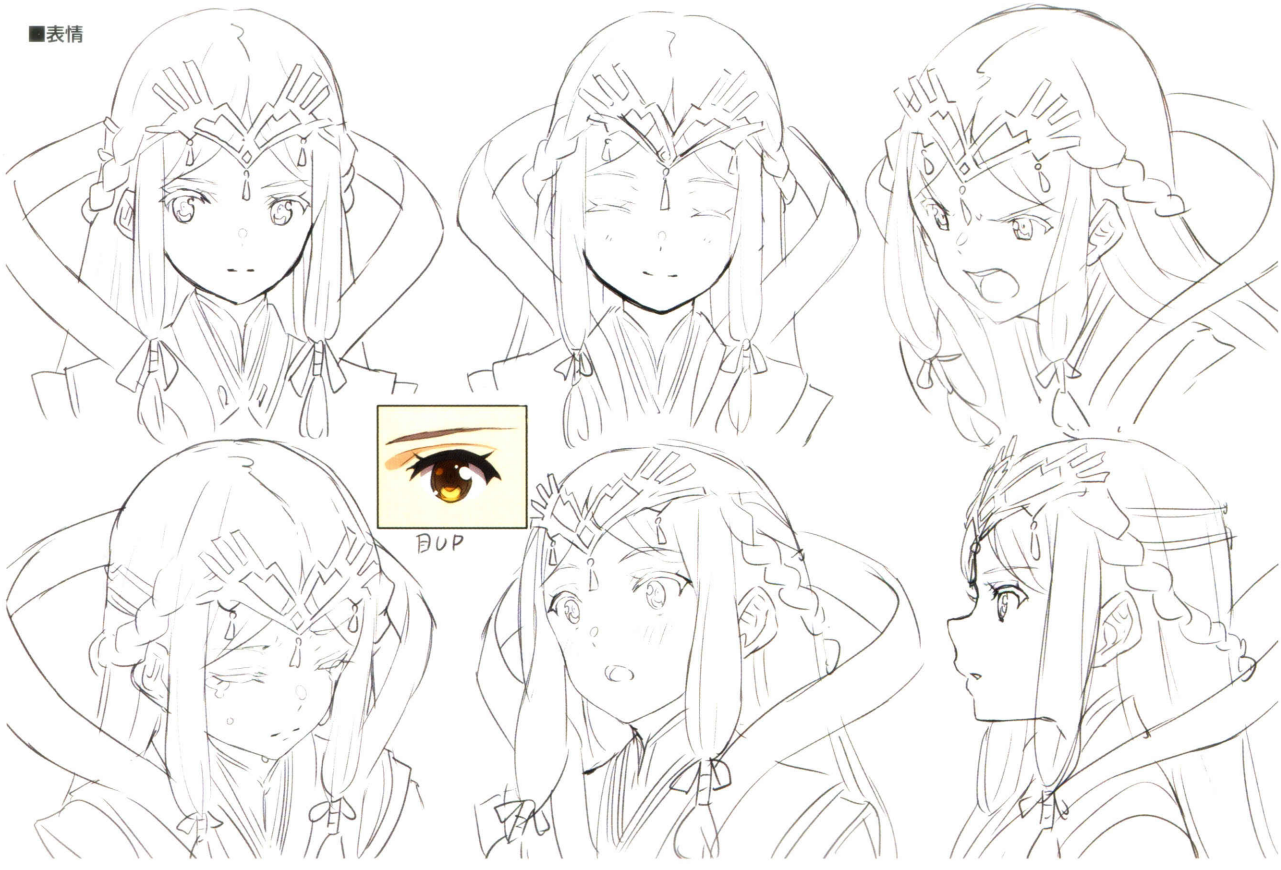
■三面図



■初期デザイン



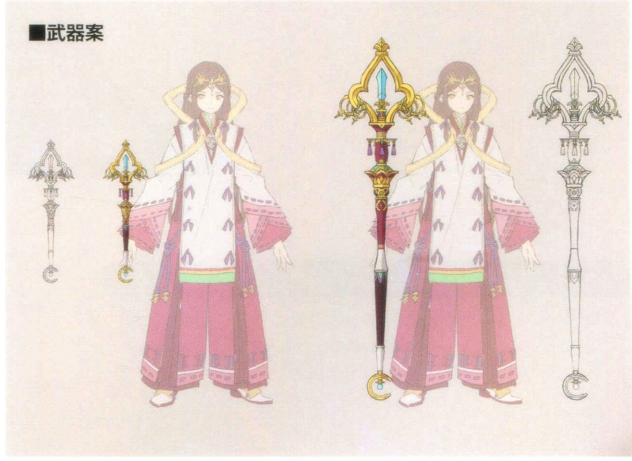
■表情



■武器

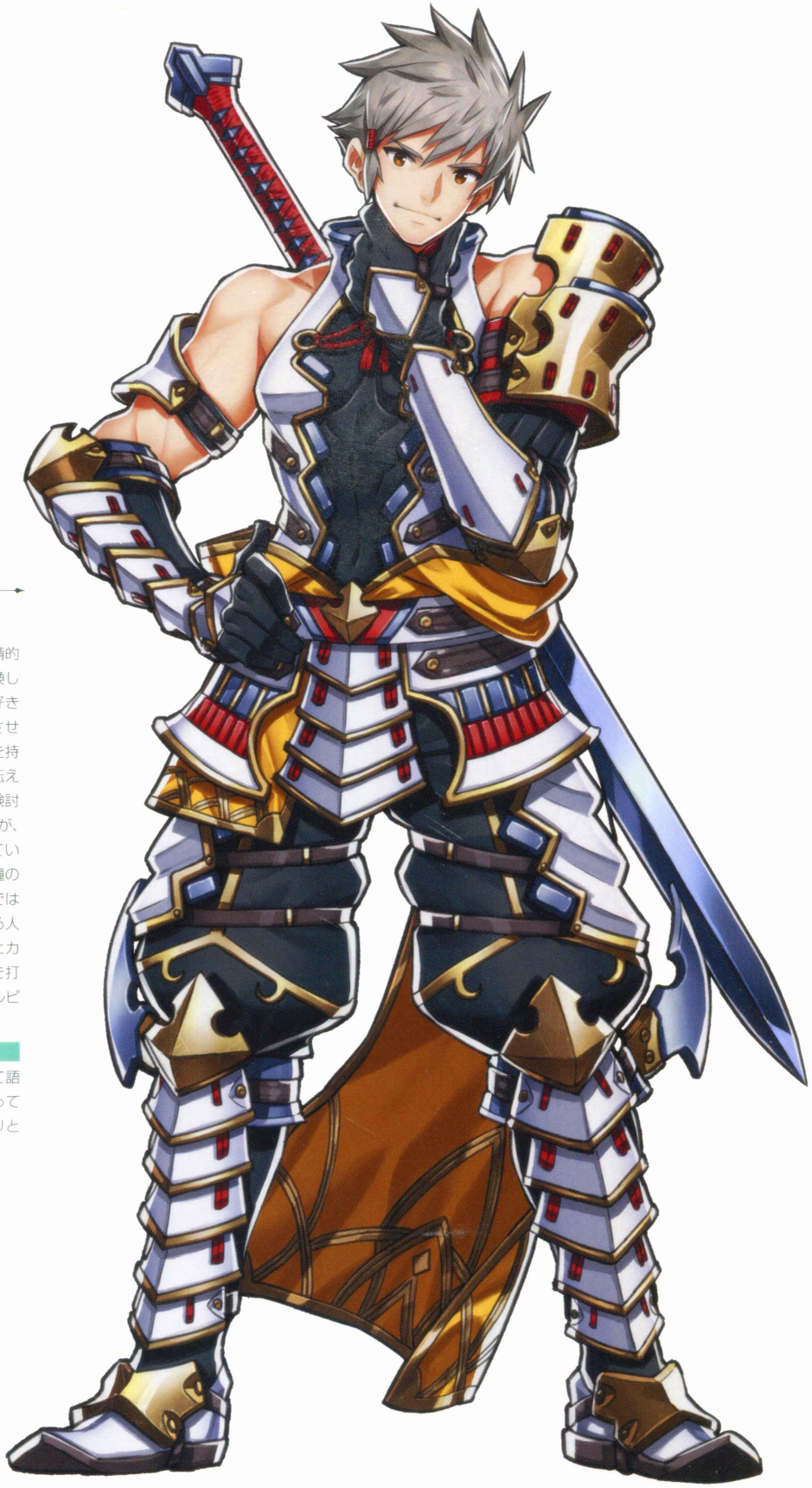


■武器案



アデル

■CV：半田 裕典
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■属性：雷（※）
■武器種：クレイモア
■好きなジャンル：主食、チャーム
■好きなアイテム：エナジーグリドル、ギャラクシーチャーム
※初期状態。アクセサリーの装備スロットで変化する



「陛下、このアデル・オルドー　命に変えても祖国の未来を守り抜く所存です」

◆人々を愛する聖杯大戦の英雄

聖杯大戦当時におけるヒカリのドライバー。直情的な性格であり、ラウラたちのブレイドと武器を交換し合う斬新な戦法を見た際には、感動のあまり「大好きだ」という言葉を投げかけて、彼女たちをあ然とさせてしまう。イーラ王国において王位継承権第四位を持つ王子でもあり、メツの侵攻が迫っていることを伝えた働きを評価された際には、領地を授かることも検討された。このとき叔父であるゼッタは難色を示すが、その理由はアデルが妾の子であることに起因している。また純血のイーラ人でないため、通常ならば瞳の色は碧色だが、アデルは金色になっている。王族ではあるが一切飾り気のない性格で、人情を大切にする人格者として周囲からの人望は厚い。聖杯大戦ではヒカリをはじめとした仲間たちと力を合わせてメツを打倒。大戦終結後は第三の剣を封印するために、エルピス霊洞へ旅立った。

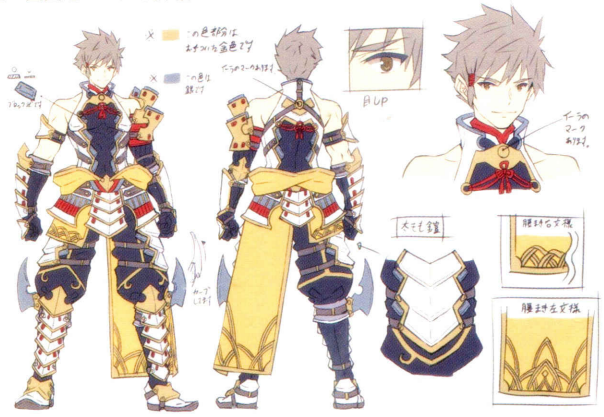
［本編］

500年後には聖杯大戦を集結させた英雄として語り継がれている。死後の精神がエルピス霊洞に残っており、イメージの楽園でレックスと対面し、ヒカリとホムラのことを託した。

Illustrator's Comment

本編ではフードをかぶっているため顔や鎧の詳細なデザインはありませんでした。イーラ編ではプレイアブルキャラなので細かくデザインしました。

■二面図とパーツの詳細



■表情



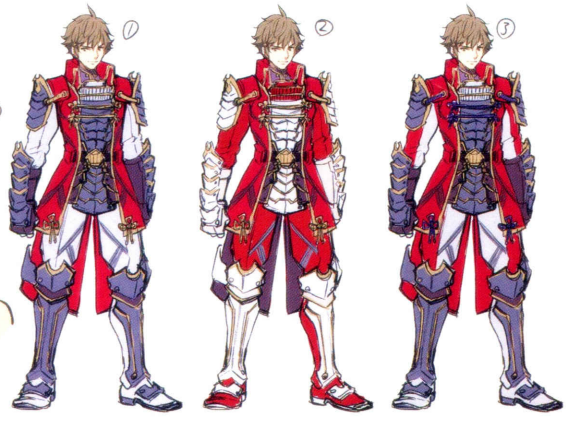
■顔の初期案①



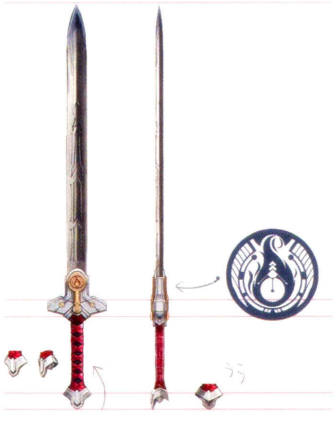
■顔の初期案②



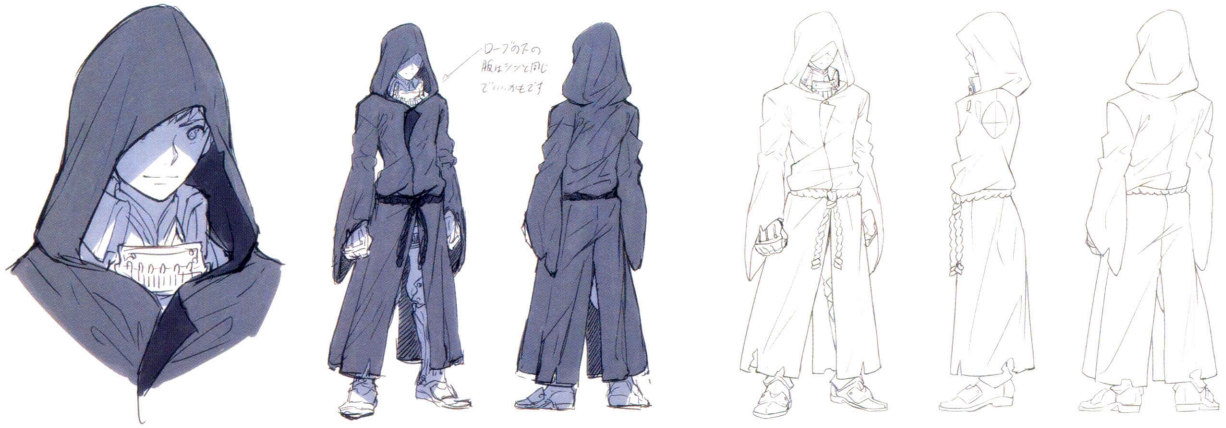
■初期デザイン



■武器



本編



ミノチ（コール）

■CV：ミノチ……三木 眞一郎　　コール……龍田 直樹
■イラストレーター：モノリスソフト
■タイプ：人型・男性型
■属性：闇
■武器種：ガンナイフ
■好きなジャンル：主食、フレグランス
■好きなアイテム：ルスカすいとん、艶美の香水



人間とブレイド、その結びつき——絆みたいなものか

◆救済を止める寡黙な戦士

聖杯大戦時に活躍していたブレイド。人の細胞と融合したマンイーターでもあり、本人曰く「失敗作」。マルベーニのブレイドだったが、彼が世界樹を登る前に離反しており、それ以来一度として会っていない。マルベーニと同調していたことで、メツの破滅願望がマルベーニの影響によるものであると理解している。アデルたちへの加勢を決めたのは、マルベーニによる世界の破壊を止めるためだった。マルベーニが変貌していく様を目の当たりにしていたため、他者に猜疑心を抱いているほか、メツと同じ天の聖杯であるヒカリの行動を不安視することも。アデルたちがイーラ王国に戻っていることを聞いて合流し、メツ打倒に協力する。物書きを趣味としており、アデルたちと旅をする中で感じたことを書物として綴っていく。

本編

聖杯大戦集結から500年後はコールと名乗り、インヴィディア烈王国のフォンス・マイムにある劇団で座長を務めている。失敗作のマンイーターであるために、ブレイドが本来持つ永遠の寿命は失われており、聖杯大戦時より激しく老化してしまった。秘密結社イーラから延命を条件に協力を持ちかけられるが断り、旧友であるヴァンダムに紹介されたレックスたちを助けている。

「コール」

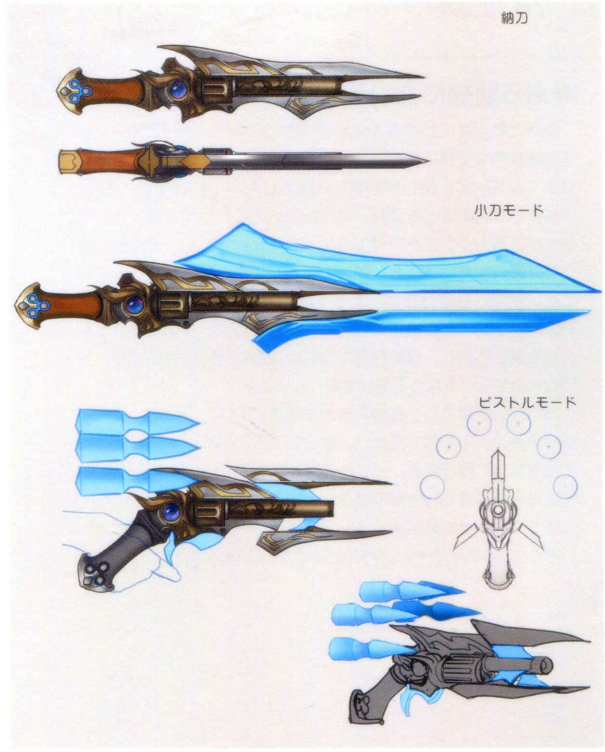
■全身イラストの別ポーズ



■二面図



■武器と詳細



■顔アップ



コール



ユーゴ

■CV：石田 彰
■イラストレーター：齋藤 将嗣
■属性：地（※）
■武器種：ロングソード
■好きなジャンル：野菜、フレグランス
■好きなアイテム：ローグルのスペルビア煮、久遠の香水
※初期状態。アクセサリーの装備スロットで変化する



「国民を守るための戦いに身を置けるなら本望だ」

◆自ら前線に立つ若き皇帝

聖杯大戦当時におけるスペルビア帝国の皇帝。ネフェルやメレフの直接的な先祖にあたり、とくにネフェルとは顔だけでなく声もよく似ている。誰もが卒倒しかけるヒカリの料理を食べても、平然としているほど味音痴。スペルビアの皇位継承者は、代々引き継がれるカグツチとワダツミのドライバーとして、最前線で戦う責務を負っているため、優しく柔和な性格でありながら物怖じしない勇敢さも併せ持つ。ドライバー適性を持たない兄がおり、前線にいるあいだの執政は彼に一任している。国や国民のことを心から愛しており、自身が立たされる過酷な境遇に対しても、大切なものを守れるならと喜びを感じている。

メツが引き起こした各地の被害を調査していたところ、旧知の仲であるアデルたちと出会い、彼らもメツの足取りを追っていることを知って同行する。メツとの最終決戦の中で、イーラの巨神獣のコアが破壊された際の爆発からアデルを庇って命を落としてしまう。聖杯大戦集結後、ユーゴの遺体はカグツチ、ワダツミのコアクリスタルとともにスペルビア本国へと送られた。

Illustrator's Comment

ネフェルの祖先ということで、顔はネフェルと同じです。衣装デザインをモノリスソフトさんからいただき、最終的にブラッシュアップしました。

■二面図と詳細



■初期デザイン

■武器と詳細



ミルト

■CV：森下 由樹子
■イラストレーター：齋藤 将嗣

「約束してください。メツをやっつけて、
必ずアデル様を連れて帰るって」



◆明るく元気な従者

アデルのことを慕う、明るく活発なグーラ人の少年。暮らしていた村が洪水にあいアデルに助けられてからは、従者として彼とともに行動するようになった。それ以降アデルとは3年ほど、ヒカリとは1年ほどの付き合い。天然で破天荒な言動が多いヒカリに対しては、ツッコミを行うことが多い。ラウラたちと合流してサタヒコと出会ってからは、彼の兄貴分として振る舞うようになる。メツとの最終決戦に向かうアデルたちに自分も連れていってほしいと懇願するが、足手まといになることをヒカリに諭された後、サタヒコを守ることを約束してイーラ王都に残る。しかしメツのセイレーンによる攻撃からサタヒコを庇って、その幼い命を散らしてしまう。

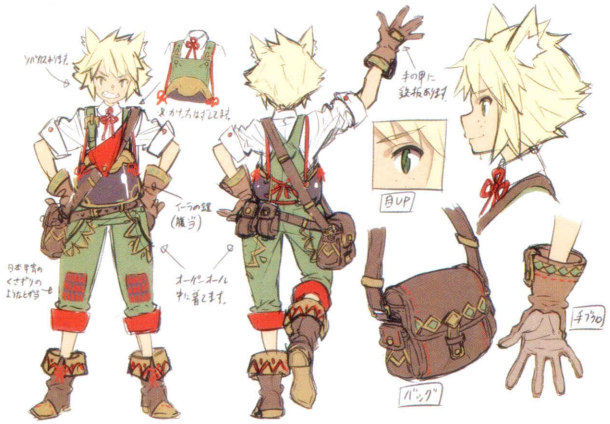
■表情



Illustrator's Comment

グーラ人でありながらアデルの付き人として働いているので衣装には少し和風なテイストを足しています。そばかすと瞳の形がお気に入りです。

■二面図とパーツの詳細



■初期デザイン



イーラ王

■CV：牛山 茂
■イラストレーター：モノリスソフト

「アデルよ――我が民を――
頼んだぞ――」



◆乱世の先を見据えるイーラの王

イーラ王国における最高権力者で、アデルの父親でもある。厳格な人物だが世界の情勢を顧みて、メツを討伐するために最適な選択をとる柔軟性も持っている。アデルの力に全幅の信頼を寄せており、彼にメツの討伐を託すほか、他国の皇帝であるユーゴにも頭を下げて協力を要請した。またラウラの働きを評価して、彼女に騎士の称号を与えたのも、イーラ王自身の発案によるもの。動乱の世において、アデルのように常識にとらわれず人望を集める者こそ王がふさわしいと考えている。ヒカリとメツが最終決戦で激突する中、王城が崩れていく中でゼッタに脱出を促されるもののひとりその場に留まり、国と民をアデルに託して王城と運命をともにする。



■顔アップ



■ラフデザイン



■二面図とパーツの詳細



ゼッタ

■CV：加瀬 康之
■イラストレーター：モノリスソフト

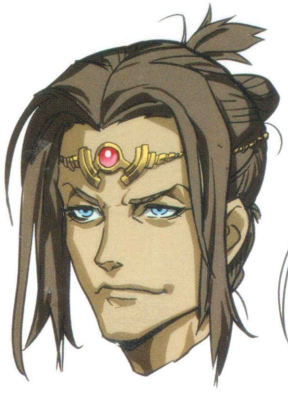
「兄上――まさか私を廃して、
あの者を皇太子と――!?」

◆劣等感にまみれたイーラの王子

イーラ王の弟で、アデルにとっては叔父にあたる人物。妾の子でありながらイーラ王や国民から絶大な信頼を集めるアデルに対して、並々ならぬ嫉妬心を抱いており、ユーゴたちを独断で王都に招き入れた際には難癖をつけていた。アデルに対する感情の原因には彼の生い立ちだけではなく、自身が過去にヒカリとの同調に失敗したことへのコンプレックスもある。しかしメツによる王都襲撃の際、イーラ軍を指揮して真っ先に国民の避難誘導を行うなど為政者としては有能。聖杯大戦の終盤、イーラ王とともに崩れゆく王城の中にいたが、残ることを選んだイーラ王とは対照的にゼッタは脱出に成功。マルベーニの元へ身を置いている。

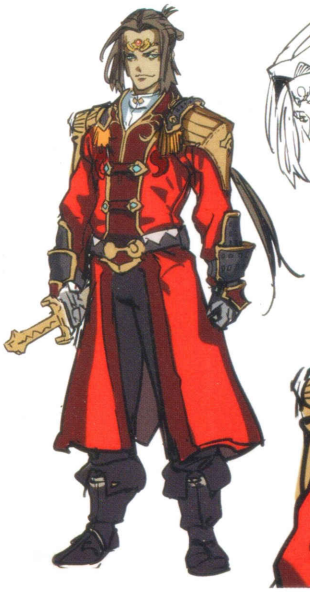


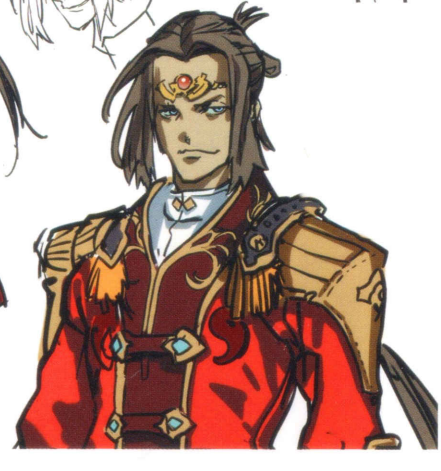
■顔アップ



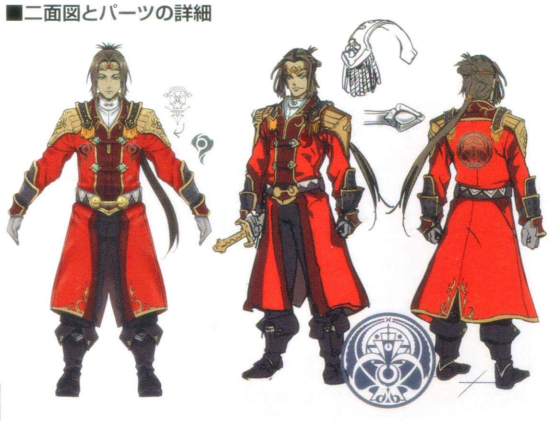


■ラフデザイン





■二面図とパーツの詳細



ラダリア

■CV：増谷 康紀
■イラストレーター：モノリスソフト

「何者の力によるものにせよ、
これでアーケディアの栄光が
いや増すというもの」

◆権力を振りかざす法王

聖杯大戦当時にアーケディア法王庁を治めていた、第107代法王。宗教だけでなく、軍事力においてもアルスト全体に強い影響力を持っている。マルベーニを助祭へと祭り上げた人物であり、彼がメツの力を利用して各地で破壊行為を行っていることを知りつつも容認。アーケディアの威光を増すためであり、有事の際にはマルベーニに責任を負わせようとしていた。しかし聖杯大戦終結後、マルベーニによって毒殺されてしまう。

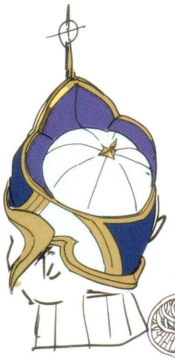


■顔アップ



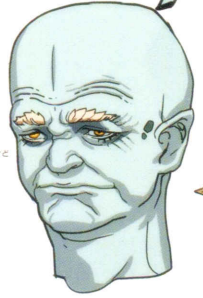


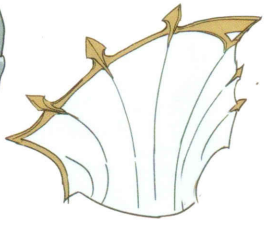




■パーツの詳細







バルトリッチ

■CV：小原 雅人
■イラストレーター：モノリスソフト

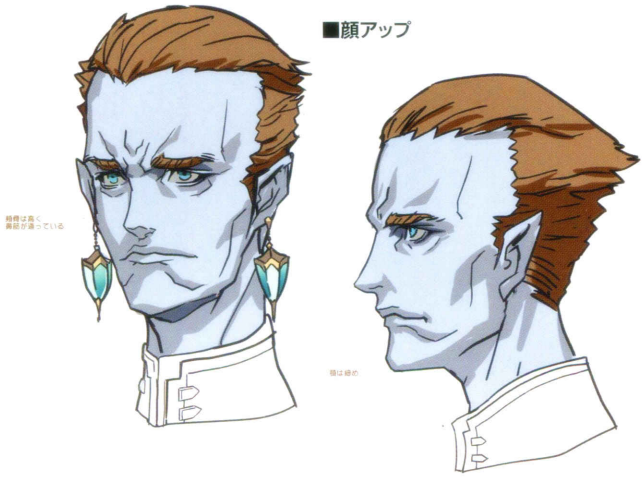
「――聖下。失礼ながら芝居がお下手でございますな」

◆アーケディアの若き枢機卿

聖杯大戦当時、アーケディア法王庁の枢機卿を務めていた若い男性。アーケディアの中でも高い地位を持つ人物で、ラダリアにとっては腹心と呼べる存在でもある。ラダリアがメツの力を利用しようとしていることを不安視しており、その危険性を示唆するものの、すべてはアーケディアのためだと一蹴されてしまう。聖杯大戦終結後、マルベーニの配下であるマンイーターの襲撃を受けて暗殺された。



■顔アップ



■パーツの詳細



スタニフ

■CV：掛川 裕彦
■イラストレーター：モノリスソフト

「クズであろうと、ゴミであろうと
使い道はある」

◆神の真意を追及する狂気の科学者

聖杯大戦のころ、マルベーニと結託していたアーケディア法王庁の研究者。古代文明の機器がひしめき合う秘密の研究施設をラダリアから与えられており、そこで人間やブレイドの細胞構造について研究を行っている。ブレイドが、人間だけでなくあらゆる生物の生命情報を持っていることや、やがて巨神獣へと進化することを突き止めた。神がアルストで何を成そうとしているのかという点に強い興味を持つようになり、マルベーニの野望に力を貸している。瀕死の状態だったゴウトを捕えてブレイドイーターの試作品として改造を施した。研究の過程で人の命が失われることに対して一切の興味はなく、自身の研究のためなら非人道的な行いも厭わない。



■ラフデザイン







ゴウト

■CV：咲野 俊介
■イラストレーター：モノリスソフト



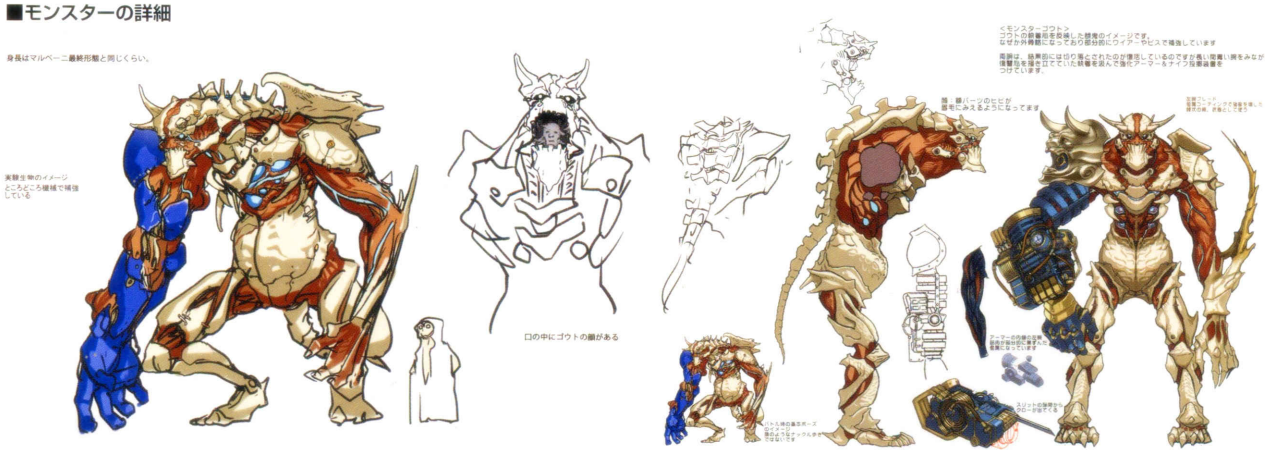
「覚えていてくれたかぁ。
感激だねぇ」

◆復讐に燃える盗賊

ラウラの母親と愛人関係にあった盗賊。ラウラがまだ10歳のころ、イーラ王国の宝物庫からシンのコアクリスタルを盗み出し、高値で売りさばこうとした。誤ってラウラが同調してしまったことに激昂し、彼女を殺害してコアクリスタルに戻そうとしたが、シンに右腕を切り落とされてしまう。それからはコアクリスタルをマルベーニに流すブローカーとして生きていたが、メツ討伐の旅をしていたラウラを偶然発見。彼女への復讐を果たすため襲撃するが、今度は左腕も失ってしまう。逃走するもののスタニフに捕えられてブレイドイーターの実験台にされ、異形の怪物となった後もラウラたちの前に立ちはだかるが、返り討ちにあって完全に消滅した。

■義手の詳細

■モンスターの詳細



COMMON BLADE
コモンブレイド


男性型


女性型


屈強型


動物型

■コモンブレイドの詳細



ブレイドの設定


ブレイド共通デザイン案
体に光るライン+メタルプレート
水銀のような金属パーツが体のあちこちについている
形は不定形、スパイクのような形状でもクロム状の質感なら許容
バリエーションネタ
イケメンキャラの筒のアクセントとして
スパイク状になっていたり
ブレイドと武器のリンクイメージ
同じ色のライン+紋章
キズナクリスタルデザイン案
ファンタジー+難解文明
スチームパンク
古代文明系1
古代文明系2
ブレイド共通デザイン案
ブレイド共通デザイン案
武器登場イメージ
合わせた両手から手品のように武器が出てくる
空中にかざした手の前に魔方陣が出来る
異世界から鋭を取り出すイメージ
手のひらの紋章がブレイドのしるし
地面に押し付け、地面から取り出すように…
ブレイド共通デザイン案
胸のクリスタル＆文鎖
ブレイドそのものが美術品的に装飾された人形
というイメージ
パターンは入る場所が決まっている
質感や難解でなんとなく武器カテゴリや属性がわかる
胸から浮かび上がったクリスタル
形を変えながら崩動する
ブレイド共通デザイン案
全身に難解的なラインが光る
通常では明るい所ではよく見えない程度の光
顔がアップになったときに影の部分に光が走って
初めてそれとわかる程度

各国にいるその他のキャラクター

アヴァリティア商会

■青年



■サルベージャー①



■作業員



■サルベージャー②



グーラ

■男性



■少年



■青年



■女性



■傭兵



■傭兵屈強



スペルビア

■少女



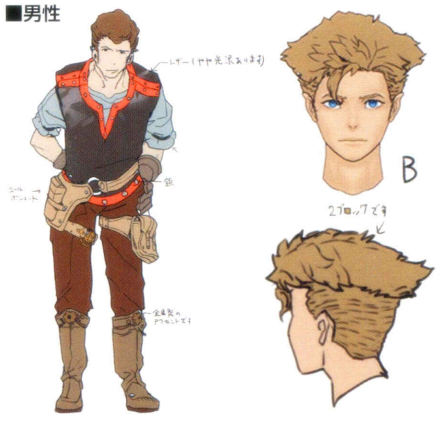
■女性①



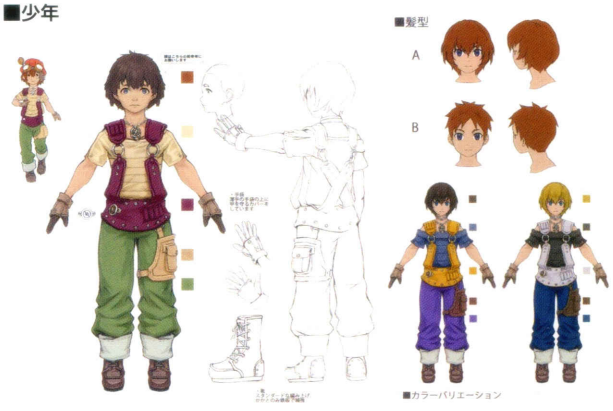
■女性②



■男性



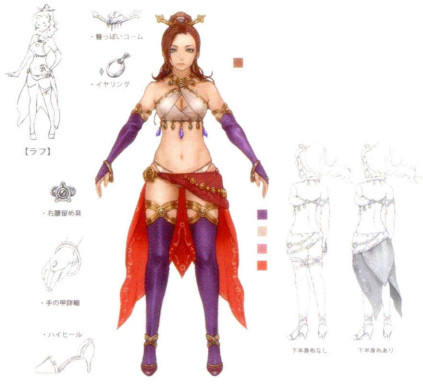
■少年



■傭兵



■遊び人



インヴィディア

■インヴィディア正規兵



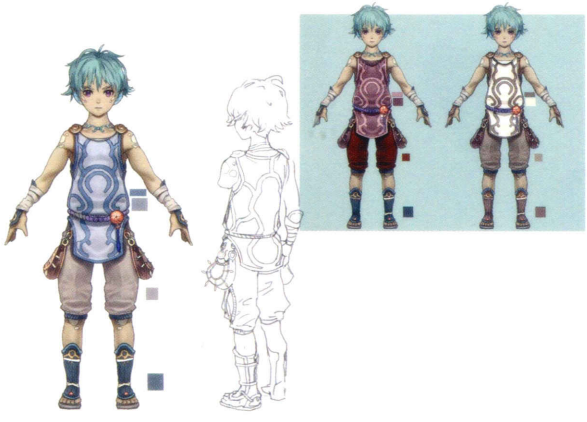
■傭兵男



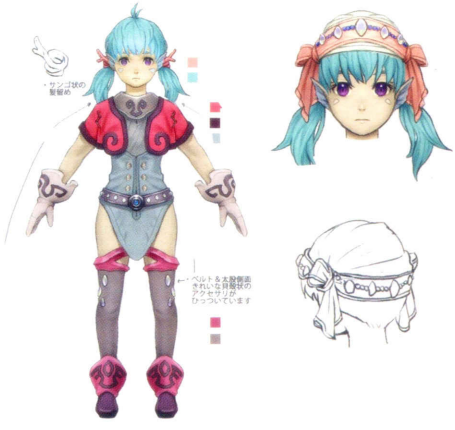
■傭兵女



■少年



■少女



■老人



■老婆



■傭兵屈強

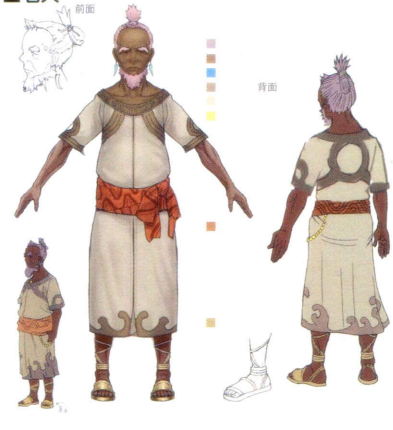


イヤサキ村

■女性



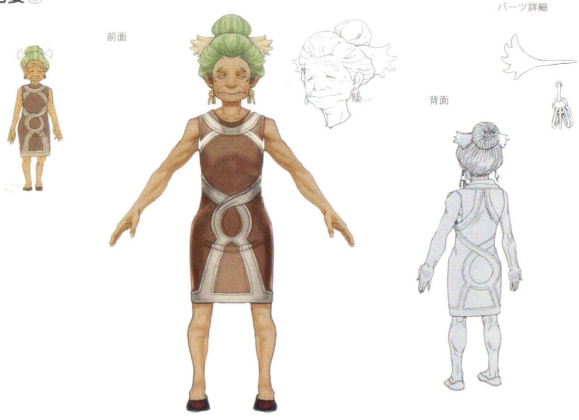
■老人



■老婆①



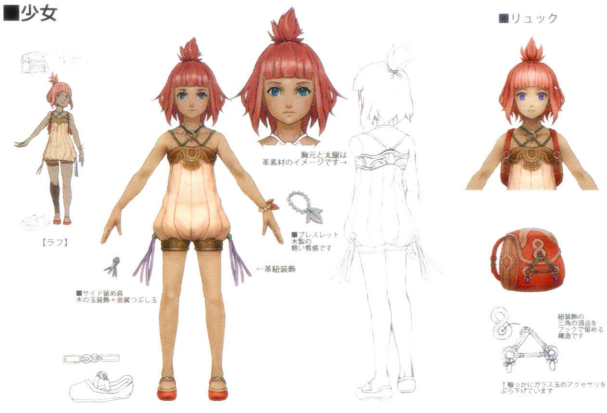
■老婆②



■男性



■少女



■少年



アーケディア

■高官



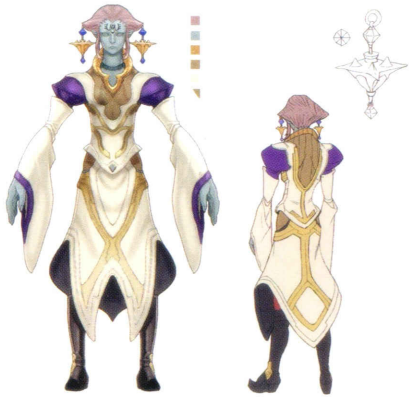
■憲兵



■老人



■女性

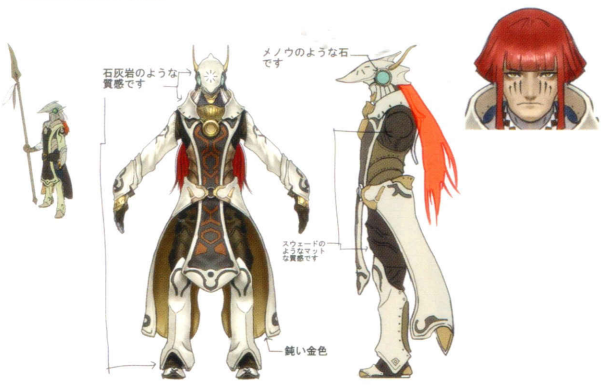


■マルベーニの母

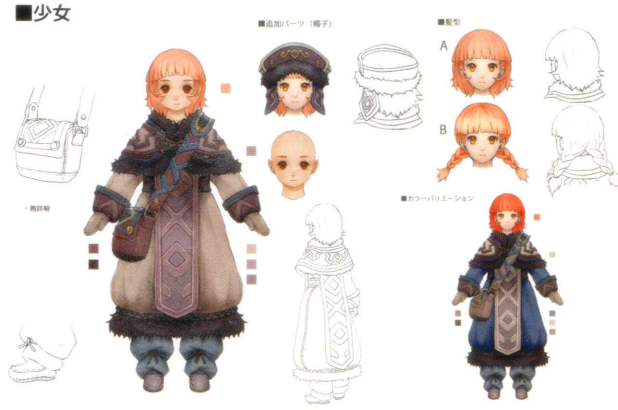


ルクスリア

■ルクスリア兵士



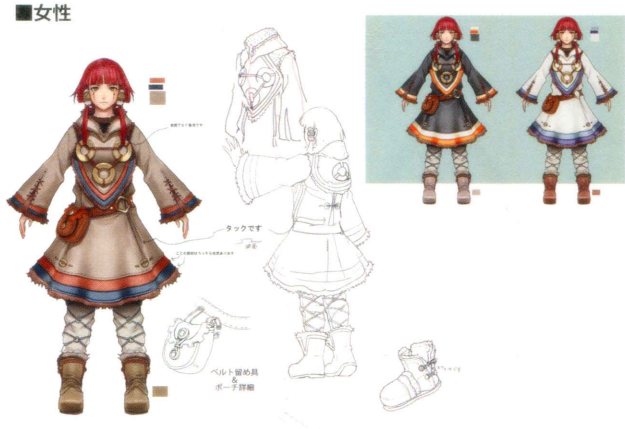
■少女



■青年



■女性



■老人



■老婆



ノポン

■ファララ



■メロロ



■冒険家



■商人



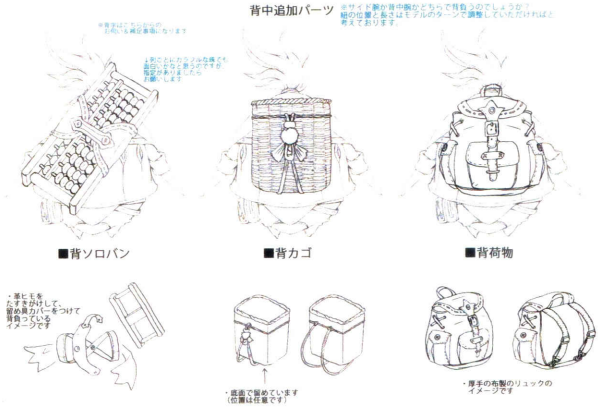
■男児



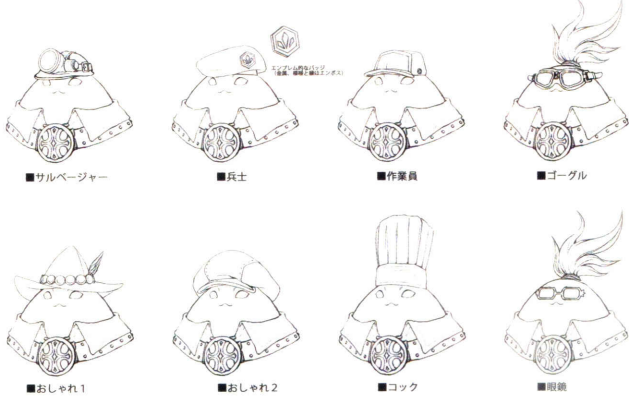
■女児



■商人の詳細



■被り物



■怪盗ノポン



フォネクス



劇団員

■男優



■女優



■講釈師



■舞台上のモンスター



とにかくボロ布を沢山付けています。
目には赤い電球が仕込んであります。
木の棒でモンスターの長い腕を表現してます。
指は動きません。



中の役者イメージ

イーラ







身長差対比図

■本編

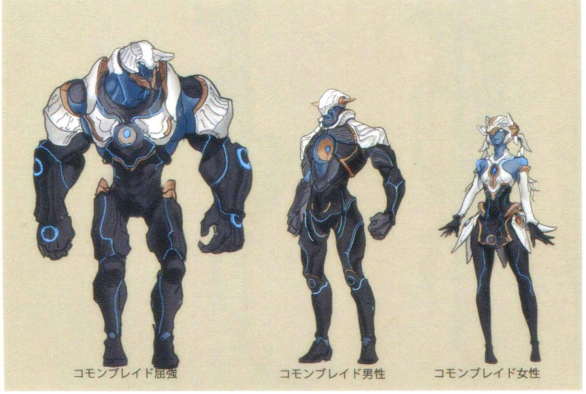




■黄金の国イーラ



■コモンブレイド



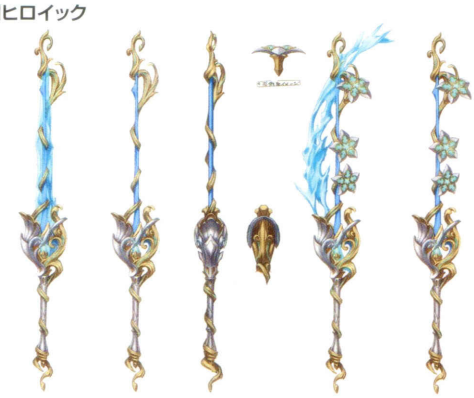
武器

シミター

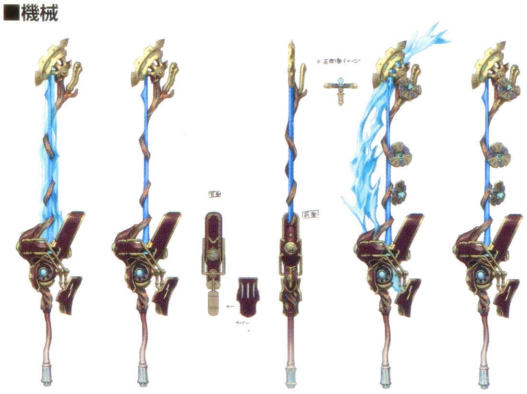
■自然



■ヒロイック



■機械



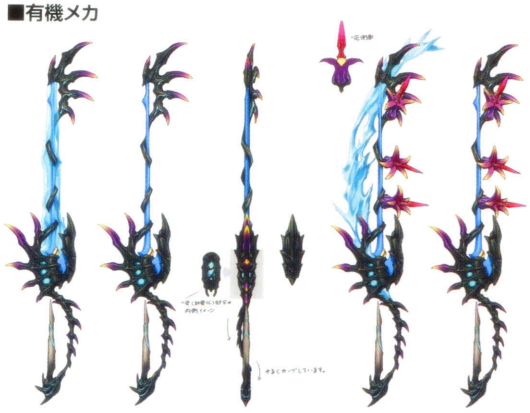
■古代



■抽象



■有機メカ



■最終



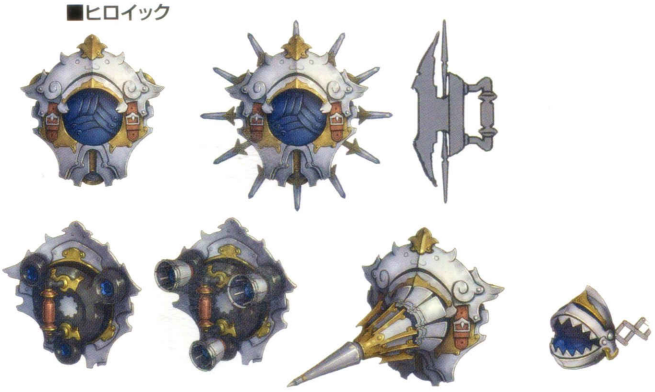
ハナシールド

■自然



（質感について）
・金属にペイントされた素材です。メタリックカラーにならないようにして下さい。
・黒い部分は艶消し塗装です。
・塗装ハゲなどのウェザリングを入れて頂いても大丈夫です。

■ヒロイック



■機械



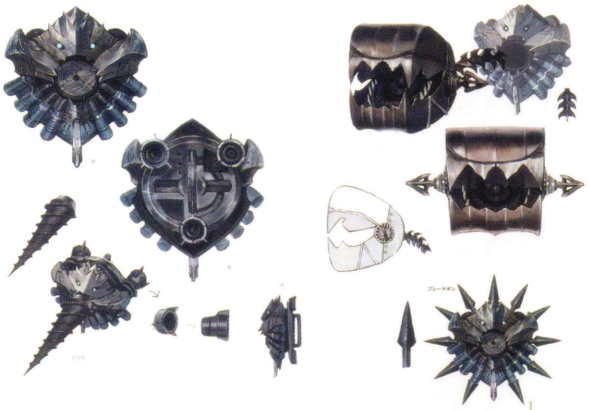
■古代



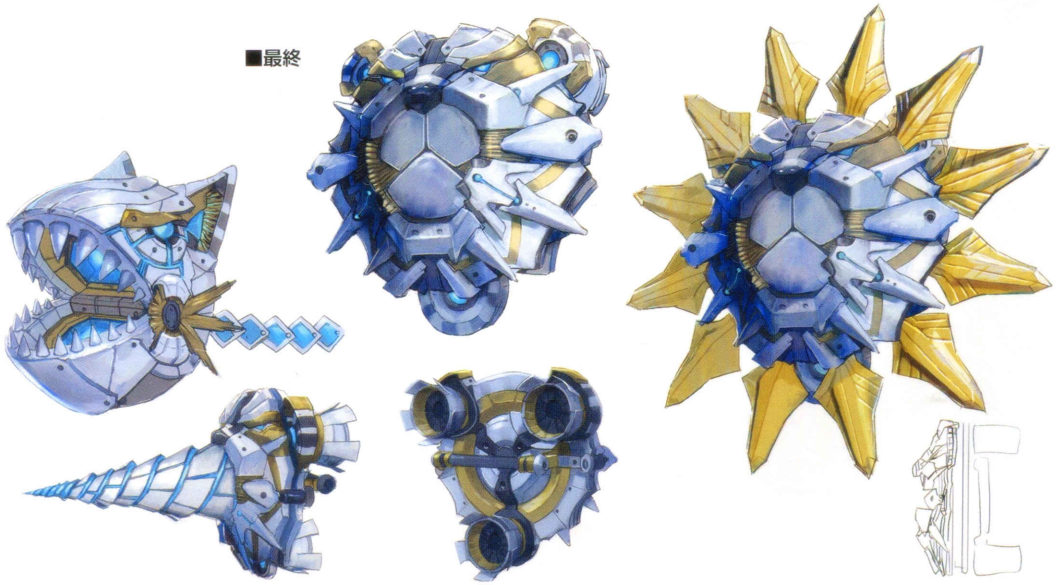
■抽象



■有機メカ



■最終



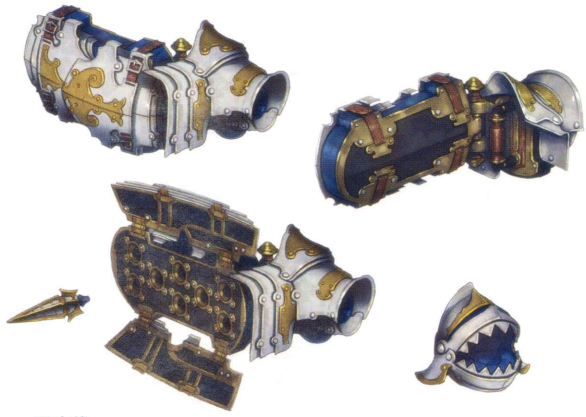
ハナアーム

■自然

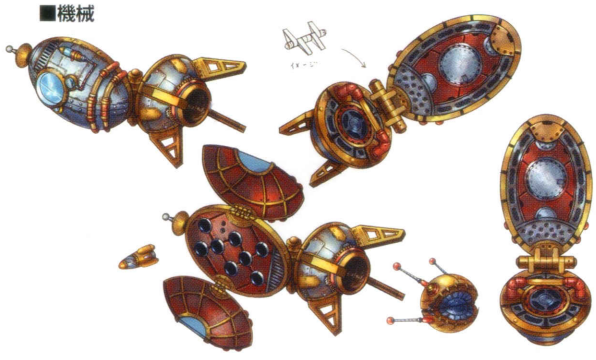


（質感について）
・金属にペイントされた素材です。メタリックカラーにならないようにして下さい。
・黒い部分は艶消し塗装です。
・塗装ハゲなどのウェザリングを入れて頂いても大丈夫です。

■ヒロイック



■機械



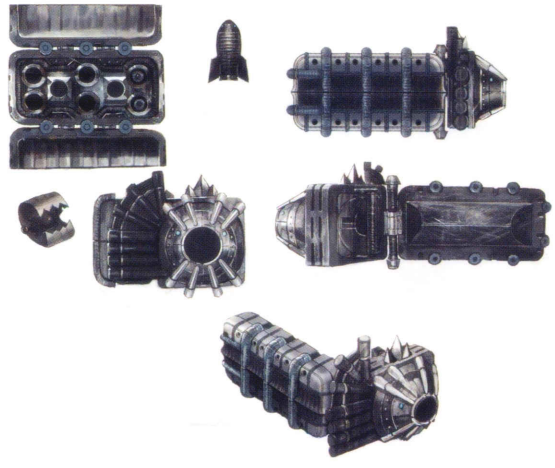
■古代



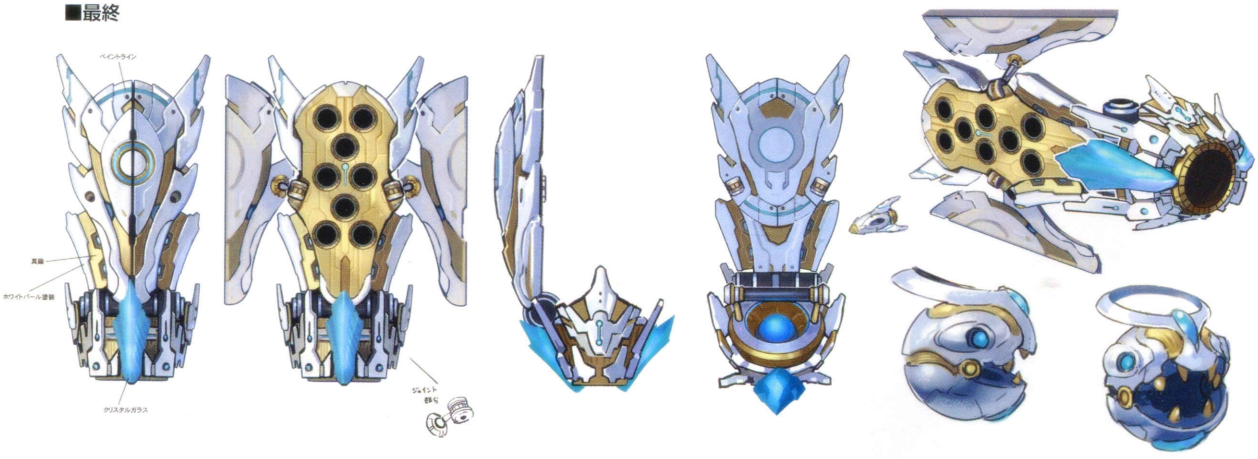
■抽象



■有機メカ



■最終



サーベル

■自然



■ヒロイック



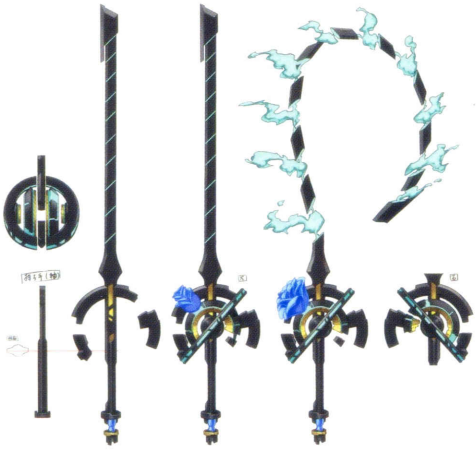
■機械



■古代



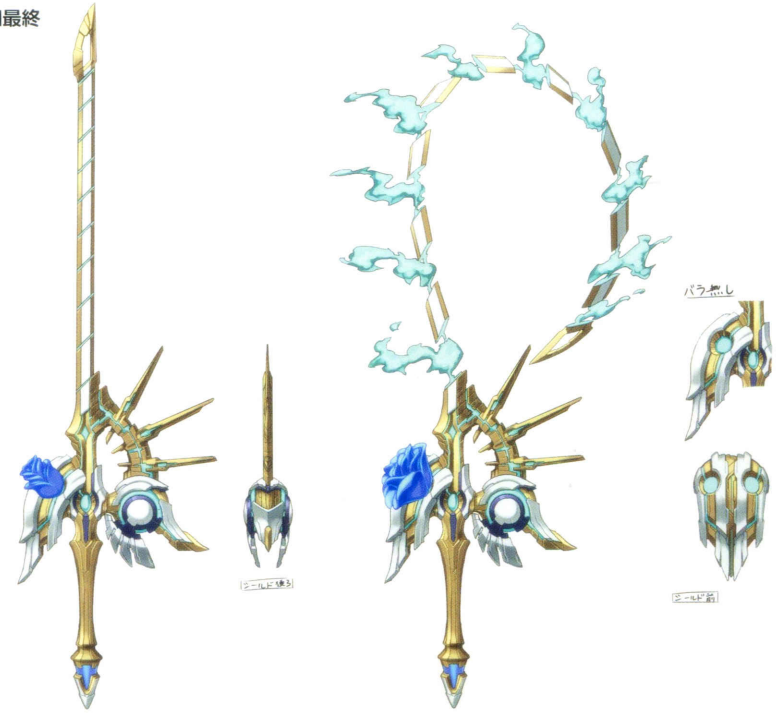
■抽象



■有機メカ



■最終



大剣と杖

■自然



■ヒロイック



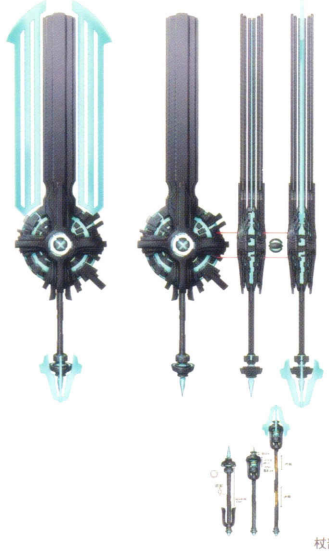
■機械



■古代



■抽象

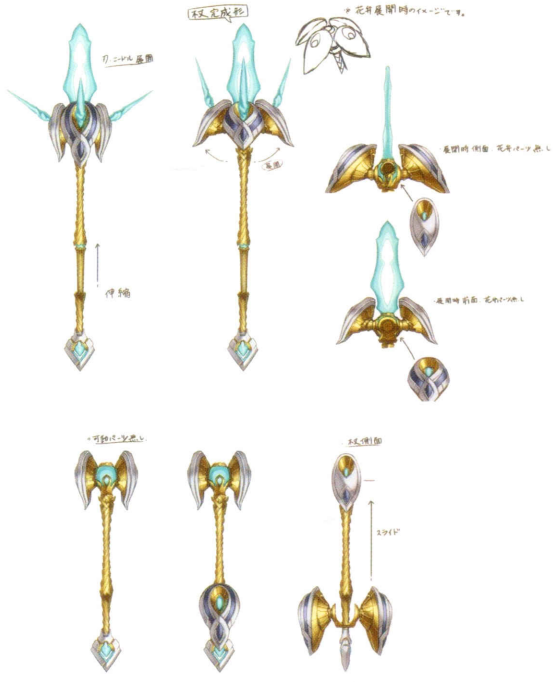


■有機メカ



■最終





ツインサイス

■自然



■ヒロイック



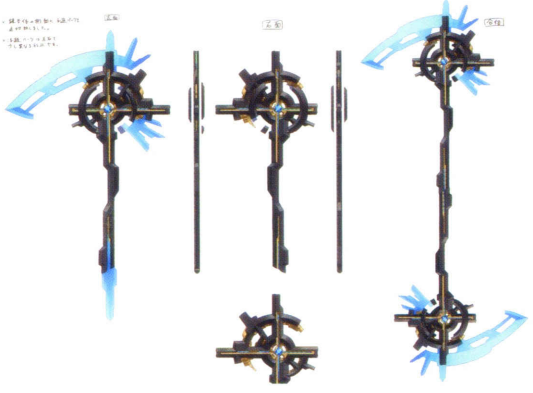
■機械



■古代



■抽象



■有機メカ

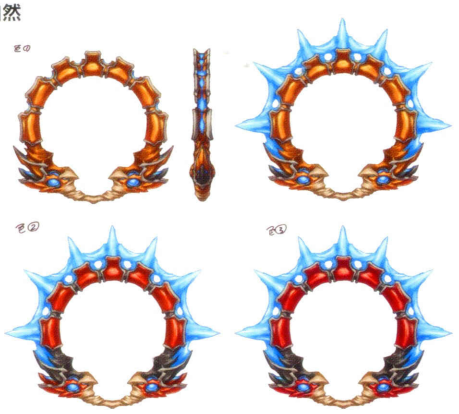


■最終



ツインリング

■自然



■ヒロイック



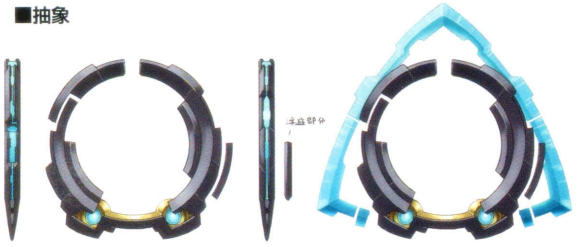
■機械



■古代



■抽象



■有機メカ



↑質感こちらを参考にお願いします

■最終





アックス

■初期



■自然



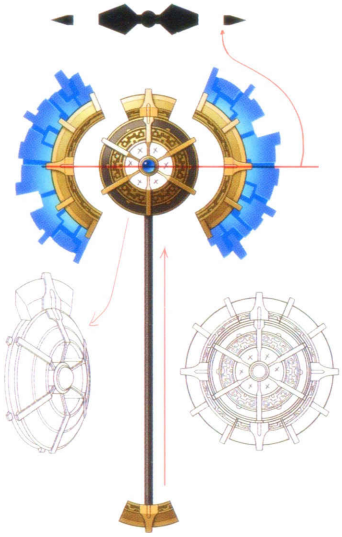
■ヒロイック



■機械



■古代



■抽象



■有機メカ



■最終

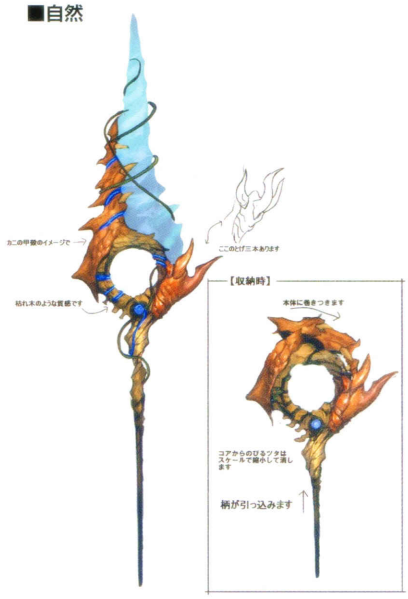


ランス

■初期



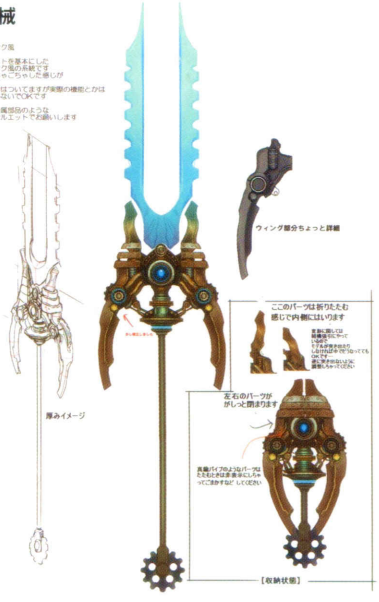
■自然



■ヒロイック



■機械



■古代



■抽象



■有機メカ

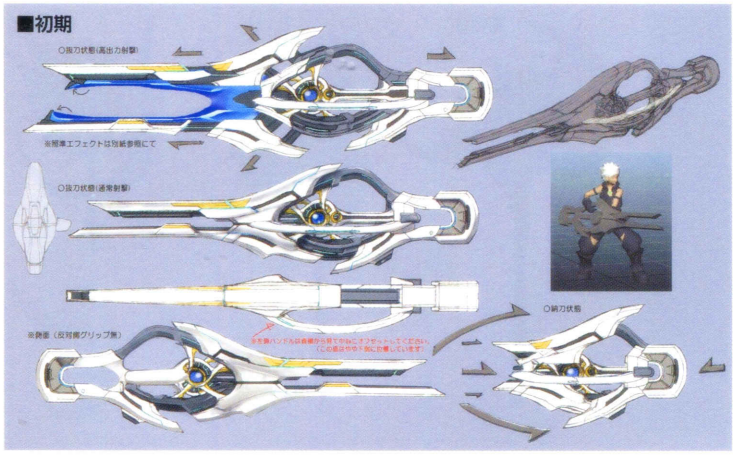


■最終



エーテルキャノン

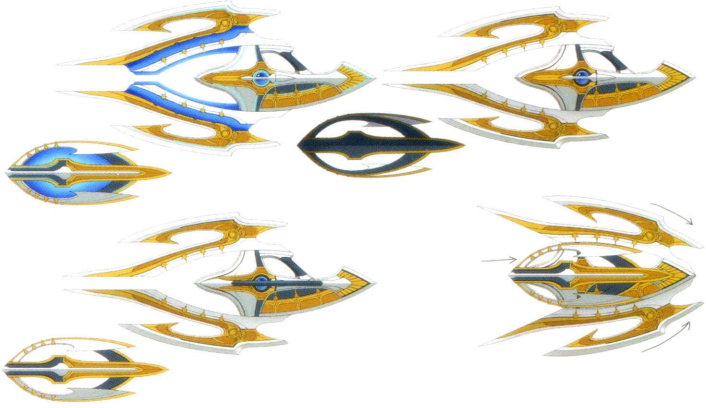
■初期



■自然



■ヒロイック



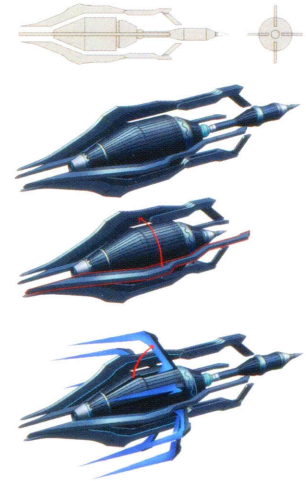
■機械



■古代



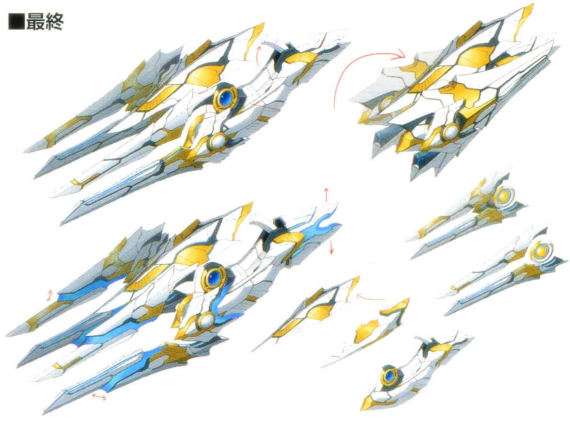
■抽象



■有機メカ

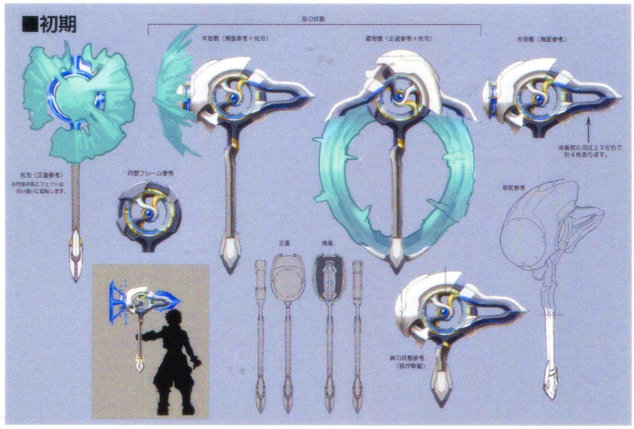


■最終



ハンマー

■初期



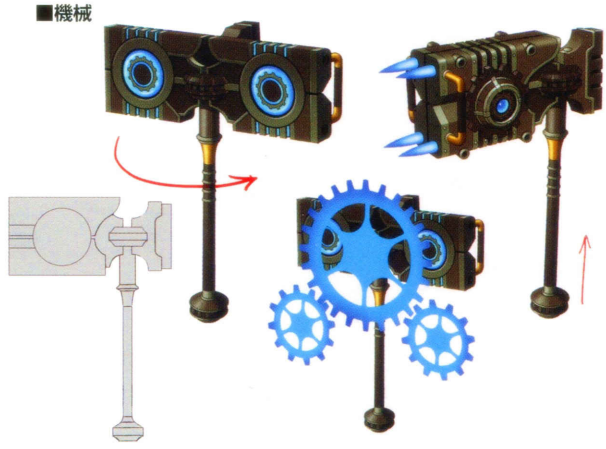
■自然



■ヒロイック



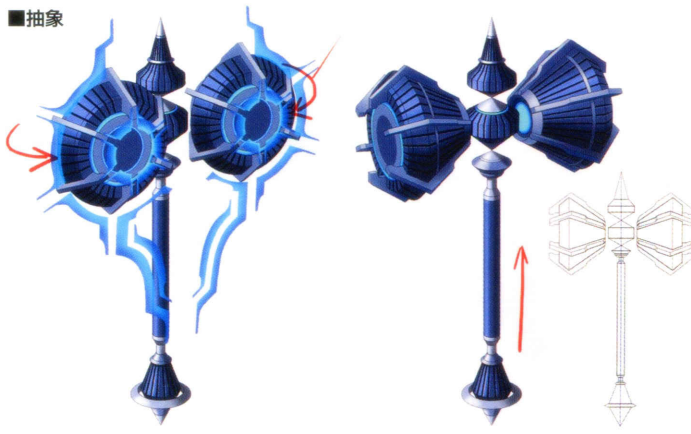
■機械



■古代



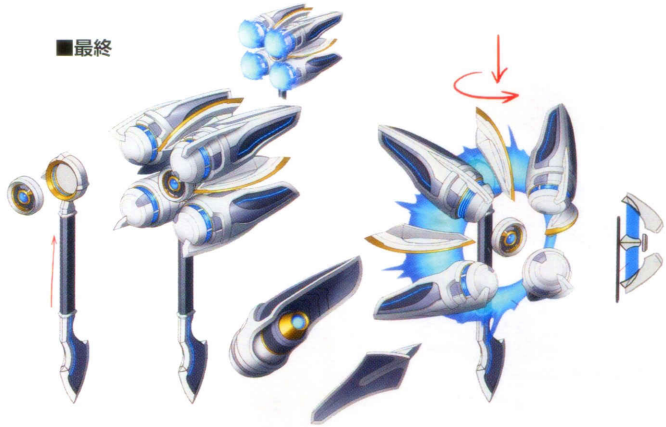
■抽象



■有機メカ



■最終



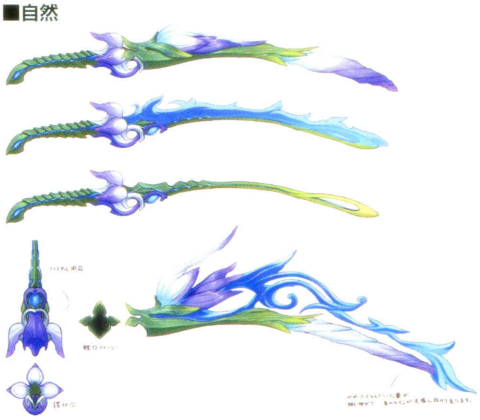
刀



■初期



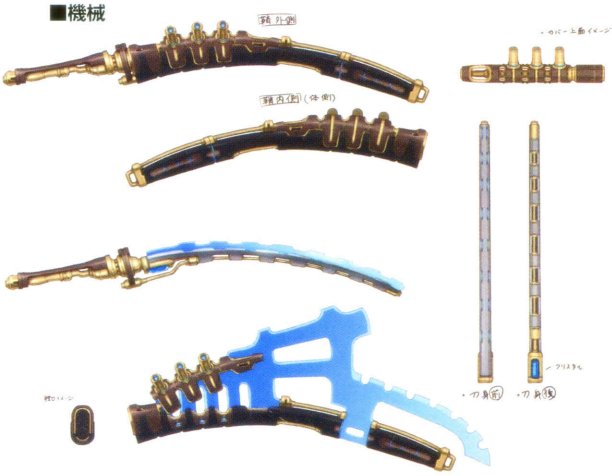
■自然



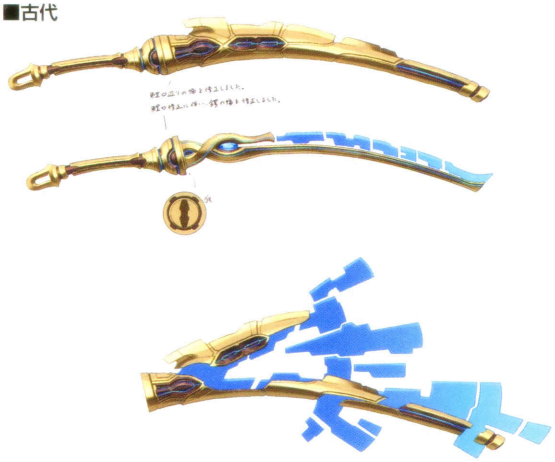
■ヒロイック



■機械



■古代



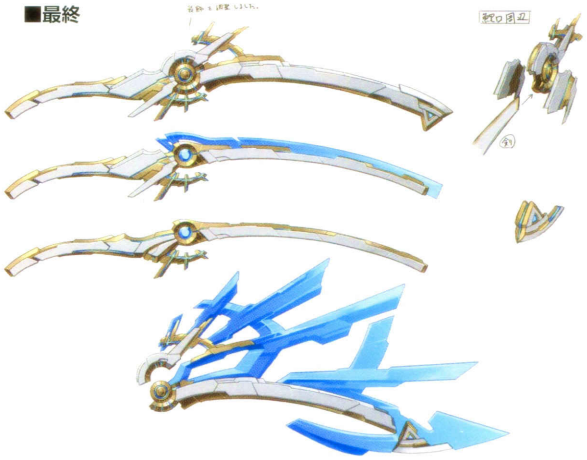
■抽象



■有機メカ

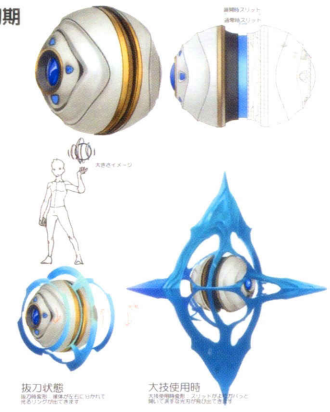


■最終

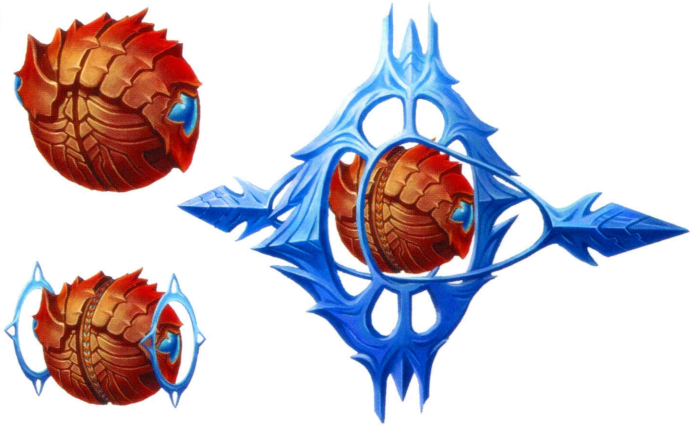


ボール

■初期



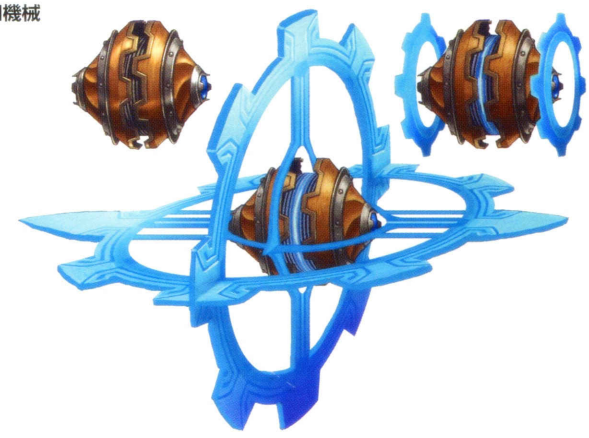
■自然



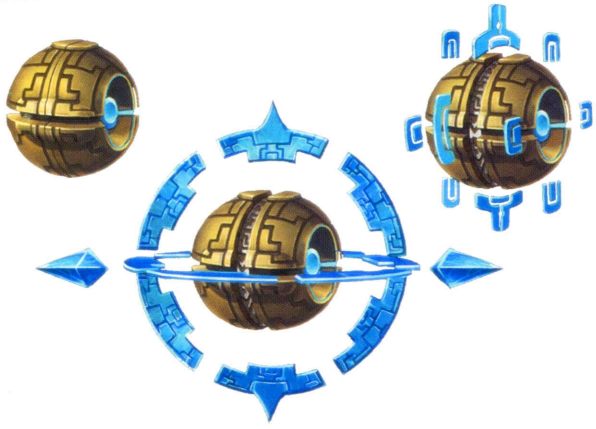
■ヒロイック



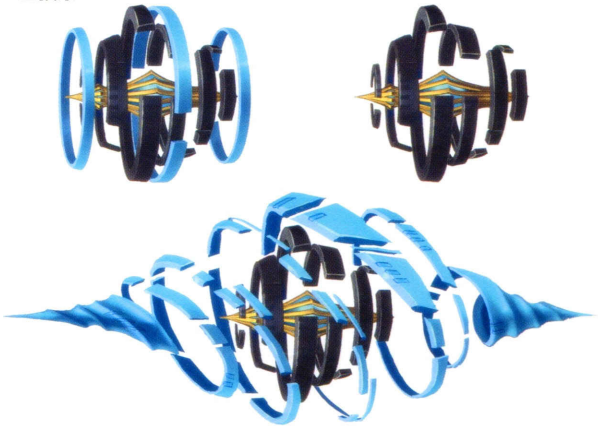
■機械



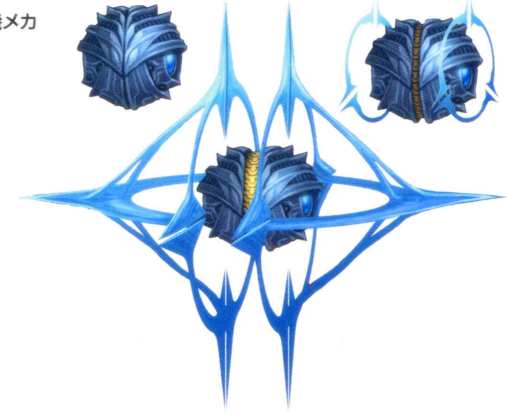
■古代



■抽象



■有機メカ



■最終



ナックルクロー

■初期



■自然



■ヒロイック



■機械



■古代



■抽象



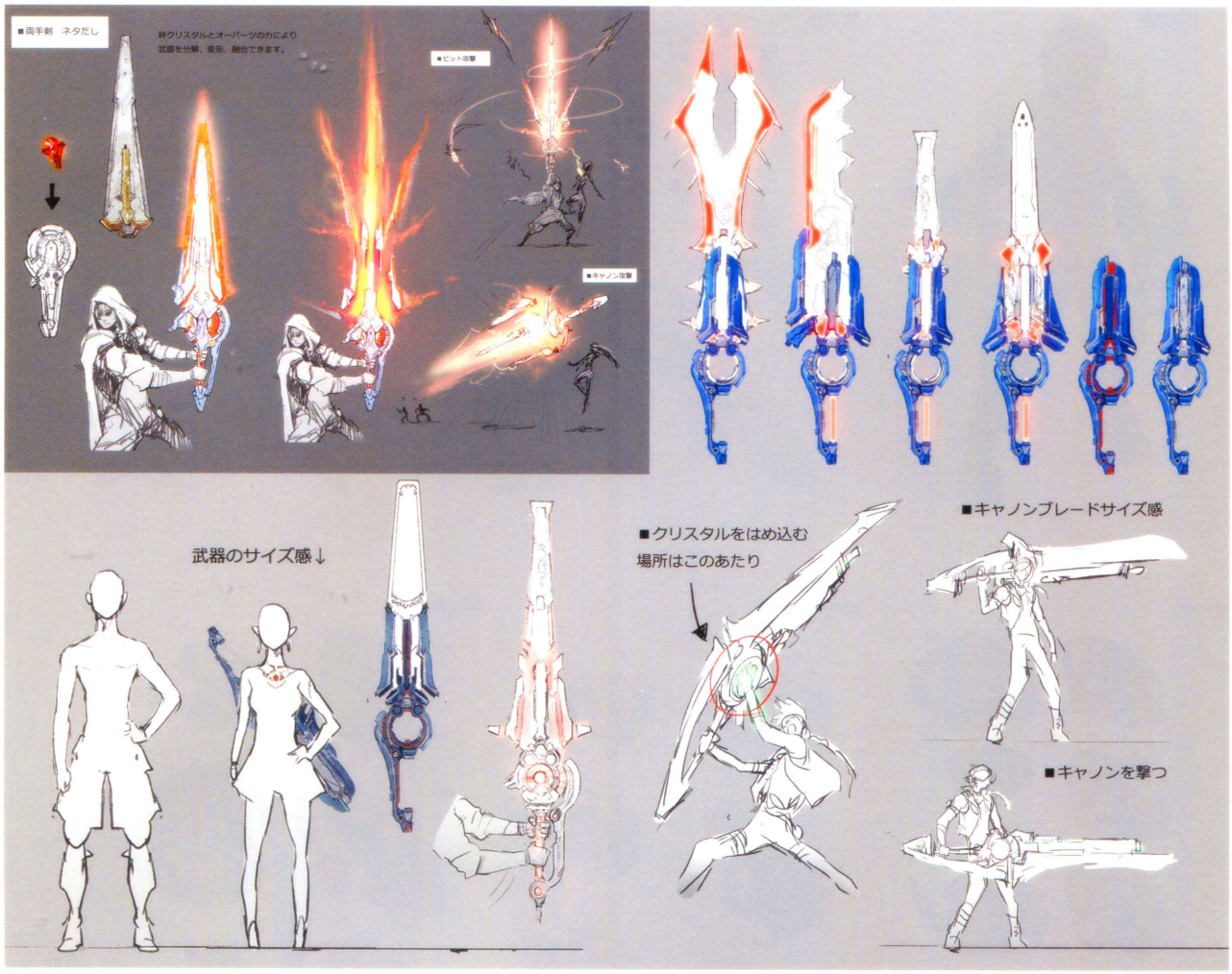
■有機メカ



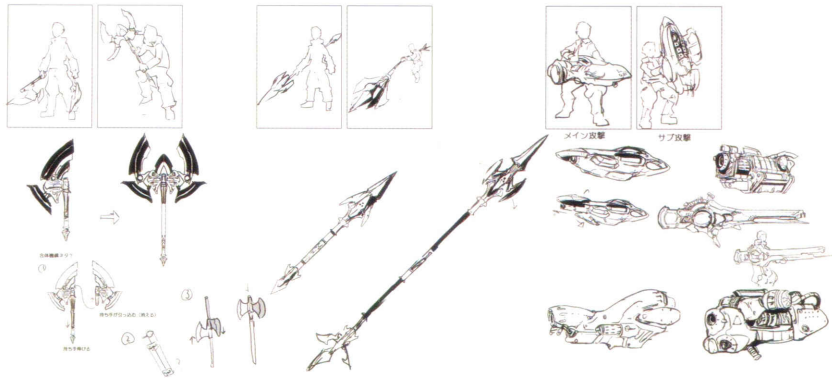
■最終

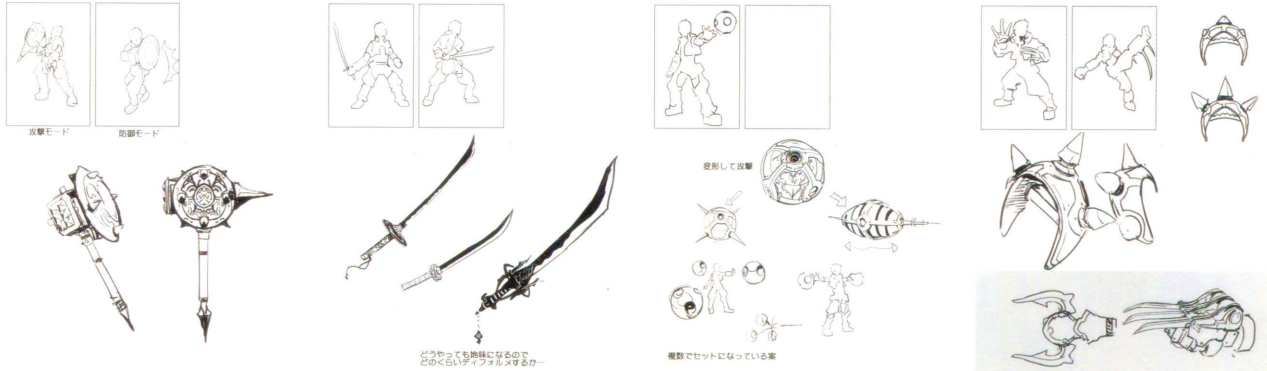


武器（初期案）


■両手剣　ネタだし
絆クリスタルとオーバーツのちから
武器を分解、変形、融合できます。
■ビット攻撃
■キャノン攻撃
武器のサイズ感↓
■クリスタルをはめ込む
場所はこのあたり
■キャノンブレードサイズ感
■キャノンを撃つ


■サムライウィップソードのネタ　※作業中
レックスの炎と差別化するためにこちらは青い炎というネタです。
武器の色が赤でモナドっぽさを出して凄みを感じさせる武器にしたい、、、など
■ガリアンソード時
■通常時
■二刀流


メイン攻撃
サブ攻撃


攻撃モード
防御モード
どうやっても地味になるので
どのくらいディフォルメするか…
変形して攻撃
複数でセットになっている案

WORLD

[ワールド]

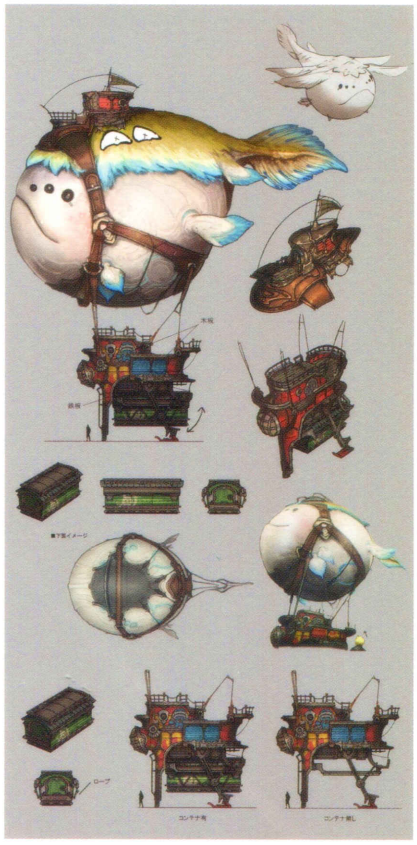


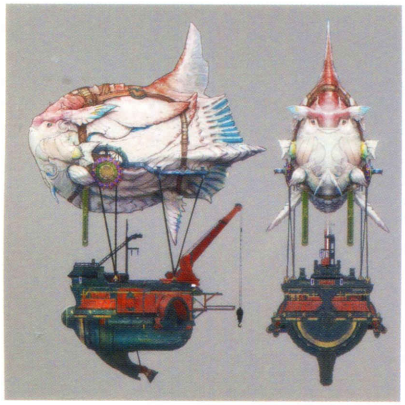
巨神獣&フィールド

アルストを構成する巨神獣、巨神獣上のさまざまな施設やモンスターのイラストを掲載。
細部にまで描きこまれた装飾や考えられた設定などに注目しよう。

アヴァリティア商会



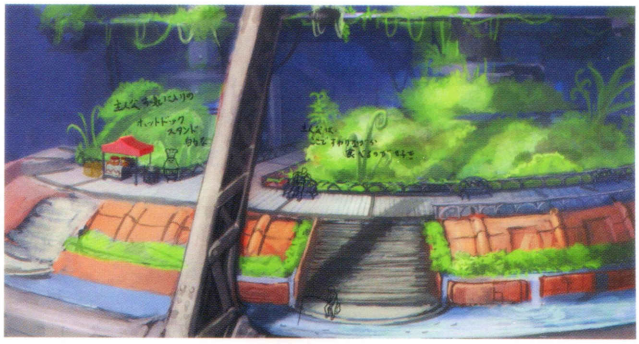






巨神獣につり下がる船の内部

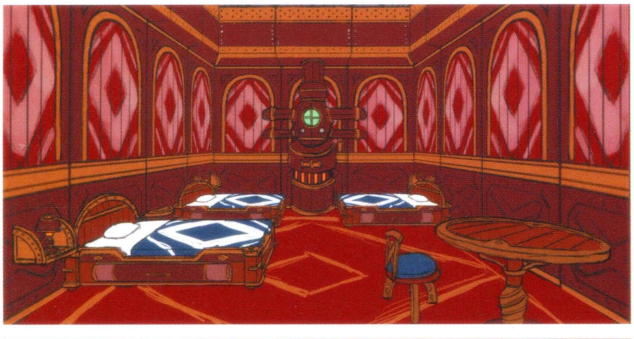


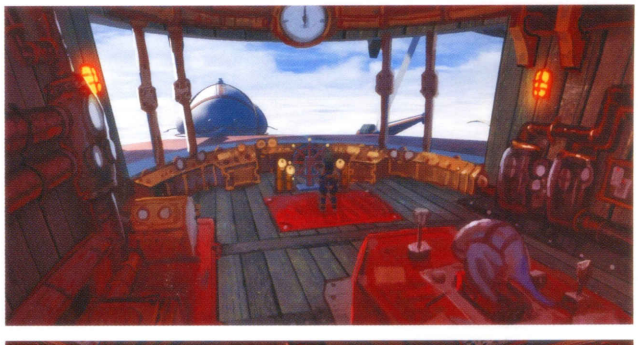


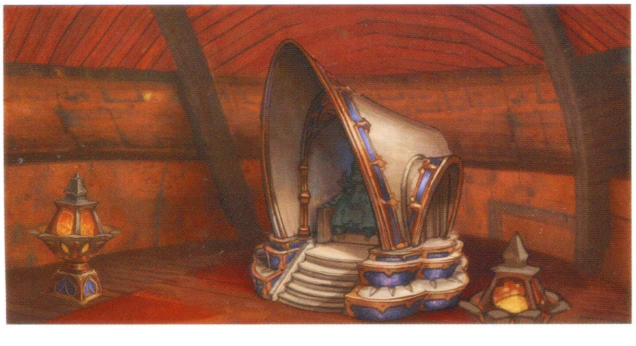



↑宿の部屋へ
↓食堂へ



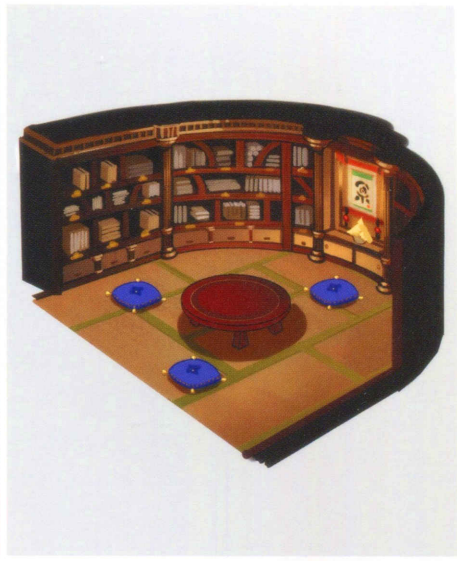


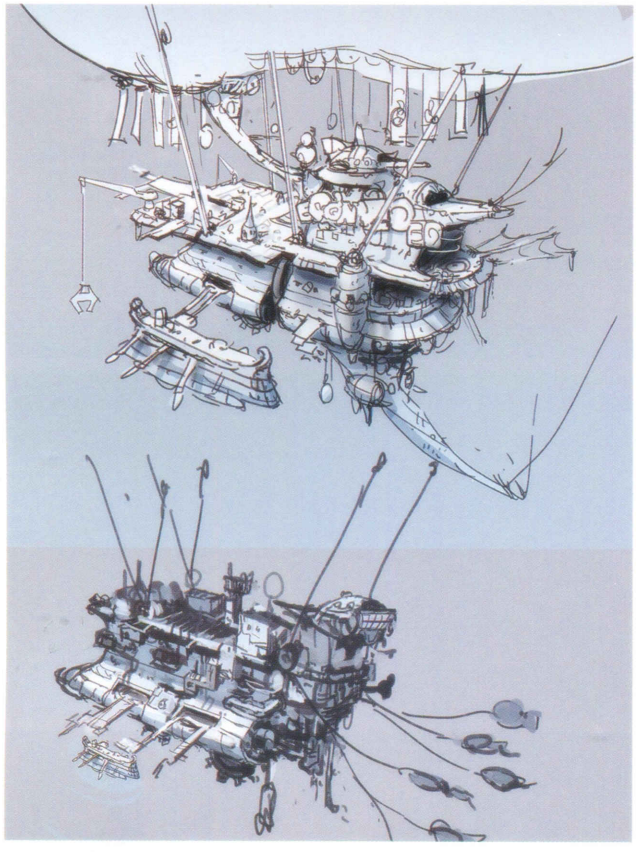




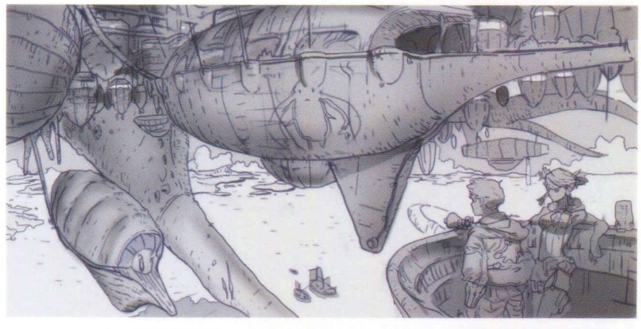


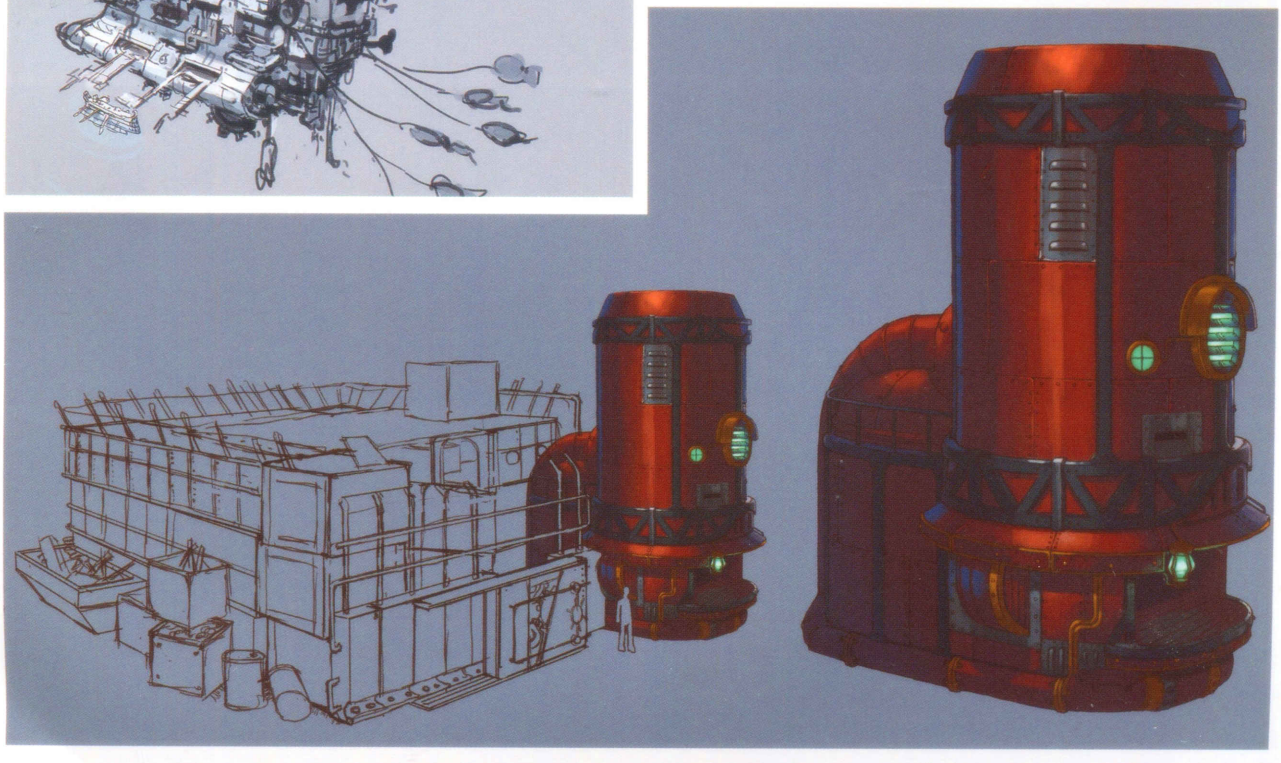




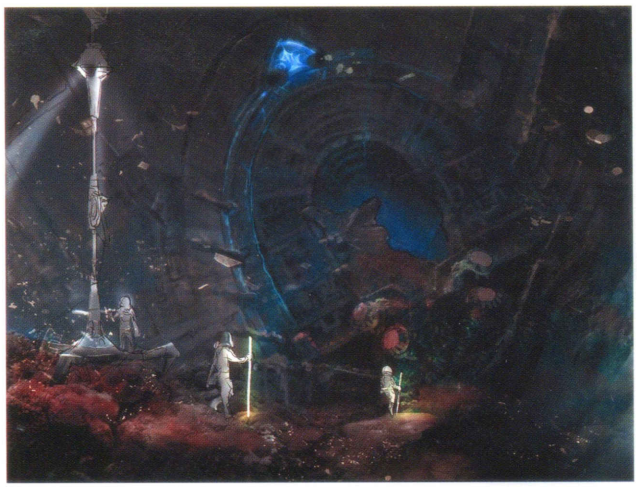


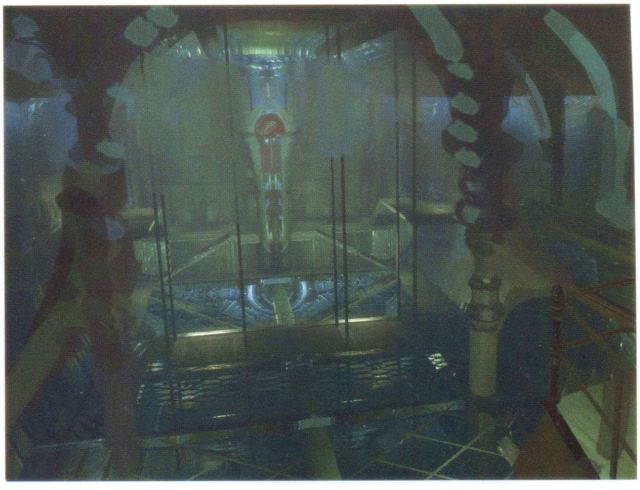




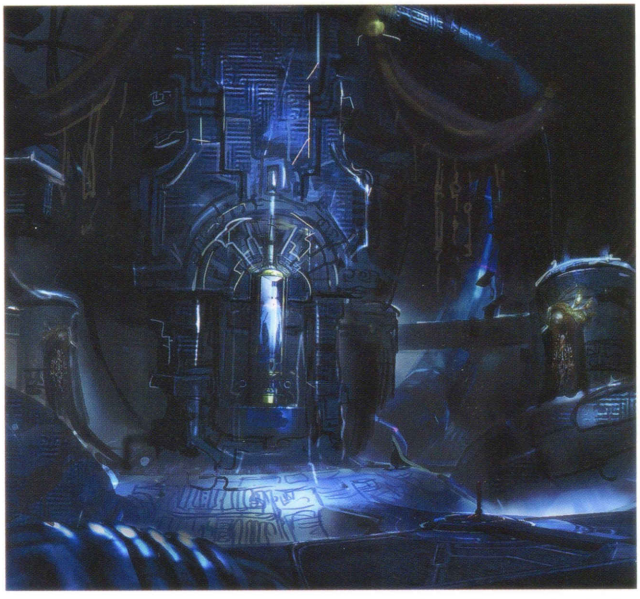


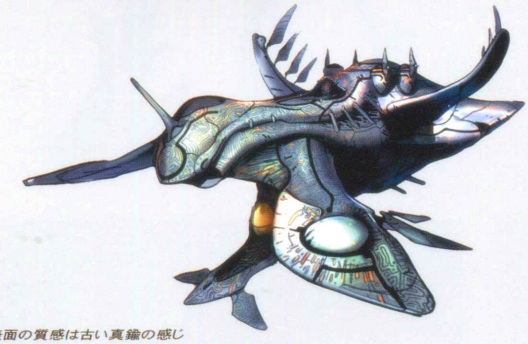
古代船





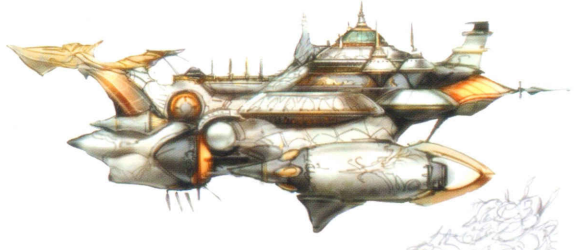


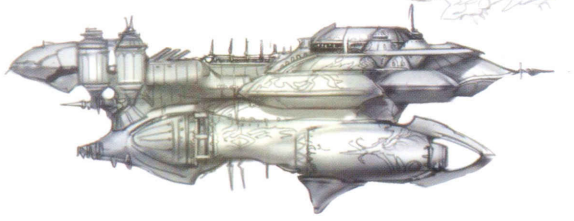




表面の質感は古い真鍮の感じ





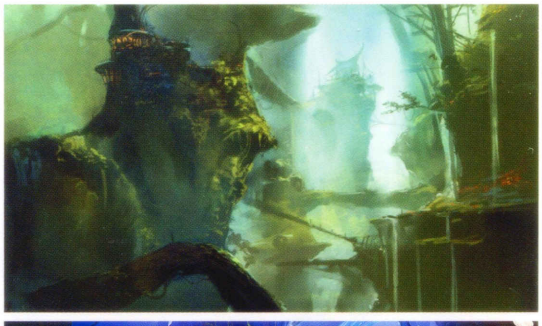




グーラ

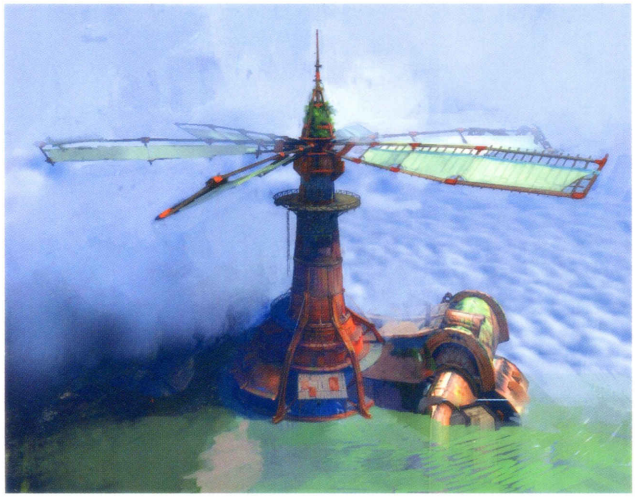




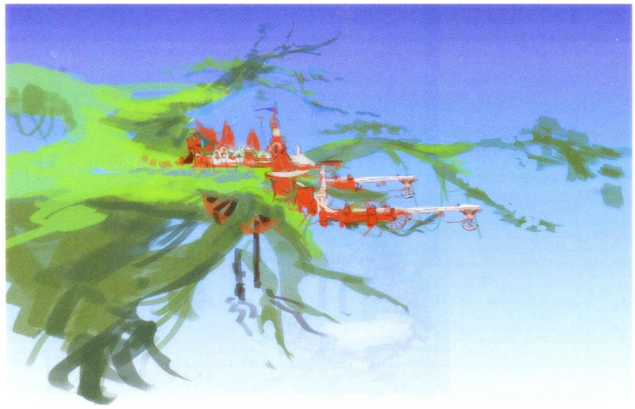




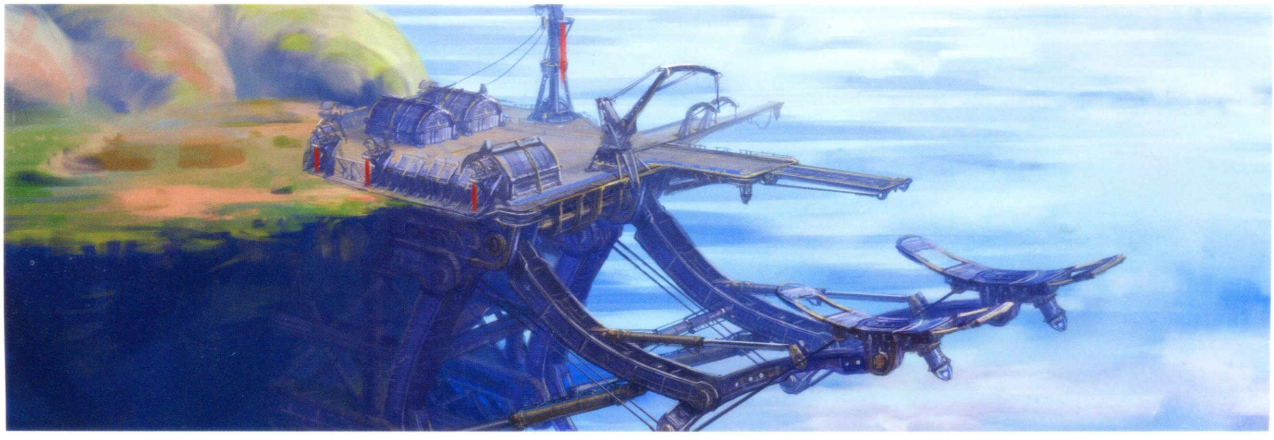


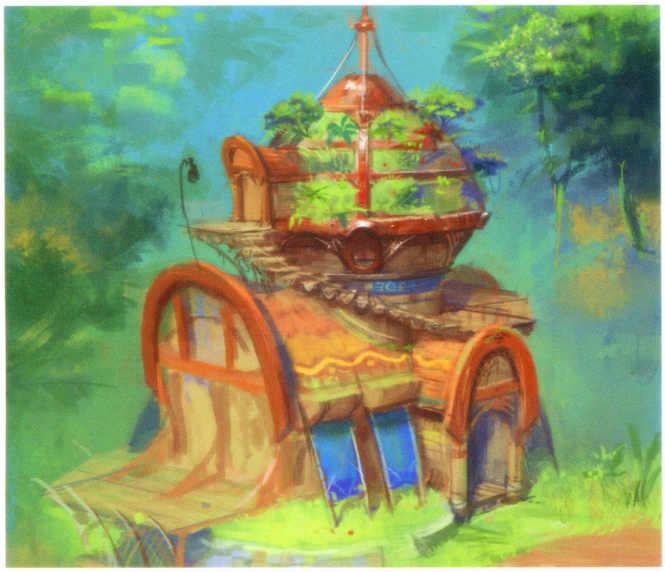




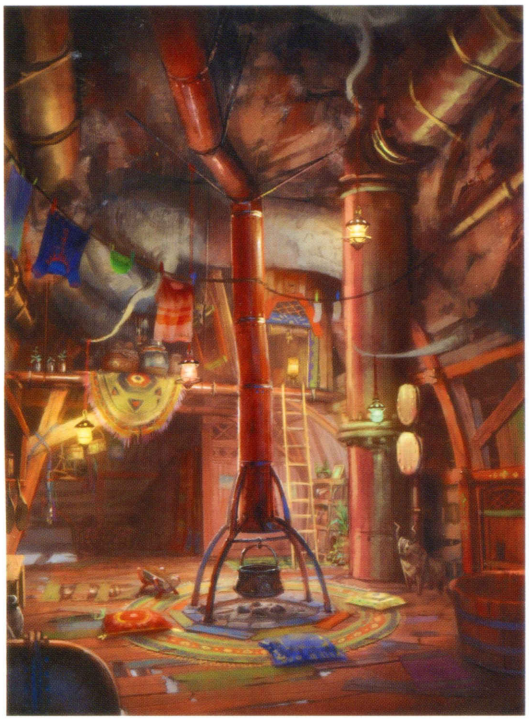


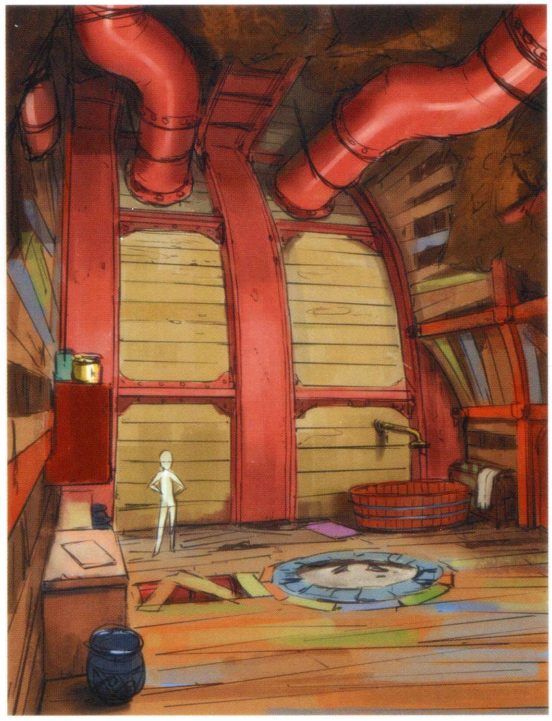




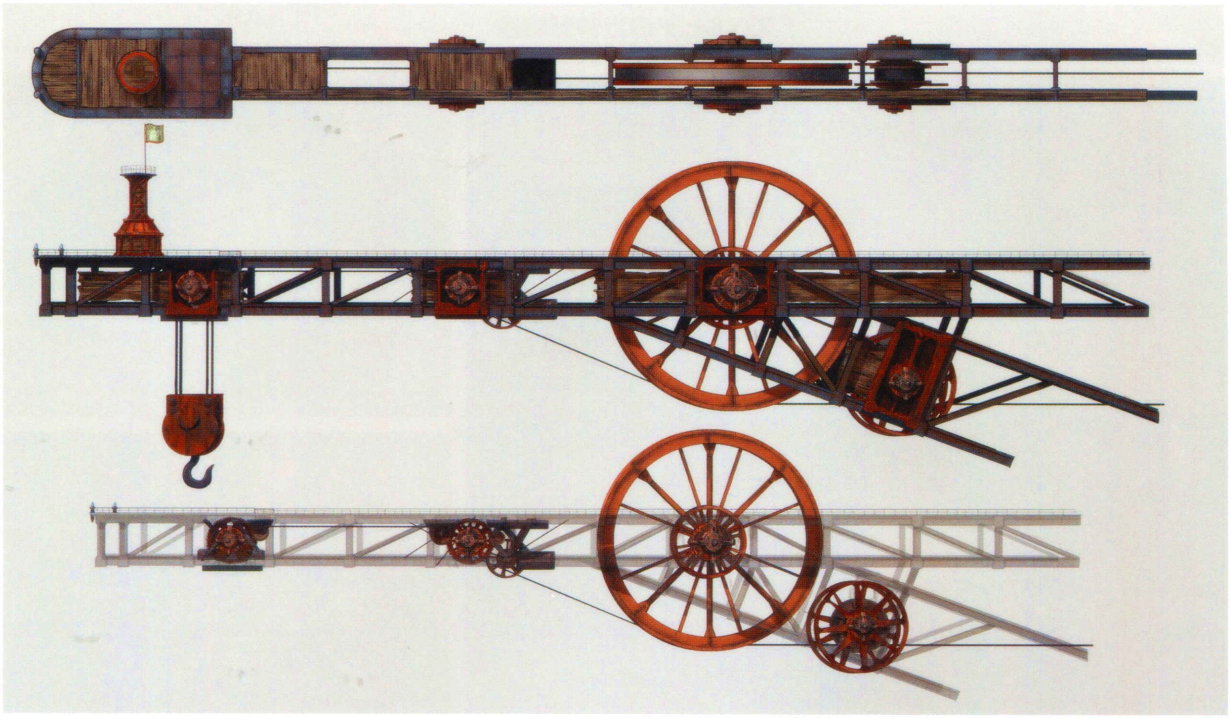




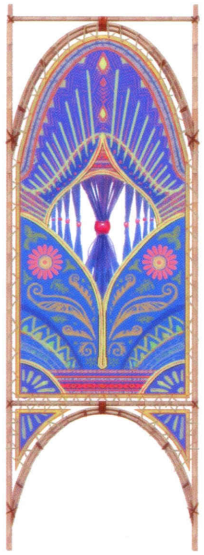


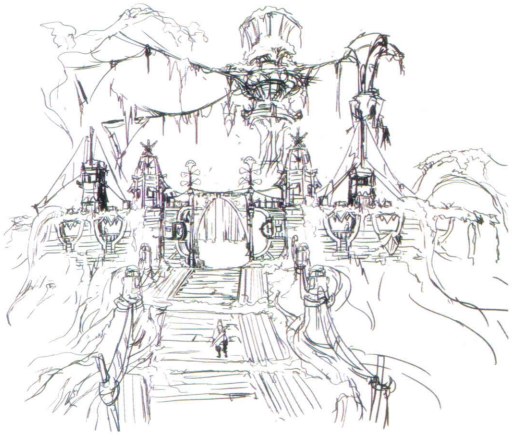


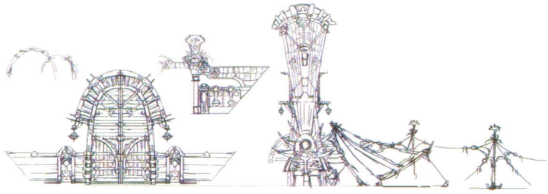


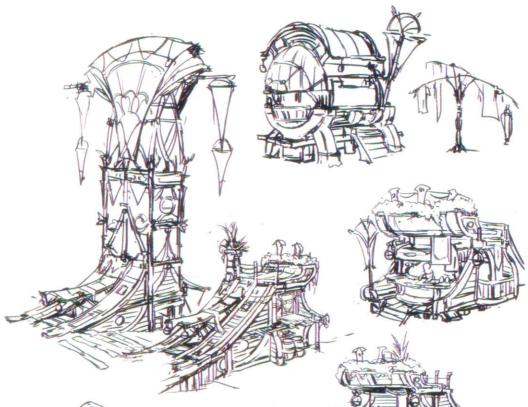




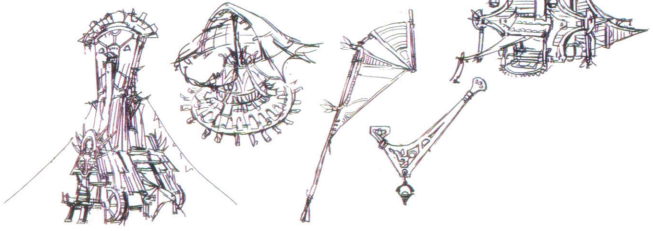


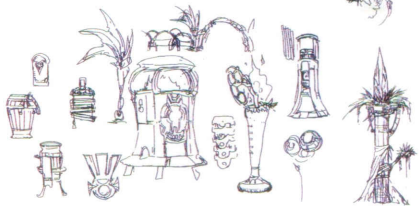








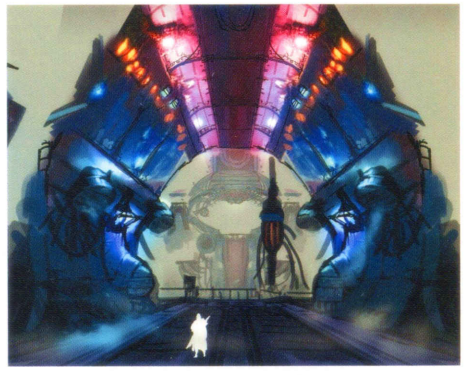




スペルビアの巨神獣戦艦

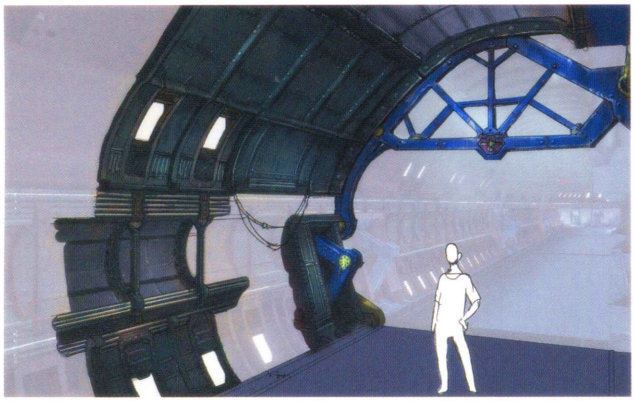


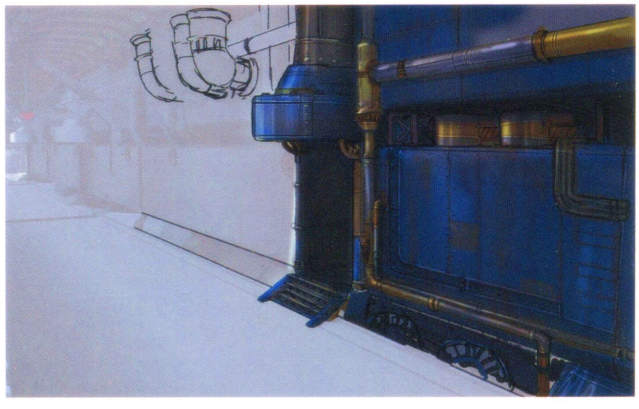


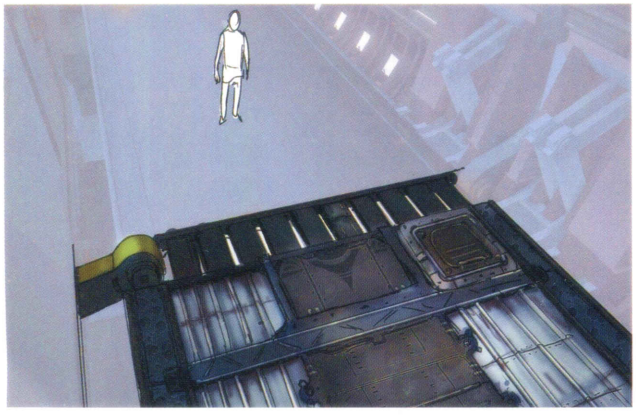


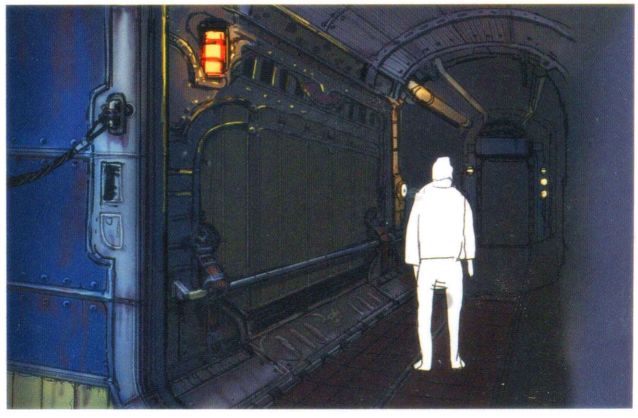




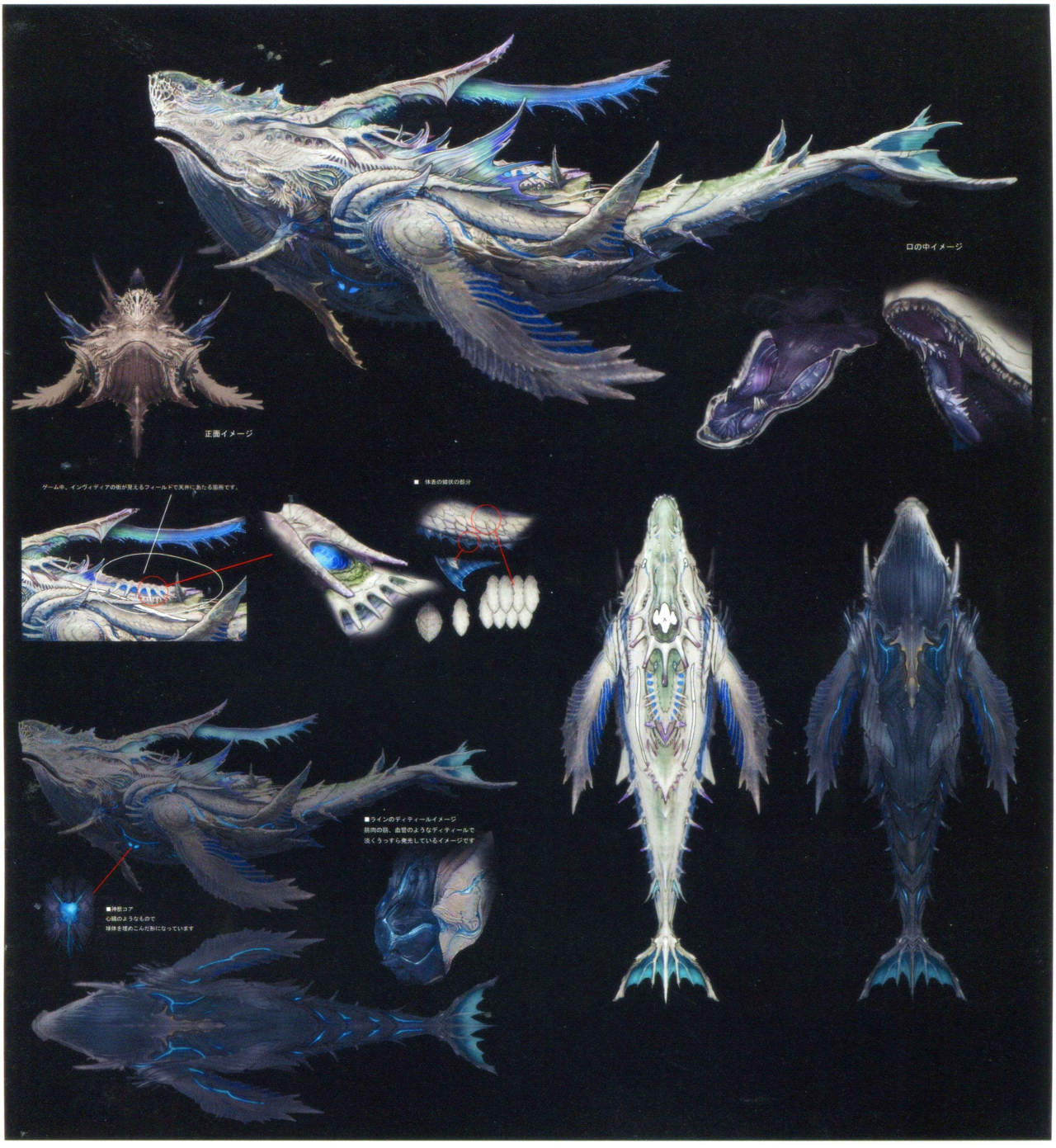




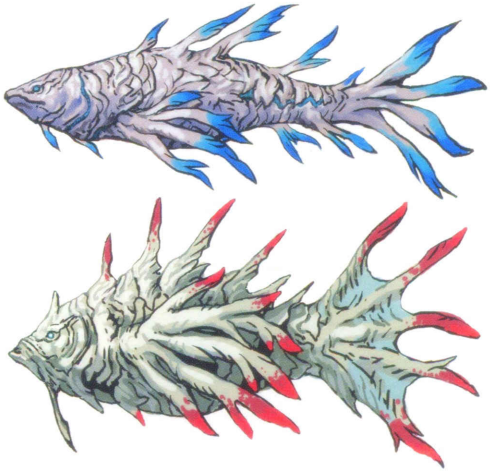


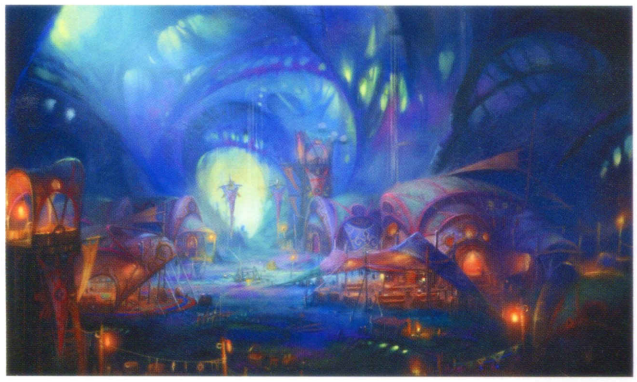


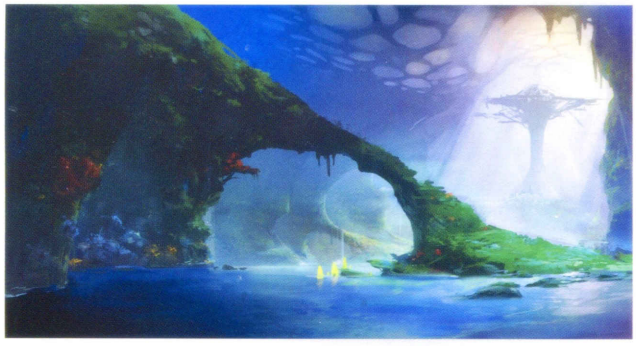
インヴィディア


口の中イメージ
正面イメージ
ゲーム中、インヴィディアの街が見えるフィールドで天井にあたる箇所です。
■ 体表の鱗状の部分
■ラインのティティールイメージ
筋肉の筋、血管のようなティティールで
淡くうっすら発光しているイメージです
■神核コア
心臓のようなもので
球体を埋めこんだ形になっています

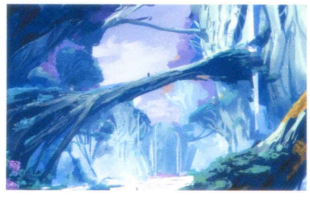
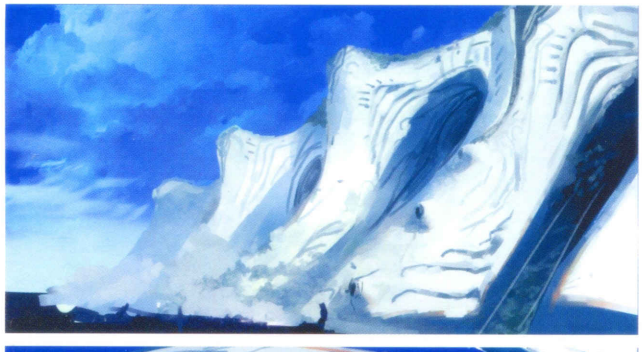
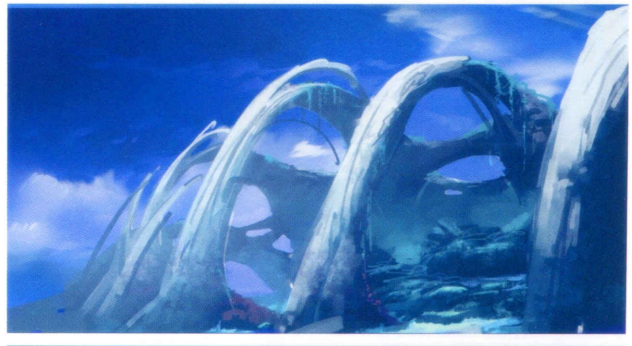
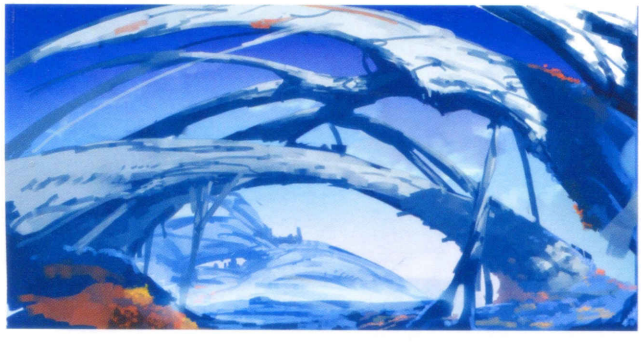




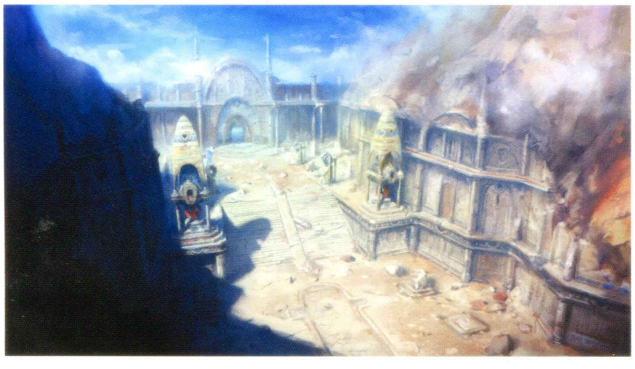


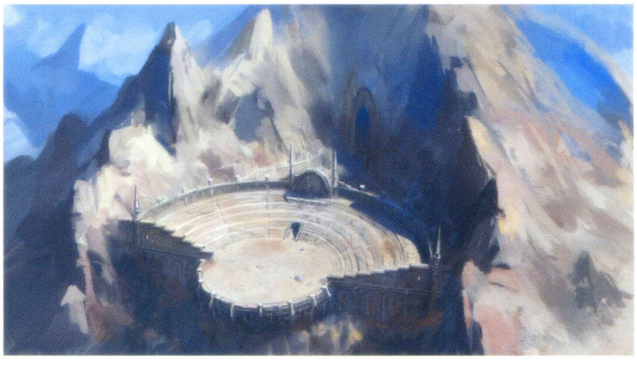




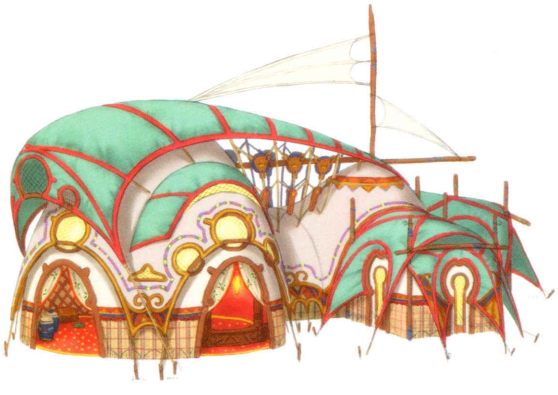








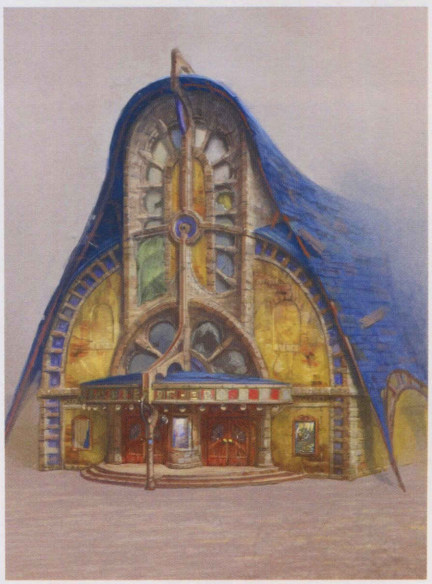




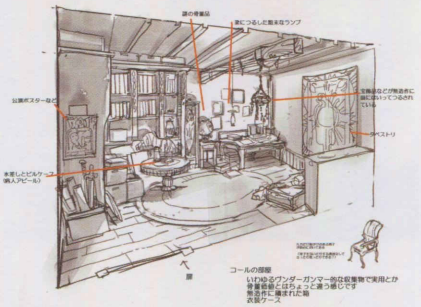








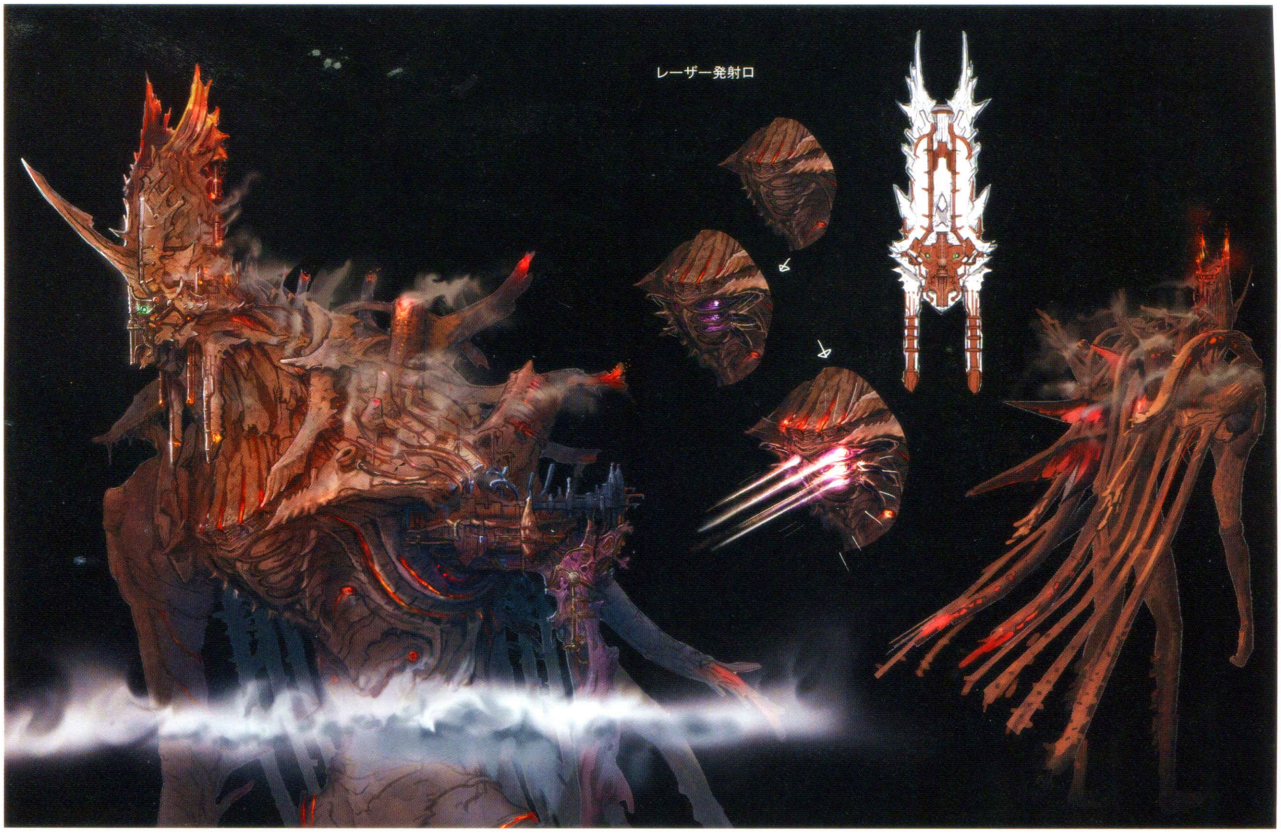



謎の骨董品
家につるした飽未なランプ
公園ボスターなど
宝箱のなどが無造作に
面に置いってつるされ
ている
ベストリ
本家しとビルケース
(例入アピール)
ベ
腰
コールの部屋
いわゆるブンダーガンマー的な収集物で実用とか
骨董価値とはちょっと違う感じです
無造作に捲まれた箱
衣装ケース

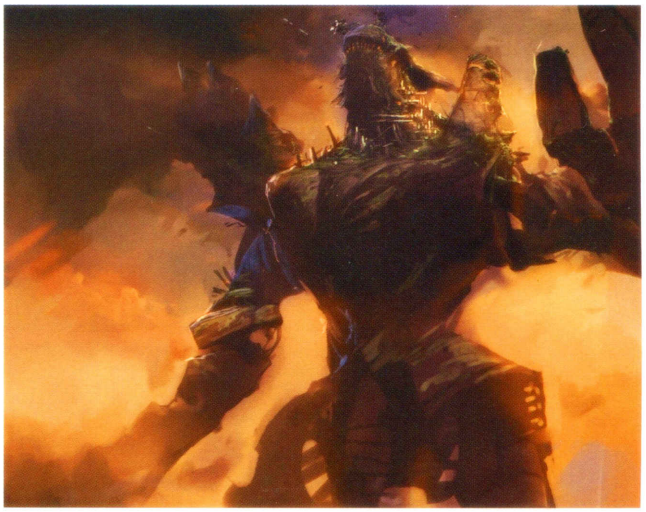


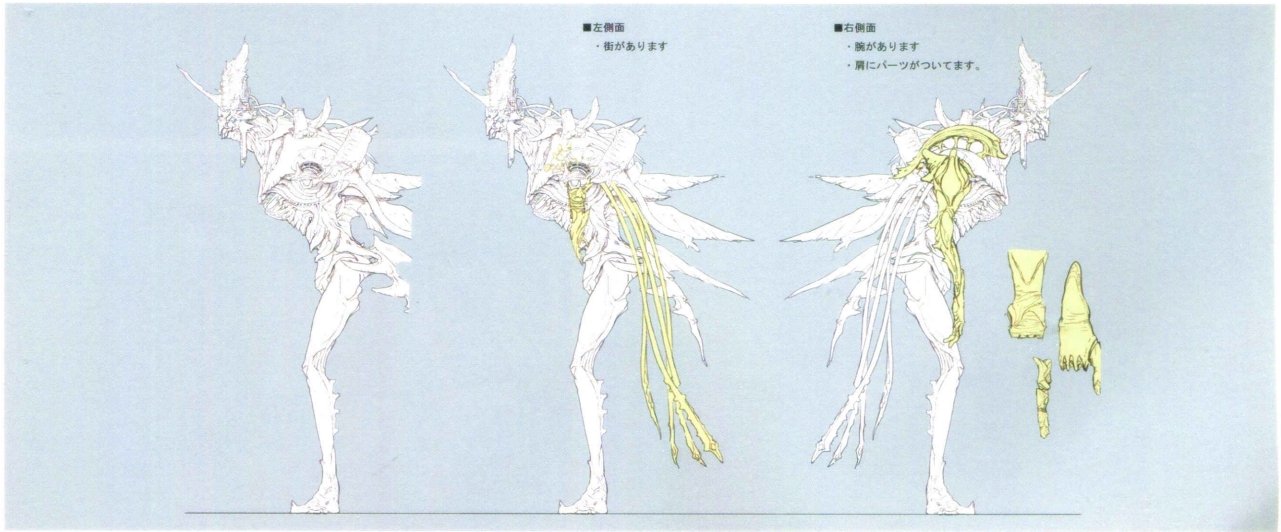


スペルビア



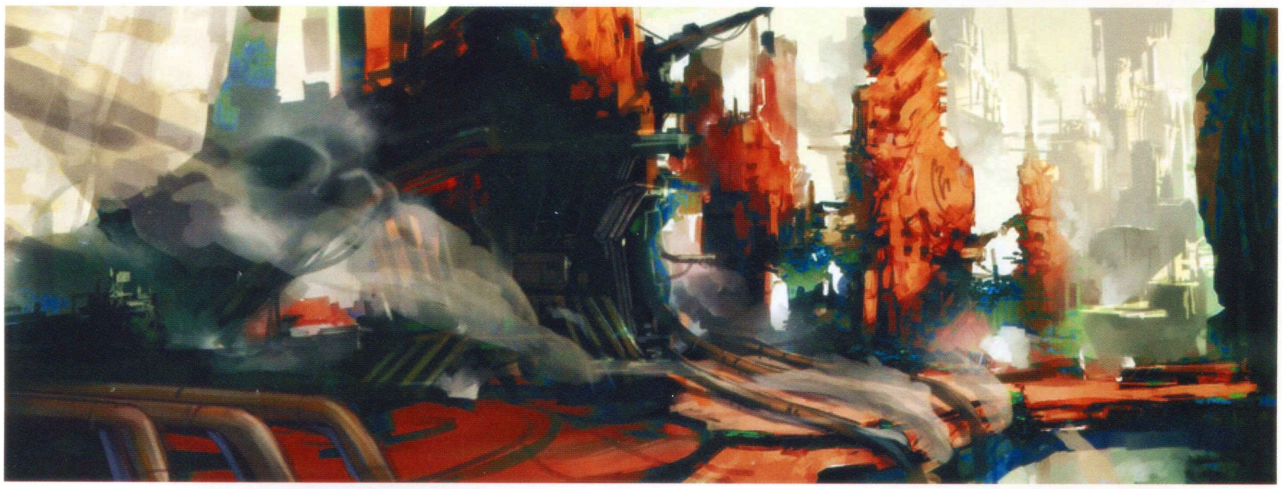


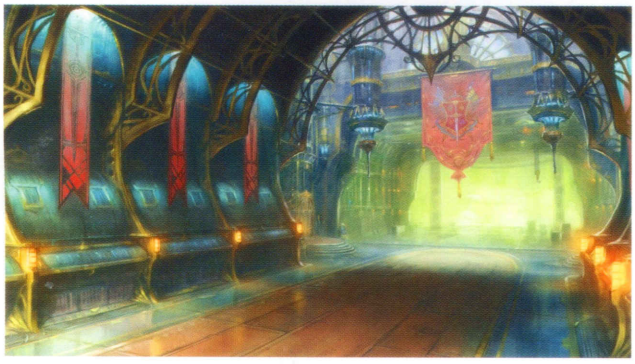


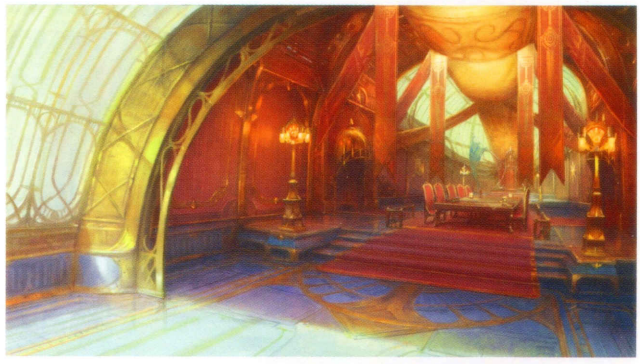


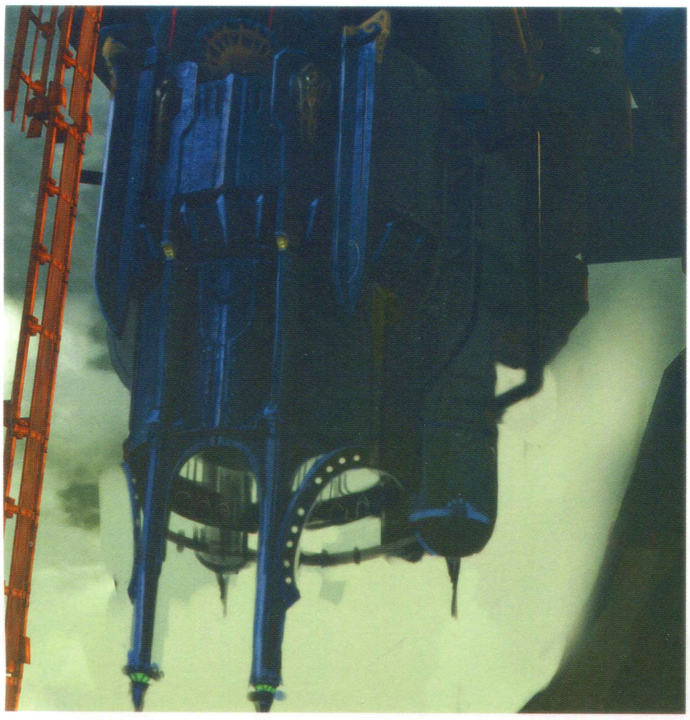


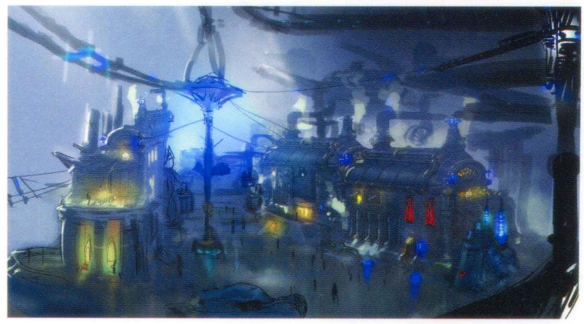




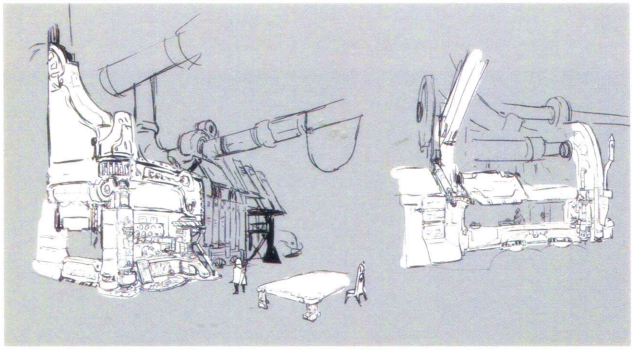


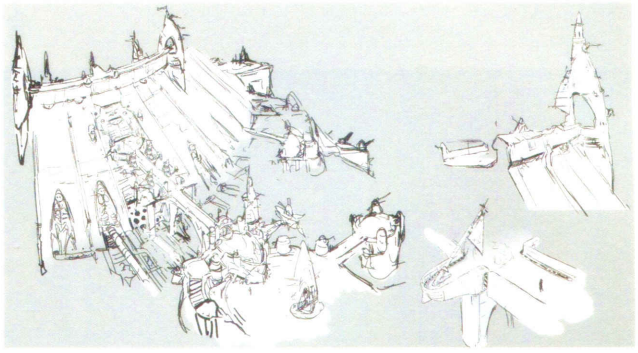


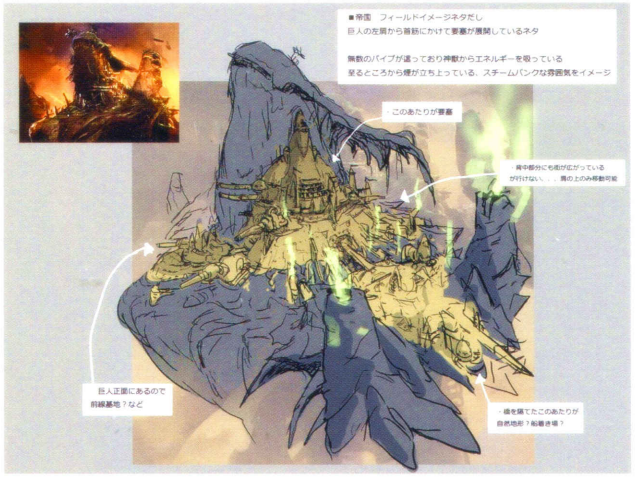


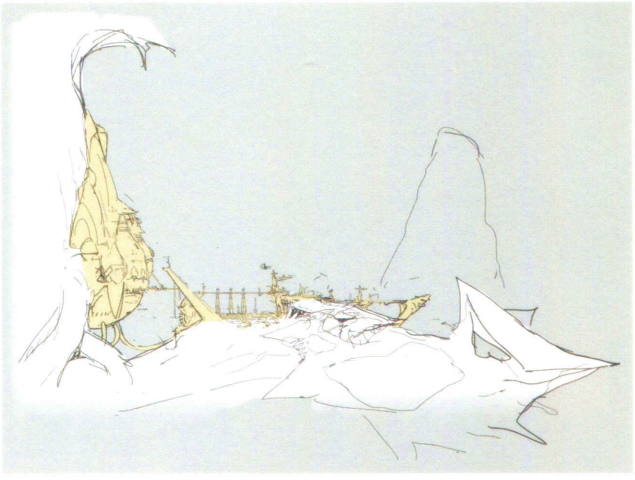




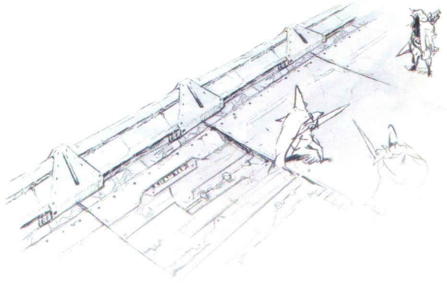


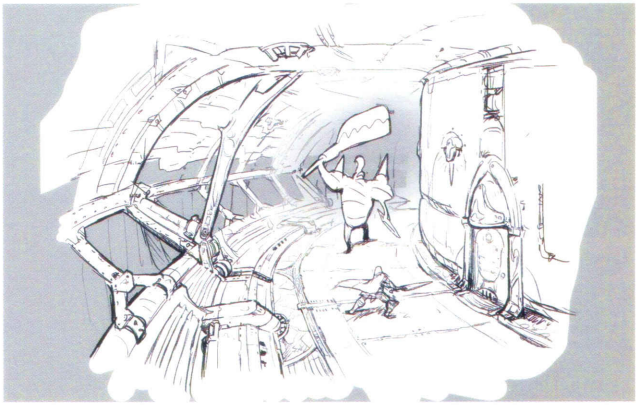


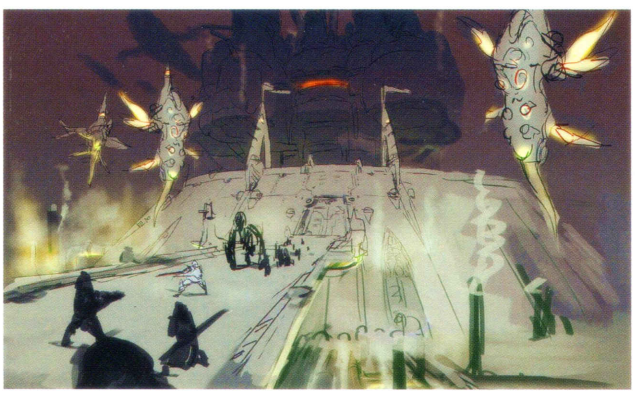

■帝国　フィールドイメージネタだし
巨人の左肩から首筋にかけて要塞が展開しているネタ
無数のパイプが通っており神獣からエネルギーを吸っている
至るところから煙が立ち上っている、スチームパンクな雰囲気をイメージ
・このあたりが要塞
・肩中部分にも街が広がっている
が行けない、、、肩の上のみ移動可能
巨人正面にあるので
前線基地？など
・喉を貫てたこのあたりが
自然地形？船着き場？









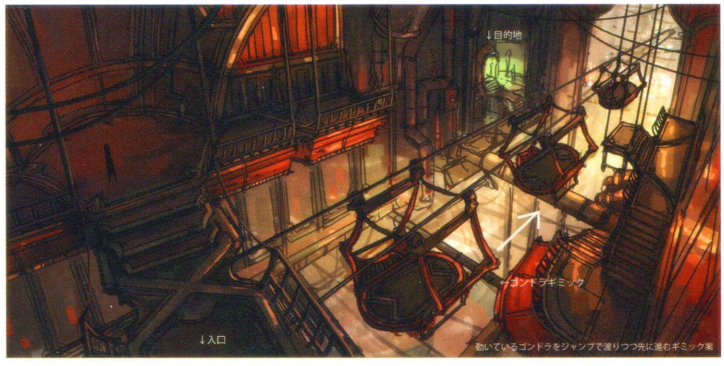


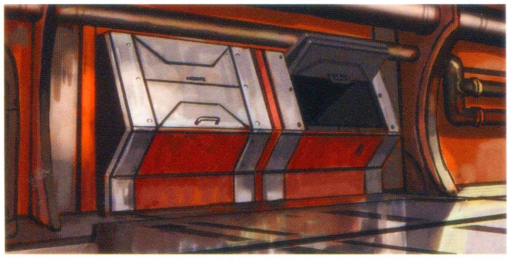

薄暗く神獣エネルギーの色のスモークかライトが光っている
玉座の後ろ＆天井は抜けていて赤茶けた空が見える、、、など

廃工場

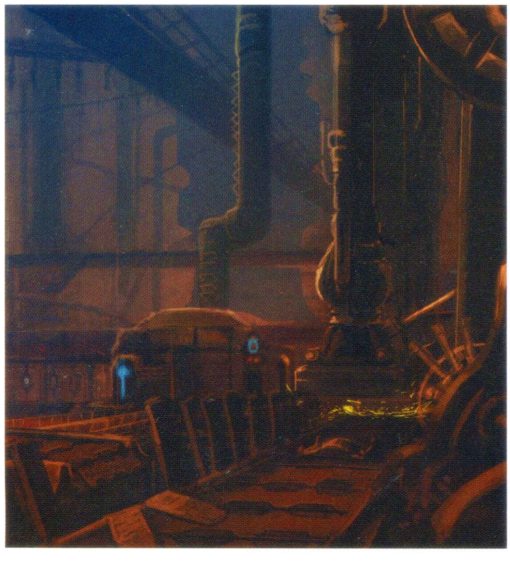






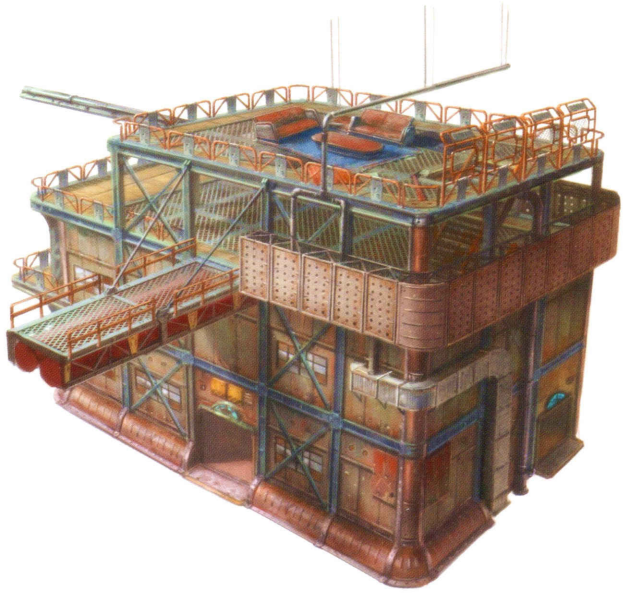


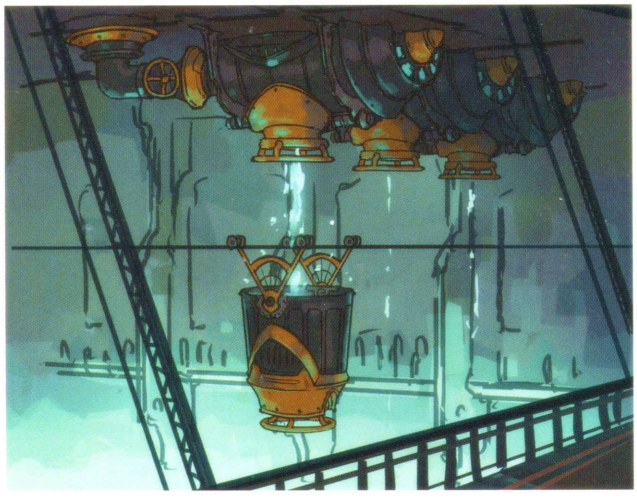


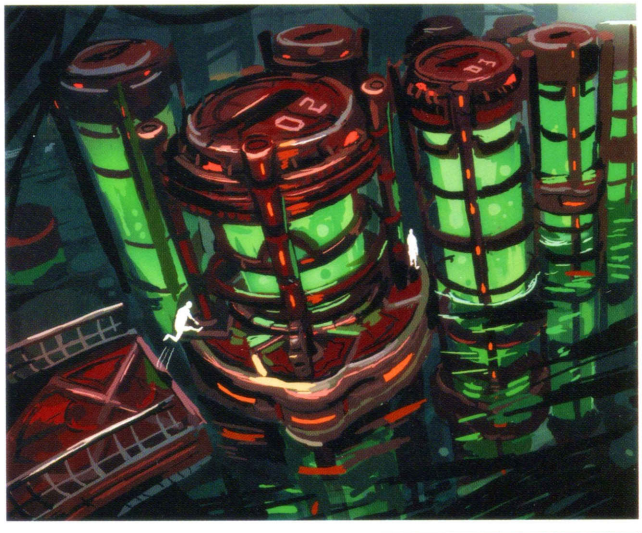


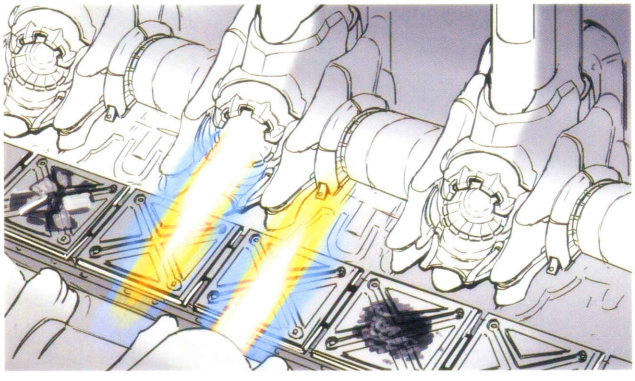


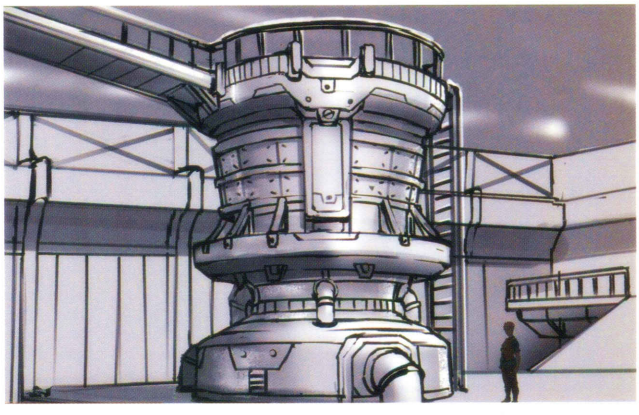


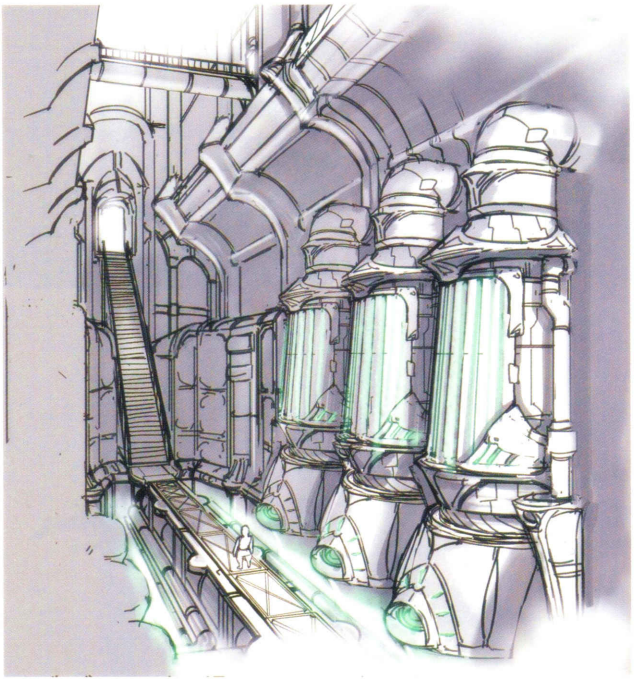


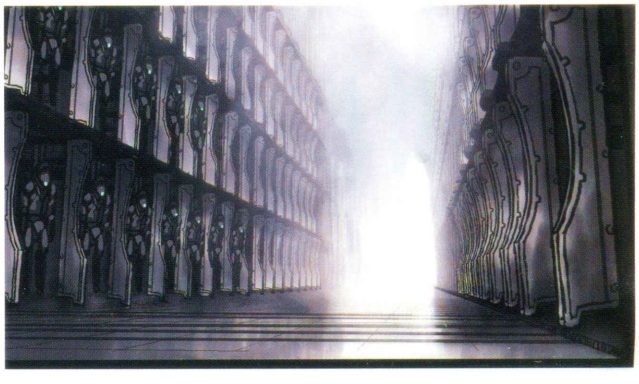






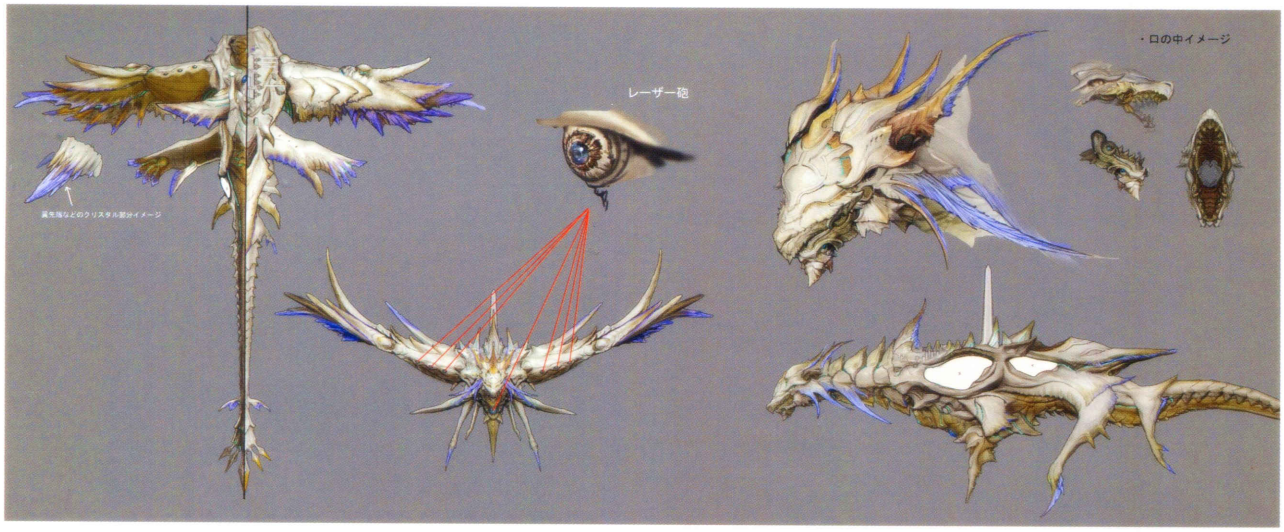


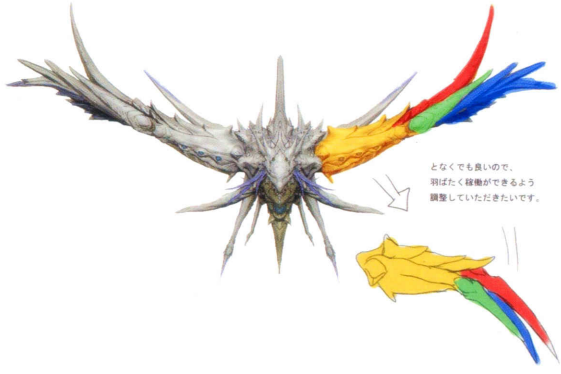


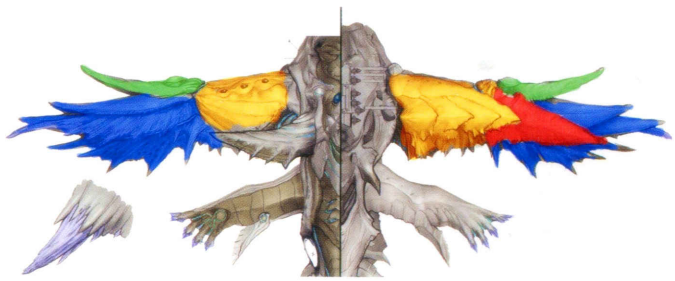


アーケディア

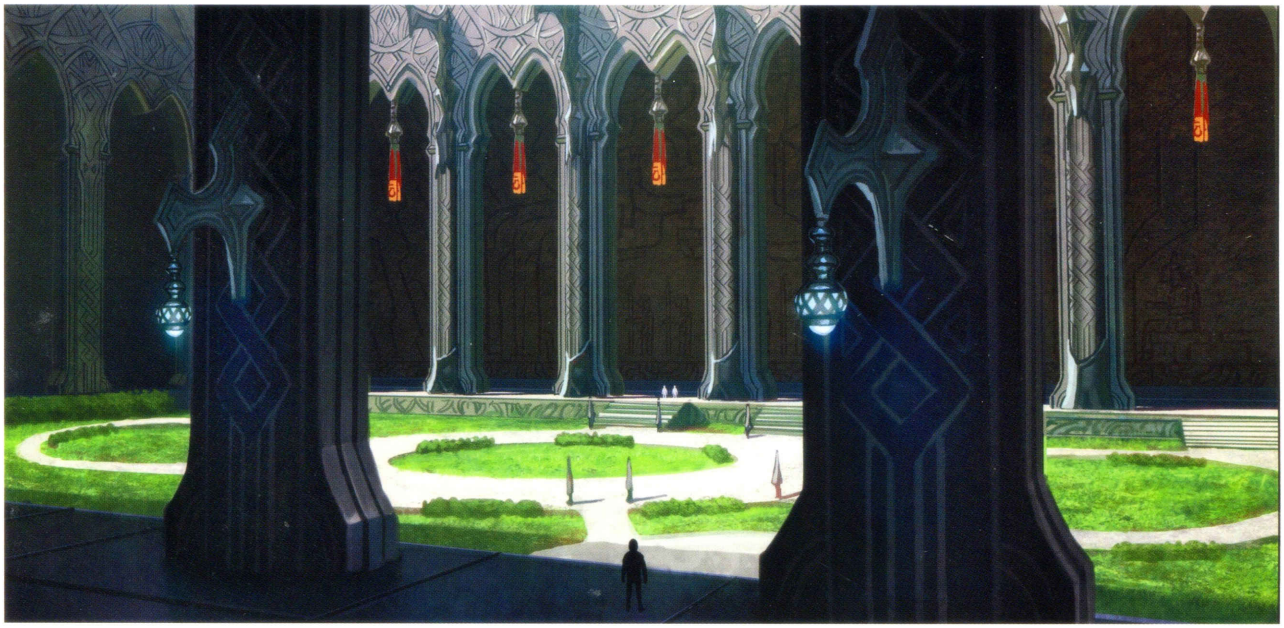


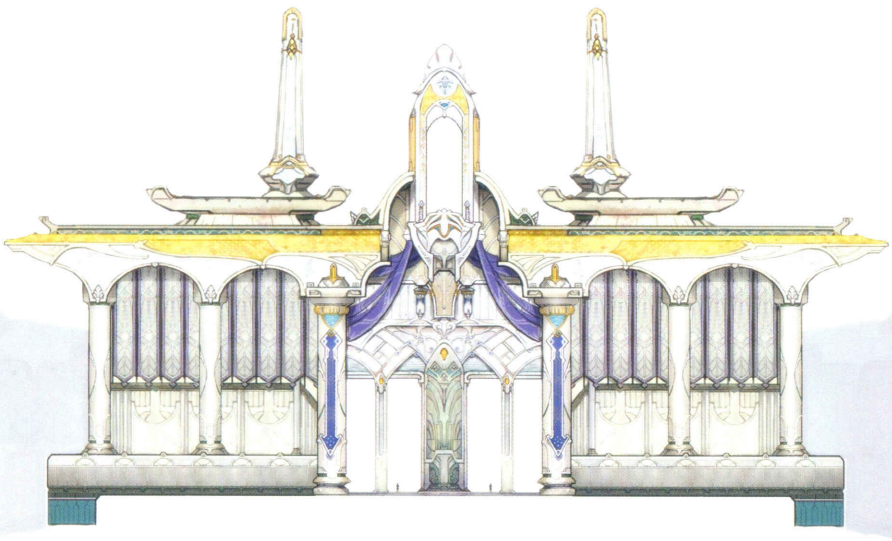


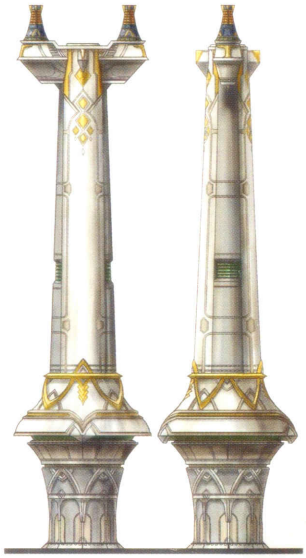






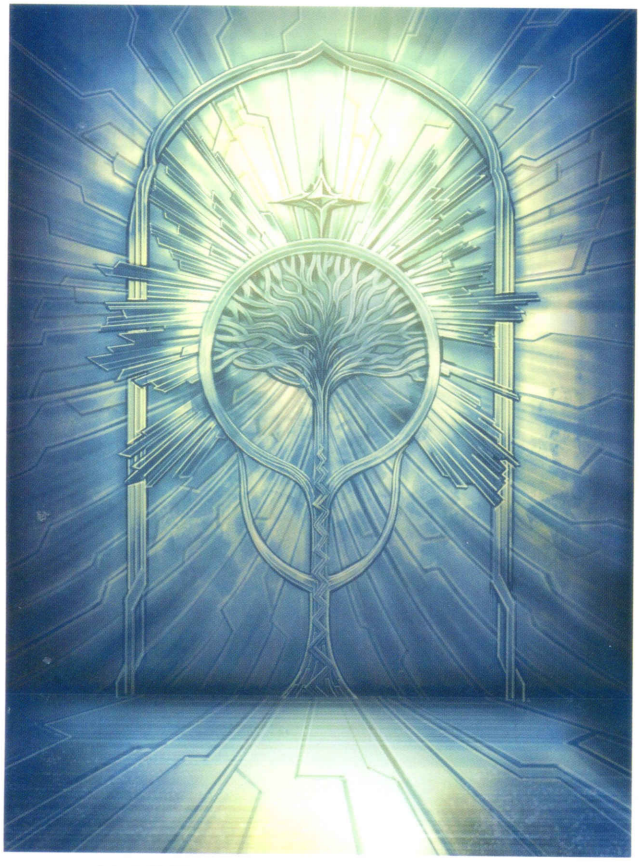


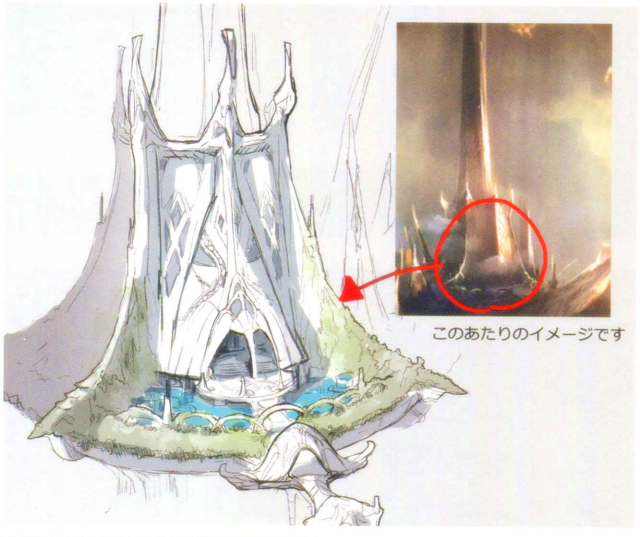


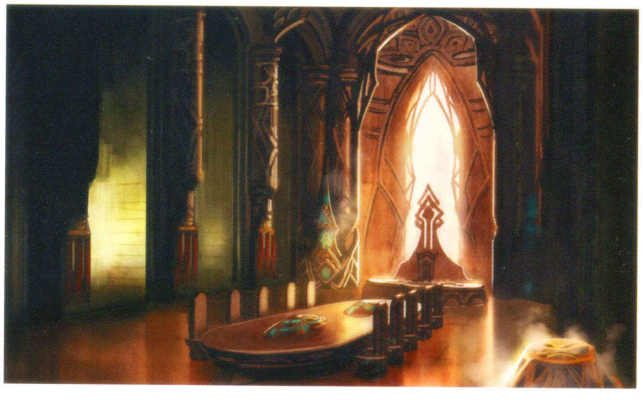








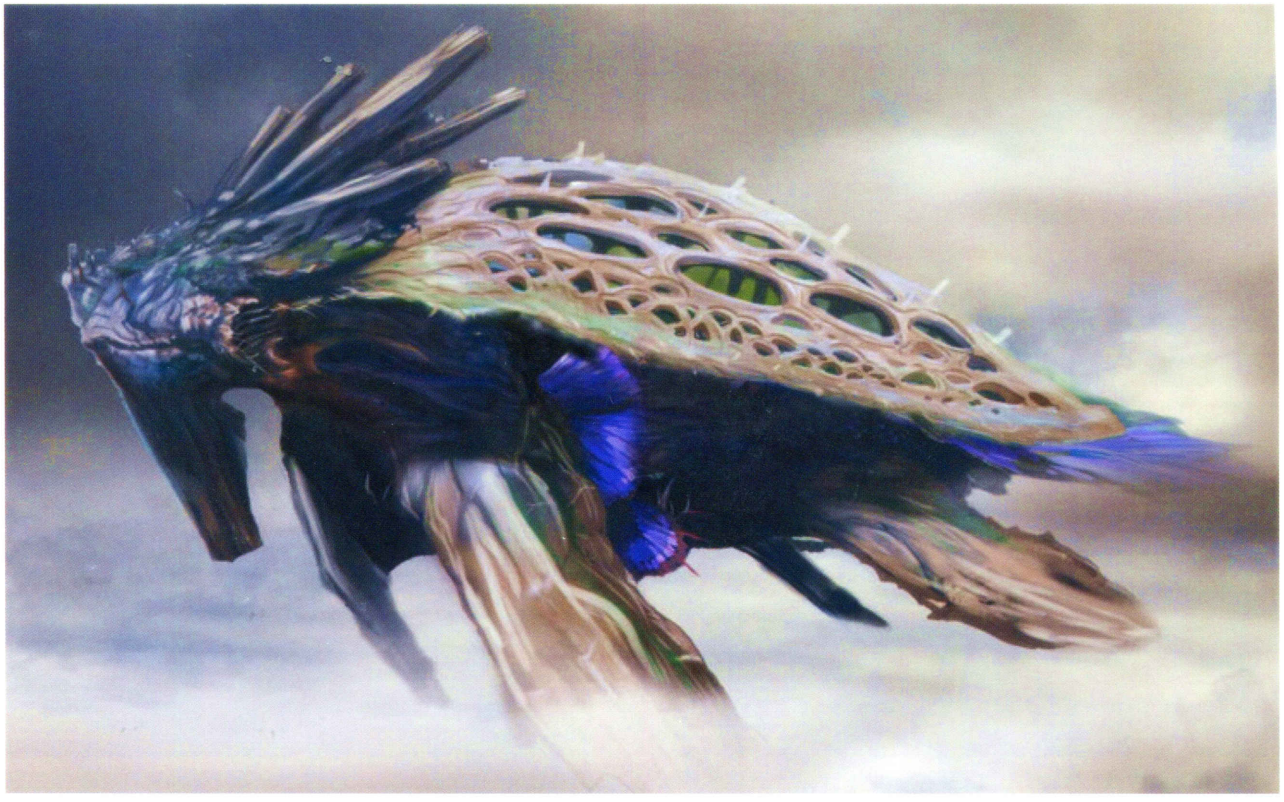

このあたりのイメージです

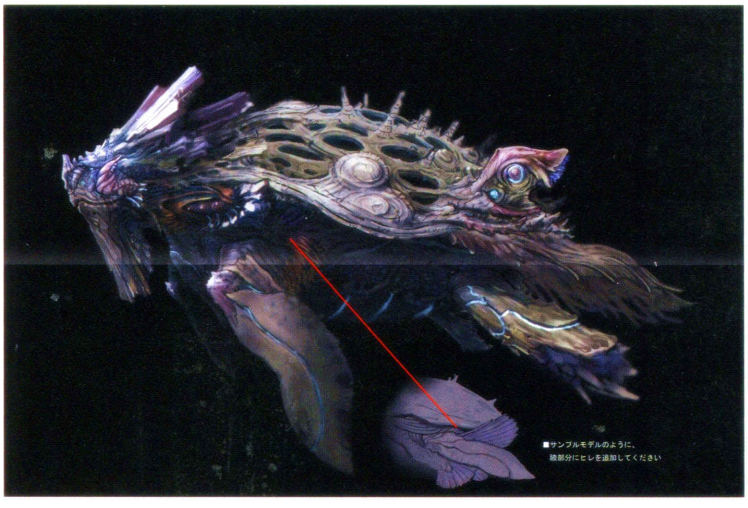


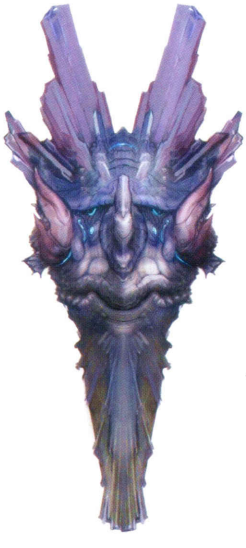




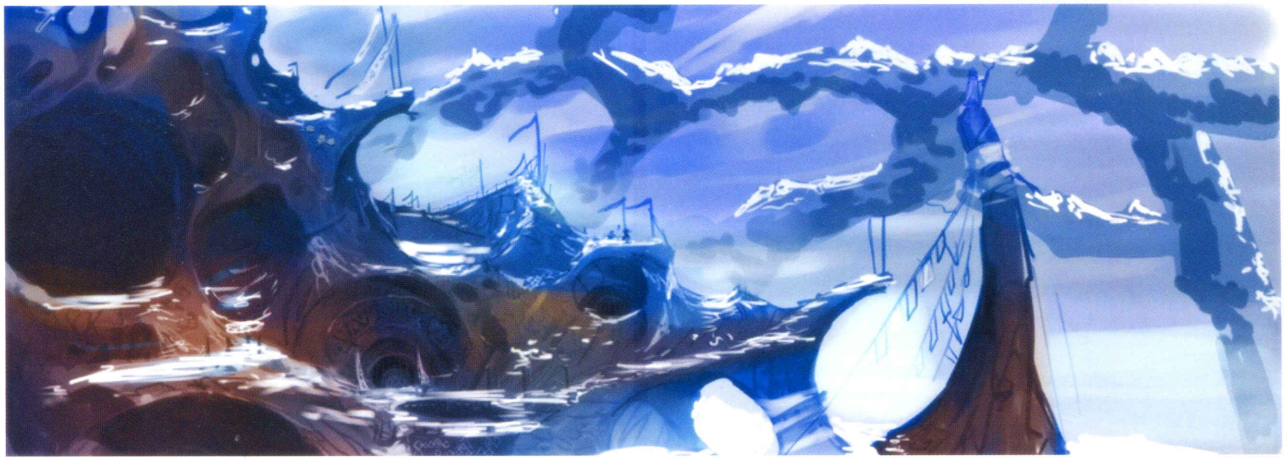
ルクスリア




■サンプルモデルのように、
鏡部分にヒレを追加してください



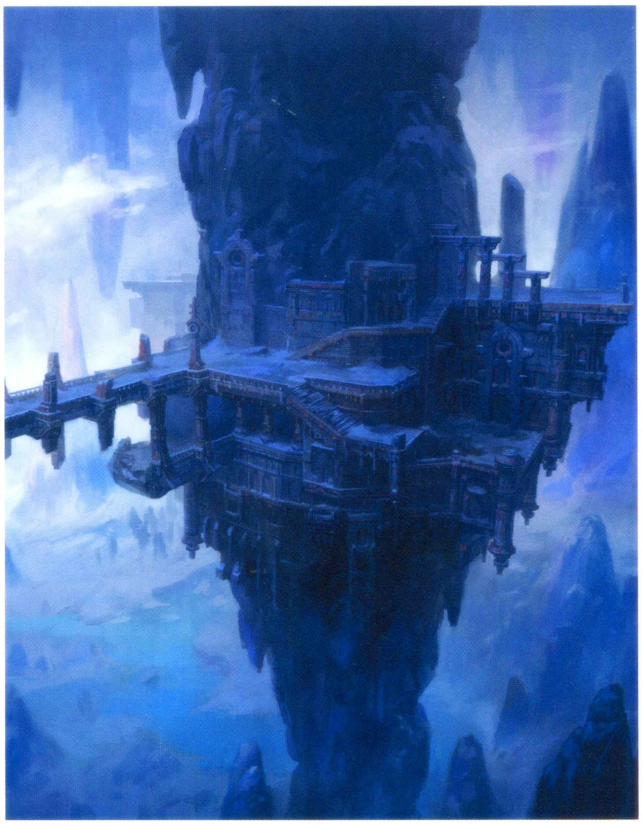

■上面、下面イメージ
■甲羅上の突起イメージ
アンモナイトのような貝殻or化石のような質感
■ヒレ部分
クジラのひげのようなイメージです。









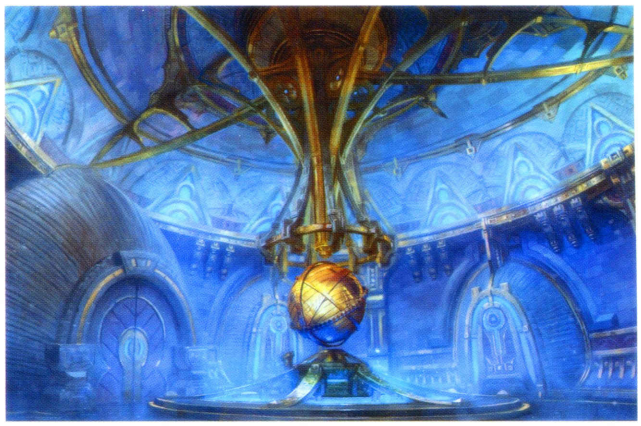


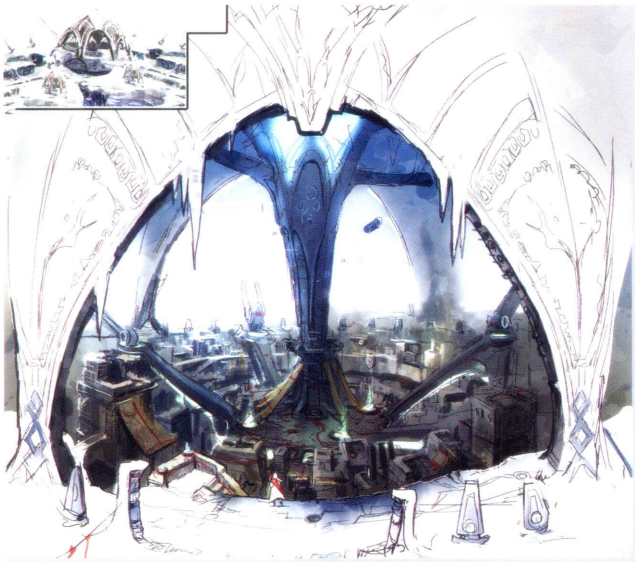


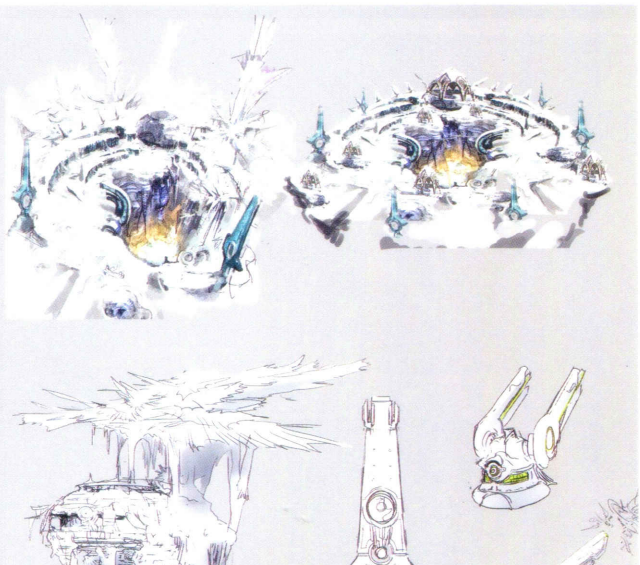


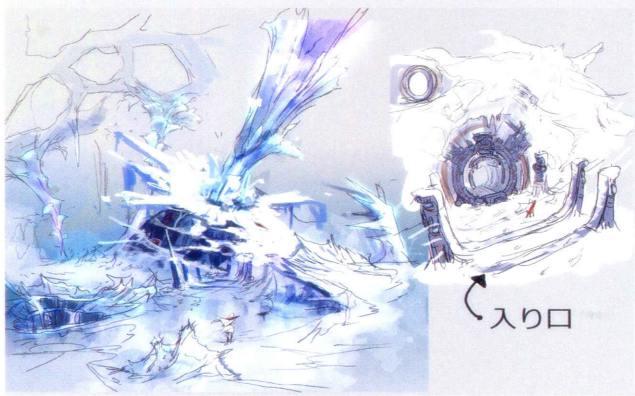


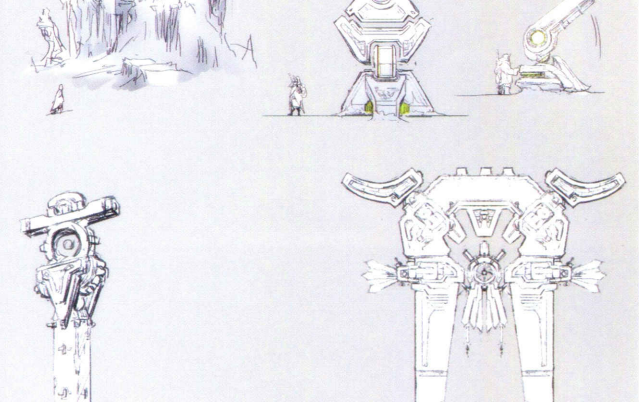


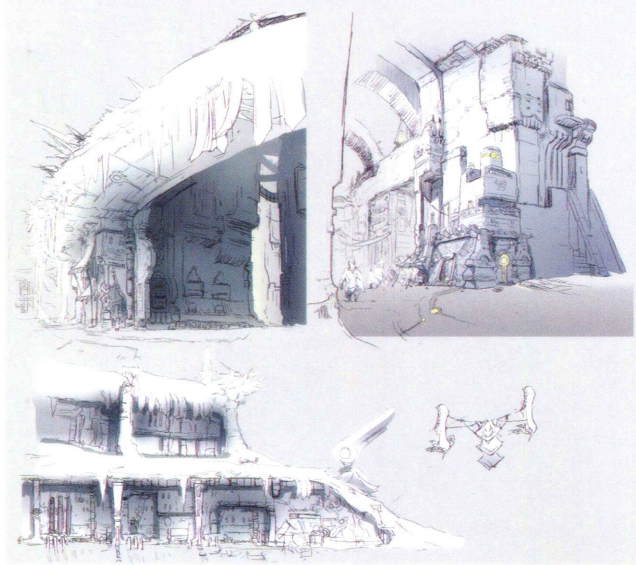


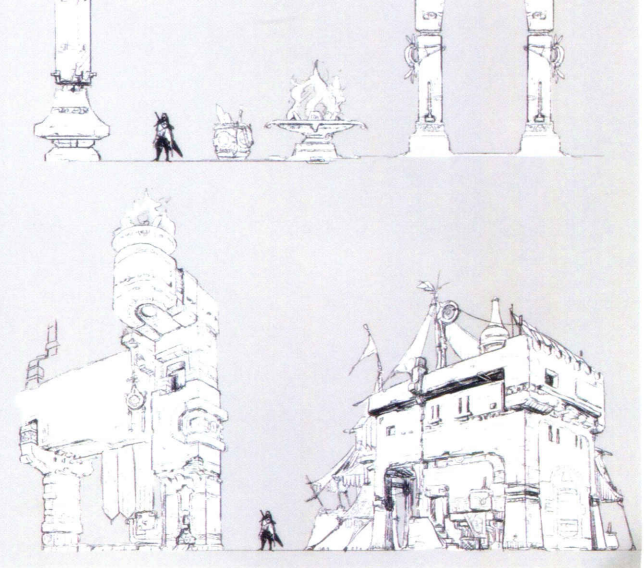




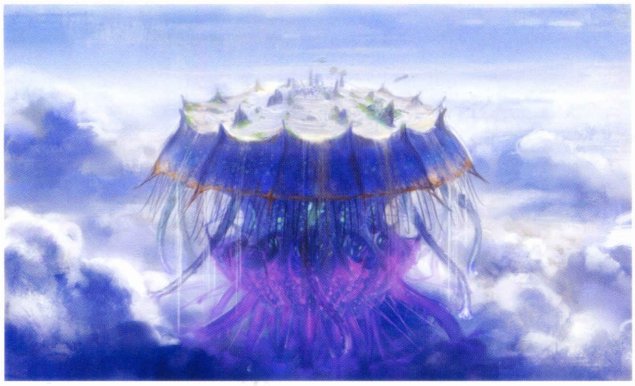

入り口

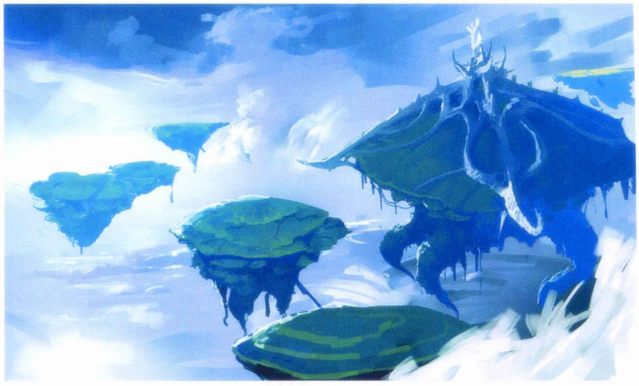


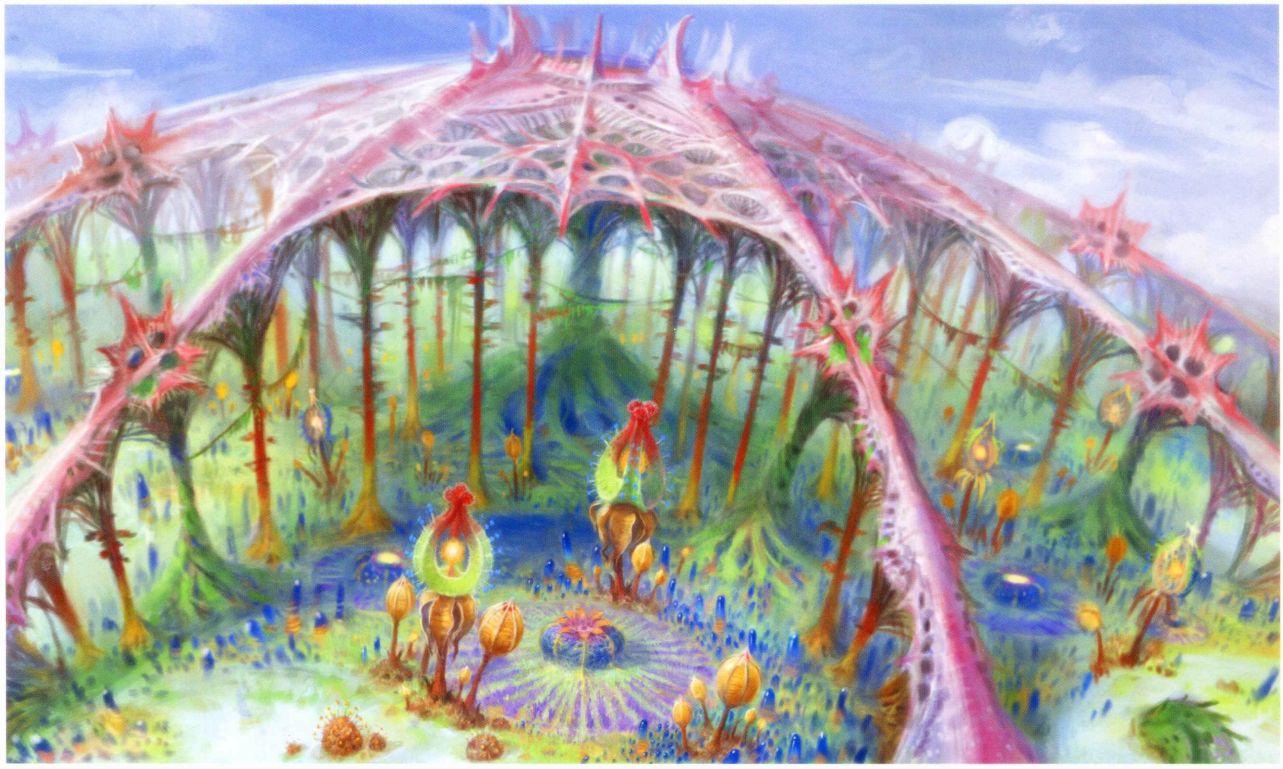


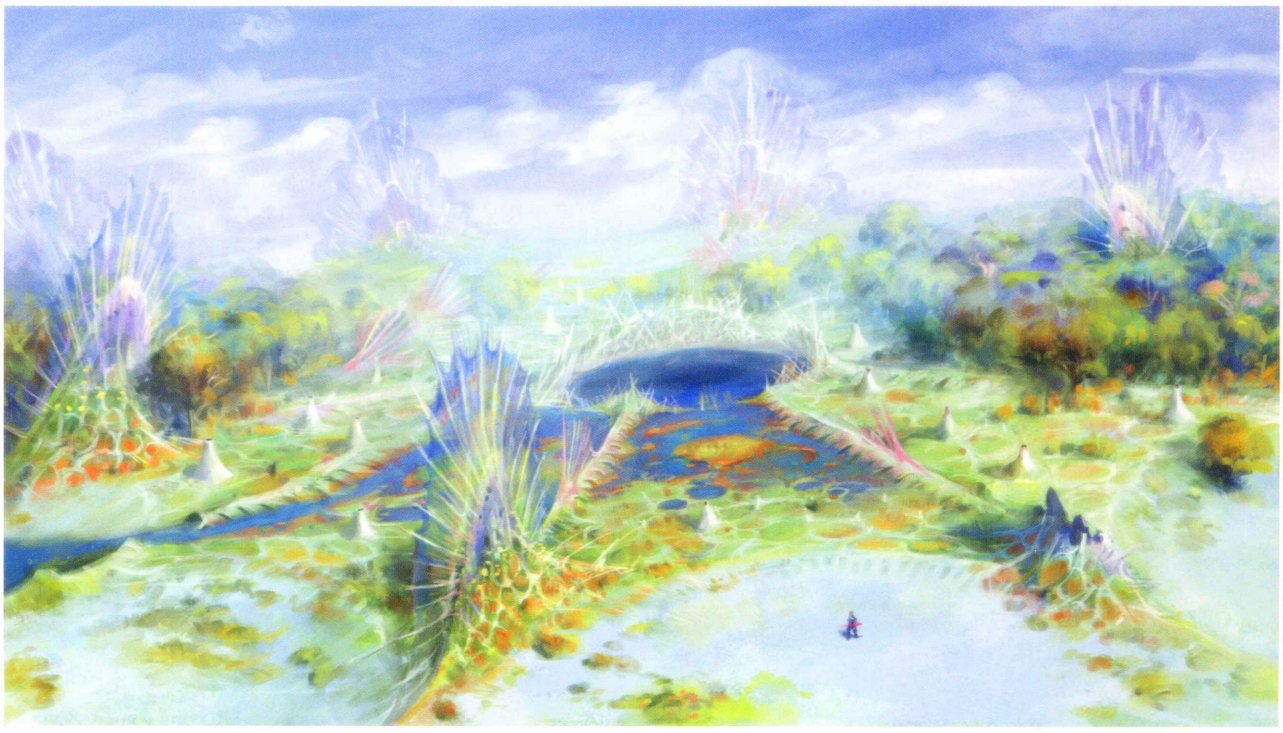


リベラリタス

















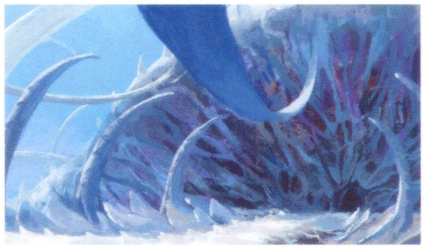
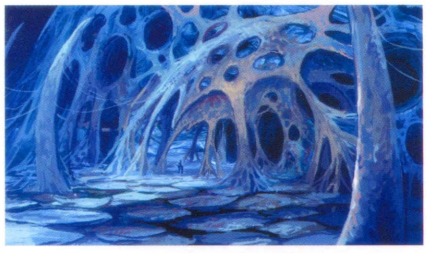
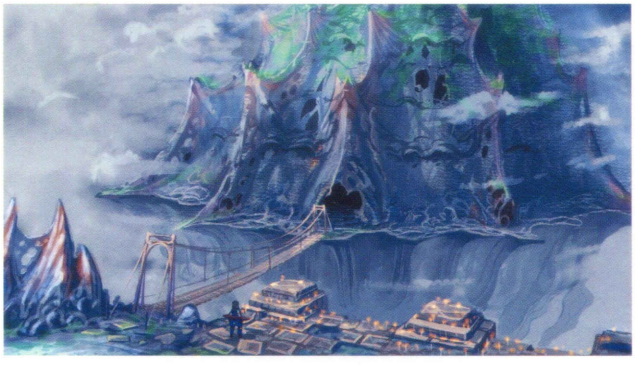




エルピス霊洞



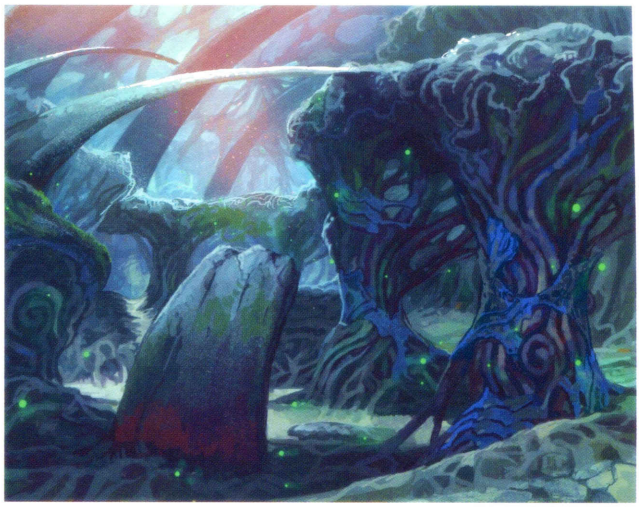


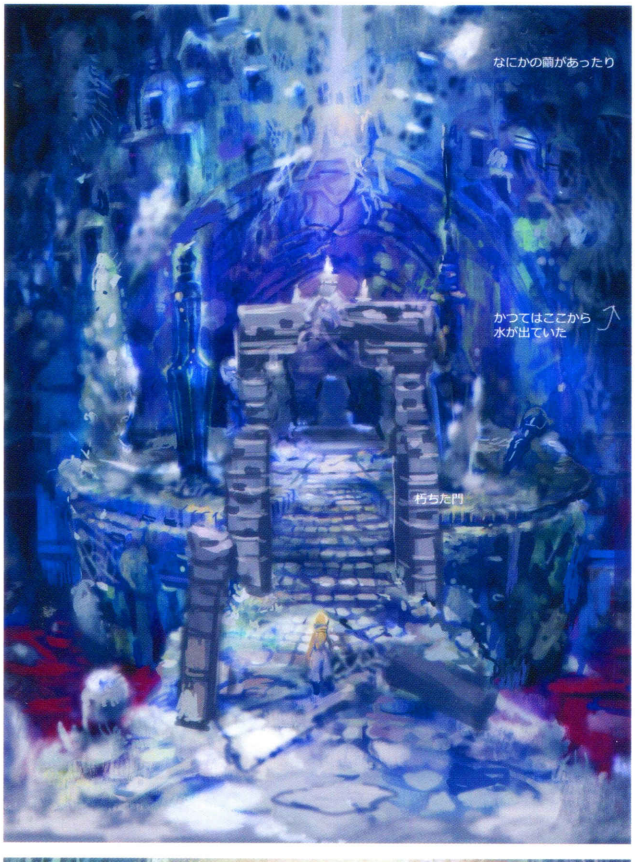




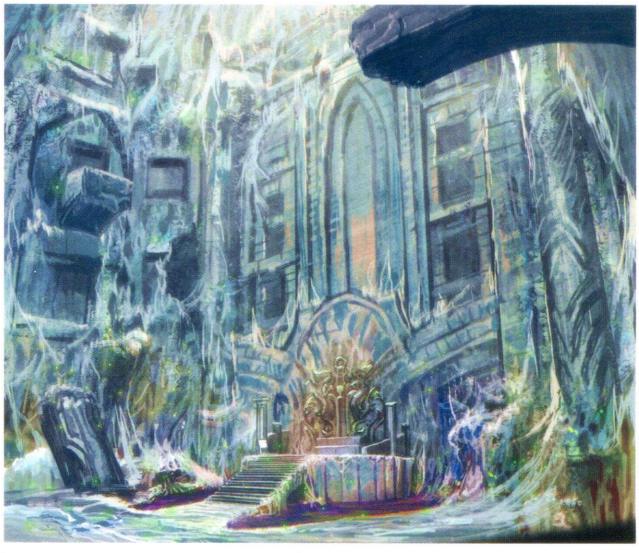




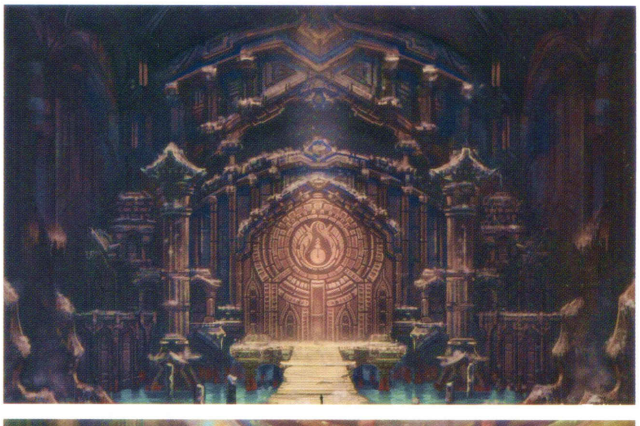


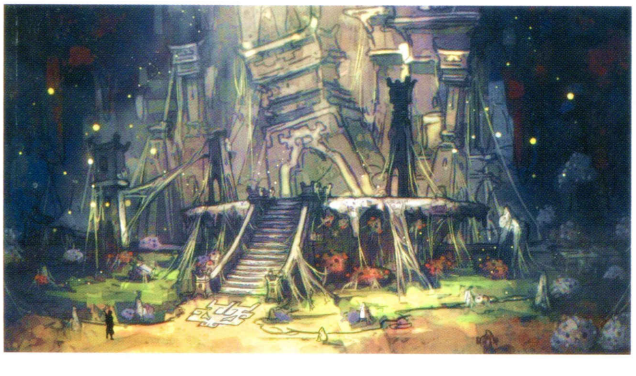


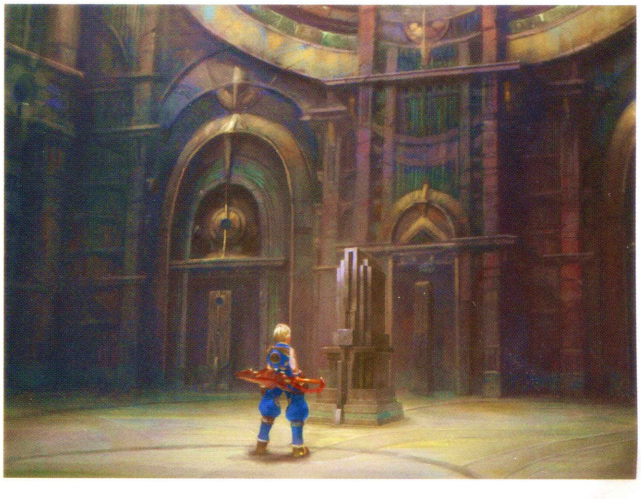

なにかの扉があったり
かつてはここから
水が出ていた
朽ちた門





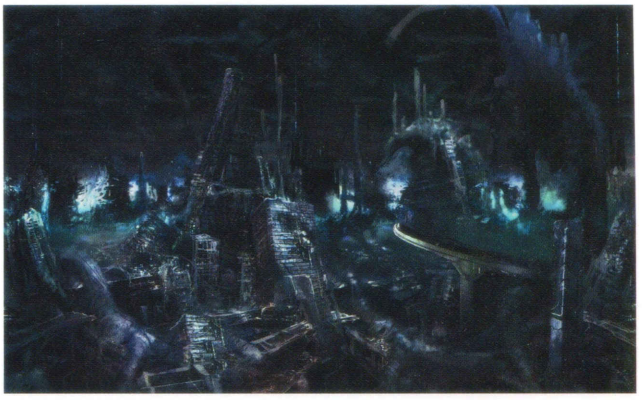






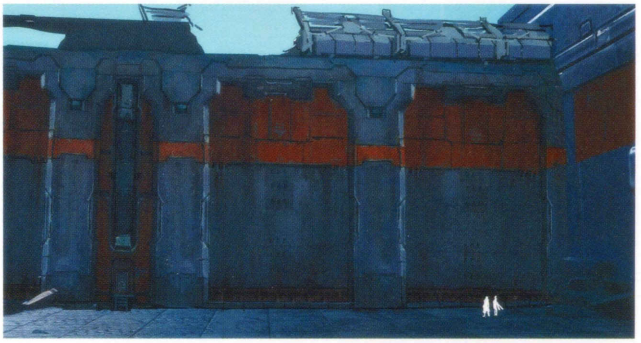
モルスの地









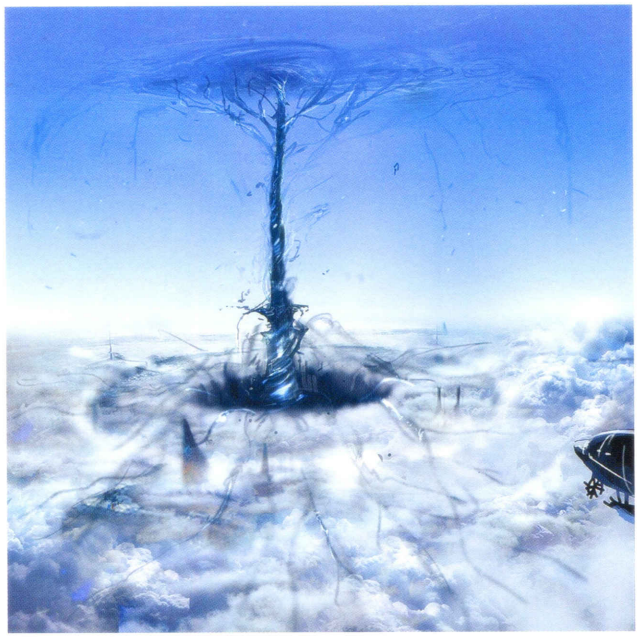




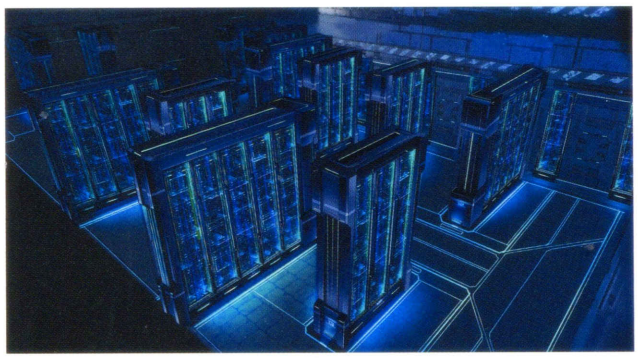


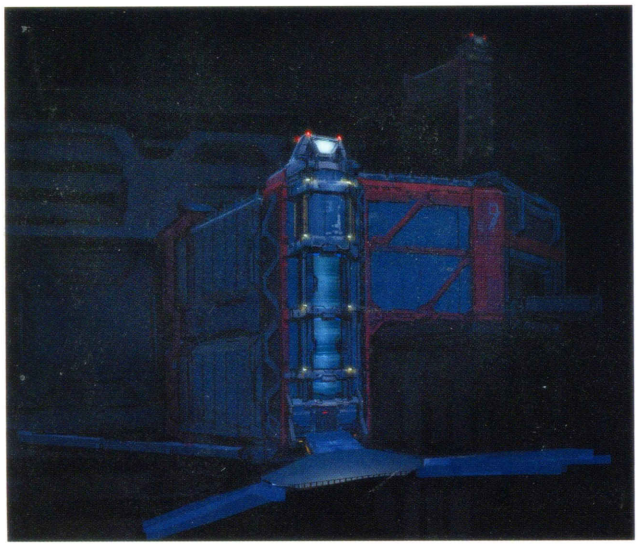
世界樹







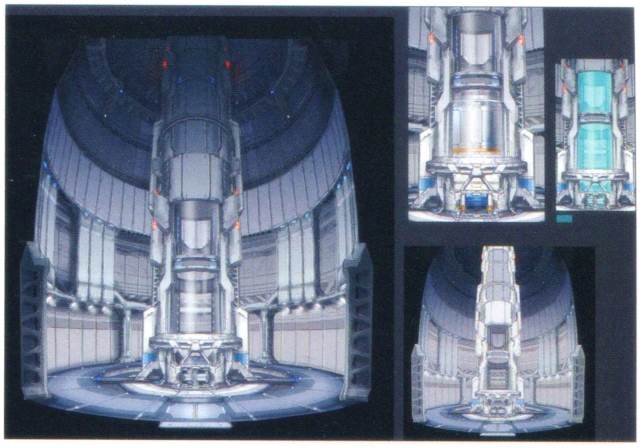


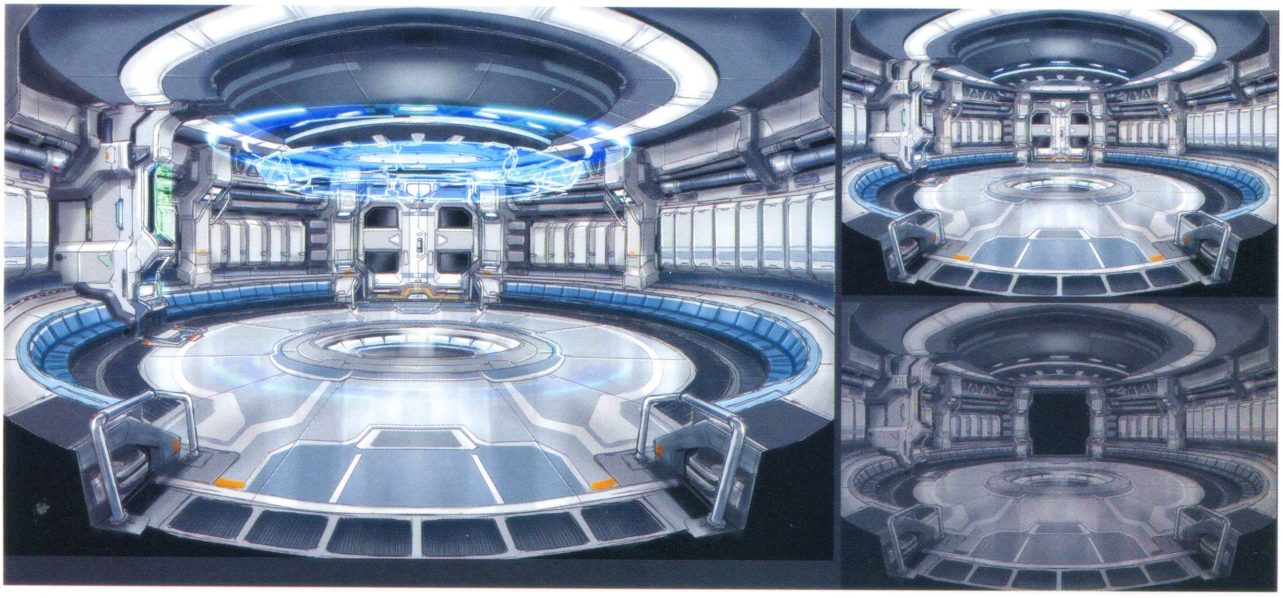


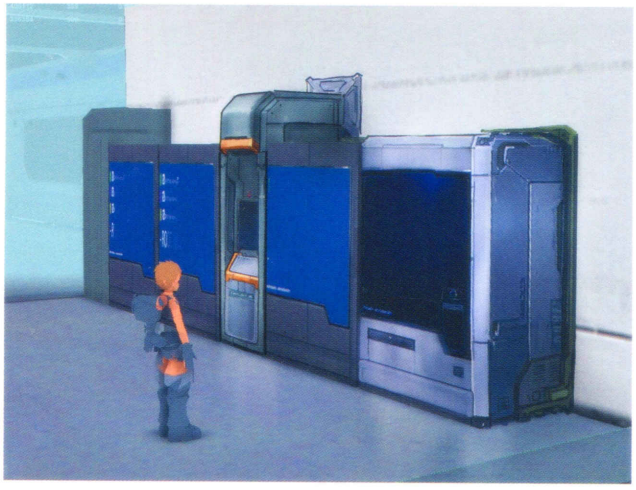


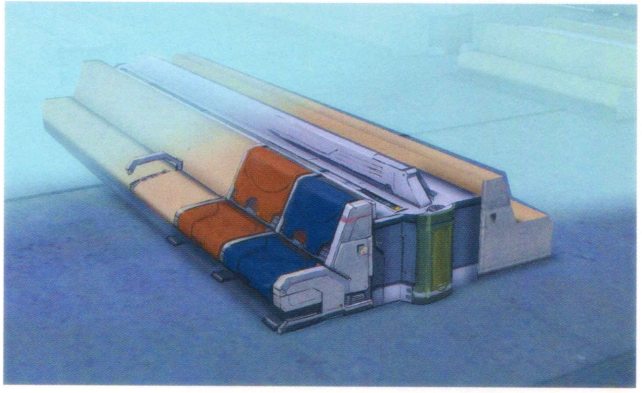
第一低軌道ステーション

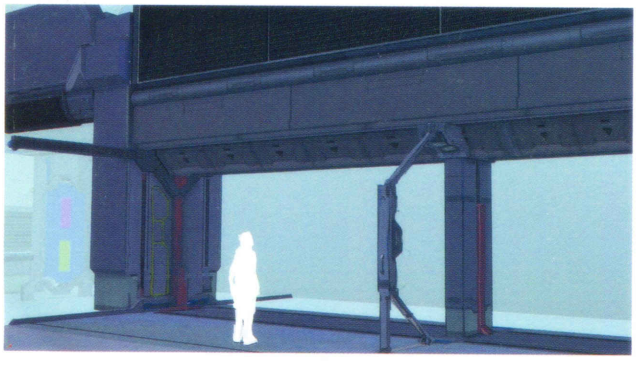




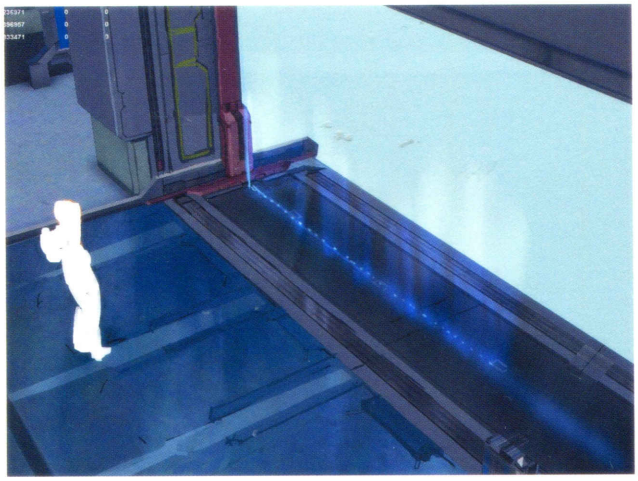


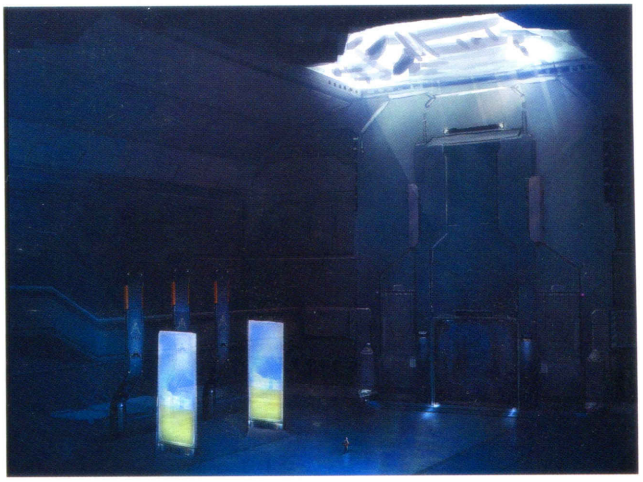


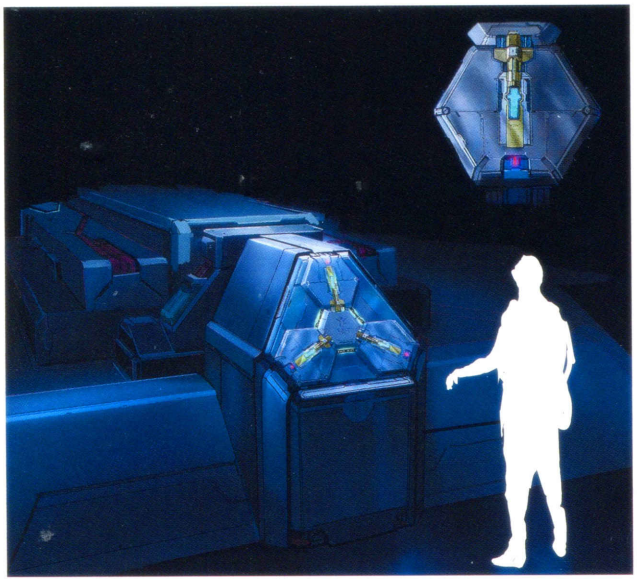


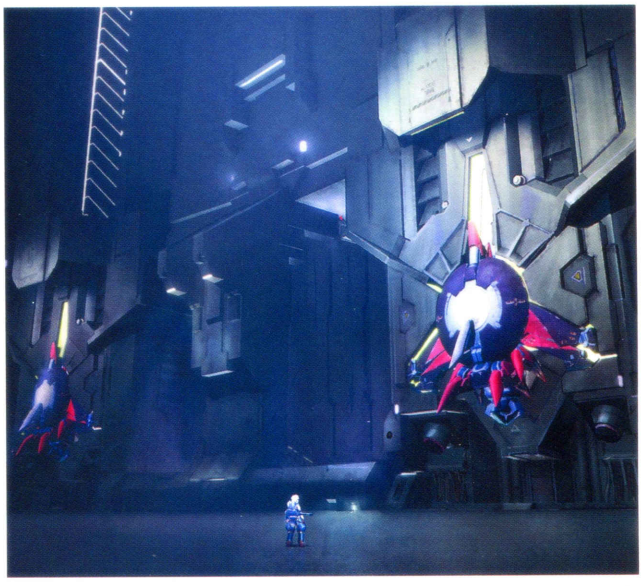


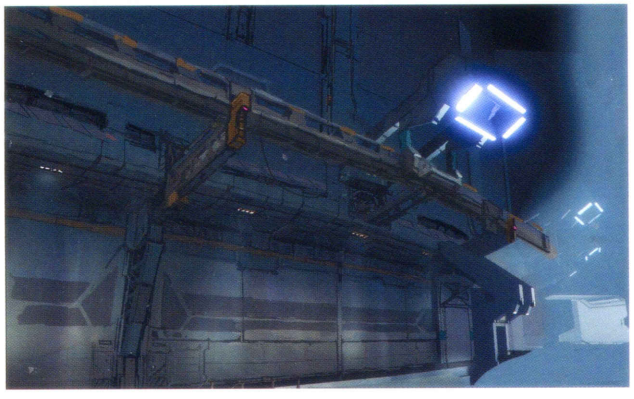


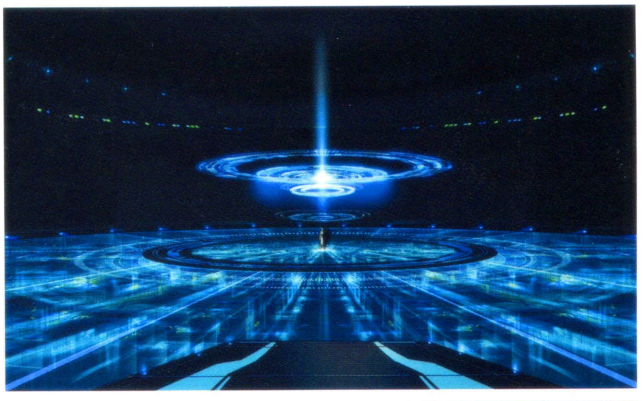


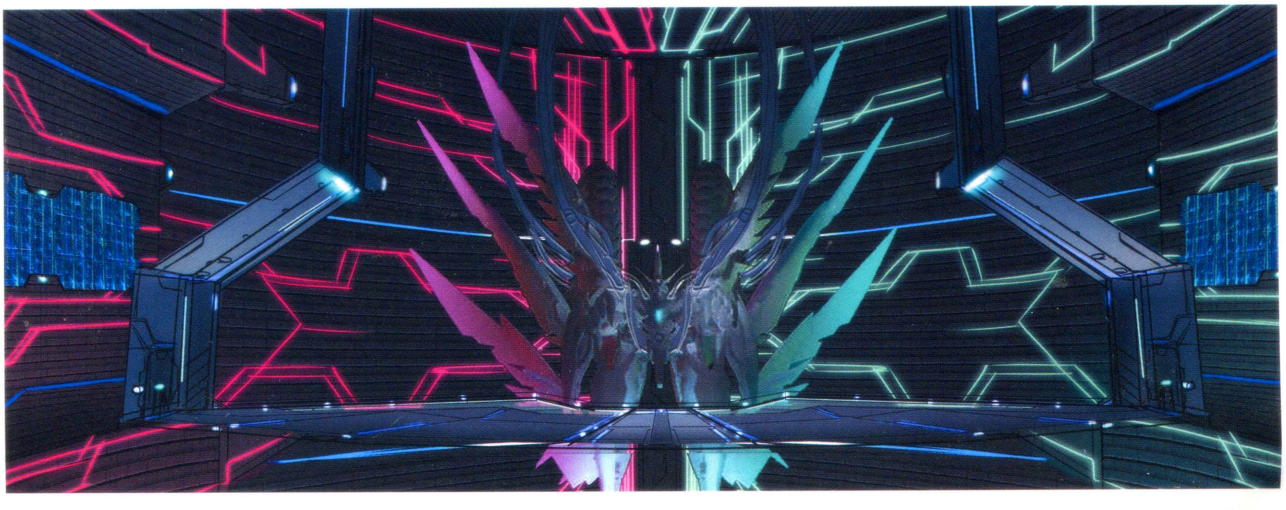












イーラ





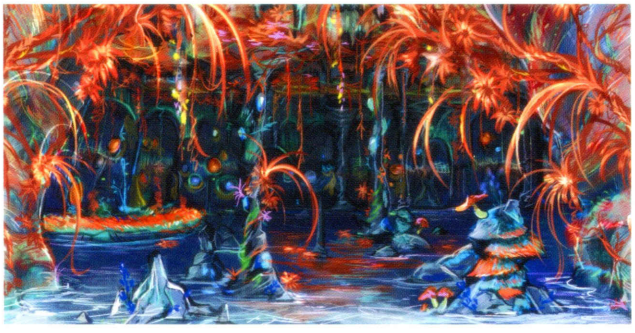


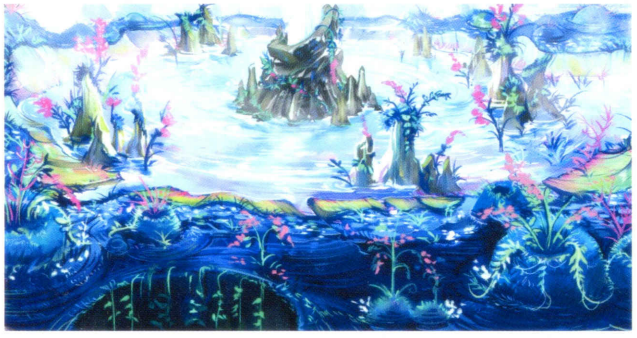




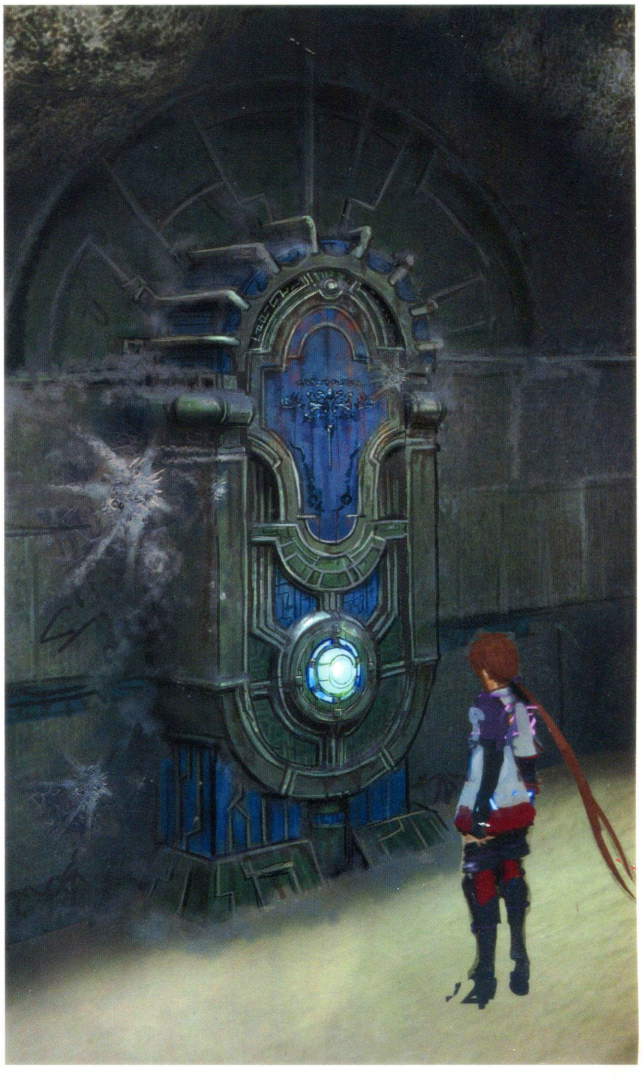




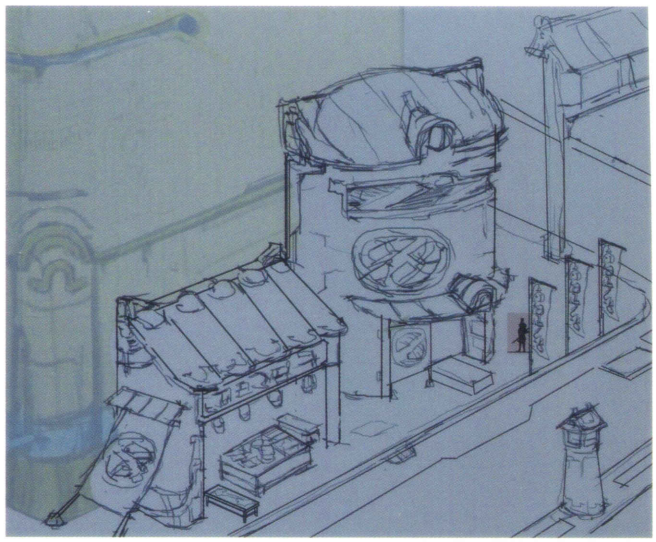








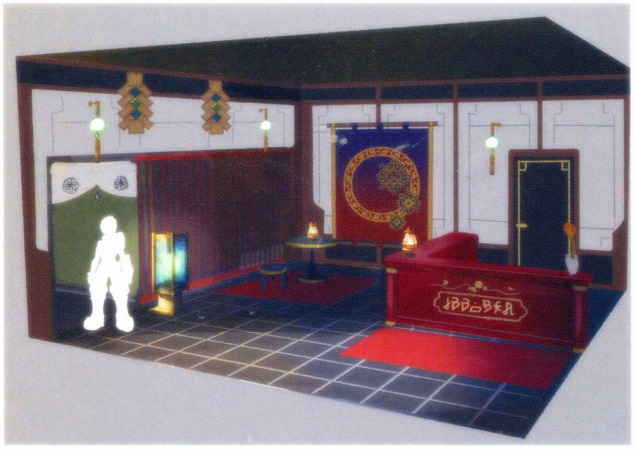


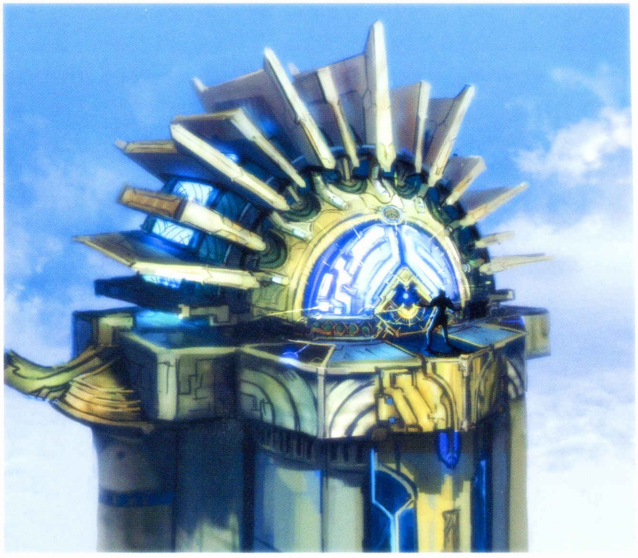


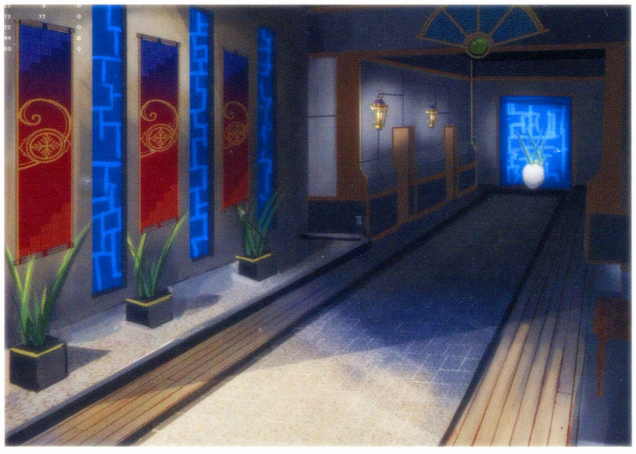


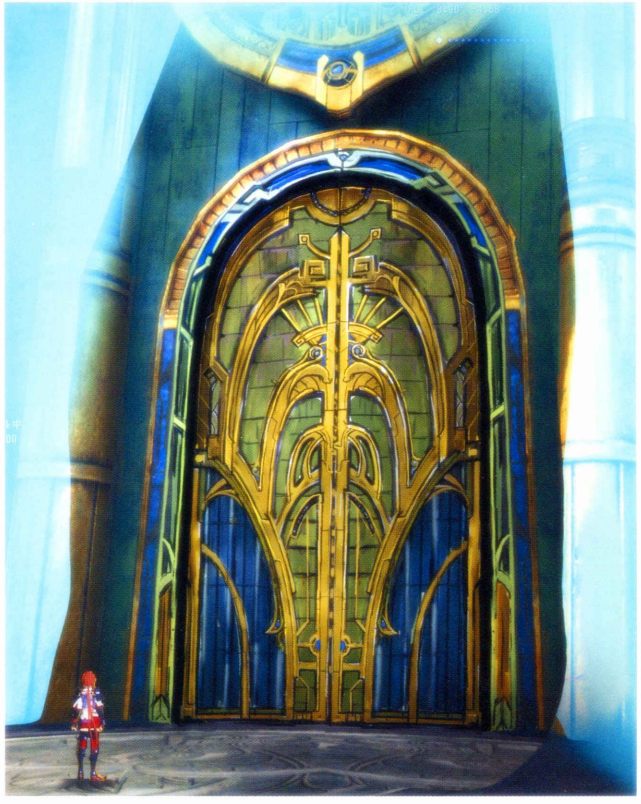


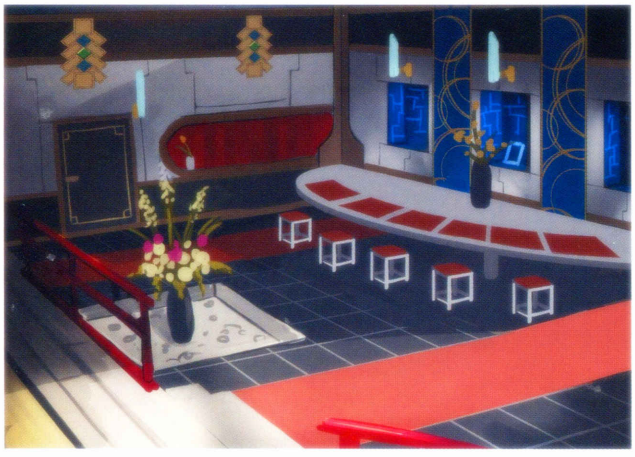








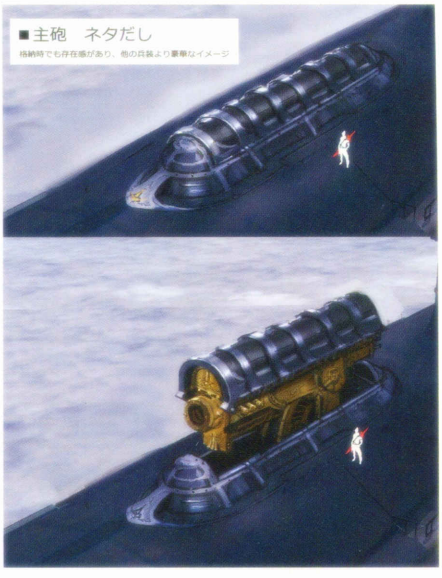






モノケロス



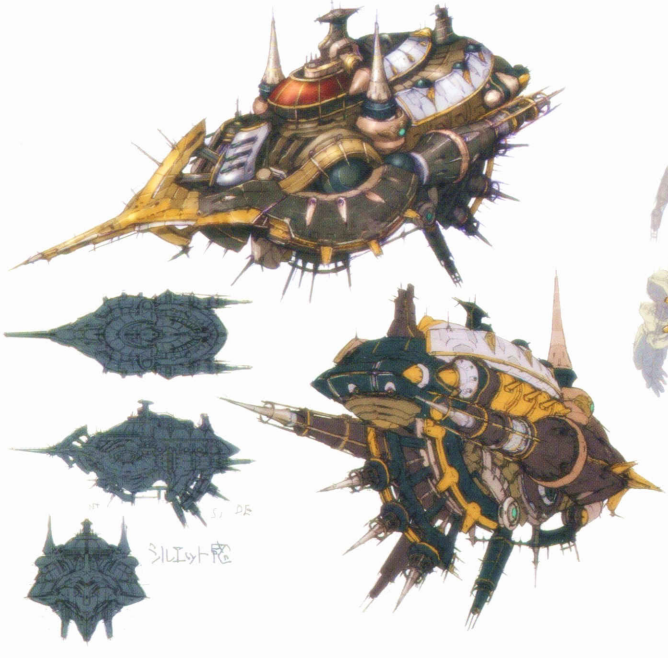

■主砲　ネタだし
格納時でも存在感があり、他の兵装より豪華なイメージ


イーラの技術は動力のみで
武装は基本的に帝国などのものを流用している
一部、対神獣用兵器など特殊なものがある、、、
というネタです。
③弩弓
②小型機関銃？
①神獣用の杭(魚雷風)
③対空迎撃砲or普通の大砲
＊じっちゃんに書かさると
このくらいのスケール


側面↓
正面↓
上面↓


■武装ネタだし　自動弓
①
普段は船体に埋まっている
③
■『シャコッ！』っという感じで飛び出す
④
■首ふりしつつ矢を連射可能

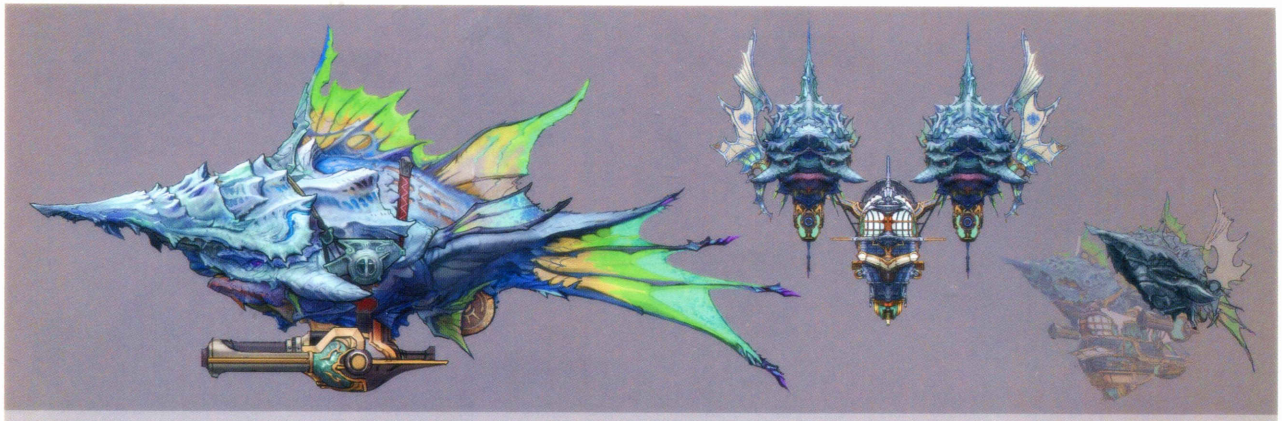
マルサネス

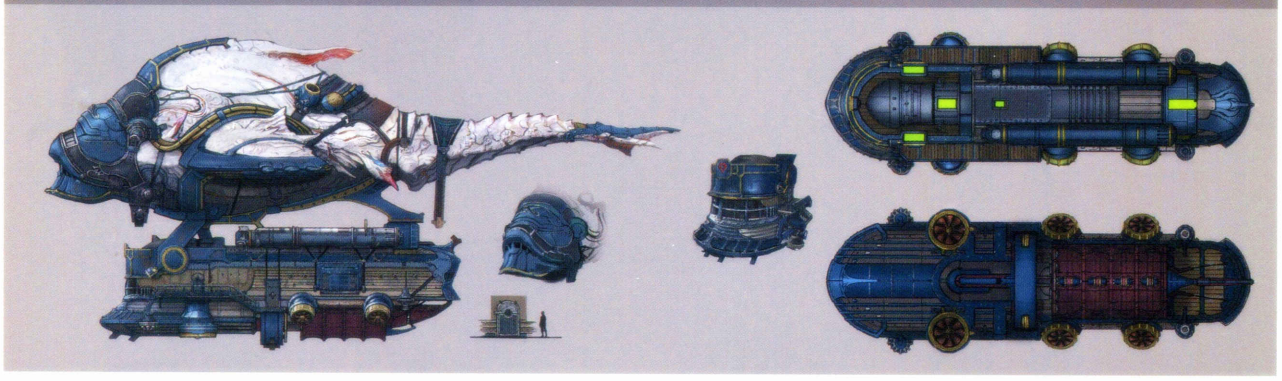

シルエット



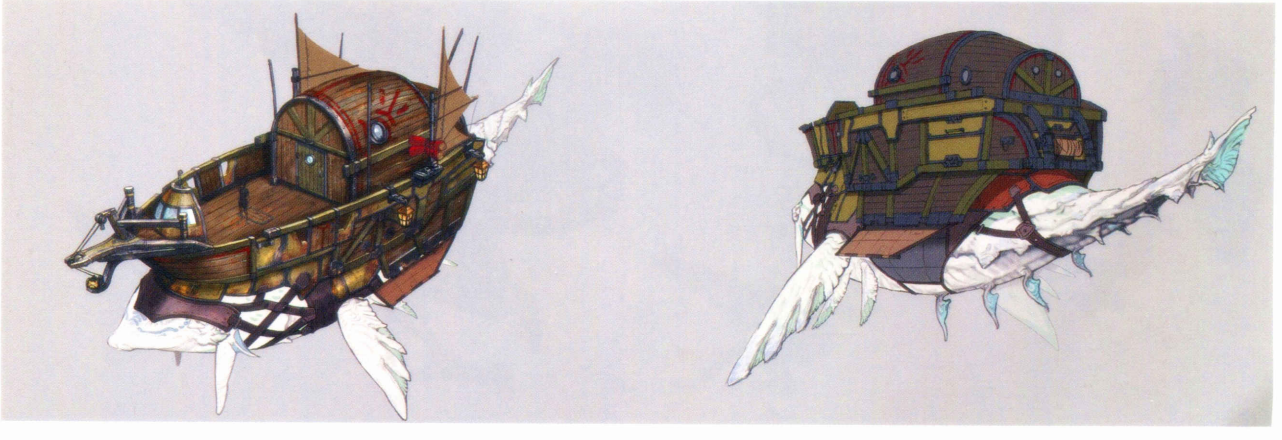
小型巨神獣

巨神獣船









巨神獣兵器







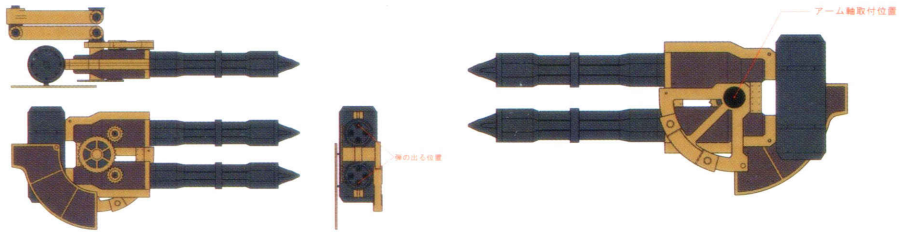









●拘束具有り
爆裂ボルトが爆発
●拘束具無し
拘束具とれる

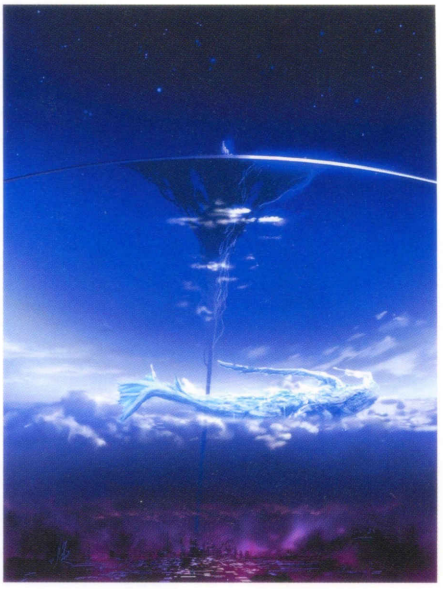

アーム軸取付位置

イメージボード

■世界樹①



■世界樹②



■インヴィディアと雲海



■世界樹③



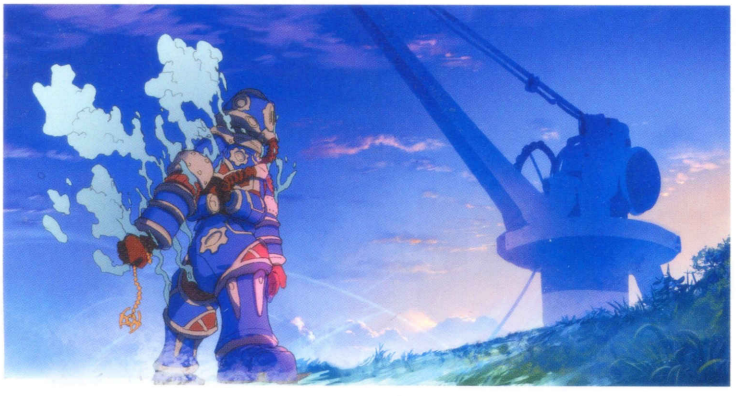
■サルベージ



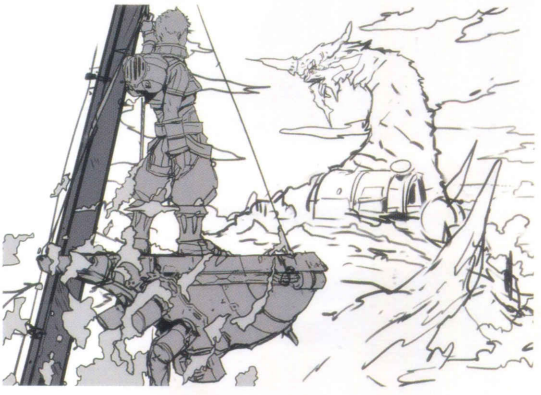
■サルベージクレーン



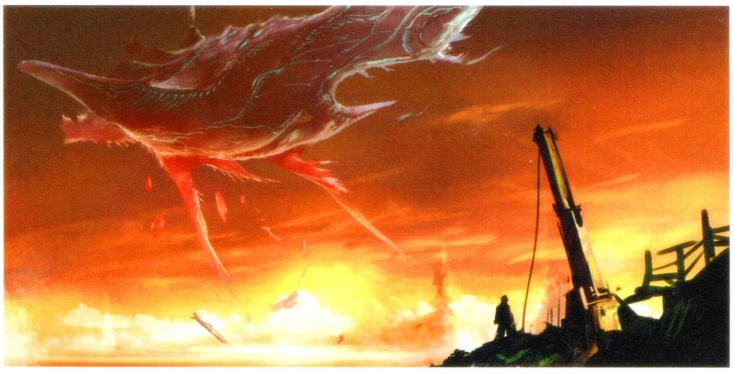
■海の表現



■じっちゃんとの会話



■沈没する巨神獣①



■沈没する巨神獣②



■沈没する巨神獣③



■古代イーラの町を破壊するヒカリ



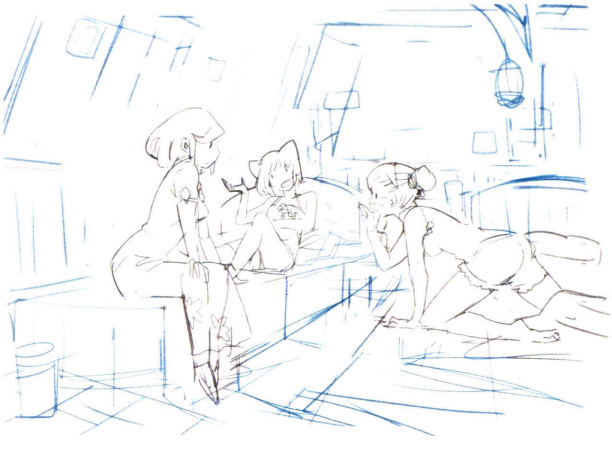
■キャンプ①



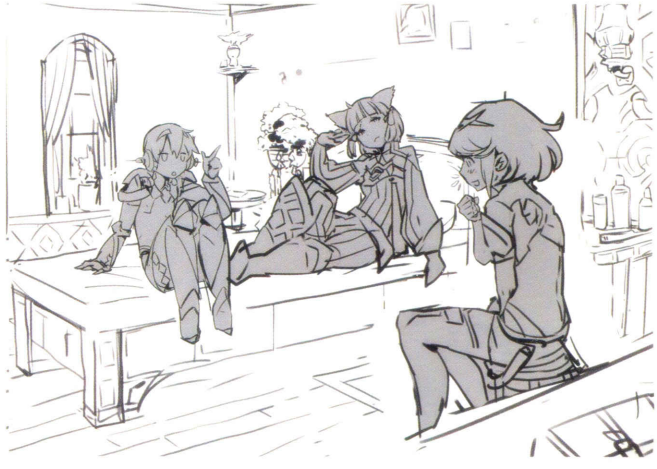
■キャンプ②



■宿屋①



■宿屋②



モンスター

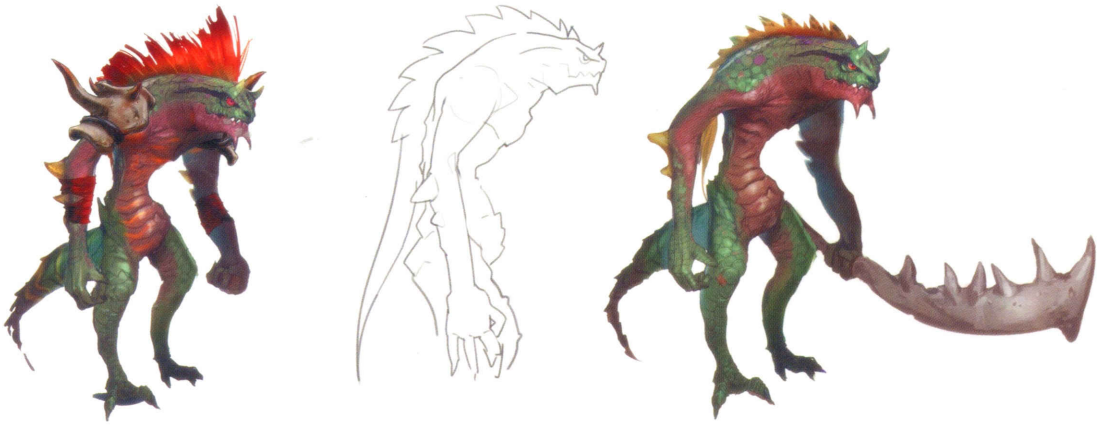
生物系



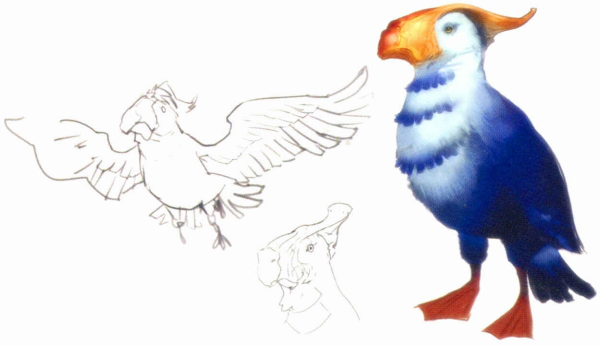

しっぽの房
裏から見るとちょっと山ないに
溢を描いた感じになっています








【ノーマル】
・木製の柄
持ち手部分は布巻かれています
鞘部分は革巻き
・厚み参考
サイズ参考
・石を切り出して荒く磨いた板材
※天然の紅い岩石ベース
筋は地層の積層ライン
・持ち手は木製で布巻き
鞘部は革巻きに
・刃は黒ベースの鉱石（黒曜石）の削りだし
刃の中央は塗ってあります
【ノーマル】
対比参考
・鞘部に羽飾りあり
・こちらは白ベースの鉱石
【色変え版】
・矢筒は皮製の袋に骨の突起
・弓の主素材は骨と木の組み合わせ
・矢は木製、石の矢じり、羽の組み合わせ
【表面】
○昆虫類エネミー等を利用して造られた盾として
【裏面】
・腕の通しベルト
サイズ参考
・持ち手（上下に有）
・中心は回転
※中に専業が残っている→暴発の危険
・各調材の形状参考
※各調材は無理矢理に適定されているのでそれぞれ若干開いて並さっています。
ボルトはワイヤー等で強引に固定されています
・柄は木製
※配管は金属製
対比参考
※この部分のみ金属製
・本体は木製
上部は主に骨と皮革で構成
対比参考
対比参考
・落ちていた樹の一部を槌等代わりとしたものとして
対比参考
対比参考



















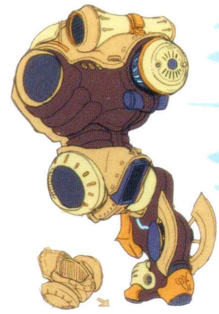




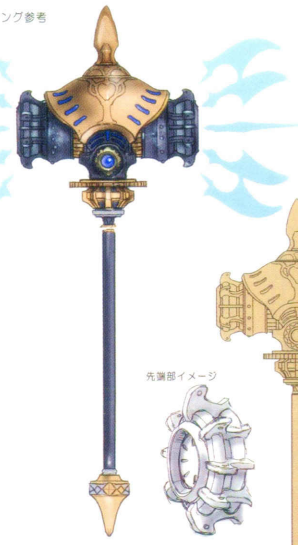








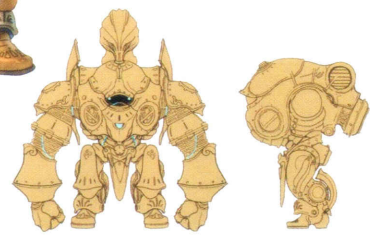
○カラーリング参考



○形状参考
※モデル作成時は以下の図面を基本としてください。



先端部イメージ

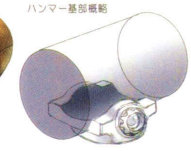




対比参考

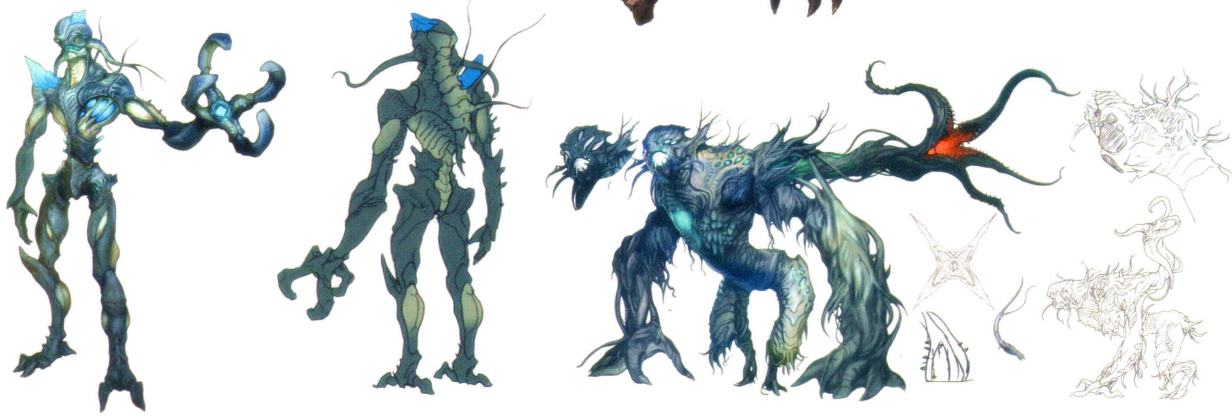


ハンマー基部概略

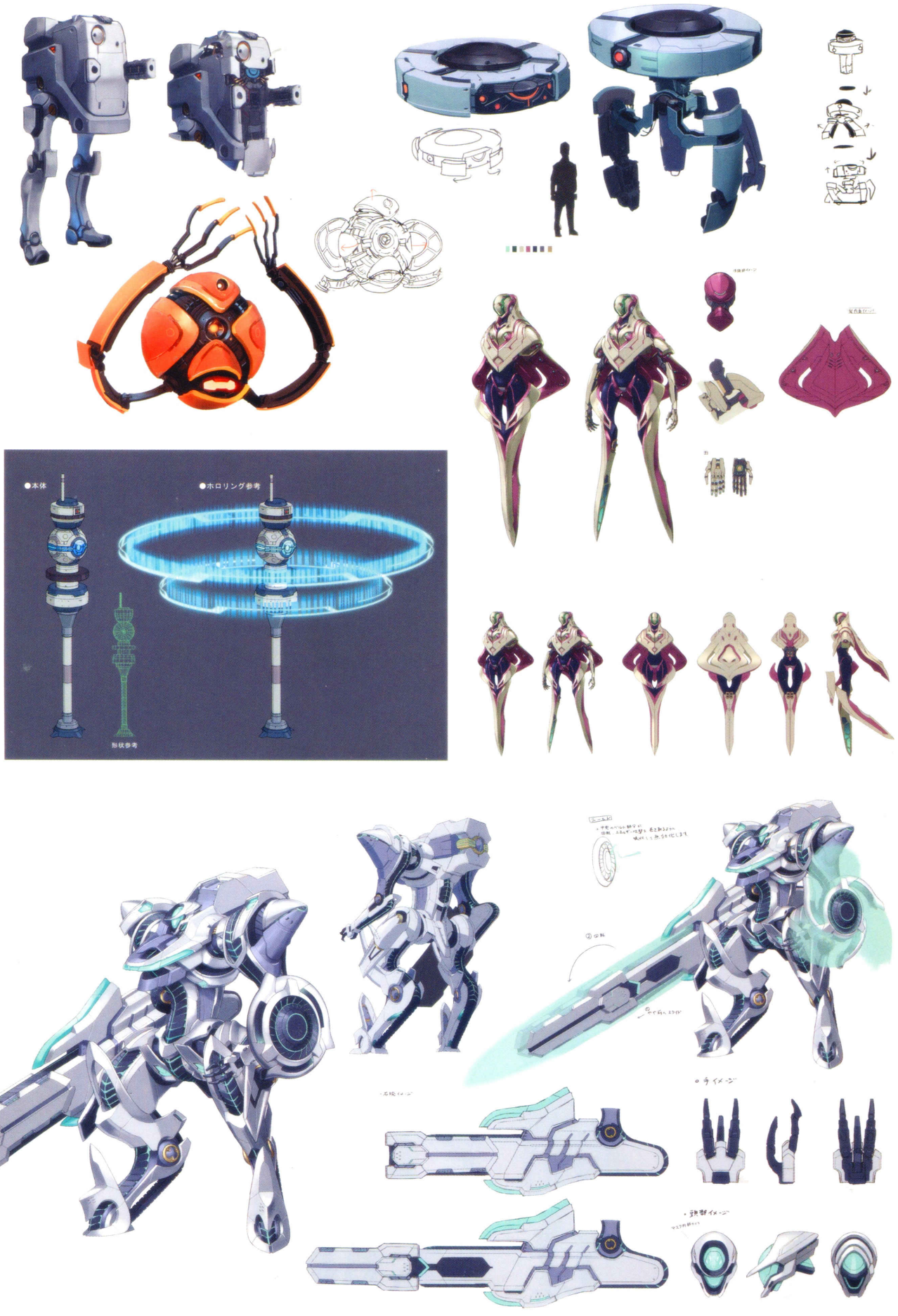




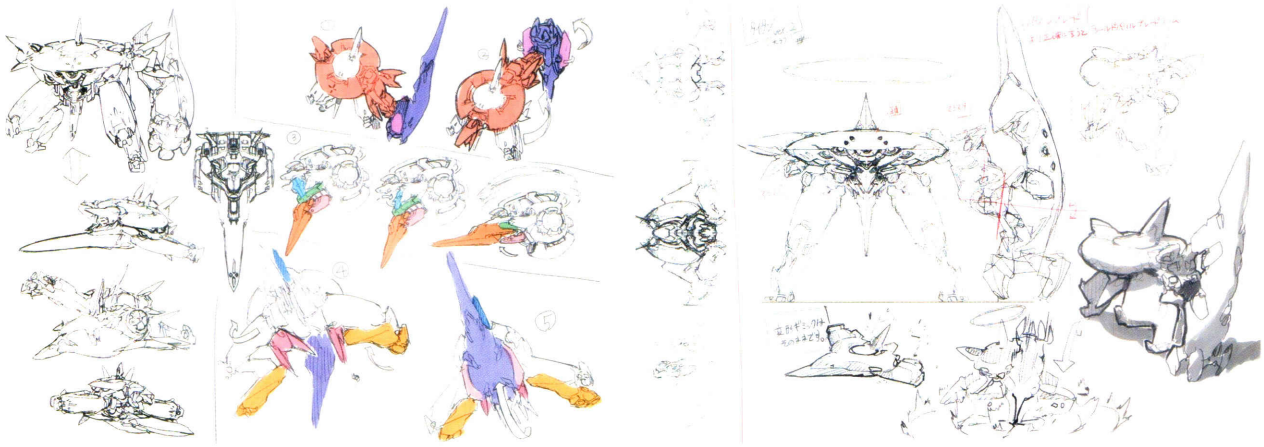


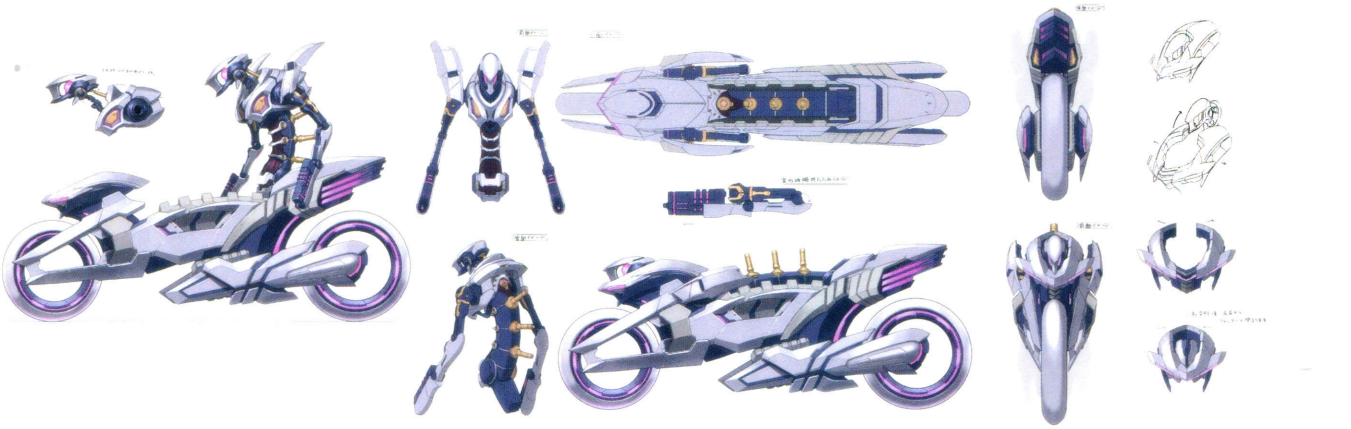


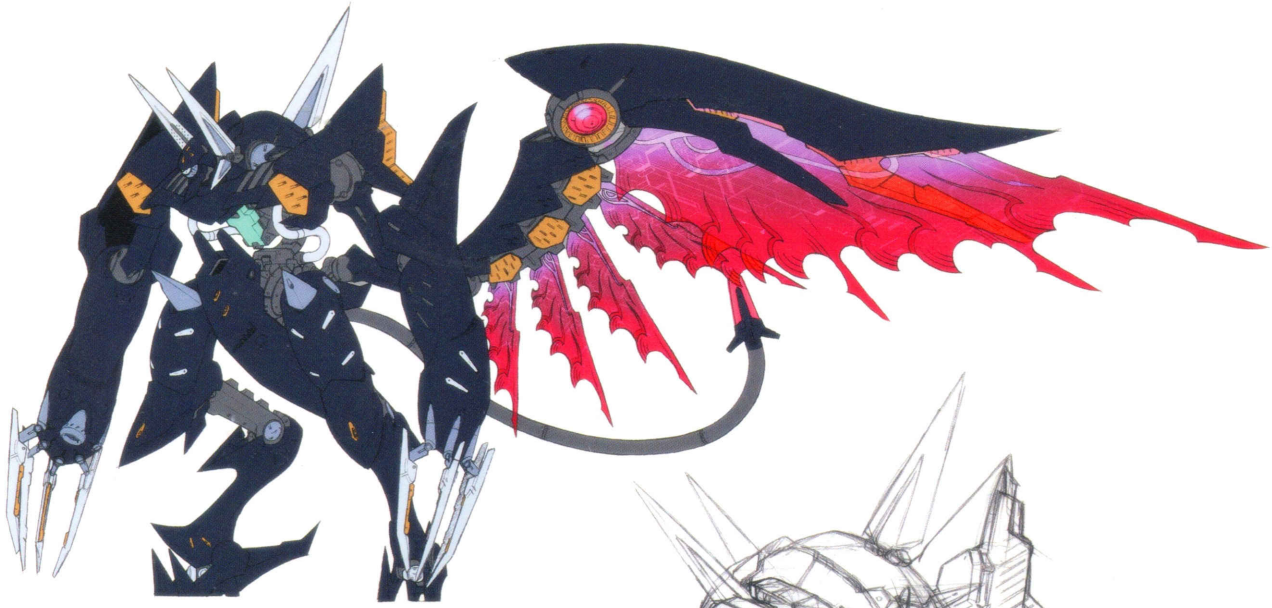
機械系

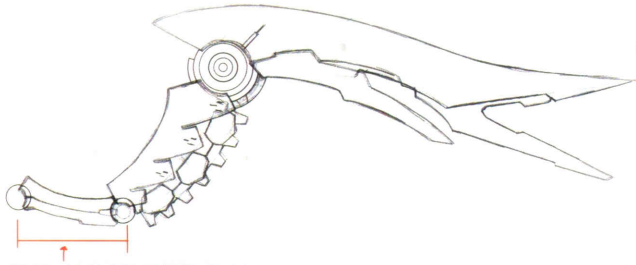


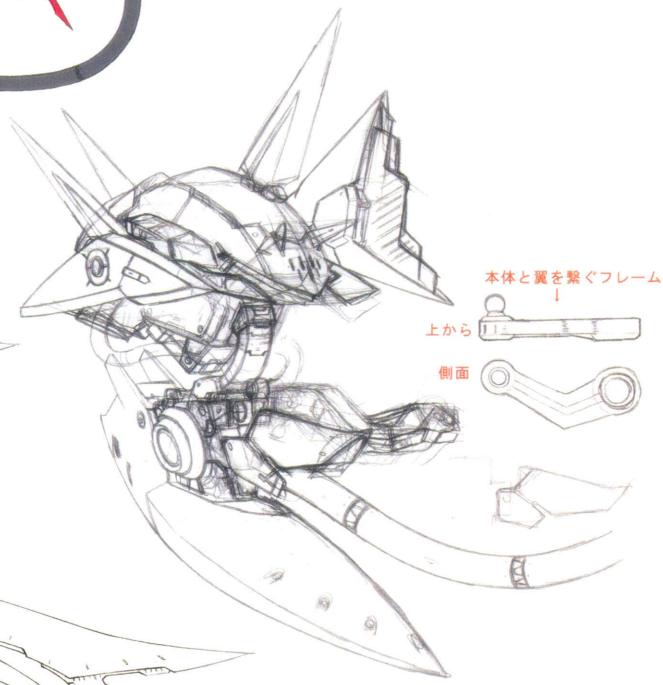

タイタン

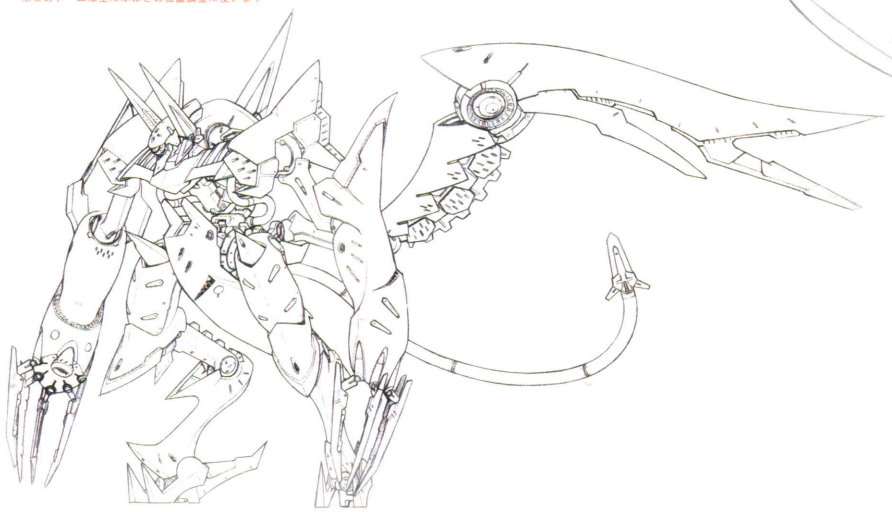


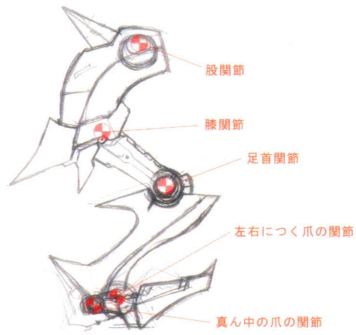





※このアームは主に本体との位置調整に使います


本体と翼を繋ぐフレーム
上から
側面



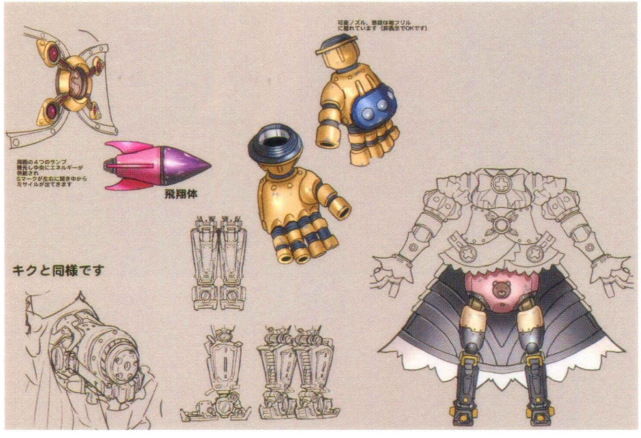

股関節
膝関節
足首関節
左右につく爪の関節
真ん中の爪の関節

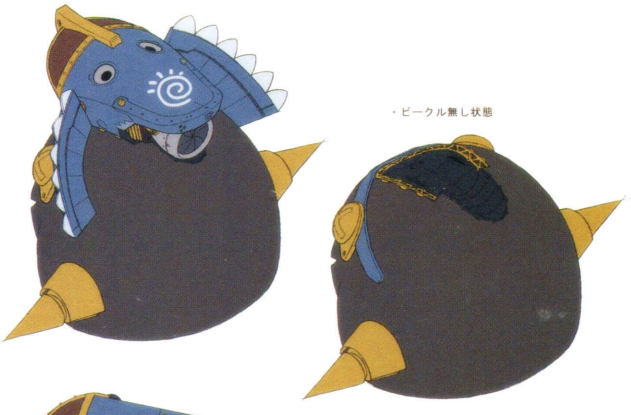


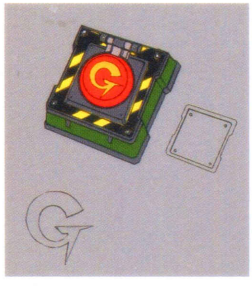


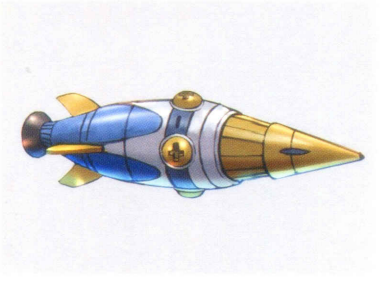
サクラ

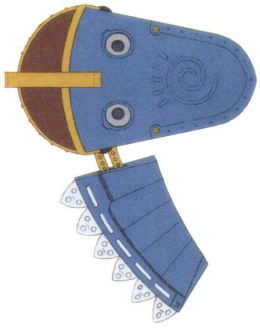


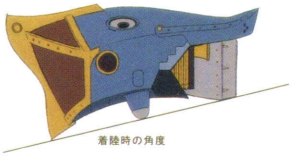


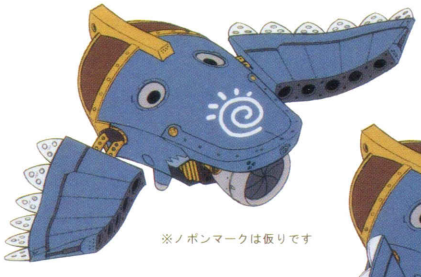


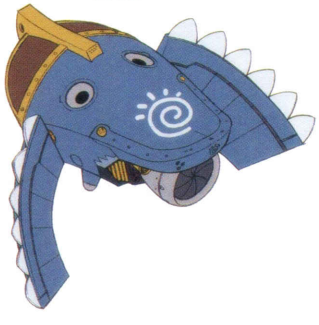


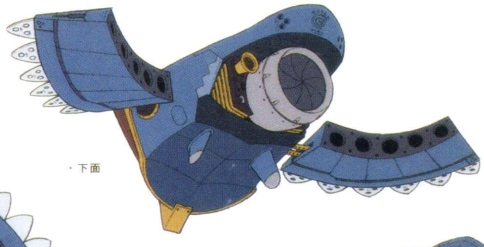


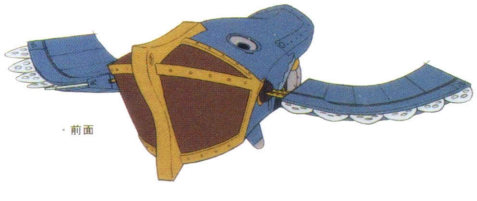




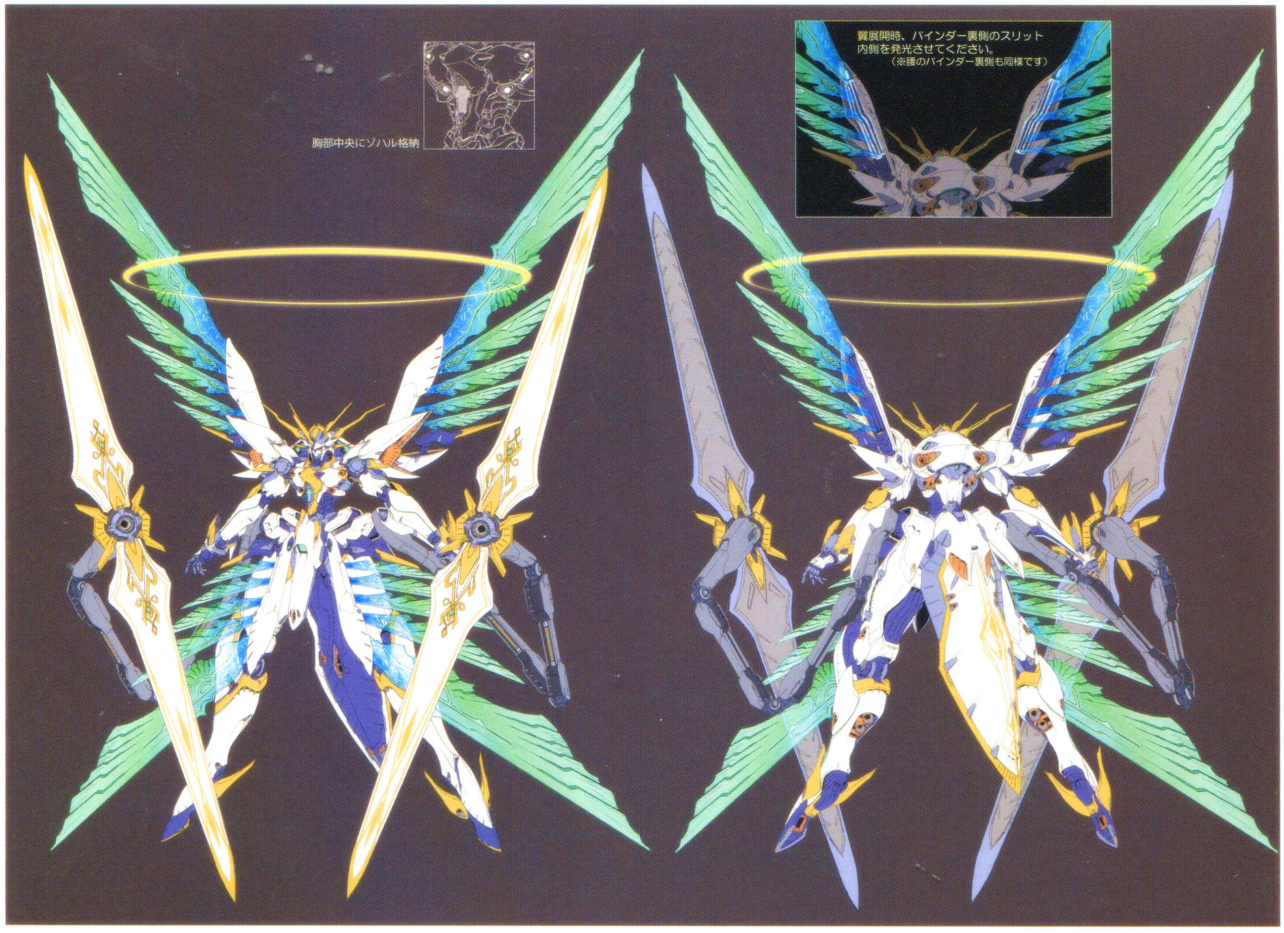


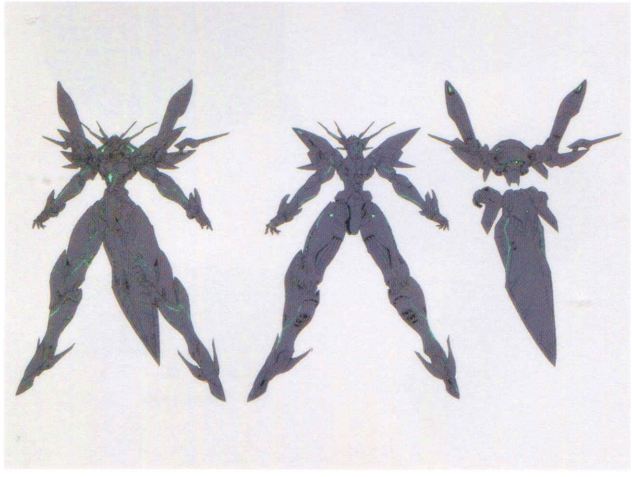


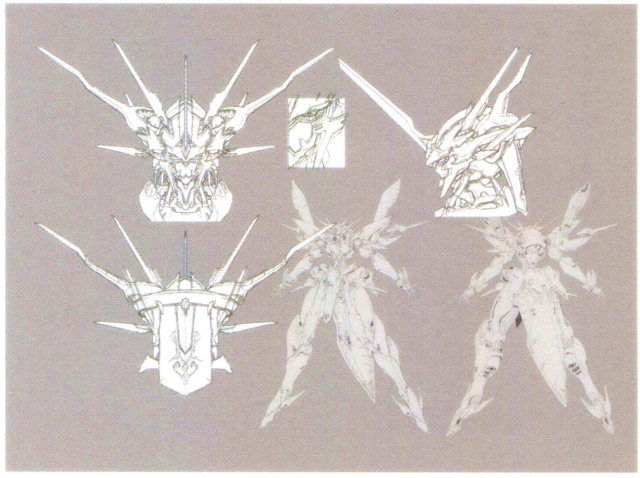


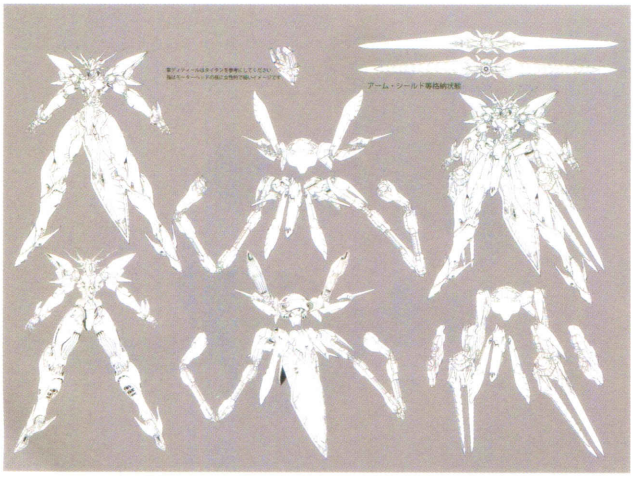


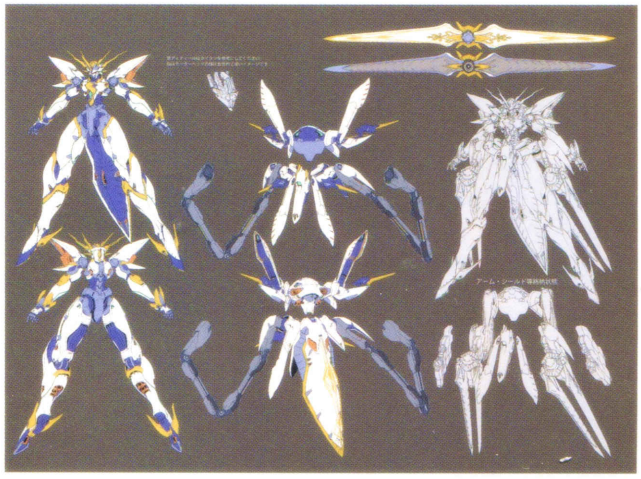
セイレーン


胸部中央にゾハル格納
翼展開時、バインダー裏側のスリット
内側を発光させてください。
（※腰のバインダー裏側も同様です）



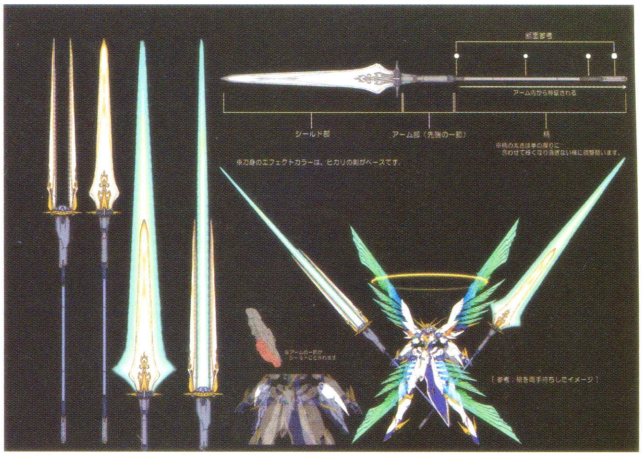


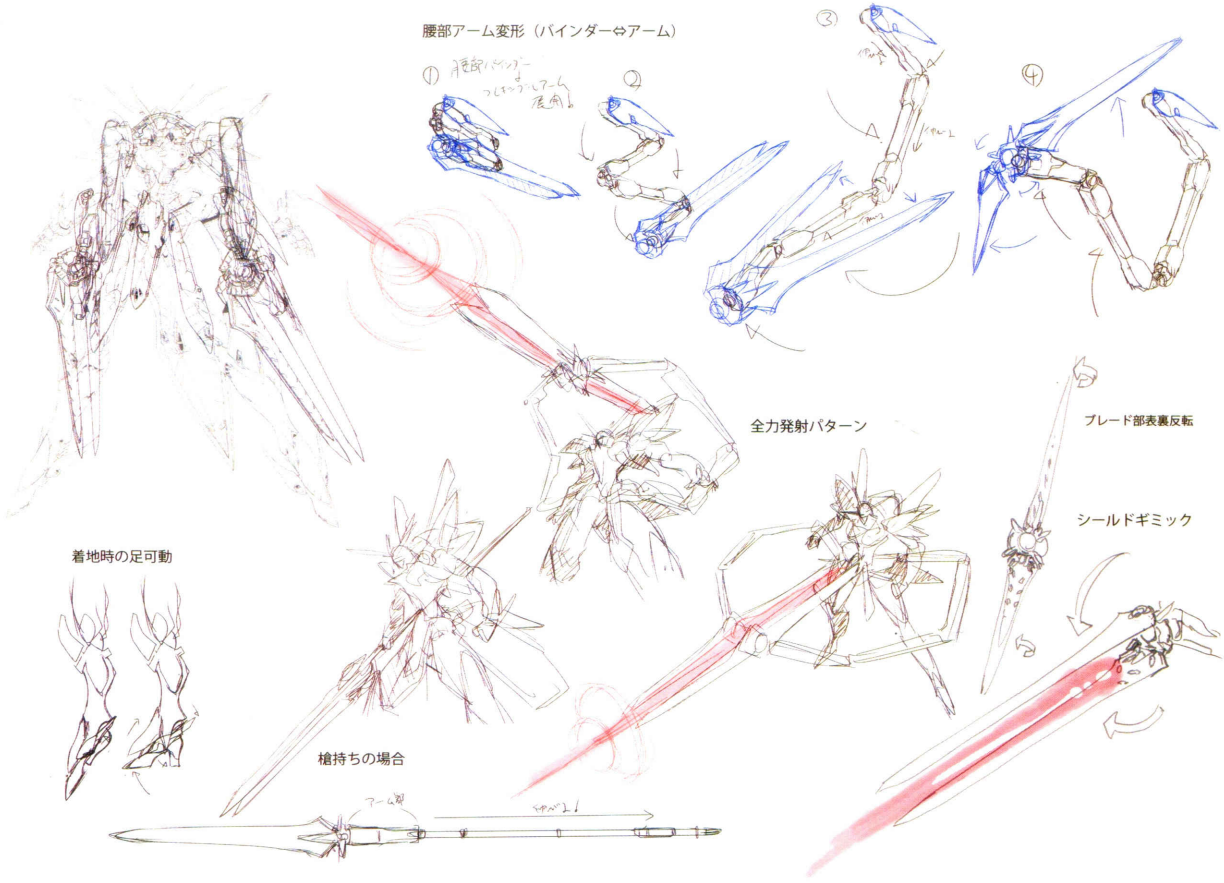

アーム・シールド等格納状態



腰部周辺の詳細イメージとなります。

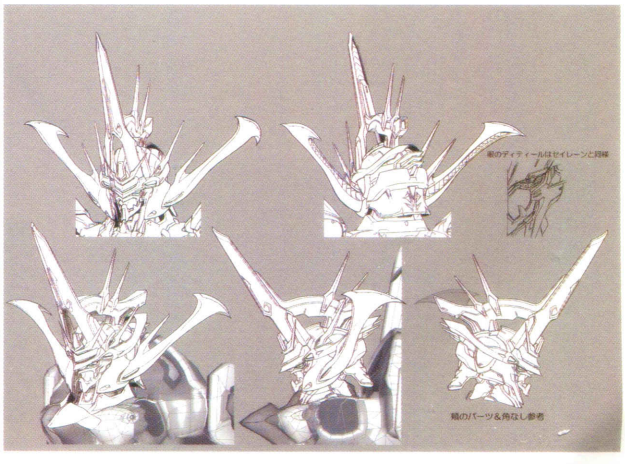
※ソハルの形状及びサイズはモデルに合わせてください。



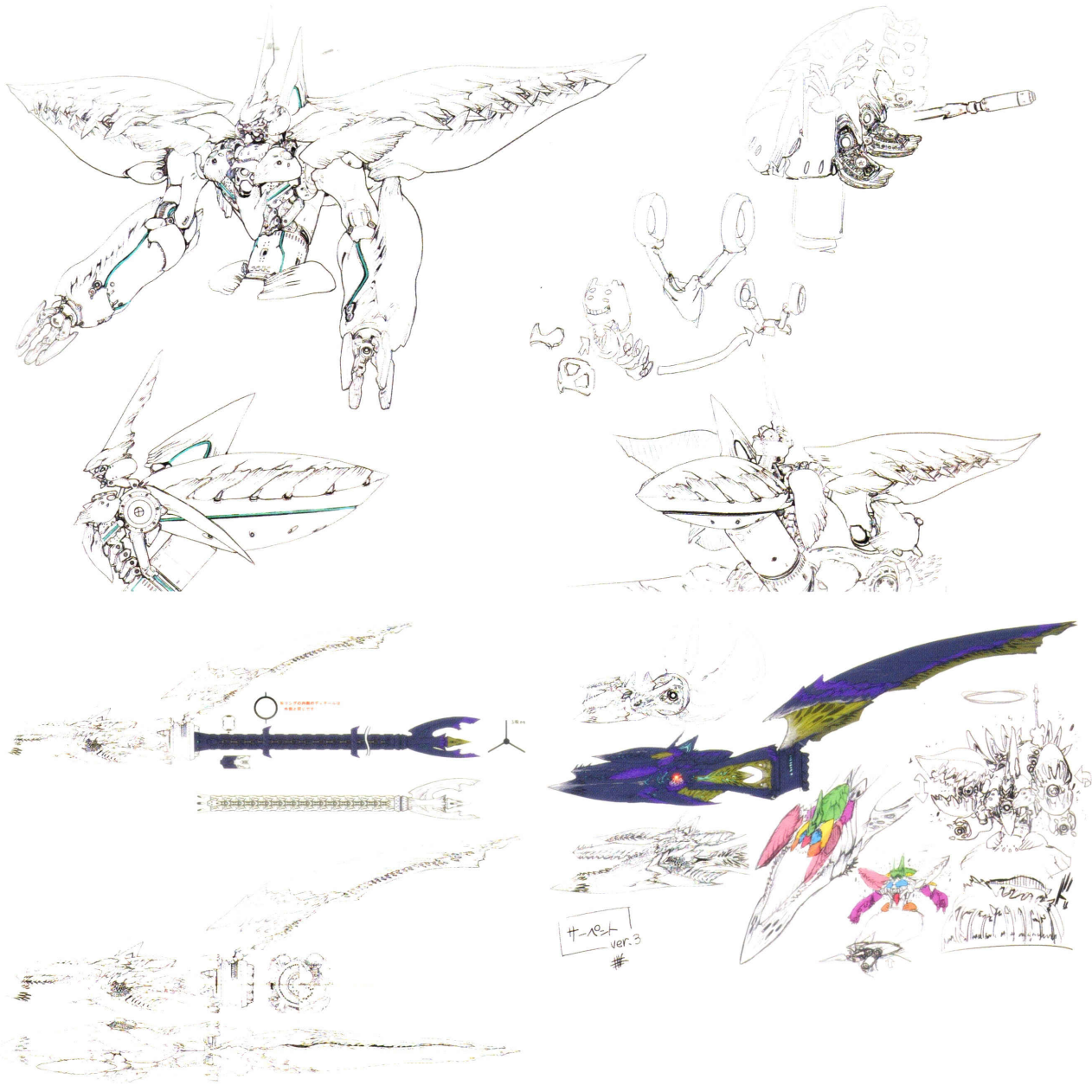


ブラックセイレーン

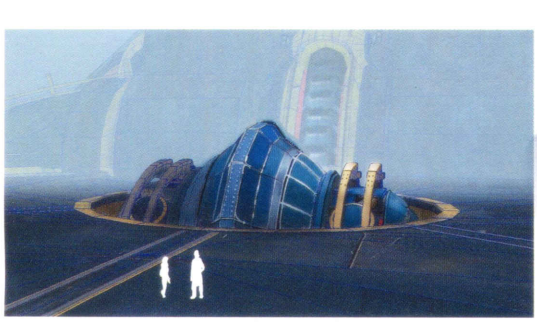




サーペント



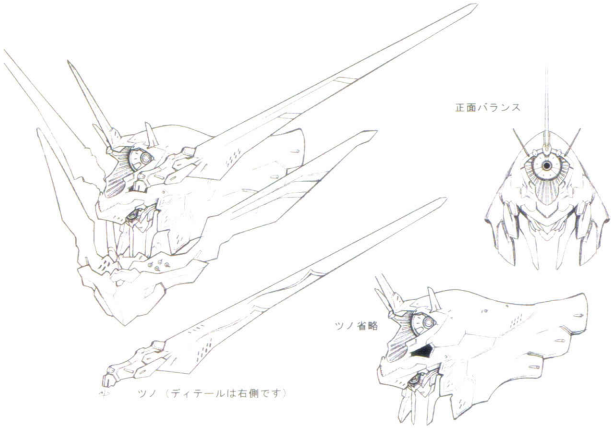
アエーシュマ・コア

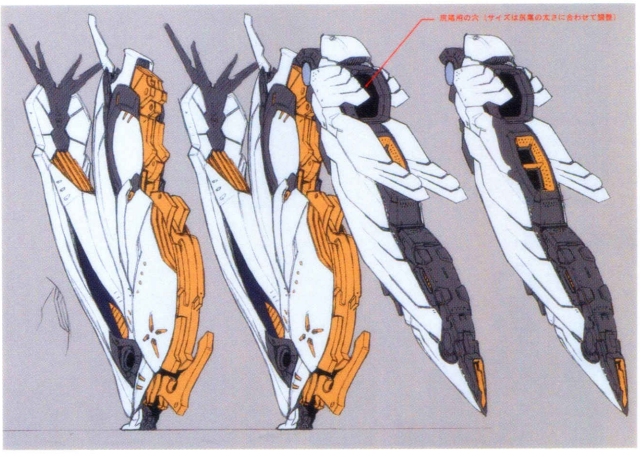


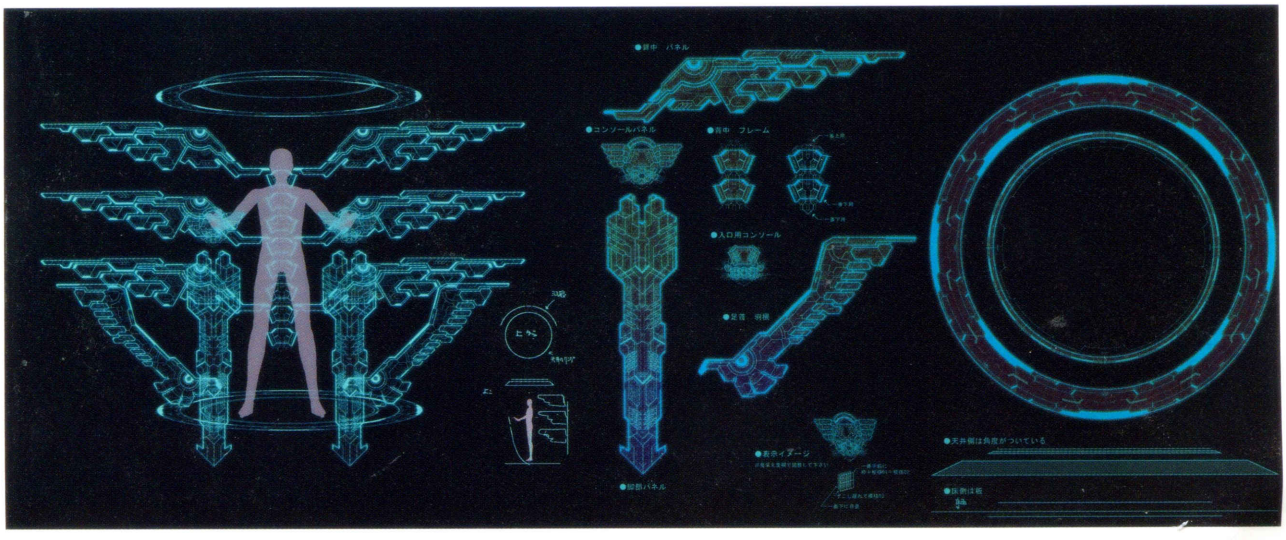


アイオーン・デバイス


※尾のディテールは
省略しています


正面バランス
ツノ省略
ツノ（ディテールは右側です）

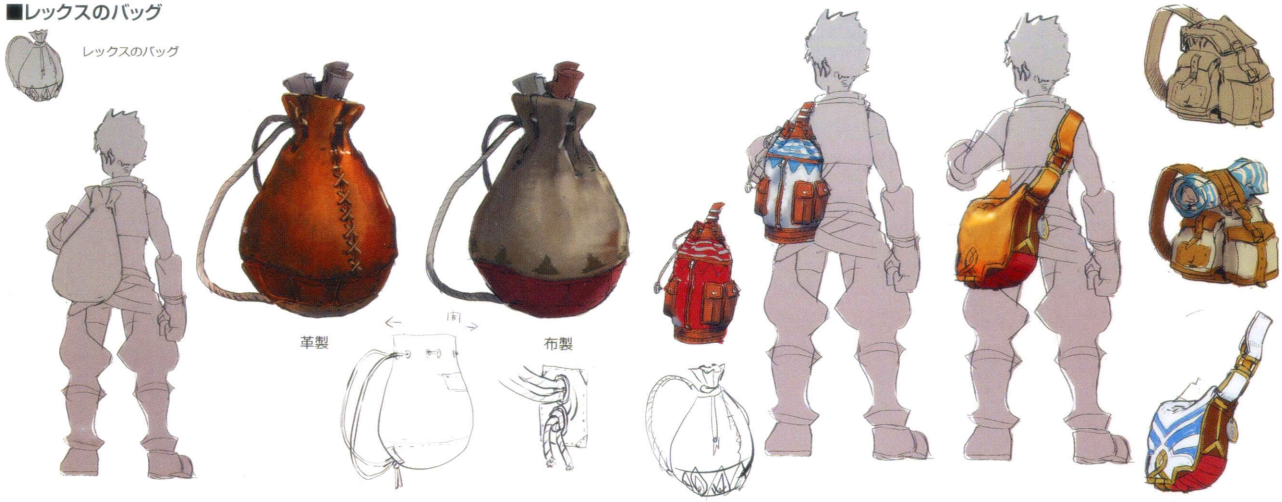

尻尾用の穴（サイズは尻尾の太さに合わせて調整）


●背中 パネル
●コンソールパネル
●背中 フレーム
●入口用コンソール
●足首 羽根
●表示イメージ
●腰部パネル
●天井側は角度がついている

小物・オブジェクト

キャラクターが持つ小物や、いろいろな場所に置かれているオブジェクトを紹介している。
アルスト文字とアルファベットの対応表もあるので、気になる文字があったら解読してみよう。

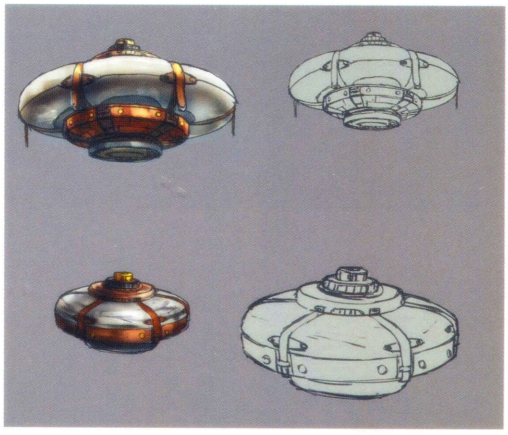
■レックスのバッグ



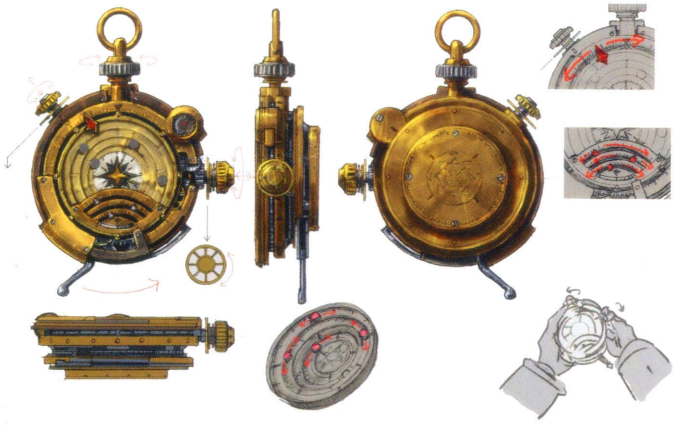
■エアボンベ



■小型フロート



■雲海羅針盤



■携帯ランプ



■バール



■双眼鏡



■ホムラの手料理



■ホムラの封印カプセル

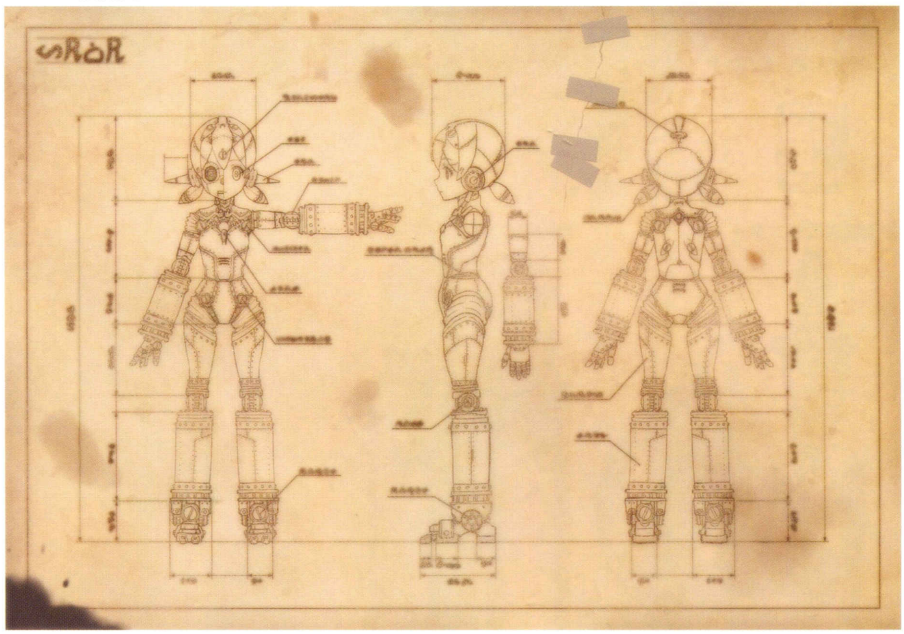




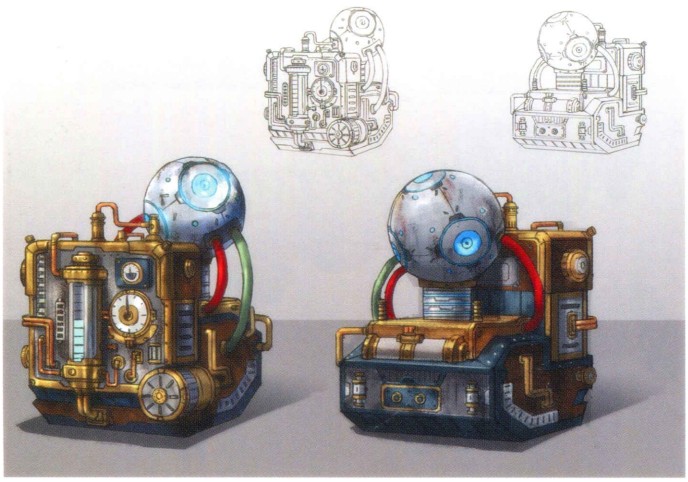
■TIGER! TIGER!の筐体



■ハナの設計図



■充電器



■ハナ起動装置



■カグツチの日記帳



■ジークの懐刀

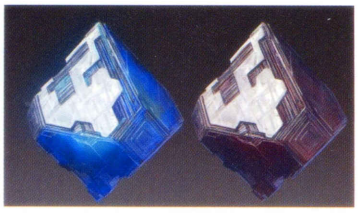




■カメキチ



■コアクリスタル



■シンの日記帳





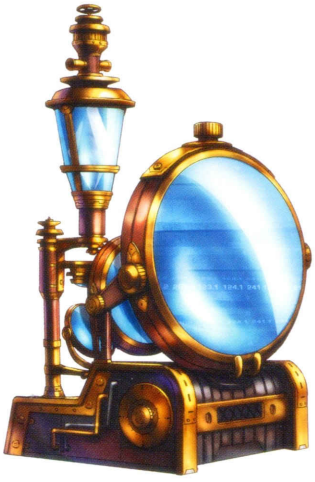
ペンを挟んでいたバンド



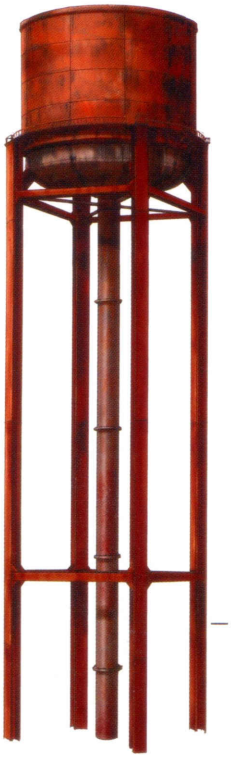
■過去の写真

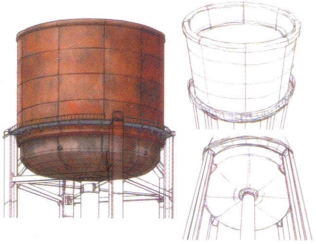


■水晶通信モニター



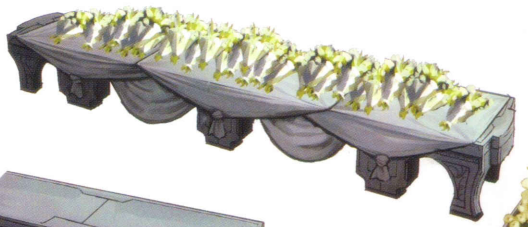
■貯水タンク

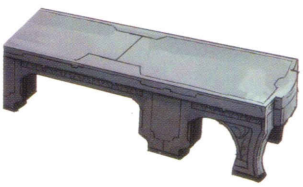




■棺と献花台





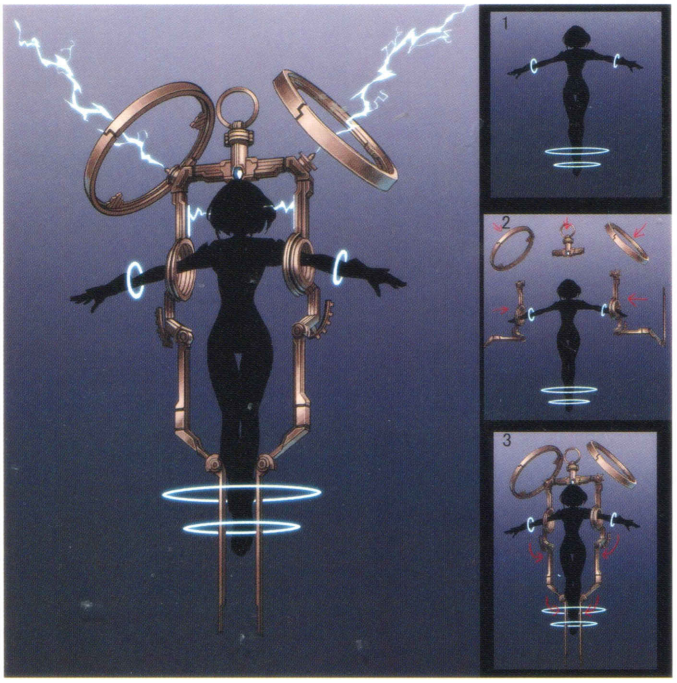




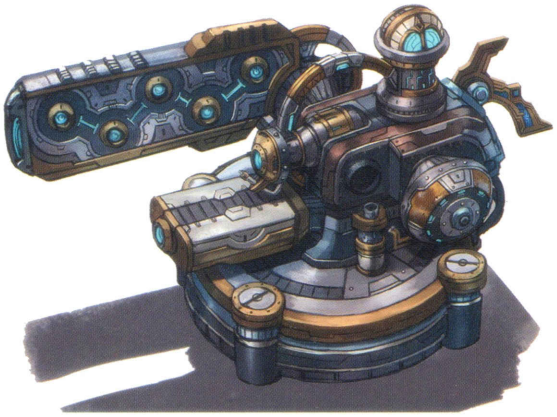
■コールの短剣



■拘束ケージ



■エーテル加速器



■エーテル加速器の操作パネル



■サンクトスチェイン



■バーンの油彩



■歌姫のポスター



■海賊ノポン



■美術店に置いてある絵画



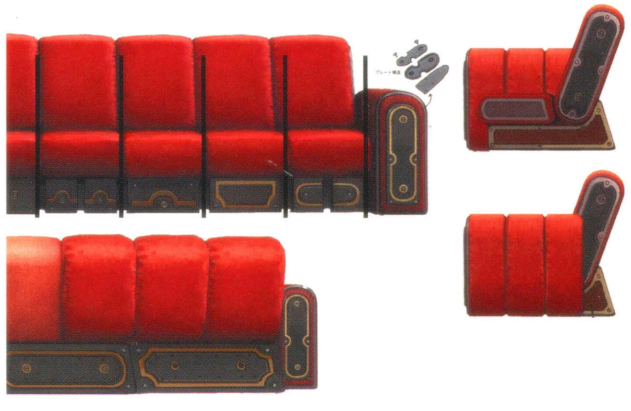
■怪盗ノポンのカード



■調度品

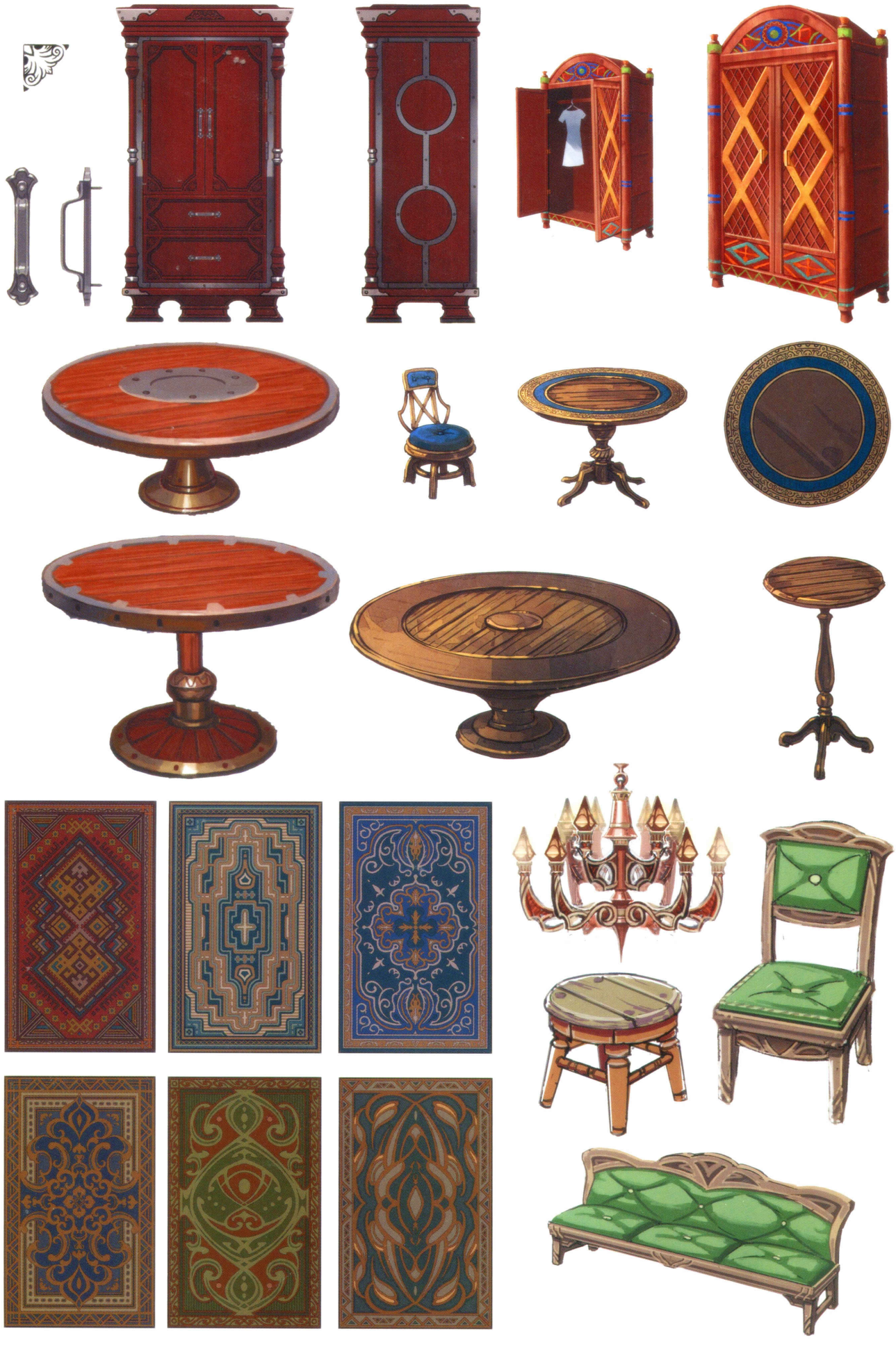








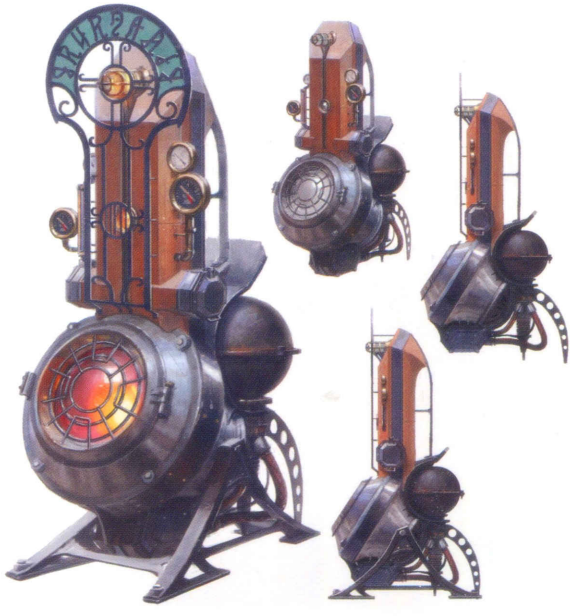
■宝箱



■樽



■アシストコア活性機



■各地にある小物やオブジェクト



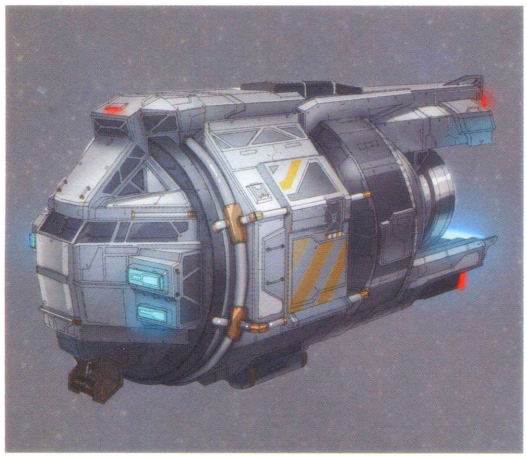
■名を冠する者の墓



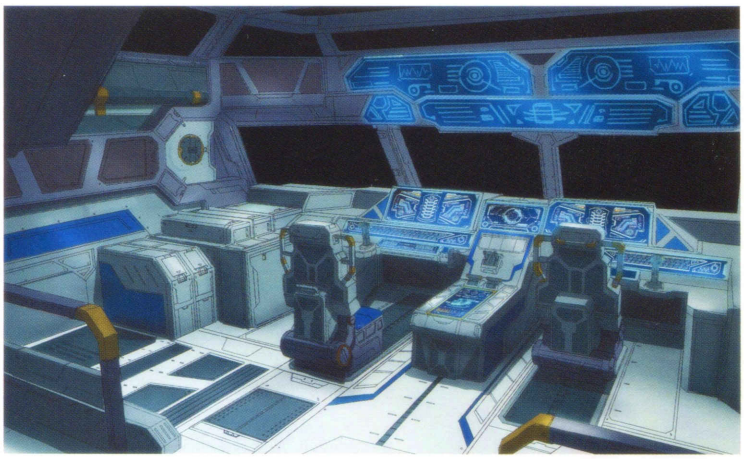
■アーケディアの絵画



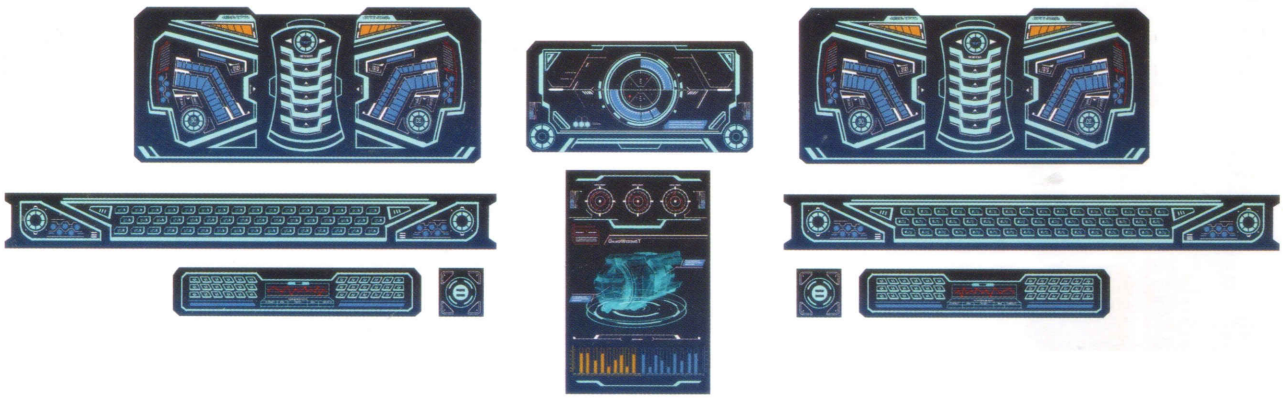
■脱出艇



■脱出艇内部



■脱出艇の操作パネル



■アルスト文字とアルファベット・数字

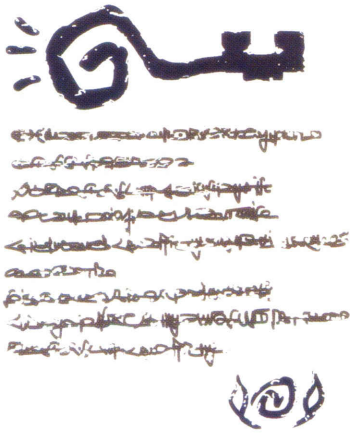
A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

■ノポンの壁画



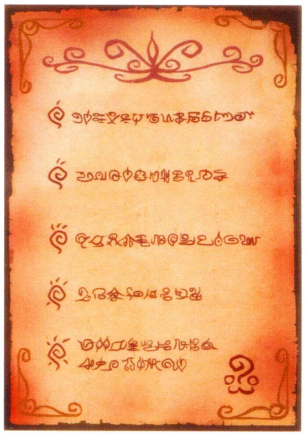


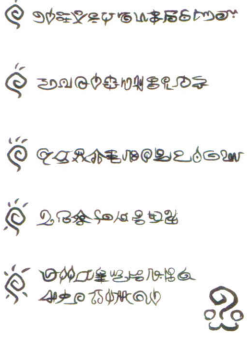






■人工ブレイド施設のノポン文字

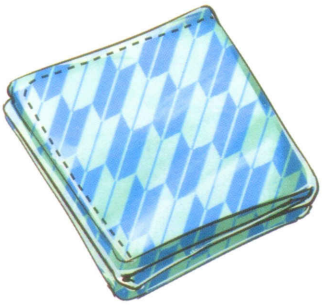




■ラウラの母の形見



■ミルトのハンカチ



■ラウラの勲章



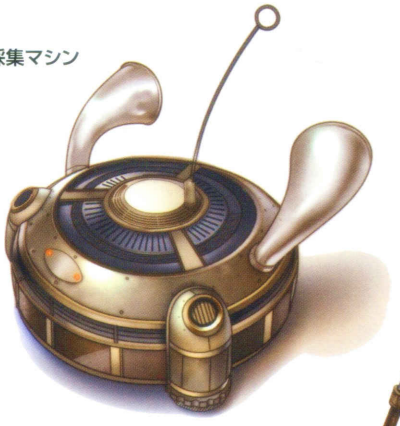
■ヒカリの料理



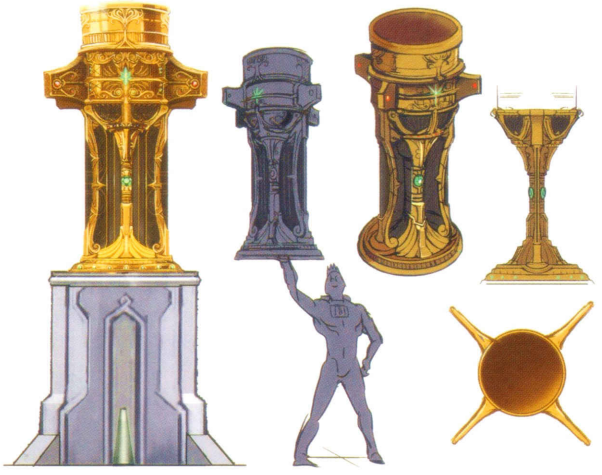
■カメラ



■砂金採集マシン



■アーケディアにある聖杯



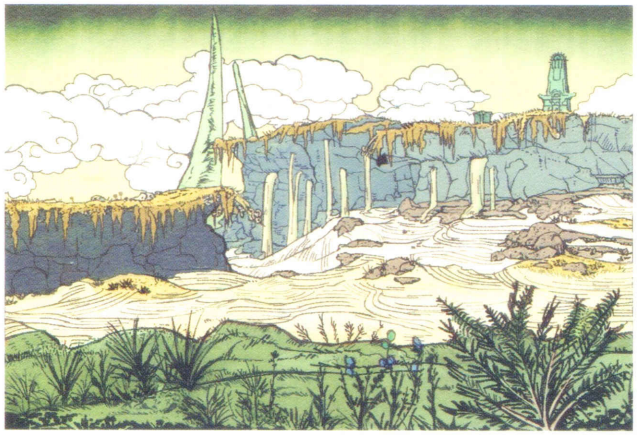
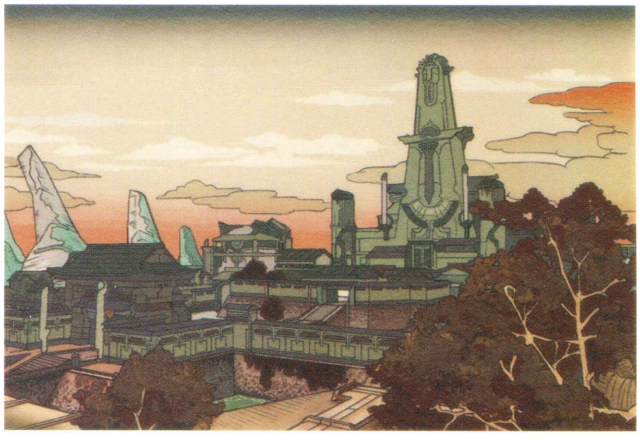
■アーケディアの絵画（黄金の国イーラ編）





■イーラ内にある絵画



■イーラ内にある小物やオブジェクト







■アルスト全図



■アルスト全図（黄金の国イーラ編）



EXTRA

[エクストラ]



ストーリープレイバック

「本編」は話数ごと、「黄金の国イーラ」は6つに分けて、ストーリーを掲載する。
レックスたちやシンたち、それぞれの冒険を振り返るときに読んでほしい。

Xenoblade2 ゼノブレイド

本編

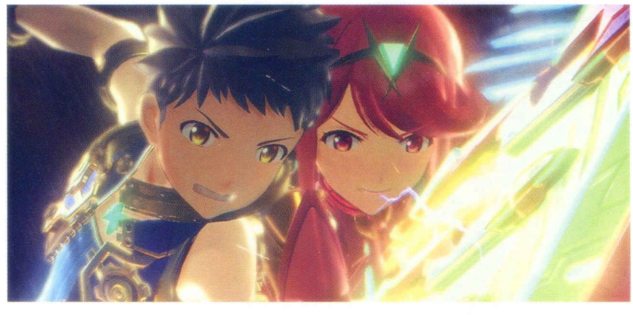
【第一話】出逢い

巨神獣（アルス）と呼ばれる超巨大生物と、人類が共存する世界「アルスト」。育ての親である巨神獣「セイリュウ」とともに、サルベージャーとして生計を立てていた少年のレックスは、アヴァリティア商会会長のバーンから、ある古代船のサルベージ作業を依頼される。巨額の報酬を怪しく思うセイリュウからの制止も振り切り、依頼を受けることを決めたレックスは依頼主のドライバーであるシン、メツ、ニアたちと、古代船内を探索。その最奥部で、ガラスケースの中に入れられた少女を発見する。しかし、その少女に触れようとした瞬間、シンが突如としてレックスに剣を突き立てた。

薄れゆく意識から目を覚ましたレックスが立っていたのは、自身が夢見た「楽園」のような場所であった。そこで出会った、ガラスケースの中の少女の正体が「天の聖杯」と呼ばれるブレイドのホムラであることを知ったレックスは、「ホムラを楽園に連れていく」という約束の代わりに、天の聖杯のドライバーとして蘇る。ホムラからもたらされる力と、目的のためには犠牲をいとわないシンたちのやりかたに疑念を抱いていたニアの協力もあり、圧倒的な力をもつメツと互角以上の戦いをくり広げるが、シンたちが所有する戦艦モノケロスが到着したことで、一転して窮地へと立たされてしまう。だが、間一髪のタイミングで現れたセイリュウの背に乗り、レックスたちは辛くも脱出に成功した。







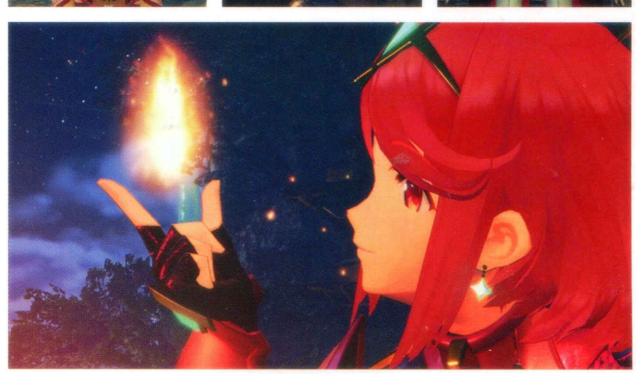
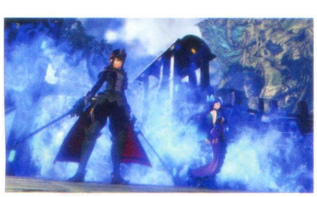
【第二話】機械仕掛けの人形（ブレイド）

レックスたちは、モノケロスの攻撃をかいくぐり、スペルビア帝国が治めるグーラへと逃げ延びていた。力を使い果たし命を落としたかに思えたセイリュウだったが、小さな幼生体の姿へと転生を果たし、引き続きレックスたちに同行することに。その後、トリゴの街へと到着した一行は、ドライバー登録を行っていなかったことからスペルビア帝国軍に目をつけられる。さらに、そこへ現れた帝国最強のブレイドであるカグヅチとの戦いを余儀なくされ、カクヅチが用いたエーテル遮断ネットにより、ニアとビャッコが捉えられてしまう。

一方、わずかな隙をついて逃げ出すことに成功したレックスとホムラは、スペルビア帝国に対して反感をもっていたノポン族の少年、トラに助けられる。ドライバーに憧れるトラは人工ブレイドの開発を進めており、レックスは恩を返すため協力を約束。無事に人工ブレイドであるハナを完成させたトラも仲間に加えたレックスたちは、囚われたニアが処刑されるという情報を聞きつけ、彼女を助けるべく、スペルビア帝国の戦艦内部へと潜入する。内部では天の聖杯の力を狙うグーラ領総領事のモーフや、カクヅチの相棒で帝国最強のドライバー、メレフとの戦闘になるものの、辛くもこれらを切り抜ける。新たな仲間としてニアとビャッコを迎えたレックスたちは、ホムラとの約束を果たすため、世界樹の上にあるとされる「楽園」を目指して旅立つのだった。





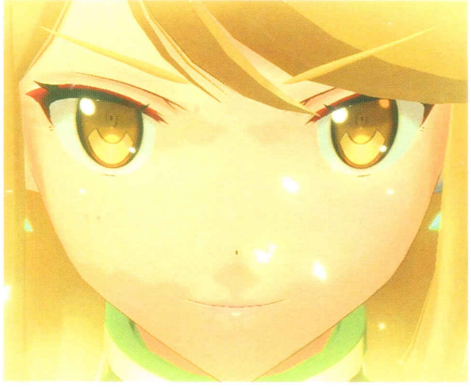





【第三話】戦（いくさ）

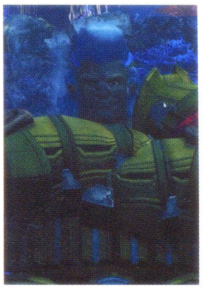
トラの知り合いであるウモンから船を借り受け、世界樹へと向けて出港した一行。しかしその途中、世界樹を守るサーペントに襲われ、そこから逃げ回るうちに巨神獣インヴィディアに飲み込まれてしまう。そこでレックスたちは、傭兵団を率いるヴァンダムに襲われるが、彼らの本当の目的は天の聖杯のドライバーとされるレックスの力を試すことだった。レックスたちを気に入ったヴァンダムは、ドライバーとしての基礎や、戦うことの意味を教えこんでいく。

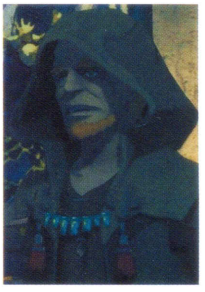
世界樹への道を探すレックスたちは、つぎにインヴィディアの王都を目指す。途中、天の聖杯を狙うジークとサイカの襲撃を退けながら、500年前ではミノチと名乗ってホムラとともに戦ったコールと出会い、協力を得ることに成功する。だがその矢先、コールが保護していた少女のイオンがメツによって誘拐されたことが判明。救出に向かうレックスたちだったが、待ち受けていたヨシツネによってブレイドの力を発揮できない状態へと陥ってしまう。ヴァンダムはレックスたちを逃がすため、武器に残されたエネルギーを自らの体内に注ぎ込むという捨て身の戦法で単身メツに立ち向かうも、一歩及ばず敗北。ヴァンダムの死を目の当たりにして感情を爆発させたレックスは、ホムラのもうひとつの人格であるヒカリを目覚めさせ、メツたちを撃退することに成功する。戦いの後、ヴァンダムの亡骸を前にしたレックスの激しい慟哭が、戦場に響き渡るのだった。









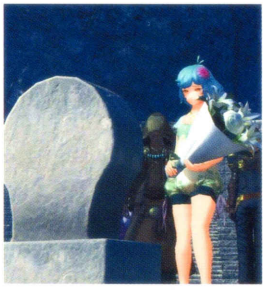






【第四話】天の聖杯

レックスたちはヴァンダムを弔った後、メツがホムラと同じ天の聖杯であること、ヒカリが天の聖杯の本当の人格で、英雄と語られているアデルたちとともに、世界を滅ぼそうとするメツと戦ったことを知る。コールの情報に従い、世界樹への手がかりをもつ人物がいるというアーケディア法王庁へと向かうため、まずはスペルビア帝国へと渡る一行。だがそこで、トラの祖父であるセンゾーと、父、タテゾーが設計した人工ブレイドであるキクが、帝国軍を襲撃する現場に出くわしてしまう。一度はそれを追っていたメレフとカグヅチとの戦闘になるも、レックスたちの動向を密かに監視していたアヴァルティア商会のニルニーの証言で誤解が解け、メレフたちと協力してキクの行方を追い始める。

その裏では、アヴァリティア商会会長のバーンと、センゾーの元助手であるムイムイが暗躍しており、自らの利益のためにタテゾーに協力を強制していた。バーンたちに改造されたキクは、命じられるままレックスたちへと襲いかかるが、タテゾーやハナの言葉で自我を取り戻すことに成功。さらにハナは、キクにより不完全だったエーテル炉を完全に起動させ、JKモードへと変形可能になる。新たなハナの力により、あと一歩のところまでバーンを追い詰めるも、バーンの取引相手であるベンケイとサタヒコが現れたことで形勢は逆転。窮地へと陥ったレックスたちを救ったのは、「アーケディアの女神」とも呼ばれるブレイド、ファン・レ・ノルンであった。









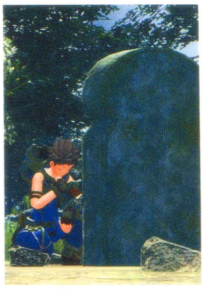
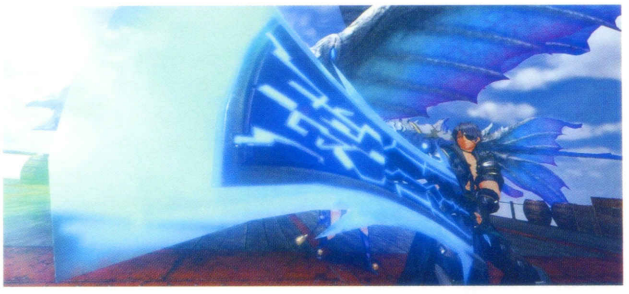

【第五話】靶（くびき）

ファンをレックスたちの元へと送り込んだのは、アーケディア法王のマルベーニであった。レックスたちは、同じ天の聖杯のドライバーであるマルベーニに会うため、リベラリタス島嶼群からアーケディア法王庁を目指す。途中、自身の故郷であるイヤサキ村に立ち寄ったレックスは、両親の墓へとホムラを連れていく。アーケディアの船が泊まっている港でジークとサイカに襲撃されるが、ジークの正体がルクスリアの第一王子であることが判明。彼は、アーケディアの特使としてレックスたちを試すことが目的であったと明かした。

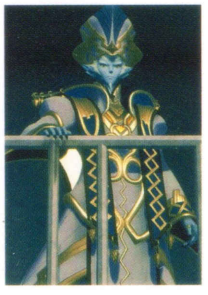
ジークからのお墨付きも得た一行は、無事マルベーニとの謁見を果たす。かつてレックスと同様に世界樹を目指したというマルベーニは、一行への最大限の協力を約束。だが、なぜかレックスはマルベーニに、世界の破壊を願うメツの姿を重ねてしまう。

同じころ、インヴィディアとスペルビアが睨みをきかせ合う非武装地帯テンペランティアでは、シンの暗躍によってスペルビア帝国が保有する巨神獣兵器が暴走し、インヴィディア軍へ侵攻を開始していた。二国間の全面戦争を防ぐために現場へ急行したレックスたちは、ファンの力によって巨神獣兵器を止めることに成功するも、シンとの戦いの中でファンが命を落としてしまう。さらに、この騒動をスペルビアによる先制攻撃と判断したインヴィディアも動き始め、両国間で戦闘が開始されるかと思われた矢先、突如アーケディアがその戦いに介入する。







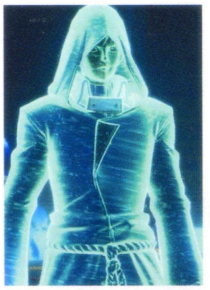
【第六話】傷

アーケディアの仲裁により、スペルビアとインヴィディアの全面戦争は回避された。レックスたちは、二国間で開催される極秘会談を、アヴァリティア商会から追放されたバーンが狙っているという情報を耳にし、その護衛へと向かう。バーンはインヴィディアのラゲルト女王を亡き者にすることで二国間を全面戦争へと突入させることを目論んでいたが、駆けつけた一行によりその野望は阻止された。だが、追い詰められたバーンは自爆装置を発動。爆発に巻き込まれそうになった一行をかばい、スペルビア皇帝のネフェルが致命傷を負ってしまう。従姉弟であるネフェルを失いかけてメレフは激しく動揺するが、ニアの咄嗟の機転によって彼は一命を取り留めるのだった。

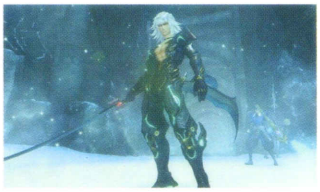
メレフを正式に仲間に迎えたレックスたちは、アーケディアの特使として、世界樹を守るサーペントを制御しているルクスリアへと向かう。だがルクスリア王のゼーリッヒは、天の聖杯を人間に過ぎた力だと考えており、ホムラを消滅させようと拘束。ジークたちの協力もあって、ホムラの救出に成功したレックスたちだったが、その際に用いられたエーテル加速器の影響により、ルクスリアの巨神獣、ゲンブが暴走してしまう。レックスたちは制御に用いられていた「神聖なる鎖（サンクトスチェイン）」を修復することで制御を取り戻すことに成功。しかしその直後、「神聖なる鎖」を狙って現れたシンたちになす術もなく敗北し、ホムラは連れ去られてしまうのだった。

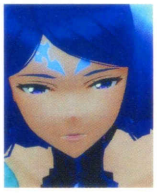








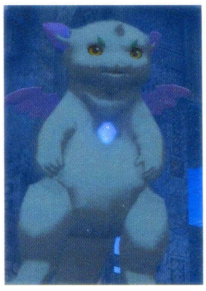
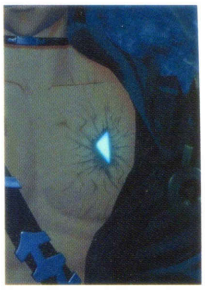



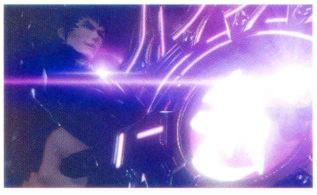
【第七話】新たなる剣（つるぎ）

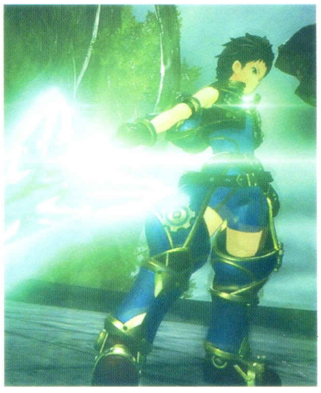
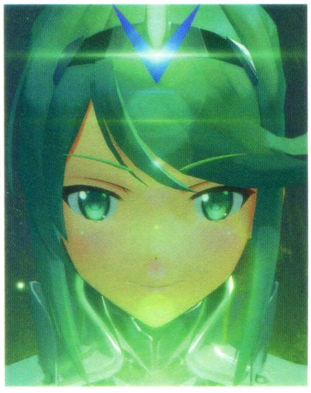
ホムラとヒカリを失い、さらにシンとの圧倒的な実力差を見せつけられたことで、レックスは天の聖杯のドライバーとしての自信を喪失していた。しかし、仲間たちからの激励と、まだ自身が天の聖杯の力を引き出しきっていない可能性を知ったことで、再び立ち上がる。セイリュウは、レックスが真の力を引き出すために必要となる第3の剣が、リベラリタス島嶼群の地下に広がるエルピス霊洞に封印されていることを明かす。

ブレイドの力が抑制される霊洞内では、なぜかニアが苦しそうな様子を見せ始める。道中、自身の過去を皆に語ったニアは、レックスの助言によって迷いを吹っ切り、自身の正体がブレイドであることを告白。レックスとともに、霊洞の最奥部で英雄アデルの幻影と対峙する。その戦いの中で、ホムラたちと最初に出会った場所へと飛ばされたレックスは、アデルと言葉を交わし、本当の意味でホムラとヒカリのドライバーになる決意を固めるのだった。

一方、メツにコア情報を奪われ、人格が消失したと思われていたホムラだったが、その場に駆けつけたレックスの、ふたりのためだけに楽園を目指すという強い想いに答えるように、第3の姿へと覚醒を遂げる。天の聖杯の真の力を引き出すことのできる「マスタードライバー」となったレックスは、シンとメツを終始圧倒。だが、サーペントとセイレーンの戦闘に巻き込まれ、雲海の底である「モルスの地」へと落下してしまう。

【第八話】世界樹

モルスの地へと落下し、散り散りになった仲間たちを探すレックスとヒカリは、謎の怪物に襲われているシンを発見。まだ前回の戦いの傷が癒えていないシンを見捨てることができず、モルスの地を脱出するまでのあいだ、互いに協力しあうことを提案する。仲間たちとの合流を果たしながら、シンと行動をともにする中で、かつてイーラを滅ぼしたのが天の聖杯ではなく、マルベーニが率いるアーケディアであること、シンがドライバーを己の中に取り込んだ「マンイーター」である過去を知らされる。その後、レックスは仲間と無事に合流でき、シンも彼を追ってモルスの地へと来たモノケロスに回収され、それぞれ世界樹を目指す。

シンと別れたレックスたちが、その後を追って世界樹を登り始めたころ、世界樹を巡るアーケディアとシンたちの全面戦争が始まってしまう。激しい戦いの最中、世界樹を登ろうとするレックスたちの姿を発見したマルベーニは、シンたちへの攻撃を命令。マルベーニに対する不信感を抱き始めていた一行にそれを拒否されると、天の聖杯のドライバーとしての力を発動させ、強制的にヒカリの制御を奪い、シンたちに対して攻撃を行わせる。しかし、同じ天の聖杯のドライバーであるレックスも同種の力を発動し、マルベーニの支配を打ち消すことに成功。激昂したマルベーニは、スペルビアの制御を奪って戦場へと呼び寄せ、世界樹への直接攻撃を開始させるのだった。











【第九話】雨

世界樹の近くにはマルベーニに操られた複数の巨神獣がつぎつぎと現れる。世界樹の中に入ったシンたちを援護するため、母艦マルサネスにひとり残ったサタヒコは、マルサネスを人型へと変形させて対抗する。マルベーニの狙いが、メツと同じく世界の破壊であることを感じ取ったレックスたちは、その暴走を止めるため、巨神獣たちを操るのに使っていた制御塔を破壊する。怒りに震えるマルベーニは、レックスたちへの直接攻撃を試みるが、その攻撃は射線上に表れたマルサネスによって阻まれた。マルサネスを操縦するサタヒコは、かつてともに旅した仲間たちの姿をレックスたちに重ねながら、シンたちのことを頼み、アーケディアへと特攻を仕掛けていく。

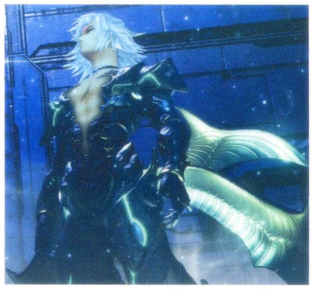
世界樹を登るレックスたちは、待ち受けていたシンと遭遇。レックスはシンとの戦いを望まず、だがシンは、レックスのことを認めながらもメツとの約束を果たすため戦いを挑んでくる。戦いの中でレックスが既に答えを見つけていることに気づいたシンは、自分たちの敗北を悟る。だがその直後、異形の姿と化したマルベーニが出現。マルベーニはシンを援護するために現れたベンケイとヨシツネを一蹴し、レックスたちを圧倒する。マルベーニを止めるべく、シンは満身創痍の身体で残された力を使い、自分たちの役目が終わったことを告げながらマルベーニへと引導を渡す。メツを止めるという役目をレックスに託したシンは、安らかな表情を浮かべながら光の中へと消えていった。









【最終話】そして少年は少女と出逢った

世界樹の頂上へと到着したレックスたちの前に広がっていたのは、「楽園」とは程遠い、廃墟化した都市の光景であった。それでも、希望を求めて歩き続けるレックスたちは、謎の声に導かれ、アルストの創造主であるクラウスと出会う。クラウスは、アルストを生み出した経緯、一度は人間に絶望したもののレックスたちの存在に可能性を見出したこと、そしてまもなく自身が消滅することを明かし、ホムラに楽園のすべてを託す。しかしその直後、最強のデバイスである「アイオーン」を掌握したメツは全世界への攻撃を開始する。最後の戦いに挑んだレックスたちは、激闘の末ついにメツを倒し、その戦いに満足したように、メツは消えていった。

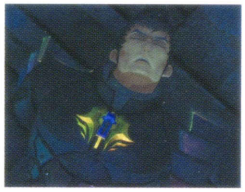
だが同時に、クラウスの消滅とともに世界樹を維持していたゲートが消失したことで、世界樹の崩壊が始まる。ホムラとヒカリは、世界樹がアルストに落下するのを防ぐため、アイオーンに残された最後の力で世界樹を破壊するべく、レックスたちだけを脱出させようとする。ホムラたちの考えに気づいたレックスは自身も世界樹へと残ろうとするが、最終的にはふたりの想いを受け止め、世界樹を後にする。

その後、アルストへと帰還したレックスたちは、雲海が晴れ、再生していく世界の姿を目の当たりにする。レックスはこの場所こそが、かつて少女たちを連れていくと約束した「楽園」だと見い出す。すると力を失ったはずのコアクリスタルが激しい輝きを放ち、少年は、少女たちに再び出会うのだった。












Xenoblade2 黄金の国イーラ

天の聖杯との出会い

神暦3564年、軍事大国シヤとアーケディア法王庁のあいだで勃発した戦争は、「天の聖杯」、メツの力によって、アーケディアの勝利で幕を閉じる。だが、メツはつぎにその矛先を人類へと向け、世界はメツの圧倒的な力の前に混迷を極めることとなった。

生き別れた母を探して、相棒のブレイドであるシンとともに、傭兵として各地を旅して回っていたラウラは、別行動をとっていたブレイドのカスミと合流するべく、フェルトの村を目指していた。だが、フェルトの村は人間同士の争いによって焼け野原と化していた。ラウラたちは、唯一の生き残りである少年サタヒコを保護するも、メツのデバイスである「ガーゴイル」の襲撃を受ける。

窮地に陥ったラウラたちを救ったのは、イーラ王国の王子であるアデル・オルドーだった。メツを討伐するため、同じ「天の聖杯」であるヒカリと旅をするアデルはラウラたちに興味をもち、かつて盗まれた「イーラの秘宝」であるシンを連れていることに目をつむる代わりに、メツ討伐の旅の仲間としてラウラをスカウトする。ラウラはアデルの提案を受けることを決めるが、そこに別行動をとっていたカスミと、アデルが保護していた少年のミルトが合流。ラウラの旅の目的でもある彼女の母親がトリゴの村に身を寄せているという事情を把握したアデルは、自ら同行を申し出る。フェルトの村を後にした一行は、ヤジカの港から船に乗り、グーラを目指して出発するのだった。











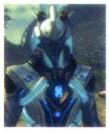


スペルビア皇帝・ユーゴ

一行が到着したときには、トリゴの村は、シヤ残党による襲撃を受けた後であった。生き残った村人が最後の力で作った墓のひとつに、幼いころに母へプレゼントしたペンダントが掛けられていることに気づいたラウラは、既に母がこの世にいないことを知る。残された村人たちの形見の品を探すことにした一行は、その最中にスペルビア帝国軍とブレイドのカグヅチと遭遇。ラウラたちが村を襲撃した犯人であるという誤解から戦闘に発展するも、その後に現れたスペルビア皇帝ユーゴの仲裁によって事なきを得る。アデルの古い知人でもあるユーゴは、ラウラとシンも自身の船へと招待するが、ラウラはシンだけを同行させ、カスミとともに村へと残る。

アデルたちと別れたラウラは、母の元愛人であり、彼女にとっては因縁の相手でもあるゴウトと再会。ゴウトは、かつて自身が盗み出したシンのコアをラウラに同調され、そのシンによって右腕を切り落とされたことに恨みを抱いており、その復讐を果たそうとしていた。しかし、窮地を察して現れたシンによって、残る左腕も切り落とされてしまう。その場から逃走したゴウトだったが、ブレイドイーター実験のための素材を探していたアーケディア法王庁のスタニフらと出くわし、拉致されてしまうのだった。

一方、アデルがメツに対抗するために結成した抵抗軍が、インヴィディアから追われる形で出発したという報告を聞いたラウラたちは、アデルの領地であるアレッタ地方に向かう。











シンの過去

アレッタ地方へと帰還するなり、多くの兵からの手厚い歓迎を受けるアデル。彼は多くの民や兵から慕われる一方で、そのカリスマ性をイーラ王の弟であるゼッタから危険視されており、王都から離れた辺境へと遠ざけられていた。

その後、抵抗軍の食料調達や壊れた橋の修復を手伝いながら、メツとの戦いに備えて訓練を積んでいた一行は、マルベーニにより、メツのつぎの目標がイーラの王都アウルリウムであることを知らされる。アウルリウムを目指し、ダナ砂漠へと向かう道中でリベラルタスのモンスターに襲撃され、咄嗟にミルトたちをかばったことで窮地へと陥ったアデルを救ったのは、マルベーニのブレイドであるミノチであった。マルベーニに対する不信感をもつミノチは、ブレイドでありながら独自に行動しており、アデルたちの噂を聞きつけてイーラへとやって来たことを明かし、同行を申し出る。

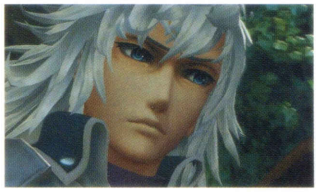
その後、砂漠越えに備えるために立ち寄ったハイベルの村では、かつてシンがオルネラという女性のブレイドとして、そこで暮らしていたことを住人から聞かされる。シンは、かつての自身が残していた写真と日記を発見するも、そこに書かれていた内容に驚愕し、思わずラウラに見つからないように日記を隠してしまう。ラウラはシンに記念写真を撮ろうと提案し、話を聞きつけたアデルたちも加わって全員で撮影を行った。この瞬間の思い出を形に残した一行は、ダナ砂漠を目指して出発する。










王都襲撃

険しいダナ砂漠を越えたラウラたちは、王都アウルリウムへとたどり着き、イーラ王との謁見を果たす。アデルを敵視するゼッタから、抵抗軍や協力を申し出たスペルビア軍を独自の判断で自国へと招き入れた責任を問われそうになるも、イーラ軍だけではメツに対抗することは不可能だというイーラ王の判断によって不問となる。イーラ王から、アデルのような存在こそが王に相応しいと打ち明けられたゼッタは、アデルへの対抗意識をさらに募らせていった。

一方、報奨を辞退する代わりに、アウルリウムで自由に行動する権利を得た一行は、メツの襲来に備えながらアウルリウム内で起きていた問題をつぎつぎと解決して住人との絆を深めていく。

そんな矢先、ついにメツによる王都への攻撃が開始される。ラウラたちは街を破壊しようとするガーゴイルを撃破しながら、メツの元へと辿りつく。そこでメツは、自らの目的が、封印を破壊してイーラの巨神獣を真の姿へと戻し、人々を絶望に陥れながら滅ぼすことであると明かした。街の人々の避難が遅れてヒカリが全力を出せない中、メツは新たなガーゴイルを出現させるが、そこにアデルと旧知の巨神獣であるセイリュウが駆けつける。セイリュウの協力もあり、ガーゴイルを撃退することに成功するが、そのあいだに封印はメツの手へと渡ってしまう。だが、メツはこのまま終わってはおもしろくないと、この状況を楽しむかのようにラウラたちへ猶予を与え、イーラのコアで決着をつけることを宣言するのだった。











メツとの決着

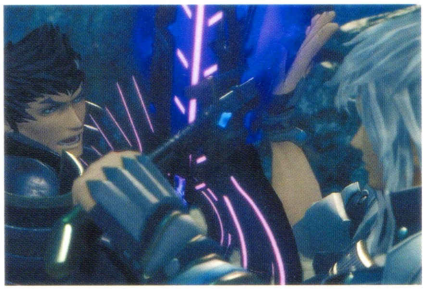
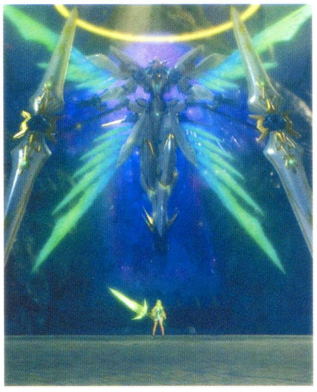
メツとの戦いの後、イーラ王からその実力を認められて騎士叙勲を受けたラウラは、晴れてイーラの騎士となった。一方、サタヒコとともに街へと残ることになったミルトは、最後まで同行したいと猛反発するも、シンとヒカリに諭され、アデルを必ず連れ帰ることを条件に引き下がる。犬猿の仲であるミルトをヒカリが心配したことにシンは驚きつつ、彼女が本当の絆を結ぶドライバーはこの時代にはいないのでは、という予感を話す。

その後、イーラのコアへとたどり着いた一行は、待ち受けるメツとの最後の戦いに挑む。メツとの戦いがくり広げられる一方、メツが呼び出したガーゴイルがコアへの直接攻撃を開始。ヒカリは自身のデバイスであるサーペントを呼び出して対抗するも、大量のガーゴイルの奇襲を受けて撃墜され、互いの切り札であるセイレーンどうしの戦闘へともつれ込む。

ヒカリがイーラへの被害を気にして全力を出し切れていないことを察したメツは、セイレーンに王都への直接攻撃を行わせる。その瞬間、ヒカリの様子が一変。それまでとは比較にならない力でメツを圧倒し、ついにはメツのセイレーンを撃破することに成功する。だが、その強すぎる力はイーラへも深刻なダメージを与えていた。崩壊していくイーラを目の当たりしたイーラ王は、避難を促すゼッタを追い返すとひとり王城へと残り、王都と運命をともにするのであった。








そして青年は旅立つ

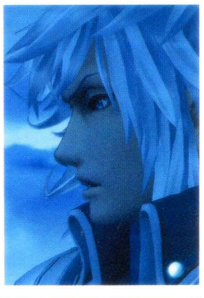
辛くもメツとの戦いに勝利したラウラだったが、コアの爆発からアデルたちを守る形でユーゴが命を落としたことを知り、深い悲しみに暮れる。さらに、メツの攻撃によりミルトが犠牲となったことを知って強いショックを受けたヒカリは、もうひとつの人格であるホムラを生み出し、自身は深い眠りへとついてしまう。天の聖杯が人間にとっては過ぎたる力だと考えたアデルは、ホムラを封印するためにラウラたちへ別れを告げた。

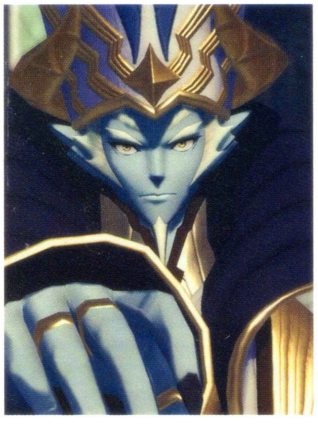
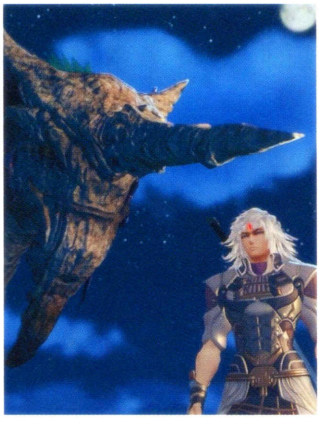
残された抵抗軍と合流するため旅を続けるラウラたちは、アーケディアの実験によりブレイドイーターと化したゴウトと遭遇。完全に正気を失ったかつての仇敵を憐れみながら、ラウラはゴウトに最後の引導を渡す。メツがいなくなろうと、人と人との争いがなくなることはない現実を突きつけられるラウラたちだったが、ブレイドとの絆が、いつか人を変えてくれると信じて歩き続ける。同じころ、バルトリッチ枢機卿と法王ラダリアを暗殺し、アーケディアの全権を掌握したマルベーニが、イーラの残党を討伐するべく派遣した軍が迫っているとは知る由もなく……。

それから長い月日が経ち、セイリュウとともにかつて自身が住んでいた廃屋を訪れたシン。過去に別れを告げるかのように、残された写真ごと廃屋に火を放ったシンは、その悲しげな表情を仮面で覆い隠しながら旅立つのだった。







戦闘後の掛け合いセリフ

ここでは戦闘後に発生するキャラクター同士の掛け合いセリフを紹介している。
キャラクターの意外な一面も見られるので、パーティをいろいろ変えて戦うもの面白い。

Xenoblade2 ゼノブレイド

本編

レックス&ホムラ

ホムラ	今のはとても上手にできてましたね、レックス
レックス	そ、そうかい!? よおし、次も頑張っちゃうぞ!

レックス&ホムラ

レックス	サルベージャーの名にかけて、君を絶対守るよ。ホムラ。
ホムラ	ありがとう。頼りにしますね、レックス。

レックス&ホムラ&メレフ

レックス	次に何が来るか判らない……。気を引き締めていこう。
ホムラ	ちょっと一息つきましょう、レックス。お茶を入れますよ?
メレフ	ホムラの言うとおり。いついかなる時も、心に余裕を持つべきだ。

レックス&ホムラ&じっちゃん

じっちゃん	ホムラ、時には前に出ることも必要じゃぞ?
ホムラ	はい、セイリュウさん。次からは意識してみますね?
レックス	変な目で見られてるかもしれないから気をつけるよ

レックス&ヒカリ

レックス	サンキュー、ヒカリ! 上手くやれたみたいだ!
ヒカリ	因果律予測を使えばこんなものよ。ま、まあ君も頑張ってるけどね。

レックス&ヒカリ

ヒカリ	さっきから、私のことジロジロ見過ぎじゃない?
レックス	み、見てない! 見てないよ! ……前にいたらどうしたって目に入っちゃうよ。

レックス&ヒカリ&ニア

ヒカリ	思ったより早く終わったわね。因果律予測以上の結果だわ。
レックス	そういうことだってあるさ。オレたち次第で未来は変えられる、だろ?
ニア	うん……。そう、そうだよね! レックス、いいこと言うじゃん!

レックス&ヒカリ&KOS-MOS Re:

ヒカリ	おっかしいなあ。もう少しいい結果を出せると思ったんだけど……。
レックス	500年も眠ってたんだから、まだ身体が慣れてないんじゃない?
KOS-MOS Re:	ヒカリ、トレーニングによる予測技術向上を提案します。

レックス&ブネウマ(覚醒ホムラ・ヒカリ)

ブネウマ	私たちの望む未来、切り開こう! レックス。
レックス	ああ! オレたちならやれる。やってやる!

レックス&ブネウマ(覚醒ホムラ・ヒカリ)

レックス	この服、やっぱカッコいいよ、ありがとう!
ブネウマ	どういたしまして。デザインは私とお揃いなんだから。

レックス&じっちゃん

レックス	我ながら最高の踏み込み! な? じっちゃん!
じっちゃん	レックス! 慢心はイカンぞ、慢心は!

レックス&じっちゃん

じっちゃん	お前さんのヘルメット、なかなか寝心地が良いのう
レックス	戦ってる時に振り落とされても文句言うなよ?

レックス&ニア

レックス	ニア! いますっげえお宝拾っちゃったよ! 見たい? なあ見たい?
ニア	はいはいあとでね。……ったく、ほんと子供なんだから

レックス&ニア

ニア	なぁレックス。今の、痛かったろ? へ、平気?
レックス	ぜーんぜん! あんなのケガのうちに入らないって! ……てて。

レックス&ニア&ビャッコ

レックス	ビャッコに跨ってる時のニアってさ、すっごくいい顔してるよな。
ニア	まあね。でも最近毛並みが乱れてて、チクチクするんだよね。
ビャッコ	ボディケアには気を遣っているつもりだったのですが……。面目次第もございません。

レックス&ニア&トラ

トラ	トラのすぐ後ろで武器を振るなんてひどいも! 当たったらどうするも?
ニア	結果オーライだったからいいじゃん。それにトラはちっさいから絶対当たらないって。
レックス	あ、あんまり人のこと言えないんじゃないかな……。ハハ……。

レックス&ニア&ジーク

ジーク	はっはっはっ。この雷轟のジークが本気を出すまでもなかったわ!
ニア	いやいや! かなり必死だったって! アタシのサポートなかったらヤバかったでしょ!?
レックス	ニアのツッコミのキレ、ジークのアーツ以上だよ。

レックス&ニア(ブレイド)

レックス	ニア? あ、あの時の答え……なんだけど、さ。お、オレで……
ニア(ブレイド)	え? あ、あー! あははは! なんだよこんな時に。い、今ちょっと忙しい! その話は今度!

レックス&ニア(ブレイド)&トラ

ニア(ブレイド)	みんなお疲れちゃん! ケガはない?
トラ	再生の力すごいも! いつかハナにも使えるようにしたいも!
レックス	トラならやれるって! (でもニアの性格まで反映しないようにな?)

レックス&ビャッコ

レックス	ビャッコとじっちゃんて、ほんとに仲良いよね?
ビャッコ	ええ、趣味嗜好に細かな差異はありますが、セイリュウ様とは仲良くさせていただいております

レックス&トラ

トラ	アニキ、今度またハナの修理を手伝って欲しいんだも~。
レックス	オッケー! ハナの技術はサルベージにも応用できそうだしな!

レックス&トラ&ハナJK

レックス	「ジャスティスナイト」かぁ、なんとなく力のある言葉だよな。
トラ	人の数だけジャスティスはあるも。
ハナJK	意味はよくわからないのですも、とにかくすごく強いということですも。

レックス&トラ&ジーク

トラ	ジークのアーツ、めちゃカッコいいも! どうしたらあんな風に動けるも?
ジーク	大事なのは体力でも気合いでもない。必要なのはカッコよく動こうとする気持ちだけなんや。
レックス	それだけ!? ……ジーク、やっぱただものじゃないよなぁ

レックス&トラ&ヴァンダム

レックス	今のオレたち、息ピッタリ合ってたよな
トラ	すごかったも! アニキとトラの最高のコラボレーションだも!
ヴァンダム	見事だ。だが、俺はお前さんたちが戦わずに済む世の中にしないとな。

レックス&ハナJS

レックス	「ジェットスパーク」、かっこいい響きだね
ハナJS	どんなピンチにも閃光のごとく駆けつけるんですも!

レックス&ハナJD

レックス	「ジャッジメント・デイ」、なんだか物々しいな
ハナJD	実は言葉の意味はよく判ってないですも。かっこいいから付けられたらしいですも。

レックス&メレフ

レックス	メレフ、今のオレの動き見てくれた!? ちょっとすごかったろ?
メレフ	ああ、なかなかの太刀筋だった。見習いたいものだ。

レックス&メレフ&カグツチ

レックス	帝国最強のブレイドの呼び名、伊達じゃあないね!
カグツチ	これもメレフ様のお力添えがあってこそ。
メレフ	何を言うか。カグツチ無くしては私も特別執権官を名乗ることはできんよ。

レックス&メレフ&ジーク

メレフ	想定内の結果だな。
ジーク	フッ。ワイが覇王の心眼の封印を解いてたら、もうちょっと早く終わってたやろな。
レックス	頼むから、それピンチの時にちゃんと使ってくれよ。

レックス&カグツチ

レックス	うーん、効率わるかったかなぁ。はあ、問題山積みだ
カグツチ	これも私の日記に記録しておくわ。きっと良い思い出に変わる日が来るはず。

レックス&ジーク

レックス	そろそろ休憩しようか?
ジーク	ワイの快進撃は止まらへんで……。そう、これも覇王の心眼を身に宿し者の運命(さだめ)……

レックス&ジーク&サイカ

ジーク	ちょ、ちょっとストーップ! コンタクト落としてもうたわ……。
レックス	さっきも落としてたけど、そんなに何度も落とすようなものかなぁ?
サイカ	王子の運の悪さなめたらアカンで? 替えのコンタクト代のせいでウチら万年貧乏なんやからな。

レックス&サイカ

レックス	さーて、どんな結果だって落ち込んでられないよな!
サイカ	ふふ。もしかしたら、ウチら似た者同士かもな?

レックス&ヴァンダム

ヴァンダム	レックス、今のお前には瞬発力が足りてない! そらスクワット3000回!
レックス	ちょ、多くね!?

レックス&ヴァンダム

レックス	うーん、よく頑張った—!
ヴァンダム	あとは冷えたビールがあれば最高だな!

レックス&スザク

スザク	ためらうな、レックス! 連携は一呼吸でいくのがコツだ。わかったな?
レックス	そういうとこ、まるでヴァンダムさんみたいだよね。

レックス&スザク

レックス	ヴァンダムさんのこと、いつでも思い出せる。スザクに出会えて良かったよ。
スザク	レックス……。お前の想いに俺も応えていかないとな。

レックス&グレン

グレン	レックス、ちょっと熱くなりすぎじゃねえか!! 戦いには冷静さも必要なんだぜ!!
レックス	忠告ありがとう!! オレなりの冷静さでやってやるよ!!

レックス&デカラオ

デカラオ	オレとレックスは……友達……?
レックス	あぁそうさ、オレたちは強い絆で結ばれた友達だ!

レックス&イダテン

イダテン	お腹減ったんだっポッ、早くホムラの手料理が食べたいっポッ
レックス	ああ、オレも、——って、さっきご飯食べたばっかじゃなかったけ?

レックス&カサネ

カサネ	無事に勝つことができて良かったです! 戦う前、すごく嫌な予感がしてたんですけどね……
レックス	予感なんて気にせずいこう! 頑張れば結果がついてくるってもんだよ!

レックス&ミクマリ

レックス	ミクマリは強いなぁ、キミがいたら百人力だよ!
ミクマリ	ありがとう! でも、もっと強くならなくちゃ、私には守るものがたくさんあるんだから!

レックス&ザクロ

ザクロ	うーん、ちょっとこの服、サイズきつくなってきたかな—、レックスはどう思う?
レックス	あっ、えーと……そ、そう言われてみたら確かにそうかも……

レックス&アザミ

アザミ	私をもっと頼ってくれていいのよ? それとも私じゃ力不足かしら?
レックス	そんなことないって! いつも頼りにしている……よ……

レックス&ナナコオリ

条件:ナナコオリのブレイドクエストをクリア後

ナナコオリ	♪ららららららららん、ららららららららん このメロディーいかがでしょうか?
レックス	とてもいいね! ♪ららららららららん、ららららららららん!

レックス&ニューツ

ニューツ	ご苦労さまでした! レックス殿、天の聖杯のドライバーとしてのお役目でお疲れでしょうから、肩もみましょうか?
レックス	えっ? えっと、どっちの腕でやってくれるのかな……?

レックス&ムスピ

ムスピ	ちょっと休憩しませんか? さっき作ったおむすび、良い出来なんです
レックス	えっ、さっきって戦闘中?……えっ!?

レックス&シキ

レックス	ふう、一丁上がりっと
シキ	さっきの技ってもしかしてサルベージ技術の応用？　ねえ、ちょっと詳しく聞かせて？

レックス&ホタル

レックス	いつもケガを治してくれてありがとう！　助かるよ！
ホタル	そう言ってもらえると嬉しいよ。まったくレックスは騙されやすい性格してるね

レックス&ハナバスター

レックス	いやぁ～、スゴイ、スゴイよ!!ハナバスターは無敵だね！
ハナMk-Ⅱ	遠隔操作してるハナも褒めて欲しいですも

レックス&カムヤ

カムヤ	レックス、オレ達って最高のパーティだよな？
レックス	うん、そう思うよ！　みんながいれば、絶対に負けないってね！

レックス&シュルク

レックス	シュルクの武器って、なんだか不思議な感じがするよな
シュルク	神剣って呼ばれてるからね
レックス	ええっ!?　オレ達がそんなのを使っちゃっていいのかな!?

レックス&フィオルン

レックス	フィオルンは頼りになるなぁ
フィオルン	レックス、女の子に「頼りになる」とか言っちゃダメ

レックス&エルマ

レックス	そろそろ休憩しようか？
エルマ	私の身体、すぐに疲れたりしないようにできてるのよ

レックス&シン

レックス	なぁ、さっきのケガ大丈夫か？
シン	余計な気遣いは無用だ

レックス&メツ

メツ	これで終いだ。さっさと行くぞ。
レックス	あ、ああ！　……気に入らないけど腕は確かだ。

レックス&サタヒコ

レックス	こうして一緒に戦う日が来るなんてね、不思議なもんだよ
サタヒコ	不思議？　そうじゃない。これは運命、そういうことにしとこうぜ？

ホムラ&じっちゃん&ニア

ホムラ	セイリュウさん。お怪我はありませんか？
ニア	これでも巨神獣なんだから、ほっときゃ治るんじゃない？
じっちゃん	ニア、お主には年寄りを労る気持ちというものが足りておらん！

ホムラ&じっちゃん&ヴァンダム

じっちゃん	ヴァンダムにならレックスのこと任せてよさそうじゃな。
ヴァンダム	よーし、わかった！　まずは上腕二頭筋、次に僧帽筋の改造を行うとしよう。
ホムラ	私は……レックスはあのままが良いと思います……。

ホムラ&ニア

ホムラ	ニア、いつもレックスのフォローありがとうございます。
ニア	……べ、べつにそんなつもりじゃないって！

ホムラ&ニア&ビャッコ

ビャッコ	お嬢様もホムラ様を見習ってお淑やかにしていただけると……。
ホムラ	ビャッコさん？　私も剣を振り回してますけど……。
ニア	そうそう。アタシたちは戦うお嬢様、なのさ。

ホムラ&トラ

トラ	戦ったら体がアツアツになったも！　ホムラちゃんの料理で一休みしたいも！
ホムラ	ごめんなさい、私のお料理だともっとアツアツになっちゃうかも……。

ホムラ&トラ&メレフ

トラ	……もふっ、なんだかアツアツだも～っ！
メレフ	すまん、カグツチのせいかもしれん……
ホムラ	ごめんなさい、私のせいかも……

ホムラ&ハナJS

ホムラ	ハナちゃんはなぜ語尾に"も"を付けるの？
ハナJS	……その答えを言うとハナは自爆するセッテーになってるですも。

ホムラ&メレフ&カグツチ

メレフ	レックスはたまに脇が甘くなる。ホムラ、しっかりと見守ってやってくれ。
ホムラ	はい、もちろんです！
カグツチ	メレフ様？　随分とあの少年に思い入れがあるようですね？

ホムラ&ジーク&サイカ

ホムラ	今回もジークさんとサイカのコンビネーションは冴えてましたね！
ジーク	フッ、当然や。伊達に100万年は連れ添ってないからなぁ
サイカ	まだ10年ちょっとやろ！

ホムラ&ヴァンダム

ヴァンダム	可憐な姿だが、その腕前は紛れも無い。さすがだなホムラ。
ホムラ	そ、そんな風に言われると、私困ってしまいます……。

ホムラ&ワダツミ

ワダツミ	ドライバーは、戦いで打たれ、鍛の如き強さを得るもの――
ホムラ	その強さが、きっと私の強さにもなっているのでしょうね

ホムラ&グレン

グレン	俺もホムラのように熱い心を持たないとな！　うおお！
ホムラ	私の心、そこまで熱くないと思うんですけど――

ホムラ&ユウオウ

ホムラ	ユウオウさん、いつも頼りにしています！
ユウオウ	フォローは私に任せてくれ、その代わりホムラはいつでも全力でいくんだ

ホムラ&クビラ

クビラ	つまらん、こんなことを繰り返して何になるというのだ？
ホムラ	何事も積み重ねが大事なんです、じきにあなたも気付くと思います

ホムラ&カサネ

カサネ	また失敗しちゃったなぁ……でもこんなところで落ち込んでなんかいられない！
ホムラ	くじけずに前に進めば、きっと幸運が向こうからやってくるはずです！

ホムラ&ミクマリ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

ホムラ	ミクマリさんとセオリさん、きっと良い姉妹なんでしょうね
ミクマリ	かわいい妹がいるからわたしは頑張れるんだ、守るものがあるって熱いことだよ！

ホムラ&ウカ

ホムラ	動物と仲良くなるコツ……ぜひ私にも教えてください！
ウカ	そんなのがあれば、ウカにも教えてほしいです！　全然うまくいかないんですよねー……

ホムラ&シキ

シキ	こんな間近で、天の聖杯の戦いっぷりが見られるとはね！　感激～！
ホムラ	そんなに見られると……ちょっと恥ずかしいですね……

ホムラ&イブキ

イブキ	ホムナ、昨日、作ってくれたおでん、すごくおいしかったー！
ホムラ	うふふ、ポトフのことですね、また作りますよ

ホムラ&T-elos Re：

ホムラ	あの、T-elos Re：さんも…私の料理いかがでしょうか？
T-elos Re：	今は必要ない。気が向いたら…な

ホムラ&ヒバナ

ホムラ	ヒバナちゃん、大丈夫、怪我はない？
ヒバナ	ホムラ先輩――！　怪我があったとしても今の言葉で吹き飛びましたよー!!

ホムラ&フィオルン

フィオルン	好きな人と一緒に戦えるのって幸せだよね、ホムラえ、私はっ……その…　フィオルンの素直さが羨ましいです…
ホムラ	

ヒカリ&じっちゃん

じっちゃん	ヒカリとホムラ、性格も戦い方もまるで反対じゃなあ。
ヒカリ	そうね。でもあの子と私はふたりでひとつ……。これで不思議とうまくいってるのよ。

ヒカリ&ニア

ニア	ヒカリはちょっとやりすぎな気もするよね……
ヒカリ	そ、そう？　あはは……（以降ひとりごと）……それすごくトラウマなんだけど。

ヒカリ&ニア&サイカ

ニア	二人ともドライバーのお守りご苦労さん。
ヒカリ	まぁね、でもサイカよりはずっと楽かな。
サイカ	なんやて！　王子かてええところギョーサンあるわ。例えば、えーっと……。ちょっと待ってな……。

ヒカリ&トラ

トラ	ヒカリちゃん、なんでアニキにだけちょっと怖いも？
ヒカリ	ふーん？　あんたもビリビリされたいってわけ!?

ヒカリ&トラ&ハナJS

トラ	ハナっ！　平気も？　ケガないも!?
ハナJS	これくらいヘーキですも、ご主人こそダイジョブですも？
ヒカリ	あんたたち、なんだかんだで仲良しさんだよね。

ヒカリ&ハナJD

ヒカリ	ハナって、姿は色々変わるようになったけど中身はあんまり変わらないのね。
ハナJD	それは間違いですも。難しい言葉を沢山覚えてますも。

ヒカリ&メレフ

メレフ	ふう、どうにも埃っぽいな。ヒカリ、確かおすすめの温泉があったと言ったな？
ヒカリ	500年前にお気に入りだったとこがあるんだけど、……今もあるのかな。

ヒカリ&メレフ&サイカ

ヒカリ	ちょっと、ポーチが曲がってる！　ほんとレックスってだらしない！
メレフ	そう言うな。なんなら私が帝国流のマナーを仕込んでやろうか？
サイカ	それ、王子にたのんますわ。こないだなんてズボン履き忘れてんで？

ヒカリ&ジーク

ヒカリ	なによ？　あんたは私じゃなくてサイカのこと見てなさいよ。
ジーク	ちゃうねん。天の聖杯の力が正しく使われてるか監視しとったんや。ホンマやで？

ヒカリ&ワダツミ

ワダツミ	ヒカリも静謐な湖のように心を落ち着けたらどうかな
ヒカリ	何それ！　私はいつだって冷静そのものなんだけど？

ヒカリ&ヴァサラ

ヴァサラ	天の聖杯……まさかこのような姿とはな
ヒカリ	予測してたのと違ってた？　でもカワイイからいいでしょ？

ヒカリ&セオリ

セオリ	――ヒカリの戦い方って、自由気ままだね
ヒカリ	ちゃんと計算して戦ってるんだけど、派手すぎるのがいけないのかしら？

ヒカリ&ザクロ

ヒカリ	あなたとは気が合うわね、ザクロ
ザクロ	アタシもそう思う！　だけど、この前立て替えたバフェの代金とは話が別だからね！

ヒカリ&アザミ

アザミ	ヒカリ、私にはあなたがまぶしすぎるのよねぇ……　戦いづらいわ
ヒカリ	じゃあ、ホムラに代わろうか？　あの子はあの子でまぶしいところがあると思うけど

ヒカリ&リンネ

リンネ	ヒカリをハーレムの一員にすること、ワラワは諦めんぞ
ヒカリ	私を独り占めしようだなんて思わない方がいいわよ

ヒカリ&ホタル

ホタル	戦っているヒカリさんって、とってもキレイです！
ヒカリ	と、当然じゃない！　ホタルだってすっごくカワイイよ！

ヒカリ&カムヤ

ヒカリ	カムヤの背中の刀、強烈ね
カムヤ	まあね。だから、おいそれとは使えないんだ。天の聖杯の力ほどじゃないけどな
ヒカリ	ムカッ――

ヒカリ&シュルク

ヒカリ	シュルク、その剣――
シュルク	ああ、これは――
ヒカリ	ううん――　今はやめとく　いつかゆっくり話を聞かせて

ヒカリ&エルマ

ヒカリ	思ったより早く終わったわね。因果律予測以上の結果だわ。
エルマ	うそ　本当は怖かった――　そんな顔してるわよ？　フフフ

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&じっちゃん

じっちゃん	レックスはお主に相応しいドライバーになれたかの？
ブネウマ	ええ、もちろん。私の心をいつも温めてくれるから。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&ニア

ニア	さすが天の聖杯！　でもね、アタシだって負けないんだから！
ブネウマ	ふふ、私だって負けるつもりはないわ？　勝負、ね！

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&ビャッコ

ビャッコ	その力、お体に負担ではありませんか？
ブネウマ	ビャッコ、心配してくれてありがとう。大丈夫、絶好調よ。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&トラ

トラ	そのかっこう、ハイテクも！　ハナにも取り入れたいも！
ブネウマ	トラくんの技術はぜーんぶハナちゃんのためにあるのね。ふふふ。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&ハナJS

ハナJS	ハナも翼が欲しいも！　ハナ・ウィングも！
ブネウマ	そうなったらお揃いね、ハナちゃん！

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&メレフ

メレフ	人の手には余る力だ。君を帝国のものにしようなどと、我が国の老人たちも愚かだな。
ブネウマ	ありがとう、メレフ。帝国の使者があなたでよかった。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&カグツチ

カグツチ	天の聖杯の本領発揮ね。頼りにしてるわ。
ブネウマ	ええ。500年前と同じように、私も頼りにしているわ。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&ジーク

ジーク	これが天の聖杯の本当の力っちゅーわけやな。
ブネウマ	安心して、ジーク。もう絶対に過ちは繰り返さないから。

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&サイカ

サイカ	天からのレーザーとかズルいわ！　落雷のインパクトが薄れてしまうやん！
ブネウマ	だ、大丈夫よ、サイカ！　雷は……ほら！　音が派手だから！

ブネウマ（覚醒ホムラ・ヒカリ）&KOS-MOS Re：

ブネウマ	お互い、過ぎた力を持っちゃったね。KOS-MOS Re：。
KOS-MOS Re：	いいえ、これは未来を実現するために必要な戦力です。

じっちゃん&ニア

じっちゃん	よいぞ、ニア。その調子でレックスをバシバシ鍛えてくれい。
ニア	任せて！　……うむ、彼には光るものがある。

じっちゃん&ニア(ブレイド)

じっちゃん	しかしニア、お主の本当の能力は「悪口」とか「罵倒」とか「罵り」とかそういうほうがイメージなんじゃが。
ニア(ブレイド)	それ全部同じ意味だよね!?　じじいが怪我しても治してやらないよ!?

じっちゃん&トラ

じっちゃん	トラも随分と腕を上げたようじゃの？
トラ	ほんとも!?　トラもアニキみたいになれるも!?

じっちゃん&ハナJD

じっちゃん	たいしたもんじゃ、ハナ！　もう本当のブレイドと言っていいじゃろう。
ハナJD	その指摘はもっともですも。ハナはご主人の最高傑作ですも。

じっちゃん&メレフ

メレフ	レックスをここまで育てたご指導、さすがはセイリュウ殿だ。
じっちゃん	もともと素質のある子でな。ワシはほんの少し背中を押したに過ぎんよ。

じっちゃん&ジーク

ジーク	セイリュウのじいさん、だいぶ揺れとったけど大丈夫やったか？
じっちゃん	もちろんじゃ。ヘルメットの中もだいぶ慣れたわい。うっぷ……。

じっちゃん&ヴァンダム

じっちゃん	ヴァンダム、お主なぜレックスをそこまで買ってくれておる？
ヴァンダム	なあに、あいつを見てると死んだ息子を思い出してな。つい、かまっちまう。

ニア&ビャッコ

ビャッコ	お嬢様、もっと守りに集中してください。
ニア	だいじょぶだいじょぶ。攻撃は最大の防御って言うじゃん？

ニア&ビャッコ

ニア	うー、疲れた。背中で休んでいい？　ビャッコ？
ビャッコ	勿論です、お嬢様。私の背中はそのためにあるのですから。

ニア&トラ

トラ	トラ、大活躍だったも！
ニア	……確かに。すごーく良い的になってたね……

ニア&トラ&ハナJK

ニア	ねえハナ？　今のトラの戦いっぷり、何点くらい？
ハナJK	KAWAII感じが足りないですも。5点！
トラ	JKモードの設定、厳しすぎだも！

ニア&トラ&ジーク

トラ	勝利の決め手はトラの科学力だも！
ジーク	ちゃうわ！　ワイが覇王の心眼を解き放ったからや！
ニア	はぁ……。戦うより疲れる。

ニア&ハナJS

ニア	ハナの体ってどうなってんの？
ハナJS	とっぷしーくれっと、ですも。情報提供にはゴールドが必要ですも。

ニア&メレフ

ニア	ケガは大丈夫？　メレフ。
メレフ	全く問題ない。（以降、独り言のように）…肌の手入れは必須だが。

ニア&メレフ&ジーク

ニア	うん、やっぱメレフは頼りになるねぇ。
ジーク	いやいや！　ワイかて大活躍やったやろ！
メレフ	大活躍は認めるが……。貴公は黙って戦うことを覚えてはどうだ？

ニア&ジーク

ジーク	くっ……。ヤツにやられた左胸の古傷、いまだに疼く……！
ニア	前、右胸押さえてたよね？　設定甘すぎだから！

ニア&サイカ

ニア	サイカ、亀ちゃんにツッコミ続けるの大変だろ？
サイカ	分かってくれるんはニアだけや……。

ニア&ヴァンダム

ヴァンダム	戦いに勝ったんだ。ニア、男ならもっとシャキッとせんか！
ニア	いや女だし!!

ニア&スザク

ニア	スザク、あんたの身体ってなんだか色っぽいよね。
スザク	わかる奴にはわかる。お前なかなか見どころがあるぞ。

ニア&グレン

グレン	うおお！　正義は必ず勝つ！
ニア	くさいけど、アンタが言うと様になるね

ニア&イダテン

ニア	こいつらは食べちゃダメだよ
イダテン	えー、ダメなのっポッ？　でも、味見くらいさせてほしいっポッ！

ニア&クビラ

条件：クビラのブレイドクエストをクリア後

ニア	クビラ、もうちょっとやる気出してくんない？
クビラ	以前よりは出しているのだがな――　余の繊細な心が分からんとは、ニアはよほど粗雑と見える

ニア&ミクマリ

ミクマリ	池まめ努力、素晴らしい仲間、わたしたちの勝利は約束されていたんだね！
ニア	恥ずかしげもなく、そういうことを言えるところが素晴らしいよね

ニア&ミクマリ&ザクロ

ザクロ	ねーねー、ミクマリ。さっきの戦闘はどう思う？　アタシ的にはミクマリがビシ！　バシ！ってもっと全力を出せば、簡単に終わったと思うんだけど？　最近のミクマリは―――
ミクマリ	ちょっと！　わたしにも喋らせてよ。わたしは地道な努力はしてるんだから！　ザクロこそ、普段はのんきに喋ってるだけで、戦いのことなんてこれっぽっちも―――
ニア	ザクロも！　ミクマリも！　おしゃべりしすぎ！

ニア&セオリ

セオリ	さっきの戦い、戦術的ミスが18か所あった……
ニア	まーまー、セオリ。気楽に行こう。数えてるのは凄いけど

ニア&トキハ

ニア	さすがトキハ。すごい武器捌きだったよ！
トキハ	ありがとうございます、ニア。しかし、私はまだまだです、もっと精進しなければ

ニア&ザクロ

ザクロ	早く宿屋に泊って、ニアとたくさん喋りたーい
ニア	頼むから、朝日を浴びる前には寝かせて……

ニア&ナナコオリ

ナナコオリ	ニアちゃん、すごい活躍だったね――　どうやったらニアちゃんみたいに強くなれるの？
ニア	アタシは強くないよ、ただもう後悔したくないからね

ニア&リンネ

リンネ	さあ、勝利を祝って、お茶会を始めようぞ！　みな、待望しとったじゃろ？
ニア	誰も待ってねーし！

ニア&ムスビ

ニア	ムスビ、戦いの最中によそ見してたら危ないよ
ムスビ	そうなんですけど、景色がとっても綺麗だったので―――

ニア&ヤエギリ&ザンテツ

ザンテツ	ヒャーーハッハッハッハ!!
ヤエギリ	あーーーーはっはっはっはーーーーー!!
ニア	ザンテツも！　ヤエギリも！　笑いすぎ！

ニア&ホタル

ホタル	みんな、大丈夫だった？　ケガがあれば、ボクが治すよ！
ニア	確実にアタシより女っぽいし、再生の力がすごく似合う…

ニア&ハナバスター

ニア	ふーん、で、操縦してんのはハナなんだよな？
ハナMk-Ⅱ	ご主人のお世話とハナバスターの操作でヘトヘトですも…

ニア&ヒバナ

ニア	花火って綺麗だけど　音が大きいのが苦手なんだよね…
ヒバナ	分かりました。ニアさんのために無音の花火を開発してみせます!!

ニア&シュルク

シュルク	ニアのその耳って――　本物なのかな？
ニア	ほ　ほんものに決まってるじゃん！　グーラ人なんだから
シュルク	ごめん！　僕たちの世界にはニアみたいな子はいなくて―――

ニア&フィオルン

ニア	フィオルンの身のこなし、たたもんじゃないね
フィオルン	これがお料理に活かせれば最高なんだけどね。はぁ

ニア&エルマ

ニア	アタシ1人でも大丈夫だったんじゃない？
エルマ	頼もしいわね　でも、頑張り過ぎは禁物よ

ニア&メツ

メツ	たらたらしてんじゃねーぞ。
ニア	なんだよ、大人ぶって！

ニア&ヨシツネ

ヨシツネ	ニア、思っていたよりはやるようですね。
ニア	なぁ、それって褒めてるつもり？

ニア&ベンケイ

ベンケイ	あんたとは色々あったみたいだね。ま、なんも覚えちゃいないけどさ。
ニア	まあね、でも昔の話。ベンケイということ、今は悪く無いって思ってるよ。

ニア(ブレイド)&トラ

ニア(ブレイド)	一丁上がり……っと！
トラ	ブレイドでもチョーイチリューだも！　やっぱりニアはスゴイも！

ニア(ブレイド)&ハナJK

ニア(ブレイド)	どうよ、ハナ。アタシのホンキ！
ハナJK	ニアもモードチェンジですも？　カッコいいですも！

ニア(ブレイド)&メレフ

メレフ	ニア、その格好も私は好きだぞ。君の本当が感じられる。
ニア(ブレイド)	あ、ありがと……。メレフにそう言われるとなんか照れちゃうな。

ニア(ブレイド)&ジーク

ジーク	ニア、その姿も結構ええで。ニアらしいわ。
ニア(ブレイド)	はいはい、どーもね亀ちゃん。って、ニアらしいってどういう意味で言ってんの!?

ニア(ブレイド)&サイカ

サイカ	ニアが同じブレイドなんて少しヘンな気分やわ。まだ慣れへんなぁ。
ニア(ブレイド)	ったく、サイカは直球すぎるって。でも本音で付き合ってくれるの、嬉しいよ。

ニア(ブレイド)&チカラオ

チカラオ	ニアの癒し　助かる。これからも　頼む
ニア(ブレイド)	アタシは癒す　チカラオはぶっ壊す。いい作業分担だよね～

ニア(ブレイド)&ニューツ

ニア(ブレイド)	ねぇ、ニューツ。その腕ってどうやって動かしてるの？
ニューツ	素晴らしい着眼点です！　これから半日かけてじっくりとご説明いたします！

ビャッコ&トラ

トラ	ビャッコはいつも冷静ですっごいも、ソンケーも！　トラも！　トラも見習うも！
ビャッコ	まずは少し落ち着かれるのがよいかと。

ビャッコ&ハナJK

ハナJK	ビャッコもご主人に改造してもらうといいですも。口からミサイル撃てますも。
ビャッコ	背中から翼を生やして飛行、最終的には巨大ロボ「ゴビャッコ」に合体を希望します。

ビャッコ&メレフ

ビャッコ	メレフ様、先ほどから貴方様の視線を感じるのですが……。何か？
メレフ	……い、いや。実に美しい毛並みだと思ってな。……もふもふ。

ビャッコ&ジーク

ジーク	ビャッコ、まあまあの活躍やったで。
ビャッコ	ありがとうございます。ジーク様もぼちぼちでございましたよ。

ビャッコ&ヴァンダム

ヴァンダム	ビャッコよ、お前の考える理想のドライバーとは何だ？
ビャッコ	私に乗れる程度に小柄で、そして愛らしく、少し素直でない――、といったところでしょうか。

ビャッコ&ヴァンダム&スザク

ヴァンダム	鳥ブレイドに犬ブレイドのお供――、ハッ、この組み合わせは!?
ビャッコ	お言葉ですが私は犬ではございません。
スザク	俺もだんごを貰った記憶はねえよ。

ビャッコ&ヴァサラ

ヴァサラ	柔い相手だった
ビャッコ	……あなたの刀が鋭すぎるのです、ヴァサラさん

ビャッコ&カサネ

カサネ	最近、戦ったあと肩が重いんですよね
ビャッコ	カサネさんの肩に何か黒いものが……い、いや、気のせいでしょう

ビャッコ&ミクマリ

ミクマリ	ビャッコ、次は私を背中に乗せて戦ってみない？
ビャッコ	……ランスが私の背中に刺さる予感がします

ビャッコ&アザミ

アザミ	ビャッコの毛皮、暖かそうね
ビャッコ	…ヒッ。わ、私の毛皮はパッサパサで、見た目ほど暖かくありませんよ、本当に

ビャッコ&ウカ

ウカ	ビャッコのワイルドロアって恰好良いよね、がおーって
ビャッコ	随分と可愛らしいワイルドロアです、敵もイチコロでしょうね

ビャッコ&ムスビ

ムスビ	ビャッコさんが老体に鞭打って頑張る姿、素敵です
ビャッコ	ムスビさんは私を何歳だとお考えですか？

ビャッコ&イブキ

イブキ	はー、危ない戦いだった……　助かったよ、ニャッコ
ビャッコ	ビャッコです！　お嬢様と混ざっていますよ……

トラ&ハナJS

トラ	トラ、ハナのいいドライバーも？
ハナJS	ハナのドライバーはご主人だけですも。ハナはそう思いますも。

トラ&ハナJS	
ハナJS	ご主人、右腕がうまく動かないですも
トラ	待ってて、ハナ！　すぐに調整するも！

トラ&ハナJK	
トラ	いまの戦いすっごかったも！　キクの心と力を感じたも！
ハナJK	姉様の想い、ハナのここに大事にしまってありますも！

トラ&ハナJK	
ハナJK	ご主人、イケイケのアゲアゲですも。超いい感じだったですも。
トラ	もっ!?　……ハナ、予想と違う成長したも!?!?

トラ&ハナJD	
トラ	ハナ、すっごく頼もしいも。見違えたも。
ハナJD	ご主人がハナを大切にしてくれるからですも。

トラ&ハナJD	
ハナJD	ご主人。攻撃の際は腰を落とし、丹田に気を集めるのですも。
トラ	も？　トラの腰ってどこだも？

トラ&ハナJD&KOS-MOS Re：	
KOS-MOS Re：	ルックス5%低下、マスター、洗浄してください
トラ	うへへへへ……キレイキレイにするも……
ハナJD	ご主人！　ハナも洗浄してほしいですもぉ〜！

トラ&メレフ	
トラ	トラもメレフみたく強くなれるも？
メレフ	強さとは人それぞれ。トラ、君なりの強さを手に入れないとな。

トラ&メレフ&ジーク	
メレフ	……どうにか勝てたな。
トラ	もっ！　主にトラのおかげだもっ！
ジーク	何ぬかしてんねん、主にワイのおかげやって！

トラ&ジーク	
ジーク	しっかしアレやな、ノポンっちゅーのは何でも言葉の終わりに『も』をつけよるな。
トラ	もっ!?　そんなことないも！　もなんてぜんっぜんつけてないも！

トラ&サイカ	
トラ	サイカはいつもジークと一緒で疲れないも？
サイカ	それ、逆にハナに聞きたいわ！

トラ&ヴァンダム	
ヴァンダム	トラ。お前さんの勇気、ドライバーとして不足はない。自信を持てよ？
トラ	もも……。涙で前が見えないも……。

トラ&スザク	
トラ	トラ頑張ったからおなかペコペコも。焼き鳥食べたい気分だも！
スザク	こいつめ、今度言ったらお前を食ってやる！

トラ&チカラオ	
チカラオ	待て、敵　まだ残ってる……　こいつ食っていいか？
トラ	ももも！　トラは敵じゃないも!!　食べないでほしいもーーーっ！

トラ&ヴァサラ	
トラ	……あ、あの、ヴァサラさん、チョ、チョーシはいかがでしたも？
ヴァサラ	いつもと変わらん

トラ&ユウオウ	
ユウオウ	……ところでトラ、アマアマウインナというのはスイーツなのか？
トラ	ももっ？　ユウオウは何言ってるも？　アマアマウインナはおかずだも！

トラ&イダテン	
トラ	……ももも、悔しいけど素晴らしい戦いだったも……
イダテン	いつもこんなもんだっポッ〜！　でも、トラもがんばればいつかイダテンみたいになれるっポッ！

トラ&クビラ	
トラ	もふーーーーっ！　みんなお疲れ様なんだも！
クビラ	フン、毛むくじゃらも少しは役に立つと見える――どうだ、余の臣下にならんか？

トラ&ナナコオリ	
ナナコオリ	……私、皆さんの足を引っ張ってしまってるかも……
トラ	そんなことないも！　ナナコオリちゃん、スゴイも！もっと自信を持っていいんだも！

トラ&ニューツ	
ニューツ	自分が思うに、今の戦いは最高に自分らしい戦い方でした！　というかこれが本当の自分なのでアリマス！
トラ	……ニューツのお話は『ジブン』が多いも……

トラ&ライコ	
トラ	ももっ！　ライコのビリビリすごいんだもっ！　ソンケーするもっ！
ライコ	よかったらトラさんもビリビリ体験してみます？

トラ&テンイ	
テンイ	戦闘終了、次の戦いに備えて小休止を提案する
トラ	もっ？　ショーキューシってなんだも？　トラ食べたことないも!!

トラ&T-elos Re：	
トラ	T-elos Re：、さっきの戦いで汚れたみたいだも！キレイキレイにするも？
T-elos Re：	…チッ。なつくんじゃないよ!!

トラ&ハナバスター	
トラ	センゾーじいちゃんはやっぱりスゴイも！天才だも！
ハナMk-Ⅱ	ご主人も早くセンゾー博士の頭脳に追いつくですも！

トラ&ヒバナ	
トラ	ヒバナの爆発はすごいも！
ヒバナ	分かりますか、トラさん！　爆発は芸術なんですよ!!

トラ&カムヤ	
トラ	カムヤのカッコイイ刀、どうしてアニキ達に使わせてあげないも？
カムヤ	このフツの刀は――　接着剤でくっついてるから、オレから一生離れないんだ
トラ	ももーっ!?　お気の毒も――

トラ&シュルク	
シュルク	この世界にもノポン族がいるんだね。トラは体のサイズから推測すると50才くらいかな？
トラ	そんなオッサンじゃないも！　シュルクよりも若いぴっちぴちの少年も！

トラ&エルマ	
トラ	トラ、大活躍だったも！
エルマ	ええ、私のチームのノポンにも見習ってほしいものだわ

トラ&サタヒコ	
サタヒコ	勝利の凄美に、お前の人工ブレイドとデートさせてくれよ
トラ	ぜーーーーーーーったいダメなんだもっ！

ハナJS&サイカ	
ハナJS	ハナ、ジークのすごさがわかってきましたも！
サイカ	ゴメンな、ハナ……。ウチはトラのすごいとこわかるまで、まだ時間かかりそうやわ……。

ハナJS&ヴァンダム	
ヴァンダム	人工ブレイドといっても人と変わりないな。死んだ息子を思い出すよ。
ハナJS	ハナは女性型ブレイドですも。でもたまにはそう思っていいですも。

ハナJS&ユウオウ	
ユウオウ	……ところでハナ、アマアマウインナというのはおかずなのか？
ハナJS	ももっ？　ユウオウさんは何言ってるんですも？　アマアマウインナはスイーツですも！

ハナJS&トキハ	
ハナJS	スゴイですも！　スゴイですも！　トキハさんかっこいいですも！　ハナ、憧れちゃいますも！
トキハ	ブレイドとして、当然のことをしているだけ。ハナもすぐにできるようになり、やがて私を越えるでしょう。

ハナJS&イブキ	
ハナJS	イブキさんって、何考えてるかわからないけど、すっごく強いですも！
イブキ	……そう、イブキは強い！　……ってイブキ、そんなに活躍してたっけ？

ハナJS&テンイ	
ハナJS	テンイはすごいも！　あっという間にやっつけちゃうんだも！
テンイ	尊敬の眼差しを向けるな――　これは忌むべき力だから――

ハナJS&ハナバスター	
ハナバスター	お嬢、いささか反応が鈍っていますが…
ハナJS	当たり前ですも、一人二役は楽じゃないですも…

ハナJS&フィオルン	
フィオルン	ハナちゃん、機械の体もなかなか大変だよね
ハナJS	フィオルンは人間なのに、機械の気持ちがわかりますも？
フィオルン	昔、ちょっとね。　今度詳しく話してあげるね

ハナJS&エルマ	
エルマ	ハナ、あなたの変形、ナノマシンか形状記憶合金が使われてるんじゃない？
ハナJS	とっぷしーくれっと、ですも。情報提供にはゴールドが必要ですも。

ハナJK&カグツチ	
カグツチ	ん？　どうしたの、ハナちゃん？
ハナJK	……カグツチを見て、レディーの振る舞いを勉強しているですも！

ハナJK&ジーク	
ジーク	ハナ、お前の名前短すぎや。このジーク・B・極・玄武のようにカッコええ名前をやな……
ハナJK	ハナはハナですも。

ハナJK&グレン	
グレン	へへっ！　オレたちの正義の勝利だ!!!
ハナJK	もっ!?　カッコイイもっ！　……ひょっとしてこれが『恋』なのですかも!?

ハナJK&セオリ	
条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後	
ハナJK	もふーーーっ！　セオリの強さの秘訣ってなんですも？
セオリ	……あの、……その、……お姉ちゃんに聞いてみる

ハナJK&シキ	
シキ	見た見た？　今の戦い!?　……早速ボクのツメに残った遺留物を分析しなくっちゃ!!
ハナJK	もっ!?　……ひょっとしたらコイツ、ヤバいヤツかもしれないですも……

ハナJD&メレフ	
ハナJD	メレフの麗しき振る舞い……。憧れますも。
メレフ	帝国流の作法でよければいつでも教えてやるぞ？

ハナJD&ジーク&サイカ	
ハナJD	ジークとサイカはこの旅を終えたらどうするんですも？
ジーク	決まってるやろ。サイカと修行の旅や！　……あれ？
サイカ	決まってるやん。王子と結婚の相談や！　……あれ？

ハナJD&リンネ	
リンネ	敵が落とした金は即座に拾う、これが鉄則じゃ
ハナJD	……リンネちゃん、しっかりしてますも……

メレフ&カグツチ	
カグツチ	メレフ様のお命、私が必ずお守りいたします。
メレフ	頼りにしているよ。帝国の威信に賭けて共にゆこう、カグツチ。

メレフ&カグツチ	
メレフ	立場が異なれど目的は同じ。悪くないな、仲間というものは。
カグツチ	同感です。この思い出は日記にも書ききれません。

メレフ&ジーク	
ジーク	メレフ、蒼炎剣・不知火を教えてくれ。ありゃぁ相当かっこええで。
メレフ	かっこいい……。なるほど、そういった意図で技を使う者もいるのだな。

メレフ&ワダツミ	
ワダツミ	私とキミと、カグツチがいれば、帝国も安泰だね
メレフ	心強い限りだよ、帝国だけでなく世界の安泰を共にはかろうではないか

メレフ&ヴァサラ	
ヴァサラ	メレフ――　良い太刀筋だな
メレフ	私もまだまだ若輩の身、ヴァサラ殿の剣に学ぶことは大きいです

メレフ&クビラ	
クビラ	取るに足らん、退屈な戦だったな
メレフ	その強さは認める、だが力に溺れるものはその身を滅ぼす、それを忘れるな

メレフ&トキハ	
トキハ	メレフと共に戦えること、騎士として誇りに思います！
メレフ	そう畏まらないでくれ、我々は同じ立場ではないか

メレフ&ザクロ	
ザクロ	ねえ、メレフー、もっとメレフの話、聞かせてよー。小さい頃のこととか、グーラで過ごしたときのこととかー、男風呂に入った時のこととかー、前の皇帝が亡くなったときのこととかー、スイーツのこととかー
メレフ	落ち着ける時が来たらな、堅苦しいことは抜きにして心行くまで話をしよう

メレフ&アザミ	
アザミ	わたくしの千里邪眼は、なんでも見通すのよ
メレフ	キミの前で隠し事は通用しないということだな、気を付けよう

メレフ&ニューツ	
ニューツ	メレフ殿！　その強さの秘訣を自分にも伝授していただけないでしょうか！
メレフ	秘訣も何もないよ、私は目的を成就するために生きている、それだけだ

メレフ&ウカ	
ウカ	メレフさん、スペルビア帝国がアルスをいじめるのやめさせてください。因果応報って言葉もありますし。
メレフ	肝に銘じておこう、ただしキミもその言葉に足を取られないよう気を付けるべきだ

メレフ&ヤエギリ	
ヤエギリ	メレフ、今度、一度手合せしてくれないかな？いい特訓相手になりそうだって思うんだ
メレフ	フッ、いいだろう、私もより一層、己の力を磨くことができそうだ

メレフ&イブキ	
イブキ	メルフって、すご〜〜〜い！　さっきの戦いで大活躍だったよね！
メレフ	その言葉有り難く受取ろう、だが私の名はメレフだ

メレフ&ホタル	
ホタル	メレフ、どうしてボクのことをさっきからじーーーーっと見ているの？
メレフ	とても興味深い姿をしていると思ってな、他に理由は無いよ

メレフ&テンイ	
テンイ	戦いとは無益なもの――　すべての争いを絶やさなければ――
メレフ	もしかしたらお前も私達も、目指しているものは同じなのかもしれないな

メレフ&ハナバスター	
メレフ	ハナバスターか。　帝国の技術士官でもここまでのものは作れまい
ハナMk-Ⅱ	エッヘンですも！

メレフ&カムヤ	
メレフ	カムヤの太刀捌き、見事だな
カムヤ	ありがと。今度メレフに手取り足取り教えてやるよ
メレフ	いや、それは遠慮しよう――　見て学ぶよ

メレフ&シュルク	
シュルク	メレフみたいな立派な軍人と一緒に戦えて光栄だよ
メレフ	私も君のような目をした少年は嫌いではない　普段見られない何かを見せてくれる気がしてな

メレフ&フィオルン	
フィオルン	メレフを見てると何かお兄ちゃんを思い出すな
メレフ	ちょっと待てフィオルン。念のため言っておくが、私は女性だ

メレフ&エルマ	
メレフ	想定内の結果だな。
エルマ	ええ　いい動きだったわ　これからもその調子でね、メレフ

メレフ&ヨシツネ	
メレフ	君と同じ側に立って戦う時が来るとは……。おっと記憶がないんだったな。
ヨシツネ	過去のことはわかりませんが……あなたへの頼もしさは、今間違いなく感じていますよ。

カグツチ&ジーク	
ジーク	帝国最強のブレイド、か。ええなあ、悪うない！
カグツチ	あなたにとって最強のブレイドはサイカでしょう？しっかり見てあげなさい？

カグツチ&スザク	
スザク	カグツチ、あんたの炎にはこの俺も舌を巻く。
カグツチ	謙遜ね。いまの戦い、あなたの風で勝利したようなものでしょう。

カグツチ&ワダツミ	
ワダツミ	記録によれば、君と私が共に戦ったのは随分と昔の話なんだね。
カグツチ	今回の旅は前のよりも責任重大よ。アルストの命運が掛かっている。スペルビアの威信、見せてあげましょう

カグツチ&ユウオウ	
ユウオウ	カグツチ、その……スペルビア帝国に伝わるスイーツの作り方を教えてくれないか？
カグツチ	残念だけど、それは無理ね。私は作るのよりも食べるのが専門だから

カグツチ&イダテン	
カグツチ	イダテンおすすめのケーキは何？
イダテン	ケーキならなんだってうまいっポッ！

カグツチ&トキハ	
トキハ	カグツチの戦いぶりには感服しますね。見習わせてもらいたいです。
カグツチ	貴方ほど腕が立つブレイドがそう言ってくれるのは照れくさいわ……

カグツチ&シキ	
シキ	カグツチさんがいつも大切に持ってるもの……興味津々だよ！
カグツチ	アレは見せちゃいけないものなの、スペルビア最大の極秘情報なのよ！

カグツチ&ライコ	
カグツチ	ライコ、お疲れさま。素晴らしい活躍だったわね
ライコ	ホントですか？　やったーーーーーーーー!!

カグツチ&ヤエギリ	
カグツチ	ヤエギリ、あなたは相変わらず力任せの強引な戦い方ね
ヤエギリ	万が一、負けることがあったら、考え直すよ。あっはっは一！

カグツチ&ホタル	
カグツチ	ホタル、あなたとメレフ様はまるで正反対の存在よね
ホタル	メレフは強くてかっこいい……ボクはひ弱でダサいってこと？
カグツチ	いえ、そうじゃなくてね……。女の子のようにかわいい男の子ってことよ。

ジーク&サイカ	
ジーク	サイカ、ケガないか？
サイカ	王子!?　なんや気色悪いなあ……。でも、ありがとう。

ジーク&サイカ	
ジーク	しっかし、いつの間にやら大所帯にも慣れたもんやなぁ。
サイカ	せやね。ふたり旅もええけど、こういうのもええよね、王子。

ジーク&スザク	
ジーク	スザク、自分ちぃと派手過ぎや。わいみたくこうダークでクールでないと。
スザク	よかろう、アルティメットゲンブ。覇王の心眼の真髄、いずれご教授願おうか。

ジーク&ヴァサラ	
ジーク	ヴァサラ、今度ウルトラアルティメットライトニングスラッシュ・ブレイブクロスを伝授したろか？
ヴァサラ	いらん

ジーク&クビラ	
クビラ	ルクスリアの王子よ、良い働きであった。次も頼むぞ
ジーク	なんてやっちゃ……そんなぞんざいな言い方、オヤジにもされたことないで

ジーク&カサネ	
ジーク	カサネにはなんや親近感が湧くな
カサネ	え、そうですか？　私はあまり……別に運は悪くないですし

ジーク&ミクマリ	
ジーク	ミクマリ！　眼帯を外してくれ！　キャラがカブっとるやないか！
ミクマリ	わたしは事情があってつけてんの！　ジークと違ってね!!

ジーク&アザミ	
ジーク	アザミはん、その目、ほんまカッコエエな
アザミ	ありがとう。あまり褒められたことがないから、嬉しいわ

ジーク&ナナコオリ	
ジーク	はーっはっは！　この雷轟のジークに出会ったのが運の尽きやったな！
ナナコオリ	……わ、わたしの運も尽きちゃってるんでしょうか？

ジーク&リンネ	
リンネ	ワラワはよい働きをしたであろう？　褒美はルクスリアの宝でよいぞ
ジーク	やるかいな！　どうせロクなことに使わんやろ！

ジーク&ライコ	
ジーク	ライコ、いいビリビリやったで
ライコ	ありがとうございます！　次もビリビリがんばります！

ジーク&ヤエギリ	
ヤエギリ	ジーク、いつ覇王の心眼の力を見せてくれるんだ？
ジーク	そっ、そのうちや。力をもっとチャージせなあかんからな。

ジーク&イブキ	
イブキ	ジークはとても強いけど、ちょっとアホなところがあるよね？
ジーク	やかましいわ！　お前も似たようなもんやろ！

ジーク&テンイ	
ジーク	ワイが思うにテンイは曾々々々祖父さんのブレイドやったんちゃうんかな？　相当の荒くれ者やったらしいからな
テンイ	不明。しかし、今回は封印されないよう注意したいと思う

ジーク&ハナバスター	
ジーク	しっかし、アレやな…トラのジイさんもケッタイなもんつくりよんなぁ…
ハナMk-Ⅱ	完全に自立するまではまだまだ時間がかかりますも！

ジーク&ヒバナ	
ヒバナ	ジークさん、あたしの花火ってどうですか？
ジーク	うーん、名前が地味やと思うわ。「究極流星群花火」っていうんはどうや？
ヒバナ	な、なんてカッコいい名前…。ジークさん、流石です!!

ジーク&シュルク	
ジーク	なぁシュルク、質問があんねん。そっちの世界にはワイのようにかっこええヤツはおるんか？
シュルク	い　いや――　ジークみたいに個性的な人はみたことないよ
ジーク	ハッハッハッハッ！　雷轟のジークは唯一無二ってことやな！

ジーク&フィオルン	
フィオルン	ジークは変なキャラやめればモテそうなのに
ジーク	モテるとかそういうのはいいんや。ワイはな、最強、完璧、究極な存在、ただそれだけや

ジーク&エルマ	
ジーク	ちょ、ちょっとストーップ！　コンタクト落としてもうたわ……
エルマ	いいメガネ屋を紹介するわ　NLAに戻ったら、ね

ジーク&エルマ	
ジーク	ワイの戦いは永遠に終わらへん――そう、すべては覇王の心眼を身に宿し者の運命（さだめ）――
エルマ	そういうの古い地球のスラングで何て言ったかしら――中二？

ジーク&ベンケイ	
ベンケイ	亀！　さっきの戦いは何？　本気でやらないとぶっ飛ばすよ。
ジーク	げ、激励の言葉、痛み入るわ。ベンケイはんは優しいなあ。はは……。

サイカ&グレン	
サイカ	グレン、次もよろしゅう守ってね
グレン	ああ、任せておけ！　クールに守ってみせるからな!!

サイカ&チカラオ	
サイカ	チカラオは腕っぷしが強いなぁ。スペルビアと腕相撲しても勝てそうやわ
チカラオ	ナンデヤネン

サイカ&イダテン	
サイカ	イダテン、なんやお腹空いてきたなぁ……
イダテン	空いたっポッ。サイカとマヨヤキタコ食べるっポッ！

サイカ&ムスビ	
ムスビ	サイカさん、宿に着いたら洗濯しませんか？　晴れてたらですけど
サイカ	ムスビはおっそろしいほどマイペースやね！

サイカ&ライコ	
ライコ	サイカさんは戦ってる最中にビリビリしないんですか？
サイカ	ライトニングフォース使ったときなんか、めっちゃビリビリするで一

サイカ&ヤエギリ	
サイカ	ヤエギリ、もうちょい手加減してくれへん？　帽子が飛びそうになったわ
ヤエギリ	悪い！　でも、風の力はいつも3割しか出してないんだ！

サイカ&イブキ	
イブキ	チャイカの帽子、かっこいいから、後で貸してほしい
サイカ	いやや！　これがなくなるとウチの頭は……!!

サイカ&KOS-MOS Re：	
サイカ	KOS-MOS Re：、ちょっと大人しかったやん。ウチの雷の力わけたろか？
KOS-MOS Re：	サイカ、それは不要です。私の動力は電気ではありません

ヴァンダム&スザク	
ヴァンダム	今日もいい風を吹かせたなスザク。これからも頼むぞ、相棒！
スザク	わかってる。お前がいてこその俺だ。そうだろ？相棒。

ヴァンダム&スザク	
スザク	ヴァンダムよ、俺たちも新技ってのを編み出してみないか？
ヴァンダム	「飛天風神斬」なんて恥ずかしい名前の技は御免こうむるぞ。

スザク&ナナコオリ	
条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後	
スザク	ナナコオリの歌――また、聞かせてもらえないか？
ナナコオリ	いいですけど――　でも、やっぱり恥ずかしいからイヤです……

スザク&ヤエギリ	
スザク	ヤエギリ、お前の風は随分と荒々しいな
ヤエギリ	そうかな？　そよ風程度の力しか使ってないんだけど

ワダツミ&グレン	
グレン	俺の力とワダツミの技　向かうとこ敵無しだな！これからも頼むぜ相棒！
ワダツミ	相棒か……悪くない響きだね　こちらこそよろしく　相棒

ワダツミ&ヴァサラ	
ヴァサラ	斬る価値すらない雑魚だったな
ワダツミ	言ってくれれば次からは私が斬ろう

ワダツミ&セオリ	
ワダツミ	さすがの刀捌きだね、セオリ
セオリ	速度は私が上、力はあなたが上。褒めるのはおかしい

グレン&ヴァサラ	
ヴァサラ	愛刀が泣いておる。我の未熟さゆえか
グレン	その腕で未熟って、兄貴はやっぱすげーや！

グレン&メイ	
グレン	よーし、勝利の雄叫び！　熱く燃えるように頼むぜメイ！
メイ	うぉぉ……ってやるわけないでしょ。ったく暑苦しいんだよ、バカグレン！

グレン&メノウ	
メノウ	グレン、熱い戦いだったわね！
グレン	ああ、オレたちの正義をアツく示すことができたよな！

グレン&ユウオウ	
グレン	ユウオウの指示は的確でいつも頼りになるぜ！
ユウオウ	君の勇気を信頼してこそできる作戦だ、こちらこそ礼を言う。

グレン&ミクマリ	
グレン	俺たちのスローガン！　それは!!
ミクマリ	熱血！　友情！　努力！　根性！　そして正義よ!!

グレン&セオリ	
グレン	セオリ、次の戦いも熱く行こうぜ!!
セオリ	私はできるだけクールに戦いたいと思ってるんだけど――

グレン&トキハ	
グレン	トキハ、俺は仲間を守るために戦い続けるぞ！
トキハ	ならば私もグレンと共に、皆を守るため戦い続けよう

グレン&ナナコオリ	
グレン	もっと熱くいこうぜナナコオリ！　こう、うぉおお！って感じでさ！
ナナコオリ	そんなに熱くなったら　と、溶けちゃいます～

グレン&ムスビ	
グレン	ムスビ、戦いの最中に俺を見てたけど、なんかおかしかったか？
ムスビ	おかしくないですよ？　ただグレンさんの攻撃を受けた敵が可愛そうだなーっと

グレン&シキ	
グレン	見たか！　俺たちの正義の力を！
シキ	グレン、正義っていったいなんだろうね？
グレン	お、おう――細かいことは気にするな!!　それは問題じゃねえ!

グレン&ヤエギリ

ヤエギリ	準備運動はこの辺でいいよね？　さあ、本番を始めようよグレン！
グレン	仲間どうしで戦えるわけないだろ！

グレン&ホタル

ホタル	やったねグレン！　ボクたちの大勝利だよ！
グレン	おう！　燃える男のパワーの……ホタルって女だっけ？

ヂカラオ&ヴァサラ

ヂカラオ	おのれに　勝手こその勝利だ
ヴァサラ	フン、お前とはいい酒が飲めそうだ

ヂカラオ&イダテン

イダテン	もし何でも好きなだけ食べられるとしたら、ヂカラオは何がいいッポ？
ヂカラオ	アルマ肉　倍のせ　煮込みルスカ麺　特盛プリリーフキャベツ　増し増し

ヂカラオ&クビラ

ヂカラオ	クビラ　なまけてるのは良くない
クビラ	余は貴様らに活躍の機会を与えてやったのだ。感謝せよ

ヂカラオ&ナナコオリ

条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後

ヂカラオ	ナナコオリの歌、もう一度聴きたい
ナナコオリ	え、ええ!?　ヂカラオさん　い、いつ聴いてたんですか!?

ヂカラオ&ニューツ

ニューツ	ヂカラオ殿！　また力試しの相手になってください！
ヂカラオ	わかった。次は相撲で勝負だ

ヂカラオ&リンネ

ヂカラオ	リンネ、この戦いが終わったら、ハーレムに入ってやってもいいぞ
リンネ	待て待て。ヂカラオのことは誘っとらんじゃろ。オヌシはせいぜいボディガードじゃ

ヂカラオ&ムスビ

ムスビ	ヂカラオさん　おむすびを食べて気を静めてください
ヂカラオ	俺、別に怒ってない……

ヂカラオ&シキ

シキ	フムムム……。ヂカラオは興味深いなー。この尻尾に触手に、ちょっと触ってもいい？
ヂカラオ	……好きにしろ

ヂカラオ&ヤエギリ

ヤエギリ	ヂカラオ、お前の強さの秘訣はなんだ？　その力の源はどこにある？
ヂカラオ	負けない心だ

ヂカラオ&イブキ

イブキ	ヂカラオ…肩に載せてもらってもいい？　高いところが好きなんだ～。
ヂカラオ	いいけど、寝るなよ

ヂカラオ&KOS-MOS Re：

ヂカラオ	KOS-MOS Re：、強い。味方で良かった
KOS-MOS Re：	マスターに危害を及ぼす脅威を、私は敵として殲滅します。

ヂカラオ&テンイ

テンイ	勝利を幾度、重ねても　終わりは見えない――今回もまた――
ヂカラオ	テンイ、いつか答えはみつかる。　ともに探そう

ヴァサラ&カサネ

カサネ	ヴァサラさんに不穏な空気が……戦いが終わっても気をつけてくださいね。
ヴァサラ	承知した。気をつけるといたそう。

ヴァサラ&ミクマリ

条件：ミクマリ+セオリ②のブレイドクエストをクリア後

ミクマリ	ねぇ、ヴァサラ。わたしは昔、悪党だったんだって。切り捨てゴメンされるべきかな？
ヴァサラ	我は斬らぬ。今のお前は正しき道を歩んでいるからな

ヴァサラ&トキハ

ヴァサラ	トキハには背中を任せられるようだ――
トキハ	ヴァサラに認められるとは光栄です。これからもお任せを。

ヴァサラ&アザミ

ヴァサラ	アザミ、お前は狂気の裏に、優しさが見える。表に出さないのは照れか？
アザミ	私は私のドライバーに対してはいつも優しいわ。そうでしょう？

ヴァサラ&アザミ

アザミ	ヴァサラ、そのとっくりには何が入っているのかしら？
ヴァサラ	酒だ。お前も飲むか？
アザミ	いいわね――

ヴァサラ&ナナコオリ

ヴァサラ	どうした？この旗が珍しいか？
ナナコオリ	あ、あの……模様がとても綺麗だなと……おもって

ヴァサラ&シキ

ヴァサラ	シキ……、腹は空かんのか？
シキ	減るに決まってるだろ！　あれ？　でも、食べたものってどこへいくんだろう!?　このお腹、興味深いよ！

ヴァサラ&ライコ

ライコ	ヴァサラさんの技、スゴすぎます！　憧れますよ！
ヴァサラ	だが、ライコは我のようにはなるな。お前はお前の道を行くがいい

ヴァサラ&ヤエギリ

ヤエギリ	うん、良い剣筋だね……ヴァサラ、アタシともー戦どうだ
ヴァサラ	……女とは戦わん。

ヴァサラ&ツキ

ヴァサラ	悪はすべて成敗した。これにて一件落着ー
ツキ	フム――ヴァサラの生き方もある意味、美しい

メイ&メノウ

メノウ	メイ、それなりに力をコントロールして戦えてたわね。いい調子よ。
メイ	はいはい、どーも。

メイ&カサネ

カサネ	メイちゃん、ケガはなかったですか？　メチャクチャな戦い方だったけど……
メイ	アタシの戦い方に口出しすんな！　――けど、心配かけてゴメン

メイ&トキハ

トキハ	メイ、あの戦い方はやめた方がいい。力押しをやめれば、あなたはもっと強くなれる
メイ	勝ったんだから、いいでしょ。アタシはアタシの好きなようにやるだけ！

メイ&ザクロ

ザクロ	戦闘終了だね！　そういえば、この前さ、メイの好きそうな可愛い色の繊物見つけたんだけど
メイ	うっさい、別に好きじゃない――　そこまではね！

メイ&アザミ

メイ	いい戦いだった。――アザミ、アンタとはやりやすくていいね
アザミ	私もメイとは相性がいいと思うわ　――次もよろしくね

メイ&ナナコオリ

ナナコオリ	メイちゃん――　ケガしなかった？
メイ	アタシは大丈夫　――アンタは？
ナナコオリ	私も大丈夫――　ありがとう

メイ&ウカ

ウカ	いつみてもメイさんの戦い方には憧れますね！
メイ	――どうして？
ウカ	ワイルドだからです！

メイ&ムスビ

ムスビ	みんなのためにムチャをするメイちゃんは、心優しいですね
メイ	なっ!?　別にそんなためにやってんじゃない！

メイ&ヤエギリ

メイ	雑魚だったね――
ヤエギリ	アタシたちの向かうところに敵なしだな！　あっはっは！

メイ&ツキ

ツキ	メイが戦うと草一本も残らせえへんね
メイ	フフッ、ある意味キレイになるでしょ？

メイ&ツキ

ツキ	メイ、はばかりさん 。なぁ、メイの戦い方って、身体に傷がついたりせーへんのやろか？
メイ	確かにボロボロになるけど――　ブレイドだから気にしてたって仕方ないだろ？

メノウ&イダテン

メノウ	イダテン、ひとつ指摘しなければならないことがあるわ。あなた、最近、食べ過ぎで太って動きが鈍り始めてる
イダテン	ポポポ～っ!?

メノウ&クビラ

条件：クビラのブレイドクエストをクリア後

クビラ	メノウよ、頼んでいた物はどうなった？　我が王国の文献は？
メノウ	まったく見つからないのよね。あなたって実は王様じゃなかったんじゃない？
クビラ	なぁっ!?

メノウ&カサネ

メノウ	この戦い、カサネとうまく連携できたのがよかったわ
カサネ	この前、冒険小説を一緒に読んだ甲斐がありましたね！

メノウ&セオリ

メノウ	セオリ、今回もいい働きだったわね。あなたがいてくれて助かるわ、みんなそう思ってるわよ
セオリ	……そんなことない。私はまだまだ――。メノウこそお疲れさま――

メノウ&トキハ

トキハ	メノウ、いい戦いでしたね
メノウ	うん、トキハと一緒に戦うの、いつも楽しみなのよ

メノウ&ウカ

メノウ	戦闘終了ね。カクタン、スケタンもお疲れさま。
ウカ	メノウさん、どっちがカクタンで、どっちがスケタンか分かります？
メノウ	えっと――　右がカクタンで、左がスケタン？

メノウ&シキ

シキ	メノウ、今度、鉱石のこと、教えてよ。メノウの戦う姿を見てたら、気になってきたんだ！
メノウ	いいわ。でも、キビしくいくからね。途中で投げ出すのは許さない。

メノウ&ライコ

メノウ	ライコ、大活躍だったわね。雷の力のコントロールが良くなったからかしら
ライコ	えっへん、みなさんが協力してくれたおかげなんですよ！

メノウ&イブキ

メノウ	イブキとともに戦えるのは幸せね。あなたを見てると楽しくなるから
イブキ	それは不本意。次はイブキの恐怖で震え上がらせる！
メノウ	フフッ、人を楽しませるのも才能の一つなんだから、そのままでいいと思うわ

メノウ&ツキ

ツキ	今回もあんまり美しゅうない戦いやったね
メノウ	宝石のようにキレイな戦いがあるなら、見てみたいものね

ユウオウ&イダテン

イダテン	この間のユウオウのスイーツめちゃウマっポッ！　もう一度食べたいっポッ！
ユウオウ	そうか、試作品をたくさん作るときは、またイダテンに頼むとしよう。

ユウオウ&クビラ

ユウオウ	クビラ、もう少し周囲と連携を取ってくれ。私たち一人一人が協力して、チームになるんだ
クビラ	うむ――　善処しよう
ユウオウ	くっ、ヤツには反論しづらい――なぜだ？

ユウオウ&ミクマリ

ユウオウ	ミクマリ、すばらしい活躍だったな
ミクマリ	ありがとう！　ご褒美にスノウレアチーズケーキ作ってくれてもいいんだよ？

ユウオウ&トキハ

ユウオウ	トキハ、あまり気負いすぎるなよ。ブレイド一人で全てを支えるのは難しいんだ。
トキハ	ユウオウは真面目ですね。――分かりました。辛くなった時は皆を頼ります。

ユウオウ&ザクロ

ユウオウ	ザクロ、もっと真剣に戦うんだ。軽い気持ちだと死を招くぞ。
ザクロ	はいはーい、分かってますよーだ。でも、楽しくやってもいいじゃない？

ユウオウ&アザミ

ユウオウ	……アザミは甘いものには全く興味がなさそうだな？
アザミ	そんなことないわよ……。目玉の形のグミとか、かわいくていいじゃない？

ユウオウ&ニューツ

ニューツ	ユウオウ指揮官殿！　次のご指示をください！
ユウオウ	次の戦いに備えてくれニューツ。それと、指揮官殿はやめてくれ……

ユウオウ&ライコ

ユウオウ	ライコ、よくがんばってくれた。ご褒美に何かスイーツを作ってやろうか？
ライコ	いいんですか!?　100人分くらいのおっきなパンケーキをみんなで食べたいです
ユウオウ	ぐっ、それは――。くっ、まさかフライパンから作らなければならないのか――

ユウオウ&イブキ

ユウオウ	イブキ、お前の才能を活かしたいい戦いだったな
イブキ	スウィートドリームズ！　かっこよかったでしょ？
ユウオウ	勘違いするな　それは私の技だ

ユウオウ&テンイ

ユウオウ	テンイ、戦闘に勝ったというのに暗い顔だな。私のスイーツでも食べて気分転換しないか？
テンイ	甘いものは苦手

ユウオウ&ツキ

ツキ	ユウオウはんは頼りになるブレイドやねぇ
ユウオウ	そんなことはない。一戦一戦、必死にやってるだけだよ

イダテン&セオリ

イダテン	戦いの後はお腹が減るっポッ　セオリ何か食べ物もってないっポッ？
セオリ	――あるけど、代わりに今度イダテンのお腹を触ってもいい？　気持ちよさそう……

イダテン&ナナコオリ

条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後

イダテン	さ、ナナコオリ、勝利の歌を今こそ歌うっポッ！
ナナコオリ	え!?　今ここで!?……そ、そんな恥ずかしいよ……

イダテン&ウカ

イダテン	んー、うまい！　ウカ！　この前拾ったこのキノコめちゃウマっポッ！
ウカ	あー！　ダメですよ、イダテン！　それ猛毒のキノコですよ!!

イダテン&ムスビ

イダテン	ムスビのおむすびは何個でも食べれるッポ。さぁ、どんどん作るッポ
ムスビ	か、勘弁して下さい～。右手が腱鞘炎になってしまいます

イダテン&シキ

シキ	イダテンに質問があるんだ。手ってどうなってるのかな？　とても柔らかいよね？
イダテン	手なんてないっポッ！　手みたいに見えるけど、舌っポッ！
シキ	げっ、この前、舌で本を触ったんだ――

イダテン&ライコ

イダテン	ライコは電気ってどんな味か知ってるっポッ？　おいしいと思うっポッ？
ライコ	ごめんなさい。食べたことがないから、わからないんです。でも、きっと、全然おいしくないと思います！

イダテン&ヤエギリ

ヤエギリ	速さだけはイダテンに勝てないんだよなぁ――悔しいぞ！
イダテン	コツは大きな口を開けて、一口で食べて、あまり噛まずに流し込むことっポッ！
ヤエギリ	いや、早食いのことじゃないから――

イダテン&ホタル

ホタル	花を傷つける奴らはボクが懲らしめちゃうんだから！
イダテン	ねぇ、ねぇホタル！　あそこの花は食べられるっポッ!?

イダテン&テンイ

イダテン	テンイ、イダテンと大食い競争するっポッ！　どれだけ食べるか興味があるっポッ！
テンイ	私はパン1つで十分だ
イダテン	ポポポッ!?　燃費よすぎるっポッ！

クビラ&カサネ

カサネ	クビラさんのマント、綺麗ですね～。触っていいですか？
クビラ	待て！　動くな！　この王のマントに呪いをかけるつもりか!?

クビラ&ミクマリ

条件：クビラのブレイドクエストをクリア後

ミクマリ	最近のクビラ、いい感じに変わったね
クビラ	フッ、小娘が。余を尊敬せよ。クビラ様と呼べ。
ミクマリ	気のせいだったみたいだね――

クビラ&ザクロ

ザクロ	ねぇ、クビラ聞いてよ、今の戦いでスッゴく面白いことがあったんだけどさ、アタシがね、雷の力を使って、アイツに一撃かまして～。でね、そっからがスゴクて……
クビラ	ん？　どこからか鳥のさえずりが聞こえるな――

クビラ&ナナコオリ

条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後

クビラ	ナナコオリ、勝利の歌を余に捧げよ。そうすれば、臣下に加えてやろう
ナナコオリ	えっと……ごめんなさい遠慮します！

クビラ&ニューツ

クビラ	ご苦労だったな、ニューツ。余の護衛にしてやってもいいぞ
ニューツ	クビラ殿、ありがたいお誘いですが、自分はドライバー護衛の任務がありますので

クビラ&リンネ

クビラ	リンネよ、貴様の態度は目に余るものがあるぞ
リンネ	オヌシにだけは言われたくないわ！　今の暴言、その王冠で許してやろう

クビラ&ライコ

クビラ	ライコよ、飲みものを取ってくるがいい
ライコ	はい、わかりました……って、わたしは召使いじゃないですよ!!

クビラ&テンイ

クビラ	テンイよ、その力――余に託しはしまいか？
テンイ	――
クビラ	なっ、余の誘いを無視するだと――!?　底知れぬ女よ――

クビラ&ツキ

ツキ	クビラはんの衣装、戦いのとき、きらきらしてて、ほんまに美しいね
クビラ	ハッハッハ、ツキよ、お前は分かるブレイドだな。側室に迎えてやろうか
ツキ	フフッ――　堪忍しておくれやす

カサネ&セオリ

セオリ	カサネのお面……かわいいね
カサネ	そーですよね！　チャーミングですよね！　セオリちゃんはよく分かってます。センスありますね！

カサネ&ザクロ

カサネ	またザクロちゃんと一緒にグーラのあのお店でお買い物したいねー。
ザクロ	いや、この前、あんたと行った時、なぜかお店の床がすっぽぬけて、休業になったじゃん

カサネ&アザミ

アザミ	カサネ、あなたはいけ好かない子ね……。少し似てるところがある上に私よりも目立ってるじゃない
カサネ	えー、じゃあ、今度は交代しますか？　でも、私がエーテルキャノンを撃っても当たりそうにないような……
アザミ	そうね……　あなた不器用そうだものね　現状維持でいきましょう

カサネ&ウカ

カサネ	ウカさんのカクタン、スケタンって可愛いですよねー　撫でてもいいですか？
ウカ	いいですよ。　カクタン？　スケタン？　そんなに警戒してどうしたの？

カサネ&リンネ

リンネ	カサネよ、宿に着いたら、ワラワの金運と女運を占ってほしいのじゃ
カサネ	この場で占いましょうか？　んーーーー、どちらも大吉です！　ついでにラッキーアイテムはカマカマドウマ、ですね！
リンネ	ふむ――　全然、信用ならんから、地道に努力するとしよう

カサネ&イブキ

カサネ	イブキちゃん。そろそろ私の名前、覚えてくれました？
イブキ	もちろん覚えてるよ！　うーん……アレ？　なぜか運が悪くて思い出せない……　もしかして、記憶喪失……？

カサネ&ホタル

カサネ	さっきホタルくんの運勢を占ってみたら、最高の運気でしたよ！
ホタル	え!?　えーあー　そ、そーなんだー。戦いは終わったけど、何が起こるかわからないから注意しないとね……

カサネ&KOS-MOS Re：

カサネ	ふぅ、お疲れさまです　KOS-MOS Re：さん。ハッ！　KOS-MOS Re：さんの背後に怪しい気配が……。
KOS-MOS Re：	――特に異常は検知できませんでした。　カサネが疲れているのでは？

ミクマリ&セオリ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

ミクマリ	セオリ、ケガはない？　大丈夫だった？
セオリ	うん、平気。お姉ちゃんは？
ミクマリ	お姉ちゃんはピンピンしてるよ！

ミクマリ&セオリ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

セオリ	……お姉ちゃん？　怪我はないみたいね……
ミクマリ	セオリこそ大丈夫？　……って私より強い子だもんね！

ミクマリ&トキハ

トキハ	ミクマリ、先ほどの戦いでの動き、もっと力強さを意識したほうがいいのでは？
ミクマリ	うーん、分かってるけど――それはトキハがお願い。私は速度重視で行くわ！

ミクマリ&ムスビ

ミクマリ	ムスビって、自分とホムラの料理、どっちがおいしいと思う？
ムスビ	さあ――？　でも、おむすびだけは自信があります！　その他の料理は自信が全くありません！

ミクマリ&シキ

シキ	ねぇ、ミクマリ。頭についてるぷにぷにしたヤツ、揉んでみていいかな？
ミクマリ	ちょ、ダ、ダメっ！　触ったりしてもダメだからね!!　敏感なんだから！

ミクマリ&イブキ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

イブキ	この戦いが終わったら、イブキをマクマリの妹にしてくれるって約束してたよね？
ミクマリ	してないよ！　イブキのコアクリスタルの形がわたしやセオリと同じだったらよかったのにね――

ミクマリ&テンイ

ミクマリ	テンイ、あんたがいてくれてよかった。今回もみんなを守ってくれたね
テンイ	――役目を、果たした、だけだ

セオリ&ザクロ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

ザクロ	さすがセオリだね。お姉ちゃん以上に鋭い戦いっぷりだったよ
セオリ	――次はもう少しかわいく戦う

セオリ&ニューツ

条件：ミクマリ+セオリ③のブレイドクエストをクリア後

ニューツ	姉君より教育係を任命された、このニューツがこれからビシバシとセオリを鍛えます！
セオリ	お姉ちゃん……余計なことを……

セオリ&リンネ

セオリ	リンネ、今の戦い、よそ見が多すぎるよ
リンネ	可愛い女子がおるとなぁ。セオリ、オヌシのせいでもあるのだぞ

セオリ&ムスビ

セオリ	……ムスビ、戦いはもっと緊張感をもって臨んだ方がいいよ……。
ムスビ	ご、ごめんなさい!私、あんまり他人を傷つけちゃイケないって思って!!

セオリ&ヤエギリ

セオリ	ヤエギリの戦い方って……ちょっと雑。
ヤエギリ	ええーーーっ!?　そんなことないよ！　相手に付け入る隙を与えないって言ってよ!!

セオリ&イブキ

セオリ	――イブキ、今度、一緒に朝練しない？　もっと強くなれるよ
イブキ	ありがとうセロリ。ちょっとは頑張ってみようかな～
セオリ	セオリなんだけどな――

トキハ&ザクロ

ザクロ	ねぇ、トキハ。今度、スペルビアの温泉で一緒にお風呂入ろうよ。みんなと親睦、深めないとね。裸の付き合いだよ。
トキハ	皆との連携が重要なのは承知していますが、風呂となると――ううん、どうしたものか

トキハ&アザミ

アザミ	トキハ、私はあなたのような実直なブレイドは苦手よ
トキハ	私もアザミのような存在は得意ではない――が、ドライバーのため、力を合わせるべきではないか？
アザミ	その点に関してだけは同意見ね。次も誠心誠意を尽くしましょう

トキハ&ニューツ

トキハ	ニューツ、ふと思ったのだが、どうしてその巨大な腕で殴らずに、刀で戦うんだ？
ニューツ	き、気づいてしまわれましたか、トキハ殿！　この大きな腕で殴るのは安直、刀の方が浪漫があるからです！

トキハ&ウカ

ウカ	トキハはどんなことが起きても決して折れない心を持ってますよね？
トキハ	それはウカも同じでは？　自然を大切にしたいという強い意志を感じますが
ウカ	でも、動物たちに話が通じなくて、頭をかじられたり、反撃されると、意気消沈するんですよね

トキハ&ムスビ

ムスビ	私もトキハさんみたいにテキパキ動けるようになりたいです～
トキハ	私こそムスビみたいにのんびり――いえ、泰然自若としていたいものです

トキハ&イブキ

トキハ	イブキ、私の名前、そろそろ覚えてくれましたか？
イブキ	もちろんだよ、トキワ。トキワの戦い方はかっこいいね！　トキワはすごい！
トキハ	くっ、好きにしろ――

ザクロ&アザミ

アザミ	ねぇ、ザクロ――　さっきの戦いで私のドライバーに色目を使わなかったかしら？
ザクロ	いやいや全然！　いつも通り！　まったくもう怖いなぁ、アザミ姉さんは――

ザクロ&ナナコオリ

ナナコオリ	わ、わたしもハッキリと物が言えるようになりたいな……ザクロちゃんどうしたらいいかな？
ザクロ	ん？　アンタはそのままの方が男受けよさそうだから変わらなくていいんじゃない？

ザクロ&リンネ

ザクロ	戦いの後って、お風呂に入りたくなるよねー
リンネ	なんじゃ？　ワラワを見るでない！　譲ってやらんぞ！
ザクロ	えー、じゃあ、一緒に入るとかでいいからさー

ザクロ&ホタル

ザクロ	ふぅ、戦いも終わったし、ガールストークしようよ、ホタル！
ホタル	やだよー、ザクロの話はすごく長い・内容がない・オチもないって感じだからね。
ザクロ	うぐっ、さっきの戦いよりもキツい口撃……

ザクロ&KOS-MOS Re：

ザクロ	KOS-MOS Re：の頭からドカーってやつ、すごいよね？　どうやってるの？　アタシにもできないかな？
KOS-MOS Re：	訓練すれば可能です
ザクロ	え、マジで!?

アザミ&ムスビ

アザミ	ムスビ、今度、媚薬入りおむすびを作ってくれないかしら？
ムスビ	そ、それは無理です～。でも、アザミさんが手料理を作れば、きっと振り向いてもらえますよ！

アザミ&ライコ

アザミ	ライコ、どうしたの？　私をじっと見て。
ライコ	わたしも大きくなったら、アザミさんみたいにきれいになるのかなーって
アザミ	――ライコはそのままでいなさい

アザミ&ホタル

アザミ	ホタル、私と貴方は似た者同士。仲良くしましょうね？　ウフフフ…
ホタル	ちっとも似てなんかいないってば！　まったくもう

アザミ&テンイ

アザミ	ねぇ、テンイ。あなた、ドライバーのことどう思ってるの？　お話しましょうよ
テンイ	特にどうとは思っていない

アザミ&ツキ

ツキ	アザミの衣装はいつ見ても素敵やね、フフッ
アザミ	あなたもいつもキレイでいいわね――　フフフフ……

ナナコオリ&ウカ

条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後

ウカ	ナナコオリさん、クマリンさんと仲良くなりたいのですがどうすればいいですか!?
ナナコオリ	えっと、まずは一緒に歌を歌ってみるといいかもしれないです。　ね、クマリン。

ナナコオリ&リンネ	
ナナコオリ	リンネさん、質問です。ハーレムってなんですか？
リンネ	みなが幸せになれる素晴らしい世界じゃ。安心せい、オヌシもすでにメンバーじゃからな

ナナコオリ&ムスビ	
ムスビ	うーん、世界って綺麗ですよね～。ずっと見てしまいます
ナナコオリ	わたしも……そう思います。本当に不思議

ナナコオリ&ライコ	
条件：ナナコオリのブレイドクエストをクリア後	
ナナコオリ	ライコちゃん、一緒に歌おうよ
ライコ	うん！　せーの！
ナナコオリ&ライコ	♪らららららららららん、ららららららららん

ナナコオリ&ホタル	
ホタル	お疲れさま、ナナコオリにクマリン。　怪我はない？
ナナコオリ	ありがとう。　ホタルちゃんは可愛くて優しくて、きっといいお嫁さんに……あれ？

ニューツ&ウカ	
ウカ	カクタン、スケタン、次の戦いでもあそこの腕の大きな人に負けちゃダメだからね
ニューツ	ハッ!?　なぜか敵視されてるでありますか!?

ニューツ&リンネ	
ニューツ	リンネ！　自分の強さはどうですか!?　ハーレムに入れたくなっちゃうでしょう！
リンネ	ニューツは腕がゴツイのが減点じゃ。ワラワは可愛いものが好きなのでなぁ
ニューツ	な、なんですと!?　このゴツサが可愛いじゃないですか！　再検討願います！

ニューツ&シキ	
ニューツ	シキ殿、今度、メレブ殿にお願いして、アルス戦艦の機関室を見学させてもらいましょう
シキ	おお――っ、いいね!!　絶対に行くよ、楽しみだね!!

ニューツ&ヤエギリ	
ニューツ	ヤエギリも女の子なんだから、もっと肌の露出が少なめで　自分のようにピシッとした服を着るであります！
ヤエギリ	このぐらいの方が戦いやすいからいいんだよ。それより、肌の露出についてはニューツに言われたくないね

ニューツ&KOS-MOS Re：	
ニューツ	KOS-MOS Re：殿は細身なのに、自分と同じくらいかそれ以上にパワーがありますなー。もしかして、大好物のカレーのおかげでありますか？
KOS-MOS Re：	お答えしかねます。

ニューツ&テンイ	
ニューツ	テンイ。自分たちが一緒なら、軍隊が相手だろうが余裕でありますな
テンイ	否。私一人の方がもっと早い

ニューツ&ツキ	
ニューツ	ツキ殿、我々には天と地の差がありますが、此度の戦いではいい連携でしたね！
ツキ	訂正させておくれやす。どちらかと言えば、ツキとスッポンやと思うわぁ
ニューツ	ウマい！　が、悲しくなってきました！

ウカ&シキ	
ウカ	シキさん！　動物たちの言葉、教えてくれませんか!?
シキ	ええっ、ボクに聞くの？　ウカの方が詳しそうなのに
ウカ	ウカはフォネクスさんの言葉しか話せないんですよ！　他の動物ともおしゃべりしたいのに！

ウカ&イブキ	
ウカ	イブキさんって、鳥さんと会話できたりするんでしょうか？
イブキ	ムリだと思うけど、覚えてたら、今度やってみるよ

ウカ&ホタル	
ホタル	ウカって、戦闘中でも自然を気にかけながら、戦ってるよね？
ウカ	もちろんです！　だって、草木がなくなると動物たちのご飯もなくなってしまいますからね！
ホタル	うぱっ、そういう理由なの？　違うよね？

ウカ&KOS-MOS Re：	
ウカ	KOS-MOS Re：さんはスペルビアの連中とは少し違いますよね？　美しさもあるような――
KOS-MOS Re：	ウカ、お世辞に感謝します

ウカ&テンイ	
ウカ	テンイさん、さっきの戦いなんですけど――
テンイ	分かっている。できるだけ、破壊はしたくない
ウカ	はいっ、ありがとうございます！

リンネ&ライコ	
リンネ	ライコ、オヌシはバカ可愛い枠じゃ
ライコ	え、えーと、褒められてるんですかね？　や、やったー？

リンネ&ヤエギリ	
リンネ	ヤエギリよ、相変わらず見惚れる戦いじゃったな。ワラワは強い女も好みじゃぞ
ヤエギリ	アタシに勝てば、ハーレムとやらに入ってあげるよ！

リンネ&ホタル	
リンネ	ウウム――ホタルよ、オヌシをハレームに入れるかどうか迷ってるんじゃ
ホタル	光栄だけど、そうなるとボクのハーレムにならないかな？
リンネ	!?　ホタルは一歩たりともワラワのハーレムには踏み入れさせんからな！

リンネ&KOS-MOS Re：	
リンネ	KOS-MOS Re：、ソナタは、とってもキュートじゃの。
KOS-MOS Re：	検索――、私の場合は、プリティーが正解です。

リンネ&テンイ	
リンネ	テンイよ　ワラワのハーレムに入る際にはそのごっつい鎧を脱ぐのじゃぞ
テンイ	!　盲点だった　これを脱げば、戦いから離れられる――
リンネ	こらこら　まだ脱ぐな！　オヌシが戦えなくなると困る！

ムスビ&シキ	
シキ	ムスビ、この間、本屋で良さそうな料理本を見つけたよ
ムスビ	わー、ありがとうございます。ただ、本を読んでると寝ちゃうんですよね、私

ムスビ&イブキ	
イブキ	……このまますーっとのんびりしたいよね…
ムスビ	いいですね～…。そんなことができるように、私たちも頑張りましょう！

ムスビ&KOS-MOS Re：	
ムスビ	戦いが終わった後って、ホッとして、お腹が空きますね。
KOS-MOS Re：	戦闘区域では、気を抜いた者、空腹の者から死んでゆくと、メモリーされています。

シキ&イブキ	
イブキ	いろんなこと忘れないようにシチの体にメモしてもいいかな？　ちょうどいいよね？
シキ	駄目だって！　でも、キミの言葉はいつも興味深いからボクが代わりに覚えておいてあげるよ

シキ&KOS-MOS Re：	
シキ	KOS-MOS Re：って、物知りだよね。図鑑や辞書をこっそり持ち歩いてるの？
KOS-MOS Re：	いいえ、データベースにアクセスしているだけです。つまり、シキのように大きな本は不要です
シキ	えええー!?　なんかショックだよ――

シキ&ツキ	
ツキ	ねぇ、シキはん、私たちって名前が似てると思えへんやろか？　戦いの最中、一瞬、気になるんよぉ
シキ	うーん、気になるけど――　どちらも良い名前だよね！

ライコ&ヤエギリ	
ライコ	さっきの戦いで思ったんです！　ヤエギリさんとの合体技を考えたいです！
ヤエギリ	ビリビリ状態のライコを敵に向かって吹き飛ばすのはどうかな？
ライコ	痛そうだから、やめたいです！

ライコ&イブキ	
イブキ	ちょっと、ランコのビリビリ試させて貰っていい？
ライコ	この前、もう二度とやらない、って言ってたじゃないですか！

ライコ&ホタル	
ホタル	ライコちゃんのビリビリってすごいねー！　その力があれば……クックック
ライコ	ホ、ホタルちゃんなんか怖い顔になってるよ……

ライコ&ホタル	
ライコ	ホタルちゃんは私が守ります！
ホタル	ありがとう。ライコちゃんは単純で良い子だなぁ

ヤエギリ&KOS-MOS Re：	
ヤエギリ	KOS-MOS Re：ってあたしらとは雰囲気が違うよねー、もしかして別世界から来たとか？
KOS-MOS Re：	私もヤエギリと同じブレイドです。

ヤエギリ&テンイ	
ヤエギリ	テンイは力なんて封印せずにもっと自由に戦えばいいのにー、そんなんじゃ楽しくないでしょ？
テンイ	戦いが楽しい？　そのような考えは持ったことがない

ヤエギリ&ツキ	
ツキ	ヤエギリはいつも戦いのことばっかりやね。美しさは極めへんの？
ヤエギリ	そんな事してる暇あったら、アタシは鍛錬するよ！　まだまだ強いヤツはいるんだからさ！

イブキ&KOS-MOS Re：	
イブキ	ん？　イブキのこと見てる？
KOS-MOS Re：	はい、データを収集し、マスターの戦力か、食材かを検討しています。

ホタル&テンイ	
ホタル	テンイ、あんまり本気を出さないでね？　植物たちが傷ついちゃうよ
テンイ	――重々理解している

ホタル&ツキ	
ツキ	ホタルはんはほんに花の様に美しいね。凍らせて飾っておきたいくらいに……フフフ
ホタル	冗談……だよね？　ボクは可愛いけど、花じゃなくてブレイドだからね!!

KOS-MOS Re：&テンイ	
テンイ	KOS-MOS Re：はなぜ戦う？
KOS-MOS Re：	ブレイドとはそういうものでは？　ただ、大切なものを守りたい気持ちもあるからのようです
テンイ	大切なもの――　仲間か――

KOS-MOS Re：&ツキ	
ツキ	KOS-MOS Re：の攻撃って、いっつも綺麗やね
KOS-MOS Re：	はい、私は「秩序に従属する戦略的多目的制御体系、人型掃討兵器」ですから。

KOS-MOS Re：&T-elos Re：	
T-elos Re：	KOS-MOS Re：！　おとなしく我が禳(かて)となれ！
KOS-MOS Re：	お答えしかねます。

KOS-MOS Re：&エルマ	
KOS-MOS Re：	ルックス5%低下、マスター、洗浄してください
エルマ	ルックスだなんて――　ちょっと意外ね

T-elos Re：&ハナバスター	
ハナMk-Ⅱ	どうしたらそんなセクシーになれるますも？
T-elos Re：	…知ったことか。生まれた時からこの身体だ

T-elos Re：&カムヤ	
カムヤ	T-elos Re：はアグレッシブな戦い方をするなぁ。そんなんでケガはしないのか？　大丈夫か？
T-elos Re：	調子に乗るな。…そんな気遣いなど無用だ

ハナバスター&ヒバナ	
ヒバナ	ハナバスターが自爆するのってカッコいいよねー!!
ハナMk-Ⅱ	分かりましたも　今度ヒバナもハンマーで叩いてあげますも！

ハナバスター&カムヤ	
カムヤ	ハナバスターってかっこいいよな、オレも乗せてくれないか？
ハナMk-Ⅱ	ダメですも、ハナMk-Ⅱ専用ですも
ハナバスター	申し訳ございません…
カムヤ	残念だよ――　でも、オレは諦めないからな

ヒバナ&カムヤ	
ヒバナ	カムヤ、ホムラ先輩ってすごいよね？　強くて優しいし、料理が上手だし、包容力がすごいっていうか――
カムヤ	ヒバナが憧れの先輩に追いつくにはまだまだだな
ヒバナ	だよね、もっともっとがんばらなきゃ！

ヒバナ&カムヤ	
カムヤ	ヒバナはいつも勢いがあって、まっすぐで――見ていて気持ちがいいな
ヒバナ	どかんと打ち上がって派手に散るのがあたしの信条だからね！
カムヤ	散っちゃって大丈夫か…？

シュルク&フィオルン	
シュルク	フィオルン、怪我はない？　慣れない場所だから気を付けないと――
フィオルン	心配しすぎ。シュルクこそ大丈夫？　ラインがいないんだし、絶対無理しちゃダメだからね
シュルク	アハハハハハ――　心配しすぎなのはお互いさまみたいだね

シュルク&フィオルン	
フィオルン	こうしてまたシュルクと一緒に戦うの、なんだかちょっと嬉しい。　――不謹慎かな？
シュルク	ううん、色んなこと、あったからね。僕も同じ気持ちだよ、フィオルン

ヨシツネ&ベンケイ	
ヨシツネ	前の僕たちは兄妹だったらしい。これからは我が妹と呼ぶよ、いいね？
ベンケイ	キモい。

ヨシツネ&ベンケイ&サタヒコ	
ヨシツネ	サタヒコ、今の戦い大活躍だったね。ベンケイ、君もナイスアシストだ。
サタヒコ	同感だ、ヨシツネ。君の戦略、そして何よりベンケイのクールな攻撃、エクセレントだね。
ベンケイ	マジキモい。

ヨシツネ&サタヒコ	
ヨシツネ	ブレイドは前の記憶を持たないが……どうも君とは他人という気がしない。
サタヒコ	まったくブレイドってやつは……。いいさ俺たちのこと、これからたっぷり話してやるさ。

ベンケイ&サタヒコ	
サタヒコ	ベンケイ、そろそろわかってくれよ。かつて君は俺と恋人同士だったんだ！
ベンケイ	そのニヤケ面を仕舞いな！　……話はそれからだ。

カムイ&ラゴウ&オオツチ	
ラゴウ	我らブレイド三人衆、共に戦えることを嬉しく思いますぞ。
オオツチ	フン、腐れ縁だな、バカヤロー！
カムイ	バカヤローなオオツチには、後で、スターライト・ニーにゃ!!!

Xenoblade2 黄金の国イーラ

ラウラ&シン	
条件：ミノチ加入後	
ラウラ	大人数で旅するのって楽しいね　シン
シン	そうだな。だが俺は二人旅の時も――　いや何でもない
ラウラ	え？　なになに!?　シン、今なんて？

ラウラ&シン&ヒカリ	
ラウラ	ヒカリって本当に手加減が下手だよね
ヒカリ	相手が脆すぎるのよ
シン	…お前とは二度と戦いたくないものだな

ラウラ&シン&ヒカリ	
ヒカリ	ま、私がいればこんなものね
シン	自信過剰だな
ヒカリ	むっ、何ですって？
ラウラ	はいはい、二人ともなーかーよーく！　ね？

ラウラ&カスミ	
条件：ミノチ加入後	
ラウラ	この旅がずっと続けばいいのにって思う
カスミ	私はずっとお側にいますからね、ラウラ様！

ラウラ&カスミ	
カスミ	はぁ。皇帝陛下や王子様と旅なんて…
ラウラ	不思議な感じだよね。物語の中みたい
カスミ	生きてると色んなことがありますね？
ラウラ	そうだね。色んなこと経験しよう、一緒に

ラウラ&カスミ	
カスミ	あら？ラウラ様、裾が少しほつれているようです
ラウラ	こうして戦ってれば仕方ないよ、気にしない、気にしない。
カスミ	服を貸し借りする時に私が困るんですぅ！

ラウラ&カスミ&ヒカリ	
条件：抵抗軍キャンプ出発後	
ヒカリ	ラウラとシンってなんか怪しいのよねぇ
ラウラ	えっ!!　な、なんにも怪しくないよ！
カスミ	ラウラ様　私は陰日向なく応援しております

ラウラ&カスミ&ミノチ	
カスミ	私達の
ラウラ	勝利！
ミノチ	戦闘以外でも息が合うな

ラウラ&カスミ&ユーゴ	
ユーゴ	こんな風に旅をするのは初めてです。新鮮だなぁ
ラウラ	そっか。じゃあ初めて記念日ってことで…
カスミ	今日はお祝い、ですね！　皆さ～ん！
ユーゴ	えっ!?　そんなつもりじゃ…ちょっと待って！

ラウラ&カスミ&ワダツミ	
カスミ	ワダツミ様って、佇まいがきれいですよね
ラウラ	体の軸が安定してるよね。重心もブレないし、それから…
ワダツミ	ふむ…そうじっと見つめられると、困ってしまうな

ラウラ&アデル	
アデル	何度見ても　いい連携だ
ラウラ	僕ぁ大好きだよ、君達が…だっけ？
アデル	その絆は、信頼に値する

ラウラ&アデル	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
アデル	あきらめないよ。最後まで
ラウラ	なあに、『最後』って？
アデル	いや、変な意味じゃなくて…
ラウラ	わかってる。私達の未来、守ろうね

ラウラ&アデル	
アデル	もっとしっかりしないと…
ラウラ	アデルっていつも前を見てるよね。えらいと思うけど…
アデル	…けど、何だい？
ラウラ	隣に仲間がいるってこと、忘れないでよね

ラウラ&アデル&ミノチ	
ミノチ	すまん。油断した
ラウラ	気にしない、気にしない
アデル	そうよー、ミノチさんがんばってー
ミノチ	ああもう、うるせえ!!

ラウラ&アデル&ユーゴ	
ラウラ	ユーゴって物知りだよね。ねえ、私に勉強教えてくれる？
アデル	はは。ビシビシしごかれるぞ？
ユーゴ	ビシビシなんてそんな。ではラウラ、今日から毎日、書き取り100枚、音読2冊、論文提出2本をお願いします。
ラウラ	あっはは…　ビシビシ以上…だね

ラウラ&アデル&ユーゴ	
ラウラ	見たかー！　庶民の底力！
ユーゴ	見事だー　褒めてつかわそう！
アデル	ユーゴ…　なぜそこで張り合う!?

ラウラ&ヒカリ	
条件：王都襲撃後	
ヒカリ	ねえ、ラウラは辛い時ってどうしてる？
ラウラ	大好きな人達のことを考えるかな
ヒカリ	…大好きな人のこと
ラウラ	そうするとね、自然と笑顔になっちゃうんだ

ラウラ&ミノチ	
ミノチ	ラウラの腕前、なかなかだな。まあ、力比べなら負けんがな。
ラウラ	そう？　あ、じゃあ腕相撲で勝負する？　ほら!手出して！
ミノチ	手!?　い、いや、それはやめておこう。

ラウラ&ミノチ&ユーゴ	
ラウラ	皆、大丈夫？　怪我はない？
ミノチ	はっ。あの程度で遅れを取るかよ
ユーゴ	心配してくれてありがとう、だそうです
ミノチ	へ、変な通訳するんじゃねえ！

ラウラ&ユーゴ&ワダツミ	
ラウラ	ユーゴ、大丈夫?無理は禁物よ
ユーゴ	え?ええ、大丈夫です。この程度の戦いで負けるような私ではありません
ワダツミ	ん…陛下の心配をするのは私の役目のはずなんですが…

ラウラ&カグツチ	
カグツチ	ラウラも日記を書いたらどう？
ラウラ	うーん、そうね。でも私はどっちかって言うと、心に残しておきたいって思うんだ

ラウラ&カグツチ	
条件：抵抗軍キャンプ出発後	
ラウラ	よっしゃ！　もう一丁！
カグツチ	ラウラ――　気をつけないと　ヒカリに似てきてるわよ
ラウラ	嘘!?　わかった、気をつける！

ラウラ&ワダツミ	
ラウラ	前髪をそろそろ切ろうかなぁ
ワダツミ	それはいい判断です。綺麗な瞳がよく見えるようになります
ラウラ	き、綺麗って…ありがとう…？

ラウラ&ワダツミ	
ラウラ	強くなりたいな…皆を守れるくらいに
ワダツミ	私も同じ気持ちです。共に成長しましょう
ラウラ	…ありがとう、ワダツミ。仲間がいるって心強いね

シン&アデル&ヒカリ	
アデル	そういえば、このあたり『出る』らしい
ヒカリ	ふうん、お化け？　いいわ、受けて立とうじゃない
シン	誰が相手だろうと邪魔はさせん
アデル	いや…出るのは強敵で…なんか、すまん

シン&アデル&ミノチ	
条件：抵抗軍キャンプ出発後	
アデル	見事だなぁ。やはり、シンとも手合わせしてみたい
ミノチ	しつこい奴は嫌われるぞ。そうだろう、シン？
シン	…嫌うということはないですが…
アデル	今すぐじゃなくていいんだ。いつの日か…　いいだろ？

シン&アデル&ミノチ	
シン	今日の食事当番は俺だが、何か要望はあるか？
アデル	肉！
ミノチ	肉！
シン	…わかった。前向きに検討する

シン&アデル&カグツチ	
条件：王都襲撃後	
アデル	ラウラが羨ましいよ。シンの料理は美味いからなぁ
シン	…ヒカリと比べてらっしゃいますか？
カグツチ	あら珍しい、シンでもムッとするのね。
アデル	いやすまん、比べるだけでも失礼だったか。ははは！

シン&ヒカリ	
シン	今日の食事当番は俺だが、何か要望はあるか？
ヒカリ	お肉！
シン	わかった。野菜にしよう
ヒカリ	ちょっと!?

シン&ヒカリ&カグツチ	
カグツチ	なかなかの成果ね。記録に残しておくべきかしら
シン	ああ。記述に厚みが出そうだな
ヒカリ	そうよね。特に私の活躍あたり
カグツチ	あなたって本当、ブレないわよね…

シン&ヒカリ&ワダツミ	
シン	今日の食事当番は俺だが…
ヒカリ	スイーツ！
ワダツミ	私も、甘い物が食べたいな
シン	…食事の要望を聞かせてくれ

シン&ミノチ	
シン	ふう…こんなものか
ミノチ	いい連携だ。シン、ドライバーを大事にしろよ
シン	ああ。言われるまでもない

シン&ミノチ	
ミノチ	旅ってのも悪かないな。知らない自分に出会える
シン	知らない自分、か…ミノチもそんなことを思うんだな
ミノチ	今日と同じ日は二度とない…そう思えばこそ、な

シン&ミノチ&カグツチ	
ミノチ	時代の最先端は　剣より銃だな
カグツチ	ミノチさんにそんな事言われるなんて…
シン	時代が変わっても　最後に問われるのは使い手の技量だ

シン&ミノチ&ワダツミ	
ミノチ	シン、ワダツミ、勝利ってのはもっと喜ぶものだぞ？
シン	フン――
ワダツミ	――
ミノチ	はぁ　ヤレヤレだな

シン&ユーゴ	
ユーゴ	シン。あなたが本気で怒ったら怖いでしょうね
シン	それは…どういう意味でしょう？
ユーゴ	敵に回したくないなってことです
シン	…あなたに言われると、複雑です

シン&ユーゴ&カグツチ	
ユーゴ	怪我はありませんか　シン？
シン	私よりカグツチのご心配を。変にすねられては困りますので。
カグツチ	す、すねないわよ！　そりゃあ、もっと私を見て欲しいって思うけど

シン&ユーゴ&ワダツミ	
シン	今日の食事当番は俺だが、何か要望はあるか？
ユーゴ	今ある食材で、良きように
ワダツミ	君の手料理なら何でも
シン	……一番ハードルが高い答えですね

シン&ワダツミ	
ワダツミ	見事だ。美しい剣さばきだね、シン。
シン	無駄を省いた結果だ。
ワダツミ	参ったな、物言いまで無駄がない。

カスミ&アデル	
アデル	そうだ。怖い話しないか？
カスミ	い、いきなりですね？
アデル	じいやに聞いた怪談を思い出してさ。それが…
カスミ	わ〜〜！　聞こえません〜〜！

カスミ&アデル&ユーゴ	
カスミ	あの、ユーゴ様。皇帝のお仕事って大変ですか？
ユーゴ	えっ…そうですね、何からお話したものか…
アデル	がんばれー。皇帝陛下

カスミ&アデル&ワダツミ	
ワダツミ	お疲れ様、カスミ。…みんなには内緒だよ？
カスミ	わぁ、お菓子！　今度私もお返ししますね♪
アデル	ワダツミ…できる…！

カスミ&ヒカリ	
ヒカリ	カスミ、助けてくれて、ありがと
カスミ	まぁ。ヒカリ様がお礼を言うなんて珍しいですね
ヒカリ	あ、あなた、可愛い顔してナチュラルに失礼ね。

カスミ&ヒカリ&カグツチ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
カスミ	ラウラ様、今度ゆっくりと温泉旅行にいきたいですね
カグツチ	あら、そのときはぜひ同行させてもらうわ
ヒカリ	ちょっと！…私も、行くから

カスミ&ヒカリ&カグツチ	
カグツチ	ヒカリ、今回は私の勝ちよね？
ヒカリ	調子が出なかっただけ、っていうか、譲ってあげたのよ！
カスミ	二人はとっても仲良しで羨ましいです
ヒカリ&カグツチ	え！？

カスミ&ミノチ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
ミノチ	この戦いのこと、メモしておかなければな
カスミ	ミノチ様　新しい脚本のネタになるんでしょうか？
ミノチ	ああ、いつかデカイ劇場で上演するための準備ってやつさ

カスミ&ミノチ&ユーゴ	
カスミ	ユーゴ様って、身のこなしがきれいです
ユーゴ	ああ…立場上、周りが何かとうるさくて
ミノチ	どこかの王子様とは格が違うって？

カスミ&ユーゴ&カグツチ	
カスミ	ユーゴ様、お怪我はありませんか！？
ユーゴ	ありがとう。カスミは優しいですね。
カグツチ	陛下、なぜ私を見ながら仰るんです！？

カスミ&カグツチ	
カスミ	カグツチ様は　いつも御綺麗なのですが　その炎に何か効能でも！？
カグツチ	効能って…　私は温泉ではありません！

カスミ&ワダツミ	
ワダツミ	…可憐だ…カスミがブレイドで無ければ陛下の妃となりうるはず…
カスミ	…えっ？何かおっしゃいました？

アデル&ヒカリ	
アデル	ヒカリ、君と同調できたこと、改めて嬉しく思うよ。
ヒカリ	どうしたの？　いきなり
アデル	ははは。急に言いたくなったんだよ

アデル&ヒカリ	
ヒカリ	アデル、少しは私との戦い方、わかってきた？
アデル	さっぱりさ。ヒカリお嬢様についていくにはもっともっと精進しないとね。

アデル&ヒカリ&カグツチ	
ヒカリ	今回も私の一人勝ちね！
カグツチ	あら、敵を追いこんだのは私でしょう？
ヒカリ	はあ！？　私がビーッってやって瞬殺だったじゃない！
アデル	今戦闘が終わったと思ったのに、すぐにまた争いが…　やれやれ。

アデル&ヒカリ&ワダツミ	
アデル	なあ…ワダツミはちょとユーゴに対して過保護すぎるんじゃないか？
ワダツミ	私と陛下は何よりも固いキズナで結ばれていおります。それ故に放っておくことなどできません。
ヒカリ	…それを過保護っていうんじゃないかしら…

アデル&ミノチ	
アデル	今の、鮮やかに決まったね。見惚れたよ
ミノチ	まあな。男に褒められても嬉しかないが
アデル	キャー、ミノチさん素敵ー。かっこいいー
ミノチ	おい、殴るぞ！

アデル&ミノチ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
アデル	この勝利、次に繋げていこう！
ミノチ	じゃあ、そんな景気のいいアデルから一曲
アデル	アデルが歌いあげます、『イーラ、刻を越えて』…っておい、ミノチ！
ミノチ	ははは！　ノリの良いやつだ。

アデル&ミノチ	
ミノチ	しかし大所帯だな。賑やかなもんだ
アデル	寂しくなる暇もないだろう？
ミノチ	おい、人を寂しがりみたいに言うな
アデル	ははは、これは失礼

アデル&ユーゴ	
アデル	そういえば。ユーゴ、アレは克服したのか？
ユーゴ	…何の話です？
アデル	アングだよ。ほら昔、枕の下から…
ユーゴ	む…昔の話ですから！　忘れてください！

アデル&ユーゴ	
アデル	ユーゴ。今度、合体技を試してみないか
ユーゴ	いいですね。合図はアデルが？
アデル	かっこよくきめてみせるよ
ユーゴ	かっこわるくてもいいですよ。付き合います

アデル&ユーゴ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
アデル	まだだ…もっと結果を出さないと
ユーゴ	アデル。あなたがそんな顔をしては、皆の士気に関わります
アデル	…っと、そうか。すまないユーゴ
ユーゴ	いいえ。お互い様ですから

アデル&ユーゴ&カグツチ	
アデル	ユーゴと一緒だと　戦いに安心感があるね
ユーゴ	私は　敵を倒すより　仲間を守る戦いを心がけてますからね
カグツチ	スペルビア皇帝に相応しい　立派な戦い方で御座います

アデル&カグツチ	
条件：抵抗軍キャンプ出発後	
カグツチ	アデル様——ヒカリの大雑把な戦い方、何とかならないのでしょうか？
アデル	僕じゃなくてユーゴが同調してたら少しはマシだったかも？
カグツチ	そ、それはダメです！　絶対に！
アデル	ああ見えて　彼女なりに努力はしてるから　見守ってやってよ

ユーゴ&ヒカリ	
ヒカリ	ユーゴは私——　つまり天の聖杯のカって危険だと思う？
ユーゴ	あなたにはアデルがいるから、大丈夫ですよ
ヒカリ	へえ、信頼してるのね。
ユーゴ	ええ、あなたも本当はわかってるのでしょう？

ヒカリ&ユーゴ&カグツチ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
ヒカリ	な、なかなかやるわね、カグツチ。ま、私ほどではないけど。
カグツチ	何？　よく聞こえなかったわ。特に前半。もう一度言っていただける？
ユーゴ	よければ私が復唱しようか？　カグツチ。
カグツチ	め　滅相もございません！

ヒカリ&カグツチ	
カグツチ	おっきな剣を考え無しに振り回して、まるでゴゴールみたいね、ヒカリ
ヒカリ	そういうあんたのそののび〜る剣は、スペルビアのワンちゃんの鎖みたい。あんたがワンちゃん二匹連れてるとこ想像したら、くく…　笑えるほどお似合いね。
ヒカリ&カグツチ	フンッ（二人同時）

ヒカリ&ワダツミ	
ヒカリ	ねえワダツミ、私とカグツチどっちが強いと思う？
ワダツミ	ふむ。目に見える強さ、というのはそれほどに大事かな？
ヒカリ	えっ？　強さは、強さでしょ？　——違うの？

ミノチ&ユーゴ	
ミノチ	ユーゴお坊ちゃん、ついてきてるか？
ユーゴ	…ええ。ご心配には及びません
ミノチ	なら、いい。きつくなったら言えよ

ミノチ&ユーゴ&ワダツミ	
ミノチ	ブレイドとドライバーが固いキズナで結ばれてるっていいもんだな
ワダツミ	陛下の身の回りの世話ならばすべてこなしてみせるよ
ユーゴ	…これってキズナって言っちゃっていいんでしょうか？

ミノチ&ワダツミ	
ミノチ	ワダツミ達の息はとても合っているな
ワダツミ	ミノチ達の連携も見事だったよ
ミノチ	なっ、じょ、冗談はやめてくれ

ミノチ&ワダツミ	
条件：ラウラがイーラの騎士になった後	
ワダツミ	ミノチ、先ほどの陛下の戦い、見事だったとは思わないかい？
ミノチ	ん？　そうだな
ワダツミ	であれば——
ミノチ	ユーゴを主役にした物語を書けっていうんだろ？　はいはい、考えておくよ。

ユーゴ&カグツチ	
条件：クエスト「ワのちから」をクリア後	
ユーゴ	今の、「超いい感じ」でしたね。カグツチ
カグツチ	超…？　陛下、どこでそのような言葉を？
ユーゴ	街の方々から、自然と。…変ですか？

ユーゴ&カグツチ	
カグツチ	ユーゴ様は　天の聖杯の力がほしいですか？
ユーゴ	凄い力だと思う——でも　私には君たちがいるそれでも過ぎた力だよ
カグツチ	過大評価です　ユーゴ様——でも　嬉しく思います

ユーゴ&ワダツミ	
ワダツミ	陛下。目覚ましいご活躍でした
ユーゴ	仲間の協力あってこそです。あれは皆の功績ですよ
ワダツミ	陛下…なんと謙虚な…
ユーゴ	な　泣くほど喜ばなくても…

ユーゴ&ワダツミ	
ワダツミ	陛下、あまりご無理をされませんよう
ユーゴ	わかっています。ただ、体って動かさないとなまるでしょう？
ワダツミ	だからです。急に運動をされますと、膝や腰にご負担が
ユーゴ	さ、さすがにそこまでなまってません…！

キズナトーク

アルスト各地で発生するキズナトークのセリフをすべて掲載。選択肢やドライバーによって内容が大きく変化するものもあるため、直前にセーブして全パターンを見よう。

キズナトークの見方

❶ヴァリティア商会	
❷理人メレフ	
❸	宿屋イベント
❹	キズナトーク
選択肢A	料理は得意ではないのだが――
選❺肢B	――私に任せておけ
❻	ドライバー分岐
分岐1	レックス
分岐2	ニア
分岐3	メレフ
分岐4	ジーク
❼	条件分岐
分岐a	イブキとルクスリア王国に行ったことがある
分岐b	イブキとルクスリア王国に行ったことがない

❶発生場所
キズナトークが発生する場所。❸の宿屋イベントは別の場所で発生する場合もある

❷名称
キズナトークの名称

❸宿屋イベント
特定の宿屋に泊まったあとに発生するイベントとイベントで行われる会話。キズナトークの発生する場所や時間帯などを教えてくれる

❹キズナトーク
キズナトークで行われる会話。会話の分岐については❺選択肢、❻ドライバー分岐、❼条件分岐を参照

❺選択肢
選んだ選択肢によって会話内容が変化する。上に表示される選択肢を「選択肢A」、下に表示される選択肢を「選択肢B」としている。なお、エンゲージしているドライバーによって選択肢が変化することもある

❻ドライバー分岐
キズナトークのメインとなるブレイドとエンゲージしているドライバーによって会話内容が変化する

❼条件分岐
条件を満たしているかどうかで会話内容が変化する

アヴァリティア商会	
料理人メレフ	
宿屋イベント	
ホムラ	カグツチ――　時間があったら　ゴルトムントのお店を　見て回りません？
カグツチ	いいわよ――　メレフ様もいかがですか？
メレフ	ああ　いいだろう
キズナトーク	
ホムラ	カグツチ　そこのお店で　面白いものを見つけたんですけど――
カグツチ	面白いもの？
ホムラ	はい　これなんです
カグツチ	それは何？　ものすごくグロテスクだけれど――
メレフ	アヴァリティア・アンコウじゃないか
カグツチ	知っているんですか　メレフ様？
メレフ	この辺りでしか採れない高級食材だ　いい味をしているぞ
カグツチ	このモンスターのような魚を　食べるのですか？
ホムラ	見た目はアレですけど　本当においしいらしいですよ　せっかくなので　何か料理を作りたいんですけど　調理法を知らなくって――　メレフさんご存知なら　教えてくれませんか？
メレフ	何と答えたものか――
選択肢A	料理は得意ではないのだが――
ホムラ	大丈夫ですよ　面倒な部分は私がやりますから　メレフさんは料理の仕方の説明と　味付けをお願いします
メレフ	それだけなら　なんとか――　なるか？
カグツチ	いいんですか　メレフ様？　味付けできるのですか？
メレフ	し　心配するな　これでも舌は確かだ――
ホムラ	では　まず料理方法を　教えてほしいんですけど――
メレフ	――ふむ　焼きものや刺身にすることも多いが鍋にすると絶品らしい
ホムラ	いいですね――　じゃ　メレフさんは　鍋のスープの準備をお願いできますか？
メレフ	わかった　確か肝で出汁を取ると聞いたな
ホムラ	それならお任せしてよさそうですね　私は他の食材を買ってきます
メレフ	――わかった　……　――カグツチ？
カグツチ	なんですか？
メレフ	この気持ち悪い魚を　捌くところから始めるのか？
カグツチ	それはそうでしょう　できるのですか？
メレフ	いや――　そもそも肝がどの部位にあたるのかも　把握してないぞ
カグツチ	とにかく包丁で切り開いてみましょう
メレフ	わ　わかった――　――カグツチ？
カグツチ	今度はなんですか？
メレフ	心臓――　心臓が動いているぞ！　どうすべきだ？　トドメを刺したほうがいいのか？
カグツチ	そ　そうでしょうね　反撃されると厄介ですから
メレフ	カグツチ!!　目が　奴の目が私を見ている　口が動いて何かを訴えている――　きっと　心臓を奪った私を恨んでいるんだ　ダメだ――　これ以上　死者に鞭打つことはできない――　カグツチ　後は任せる
カグツチ	ちょっと待ってください！　こんなの押し付けられても困りますよ!?
メレフ	すまない！
カグツチ	メレフ様！　敵前逃亡は重罪ですよ!!
選択肢B	――私に任せておけ
カグツチ	あの　メレフ様　本当に大丈夫なんですか？
メレフ	あぁ　心配するな
ホムラ	では　まずは魚を捌きましょうか
メレフ	え？
ホムラ	どうしました？
メレフ	――捌くって　これをか？
ホムラ	そうですよ　このままじゃ料理できませんから
メレフ	――くっ　わかった　何事も挑戦だ　やってみよう
カグツチ	メレフ様　がんばってください！
メレフ	……
メレフ	――カグツチ
カグツチ	何でしょう？
メレフ	コイツの頭を抑えてくれ
カグツチ	え!?　いえ　私はちょっと――　触るのは――
メレフ	介錯の際に　こっちを見られるとやりづらいのだ
カグツチ	いえ　でも――
メレフ	頼む　後生だ！　コイツの目を見せないようにしてくれ
カグツチ	わかりました　たかが魚ごときに　遅れをとるわけにはいきません！
カグツチ	きゃあああああああ！
メレフ	どうした!?
カグツチ	目が　目が合いました！　これはまだ生きてる!?
メレフ	まさか!?　ならば　攻撃される前に仕留めるぞ！
カグツチ	口が開きました!?
カグツチ	メレフ様　敵は私達を食べるつもりです！　早くトドメを！
メレフ	いくぞ　蒼炎剣！
ホムラ	ちょっと待って！　そんなことしたら　食材が――
メレフ	――どうだ　カグツチ？
カグツチ	流石メレフ様です　敵は姿かたちもなくなりました
メレフ	ふっ　討伐完了だな
ホムラ	もう何してるんですか！　食べるところが　なくなっちゃったじゃないですか!!

アヴァリティア商会	
習慣	
キズナトーク	
ハナJK	今日はご主人の機嫌がよく　ハナは16回会話をした　ちなみにホムラとは31回会話をした――
カグツチ	何をしているの　ハナ？
ハナJK	カグツチ――　ハナは日記をつけているんですもハナもカグツチのように　記録を残すことにしたんですも
カグツチ	でもハナは私達みたいに　コアクリスタルに戻ることはないから　記憶がなくなることもないでしょう？
ハナJK	ハナの身体は精密機械の塊ですも　攻撃により頭部などを破損した場合　記録を失う恐れがありますも
カグツチ	そうなのね――　便利そうに見えて　色々と厄介な身体ね
ハナJK	そうですも　ハナは世界一扱いが難しい　ワガママボディの女の子なんですも
カグツチ	ワガママボディって――　全くそれもトラの入れ知恵ね――
ハナJK	あの――　カグツチはどうして　そんなに過去の記録に拘るんですも？　ハナも日記を始めましたけども　何を書けばいいのか今一つわからないから　教えて欲しいですも
カグツチ	どう答えようかしら？
選択肢A	自分を失いたくないから――かしら
ハナJK	日記がないと　カグツチがいなくなるんですも？　カグツチの場合はコアクリスタルに戻っても　またカグツチとして同調されますも？
カグツチ	本当にそうかしら？　私がコアクリスタルに戻って長い長い時間が流れれば――　私を知っている人達は　皆いなくなってしまうのよ　自らの記憶を失い　人の記憶からも忘れ去られていく　その時代のカグツチという存在――　誰も知らない　誰も覚えていない　それでその時代に　存在していたといえるのかしら？
ハナJK	うーん――　確かにカグツチの存在を　証明することは無理ですも
カグツチ	そう　誰も知らなければ　私は存在していないのと同じ　私はね　それが寂しかったの　だって　大切な人達と生きた時間が　私を形成してくれたのよ　楽しい思い出も悲しい思い出も　全部ひっくるめて　私という存在になっているんだから――　そのすべてを失うことは　その時代の私と私の大切な人達を　否定することになるじゃない
ハナJK	ハナもご主人に色々教えてもらいましたも　それを忘れるのはイヤですも　ご主人のすべてが　ハナに詰まってるんですも
カグツチ	そうね　だからたくさんの　思い出の詰まった日記は　何よりも大切なものなの　人と世界と自分をつなぐ大切な絆なのよ
ハナJK	わかりましたも　ハナもがんばって日記をつけますも！　カグツチやみんなと一緒に　思い出をいっぱいつくるんですも！
カグツチ	ええ　そうね　思い出をいっぱい残しましょう
選択肢B	私であり続けたいと思うから――かしら
ハナJK	もも？　カグツチはカグツチですも　他の誰でもないですも？
カグツチ	例えば　ハナがトラとの思い出を　全部忘れしまって　その後　別の人をご主人と呼んだとして――　その新しいハナは　トラと一緒にいた時のハナと同じだと思う？
ハナJK	うーん――　ハナはハナですも　――でも　そのハナは　新しいご主人のために働くハナであって　今のハナとは違うですも　きっとフリフリのメイド服も　着ないハナですも
カグツチ	――ま　まぁ　メイド服はともかく　そういうことよ　どの時代の私もきっと私なのだろうけど　でも　それは別のカグツチが　それぞれの時代にいるだけの話　連綿と私という存在が　続いているわけじゃないの
ハナJK	なるほど　わかりましたも　ずっと同じカグツチでいたいから　日記で記録を残し続けてるんですも
カグツチ	そういうことね　もし私がコアクリスタルに戻り記憶を失っても――　日記があれば　次のカグツチも私であり続けられるのよ　もっともスペルビア帝国が　私の日記をきちんと　継承してくれているからだけどね――
ハナJK	カグツチ――　ハナの日記は　どう継承すればいいと思いますも？
カグツチ	トラに任せるのは――　危険そうね
ハナJK	ご主人はお昼寝するときの枕に使ったり　鍋敷きに使ってしまいそうですも――
カグツチ	ハナの場合は継承する方法も　見つけないといけないみたいね――
ハナJK	毎日つけた日記を無駄にしないのも　大変そうですも――

アヴァリティア商会	
リンネの夢	
宿屋イベント	
リンネ	先ほど宿の主人から　おいしい情報を聞いたぞ　さあ　皆の衆　階下のアヴァリティア・バザールへ行こうではないか
キズナトーク	
リンネ	宿の主人から聞いた話によると――　今日　このアヴァリティア・バザールで　バーゲンが開かれるらしい　何でもかんでも5割から9割引きで　買い物ができるそうじゃ　これを逃す手はなかろう
ホムラ	特売日ってワクワクしますね
カグツチ	いいものがあるといいわね
リンネ	ワラワは装飾品が欲しいのじゃ　アクセサリー屋へ行くぞ　のう　店主よ　最近流行している装飾品はあるかの？
ノポン商人A	ありますも　ありますも！　真っ赤なキノコでできたネックレスですも　今なら5000Gですも！　普段なら1万Gしますも　今日はバーゲンでお買い得ですも！
リンネ	ふむ――　ちと安すぎるの――　それにノポンらしいというか　非常食になりそうなところが嫌じゃの　ワラワは気高く純粋なアクセサリーが欲しいのじゃ　よし　次の店へ行くぞ！　この店はおもしろいモノが多いの
ノポン商人B	お客さん　お目が高いも！　ここはサルベージで手に入れたモノを加工して　アクセサリーにしているも
リンネ	なるほどの　全て手作りというわけじゃな　店主よ　この店で一番高いものを見せてくれるか？
ノポン商人B	ももっ！　これも！　グーラでサルベージをした時に手に入れたという　貴重な鉱石で作られた至高の一品だも！
リンネ	おお！　これはなかなか美しいな
リンネ	この首飾りは――

選択肢A	ホムラ　オヌシにお似合いじゃろう！
ホムラ	え？　――私にですか？　私にはもったいないですよ――
リンネ	何を言う　オヌシはすばらしい女子じゃ！　オヌシがこの首飾りを身につければ　今までの何倍も美しく輝くじゃろう
ホムラ	え？　そうですか？　でも――
リンネ	よいか　ホムラ　ワラワのあいじんになれば　この首飾りをプレゼントしよう　どうじゃ？
ホムラ	え？　――あいじん？　私が？
リンネ	そうじゃ　この首飾りが欲しいじゃろ？
ホムラ	遠慮します
リンネ	何とっ!?
選択肢B	カグツチ　きっとオヌシに似合うぞ！
カグツチ	あら　いいわね――　確かにこの繊細で美しい装飾は　私にピッタリだと思うけど――　こんな高価なものをプレゼントするなんて　一体　何を考えてるの？
リンネ	カグツチ　おぬしの美しさは本物じゃ
カグツチ	――な　何よ突然!?
リンネ	おそらく　並々ならぬ努力をしておるのじゃろう
カグツチ	まぁ　人並みには――
リンネ	いや　皆まで言うな！　全てわかっておる――　全てはワラワのあいじんになるためであろう？
カグツチ	そんなわけないじゃない　とんだ勘違いよ
リンネ	何とっ!?
選択肢AB共通	
リンネ	よもや断られるとは――　しかし　ただで転ぶわけにはいかぬ――　将来のあいじんのために首飾りだけは買っておくとしよう――　店主よ　この首飾りは幾らじゃ？
ノポン商人B	これはこれは　お買い上げありがとうございます！　お値段はズバリ43万Gも！
リンネ	――43万？　ふむ――　今日はバーゲンの日ではなかったのか？　9割引きで売ってくれるのじゃろ？
ノポン商人B	43000Gはありえないも―　そもそもこの商品は貴重だからバーゲンの対象外も――
リンネ	何たることだ――!!　これだから守銭奴は――　もういい帰るぞ！　はぁ――　がっかりじゃ――
リンネのドライバー分岐	
分岐1	レックス
レックス	あのさ――　なんか想像はつくけど　リンネの夢って何なんだ？
分岐2	ニア
ニア	あのさ――　大体想像はつくけど　リンネの夢って何なのさ？
分岐3	メレフ
メレフ	おおよその想像はつくが　リンネ　君の夢を教えてくれるか？
分岐4	ジーク
ジーク	なんか――　あんま聞きとうないけど　リンネの夢って何なんや？
分岐1～4共通	
リンネ	もちろん！　かわいい女子達と　楽しくお茶をすることじゃ！　そのためにはかわいい女子達をあいじんとして集め　ハーレムを作る必要があるというわけじゃ
ドライバー	……
リンネ	ワラワはそのためにいかなる努力も惜しまん！　案ずるな　ホムラもカグツチもニアもメレフもハナもサイカも――　皆　あいじんとして　ワラワのハーレムに招待する予定じゃぞ！
ホムラ	……
カグツチ	……
リンネ	じゃが　今日分かったのは　あいじんになってもらうのは容易くないということじゃ　いかに険しい道になろうとも　ワラワは諦めんからの!!
ドライバー	……

アヴァリティア商会
博覧強記

宿屋イベント	
シキ	なぁ　アヴァリティアのハナマル書房に　古い書物が入荷されたんだって　行ってみない？　宿屋の主人の話だと　結構　掘り出しモノが多いって話なんだよ　ねえ　行こうよ？　みんなも興味があるだろ？
キズナトーク	
シキ	ここだね
ペララ	いらっしゃい　何か探しものかも？
シキ	うん　古文書とか歴史書なんだけど　最近　入荷したって聞いてね
ペララ	お客さん　中々いい耳を持ってるも～　他の店では手に入らないような　珍しい本がいっぱい入荷したも
シキ	へぇー　そうなんだ　期待しちゃうよ？
ペララ	ゆっくり見てくといいも　きっと満足してもらえるも～
シキ	もちろん　そのつもりだけどね　どれどれ　品揃えは――　へぇ　本だけじゃなく　石版や巻物もあるのかぁ　お　これは！　スペルビアの建築の歴史か　こんなものもあるんだ　いいね　これ面白そうだよ
学者ノポン	よう　ペララ　頼んでいたものは手に入ったかも？
ペララ	これはこれは　毎度どうも　この間　入荷してきたも　――えーと　あ　それそれ　そこのお嬢さんが持ってる本がそうも
シキ	ん？
学者ノポン	――すまないも　そこの人　それは私が探していた本も　渡してくれも
シキ	え？　いや――　これボクが読むんだけど――
学者ノポン	いや　悪いが　それは私が先に頼んでいたものだも　早く渡すも
シキ	いやだよ　ボクが先に手に取ったんだから
学者ノポン	頭の悪い人だも　それは私のモノだと言ってるも
シキ	誰の頭が悪いって？　ボクが誰だか分かって　そんな口を利いてるの？
学者ノポン	お前が誰かなんて　知らないし　興味もないもいいから　早く本を渡すも！
シキ	全く　聞き分けの無いノポンだな　いいよ　本を渡してあげる

学者ノポン	まったく　最初から素直にそうするも――
シキ	ただし！　ボクと知恵比べをして　勝てたらの話だけどね！
学者ノポン	ほう――　私と知識を競うつもりかも？　面白い――　返り討ちにしてやるも！
シキ	それで　お題はどうしようか？
学者ノポン	公平を期すため　そこのドライバーにお題を決めてもらうも
シキのドライバー	知識比べのお題はどうしようか？／知識比べのお題はどうすべきか？／知識比べのお題はどうする？
選択肢A	
レックス	アヴァリティアの歴史についてはどうかな？
ニア	アヴァリティアの歴史だな
メレフ	アヴァリティアの歴史についてはどうかな？
ジーク	アヴァリティアの歴史についてやな
シキ	なるほど　いいね！　さっそく始めようか　このアヴァリティアの始祖は　ノポンの商人だと言われているんだけど――
学者ノポン	もちろん　そのくらい常識も　しかも　そのノポンはドライバーだったも
シキ	では　そのノポンのドライバーが――　自分のブレイドを戦いの道具ではなく　商売の道具にした事は知ってるかな？
学者ノポン	彼は　戦争により　混乱した時代に　ブレイドの能力を最大限に利用し――　紛争や震災で危険な地域に積極的におき　様々な交易で富を得たと言う話も　さらにそのノポンは――
シキ	あのキャプテン・ノポポンの　末裔とも言われている――
学者ノポン	キャプテン・ノポポンは　すべての雲海を総べ――後のノポン商会を生んだ男と　呼ばれているも
シキ	そんな偉大な男の末裔だから――　アヴァリティア商会を作ったとしても　なんら不思議はないよね
選択肢B	
レックス	インヴィティアの歴史についてはどうかな？
ニア	インヴィティアの歴史だな
メレフ	インヴィティアの歴史についてはどうかな？
ジーク	インヴィティアの歴史についてやな
学者ノポン	よろしい　さあ始めるも！
シキ	インヴィティアは現在――　セーロスア公国を中心とした　6つの大貴族によって統治されているよね
学者ノポン	だが実は昔は　9つの大貴族によって統治されていたも　その中にセーロスア公国と並ぶほどの力を持っていた　エンヴィア公国という貴族が存在していたんだも
シキ	しかし　そのエンヴィア公国の長であった　ハンネスが謎の急死をとげ――
学者ノポン	その後　長男のジアーニが後を継ぐも　数年で病死するも
シキ	さらに　兄に代わり弟のフィルが家を継ぐが　20歳になる前に同じく病死
学者ノポン	このため　エンヴィア公国は没落し――　セーロスア公が他の大貴族をまとめあげ　インヴィティア王を名乗るようになったも
シキ	このエンヴィアの継承者の死は　未だに謎が多く――
学者ノポン	未だに　他の大貴族による謀略だと　ウワサする者もいるも
シキ	――しかし　話はここでは終わらない
学者ノポン	そう　エンヴィア公国の長であったハンネスは生前　グーラ人との間に隠し子をもうけていたも
シキ	そして　その子どもの子孫が　グーラに存在していると言われている　もしそれが事実なら――
学者ノポン	現在のインヴィティア王室の存続にも関わる　大事件だも――
選択肢AB共通	
シキ	へぇ　さすがだね　学者を名乗るだけの事はあるよ
学者ノポン	いやいや　お前も　大したものだも　この私の話に　ついて来れる者はそうはいないも
シキ	――この勝負は引き分けかな？
学者ノポン	そうもそうも　お互い　優劣はつけられない戦いだったも
ペララ	あの――　それでどちらが本を買ってくれるんだも？
学者ノポン	――その本はお前に渡すも
シキ	え？
学者ノポン	お前に読まれるのなら　その本もきっと喜ぶも
シキ	ありがとう　大事にするよ――
学者ノポン	また　機会があったら　熱い戦いがしたいも
シキ	うん　それまでに　もっとたくさんの知識を身につけておくよ　じゃ　この本をください
ペララ	お買い上げありがとうも！　7万Gになるも
シキ	へぇ　意外と安いな――　あっ　――――お金持ってないや

グーラ
好奇心旺盛

キズナトーク	
ハナJS	ご主人　質問がありますも
トラ	勉強熱心なのはいいことも　なんでも答えてあげるも
ハナJS	ここからは雲海がよく見えますも――　雲海は高さが変わりますけども　どうして変わるんですも？
トラ	ももっ!?　そ　それは――　アニキに答えてもらうも！
ハナJS	レックス　お願いしますも
レックス	そうだな――　空に浮いている雲を想像すると分かりやすいかな　雲っていろんなのがあるだろ？
ハナJS	べたーんとしたのやもくもくした雲ですも？
レックス	うん　そういうのだな　そして　雲は毎日形を変える　雲海も雲と同じように　べたーんとしてるばかりじゃなくて　もくもくしているときもあるんだよ　雲海の高さや形は一定じゃないんだ　天候みたいに頻繁じゃないけど　ゆっくりと変化してるものなんだ
じっちゃん	さすがにベッドで一晩ぐっすり休めば　変わるだろうが
レックス	そう　それくらいの頻度だな
ハナJS	なるほど　ですも
レックス	ただし雲海の高さに影響があるのは　ここやスペルビアみたいな巨神獣だけなんだ　アヴァリティア商会の巨神獣　ゴルトムントみたいなのは雲海の上に浮いてるから　影響がないんだよ

ハナJS	納得ですも！
レックス	っと　オレが教えられるのはこれくらいかな？
ハナJS	ありがとうございますも　よーくわかりましたも！　それで　博識なレックスには　もっともっと質問がありますも
レックス	ええっ？　答えられるかな――
トラ	ハナ――
トラ	何で声を掛けるも？
選択肢A	あまりアニキを困らせないようにするも
ハナJS	んー　わかりましたも――　質問はここまでにしますも
レックス	ありがとう　トラ　雲海のことはサルベージャーだから　詳しかったけど　他のこととなると　あまり自信がないからな　素直に「わからない！」って言うしかなかったよ
ホムラ	大丈夫ですよ　レックスがわからないことなら　私がんばって答えます！
レックス	ありがとう　ホムラ
ホムラ	それに私でも答えられないことなら　セイリュウさんを頼ります
じっちゃん	そうじゃな――　お前さん達より長生きしている分　ハナの質問にはなんとか答えられるじゃろ　ビャッコもおるしの　これだけの人数がおれば何とかなるもんじゃ
レックス	確かにそうだな　みんなの知恵を結集させれば答えられそうだな
ホムラ	力を合わせるのは　戦いだけじゃないってことですね！
レックス	ああ！
選択肢B	物知りのビャッコに聞くも
レックス	そうだな　オレよりビャッコの方が博識だと思うよ
ビャッコ	いえいえ――　巨神獣さまには及びませんよ
じっちゃん	なっ　ワシに振るな！
ビャッコ	私にはお嬢様と同調してからの　記憶しかありません故――
じっちゃん	まったくビャッコは無茶を言うのう　ハナに「子供はどうやって生まれますも？」　などと聞かれたら答えられると思うか？
ビャッコ	ターキンが運んでくるとでもお答えください
じっちゃん	そういう返しができる　ビャッコこそ適任じゃと思うがな
ビャッコ	滅相もございませんですが　巨神獣さまが拒否されるのでしたら　私の主人であるお嬢様にお任せしましょう
ニア	こら　ビャッコ！　アタシを巻き込むな！
ハナJS	ご主人――　ハナ　わかったことがありますも
トラ	何も？
ハナJS	これがたらいまわしってヤツですも　勉強になりましたも

グーラ
本当のじっちゃん

宿屋イベント	
ホムラ	みなさん　忘れられた地の辺りまで　行ってみませんか？
ニア	何かあるのか？
ホムラ	何かあるってわけじゃないんですけど　もう一度行ってみたいなぁ――　って　ダメですか？
キズナトーク	
ホムラ	この場所――　ここからレックスとの冒険が　始まったんですよね
ニア	そっか　レックスたちはこっちに着いたんだね
レックス	じっちゃんが力を　振り絞ってくれたおかげだね
じっちゃん	おかげでこんなに　小っちゃくなってしもうたがな
ニア	あんまり大きいと　一緒に旅ができないだろうから　ちょうどいいんじゃないか？
じっちゃん	じゃが　大きければ　どこへでもお前さん達を連べたぞ　世界樹は無理だとしても　アルストのほとんどの場所へ行けるわい
トラ	すごいも！　ちなみにここからアヴァリティアまでなら　どれくらいも？
じっちゃん	今の時期じゃと――　10日くらいかの
ニア	おそっ!?
じっちゃん	ニアは老骨に鞭打って休まずに　移動しろと言うのかの？
ニア	そういうわけじゃないけどさ――　一般的な船だったら3・4日かなって思って
じっちゃん	すまんのう　年寄じゃからのう
ハナJS	というよりも　もう気にしても　仕方がないですも？
じっちゃん	そりゃ　そうじゃ　今はこのちっちゃい姿じゃからな
ホムラ	これはこれで　かわいらしくていいと思います
じっちゃん	そう言ってもらえると嬉しいのう――
ニア	じいさんが照れるなよ――
じっちゃん	のうレックスはどっちの姿が　良かったんじゃ？
レックス	どちらの姿がよかった？
選択肢A	大きいじっちゃんが良かったな
じっちゃん	むぅ――　レックスよ　ワシを便利な巨神獣だと思とったんじゃな――
レックス	えっ!?
じっちゃん	家もあったし　移動もできたし　クレーンもついていて　サルベージもできたしのう
レックス	いや　そういうわけじゃないけどさ　あのじっちゃんはどっしりしてたし　親みたいに頼りがいのある存在だったなって　ふと思っただけだよ　それにオレはあの大きなじっちゃんの姿を　何十年も見てるんだ　皆と違って　今の小さい姿に見慣れてないんだよ
ホムラ	そうかもしれませんね　私もセイリュウさんの大きな姿を　見た時間はごく僅かですし　今の姿が一番見慣れてます
トラ	トラには大きなじっちゃんは　想像できないも
ハナJS	ハナも見たことがないので　想像できませんも
レックス	な？　オレがそう思うのも　不思議なことじゃないんだって
じっちゃん	そういうことにしておくかのう――　じゃが　絶対にワシの背中に乗って　アルスト中を旅したかったなとか　思っとるに違いないわい
選択肢B	小さいじっちゃんがいいな
じっちゃん	ほう――　今の姿の方がいいのかの？
レックス	背中にじっちゃんがいるのは新鮮だよ　すぐ後ろから頼りになる声が　聞こえてくるからね　それに大きな姿だと　一緒に街の中は歩けないしさ　ずっと近くにいてくれるのは嬉しいよ

じっちゃん	そうか　そうか――
ホムラ	セイリュウさん　嬉しそうですね
じっちゃん	実を言うとレックスのヘルメットの中は　窮屈でな――　それに跳ねたり　転んだり　吹き飛んだりなかなか居心地が悪いんじゃ　いつもご飯を吐きそうになる――　じゃが　そう言ってもらえると初めて　小さくなったのも　いいことじゃったのかもしれんと思えたの
レックス	悪かったね　オレも慣れないことばかりだからな
じっちゃん	ええんじゃ　ええんじゃ　これからはもっともっと助言してやるぞ　さらに頼りになるじっちゃんになってやるわい
レックス	うーん――　でもさ　小言を聞く頻度が増えたのは　イヤなんだよなぁ――
ニア	アタシもビャッコの小言が　常に耳元で聞こえるようになったらイヤだな――
じっちゃん	何じゃと!!

グーラ
ハナの新装備？

キズナトーク	
カグツチ	へぇー　ここがトラの家なの？
トラ	あちこち触らないでほしいも　大切なものがいっぱいあるも
カグツチ	あら　これは何？
トラ	あー　勝手にいじるなも！　それはダメも!!
ホムラ	なんか　ヒラヒラしてて水着みたい　これもパーツなんですか？
ハナJS	それは　ハナ専用のアーマーですも
カグツチ	アーマー？　この小さいのが？
ホムラ	これじゃ　今の装備よりも面積が小さくて　防御なんてできないですよね？
ハナJS	これは　超ビキニアーマーですも
ホムラ	――超ビキニアーマー？
ハナJS	そうですも　誰もが憧れる最新型のアーマーですも　しかも　攻撃を受けた部分がパージされますも！
カグツチ	――それって　やられたら　剥がれていくって――こと？
ハナ	そうですも　それが最新鋭ですも！
カグツチ	――トラ　一体どういうことかしら？
トラ	ももももも？
トラ	カグツチの怒りにどう対処するも？
選択肢A	**きっちり説明するも**
トラ	は　話を聞いたら理解してくれると思うも！
カグツチ	ちゃんと説明できるんでしょうね？
トラ	これはトラが作ったものじゃないも　トラは無関係の代物なんだも！　じいちゃんと父ちゃんが　トラに秘密で作っていたオプションパーツも！
カグツチ	そうなの　ハナ？
ハナJS	はい　このアーマーを設計したのは　センゾー博士ですも　更にその設計に改良を加え　アーマーとして完成させたのは　タテゾー博士ですも
ホムラ	へー　そうだったんですね
トラ	そうも！　トラは全くの無実も！
ハナJS	ご主人はこのアーマーにパージシステムを　追加しただけですも
トラ	あ――
ハナJS	寝食を忘れ　拘りぬいた　最高のシステム――これにより世界最高のビキニアーマーが　完成したんですも！
カグツチ	へぇ　そうなのね　すごいわ　トラ――
トラ	ハナ　ハナ――　これ以上はヤバイも
ハナJS	なぜですも？　ご主人の想いを皆に伝えるいい機会ですも
カグツチ	そうね　じっくりと話を聞かせてもらいましょうか　特にあなたが　女性のことをどう思ってるかをね
トラ	ももももも～～っ!?
選択肢B	**開き直ってみるも**
トラ	えっへんも！　それは　じいちゃんと父ちゃんの想いを　トラが形にしたアーマーも！　親子三代に渡る　悲願の装備品も！
カグツチ	どうして開き直ってるのよ！
ハナJS	ちなみに　パージシステムは　ご主人が追加したんですも
トラ	男のロマンも！
カグツチ	あなたのロマンなんか関係ないわよ！　こんなもの装備させられるハナが　可哀想じゃない！
ホムラ	――トラくん　最低
ハナJS	ご主人　ハナはかわいそうなのですかも？
トラ	そ　そんなことないも！　このアーマーを装備できるハナは　世界一の幸せ者も
カグツチ	この装備は破棄すべきね　ホムラ　消し炭になるまで燃やしてくれるかしら
ホムラ	ええ　任せてください！
トラ	ダメも！　そんなことはさせないも！
カグツチ	あなたはこっちに来なさい　これからじっくり話を聞かせてもらうわ
トラ	カグツチ　やめるも　なんか　熱いも！　火傷するもー！

グーラ
アルストの現実

宿屋イベント	
ジーク	なぁ　ボン　ちいと　ワイに付き合わへんか？
レックス	いいけど　どこに行くのさ？
ジーク	トレイタ風車広場になる風車の上や　後は着いてからのお楽しみな
キズナトーク	
レックス	すごいな　ここから街を一望できるんだね
ジーク	どや　なかなか見晴らしのええ場所やろ？　ここがトリゴの街で　一番眺めのええ場所なんやで
レックス	ジークってここの生まれじゃないだろ？　――何でそんなにこの街に詳しいんだ？
ジーク	いや実はな――　前にトリゴの街に来た時に　宿屋の親父に教えてもろたんや
レックス	そうか　ジークはあちこち　旅をしていたんだもんな　グーラみたいに　他の国のことも詳しいのか？
ジーク	あぁ　いろんな所で　いろんなモン見てきたで――　なぁ　ボン――　ここからの景色はお前さんには　どんなふうに見える？
レックス	何て答えようか？
選択肢A	**大きくてきれいで活気のある街だよね**
ジーク	そうか――　せやな　けどな　それは上辺だけただの見せかけなんや
レックス	見せかけ？
ジーク	そうやで　知っての通り　グーラはスペルビアの植民地や　華やかに見えるんは　スペルビア軍の基地がある街だけや　グーラにある他の街や村は木を伐採したり　農業をしたり――　ほんでその大半をスペルビアに　輸出しとるんや　楽な生活やない　苦しんどる人達がぎょうさんおるんやで
レックス	……
ジーク	それにグーラだけやない――　ワイはな　あちこち放浪しながら　様々な国の汚いもんをいくつも見てきたんや
レックス	――その人達を　助けようとはしなかったのか？
ジーク	何べんも何べんもやったで――　ワイの力で絶対何とかできると思ったった　けどな　ワイの肩書きも剣の技も　クソの役にも立たんかったんや――　己の力で世界を救おうなんて　思い上がった心は　へし折られてしもうたわ
レックス	――そんなことないよ
ジーク	――ん？
レックス	そりゃ　世界中の人達を助けることなんて　今すぐ出来るわけじゃないけど　でも　オレやホムラのように　ジークが助けた命は確かに存在するんだ　だからさ　諦めちゃダメなんだよ　それに今は頼れる仲間がいるだろ？
ジーク	せやな――　ほんま　ボンの言う通りやな　今のワイには頼りになる仲間がおる――　あの頃てへんかったことも　今ならできるかもしれへんな
レックス	そうだろ？　だから　諦めずに突き進もうよ
ジーク	ああ――　ワイは気合が足りんかった――　雷轟のジークの名を　アルスト中に轟かせたるで！　ふぅ　これで気合十分や　さあ　レックスも決意を叫ぶんや
レックス	えーっと――　ホムラとヒカリを楽園につれていくぞー!!
ジーク	うおっしゃぁぁあ!!
サイカ	アホちゃうか――
ホムラ	恥ずかしいです――
選択肢B	**イヤサキ村の方が好きかな**
ジーク	イヤサキ村は戦争の被害も少ない　のどかな村やろ？
レックス	うん――　そうだけど
ジーク	けどな　アルストにあるんは　そんな村ばっかりやないんやで
レックス	――どういうこと？
ジーク	ええか　ボン　目に見える部分だけが真実やないんや　上っ面だけ華やかにかざっとっても　その陰で多くの人々が苦しんどるんや
レックス	――このグーラも？
ジーク	せや　トリゴの街を筆頭に　スペルビア軍のある街は栄えとる　せやけど　グーラにある他の街や村は　木を伐ったり　農業をしたり――　ほんでその大半をスペルビアに　輸出しとるんや　楽な生活やない　苦しんどる人達がぎょうさんおるんやで　ほんでそれは　グーラだけの話やない　ワイはな　そんな街や国をぎょうさん見て　自分の無力さを思い知らされたんや
レックス	…… ジークは無力じゃない　ジークには　人を救おうとする　意志があるだろ　今も苦しむ人々のことを考えて　心配してる――　さすが将来の王様だね
ジーク	茶化すなや――
レックス	本心だよ　オレは目の前にいる人のことで　いっぱいになる　ホムラやヒカリやじっちゃんや　ニアや皆――　でも　ジークは目の前にいない人達のことも　すっごく心配してる　名前も知らない人のことまで――　それってすごいことだよ　オレもジークに負けじと　がんばらなくちゃって思ったよ
ジーク	――ほんま　ボンは　気持ちいいくらいにまっすぐなやっちゃな
レックス	じっちゃんには　もっと周りを見ろって言われるけどね
ジーク	安心しい　ボンが前を向いとる時は　ワイがボンの後ろを見といたるで
レックス	うん　頼りにしてるよ
ジーク	任せときや！
サイカ	美しい友情やな――
ホムラ	私もがんばらなきゃって思いました
サイカ	せやな――ウチらもがんばろ

グーラ
スペルビアの技術

キズナトーク	
ニア	巨神獣戦艦の中って　モノケロスとは結構違うんだな――
ハナJS	モノケロスって何ですも？
ニア	レックスは見たんじゃないか？　ゴルトムントの桟橋に停泊してただろ？　シンたちの黒い船だよ
レックス	あのすごいヤツか――　巨神獣船じゃないんだよな？
ニア	詳しくは知らないけど――　そうみたいだな
トラ	すごいも!!　トラも見てみたいも！
レックス	もう見られる機会はなさそうだけどな――　イーラの連中に再会しない限りは
トラ	ももも？　俄然見たくなったも――
ハナJS	ご主人　心変わりが早すぎですも
レックス	モノケロスもすごかったけど　この巨神獣戦艦もすごいよな
ニア	だよね　見たことないものばっかりだ
トラ	フフーン　この巨神獣戦艦はスペルビア帝国の最新技術の結晶も！　一般人は中に入らせてもらうことさえ　できないも！
ニア	最新技術って言ったって　サルベージした技術を利用してるだけだろ？
レックス	――いや　独自の改良を加えて使ってるみたいだほら　ここに埋め込まれた機械だって　元がわからないくらい弄られてるしさ
トラ	それは　巨神獣の神経へ　信号を伝達するための制御板も　ここから巨神獣のあちこちにケーブルを取り付けて　情報別に信号の制御を行ってるも
レックス	へぇ――　すごいじゃないか
トラ	このケーブルだって従来のものよりも　伝達速度は2.4倍　容量に関しては12倍も　他の国で使っているようなものとは　レベルが違うも！
レックス	じゃ　これを小型巨神獣船に乗せたら　ものすごい効率が上がるな！
トラ	エッヘン　その通りも!!
ニア	なんか二人ですごく盛り上がってるけど　アタシにはチンプンカンプンな話だな　ハナはどう思う？
ハナJS	何て答えますも？
選択肢A	**まだまだ二人は甘いですも**
ニア	そうなのか？
ハナJS	ハナには多種多様な知識が記憶されていますもご主人の趣味もあって　特に機械に強いですもだから　あの二人の会話には　よゆーでついて行けますも　というか　本気を出せば　あの二人以上に熱く語れますも
ニア	そ　そうなんだ――　あたし　なんか肩身が狭いな――
ハナJS	大丈夫ですも　ニア　ハナはニアの好きな虫料理の話題でも　盛り上がれますも
ニア	ハナは優しいな――　けど　アタシが好きなのは虫じゃなくて　魚料理だからな
ハナJS	もっ!?　ごめんなさいですも　データベースを更新しておきますも　ご主人がテキトーに設定したから　間違ってる時がありますも
ニア	トラ――！　誰が　虫が好物だって――？
トラ	ももっ!　殺気を感じるも――！　アニキ　早く先へ進んだ方がよさそうも！　ここにいると危険な目に遭うも
レックス	そうか？
トラ	ほら　ほら　早く行くも―！
選択肢B	**どうしてご主人が自慢するんですも？**
トラ	フフーン！　よく老聞いてくれたも！　この巨神獣戦艦に使われている技術は　なんとハナの動力や駆動系にも利用してるも！
ハナJS	驚きですも！
トラ	しかもしかも　ハナのものはさらに改良して　組み込んであるも！
ハナJS	さらにビックリですも!!
ニア	――もしかして、帝国の技術を盗んだのか？
レックス	なぁ　トラ　それってかなりヤバイんじゃないのか？
トラ	技術の進歩のためには　多少の危険は覚悟の上も――　ただハナに組み込んであるシステムはスペルビアの技術者にだって　解析する事は不可能も！　何の心配も要らないも！
ハナJS	ハナは自分の出生の秘話を聞いて　ちょっと不安になりましたも――
トラ	だ　大丈夫も！　たぶん――　さぁ　アニキ　ここで雑談をしてないで　先へ進むも！

グーラ
一匹狼

キズナトーク	
ザンテツ	いやぁー　いいねぇ　この開放的な雰囲気　これぞ　自由！　生きてるって感じだねぇ――
オオツチ	何を言ってやがる　お前はいつも自由にしてるじゃねえか
ザンテツ	おいおい　てめぇの目は節穴なのか？　どこが自由だっていうんだよ　どこへ行くにも団体行動で挙句ノボンやガキのお守までしてるんだぜ？
オオツチ	好きでやってることだろぉ？
ザンテツ	好きでやってるわけねえだろうが！　仕方なくだよ仕方なく！
オオツチ	ガハハハ！　その割には　いつも楽しそうにしてるじゃねーか！
ザンテツ	それは　てめぇの目が濁ってるんだよ！
ザンテツのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	ザンテツ　今日はおしゃべりだね
分岐1-2	**ニア**
ニア	ザンテツ　今日はよくしゃべるね
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ザンテツ　今日は随分と饒舌じゃないか
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ザンテツ　今日はえらい饒舌やないか
分岐1-1～1-4共通	
ザンテツ	ん　そうか？　今日は気分でもいいんだろうさ　これでも普段は　周りに　ずいぶんと気を遣ってるんだぜ？
オオツチ	別に気を遣ってないだろぉ？　一人でフラフラしてるだけじゃねーか
ザンテツ	てめえなんて　いつも　大声で叫んでるだけじゃねえかよ！
オオツチ	うおおおおっ!!
ドライバー	ザンテツに質問しよう／ザンテツに質問しよう／ザンテツに尋ねよう／ザンテツに質問や
選択肢A	
レックス	周りに気を遣うのが嫌なのか？
ニア	周りに気を遣うのは嫌いなの？
メレフ	周りに気を遣うのは嫌か？
ジーク	周りに気を遣うんが嫌なんか？
ザンテツ	まぁな　元々俺は　群れるのは好きじゃねえんだよ　一人で好き勝手に生きてたいのさ
オオツチ	お前を放っておけば　何をするかわからんだろうドライバーに監視してもらうのが　一番なんだよ
ザンテツ	へっ　よく言うぜ　オオツチこそ　放っておけばあちこちで暴れまくるじゃねえかよ
オオツチ	うぉおおおっ!!　そんなことするかぁ!!
ザンテツのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	あはは　なんだかんだ言って　二人は仲がいいんだな
分岐2-2	**ニア**
ニア	あはは　なんだかんだ言いながら　二人は仲がいいよな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	フフ――　二人は本当に仲がいいのだな
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	なんだかんだ言うて　二人は仲良しさんやな

分岐2-1～2-4共通	
ザンテツ	はぁ？　ふざけんじゃねえよ　こんな奴と気が合うわけねえだろ！
オオツチ	そこだけは同意見だぜ　イグーナと一緒にいた方がマシだ！
ザンテツ	誰がイグーナだ　このゴゴール野郎！
オオツチ	うぉおおお！　オレ様はゴゴールよりも強いぜぇ！
ザンテツ	わぁったよ――　とにかくだ　俺はこれからも好きにさせてもらうぜ　俺がこの場所がイヤにならない限りは　いつでもお前らに協力してやるからよ　しっかり頼むぜ　ドライバー
選択肢B	
レックス	どうしてフラフラしてるんだ？
ニア	どうしてフラフラしてるんだ？
メレフ	どうして一人でフラフラしてるのだ？
ジーク	なんで一人でフラフラしとるんや？
ザンテツ	一人の方が面倒がなくて　気楽でいいからだよ　それに　一匹狼って響きが　かっこいいじゃねえか
オオツチ	お前はブレイドなんだ　一人で生きるなんて　できっこないだろうが
ザンテツ	わかってるよ　そんなこと――
ザンテツのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	もしかして　俺たちが　ザンテツを縛り付けているとか？
分岐3-2	**ニア**
ニア	もしかして　あたしたちが　ザンテツを縛り付けているのか？
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	まさか　私達が　ザンテツを縛り付けてしまっているのか？
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	もしかして　ワイらが　ザンテツを縛り付けてるんか？
分岐3-1～3-4共通	
ザンテツ	あぁ？　そうじゃねえよ！　なんでドライバーが落ち込んでるんだよ！　いいか　別にお前らと一緒にいるのが　嫌なわけじゃねえ　それにお前らに縛られてるって　感じてるわけでもねえ　どちらかと言えば　一緒にいて割と楽しくやってるしな――　ただよ　オオツチの言う通り　俺はドライバーがいなきゃ　生きてけねえからな　だから一人で生きるってのに　憧れちまうんだよ　ただ　それだけの話だ！　お前らは余計な気を使う必要はねえんだよ！　わかったかよ！
オオツチ	ガハハ！　ザンテツは見事にひねくれてるな!!
ザンテツ	うるせえ！　余計なお世話だ！

グーラ	
グレイトパフォーマンス	
キズナトーク	
サタヒコ	壮観だな――　なかなかいい船だ
オオツチ	サタヒコ　巨神獣戦艦にも興味があるのか？
サタヒコ	巨神獣部分はそんなに興味はないけど　機械部分は興味津々だな　こういうのを見てるとワクワクするだろ？　いじりたくなるんだよ　オオツチも手伝ってくれるよな
オオツチ	おう　任せとけ！
オオツチのドライバー	オオツチのことをどう思うか？／オオツチのことをどう思う？／オオツチのことをどう思うか？／オオツチのことをどう思う？
選択肢A	
レックス	重いものを運ぶのは得意そうだな
ニア	重いものを運ぶのは得意そうだね
メレフ	重いものを運ぶのは得意そうだな
ジーク	重いもんを運ぶんは得意そうやな
オオツチ	オレ様をバカにしてんのか？　見たまんまのコメントじゃねーか　これで腕っぷしが弱い方が驚きだぜ！
オオツチのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	それはそうだけど――
分岐1-2	**ニア**
ニア	そりゃそうだけどさ――
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	それはそうだろうが――
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	せやな――
分岐1-1～1-4共通	
オオツチ	オレ様の力を侮ってるみたいだから　実力ってもんを見せてやろうじゃないか　そうだなぁ――　あの巨神獣戦艦を持ち上げてやる！
ドライバー	!?
サタヒコ	さすがにムリだろ
オオツチ	ガハハハ！　さすがにな　だがあそこにいるトルトガくらいなら　いけるぜ？
サタヒコ	オオツチ　あれもやめとけよ　スペルビア軍の備品を壊したら　こっぴどく叱られるぞ
オオツチ	フン――　どこかで見た展開になりそうだな　なら　こういうのはどうだ？　ドライバーを投げる！　どこまで遠くに投げられるか見物だぜ？
サタヒコ	名案だな　それならスペルビア軍に　叱られることはないだろ
オオツチ	ガハハハ！　決定だ!!　やるぞ！
オオツチのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	いや――　ちょっと待ってくれ――
分岐2-2	**ニア**
ニア	ちょっと待って　ちょっと待って!!
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	待ってくれ　よく話し合おう――
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ちょい待ち！　あかんて――
分岐2-1～2-4共通	
オオツチ	こたごたうるせぇな！　ドライバーはオレ様に身を委ねてりゃ　いいんだよ！　うぉおおおお!!
オオツチのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	うわあああああああっ！　ふぅ――　死ぬかと思った　これからはオオツチに　腕っぷしの話をするのはやめとこう――

分岐3-2	**ニア**
ニア	きゃあああああああっ！　あぁ――　生きててよかった――　これからはオオツチに　腕っぷしの話をするのはやめよ――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	くぅっ！　ふぅ――　九死に一生を得る――だな　これからはオオツチに　腕っぷしの話をするのはやめておくか――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	やめてくれえええええっ!!　ふぅ――　ちびりかけたで――　これからはオオツチに　腕っぷしの話をすんのはやめとこ――
選択肢B	
レックス	実は器用なのか？
ニア	実は器用なの？
メレフ	実は器用なのか？
ジーク	実は器用なんか？
サタヒコ	そうなんだよなぁ　オオツチは結構器用なんだぜ？
オオツチ	おう　意外だろぉ？　さすがにノボンの小指くらい小さいネジは　イラついてぶっ壊したくなるけどよ　大抵のものはラクショーだぜ
サタヒコ	で　繊細なところは　俺の出番ってわけ
オオツチのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	なるほど　サタヒコが精密な部分を担当して　オオツチが大きな部分を担当する――　いいコンビだね
分岐4-2	**ニア**
ニア	そっか　サタが精密な部分を担当して　オオツチが大きな部分を担当する――　いいコンビだったんだな
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	なるほどな　サタヒコが精密な部分を担当して　オオツチが大きな部分を担当する――　いいコンビだな
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	そうか　サタヒコが精密な部分を担当して　オオツチが大きな部分を担当する――　ええコンビやな
分岐4-1～4-4共通	
サタヒコ	まあね――
オオツチ	ガハハハ！　ムテキのオレ様に　なんでもお任せあれってことだ！

グーラ	
美食家イダテン	
宿屋イベント	
トラ	イダテン？　どこ行っても？　出てくるもー　一緒にご飯をたべにいくもー
イダテン	もぐもぐ　もぐもぐ
トラ	もも？　何か食べてるも？　宿の主人のお話だと近くにおいしい朝食が食べられる店があるらしいも　一緒に食べに行こうと思ったんだけども？　もう　ご飯を食べてるなら――
イダテン	おいしい朝食っポッ!?　すぐ行くっポッ!　消えるイダテン
トラ	も!?　まったく　イダテンはせっかちだも――
キズナトーク	
トラ	ここも！　ここの朝食がおいしいって評判も！
イダテン	……
トラ	どうしたも　イダテン？
イダテンのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	何か気になることでもあるのか？
分岐1-2	**ニア**
ニア	何か気になることでもあんの？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	何か気になることでもあるのか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	何か気になることでもあるんかいな？
分岐1-1～1-4共通	
イダテン	――ダメっポッ
トラ	ダメ？　何がダメなんだも？
イダテン	――今はこの店の料理を　食べる気分じゃないっポッ
トラ	この店が嫌なのかも？
イダテン	キライじゃないっポッ　でも　ダメっポッ　イダテンは別の店がいいっポッ!　アヴァリティアに食べに行きたいっポッ!
トラ	今からアヴァリティアに行ってたら　トラは餓死してしまうも！
イダテン	そんなに時間はかからないっポッ　瞬きする間に行って帰ってこれるっポッ
トラ	そんなことできるのはイダテンだけも　いいからここでご飯を食べるも！
イダテン	イダテンは嫌っポッ!
イダテンのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	ちょっと落ち着けよ二人とも　イダテン　聞かせて欲しいんだけど――
分岐2-2	**ニア**
ニア	ちょっと落ち着けよ二人とも　イダテン　聞かせてくれ――
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	落ち着け二人とも　イダテン　聞かせてくれ――
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ちよい落ち着けや二人とも　とりあえずイダテンに質問や
分岐2-1～2-4共通	
イダテンのドライバー	イダテンに質問しよう／イダテンに何を尋ねようか？／イダテンに質問しようか／イダテンになんて尋ねようか？
選択肢A	
レックス	朝食にこだわりがあるのか？
ニア	朝食にこだわりがあるんだよな？
メレフ	朝食にこだわりがあるのか？
ジーク	朝食にこだわりがあるんやな？
イダテン	こだわりっポッ？　それはよくわからないっポッ　イダテンは　おいしいものは何でも食べる　まずいものは一切食べないっポッ!
トラ	十分こだわってるも　というか　それってただの好き嫌いだも――
イダテン	違うっポッ　好き嫌いではないっポッ!　美味しいものは食べ物　不味いものは食べ物じゃないっポッ!!　イダテンは　食べ物以外は口にしないっポッ!

イダテンのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	それって　美味しければ　何でも食べ物だと思っているのか？
分岐3-2	**ニア**
ニア	それって　美味しければ　何でも食べ物だと思ってんの？
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	それって　美味しければ　どんなものも食べ物だと認識しているのか？
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	それって　美味かったら　何でも食い物やと思っとるんか？
分岐3-1～3-4共通	
イダテン	もちろん　そうっポッ!　美味ければ　ノボンでも食べるっポッ!
トラ	も!?　ト　トラはうまくないも！　キュートでかわいいけど　おいしくないも！
イダテン	心配ないっポッ!　いくらおいしそうでも　仲間は食べたりしないっポッ!　――夜中にちょっとだけ味見をして我慢してるっポッ!
トラ	ももっ!?
イダテンのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	なるほど　朝起きるとトラの足が濡れてるのはそのせいだったんだ！
分岐4-2	**ニア**
ニア	なるほど　朝起きるとトラの足が濡れてるのはそのせいだったのか！
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	なるほど　朝起きるとトラの足が濡れているのはそのせいか
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	なるほどな　朝起きるとトラの足が　濡れとるんはそのせいなんやな
分岐4-1～4-4共通	
トラ	もぉーー!!!
選択肢B	
レックス	この店を嫌がる理由を聞かせてくれ
ニア	どうしてこの店を嫌がるんだ？
メレフ	どうしてこの店を嫌がるのだ？
ジーク	何でこの店を嫌がるんや？
イダテン	別にイヤじゃないっポッ　この店もとても美味しい料理を出すっポッ
トラ	じゃ　問題ないも　メニューはいっぱいあるんだから　好きなものを食べるも
イダテン	だから　もう食べたいものがないっポッ
トラ	そんなのただのワガママだも！
イダテン	ワガママじゃないっポッ!!　イダテンは　皆が起きる前に　この店の全部のメニューを確認したっポッ!
トラ	も？　――もしかして宿屋で食べてたものって
イダテン	その通りっポッ!　この店の料理っポッ!　既にメニューにある全部の料理を　平らげたっポッ!
イダテンのドライバー分岐	
分岐5-1	**レックス**
レックス	あはははは！　さすがイダテンだね　やることが速いよ
分岐5-2	**ニア**
ニア	あはははは！　さすがイダテンだ　やることが速いな
分岐5-3	**メレフ**
メレフ	フフフ！　さすがイダテンだ　やることが素早いな
分岐5-4	**ジーク**
ジーク	あはははは！　さすがイダテンや　やることが速いわ！
分岐5-1～5-4共通	
トラ	いや　いくらなんでも速すぎも――　トラにはついてけないも――

グーラ	
姉と妹	
宿屋イベント	
ミクマリ	ねぇ　セオリ　リタのオアシスって所に　景色のいい場所があるんだって　見に行きたいよね？
セオリ	え？　そこまでじゃないけど――
ミクマリ	よーし　すぐに用意して　みんなで行ってみようよ！
セオリ	お姉ちゃんが行きたいだけなんじゃ――
キズナトーク	
ミクマリ	ほら　早くセオリ！　こっちだよ！
セオリ	そんなに急かさないでよ　お姉ちゃん　景色は逃げたりしないよ
ミクマリ	何言ってんのよ　絶好の瞬間を逃すかもしれないでしょ！　ほらササッと急いで！
セオリ	もう――
セオリのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	ミクマリ　すごく嬉しそうだね
セオリ	そうね――　でも　ちょっとはしゃぎすぎ　私としては　もう少し　落ち着いてほしいんだけど
レックス	そういうセオリも結構　楽しそうだな
分岐1-2	**ニア**
ニア	ミクマリ　すごく嬉しそうだな
セオリ	そうね――　でも　ちょっとはしゃぎすぎ　私としては　もう少し　落ち着いてほしいんだけど
ニア	そういうセオリも結構　楽しそうじゃないか？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ミクマリはすごく嬉しそうじゃないか
セオリ	そうね――　でも　ちょっとはしゃぎすぎ　私としては　もう少し　落ち着いてほしいんだけど
メレフ	そういうセオリも　結構　楽しそうにしているじゃないか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ミクマリ　ごっつう嬉しそうやな
セオリ	そうね――　でも　ちょっとはしゃぎすぎ　私としては　もう少し　落ち着いてほしいんだけど
ジーク	そういうセオリも　楽しそうにしとるやないか？
分岐1-1～1-4共通	
セオリ	――そうかな？　でも――　確かにそうかも　最近　お姉ちゃんと一緒にいると　すごく心が落ち着くし――　すごく楽しい――
セオリのドライバー	何て声をかける？／何て声をかけよう？／何と声をかけようか？／何て声をかけようか？

選択肢A	
レックス	本当の姉妹みたいだな
ニア	本当の姉妹になったんだな
メレフ	本当の姉妹のようだな
ジーク	ほんまの姉妹みたいやな
セオリ	――そうなのかな？ 私にはよくわからないけどでも ミクマリを見てると すごく危なっかしくて―― いつもソワソワ ハラハラさせられて だから 放っておけなくて―― でもそれが 楽しいというか すごくうれしい感じ――
セオリのドライバー分岐	
分岐2-1	レックス
レックス	お互いが気になる感じだろ？ ミクマリもきっと同じだと思うよ
セオリ	そっか―― これが姉妹ってことなのかも―― でも お姉ちゃんにしては 妹に心配かけ過ぎだと思う――
レックス	あははは！ そこがミクマリらしいところじゃないか
分岐2-2	ニア
ニア	お互いが気になる感じだよな？ ミクマリもきっと同じだと思うよ
セオリ	そっか―― これが姉妹ってことなのかも―― でも お姉ちゃんにしては 妹に心配かけ過ぎだと思う――
ニア	あははは！ そこがミクマリらしいところじゃん
分岐2-3	メレフ
メレフ	お互いが気になって仕方がない感じか ミクマリもきっと同じではないかな
セオリ	そっか―― これが姉妹ってことなのかも―― でもお姉ちゃんにしては 妹に心配かけ過ぎだと思う――
メレフ	フフフ そこがミクマリらしいところだな
分岐2-4	ジーク
ジーク	お互いが気になる感じやな？ ミクマリもきっと同じやと思うで？
セオリ	そっか―― これが姉妹ってことなのかも―― でもお姉ちゃんにしては 妹に心配かけ過ぎだと思う――
ジーク	あははは！ そこがミクマリらしいところやろ？
選択肢B	
レックス	お互いを理解できたんだな
ニア	お互いを理解できたんだね
メレフ	お互いを理解できたようだな
ジーク	お互いを理解できたようやな
セオリ	――どうかな 正直言うと 私はまだ お姉ちゃんのことを全部は把握してないし―― きっとお姉ちゃんも 私のことを全部理解できてないんだと思う でもね 前にお姉ちゃんが言ってたんだ 私達には記憶も思い出もないけど ないものをねだっていても仕方がない―― お互い昔のことを知らないなら 今ここから始めればいいって―― これから二人で過ごす時間の全てが 私達の思い出になるんだって――ね
セオリのドライバー分岐	
分岐3-1	レックス
レックス	そうか―― ミクマリらしいとてもいい言葉だな
分岐3-2	ニア
ニア	そっか―― ミクマリらしい良い言葉だね
分岐3-3	メレフ
メレフ	なるほど―― ミクマリらしい良い言葉だな
分岐3-4	ジーク
ジーク	なるほどな―― ミクマリらしいええ言葉や思うで
分岐3-1～3-4共通	
セオリ	うん だから私もね―― お姉ちゃんと一緒にいる時間を 大切にしようと思うんだ あ もちろん ドライバーも大切にするよ 私達を再び巡り合わせてくれた 功労者だしね
選択肢AB共通	
ミクマリ	セオリ 何やってるの！ ドライバーと二人でイチャイチャしてないで 早くこっちにきなよ！
セオリ	イチャイチャって―― そんなことしてない！
ミクマリ	いいから ほら！ 早く！
セオリ	ねぇ あなたも一緒に行こう！ これからは三人でたくさんの思い出を作っていくんだよ！

グーラ	
再会	
宿屋イベント	
ムスビ	あのー 実は―― トリゴの街で気になる家を見つけまして 誰も住んでおらず 空き家のようなのですが―― どうにも気になりまして 一緒に見に行っていただけませんか？
キズナトーク	
ムスビ	――私はここを知らないはずなのに でも なぜでしょう 胸に引っかかるものがあって どうしても気になるんです――
ノエリア	ムスビ!? あなたムスビでしょう？
ムスビ	――？
ノエリア	帰ってきてくれたのね！
アートス	父さんも喜ぶよ！
ムスビ	――あの どちら様でしょうか？
アートス	!?
ノエリア	どうしたの ムスビ？ 私達がわからないの？
ムスビのドライバー分岐	
分岐1-1	レックス
レックス	ムスビには昔の記憶がないんだ
アートス	そうか 父が死んで ムスビは再び同調されたのですね――
ノエリア	では あなたが新しいドライバーに？
レックス	ああ おじいさんに託されたっていうか――
分岐1-2	ニア
ニア	ムスビには昔の記憶がないんだよ
アートス	そうか 父が死んで ムスビは再び同調されたのですね――
ノエリア	では あなたが新しいドライバーに？
ニア	うん おじいさんに託されたっていうか――
分岐1-3	メレフ
メレフ	ムスビには昔の記憶がないのだ
アートス	そうか 父が死んで ムスビは再び同調されたのですね――
ノエリア	では あなたが新しいドライバーに？
メレフ	ああ そうなんだ

分岐1-4	ジーク
ジーク	ムスビには昔の記憶がないんや
アートス	そうか 父が死んで ムスビは再び同調されたのですね――
ノエリア	では あなたが新しいドライバーに？
ジーク	ああ せや
分岐1-1～1-4共通	
ノエリア	安心しました―― あなたのような良い人がドライバーで
アートス	あなたに引き継いでもらえて 父も喜んでいると思います
ムスビ	お二人は――
選択肢A	この家の方なのでしょうか？
アートス	ここは 私達の父親が住んでいた家です でも 先日 他界してしまいまして――
ノエリア	その整理のために 久々に帰ってきていたのです
ムスビ	そうですか お気の毒に―― 何かお手伝いしましょうか？
アートス	いいえ そのお気持ちだけで 十分ですよ それよりも あなたは どうしてこの家に？
ムスビ	あの―― なぜかはわからないのですが この家を見て 温かいというか 懐かしい気分になりまして――
アートス	そうですか――
ムスビ	きっと この家に住んでいた方は 立派な方だったのでしょうね
アートス	どうしてそう思うのです？
ムスビ	――お二人を見ていればわかりますよ お二人のような 立派なお子さんを育てたんですものきっと立派な方に違いありません
アートス	――いいえ 父は平凡な人間ですよ 立派だったのは他界した母親代わりに 私達を育ててくれた人です
ノエリア	母親以上に優しく あったかい人でした
ムスビ	その人は今どこに？
アートス	――今は大切な仕事に取り掛かってるみたいですでも それが終わればまた会えるんじゃないかなとその時はちゃんとお互いのことを話そうと思います
ムスビ	そうですね それがいいですよ きっと その人も喜ぶと思います
選択肢B	昔の私を知っているのですか？
アートス	――はい 昔 あなたにとてもお世話になったんです ここで会えて本当に良かった
ムスビ	そうですか―― 私は 同調される前は ここに住んでいたんですね―― では この家に住んでいた方は？
ノエリア	私達の父です ただ 先日亡くなりまして――
ムスビ	――お父様も わたしのことをご存知だったのでしょうか？
ノエリア	ええ もちろんです 父は あなたに お世話になりっぱなしでしたから 今日 あなたに来ていただけて とても喜んでいると思います
ムスビ	すみません わたしにはその時の記憶がまったくないので―― 皆さんのことも―― 本当にごめんなさい
アートス	いいんですよ ムスビさん 気にしないでください 今日ここに来てくれただけでも すごくうれしいんですから
ムスビ	あ そうだ！ おむすびを―― あの お供え物といっては 失礼なんですが―― 今朝 作ってきたんです 良かったら 皆さんもどうぞ
ノエリア	――おむすび
アートス	なつかしい――
ムスビ	記憶のない私には こんなことしかできませんけど――
アートス	いいえ 十分ですよ ありがとうございます
ムスビ	あの―― これからもここに来てもよろしいでしょうか？
ノエリア	ええ もちろんですよ ここはあなたの家でもあるんですから

グーラ	
鳥のような広い心で	
宿屋イベント	
イブキ	ねぇねぇ トリゴの街の港に 巨神獣戦艦が停泊してるの知ってた？ イブキ 行ってみたい ねぇ一緒に行こうよ！
キズナトーク	
イブキ	おおぉ！ すごい すごいよ！ 見てよ この見晴らしのいい景色 イブキ こんなすばらしい景色今まで見たことないよ！
ビャッコ	それは良かったですね でも 確か――
イブキのドライバー分岐	
分岐1-1	レックス
レックス	この間も似たような景色を見て 喜んでなかったっけ？
分岐1-2	ニア
ニア	この前も似たような景色を見て 喜んでなかったか？
分岐1-3	メレフ
メレフ	つい先日も似たような景色を見て 喜んでいなかっただろうか
分岐1-4	ジーク
ジーク	この前も似たような景色見て 喜んでたやろが！
分岐1-1～1-4共通	
イブキ	え？ そうだっけ？ うーん うーん ――覚えてないなぁ？ 気のせいじゃない？ ――まぁ でもさ 冒険をしてるとこういう発見が次々とあるから すごく楽しいよね！ イブキも もっともっと いろんな所に行って新発見をしてみたい！
イブキのドライバー	なぁ イブキ――／なぁ イブキ――／イブキ――／なぁ イブキ――
選択肢A	
レックス	次はどこに行ってみたい？
ニア	次はどこに行ってみたいんだ？
メレフ	次はどこに行ってみたいと思う？
ジーク	次はどこに行ってみたいんや？
イブキ	そうだなぁ―― 雪がいっぱいある所に行ってみたい！
ビャッコ	雪―― ですか？
イブキ	うん！ まだ行ったことないしさ きっと真っ白ですっごくきれいな場所なんだろうなー
条件分岐	
分岐a	イブキと一緒にルクスリア王国に行ったことがある
ビャッコ	いえ ルクスリアでしたら 少し前に行きましたよね？
イブキ	え？ るくすりあ？ そこって雪があるの？ あぁ!? もしかして イブキに内緒で 皆で行ってきたんだ？ ひどいよー！

イブキのドライバー分岐	
分岐2-1	レックス
レックス	はは―― イブキに秘密にはしないよ きっとビャッコの勘違いだよ
分岐2-2	ニア
ニア	はは―― そんなことするわけないって きっとビャッコの気のせいだろ？
分岐2-3	メレフ
メレフ	はは―― イブキを置きざりにはしていないよきっとビャッコの気のせいではないのか
分岐2-4	ジーク
ジーク	くく―― イブキをほっといていくわけないやろきっとビャッコの勘違いや
分岐2-1～2-4共通	
ビャッコ	え？ あぁ―― そうですね 私の勘違いにしておきましょうか
イブキ	何だよもう びっくりしちゃった！ 行くときは 絶対にイブキも一緒だからな！
分岐b	イブキと一緒にルクスリア王国に行ったことがない
イブキ	他にはね― 地面が焼けるほどに暑くて 飛びあがっちゃいそうなところがいいな そうすればイブキも 空を自由に飛べるようになるかも？
ビャッコ	ならないでしょうね
イブキ	とにかく！ どこへ行くときも 絶対にイブキも一緒だからね！
選択肢B	
レックス	冒険は好きか？
ニア	冒険は好き？
メレフ	君は冒険が大好きなのだな
ジーク	冒険が好きなんか？
イブキ	もちろん 大好きだよ！ いつも新しい発見ばかりで もう楽しくて楽しくて―― ――あれ？ 前にも 同じようなことを言った気がするな？ どうだっけ？ ――うーん まぁいいか きっと気のせいだよね！
ビャッコ	――ははは 確かに楽しそうですね イブキさんらしいですよ
イブキ	え？ 何で？ 皆は新発見をしても楽しくないの？
イブキのドライバー分岐	
分岐3-1	レックス
レックス	いや イブキと同じだ 新しい発見をするのはワクワクするよ でも きっとイブキは オレ達の何倍も楽しんでいると思う
分岐3-2	ニア
ニア	いや イブキと同じだよ 新しい発見をするのはすごく楽しいよ でも きっとイブキは アタシ達の何倍も楽しんでいるよね
分岐3-3	メレフ
メレフ	いや イブキと同意見だ 新しい発見をするのはいい体験になる だが きっとイブキは 私達の何倍もそれを楽しんでいると思う
分岐3-4	ジーク
ジーク	いや イブキと同じや 新しい発見をするんはごっつう楽しいで けどな きっとイブキは ワイらの何倍も楽しんどると思うんや
分岐3-1～3-4共通	
イブキ	そうかなぁ？
ビャッコ	そうですよ イブキさん これはイブキさんならではの 楽しみ方なんですから
イブキ	ふーん 変なの よくわかんないや
選択肢AB共通	
イブキ	――じゃあ 次の発見を求めて 新天地へ向かおう！ 皆 準備はいい？
ビャッコ	はいはい お供いたしますよ
イブキ	おおぉぉ！ 見て 見て！ この景色 すっごく綺麗だよ！
ビャッコ	――え？
イブキ	ほら 見てみなよニャッコ！ すごいんだから！
ビャッコ	いや あの ――もう忘れちゃったんですか？
イブキ	え？ 何が？
イブキのドライバー分岐	
分岐4-1	レックス
レックス	あはははは！ ほんと イブキといると楽しくて飽きないよ！
分岐4-2	ニア
ニア	あはははは！ ほんと イブキといると楽しくて飽きないよな！
分岐4-3	メレフ
メレフ	あはははは！ 本当に イブキといると飽きないな
分岐4-4	ジーク
ジーク	あはははは！ ほんま イブキといるとおもろいな
分岐4-1～4-4共通	
イブキ	何だよー？ 全く変なドライバーだなぁ――

グーラ	
美しいものとは？	
キズナトーク	
ツキ	よろしゅおすなぁ―― 見ておくれやす この景色 これが大自然の美しさなんやね
ツキのドライバー分岐	
分岐1-1	レックス
レックス	――確かに この一面に広がる景色は他では見られないな
分岐1-2	ニア
ニア	――確かに この一面に広がる景色は他では見られないよね
分岐1-3	メレフ
メレフ	――確かにな この美しい光景は他では見られないな
分岐1-4	ジーク
ジーク	――せやな こんな光景 他では見られへんで
分岐1-1～1-4共通	
カグツチ	でも ツキってもっと派手なものを 好むと思ってたけど―― 意外と こういう景色も好きなのね
ツキ	――フフッ カグツチはんはまだまだやねぇ 確かに豪華で派手な美しさもよろしゅおすけど自然の美しさが一番ちゃうやろかなぁ
カグツチ	自然の美しさ？ ――それってありのままが良いってこと？
ツキ	そうやね 何も飾らへんありのままの美しさ――それこそが究極の美やと思うて

カグツチ	――ふーん　そうなの？
ツキ	例えば　ハナはんは全く美を意識してあらへんけど　十分かわいいらしやろ？
カグツチ	――確かにそうね
ツキ	磨いたり　飾りつけたり　美しく見せる方法はなんぼでもある――　せやけど　それは外見をきれいに見せているだけで　そら歪もんどす　せやから　自然に生み出される美しさこそが　最高の美やと私は思うんやわ
ツキのドライバー	ツキにどう声をかけようか？／ツキにどう声をかけよう？／ツキにどう声をかけるべきか／ツキにどう声をかけよか？
選択肢A	
レックス	ツキはもう十分に美しいけどな
ニア	ツキは十分にきれいだろ
メレフ	ツキは既に美しいだろう
ジーク	ツキは十分にべっぴんさんやで
ツキ	堪忍しておくれやす　私はまだまだどす　さっきも言うたけど　外見がええだけではあかんのどす　例えば　私がドライバー皆の晩御飯を　一人で食べたら幻滅しますやろ？　そうか　戦ってる時にドライバーを見捨てて　逃げ出したりね　やっぱり心や精神も美しいことが　大切なんやわ　内面外見を含めて　その人から自然に生み出される美しさこそが　最高の美やと思うで　せやから私は　ありのままの姿で　自分を飾らず生きていくと決めてるんえ
ツキのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	なるほどな　確かに　ツキらしい生き方だな
分岐2-2	**ニア**
ニア	なるほどな　確かに　ツキらしい生き方だね
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	なるほど　確かに　ツキらしい生き方だな
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	なるほどな　確かに　ツキらしい生き方やな
分岐2-1～2-4共通	
ツキ	そやさかい　ドライバーも　私と一緒に自分を磨いてもらうえー
選択肢B	
レックス	どうして自然の美しさにこだわるんだ？
ニア	何で自然の美しさにこだわるの？
メレフ	なぜ自然の美しさにこだわるのだ？
ジーク	何で自然の美しさにこだわるんや？
ツキ	自然へのこだわり――　そないなつもりはあらへんけど――　確かにこだわってるかもしれへんね　人間って老いていかはるやろ？　女の人は　それを醜くうなると思て　えらい嫌がらはるけど　私はとても美しいと思うんよ　それって　その人の生きてきた証やし　積み重ねてきた人生が　形となったもんと違うやろか？　せやからこの世界にたった一つしかない芸術やと思うねん
ツキのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	なるほど　人の命は　自然の生み出す芸術作品ってことか　ツキらしい考え方だね
分岐3-2	**ニア**
ニア	そっか　人の命は自然の生み出す　芸術作品ってことか　ツキらしいね
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	人の命は自然の生み出す　芸術作品というわけか　なるほど　ツキらしい考えだな
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	なるほどな　人の命は　自然の生み出す芸術作品ってことかいな　めっちゃツキらしい考え方やな
分岐3-1～3-4共通	
ツキ	私はブレイドやから　自然に生まれたモノやない――　この姿のまま生まれ　ドライバーが死ねばこの姿のまま消えていく　何の変化もなく　あっけなく存在が消えてしまうんや――　せやから　人間の限りのある美しさに　憧れを持ってるねん――　私のドライバーはん　あなたはきっと　すごく美しい歳の取り方をするやろなぁ　これからが楽しみやね　フフフ――

インヴィディア烈王国
トラの悩み

宿屋イベント	
トラ	アニキ！　ニア！　ファーレン水域にすごく眺めのいい場所があるって　宿屋の主人がいってたも！　普通の人には行けないような　たっかーい場所らしいも　でも　ブレイドがいれば大丈夫も！　一緒に行ってみるも！
キズナトーク	
トラ	すごいも！　こんな場所にこれるのも　ドライバーになったおかげも！　やっぱりブレイドとドライバーって　すごいも！　そうも！　アニキ　ニア　ちょっと相談に乗ってほしいも
ニア	アタシ達に相談したい事？
トラ	トラ　今とっても悩んでる事があるも　実は――　トラは　気づいてしまったんだも　トラは――
レックス	トラは――？
トラ	実は戦闘ではあまり役に立っていないも！
レックス	……
ニア	……
トラ	どうしたも　二人共？
レックス	あ　いや――　ちょっと驚いただけ
ニア	まさかそんな疑問を持つとは　思ってなかったからな
トラ	ひどいも！？
ニア	トラだって　よく戦ってると思うけどね
トラ	――それは全部　ハナのおかげなんだも　武器を投げ渡したり受け取ったり　トラが本物のドライバーみたいに戦うように　行動してくれてるんだもだから本当はそのプログラムをなくして　トラ抜きでハナが一人で戦うのが　一番効率的で強いも
ニア	へぇー　ハナって　すごいんだな
トラ	だから　トラ自身は　足を引っ張る存在というわけも！
レックス	いやトラ――　そこは誇るところじゃないぞ
トラ	それでトラはこのままドライバーを　続けていいかどうかちょっと迷ってるも――　引退して監督として　ハナを指揮した方がいいんじゃないかと思うときもあるも

レックス	トラ――　ニアはどう思う？
ニア	トラに何て尋ねようか？
選択肢A	**どうしてトラはドライバーになりたいと思ったんだ？**
トラ	実はすごくぼんやりしてるも――　じいちゃんの代から　人工ブレイドを完成させることが　悲願だったも　だからトラも当然　そうなるべきだと思ってたも
ニア	じゃあ　トラのおじいさんは　どうして人工ブレイドを作ろうとしたんだろ
トラ	それはきっと――　モテたいからも!!
レックス	なんかしょーもない理由だな
トラ	ノボンのドライバーなんて数少ないも！　ドライバーになれば　絶対にモテモテになるも！
レックス	なら　トラの動機もそれなんじゃないか？
トラ	ももも―　ちょっと違う気もするも　トラはアニキのようになりたいも
レックス	オレのように？
トラ	トラは最初　わけも考えずに　ドライバーに憧れていただけだったも　でも　アニキ達と旅をして考えが変わったも！　困っている人を助け　どんな困難にも立ち向かう――　まさにアニキはトラの理想のドライバーも！
レックス	なんだか面と向かって言われると　照れくさいなあ――
ニア	なるほど　なんか微妙な感じもするけど　目標はきちんとあるってことだよな
レックス	微妙って――
ニア	だったら　大丈夫だよ！　トラはドライバーを続けていい　やりたいことがあるなら　ドライバーでありつづけていいんだ　ブレイドってそれを助ける存在なんだからさ　ハナが一人だけ戦ってちゃダメなんだよ　トラも一緒に戦わなきゃな
トラ	確かにそうも――　ありがとうも　アニキ　ニア！　トラもドライバーとして　これまで以上にがんばるも！
選択肢B	**ドライバーにとって大切なことはなんだと思う？**
トラ	それはちゃんと考えているも――　ブレイドへの愛が大切も！
ニア	――あ　愛？
レックス	意外な回答がきたな――
トラ	トラは観察して　分析もしたも――　そして　ドライバーにはみんな　ブレイドへの愛があると分かったも！　アニキはホムラを　ニアはピャッコを愛しているも！
レックス	俺がホムラを愛してる!?
ニア	レ　レックスがホムラを!?
トラ	トラも　ハナに対する愛は　他の誰にも負けはしないも　けど　愛さえあれば　ドライバーでいてもいいってことには　ならないと思うも
レックス	それはそうだろうけど――
ニア	待ってよ　レックス　なんか話がこじれてきそうだから　ハナにストレートに言ってもらった方が　手っ取り早いんじゃないか？
レックス	確かにそうだな――　ハナを呼んで来よう　ハナ――　トラがドライバーをやめるって　言い出したらどうする？
ハナJS	いてもらわないと困りますも！
トラ	ももも！　トラ　ドライバーとしてがんばるも!!
レックス	一瞬で決着だったな――
ニア	そ　そうだな　良かった良かった――　はぁ――　レックスがホムラを――

インヴィディア烈王国
サイカの悩み

宿屋イベント	
サイカ	メレフ　ちょっと話があるんやけど
メレフ	どんな話だ？
サイカ	それは――　フォンス・マイム商業区へ行ってから話そへん？
メレフ	いいだろう――
キズナトーク	
サイカ	ここならじっくりと　相談できそうや――
メレフ	して　相談とは何だ？
サイカ	あのな　メレフ――　ウチのこと　どない思う？
メレフ	――すまない　質問の意味がわからないのだが？
サイカ	いや　そのな　――ウチのこと　女らしいと思うか？
メレフ	なんと返事すべきか？
選択肢A	**かわいい女性だと思う**
メレフ	心配するな　君はかわいい女性だと思うぞ
サイカ	そりゃあ　メレフと比べたら大抵の女性は　お淑やかでかわいく見えるよね
メレフ	――私を馬鹿にしてるのか？
サイカ	ちゃうねん　ごめん　言葉足らずやったわ
メレフ	――――む
サイカ	ウチに比べるとホムラやカグツチは　色気を出しまくっとると思わん？
メレフ	確かにカグツチはもとより　ホムラも健康的な女らしさを感じるな
サイカ	せやろ？　ウチがもっと魅力的なブレイドになるには　色気が必要やと思うんよ
メレフ	――なるほど　それで色気のある私に　教えを請いたいと言うわけだな
サイカ	ちゃうよ　メレフにそんな助言はよう求めんわ　メレフって男みたいなもんやん？
メレフ	――――フッ
サイカ	せやから　男の気持ちが理解できると思ってな
メレフ	――――フフフ　そうか――
サイカ	おっ　わかってくれたんか！　なぁ　メレフから見て　ウチとあの二人のどのへんが違うと思う？
メレフ	――しらん！　勝手にしろ！
サイカ	えー!?　ちょっと待ってや！　協力してくれるんやろ？　勿体ぶらんと教えてーな！
選択肢B	**告白は待ってくれ**
メレフ	その告白　少し待ってもらえないか？　サイカ　君は気づいていないのだろうが　実は私は女なのだだから君の気持ちを　受け入れるわけには――
サイカ	ふふふふっ　メレフにしては面白いボケやね
メレフ	は？

サイカ	あんたが女なんは　ほとんど皆が知っとるで　そうやなくて　ウチはならしさについて　聞きたかっただけや
メレフ	ふむ――　女らしさをこの私に？
サイカ	メレフは男装の麗人やけど　もちろん女性らしさにも気遣っとるやん？　髪とか肌とか傷つきやすい指先も　きれいなもんやん
メレフ	細かいところまで見てるな
サイカ	まあね　女の子ブレイドとして当然のことや
メレフ	なるほど――　サイカには振り向いてもらいたい男性が　いるというわけか
サイカ	いやいやいや　そうやない！　カグツチやメレフのような大人の女性が　どんな手入れをしてるのか参考にしたかっただけや
メレフ	本当か？
サイカ	ほんまやほんま！
メレフ	――ふむ　私とカグツチはアヴァリティアから　もちもち化粧水とスースージェルを　取り寄せて使っているな
サイカ	ふむふむ――
メレフ	アルス油ハンドクリームなども　なかなかのものだぞ
サイカ	なるほどなるほど――
メレフ	今度　ジークに買ってもらうよう　言っておこう
サイカ	そういうのはやめてーや！
メレフ	フッ――
サイカ	こういうのは裏でこっそり努力するのが　ええんや　絶対に言うんやないで！

インヴィディア烈王国
真髄

キズナトーク	
ホムラ	皆さん　お茶が入りましたよ　はい　どうぞ
トラ	――ふっ　ホムラ　全然わかってないも
ホムラ	トラくんはお茶じゃないほうが　よかったですか？
トラ	そうじゃないも　ホムラの一挙手一投足が　一流のメイドには程遠いと思っただけも
ホムラ	メイド――？
ニア	トラ――　ホムラは親切心でお茶をいれてくれたんだぞ？
トラ	それはわかってるも――　けど　そんな些細なことにも　理想を追い求めてしまうものなんだも！　メイドの立ち居振る舞いには　萌えが必要不可欠ホムラには　萌えが足りないも！
ホムラ	そ　そんなぁ！　で　「もえ」ってなんですか？
トラ	萌えとは男の理想の形も――　萌えを極めれば全ての男の心を　鷲掴みにできるも！
ホムラ	本当にすべての――？
トラ	当然も！
ニア	ホムラ―　トラの話なんてまともに聞くことないぞ
ホムラ	でも――
トラ	ホムラはメイドの真髄に興味があるも？
ホムラ	どうでしょうか？
選択肢A	**興味があります！**
ニア	おい　ホムラ!?
トラ	いい心掛けも　では　今から萌えを体得してもらうも　カモン　我が最強メイド！
ハナJS	お帰りなさいませ　ご主人様　――きゅん
ホムラ	ハ　ハナちゃん？
ニア	どうしたんだ!?　ぶっ壊れたか？
ハナJS	ハナは現在　最強メイドモードで起動中ですも――きゅん
トラ	さぁ　この最強メイドのハナから　メイドの真髄を掴みとるも！
ハナJS	萌えとは己の心にある愛情を最大に高めた　究極の愛の形ですも　今から愛情を高める魔法を教えますも　ハナと一緒に詠唱するですも
ホムラ	わ　わかりました！
ハナJS	美味しくなれなれ　モエきゅーん！
ニア	ホムラ？　お前　まさか――あれを――
ホムラ	お　美味しくなれなれ　もえ――きゅん！
ニア	――やっちゃったよ
トラ	ちょっと違うも！　ハナをしっかりと真似るも！
ホムラ	はい　コーチ！
ニア	――あぁ　ホムラ　そっちへ行っちゃだめだ――
選択肢B	**レックスが喜んでくれればいいです**
トラ	どんな男も萌えにロマンを求めているも！　それはアニキも例外じゃないも――　だから　ホムラここで真髄を学ぶべきも
ホムラ	なるほど――　わかりました！　トラくん　よろしくお願いします！
ニア	お　おい　ホムラ？
トラ	では　これから萌えの真髄を　体得してもらうも最強メイド　カムヒア！
ハナJS	おかえりなさいませ　お兄ちゃん　きゅんきゅーん！
ホムラ	ハ　ハナさん？
ニア	おい　トラ　ハナが壊れたぞ!?
ハナJS	心配いらないよ　ハナは現在　対レックス萌え萌えモードで起動中だよ　お兄ちゃん　サルベージがんばってね　きゅんきゅーん！
ニア	お　お兄ちゃん？
ホムラ	こ　これが萌え――
トラ	さぁ　ホムラ　ハナのセリフを真似るも
ハナJS	お兄ちゃん　ハナはお兄ちゃんに萌えキュンだよぉ
ホムラ	お　お兄ちゃん？　ホムラはお兄ちゃんに萌えキュン？　だよ――？
トラ	ダメも！　その程度の萌えでは　アニキの心を握りつぶせないも！　もう一回　言うも！
ホムラ	お兄ちゃん！　ホムラ　お兄ちゃんに萌えキュンだよ！
トラ	まだ甘いも！
ニア	――あぁ　こりゃダメだ　付き合ってらんない

インヴィディア烈王国
継承

宿屋イベント	
スザク	レックス　頼みがあるんだ
レックス	頼み？
スザク	フレースヴェルグを一望できる所に連れて行って欲しいんだ　案内してくれないか？
レックス	分かった　いいよ

キズナトーク	
レックス	スザク　ここなら村が　一望できると思うんだけど――
スザク	ああ　よく見えるぜ　いい村だな　ここは―― 暮らしは決して裕福ではないが　皆　いい顔をしてんな　挫けることなく　前向きに生きようとしているみたいだ
レックス	ヴァンダムさんが育てた村だからね　彼の想いが今も村の人を支えているんだ
スザク	昔　俺のドライバーだった男　ヴァンダムが作り守った村ってわけか――
レックス	なんて声を掛けよう？
選択肢A	**ヴァンダムさんの事が知りたいのか？**
スザク	ま―― レックスの前で　昔の男の話をするのもどうかとは思うが―― いい男だったようだしな　興味はある
レックス	そうだな―― 声も身体もそして心も　すごく大きな人だったかな　オレは彼から　ドライバーの基本を教えてもらったんだ　いや　それだけじゃないな―― ブレイドのこと　戦い方のこと　この世界のルール―― 短い時間だったけど　彼は大切な事をいっぱい教えてくれた
スザク	そうか―― きっと　女が放っておかないようないい男だったんだろうな
レックス	あぁ　いい人だったよ　モテたかどうかはわからないけどね
スザク	俺はそんなヤツの記憶をなくしちまったのか　口惜しいな――
レックス	心配は要らないよ　さっきも言っただろ？ 彼の想いは　ここにいるみんなに　そして　オレ達にも受け継がれているんだ　今はまだまだ半人前だけど　オレは必ず　彼に追い付いてみせる　だから　スザク　お前もしっかり見ててくれよ
スザク	あぁ　わかった―― あんたのブレイドとしてしっかり見せてもらうぜ――
選択肢B	**この村に帰りたくなったのか？**
スザク	そういうわけじゃねえよ　第一　俺には　この村で暮らした記憶は無いんだしな　けど　俺とヴァンダムが残したものが　この村にはあるのかもしれない―― そう思うと　なんだか　感傷的な気分になっちまうよな
レックス	そうだな―― この村には　ヴァンダムさんとスザクの想いがこもっているのかもね
スザク	その男と俺はどんな風に　過ごしてきたんだろうな？
レックス	きっと　普通だったんだと思うよ
スザク	普通？
レックス	そう　普通　朝起きて　子供達の面倒を見ながら働いて　笑顔でおいしいものをいっぱい食べて―― 明日の事を話しながらビールを飲んで　きっと　いびきをかきながら寝るんだ　そんな当たり前の　生活を送れる村を作るために―― ヴァンダムさんもスザクも　一生懸命　戦ってたんだと思うよ
スザク	当たり前の生活を送るために―― この村の人達は　今もその当たり前の生活を　大切にして生きているのか―― なぁ　レックス　ヴァンダムは優しい男だったのか？
レックス	そうだな―― 誰に対しても正直で裏表のない真っ直ぐな―― とにかく　でっかくてあったかい人だったよ　こういうと彼に怒られるかもしれないけど　父親みたいな存在だったのかも　だからオレもあの人みたいになりたいと　思ったんだ
スザク	レックスにそこまで言わせる男か　もう会えないのが残念だ――
レックス	面倒見のいい人だったからね　きっと　どこかでオレ達のことを見てるさ
スザク	そうか―― なら恥ずかしい所を　見せるわけにはいかねえな
レックス	あぁ　ちゃんと立派になったところを見せないと怒鳴られちゃうかもな

インヴィディア烈王国	
トラとハナの演劇	
宿屋イベント	
トラ	コールのおっちゃんの劇場へ行くも！
レックス	何かあるのか？
トラ	トラとハナは　こっそりと演劇の練習をしたも！
ニア	二人で何かやってると思ったら　そういうことか
トラ	そうも！ 街の子達に聞いたおもしろい話があるも　そこでアニキには観客になってほしいも！
レックス	それは面白そうだな
トラ	そして　ニアには別のお願いがあるも
ニア	え？ 何だよ？
トラ	それは秘密も
レックス	とにかく　行ってみようか！
キズナトーク	
トラ	本日はお集まりいただき　ありがとうございますも「インヴィディア烈王国　開戦すべき？」を上演いたしますも
レックス	おー 楽しみだな
じっちゃん	観客はワシらだけかの？ ニアはどこへ行ったんじゃ？
レックス	さあ――？
トラ	ラゲルト女王！ スペルビアと戦争をはじめましょうも！
ニア	急な話だな　右大臣よ
ビャッコ	お嬢様――
レックス	ニア　うまいぞ！
ニア	うっさい！ やりたくてやってんじゃないんだ！
トラ	ごほん　急ではありませんも　グーラがスペルビアに占領されてから　徐々に準備をしてまいりましたも
ニア	では　準備が整ったと？
トラ	依然　準備は進めていますが　もうすぐにでも完了しますも　スペルビアはグーラ以外の国も　征服しようとしていますも　これ以上の暴挙を許してはいけませんも　早々に開戦すべきですも！
ニア	ふむ―― そうだな　開戦しようか
ハナJS	待ってくださいですも！
ニア	何かな？ 左大臣
ハナJS	スペルビアの巨神獣は　作物が育てられないほど不毛な大地になりつつありますも　対して我々は豊かな大地ですも　グラーナもおいしいですも　しばらく待つだけで　スペルビア帝国は食糧難で滅びますも
ニア	なるほど――
トラ	いやいや　待っていたら　グーラのような属国を増やされますも　ヤツらの属国が増えれば　さらに強大になりますも　そうしたら　スペルビアの巨神獣が　滅んだとしても　スペルビア帝国を滅ぼすのは困難ですも
ハナJS	しかし　焦る必要はないですも　彼らもすべての国民を救うだけの　土地や食料はまだ揃えられていませんも　グーラだけではスペルビア帝国全国民を　賄いきれないからですも　つまり　スペルビアの弱体化を待ってからでも　遅くはないはずですも
ニア	一理あるな――
トラ	とはいえ　それは今日明日じゃないはずですも　数十年後かもしれないし　数百年後って可能性がありますも　スペルビア帝国は絶対に　潰しておかないといけない存在ですも！
ハナJS	それは同意しますが　今は待つ時ですも！ 戦争の準備は進行中ですが　まだ万全とは言えないはずですも
トラ	こうなれば女王　どうするか決めてほしいですも！
ニア	え？ アタシが決めるのか？
ハナJS	だって　女王役ですも
ニア	んー そうだな――
ニア	どうする？
選択肢A	**開戦しよう**
選択肢B	**しばらく耐えよう**
選択肢AB共通	
トラ	……
ハナJS	……
ニア	んん？ 二人ともセリフはどうした？
トラ	「インヴィディア烈王国　開戦すべき？」の脚本はここで終わってるも
ハナJS	なので　ご静聴ありがとうございましたも！
じっちゃん	なるほどのう―― 子供たちにこの演劇を見てもらって　インヴィディアがどうすべきかを　考えてもらいたいんじゃな
ビャッコ	なかなかうまい方法ですね
レックス	子供たちの間でも意見が割れそうな　難しい問題だな――
ニア	無理やり出演させられた上に　これで終わり!? 全然すっきりしないんだけど!?

インヴィディア烈王国	
ヨシツネのシナリオ	
キズナトーク	
ヨシツネ	カラム遺跡―― なかなか素晴らしい場所ですね　僕の書いた脚本を演じるに相応しい場所です　少々壊れているので　補修が必要そうですが――
ベンケイ	なぁ　ヨシツネ　そんなことより飯を作ってくれよ　あんたは本を書いてるより　飯を作る方がよっぽど役に立つんだからさ
ヨシツネ	全く失礼ですね
ヨシツネのドライバー	何て声をかけよう？／何て声をかけよう？／何て声をかけよう？／何て声をかけようか？
選択肢A	
レックス	どんな料理が得意なんだ？
ニア	どんな料理が得意なんだ？
メレフ	どのような料理が得意なのだ？
ジーク	どんな料理が得意や？
ヨシツネ	ふぅ―― あなたも花より団子派ですか
ベンケイ	あはは　そりゃ仕方ないよ　ヨシツネは脚本より料理の方がウマいんだからな　それにいつもうまいうまいって　気にせず食べてたから―― ヨシツネがどんな料理が得意かは　アタシもしらないね
ヨシツネ	それはあなたが好きなものばかり　作ってあげていたからですよ
ベンケイ	そいつはご苦労さんだな
ヨシツネ	ヤレヤレ―― 報われないものですね―― とはいえ　僕に得意料理はないんです　苦手な料理はありますけどね　アヴァリティア・アンコウですよ　あのグロテスクな魚を使って　どうやったらおいしい料理が作れるのか―― 僕にはまるで想像ができない
ベンケイ	それって単に　魚の見た目が嫌なだけじゃないの？
ヨシツネ	何を言っているのですか！ 料理は見た目も重要なのですよ！ あのような醜悪な魚を使って　どうすれば美しくおいしいものが作れるというのですか!? あんなものを前にして　食欲がわく人間などいるはずがない！ あの　ぶよぶよでぬるぬるで　魚と呼ぶには余りにもおぞましい姿―― 考えただけで鳥肌が立ちますよ！
ベンケイ	色々とヘ理屈を捏ねてるけどさ―― ようは　あの魚を　触りたくないってことだろ？
ヨシツネ	当然です　僕はあのようなもので　自分の手を汚したくはないのですよ
ベンケイ	ヨシツネが苦手な魚かぁ―― 今度　ホムラに料理してもらうかな
ヨシツネ	なっ!?
ベンケイ	ヨシツネにはムリでも　ホムラならおいしく　作ってくれるんじゃないのか？
ヨシツネ	ううむ―― ベンケイがそう言うと　俄然アヴァリティア・アンコウに　挑戦しなければと思いましたよ
ベンケイ	じゃあ　今度やってみなよ？
ヨシツネ	いいでしょう　ホムラに負けるわけにはいかない――
ヨシツネのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	ヨシツネの料理―― 楽しみだね
分岐1-2	**ニア**
ニア	ヨシツネの料理―― 楽しみだな
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ヨシツネの料理―― 楽しみだ
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ヨシツネの料理―― 楽しみやな
分岐1-1～1-4共通	
ヨシツネ	フッ―― 期待していてください
選択肢B	
レックス	オレは脚本の方が興味があるな
ニア	アタシは脚本の方に興味があるけど
メレフ	私は脚本に興味があるが――
ジーク	ワイは脚本の方が興味があるけどな

ヨシツネ	さすがは僕のドライバー　よくわかってらっしゃるあなたを主役にした　脚本を少し書き始めているのですが―― 現実よりももっともっとかっこよく描くようにしましょう　文武両道の比類なき至高の英雄として
ベンケイ	このドライバーにはそんな肩書は　似合いそうにないけど――
ヨシツネ	ベンケイ―― あなたは食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたら娘にします
ベンケイ	なっ!? アタシは役立ってるだろ？ そりゃ少し面倒がる傾向はあるけど　やるときゃやるし　それに強い――
ヨシツネ	しかし　これだけ猛者揃いの一行ですからね　一人くらい食欲旺盛で昼寝が好きな　ぐーたら娘がいると個性が際立って　話がおもしろくなりますよ？
ベンケイ	それなら別に食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたら娘は　アタシじゃなくたっていいだろ？
ヨシツネ	僕としてはベンケイには　目立ってもらいたいのですよ　没個性になり　埋もれさせたくはない
ベンケイ	だったら別の役どころにしてくれよ
ヨシツネ	食欲旺盛で昼寝が好きな　ぐーたら娘はお気に召しませんか？
ベンケイ	食欲旺盛で昼寝が好きな　ぐーたら娘はお気に召さないね！
ヨシツネ	ふむ――
ヨシツネのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
ヨシツネ	では　レックス　あなたが食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたら男子役ということで
レックス	イヤだよ！
分岐2-2	**ニア**
ヨシツネ	では　ニア　あなたが食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたら娘役ということで
ニア	イーヤーだ！
分岐2-3	**メレフ**
ヨシツネ	では　メレフ　あなたが食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたら娘役ということで
メレフ	私は娘という年ではないだろう―― そもそもそういう性格では話が進まないのでは？
分岐2-4	**ジーク**
ヨシツネ	では　ジーク　あなたが食欲旺盛で　昼寝が好きなぐーたらおじさん役ということで
ジーク	まだおっさんちゃうわ！ っていうか、そんな主人公イヤやで！
分岐2-1～2-4共通	
ヨシツネ	ふぅ　ヤレヤレですね――

インヴィディア烈王国	
険しい武士道	
キズナトーク	
ラゴウ	――なぁ　主人　この店の品は　ここにあるだけか？
インヴィディア人男性店主	ああ―― ここにあるだけだ
ラゴウ	そうか―― この店にも満足のいく逸品はないか――
ベンケイ	ラゴウ　また武器漁りかい？
ラゴウ	お主と一緒にしないでもらいたい　某は節操なく武器を　買い漁っておるわけでないのでな
ベンケイ	アタシだって節操がないわけじゃないよ
ラゴウ	お主は気が多すぎるのだ　まずは使う武器を絞ることから始めるのだな
ベンケイ	うるさいねぇ―― 四本腕で武器を振り回してるあんたがそれを言うのかい？
ラゴウ	ふむ――
ラゴウのドライバー	ラゴウに尋ねよう／ラゴウに質問しようか／ラゴウに尋ねるか／ラゴウに聞いてみるか
選択肢A	
レックス	どの武器が一番好きなんだ？
ニア	どの武器が一番好きなんだ？
メレフ	どのような武器が好みなのだ？
ジーク	どんな武器が好きなんや？
ラゴウ	某の好きな武器か―― ふむ―― 特にないな　何故なら武を志す者―― 武器を選ぶようでは一人前とは言えぬ　槍　斧　刀　槌―― どれも一通りは使いこなせてこそ　真の武人と言えるのだ　それぞれの武器には　長があり短が存在する―― 某の四刀流は　その武器の長短を　相補い戦うことに真髄があるのだ
ラゴウのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	四つの異なる武器を使いこなすか―― さすが武を極めようとするラゴウだな　普通の人にはできない芸当だよ
分岐1-2	**ニア**
ニア	四つの異なる武器を使いこなすか―― さすが武を極めようとするラゴウだな　普通の人にはできない芸当だ
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	四つの異なる武器を使いこなすか―― さすが武を極めようとするラゴウだ　常人にはできぬ芸当だよ
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	四つの異なる武器を使いこなすんか―― さすが武を極めようとするラゴウやな　普通の人間にはできん芸当やで
分岐1-1～1-4共通	
ラゴウ	確かに一朝一夕で習得できるものではない　だがしかし　人間やる気になれば　不可能はないのだ　さっそく某が稽古をつけてやろう
ベンケイ	はあ―― こんなのに付き合わされるって　あんたも大変だねぇ
ラゴウ	何を言っておるのだ　ベンケイ　お主も一緒に稽古をするのだぞ
ベンケイ	はあ？ 何でそうなるんだよ!?
ラゴウ	無駄口を叩くな！ 稽古はもう始まっておるのだ　さぁ　早く支度をしろ
ベンケイ	稽古しても腕は増えないだろ　アタシは絶対にやらないからね！
選択肢B	
レックス	飛び道具は使わないのか？
ニア	飛び道具は使わないのか？

メレフ	飛び道具は使用しないのか？
ジーク	飛び道具は使わへんのか？
ラゴウ	飛び道具は我が主に任せているであろう
ベンケイ	こいつは　そういうことを言ってんじゃないだろうさ　どうして飛び道具を自分に渡すのに　ラゴウは使わないのか　って聞いてるんだよ　アンタの武器なんだから　アンタが使ってみせろってことさ
ラゴウ	……　――性に合わぬのだ　やはり武人としては正々堂々と武の腕を競い合いたいのだ
ベンケイ	しゃらくさいねぇ――　あんた　どう思う？
ラゴウのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	ラゴウらしいよね　一対一の鍔迫り合いで　正々堂々と勝負をつけたいんだな
分岐2-2	**ニア**
ニア	ラゴウらしいな　一対一の鍔迫り合いで　正々堂々と勝負をつけたいんだよな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	ラゴウらしいじゃないか　一対一の鍔迫り合いで正々堂々と勝負をつけたいのだな
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ラゴウらしいやんか　一対一の鍔迫り合いで正々堂々と勝負をつけたいってことやな
分岐2-1～2-4共通	
ラゴウ	――さすが　我が主どの　某の心をよく理解しておられる
ベンケイ	それでいいの？　そもそも腕が四本もあるくせに　正々堂々もないだろ？
ラゴウ	――ふむ　確かに　だが　腕が多いからと言ってその者の腕が立つわけでもあるまい　四本でも使い方が悪ければ　一本の太刀にも勝てぬし――　逆に技を極めれば　無刀であっても大勢の兵を倒すことができる　ようは　いかに己を鍛錬するか　すべてはその一点に集約されるのだ　ゆえに　武とは　奥深く面白きものなのだよ
ラゴウのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	うんうん――
分岐3-2	**ニア**
ニア	うんうん――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	その通りだな――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	そうやな――
分岐3-1～3-4共通	
ベンケイ	ちょっと！　あんたも納得しちゃっていいのかい？　こいつは相当理不尽だよ？

インヴィディア烈王国	
オトメパワー	
宿屋イベント	
ザクロ	ねぇ　近くに　サフロージュの木のきれいな場所があるんだって　この近く――花影の断崖で見れるんだって　そんなに時間かからないよね？　ねぇねぇ　見に行ってみない？　見に行こうよ！
キズナトーク	
ザクロ	へえ　これがサフロージュの木？　赤い花が咲く木って珍しいよね　うん　すごくキレー！　――ところでさ　よく大樹の下で思いを告げると　恋が叶うって話があるじゃない？
サイカ	確かにそういう話はよう聞くね
ザクロ	でしょ？　でも　アレってウソばっかだと思わない？　そもそも　そんなに簡単に想いが叶うなら幸せな人ばっかりになっちゃうよね
カグツチ	――ザクロは試したの？
ザクロ	えー　アタシのことよりカグツチはどうなの？　カグツチって結構一途な感じじゃない？　想いを告げたことは無いの？
カグツチ	無いわよ――　そんなの
ザクロ	じゃあ　ホムラは？
ホムラ	え？　私ですか？
ザクロ	そっか　ごめん　ホムラはもう決まってるし　関係ないか――
ホムラ	え？　何が決まってるんですか!?
ザクロ	サイカ――　も決まってるか
サイカ	んー　そうかもしれへんなぁ
ザクロ	ハナは――　まだそういうのは早いかな
ハナJS	ハナは誕生したばかりですも
ザクロ	そうだよねー　こういう話題は　もう少し大人になってからだね　じゃあ　ドライバーは？
ザクロのドライバー	どう返事しようか？／どう返事しよう？／どう返事をすべきか？／何て返事をすべきや？
選択肢A	
レックス	景色を見るんじゃなかったのか？
ニア	景色を見るんじゃなかったの？
メレフ	景色を見るのではなかったか？
ジーク	景色を見るんやなかったんか？
ザクロ	え？　景色？　うーん　もういいかな　一回見たら　満足したし
カグツチ	――あんなに騒いでたのに　感動も余韻も何もないわね
ザクロ	いいの　いいの　ちゃんと心の中に収めてあるから　それよりも　おいしいスイーツが食べたくならない？　ねぇホムラ！　フルールパパロア　食べに行こうよ　インヴィディアに来たら　絶対にアレを食べなきゃだよねー
ホムラ	皆さんがよければ　私はいいですけど――
サイカ	――何や今度は食欲かいな
カグツチ	結局　花より団子ってことね
ザクロ	何言ってんの　カグツチ　綺麗なモノを見たらおいしいモノを食べたくなるんじゃない　これぞ年頃女子の心の変化ってヤツよ！
カグツチ	何が心の変化よ　単にザクロの欲が変化してるだけでしょう？
ザクロ	えー　知らないの？　かわいい女の子のヨクボーは際限無いんだからね　それが女子のミリョクの一つでしょ　ハナもちゃんと覚えておいてね！
ハナJS	女子というものは奥深いも――　ハナももっと勉強するでも
選択肢B	
レックス	今から想いを告げるよ
ニア	今から想いを告げるよ

メレフ	今から想いを告げよう
ジーク	今から想いを告げるで
ザクロ	ええっ？　今から!?　恥ずかしいなぁ――　照れるなぁ――　あー　何かキンチョーしてきた
ハナJS	別にザクロだと決まったわけじゃないですも
カグツチ	そうね　私かもしれないし
ホムラ	ええ　私かもしれません
サイカ	それにウチかもしれへんしね
カグツチ	これはいよいよ競い合いの様相を呈してきたわね
ザクロ	さあ　ドライバー！　誰に想いを告げるのかはっきりして！
ザクロのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	い　いや――　冗談だったんだけど――
分岐1-2	**ニア**
ニア	じょ　ジョーダンだよ　ジョーダン！
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	さっきの発言は冗談というやつだ　わかりづらかったか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	冗談に決まっとるやろ　全く素直なやっちゃなぁ
分岐1-1～1-4共通	
ザクロ	なーんだ冗談かぁ――
ホムラ	私　真に受けちゃいました
カグツチ	ホムラは素直ね　私は何だか冗談っぽいなと思ってたけど――
ハナJS	カグツチも少し脈拍が上昇していましたも
カグツチ	なっ――
ザクロ	まっ　この手の話はこういうところじゃなくて　宿に泊まって　女子部屋でしょうよ　ドライバー不参加で　プレイドの女子だけで集まってやんの！　大好きなスイーツを持ち寄って　朝までノンストップでおしゃべりすると　すごく楽しいと思うよー
ハナJS	ハナも充電しながら参加して　いろいろ勉強させてもらいますも
サイカ	ウチらはついていかれへん気がするな――
カグツチ	そうね――
ホムラ	私はヒカリちゃんに任せたいと思います――
ザクロ	楽しみになってきたねー！　そうそう　安心して！　ドライバーの悪口は言わないからね!!

インヴィディア烈王国	
まだ馴染めなくて	
宿屋イベント	
ナナコオリ	……
ドライバー	どうしたんだ？　ナナコオリ
ナナコオリ	……
ドライバー	何か言いたい事があるのか？
ナナコオリ	――――行きたい所が
ドライバー	行きたい所？
ナナコオリ	――――青の岸壁に行きたいんです　ダメですか？
キズナトーク	
ナナコオリのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	ナナコオリ――　着いたよ　ここからの景色が見たかったんだろ？
分岐1-2	**ニア**
ニア	到着ー！　ナナコオリが言ってたのってここだよね？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ここがナナコオリが言っていた場所だな　ここからの景色が見たかったんだろう？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ナナコオリが来たかった場所は　ここやな　ここからの景色が見たかったんか？
分岐1-1～1-4共通	
ナナコオリ	はい――
ドライバー	……
ナナコオリ	……
トラ	綺麗な景色だけども――　ナナコオリが見たかったものって何も？
ナナコオリ	――あの　アレです
トラ	あの赤い木のことも？
ナナコオリ	――はい　サフロージュの木です　――サフロージュの木を歌った童謡があって　――その歌がとても好きなんです
ナナコオリのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	へえ　童謡か　ナナコオリって歌が好きなんだな
分岐2-2	**ニア**
ニア	そっかぁ　ナナコオリって歌が好きなんだね
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	童謡か――　ナナコオリは歌が好きなんだな？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ほー　童謡な　ナナコオリは歌が好きなんやな
分岐2-1～2-4共通	
ナナコオリ	――はい　あの――　好きです――
トラ	でも　歌ってるところなんて　見たことないも聞くのが専門も？
ナナコオリ	私――　歌うのは好きですけど――　人前に出るのが――　苦手で――
トラ	確かにナナコオリは極度の　恥ずかしがり屋さんもー
ナナコオリ	――すみません
ナナコオリのドライバー	何て声をかける？／何て声をかけよう？／何て声をかけようか？／何て声をかけよか？
選択肢A	
レックス	ナナコオリはオレのことも苦手なのか？
ニア	ナナコオリはアタシのことも苦手？
メレフ	ナナコオリは私のことも苦手か？
ジーク	ナナコオリはワイのことも苦手なんか？
ナナコオリ	えっ？
トラ	勇気あるというか無謀な質問に　トラもちょっとびっくりしちゃったも！
ナナコオリ	――ですよね
トラ	ナナコオリは正直どう思ってるも？
ナナコオリ	――あの
ドライバー	……
ナナコオリ	――えーっと
ドライバー	……
ナナコオリ	苦手ではないです――　けど――　――うまく打ち解けられなくて　――ごめんなさい

トラ	ナナコオリ　あんまり気にしちゃダメも　トラもアニキ達と出会ったばかりのころは　キンチョーのあまり口数が少なくなって　うまく仲良くなれなかったも
ナナコオリのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	そうだったっけな――？
ナナコオリ	そうなんですか――　私も――　少しずつかもしれないけど――　皆さんと仲良く楽しく　過ごせるようになりたい――　――って　思ってます
レックス	その気持ちがあれば　大丈夫だよ　焦らずゆっくりと進んでいこうな
ナナコオリ	――はい！
分岐3-2	**ニア**
ニア	そうだったか――？
ナナコオリ	そうなんですか――　私も――　少しずつかもしれないけど――　皆さんと仲良く楽しく　過ごせるようになりたい――　――って　思ってます
ニア	その気持ちがあれば大丈夫！　焦らずゆっくり着実に進んでいこう
ナナコオリ	――はい！
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	意外だな――
ナナコオリ	そうなんですか――　私も――　少しずつかもしれないけど――　皆さんと仲良く楽しく　過ごせるようになりたい――　――って　思ってます
メレフ	その気持ちがあれば　問題ないだろう　焦らずゆっくりと進んでいけばいいさ
ナナコオリ	――はい！
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	ほんまか――？
ナナコオリ	そうなんですか――　私も――　少しずつかもしれないけど――　皆さんと仲良く楽しく　過ごせるようになりたい――　――って　思ってます
ジーク	その気持ちがあれば　何も問題あれへん　慌てすぎず焦りすぎず　ゆっくりと進めばええで
ナナコオリ	――はい！
選択肢B	
レックス	ナナコオリは楽器も弾けるのか？
ニア	ナナコオリは楽器も弾けるの？
メレフ	ナナコオリは楽器も弾けるのか？
ジーク	ナナコオリは楽器も弾けるんか？
トラ	確かに楽器も好きそうも！
ナナコオリ	――あまり上手くないけど　――いくつかは
トラ	すごいも！　何が得意も？
ナナコオリ	オルガン――かな？　リウトも好き――　だけど
トラ	トラはふーぴーリコーダーが得意も！　ノポン族の子供は5歳になるまでに　みっちり仕込まれるからも！
ナナコオリ	――聴いてみたいです
トラ	今度ナナコオリと一緒に演奏するも！
ナナコオリ	――楽しそう
トラ	ちなみにハナは　トランペットを吹くのが得意も　息継ぎなしですーっと吹いてられるも
ナナコオリ	――すごいすごい
ナナコオリのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	なんかオレのこと　忘れ去られているような――　でも　ナナコオリが楽しそうだからいいか　いつか皆とそんな風に　仲良くできるといいな――
分岐4-2	**ニア**
ニア	アタシがいること　忘れてないか？　けど　ナナコオリが　楽しそうにしてるからいっか　いつか皆と仲良く音楽の話　できるようになるといいな――
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	私は空気になったようだ――　だが　ナナコオリがあんなに楽しそうに　話しているのだから　構うまい　いつしか皆と仲良く音楽の話で　盛り上がれるようになればいいな――
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	おーい　ワイのこと忘れてないかー　せやけど　ナナコオリが　楽しそうにしとるさかい　かまへんか　いつか皆とそんな風に　仲良くなれるとええな――

スペルビア帝国	
ビャッコの知識	
キズナトーク	
ビャッコ	お嬢様――　あそこに首都常備軍がいますよ
ニア	見えてるよ
レックス	苦々しい記憶が蘇るから　近づきたくないな
ニア	まあね――
ビャッコ	ご安心ください　お嬢様と私を捕えたのは　同じスペルビア軍でもグーラ領軍ですから
ホムラ	違うんですか？
ビャッコ	どうやら違うようですよ　巨神獣戦艦の牢獄でいろいろと学びましたので　帝国軍の知識は豊富になりました
ニア	アタシの独房じゃ　誰とも話せなかったけどな
ビャッコ	飽きた時囚人や兵士たちの会話に耳を傾けておりました
ホムラ	他に聞いた話はないんですか？
ビャッコ	そうですね――　あそこの兵は首都常備軍なのは　先ほど話した通りなのですが――　あちらの兵は第一親衛軍団の　第2大隊なのですよ
レックス	え？　同じじゃないのか？
ビャッコ	あの橋を渡れば皇宮ハーダシャルです　つまり――
ホムラ	なるほど　皇宮を守ってるから所属が違うんですね
ビャッコ	はい　第一親衛軍団の上には　クレタス親衛隊がありまして――　さらにその上に特別執権官――　炎の貴公子殿がおられるわけです
レックス	へー
ニア	軍は所属やら階級やら　面倒そうだよな
ビャッコ	衝突や対立はよくあるでしょうね
レックス	何を尋ねようか？
選択肢A	**ニア　イーラではどうだったんだ？**
ニア	イーラは――　シンが中心になってるだけで　階級とかはなかったな　役割分担みたいなのはあったけどさ
ホムラ	ニアは何してたんですか？
ニア	アタシは――
レックス	昼寝係とか？
ニア	違うよ！　雑務だよ　雑務　まだ日が浅かったし皆の手伝いをしてたんだ

レックス	そっか　今と大して変わらないってことか
ビャッコ	おっしゃる通りです
ニア	アタシが何もできないみたいに言うな！　アタシだってルスカの団子くらいは　作れるんだぞ
ホムラ	じゃあ　今度一緒に料理しましょうか？
ニア	うん――　いいよ！
ビャッコ	お嬢様　それは――
ニア	今度　レックスとビャッコに　たらふく食わせてやるからな！
ビャッコ	はぁ――　レックス様　覚悟されたほうがよろしいですよ　お嬢様の作ったアレは　心底おいしくないんです――
レックス	うげ――　焚きつけなきゃ良かったかな――
選択肢B	**ビャッコ　他におもしろい話は？**
ビャッコ	スペルビア軍の編成上の最小単位は　十人隊と呼ばれているらしいです　兵長と兵長代理　加えて一般兵が8名所属しているそうです　そして十人隊が6個から10個集まり　百人隊と呼んでいるそうです　ただし通常は8個らしいです
レックス	なるほどなぁ
ビャッコ	……　――レックス様　おもしろい話を聞かせろと　おっしゃいましたよね？
レックス	言ったね
ビャッコ	面白くなかったでしょうか？
レックス	えーっと　どのあたりが？
ビャッコ	基本的には十人隊が8個集まると八十人なのに呼称が百人隊ってところがですよ
レックス	あー　言われてみれば――
ニア	レックス――　これが積もっぱいだから　許してやってくれ
レックス	いや　十分おもしろかったよ　うん　うん
ビャッコ	本当にそう思っておられますか？

スペルビア帝国
冒険者とは？

キズナトーク	
トラ	アニキ　トラはアニキを男と見込んで　お願いがあるも！　トラに冒険者としての心得を　教えて欲しいも！
レックス	冒険者の心得？
トラ	アニキはトラの目標も！　だから　アニキのすべてを　教えてほしいも！
レックス	トラ　いきなりどうしたんだ？
じっちゃん	レックス　もったいぶらずに話してやればよかろう
ハナJS	そうですも　ご主人が真剣に頼み込むなんて　滅多にないことですも
トラ	そうも！　トラはいつになく真剣も！　その証拠にこのまっすぐな目を見てほしいも！
レックス	瞳孔が開いてるな
じっちゃん	夜更かししすぎじゃな
ハナJS	今晩は早く布団に入るべきですも
トラ	あぁぁぁ、もう！　トラの疲れた目のことなんてどうでもいいも！　とにかく！　トラはアニキのようになりたいも！　アニキ　頼むも！
レックス	何て答えてあげようか？
選択肢A	**これまでの人生で得た極意を教えるよ**
トラ	ありがたいも！　すごくワクワクするも！
レックス	いいか　トラ　一人前になるには――　まず第一に仕事道具は大切にすること！
トラ	それなら大事に扱ってるも　ハナを毎日ピッカピカに磨いてるも！
ハナJS	確かに毎日きっちりと　メンテナンスされてますも
レックス	第二に仲間との絆を大切にすること！　信頼できる仲間がいないと　大きな仕事はできないからな！
トラ	ふむふむ　なるほども――　トラは今まで一人だったから　そこはまだまだ慣れないところも
レックス	第三が一番重要だ――
トラ	それは何も？
レックス	それは引き上げポイントの見極めだ！
トラ	なるほども！　それはすごく重要そうも！　――って、引き上げポイント？
レックス	そうだぞ　ポイントを誤るとそれまでの準備が全て水の泡になるからな　せっかく取れたお宝も失ってしまうかもしれない――
トラ	……
じっちゃん	のう　レックス　それはサルベージの心得じゃな？
レックス	え？　そうだけど？
トラ	ちょっと待つも　どうしてサルベージャーの話になるも？
レックス	だって　冒険者の心得を知りたいって――　冒険といえばサルベージだろ？
トラ	トラはドライバーの心得が知りたいんだも　サルベージャーは関係ないも！
レックス	えぇ？
ハナJS	ご主人　ドライバーのことはレックスに聞いても無駄みたいですも
じっちゃん	レックスもまだまだじゃからな
トラ	――がっかりも
レックス	オレはトラがサルベージャーに　なりたいんだと思って――
トラ	――もういいも　ニアに聞くも
レックス	ちょっと待ってくれよ　トラ！　もう一回――　もう一回チャンスをくれよ！
選択肢B	**ニアに教えてもらったほうがいいんじゃ？**
レックス	トラが知りたいのって　ドライバーの心得だよな？
トラ	そうも！
ハナJS	この前　ご主人に武器の受け渡しが下手って言ったことを気にしてますも？
トラ	気にしないわけないも！　武器の受け渡しはドライバーとブレイドの　連携が大切なところも　それが下手って言われて　男として奮起しないわけにはいかないも！
レックス	理由はよく分かったけど――　尚更ニアに聞けばいいんじゃないか？　向こうの方が経験は上だぞ？
トラ	も～　分かっても　聞いてくるも　経験を積んだら　勝手に身体が覚えるだろ　って言われただけだったも――
ハナJS	適当にあしらわれた感じですも――
レックス	残念だったな――　でも　それならオレが助言をしてやるよ　ホムラとは　そこそこうまくやれてると思うしな
トラ	ちなみにニアはアニキのことも言ってたも
ハナJS	アイツもまだまだ経験が浅いから　下手くそなんだよな――　って言ってましたも
レックス	なぁっ――!?　そうだったんだ――
トラ	アニキ　元気出すも――
ハナJS	そうですも　これから慣れていけばいいんですも――
レックス	ああ　がんばるよ――！
じっちゃん	助言する側が励まされてどうするんじゃ――

スペルビア帝国
スペルビアの巨神獣

宿屋イベント	
ニア	なぁ　メレフ　この街が見渡せる場所ってないの？
メレフ	帝都アルバ・マーゲンをか？　皇宮ハーダシャルの屋上―　例えば第二翼区・シェメッシュからなら一望する事が可能だと思うが―
ニア	いいねそれ　ちょっと案内してよ！
キズナトーク	
ニア	しっかし　こうして見ると　スペルビアの帝都は随分栄えてんだね　グーラとは大違いだよ
メレフ	――君の目にはそう映るか？　ニア
ニア	そりゃそうだよ　だってグーラよりよっぽど技術が進んでるし　街の中に軍の施設や温泉もあるんだから　アタシからしてみれば　わざわざグーラを占領する必要なんてないように見えるけどね
メレフ	――このスペルビアは　地域柄暑い気候でな　その地熱を利用した技術や　サルベージで得た技術を　積極的に利用することで発展してきたんだだが　巨神獣の寿命が終わりに近づくにつれ　地熱の温度はどんどん上昇してきている　皮肉にも地熱利用技術は　ますます発展を遂げたが――　農作物の収穫量は　減少の一途を辿っているのだ
ニア	巨神獣の寿命か――
メレフ	あぁ　そう遠くない未来　スペルビアの巨神獣には住めなくなるだろう　それを悟った元老院のお偉方は　他国へ移り住むために征服戦争を仕掛た
ニア	――それでグーラに　ってわけ？
メレフ	――ああ　そうだ
ニア	何て言おうか？
選択肢A	**もっといい方法があったんじゃないの？**
メレフ	――ほう？　例えば？
ニア	国のお偉いさん同士で話し合って　お互いのことを　よく知って仲良くなればさ――　色々協力し合うことだってできるだろ？　アタシ達だって最初は敵対してたけど　今はこうして一緒に戦う仲間じゃん　そんな風に協力しあえれば　戦争なんかしなくても　済むんじゃないかなってさ
メレフ	――そうだな　世の中が君のような考えを　持つ者ばかりなら争いなど起きないだろうな
ニア	だから――　諦めんのはまだ早いだろ？
メレフ	どういうことだ？
ニア	争いが必要ないなら　なくしてしまえばいいんだよ　レックスが言ってたろ　世界樹に行けば　争いをなくせるかもしれないって
メレフ	楽園に辿りつくことができれば　争う必要もないか――
ニア	夢物語だ何だと誰かに笑われたっていい――　この世界の現状を　悲観しているよりずっと前向きだろ？
メレフ	――フフ　確かにな
ニア	そのためにもメレフの力を貸してくれよ　思いっきり頼りにしてるんだからさ
メレフ	ああ　帝国随一と呼ばれる私の剣　存分に振るってみせよう
選択肢B	**くだらない意地なんか張んなきゃいいのにさ**
メレフ	どういうことだ？
ニア	偉そうにしてないで　頭を下げればいいってことだよ　弱みを握られたくないとか　相手より優位に立ちたいとか――　そんなことばかり考えてるから　他の国を占領しようとしてるんだろ？　それで戦争して被害を増やしてちゃ　本末転倒もいいところじゃないか　自分の国の食料が足りないなら――　少し分けてくださいって　ちゃんと頭を下げて頼めばいいじゃん　アタシらみたいに元は敵対していても　分かり合えることだってできるのに――　国の偉い人が　こんな簡単なことを理解できないわけはないだろ？
メレフ	確かにな――　だが　世の中は　一筋縄ではいかないことばかりだ　そんな簡単なことでさえできないのが現実なんだよ
ニア	ったく　人間って色々面倒だよな――
メレフ	あぁ　そうだな――　だからこそ　私は少年のような　真っ直ぐな人間を応援したいと思うんだ
ニア	レックスを？
メレフ	誰も争うことのない世界――　それが実現すればどんなに素晴らしいことか　あの少年ならばきっとそれを成し遂げることができるだろう　いつの時代も　彼のような人物が　道を切り開いてきたのだからな
ニア	へぇ――　意外だな　メレフって堅物ってイメージあったけど――　楽園伝説　信じてるんだ？
メレフ	夢を追いかけるのは　何も少年少女の特権ではないだろう？　君達が目指す理想の果てを見てみたいと　思ったからこそ　こうして同行しているんだ
ニア	まあ　動機は何であれ　メレフが仲間だと心強いよ　何せ帝国随一のドライバーだもんね　頼りにしてるよ
メレフ	ああ　任せてくれ　例えどんな困難な道だろうと必ずや道を切り開いてみせるさ

スペルビア帝国
裸のつきあい

宿屋イベント	
トラ	アニキ！　トラ　久しぶりに温泉に行きたいも！　大きいお風呂に入って　男同士の付き合いがしてみたいも！
キズナトーク	
トラ	ここの温泉は懐かしいも――　初めてスペルビアで　泊まった時に入ったも
レックス	疲れが全部吹き飛ぶいいお湯だったよな
メレフ	そうか　ここで宿泊していたのだな
ジーク	ワイは初めてやな　せやけど　見たところ――　ここは混浴なんか！？
トラ	残念ながら違うも――　時間帯によって男女が入れ替わるも
ジーク	そうか――　そういう仕組みかぁ
メレフ	フッ――　残念だったな
トラ	ちょうど今は男性が入っていい時間みたいだからここにいるみんなで入るも
メレフ	何？
トラ	何を言うも？
選択肢A	**男同士 裸の付き合いが大切も！**
メレフ	ここにいる四人で入るのか？
トラ	あたりまえも！　それとも 何か問題も？
ジーク	いや ワイとレックスはええけど　メレフがな――
メレフ	三人で入っていくといい　私は遠慮させてもらおう
トラ	水臭いもー　ほらメレフ 一緒にいくも！　早く動くも　踏ん張るなも
メレフ	ちょ　やめろ！　そんなに引っ張るな！
レックス	――もしかして トラって　メレフが女の人だって知らないのか？
ジーク	んー　ワイらがノポン族の男女を　服装以外の部分で見分けづらいように――　トラも男装をしているメレフのことは　きっちり見分けられてへんのかもしらんなというか　そもそも　気にしてへんのかもしれん
トラ	メレフ　覚悟を決めて一緒に入るも
メレフ	断る
トラ	ノポンにはお風呂嫌いが多いから　トラにはわかるもメレフは本当はお風呂が嫌いも？　でも　たまにはじっくりお風呂に入って　きれいにしないと不潔も
メレフ	私は風呂は好きだし　不潔ではないが――　今回は絶対にダメなんだ
トラ	温泉を目の前にして　往生際が悪いもー　男ならパーっと勢いよく脱いで　温泉にドーンと飛び込むも！
メレフ	いや――　私は女だが――
トラ	ももも？　オ　ン　ナ――？
メレフ	私の性別は女性だ
トラ	ももももも!?　アニキ！　ジーク！　知ってたも!?
レックス	まあ　見ればね――
トラ	トラにとっては世紀の大発見も!!　ハナや皆に教えてくるも―！
レックス	これで一件落着かな？
メレフ	やれやれ　今頃こういう問題が起きるとはな
ジーク	メレフ　いっそのこと　お姫様みたいな恰好するんはどうや？
メレフ	拒否する
選択肢B	**皆の背中を流してあげるも！**
トラ	その代わり トラの背中も流してほしいも！　トラは仲間同士のスキンシップに　憧れてたんだも！
メレフ	私は遠慮させてもらおうかな
トラ	トラと一緒に入りたくないも？
メレフ	いや　そういうわけではないんだ　ただ　こっちにも　色々と都合があってだな――
トラ	もしかして　トラがノポンだからも？
メレフ	いや　違う！　そうじゃないんだ！　ただ　もっと別の事情が――
ジーク	なぁ　メレフ――　そんな意地をはらんと　トラのささやかな夢を　叶えてやったらええやんか？
メレフ	バカを言うな！　貴様　面白がってるだろう！
トラ	メレフ――　お風呂に羽毛が浮くのを気にしてるも？　大丈夫も！　トラは若いから比較的抜けにくいも
メレフ	いや　そういう問題じゃないんだ
トラ	だったら　もしかして――　トラのことが嫌いだったも？
メレフ	くっ　そうではないが――
ジーク	メレフ――　トラがかわいそうやないか
メレフ	くっ――
トラ	トラのことが嫌いじゃなければ　背中の流し合いしてほしいも――
メレフ	むぅ――　わかった――　一緒に入ろうではないか
レックス	ええっ!?
ジーク	マジか！
トラ	やったも！
メレフ	ただし私は服を着たまま入る！　異議は認めないからな！
ジーク	ほんまは温泉には　服を脱いで入らなあかんで―

スペルビア帝国
トラの家族

キズナトーク	
レックス	どうしたんだトラ？　ボーっと景色を眺めて
トラ	ん　アニキ？　ここに父ちゃんが　捕まってたもって考えてたも――
レックス	そうか　この場所で　人工ブレイドを製造させられてたんだよな
トラ	父ちゃんは　本当は臆病で　気が弱くて　悪いことなんかできないも　それをあんな――
レックス	――トラ
トラ	あんな　ロマンの欠片もない　かっこの悪いブレイドを造ることになって　どんなに辛かったことも！
レックス	え？　ちょっと待ってくれ　トラ？
トラ	ん　何だも？　アニキ？
レックス	いや　親父さんが捕まって　悲しかったって話じゃないのか？
トラ	違うも　父ちゃんは　結構ノリノリで　作業をしていたと思うも
レックス	――そうなのか？
トラ	そうも！　その証拠にキクもサクラも　父ちゃんの趣味丸出しも！
レックス	あぁ　まぁ　確かに――
トラ	でも　バーンに作らされた　人工ブレイドだけは許せないも　男のロマンが感じられないも！
レックス	……
トラ	どうしたも　アニキ？
レックス	いや　トラの家族の欲望には　誰も勝てないんだなって――
トラ	当然も！　トラたちは男のロマンに命を懸けているも！
レックス	トラに聞いてみよう
選択肢A	**センゾー博士ってどんな人だったんだ？**
トラ	センゾーじいちゃんのことも？

ハナJD	ハナも気になりますも　聞かせてほしいですも
トラ	うーん――　じいちゃんの事はあまり覚えてないも
レックス	そうなのか？
トラ	じいちゃんは研究一筋で　いつも研究室に籠って――
ハナJD	実験に明け暮れていたんですも？
トラ	いや　エッチな本を読み漁ってたも
レックス	……
トラ	じいちゃんは　特に外観と仕草に　こだわって研究をしていたも　それも　大人の成熟した女性ではなく　未成熟の可憐な乙女の姿を追求していたも！
レックス	――え？　こだわるところって　そこなのか!?
ハナJD	すごく犯罪の匂いがしますも　軽蔑しますも
トラ	ももっ!?　今のハナに言われると　自分のことのように堪えるも――　とにかくじいちゃんは乙女らしいフォルムと　立ち居振る舞いにこだわり続け――　その実現のために　ついに　エーテル炉を完成させたも！　さらに　じいちゃんは　自爆機能や秘密の装備にこだわっていたも　人知れずニヤニヤしながら　設計図と向かい合うその背中に――　幼いトラも　マッドな科学者の気迫を感じたものも――
レックス	――そうか　あの大発明は欲望の結晶だったんだな　やっぱり　トラの家族は桁外れだよ――　今のハナもそれを体現したみたいなもんだしな
ハナJD	ハナは結構複雑な気持ちになりましたも――
選択肢B	**タテゾー博士ってどんな人だったんだ？**
トラ	タテゾー父ちゃんのことかも？
ハナJD	ハナも気になりますも　聞かせてほしいですも
トラ	タテゾー父ちゃんは　割と内気で人とコミュニケーションを　取るのが苦手だったも
ハナJD	それで　研究に没頭してたんですも？
トラ	そうも　日がな一日　研究ばかりだったらしいもだから　卒業パーティーでも　ぼっちだったらしいも　けど　それが幸いして母ちゃんに　ダンスに誘ってもらえたも　どうしようもない人だから　放っておけなかったって言ってたも
レックス	へー　なるほどな
ハナJD	それでご主人のお母さんは　今　どこにいるですも？
トラ	結局　父ちゃんはどうしようもない人だって　言って出て行ったも
レックス	出会いも別れも同じ理由なんだな――
トラ	父ちゃんはじいちゃんと一緒になって　キクやハナみたいな人工ブレイドを作るのに　夢中になっていたも　母ちゃんはそれにうんざりしたみたいも
ハナJD	――それは納得できる理由ですも　ハナでもそう思う時がありますも
トラ	ロマンを追い求め　夢を実現するために　仕方のないことだったも!!　って父ちゃんは言ってるけども　その話題に触れると　えらく落ち込むから注意するも　立ち直るまでに三日三晩　暴飲暴食が続いてしまうも
ハナJD	――なんだかめんどくさそうなので　十分に気をつけますも
レックス	大発明をするには　いろいろなものを犠牲にしてきたんだなぁ　でも　そのおかげでハナと出会えたって　考えると感慨深いよな
ハナJD	複雑な胸中ですけども　ご主人には感謝しますも
トラ	えっへんも！　もっともっと敬い尊重するも！
ハナJD	それはあまりしたくないですも
トラ	なぜもっ!?

スペルビア帝国	
過酷な大地	
	キズナトーク
トラ	スペルビアは荒地や岩場ばかりで　歩くの疲れるもー
レックス	ここでちょっと休もうか
トラ	やったもー！
じっちゃん	トラは甘いことを言っておるのう
トラ	トラはこれまで家に引きこもって　ハナを作るのに夢中だったから　長距離を歩くのは慣れてないんだもー　じっちゃんみたいに　飛んでるのは楽そうも
じっちゃん	トラには大きな耳があるじゃろ
トラ	これは飛ぶためのものじゃないも！　いくらパタパタ動かしても飛べないも
レックス	あまりに歩くのが辛かったら　ピャッコに乗せてもらうのはどうかな？
トラ	それは名案も！
ピャッコ	お断りします　私はお嬢様以外の方は乗せないと騙っておりますので
ニア	乗せてやれば？
ピャッコ	はぁっ!?　お嬢様　それでいいので!?　トラ様を乗せれば　いずれハナさんも乗るようになり　お嬢様が乗れなくなってしまいますぞ！
ニア	そう力説されると困る――　うん　やっぱりトラは乗せられないな
トラ	残念も～
レックス	ホムラは大丈夫？
ホムラ	私は大丈夫です　――けど　砂埃が気になるんです
ニア	あー　イヤだよな　たまに目に入って痛い――
ハナJS	それはハナもイヤですも　関節に細かい砂が入って　動かすとギシギシ鳴りますも　帰ったらご主人に　メンテをしてもらう必要がありますも
トラ	アニキ――　スペルビアはかなり過酷な土地で問題も多いも　どうすればいいと思うも？
レックス	そうだなぁ――
レックス	どう対処しようか？
選択肢A	**自分のサルベージャースーツを貸す**
レックス	オレのサルベージスーツを　着るってのはどうかな？
ホムラ	確かにそうすれば目に砂埃が入りませんね
レックス	予備のがあるから貸すよ　着てみれば？　ってサイズ的にニアしか着れないか――
ニア	まっ　アタシが試してみるよ　これで問題が解決すれば　全員分　スーツを揃えればいいんだ
ピャッコ	お嬢様――　意外とお似合いですね
ニア	うるさい――　レックスはサルベージする時　こんな感じなんだな
レックス	砂埃とか気にならないだろ？
ニア	ならないけど――　――よく見えないな　見通しが悪いよ　これ　それに動きづらいし　歩きづらい
ホムラ	戦えなくなるんじゃないですか？
ニア	うん　この状態じゃ戦えないかも

トラ	アニキのアイディア――　残念ながら不採用も
レックス	――やっぱダメだったか
選択肢B	**気合で乗り切る**
じっちゃん	精神論で来たか
ハナJS	問題を解決する気がないですも？
レックス	いや　ホムラ達の話を聞いて　なるほど　砂埃は問題だなって　思ったんだけどさ――　でも　オレは全然気にしたことなかったなと　気づいたんだ　攻撃が当たりづらいわけじゃないだろ？　いつも通り戦えてると思うんだ　気にはなるけど全然影響はないんだよ
ホムラ	――そう　ですね
ニア	冷静に考えると　悪影響は確かにないな――
レックス	だろ？　だったら　気合で無視すれば　乗り切れるんだよ
ホムラ	そうですね！　私　気にせずにがんばります
ニア	あたしも気にしないようにするよ
レックス	よーし　気合でがんばろう！
ホムラ	はい！
ハナJS	これでいいんですも？
トラ	これでいいも！

スペルビア帝国	
優男	
	宿屋イベント
サタヒコ	なぁ宿屋のおっさんに　耳寄りな情報を教えてもらったんだ　ちょっとアイヴィル商業区に行こうぜ？　いいだろ？
	キズナトーク
サタヒコ	う～ん　いいね　その笑顔　最高だよ
スペルビア人若い女性A	えー　いきなり何～？　変な人～
サタヒコ	ひどいなー　でも　そんな口の悪さも　愛らしいね～
スペルビア人若い女性A	いやだー
ベンケイ	――はぁ　おい　いい加減にしろよ　サタ
サタヒコ	なんだよ　ベンケイ　俺の甘い至福のひと時を邪魔するなよ
ベンケイ	甘くないだろ　嫌われてるじゃないのさ
サタヒコ	わかってないねぇ　あれは照れてるんだよ　――乙女心ってやつさ
ベンケイ	――アンタのその性格　そこまでいけばもう病気だね　アンタは　女の人に声をかけるために　わざわざここに来たのかい？
サタヒコ	もちろん　そうだけど？　ここが女性に人気のお店って聞いたからな
ベンケイ	――――はぁー
サタヒコ	いいか　これは俺にとって　己を磨く大事な修行の一つなんだよ
ベンケイ	修行？　ただのナンパで自分が磨けるもんか
サタヒコ	それは違うな　ベンケイ　いいか　いい男ってのはな　いい女で己を磨くもんなんだよ
ベンケイ	でもさ　全然相手にされてなかったけど？
サタヒコ	ぐっ――　なぁ　アンタは俺がいい男だって思うだろ？
サタヒコのドライバー	何て答えようか？／何て答えよう？／何と答えるべきか／何て答えよか？
選択肢A	
レックス	いい男だと思う
ニア	いい男だと思うよ
メレフ	いい男だと思うぞ
ジーク	ええ男やで
サタヒコ	わかってるねー　よし　結婚しよう！　俺達の相性は抜群によさそうだからな
ベンケイ	あんた　ほんとに見境ないねぇ――
サタヒコ	今のはジョーダンだって　でもさ　実際のところパートナーの存在って重要だろ？　レックスはただのサルベージャーだったのに　今や天の聖杯のドライバーなんだぜ？
ベンケイ	それは極端な例だろうけど――　その意見には反対はしないねえ
サタヒコ	だろ？　それに俺達ブレイドは　ドライバーとだけ仲良くやってりゃ　強くなれるってもんじゃない　他の人との関わり合いで　成長してる部分だって少なからずあるはずだろ？
ベンケイ	そうだねぇ――
サタヒコ	ベンケイにわかってもらえて嬉しいよ
ベンケイ	……
サタヒコ	……
ベンケイ	でもさ――
サタヒコ	うん？
ベンケイ	それとナンパとは話が別だろ？
サタヒコ	やっぱり気づいたか!?
ベンケイ	全くあんたは!!
	サタヒコのドライバー分岐
分岐1-1	**レックス**
レックス	あの二人　仲いいな
分岐1-2	**ニア**
ニア	あの二人　仲いいよな
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	あの二人　仲がいいな
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	あの二人　ほんま仲ええな
選択肢B	
レックス	そうは思わない
ニア	そうは思わないけど
メレフ	そうは思わないな
ジーク	そうは思わんけどな
サタヒコ	くっ!?
ベンケイ	ざまあないね
サタヒコ	信頼してたドライバーからも　心ない一言をもらって　俺の心はずたぼろだよ　こうなりゃベンケイ　お前が癒してくれ――
ベンケイ	断る！
サタヒコ	そう言うなって　俺にはもうお前しかいないんだからさ
ベンケイ	んー　ダメだ！
サタヒコ	意地張るなよ
ベンケイ	張ってないよ！

サタヒコ	そうか　また冗談だと思ってるんだろ？　そうだな――　俺の本気を示すために――　お前の言うことを何でも聞いてやるよ　他の女の子に声を掛けるなって言うなら　そうするし――　ウメボシを食えるようになれって言うなら　努力しよう　さあ　言ってくれ　俺は本気だからな
ベンケイ	――そうか　なら　今すぐサタのコアクリスタルを砕いてくれ
サタヒコ	キッツ!?
ベンケイ	何でも聞いてくれるんだろ？
サタヒコ	いや――　それは――　言葉の綾で――　本気では――
ベンケイ	へぇ　アタシのことは　本気じゃないって？
サタヒコ	――あの　――すんません　調子に乗りすぎました――
ベンケイ	そうか　悪ふざけを認めるんだな――　なら　これからしばらくは　全員の荷物持ちだ！　反省するまで許さないからね！
サタヒコ	そりゃ　ないぜ　ベンケイ～

スペルビア帝国	
玉座のそばに	
	キズナトーク
ワダツミ	皇帝は不在か――
カグツチ	残念ね　久しぶりにお会いしたかったのでしょう？
ワダツミ	久しぶりという感覚は一切ないけど　お会いしたかったのは確かだね
カグツチ	以前のあなたはあの玉座の　傍に控えていた――　静かに　だけど　毅然としてね
ワダツミ	そうは言われても　懐かしさは感じないな――
カグツチ	感覚は残ってるかもしれないと　思ったんだけどきれいさっぱりみたいね
ワダツミ	どうやらそのようだね――　私はカグツチのように以前の記録を読んだわけじゃないからね　情報がなければ　そういった感情を持つこともないみたいだ
カグツチ	そもそも　今のあなたが　過去の記録を読むことは　禁じられているものね
ワダツミ	そうなんだ――　私は少し前まで何をしていたかを知らないし　スペルビア帝国で何をすべきかも知らない――　君やメレフから話を聞いて　少しは理解してるけど　おそらく本当の役目は理解していないんだ　だからネフェル皇帝は　どうして私に過去の記録を読むのを　禁じたのかをお尋ねしたかったんだけどね
カグツチ	あなたはそれにどういう意味があると思う？
ワダツミ	そうだな――
ワダツミ	皇帝がワダツミに記録を読ませない理由は？
選択肢A	**降格させたかった**
ワダツミ	聞くところによると　私は皇帝を守れなかったんだよな？　とすれば　皇帝を守る任を解くという意味が　あるんじゃないかな？
カグツチ	それは悲観しすぎ――　ワダツミは根が真面目過ぎよ　私が思うに陛下は自分を守るよりも　アルストを守ることを願ったのでしょう　あなたのような優秀な人を　スペルビアに留めているよりも――　世界をより良くするために貢献させたいとお考えになったのよ
ワダツミ	そうか――　私がスペルビアでの役割を知れば　その足かせとなってしまうと　お考えになったんだね
カグツチ	おそらくね
選択肢B	**国ではなく世界を守ってほしい**
ワダツミ	おこがましい考えかもしれないけど――　皇帝は国に貢献するよりも　アルストに貢献すべきだとお考えになったんじゃないかな？
カグツチ	優秀なブレイドは　国ではなく世界を守ってほしいと？
ワダツミ	そういうことだね
カグツチ	あなたって自信家ね
ワダツミ	自分でもそう思ったけどね
カグツチ	でも　あなたの考えは正しいと思う　だから陛下はあなたにスペルビアでの役割を　知らせないようにしてるんだわ　それを知れば　足かせになるかもしれないって　危惧されたのよ
選択肢AB共通	
ワダツミ	そうか――　皇帝にはお会いできなかったけどカグツチと話して身の引き締まる思いがしたよ
カグツチ	それは良かったわ――　私としてはワダツミには一日でも早く　陛下の傍に戻ってほしいもの
ワダツミ	やっぱり不安かな？
カグツチ	それはそうよ　陛下の執務の補佐は他の人でもできる　だけど護衛はあなたくらい強くないとこれまでは私もメレフ様も　あなたが陛下を守ってくれているから　安心できたのよ
ワダツミ	そうだね――　早くあるべき体制に戻さないとね　全てに決着がつけば　またあの玉座の傍でいられる――　私とカグツチ　二人の力で終わらせようじゃないか
カグツチ	そうね――　頼りにしてるわ

スペルビア帝国	
巨神獣兵器マニア	
	キズナトーク
ニューツ	おおー　スゴイであります　壮観でありますよ！　見てください！　こっちにあるのが兵員輸送艦であっちのは駆逐艦でありますよ
	ニューツのドライバー分岐
分岐1-1	**レックス**
レックス	すごく楽しそうだね　ニューツ
分岐1-2	**ニア**
ニア	すごく楽しそうだな　ニューツ
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ニューツ　君は実に楽しそうだな
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ごっつ楽しそうやな　ニューツ
分岐1-1～1-4共通	
ニューツ	もちろんであります　スペルビアの最新戦闘艦が目の前にあるのですから　感動しないわけがありません！　あぁー！　見てください！　あそこで整備中なのは　最新鋭の強襲揚陸艦でありますよ！　あれは第二親衛隊　第一軍所属の艦艇でありますね
ニューツのドライバー	何て声をかけようか？／何て声をかけよう？／何と声をかけるべきか／何て声をかけよか？
選択肢A	
レックス	ニューツは本当に　戦艦が好きなんだな

ニア	ニューツは本当に　戦艦が好きなんだな
メレフ	ニューツは本当に　戦艦類が好きなのだな
ジーク	ほんまニューツは　戦艦が好きなんやな
ニューツ	それは違うであります！
ニューツのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	え？　――違う？
分岐2-2	**ニア**
ニア	え？　――違うのか？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	何だ　違うのか？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	何や違うんかいな？
分岐2-1～2-4共通	
ニューツ	皆さん　よく勘違いされるのでありますが―― 戦艦とは数ある戦闘艦の中の　カテゴリーの一つであり――　戦闘艦や軍艦と称するのが　適切なのであります　戦闘艦のカテゴリは大雑把に　駆逐艦　護衛艦　巡洋艦　戦艦――　また　それとは別に輸送艦や　特殊任務のための特務艦などがあり――　さらにそれぞれの任務に合わせベースとする巨神獣の大きさや　性能や兵装の違いなどで――
ニューツのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	わかったよ！　そんなにいっぺんに言われても理解できないよ
分岐3-2	**ニア**
ニア	わかった　わかった！　そんなにいっぺんに言われても　理解できないって
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	もう十分だ　すまない　失言だった　これからは表現には注意するよ
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	もうええって　十分理解できたから　そないに捲くし立てんでくれ
分岐3-1～3-4共通	
ニューツ	そうでありますか？　ここからが盛り上がるのでありますが――　では　この続きは　今度ゆっくりお話いたしましょう！　おぉお！　あれは親衛隊の特殊工作艦！　こんな所で出会えるとは!!　さぁ　ドライバー殿　駆け足でありますよ！
ドライバー	……
選択肢B	
レックス	ニューツは本当に　スペルビア軍が好きなんだな
ニア	ニューツは本当に　スペルビア軍が好きなんだな
メレフ	ニューツは本当に　スペルビアの軍隊が好きなのだな
ジーク	ほんまニューツは　スペルビア軍が好きなんやな
ニューツ	当然であります！　スペルビア軍は　世界最高の軍隊でありますからな！　他の国と違い　スペルビアは軍の機能を　そのまま国家制度としており――　過去の技術の研究解明にも力を注ぎ　それらの技術をさらに独自に改良し――　最新の軍事技術へ利用しているのでありますよ！　ちなみに　インヴィディアの軍隊は　その戦力を傭兵達に頼っているため――　兵士の修練や武器の種類などもまちまちで　バランスのいい軍隊とは言い難いのであります　また　スペルビアにはメレフ殿を筆頭とし　有能な将軍や指揮官が数多くおりますので――
ニューツのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	あぁ　わかった！　もういいよ　いくらなんでもそんなに覚えきれないよ
分岐4-2	**ニア**
ニア	わかった！　もういいって
ニア	そんなにいっぺんに説明されても　覚えきれないから
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	すまない　もう十分だ　今の説明でよく理解できた
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	わかった　わかった！　もうええって　そないいっぺんに説明されても　覚えられんがな
分岐4-1～4-4共通	
ニューツ	いやいや　そう仰らず　まだまだこれからでありますよ　ここからは　各指揮官の武勇伝を披露させていただきます　さぁ　朝までじっくりと　聞いてもらうでありますよ！

スペルビア帝国
メイの弱点

キズナトーク	
トラ	大変も！　メイが部屋から出てこないも！　これじゃ　出発できないもー
ハナJS	部屋まで起こしに行った方が　いいと思いますも
メイのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	おい　メイ！　どうしたんだよ？　具合でも悪いのか？
分岐1-2	**ニア**
ニア	メイ！　どうしたんだ？　具合でも悪いのか？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	メイ　どうかしたか？　体調でも悪いのか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	おい　メイ！　何しとるんや？　どっか具合でも悪いんか？
分岐1-1～1-4共通	
トラ	メイー？　もう朝だもー
ハナJS	起きてくるですもー！
ホムラ	――どうかしたんですか？
ハナJS	メイが起きないんですも――
ホムラ	メイが？　彼女　朝が弱いって言ってましたし　まだ寝てるのかもしれませんね　――起こしてきましょうか？
メイのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	あぁ　頼むよ
分岐2-2	**ニア**
ニア	あぁ　頼むよ
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	そうだな　頼めるか？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ほな　お願いするわ

分岐2-1～2-4共通	
メイ	――――んん？　何――？
ホムラ	起こしたのはいいですけど　まだ　寝ぼけてるみたいですね――
メイ	もう　うるさくて　寝れないんだけど――？
メイのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	いつまで寝てるんだよ　もう朝だぞ？　早く出かける準備をしろよ
分岐3-2	**ニア**
ニア	いつまで寝てるんだ　もう朝だよ？　早く出かける準備をしろよな
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	いつまで寝てるつもりだ？　もう日が昇っているのだ　早く出かける準備をしろ
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	いつまで寝てるつもりや　もう朝やで？　はよ出かける準備しいや
分岐3-1～3-4共通	
メイ	――え？　朝ぁ？　ん　そっか――――　じゃ　もう少し寝る――　おやすみ
メイのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	いや　だから　何で寝ちゃうのさ!?
分岐4-2	**ニア**
ニア	いや　だから　何で寝るんだよ！
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	メイ　私は起きろと言っているのだが――？
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	おやすみなー　って　ちゃうやろ！　起きろゆうてんねん！
分岐4-1～4-4共通	
メイ	だって　まだ朝なんだろ？　明日の朝までタップリ時間あるじゃん――　寝たのは明け方なんだよね――　だからほっといてよ
メイのドライバー	メイに何て声をかけよう?／メイに何て声をかけようか?／メイに何と尋ねようか?／メイに何て聞こうか?
選択肢A	
レックス	どうしてそんなに朝が弱いんだ？
ニア	朝に弱いのは何で？
メレフ	なぜ　そんなに朝が弱いのだ？
ジーク	何で　そんなに朝が弱いんや
メイ	――はぁ？　それは　アタシが夜の眷属〈ナハトクラン〉　だからに決まってるじゃん
トラ	!?　すごいも　ナハトクラン　カッコイイも！
ハナJS	日光に当たるとどうにかなるのですも？
メイ	ん――　日の光に当たると　チカラを失って　消えちゃうかな――
トラ	すごいもー！
ハナJS	すごいですもー！
メイ	あぁ　それとね　このままアタシを寝かさないと――　アタシの中に眠る　黒衣の精霊〈シュヴァルツガイスト〉が――　暴走を始めるから　注意した方がいいよ――
トラ	シュヴァルツガイストも!?
ハナJS	暴走するですも!?
メイ	そうそう　アタシとしては　それを回避するためにも　もっと睡眠をとらなきゃいけないんだ　じゃおやすみー
メイのドライバー分岐	
分岐5-1	**レックス**
レックス	――だから　ダメだって言ってるだろ！　ほら行くぞ！
分岐5-2	**ニア**
ニア	――だから　ダメだって言ってるだろ！　ほら出発するぞ！
分岐5-3	**メレフ**
メレフ	――ダメだと言ってるだろう　さぁ　出発するぞ
分岐5-4	**ジーク**
ジーク	何でもええけど　さっさと起きや　すぐに出かけんで！
分岐5-1～5-4共通	
メイ	――ちぇっ　ダメか
選択肢B	
レックス	どうして寝るのが遅かったんだ？
ニア	寝るのが遅かったのは何で？
メレフ	寝るのが遅かったのはなぜだ？
ジーク	寝るのが遅かったのは何でや？
メイ	――夜の密会だよ
ホムラ	密会ですか？
メイ	そう　同志を集めて闇の力の召喚術を――
ホムラ	――なるほど　女の子を集めて　おしゃべりしてたんですね
メイ	ち　違うよ！　密会だつってんだろ？
ホムラ	ヒカリちゃんは違うって言ってますよ？　皆でおしゃべりしてただけだって――
メイ	何でバラすんだよ!?　全くあのおしゃべり女め――
トラ	――何の話をしていたも？
メイ	そんなこと　別にいいだろ！
ホムラ	えーと　ですね　好きなスイーツについてだって言ってますね
メイ	だから　バラすんじゃねーよ！　おい　ヒカリ！　って　今はホムラか？　あぁもう　どっちでもいいから　いい加減にしろよ！
ホムラ	――早く起きないと　あのこと全部ばらすわよ？　って　ヒカリちゃんが言ってます
メイ	あぁー　待て　待って！　わかった　起きるから！　もう何も言わないでくれー！

リベラリタス島嶼群
墓前にて

宿屋イベント	
ホムラ	レックス　お墓参りに行きましょう！
レックス	前に行ったじゃないか――　何か用があるのか？
ホムラ	私　レックスのご両親に　お話したいことがあるんです　前はあまり時間も無くて　ちゃんとお話できなかったし――
コルレル	いい心がけじゃないか　しっかりとエスコートしてやりな　レックス
レックス	――ちぇ　わかったよ
キズナトーク	
ホムラ	……
レックス	どう　ホムラ　話は出来たのか？
ホムラ	――はい　ゆっくり話ができました
レックス	何を話してたんだ？

ホムラ	私がレックスと出会ってからのこと――　そしてこれからは　私がレックスの面倒をしっかりと見ますから　安心してくださいねって――
レックス	何だよそれ　自分の面倒ぐらい自分で見るよ
ホムラ	ダメですよ　レックスは放っておくと　無茶ばかりするんですから
じっちゃん	ほっほっほ　すっかり女房気取りじゃの　ホムラ
レックス	おい　じっちゃん！
ホムラ	にょ　女房!?　別にそんなつもりは――
じっちゃん	あはははは　冗談じゃよ　まぁ　レックスを扱うんじゃ　それくらい強引でも良いじゃろ
ホムラ	もう　セイリュウさん！
レックス	さぁ　もう用は済んだろ？　そろそろ帰ろう
ホムラ	え？　もう帰るんですか？　もう少しお話していきません？
レックス	話なら帰ってからでも出来るだろ？
ホムラ	二人っきりで　お話が出来る機会なんて　そうはないですよ
レックス	でも　じっちゃんもいるし　二人っきりとは言えないんじゃないか――？
じっちゃん	なんじゃ　年寄りを邪魔にする気か？　退散した方がええんかの？
ホムラ	もう　そんなことないですよ　セイリュウさんの意地悪！
じっちゃん	ほっほっほ　若いというのはええモンじゃの
レックス	で　何か聞きたいことでもあるのか　ホムラ？
ホムラ	何を質問しましょうか？
選択肢A	**お母さんとお父さんが恋しいですか？**
レックス	父さんと母さんか――　でも　どうしてそんなこと聞くんだ？
ホムラ	私　ブレイドだから　両親とか良くわからないしどんな感じなのかなって思って――
レックス	うーん　そうは言ってもな　父さんと母さんの話は　じっちゃんやコルレルおばさんから　聞かされたぐらいだし――　正直　記憶も殆どないし　あまり現実味がない感じなんだよな
ホムラ	――それって　寂しくないんですか？
レックス	まぁ　寂しくないとは言わないけど　あんまり考えたことはないかな
ホムラ	そうなんですか？
レックス	だってさ　オレを育ててくれたのは　じっちゃんとこの村の人達だからね　オレにとっては　この村の人がみんな家族だからさ　こんなにたくさんのお父さんやお母さん　兄弟たちがいるんだ　寂しいって思ったことはないよ
じっちゃん	家族が多いせいで　毎日のように　お説教されとったけどな
レックス	う　うるさいな！
選択肢B	**ずっと村に仕送りをしていたんですか？**
レックス	そうだな　村を出て　サルベージの仕事が軌道に乗ってからは　ずっと仕送りしてるかな　だってさ　この村って見ての通り　何もないだろ？　他の国と交易といっても　たかが知れてるし　自給自足だけじゃ賄えないモノもあるしね　オレのスズメの涙のような稼ぎでも　ないよりはマシかなって思ってさ
ホムラ	でも　レックスだって　決して楽な生活じゃないですよね？　別に無理しなくても――
レックス	うーん　そうなんだけど　皆家族だからほっとけなくてさ
ホムラ	家族？　村の皆さんが？
レックス	そうだよ　オレにとって　この村のみんなは家族なんだ　だから助けてあげないとね！
じっちゃん	村の皆もレックスには感謝しとるんじゃよ　あの悪ガキが立派になったものじゃってな
レックス	悪ガキは余計だろ！
選択肢AB共通	
ホムラ	――フフ
レックス	なんだよ　ホムラも笑うなよ
ホムラ	別に馬鹿にしたわけじゃないですよ　すごくレックスらしい　考え方だなって感心してるんです　私もレックスみたいに　たくさんの家族が欲しくなりました
レックス	何言ってるんだよ　ホムラだって家族じゃないか？
じっちゃん	――ほう　こんな場所で告白かの？　両親の前でなかなかやるではないかレックス
ホムラ	ええ!?　ちょっと　レックス――？
レックス	ち　違うよ　そうじゃなくてさ！　ホムラやニア　メレフにジーク　あ　あとトラも――　オレにとっては　もう家族なんだよ　だから　寂しがることなんてないだろって　そう言いたいんだよ！
じっちゃん	なんじゃ　やっぱり根性無しじゃの　これから苦労するぞ　ホムラ
ホムラ	――フフフ　はい　覚悟は出来てますから
レックス	ちょっと！　二人で何言ってるんだよ　もう！

リベラリタス島嶼群
モードチェンジ

キズナトーク	
ホムラ	ハナちゃん――
ハナJK	はいですも
ホムラ	なんだか不思議ですね　こんなにも見た目が違うのに　ハナちゃんはハナちゃんだなんて
トラ	確かに不思議な感覚も　実はトラもそう思う時があるも
ホムラ	トラくんが作ったのに　ですか？
トラ	その通りも！　一気に成長しすぎも！
ハナJK	じゃあ　モード名で呼べばいいと思いますも
トラ	それは妙案も
ホムラ	モード名って何ですか？
トラ	ハナの小さい姿は　ジェット・スパークモードというのが　正式名称も
ホムラ	へぇ　そうだったんですね
ハナJK	そして今の姿は　ジャスティス・ナイトモードですも
ホムラ	はぁ　かっこいい名前ですね
ハナJK	この姿の時は　ジャスティス・ナイト　ハナちゃんと　呼んでほしいですも
ホムラ	ジャスティス・ナイト　ハナちゃん――　呼びづらくないでしょうか
トラ	ジャスティス・ナイト　ハナ――　間違いなくまどろこっしいも　よく考えたら呼び分けるのが面倒すぎるも
ハナJK	そうですも？

トラ	トラは秘密裏に　更なるモード追加を考えているも　そうなったときには　3種類を呼び分ける必要が　出てきてしまうも　ありえないくらいに億劫も！　ハナ！　この一言で呼べるのが一番いいも
ホムラ	何と言いましょうか？
選択肢A	**私も賛成です**
ホムラ	私もハナちゃんって　呼ぶのが一番だと思います　短くて分かりやすくていい名前です　それに姿が変わっても　ハナちゃんはハナちゃんですしね
ハナJK	――元々二人が言い出したことですも　ハナはハナって呼び方で　全然困ってないですも
トラ	それはそうも――
ホムラ	元の鞘に収まる　ですね
ハナJK	それよりご主人　更なるモードが追加されるんですも？
トラ	よくぞ聞いてくれたも！　その名もジャッジメント・デイモードも!!
ホムラ	またかっこいい名前ですね
ハナJK	強そうですも――
トラ	スペルビアの温泉に　左足から入るか右足から入るか　悩んでる時にふと思いついた名前も
ハナJK	由来は大したことないですも――
ホムラ	それでハナちゃんは　どんな風に変身するんですか？
トラ	未定も
ホムラ	未定――？
トラ	名前を決めただけで内容はこれから考えるも
ハナJK	まだまだ先の話になりそうですも――
トラ	そんなことないも　常日頃からアイディアを貯めていれば　完成形はある時　急にももも～っと　湧き上がってくるものも　発明家とはそういうものも
ハナJK	本当にそういうものですも？
トラ	閃いたらトラの家に戻って　パワーアップしてあげるから　信じて待つも
ハナJK	わかりましたも　あまり期待せずに待ちますも
トラ	全然信じてないも！？
ホムラ	フフフッ――　姿が変わっても　やっぱりハナちゃんはハナちゃんですね
選択肢B	**更なるモードって何ですか？**
トラ	よくぞ聞いてくれたも！　その名もジャッジメント・デイモードも!!
ホムラ	またかっこいい名前ですね
ハナJK	強そうですも――
トラ	スペルビアの温泉に　左足から入るか右足から入るか　悩んでる時にふと思いついた名前も
ハナJK	由来は大したことないですも――
ホムラ	それでハナちゃんは　どんな風に変身するんですか？
トラ	未定も
ホムラ	未定――？
トラ	名前を決めただけで内容はこれから考えるも
ハナJK	まだまだ先の話になりそうですも――
トラ	そんなことないも　常日頃からアイディアを貯めていれば　完成形はある時　急にももも～っと　湧き上がってくるものも　発明家とはそういうものも
ハナJK	本当にそういうものですも？
トラ	閃いたらトラの家に戻って　パワーアップしてあげるから　信じて待つも
ハナJK	わかりましたも　あまり期待せずに待ちますも
トラ	全然信じてないも！？
ホムラ	フフフッ――　姿が変わっても　やっぱりハナちゃんはハナちゃんですね

リベラリタス島嶼群
幼少期のレックス

キズナトーク	
ホムラ	レックスって　ここに住んでたんですか？
レックス	いや　ここは隠れ家――　というか秘密基地みたいなもんかな　この先の岸壁に　じっちゃんを接岸させてもらって　二人で暮らしてたんだ
ホムラ	レックスって　どんな子だったんですか？
レックス	どんな子って言われてもなぁ――
ホムラ	ニアも興味ありますよね？
ニア	ま　まぁな　面白そうだし
じっちゃん	子供の頃のレックスのことは　ワシが話してやろうそうじゃな――　やんちゃというか　無鉄砲な子供じゃったな　力もないくせに正義感が強くて　近所のいじめっ子を　相手にケンカばかりしとった
レックス	そうだったかなぁ――
ホムラ	子供の頃から元気いっぱいだったんですね
ニア	典型的な悪ガキって感じだな
じっちゃん	興味津々じゃな　よし――　二人にはとっておきの話をしてやろうかの
レックス	何て言おうか？
選択肢A	**ちょ　ちょっと待ってくれ！**
レックス	とっておきっての話って何だよ!？
じっちゃん	ある日　いじめっ子の一人が　モンスターに襲われてな　止めるのも聞かずに　一人で飛び出していったことがあったんじゃ
ニア	――昔っから無茶してたんだなぁ
レックス	なんだよ　人を助けるなんて当たり前のことだろ？
ホムラ	それでどうなったんですか？
じっちゃん	二人とも村の人に無事救助されたんじゃ
ホムラ	あれ？　レックスが助けに行ったんじゃ？
じっちゃん	失敗したんじゃよ　ミイラ取りがミイラになったというわけじゃ
ニア	うわ　カッコ悪い
じっちゃん	でな　夜になって　レックスが家の中で大声で泣いとるんじゃよ　傷が痛むのか？　と聞いたら――　違う友達を助けられなかったのが　悔しいというんじゃ　こいつは怪我とか恐怖とかそんなものよりも　友達を救えなかったことが悔しくて　堪らなかったんじゃな
ニア	へぇ　なるほどね
レックス	な　なんだよ――　ガキの頃だぞ　泣くぐらい普通だろ？
ホムラ	違いますよ　ニアはすごいって言ってるんです　ね？
ニア	まぁね――　小さいころから　勇気があったんだなって思ってさ
ホムラ	感心しますね！
レックス	何か――　照れくさいな
じっちゃん	ほっほっほ　ええ話じゃったろ？
選択肢B	**別に大した話なんかないだろ？**
レックス	じっちゃんも大袈裟だよな
じっちゃん	なら、モンスターに襲われて　怖くてお漏らしした話でもしようかの？
レックス	え？　いや、それは――
ホムラ	お　お漏らし――　ですか？
ニア	かっこ悪いな
レックス	が　ガキの頃の話だろ　今はしてないよ！　じっちゃんも、その話はやめてくれよ！
ニア	えー　いいじゃん　聞かせてくれよ
レックス	ダメだよ！　なぁ　ホムラも止めてくれよ
ホムラ	あの――　私も聞きたいかも
レックス	えー!!
じっちゃん	これは仲の悪いいじめっ子が　モンスターに襲われた時の話でな　無謀にも一人で村を飛び出して――
レックス	じっちゃん　それ以上はダメだよ！
ニア	お漏らしたのがそんなに恥ずかしいのか？
レックス	恥ずかしいだろ！　ニアだって　昔はしただろ？
ニア	……
ホムラ	じゃ　別の話ならいいですよね？
じっちゃん	なんじゃ　もっと恥ずかしい話がいいのか？
レックス	良くないよ！　ホムラもなに聞いてるのさ!？
ホムラ	え？　だって　レックスのこと　いっぱい知りたいですし――
ニア	そうだなー　ドライバーとブレイドはお互いのことよく知っておかなきゃな
レックス	この件については知らなくてもいい！　いい加減にしてくれよぉ！

リベラリタス島嶼群
平穏

キズナトーク	
ジーク	ここに来ると　えらい落ち着くなぁ
サイカ	ほんまやね　いい意味で何もないもんね
ジーク	サルベージは結構盛んやけど　アヴァリティアほどやないし――　第一次産業はグーラほど　発達してないしな　余生を静かに過ごしたいんやったら　ここが一番や
サイカ	じじくさいこと言うなぁ　王子は　なぁ　メレフはどう思う？
メレフ	ここで暮らしてみたいな
サイカ	へぇ――　意外な返事やね
メレフ	この家に泊まらせてもらって　庶民とはこういう暮らしをしていたのかと　ワクワクしたのだ
カグツチ	同感です
メレフ	街の宿とは違って　新鮮なことばかりだ
ジーク	お二人さんは暮らしがええからな――
メレフ	ジークも人のことは言えないだろう？
サイカ	ウチらはルクスリアを出てからは　野宿も多いよね？
ジーク	せやな　特にインヴィディアやスペルビアで　ボン達が来るのを待つのが大変やったで　今か今かと待っとるんやけど　なかなか来おへんねん
サイカ	あの野宿は辛かったねぇ――　食糧がなくなったらカメキチを――
ジーク	その話はやめようや　思い出すんも辛いで　まっここの港で待ってる時は　楽やったけどな
サイカ	船室で休めたもんね
メレフ	――いろんな苦労をしてるんだな
カグツチ	待ち伏せはできる限り避けたいですね
ジーク	って　昔話はええねん　ワイからもメレフに　聞きたいことがあったんや　ここはええ場所やんか　スペルビアとインヴィディアで　奪い合いにならへんんのか？
メレフ	今のところは問題ないだろう　どちらかがこの島々に手を出すことになれば　それはすなわち開戦を意味するからな　少なくとも我々には戦争の意思はない
ジーク	そうか――　それ聞いてちょっとは安心やな
カグツチ	どうしてジークがそんなことを　心配しているのかしら？
ジーク	何て答えようか
選択肢A	**レックスの育った村やからや**
ジーク	仲間の故郷のことを心配するんは当然やろ？
メレフ	それはそうだな
ジーク	ボンが何の気がかりもなく　集中できる環境を作ってやらんと　この村のことで不安なって　頭ん中がいっぱいになったらあかんやろ？
サイカ	優しい気遣いやね
ジーク	ワイは大人やからな　はっはっは！
カグツチ	何だか最後ので台無しね
選択肢B	**アルストで唯一の場所やからや**
カグツチ	やけに大仰な
ジーク	ボンのような少年が育つには　こういう環境でないとあかんと思うんや
メレフ	ふむ――
ジーク	例えばアルバ・マーゲンで育った少年の多くは帝国軍に入りたがるやろ？　喜ばしいことやけどそれではたぶん　天の聖杯のドライバーは生まれてこおへん　アルストを変えるような大きな存在は　簡単には生まれへんし　育てへん――　そもそも国や体制が　その可能性を潰してることもあるんや　その点　この村は切り離されとる　自由があって　大きな可能性を感じるんや
メレフ	なるほどな
サイカ	王子　珍しく説得力のあること　言うてるな――
ジーク	やかましわ
メレフ	だが　ジークの言葉には賛成だな　アルストからこういう場所をなくしては　いけないんだ――　必ずや我々が守らなければな

リベラリタス島嶼群
ベンケイの好きなもの

宿屋イベント	
ベンケイ	なぁ　ちょっと外に出てみないかい？　さっきおばさんに聞いたんだけど　面白そう――　いや　おいしそうな場所があるんだよ　近くに木材を置いてるところあるだろ？　あそこだ　遅れるんじゃないからね！
キズナトーク	
ベンケイ	へぇ　いい薪がそろってるじゃないか　これなら美味い米が炊けそうだな
ヒカリ	米を炊く？
ベンケイ	そうだよ　そのために　薪があって　炊事が出来る場所を教えてもらったんだ

ベンケイのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	お米を炊いてどうするんだ？
分岐1-2	**ニア**
ニア	お米を炊いてどうすんだ？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	米を炊いてどうするつもりなのだ？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	米を炊いてどうするつもりや？
分岐1-1～1-4共通	
ベンケイ	どうするって決まってるだろ　食べるんだよ　――おい　ヨシツネ　用意してきたか？
ヨシツネ	はいはい　道具も調味料も脚本も　全部そろっていますよ
ヒカリ	え？　ヨシツネがお米を炊くの？　じゃ　ベンケイは？
ベンケイ	フフーン　アタシは食べる専門だ！
ヒカリ	あ　そうなんだ　まぁ　そうよね――
ヨシツネ	――妹に料理の腕なんか　期待しないほうがいいですよ　わが妹は　武器集めと片付け以外に得意な事はありませんからね
ベンケイ	うるせぇ　余計なことを言わずに　さっさと米を炊けよ
ヨシツネ	はいはい　本当に人使いの荒い妹ですね――　まぁ　そこが可愛いんですけど
ベンケイのドライバー	なんて声を掛ける？／なんて声を掛けよう？／なんて声を掛けようか？／なんて声を掛けよか？
選択肢A	
レックス	お米だけを食べるのか？
ニア	お米だけを食べるのか？
メレフ	米だけを食べるのか？
ジーク	米だけ食べるんか？
ヒカリ	そうよね　お米だけ食べるって味気ないわよ？
ベンケイ	フッ――　ヒカリもまだまだお子様だね　ヨシツネ　例のモノは？
ヨシツネ	えぇ　用意してありますよ
ベンケイ	おおー　これこれ　いい具合に漬かってるじゃないか！
ヒカリ	――これって　何？
ベンケイ	ウメボシだよ

ベンケイのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	ウメボ――？　それって食べ物なのか？
分岐2-2	**ニア**
ニア	ウメボ――？　聞いたことないな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	ウメボ――？　何なのだ　それは？　――食べ物だというのか？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ウメボ――？　なんやそれ？　食いモンなんか？
分岐2-1～2-4共通	
ヨシツネ	これは果実を塩で漬けた保存食ですよ
ベンケイ	コイツを具にして　炊きたての米でおむすびを作る――　これが　もう最高に美味いんだよ！
ヒカリ	おむすびは知ってるけど　ウメボシって本当においしいの？
ベンケイ	あぁ　美味いぜ　食べてみるか？
ヒカリ	うわっ　なんか柔らかいんだけど――　んん？――――すっぱ!!　ちょっと　水を頂戴！　水!!――何なのよ　これ!?　ホントに食べモノなの!?　毒じゃないわよね？
ベンケイ	アハハハハ！　毒なんかじゃねえよ
ヨシツネ	どちらかと言うと　抗菌作用もありますし　身体にいい食べ物ですよ
ベンケイ	ったく　なんで誰も　コイツの美味さが理解できねえかなぁ　青空の下で食べるウメボシおむすびもう最高なのによぉ！　どうだ　ドライバー　アンタも一つ食べてみるかい？
選択肢B	
レックス	さっき片付けが得意って言わなかったか？
ニア	さっき片付けが得意とか聞こえたけど？
メレフ	先程片付けが得意だと言わなかったか？
ジーク	さっき片付けが得意って言わへんかったか？
ベンケイ	ん？　なんだよ　その意外そうな顔は？
ヒカリ	意外なのよ――
ベンケイ	なんだと　こらぁ！　アタシが片付け上手で何が悪いんだよ！
ヨシツネ	落ち着きなさい　ベンケイ　実は　妹はこう見えても　かなり几帳面な性格でしてね――　モノは決められた位置に無いと　気持ちが悪いとか　集めた武器は　小さい順番から並べないと気がすまないとか　本当に色々と細かいんですよ
ヒカリ	――あのさ　ベンケイ　あんた　そんな性格してて　几帳面でおかしくない？
ベンケイ	はぁ!？　ヒカリ　お前　ケンカ売ってるのかよ！　あぁ――　そっか　ヒカリってアレだろ　片付けられない女子なんだろ？
ヒカリ	うっ――　そ　そんなこと――　ないわよ
ベンケイ	いるいる　可愛いふりして　ガサツな女　そういうのが　一番始末に終えないんだよな　なぁ　ドライバー　あんたもそう思うだろ？

ベンケイのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	え？　いや――まぁ――　どちらかといえば　きれい好きな方がいいかな――
分岐3-2	**ニア**
ニア	まっ　普通はそうだよな　でも　アタシもあんま片付けられないけどね
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	確かにな　整理整頓ができないのは　心が乱れている証拠だな――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	そりゃ――まぁなぁ――　綺麗好きな方が　好感度が高いんとちゃうか？
分岐3-1～3-4共通	
ヒカリ	う　うるさい！　まじめに答えるな！
ベンケイ	どうだい　ヒカリ　素直に頭を下げるなら――　今度　アタシが片付けの極意ってやつを　教えてやってもいいぜ？
ヒカリ	絶対にお断りよ！
ベンケイ	アハハハハ！　レックスに嫌われても知らねえぞ？
ヒカリ	むぅ――

リベラリタス島嶼群	
自由気ままに	
キズナトーク	
カムイ	すっごーい　こんな場所があったんだ！　宿屋の主人も　中々おしゃれな場所を知ってるにゃ～
ヨシツネ	――なるほど　確かに素晴らしい景色ですね　僕の創作意欲も刺激されますよ
カムイ	何だヨシツネ　また新しい物語を書くのかにゃ？
ヨシツネ	ええ　この景色を見ていると　様々なアイデアが浮かんできます　そう　例えば――　自由の翼を手に入れ　大空へ羽ばたいた女性の話とか
カムイ	何それ！　面白そうにゃ！　早く書くにゃ！　今すぐ書くにゃ！
ヨシツネ	いや――そう簡単には書けませんよ　まずはしっかりアイデアを練らないとね　そうだ　カムイあなたモデルになってみませんか？
カムイ	――モデルにゃ？
ヨシツネ	そうです――自由の翼をもつ女性　自由奔放なあなたにピッタリじゃないですか　羽も生えてるし
カムイ	そ　そうかにゃ～？
ヨシツネ	ではまず――ここから飛んでみましょうか？
カムイ	うん！　わかったにゃ！
カムイのドライバー	カムイに何て声をかけよう？／カムイに何て声をかける？／カムイに何て声をかけるかな？／カムイに何て声をかけるかな？
選択肢A	
レックス	飛ぶ!?　ここから？　っていうか　カムイって飛べるの!?
ニア	飛ぶ!?　ここから？　っていうか　カムイって飛べるの!?
メレフ	まさかここから飛ぶ気なのか？　いやそれよりも　カムイは飛べたのか!?
ジーク	はぁ!?　ここから飛ぶ気かいな？　ちゅうか　カムイって飛べるんか!?
カムイ	え？　飛べるけど？　――知らなかったかにゃ？
ドライバー	……
ヨシツネ	あぁ　飛ぶといっても　鳥のように羽ばたいているわけでは　ありませんよ　正しくは、翼に模した器官でエーテルを制御し　浮遊しているといった感じですね
カムイ	でもさ、その代わり、天気や風の影響も受けないし　好きなように飛び回れるんだよね　だから自由の翼なのにゃ～
ヨシツネ	そうだ　カムイ　ドライバーと一緒に　飛んでみるというはどうでしょうか？
カムイ	一緒に？　でも　普通の人は飛べないにゃ？
ヨシツネ	カムイが抱えて飛ぶのですよ　主人公の女性が無二の親友を抱え　共に大空を翔る　素晴らしい演出だと思いませんか？
カムイ	なるほど　それはいいかも！　さぁ　どんと来い！　カムイはいつでも準備OKにゃ！
カムイのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	いや――やめとくよ
分岐1-2	**ニア**
ニア	いや――やめとく
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	今日のところは――遠慮しておこう
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ありがたいけど――遠慮しとくわ
分岐1-1～1-4共通	
カムイ	はぁ？　何でさ？　――もしかして怖いの？　落としたりなんかしないよ？　カムイはそんなドジっ子じゃないにゃ～
ヨシツネ	いや　ちょっと待ってください　――手を放し友人を落としてしまう主人公　なるほど　その演出もいいですね！　それで行きましょう！
ドライバー	――――!?
カムイ	――落とすの？
ヨシツネ	ええ　落とします　さぁ、カムイ　すぐにドライバーと一緒に飛んでください！　そして思いっきり雲海の中に放り投げるのです！
カムイ	よし　わかったにゃ！
カムイのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	それは絶対やめたほうがいいって！
分岐2-2	**ニア**
ニア	待って待って！　ビャッコも一緒じゃないとアタシはイヤだからな！　いくらカムイでも二人分は持ち上げられないだろ？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	待ってくれ！　急用を思い出した――　皇帝陛下に報告しなければならないことがあるんだ
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ちょ、ちょい待ち！　ワイよりもヨシツネと一緒に飛んだ方が　おもろいんとちゃうか？
分岐2-1～2-4共通	
ヨシツネ	今更　拒否はできませんよ　最高のコメディが出来上がりそうなんです　ぜひ協力してください
カムイ	そうそう　カムイの物語の為にゃ　絶対に逃がさないにゃ～
選択肢B	
レックス	――確かに、カムイはいつも自由に生きてるよね
ニア	――確かに、カムイはいつでも自由に生きてるな
メレフ	――確かに、カムイはいつも自由に生きているな
ジーク	――ほんま、カムイはいつも自由に生きとるしな
カムイ	当然だよ！　カムイは常に自由に生きてるのにゃでも――それは本当の自由なのかなって　この前、考えたりしたんだよね
ドライバー	――――?
カムイ	あのさ、ドライバーとブレイドって　一心同体だよね？　それってある意味　ブレイドはドライバーに縛られてることじゃないかにゃ？　それは本当の自由とは言えないよね――?
ヨシツネ	ほう　意外ですね――
カムイ	何が？
ヨシツネ	あなたが　そんなに真面目に　物事を考えていることがですよ　僕はてっきり　ノリと勢いだけで生きてるのかと思っていました
カムイ	ヨシツネ　失礼だにゃー！　カムイだって　ものすごく考えて生きてるんだにゃ！　例えば、ここにカムイの大好きな　オーチェシャがあるとするよね
カムイのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
カムイ	で　それをレックスが食べようとしている
分岐3-2	**ニア**
カムイ	で　それをニアが食べようとしている
分岐3-3	**メレフ**
カムイ	で　それをメレフが食べようとしている
分岐3-4	**ジーク**
カムイ	で　それをジークが食べようとしている
分岐3-1～3-4共通	
カムイ	カムイはものすごくオーチェシャが食べたいけどカムイのドライバーのために我慢しなきゃとも思うにゃ　本当に自由なら　そのまま黙って見守るのもいいし　お願いして譲ってもらうこともできるどの選択をするかは　カムイ次第だし　結果がどうなろうと　それもカムイが決めたこと　それが選択の自由ってモノだにゃ
ヨシツネ	確かに　どのように選択し　その結果をどう受け入れるのか　すべてはあなたの自由です　ただ――カムイが取る選択は　どちらでもありませんよね？　僕の予想だと　あなたは我慢できずにドライバーを殴り倒してオーチェシャを奪う　その一択だと思いますが？
カムイ	あ　わかっちゃう？　カムイも悩んだ結果、それしかないって思ったんだよね
カムイのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	それって結局　ワガママを通してるだけじゃないか――
分岐4-2	**ニア**
ニア	それって結局　ワガママを通してるだけじゃないか――
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	結局　ワガママを通してるだけではないか――
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	なんやねん　それって結局　ワガママを通してるだけやないか――
分岐4-1～4-4共通	
カムイ	いやいや　ワガママもまた自由ということにゃ何物にも縛られず　在るがままの自分を生きるキライなことはしない！　好きなことしかしない！　それがカムイの目指す自由な生き方にゃ！
ドライバー	……
ヨシツネ	なるほど　自由を生きる女性の物語ですか――　うんそれもありですね　最高のコメディができそうですよ
カムイ	というわけで　カムイの物語を完成させるためにも　これからも自由に付き合ってもらうにゃ！

リベラリタス島嶼群	
心優しきブレイド	
キズナトーク	
デカラオ	フーーーーっ!!!
トラ	どうしたんだも　デカラオ？　気合入れてるけども　何をするつもりなんだも？
デカラオ	――オレは　人と――話したい　でも――　オレを怖がる　本当は　オレは――そんなことない　皆に　それを知ってほしい――
トラ	確かにデカラオは地面を行き交うアリンコさえも避けて歩く心優しいブレイドも
デカラオのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	デカラオがどんなブレイドか知ってもらうために話をするのはいいことだな
分岐1-2	**ニア**
ニア	確かにたくさん話せば　デカラオの優しさは伝わるかもな
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	たくさん話してデカラオの　人となりが伝わるといいな
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	デカラオと喋れば　どんなヤツかはすぐわかるやろな
分岐1-1～1-4共通	
トラ	ただ普通に話すのが難しそうも――　さっきみたいに気合を入れていたら尚更も！
デカラオ	そう　みんな逃げていく――　それが悩み――何か名案はないか――?
デカラオのドライバー	うーん――／そうだなぁ――／ふむ――／そうやなぁ――
選択肢A	
レックス	あの泣いてる子供を助けてあげるのはどうかな？
ニア	あの泣いてる子供を助けてあげるのはどう？
メレフ	あの泣いてる子供を助けてはどうだ？
ジーク	あの泣いてる子供を助けたらどうや？
トラ	名案も！　困っている人を助ければ　デカラオの優しさが必ず伝わるも！
デカラオ	わかった　オレ　助ける――　トラもついてきてくれ――
トラ	わかったも！
子供	あぁーん！　うわぁーん!!
トラ	どうしたも？　何で泣いてるも？
子供	ひっく　ママ　どっかいっちゃった――
デカラオ	迷子――?
子供	ひぃ！　モンスター!?
トラ	違うも　違うも！　モンスターみたいだけど　モンスターじゃないも！
デカラオ	オレは人を食わない　安心しろ！
子供	ひぃ!
トラ	――あぁもう　余計なこと言うと　また怖がるも!
デカラオ	す　すまない――　トラ　子供　頼む　オレは子供の親を　さがす――
母親	――ちょっと　うちの子供に何をしているの!?
デカラオ	母親か？
母親	モンスター!?　誰か　助けて!!
デカラオ	グ?　――――違う
母親	誰か　助けて！　モンスターがうちの子供を　食べようとしているの!
デカラオ	違う――　違う！　オレはモンスターじゃない　――違う!!
トラ	デカラオ　落ち着くも！
母親	きゃー　襲って来たわ！　誰か早く助けを呼んで!!
デカラオ	――うぅう　うがぁぁぁぁ!
母親	きゃぁぁぁぁ!
トラ	ダメも　デカラオ！　騒ぐと余計怖がるも!
子供	ママ!
母親	早く逃げるわよ！
トラ	――あぁ　ダメだったも
デカラオ	うぅ――　また失敗した――

デカラオのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	そう落ち込まなくていいよ　今日はたまたま失敗しただけだ　ゆっくりと　皆に理解してもらえばいいよ
分岐2-2	**ニア**
ニア	そう落ち込まなくてもいいだろ　今日はたまたま失敗しただけだよ　ゆっくり　皆に理解してもらえばいいよ
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	そう落ち込まなくていい　今日はたまたま失敗しただけだ　ゆっくりと　皆に理解してもらえばいいさ
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	そう落ち込まんでもええで　今日はたまたま失敗しただけや　ゆっくりと　皆に　理解してもらえばええやろ
分岐2-1～2-4共通	
デカラオ	ありがとう――　オレ　諦めない　絶対に皆とお話する――!
選択肢B	
レックス	あの困ってる老人を助けてあげるのはどうかな？
ニア	あの困ってる老人を助けてあげるのはどう？
メレフ	あの困ってる老人を助けてあげてはどうだ？
ジーク	あの困ってる老人を助けたらどうや？
トラ	名案も！　困っている人を助ければ　デカラオの優しさが必ず伝わるも！
デカラオ	――オウ！
おばあさん	はぁ――
トラ	おばあさん　どうしたも？
おばあさん	あ　家に戻りたいんですけど　ちょっと体調が悪るいんですよ――　私　元々目が悪くて――　調子を崩すとモノがちゃんと　見えなくなっちゃうんですよ
デカラオ	それは危ない　オレが案内する
おばあさん	あら　ご親切に　ありがとうございます
トラ	歩けるも？
おばあさん	ええ　それは何とか――　あら？　何かしらこれ？――こんなところに岩？
デカラオ	それはオレの身体だ
おばあさん	まぁ　すごい　結構　がっちりとした身体なんですね
デカラオ	オウ　しっかりつかまれ
街の人A	何だよあれは!?
街の人B	モンスターがいるぞ!
おばあさん	何やら周りが騒がしいですね？
デカラオ	何でもない　モンスターが出たらしい
おばあさん	あら　怖い　早く逃げないと――
デカラオ	大丈夫だ　オレが守ってやる！
おばあさん	あらあら　頼もしいこと――
デカラオ	ココが家か？
おばあさん	ええ　そうですそうです　おかげさまで助かりましたよ　あの――　お名前は――？
デカラオ	オレはデカラオ
おばあさん	デカラオさん　本当にありがとうございました
デカラオ	オウ　元気でな！
デカラオのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	頑張ったな　デカラオ　これを繰り返せば　きっと皆にデカラオの優しさが伝わるよ
分岐3-2	**ニア**
ニア	よくやったな　デカラオ　これを繰り返せば　きっと皆にデカラオの優しさが伝わるよ
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	デカラオ　うまく人助けができたな　少しずつでもこれを繰り返せば　皆にデカラオの優しさが伝わるはずだ
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	デカラオ　頑張ったやないか　これを繰り返せばきっとデカラオの優しさが伝わる思うで
分岐3-1～3-4共通	
デカラオ	オウ！　オレ　がんばる！　皆　ありがとう！

リベラリタス島嶼群	
唯一無二	
宿屋イベント	
クピラ	おい　ドライバー　何やらリベラリタス島嶼群のノルム雲海道の　出口から見たこともないような素晴らしい景色を拝めるらしい　おそらく　この余に　ふさわしい場所であろう　貴様らにノルム雲海道までの案内を許す　すぐに支度をせよ!
キズナトーク	
クピラのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	いい景色だなー　クピラは満足したか？
分岐1-2	**ニア**
ニア	へぇ　なかなかの景色じゃん　クピラはどう思う？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	絶景だな――　クピラはどうだ？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ほー　見事な景色やな――　クピラも満足したか？
分岐1-1～1-4共通	
クピラ	――いや　思ったほどでもないな　この程度で絶景などと　評した者の品位が疑われるわ
カグツチ	でも　そこまで悪い景色じゃないと　思うけれど？
クピラ	ふむ　庶民の感覚では　そうなのだろうな
カグツチ	なっ？　庶民ですって――
クピラ	そう落ち込むことはない　余と貴様らとでは　美の感覚が違うのは当然なのだ
トラ	なら　クピラが満足しそうな景色を探すも？
クピラ	気遣いは無用だ　そのような景色に出会えることなど　そうはあるまい　時間の浪費に過ぎん
ハナJS	クピラに質問がありますも――
クピラ	許可する
ハナJS	どうしてダウナーな感じなんですも？
トラ	確かに気怠そうっていうか　俾そうなのにやる気があまり感じられないも
クピラ	これは異なことを申すな　――余がなぜやる気を出さねばならぬのだ？
ハナJS	でも　戦闘では　必死にがんばらなくちゃいけないですも
トラ	そうも　本気を出さないとやられちゃうも
クピラ	それは　ドライバーの能力が　劣っておるせいであろう？　ならば　ドライバーが　本気を出さねばならぬ話であって――　余が本気で戦わなければならぬ　道理にはならん

トラ	トラもびっくりの超理論も！
カグツチ	こんな考え方をするブレイドがいるなんて　ありえないわ――
クビラのドライバー	何て声をかける？／何て声をかけよう？／何て声をかけようか？　何て声をかけよか？
選択肢A	
レックス	クビラは王様みたいだね
ニア	クビラはまるで王様だな
メレフ	クビラはまるで王だな
ジーク	クビラは王みたいに態度がでかいな
クビラ	当然であろう　余は一国の王であるぞ
選択肢B	
レックス	クビラとはここまでだね
ニア	クビラとはここでおさらばかな
メレフ	クビラとはここでお別れだな
ジーク	クビラとはここでさいならやな
クビラ	なっ!?　余を捨てるというのか？　一介の臣下が王を捨てると？
選択肢AB共通	
クビラのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	え――？
分岐2-2	**ニア**
ニア	は――？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	なに――？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	はい――？
分岐2-1～2-4共通	
トラ	クビラって王様だったも？　――初耳も
カグツチ	ブレイドが王様だなんて　そんなわけないわ
クビラ	厳密にはブレイドになる以前に　王だったのだ　王であるこの余をブレイドとして扱うなどと　本来であれば重罪　戦闘中はドライバーに死なれては困るゆえ　業腹な仕打ちに広い心で耐えているのだぞ
サイカ	でもでも　過去の記憶はないんやろ？
クビラ	記憶があろうとなかろうと関係はない　余が一国の王であったことは　紛れもない事実　いずれ　そなたたちも　余の偉大なる足跡を知ることになろうぞ
サイカ	――はぁ
クビラ	溜息をつきたいのはこちらだ　だが　一つ理解が増えたのは僥倖だった　貴様らが余のことを敢い畏れぬ理由が　知れたからだ　よもや余が王であること　崇高な存在であることを　認知できておらんかったとはな　これで分かっただろう　余は貴様らのために　力を使うつもりはない　余が力を使うのは　余自身が必要と認めた時だけだ　ゆえに　面倒ごとはすべて　貴様たちで処理をせよよいな　些細なことで　余を煩わせるではないぞ
クビラのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	はぁ――
分岐3-2	**ニア**
ニア	はぁ――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	そうか――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	はぁ――
リベラリタス島嶼群	
ぎこちない――	
宿屋イベント	
ミクマリ	ねぇ　セオリ！　この近くのノレム雲海道って　すごく不思議な場所なんだって
セオリ	ふーん　そうなんだ
ミクマリ	ねぇ　みんなで一緒に行ってみない？
セオリ	――別にいいけど
キズナトーク	
ミクマリ	ねぇ　この先に　景色のいいところがあるんだって　楽しみだよね
セオリ	そう？　全然興味ないけど――
ミクマリ	そんなこと言わないの　二人ならきっと楽しいからさ！
セオリ	別に何人だって同じだと思う　――私　先に行くね
ミクマリ	あ　ちょっと待ってよ　セオリ！　一人で行かないで！　――セオリ　どうしてわたしに素っ気ないの？
セオリ	――誰にだってこんな感じだと思うけど？　ドライバーにだってこんな感じだし――
ミクマリのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	まあ――　そうだよな
分岐1-2	**ニア**
ニア	だね　セオリはクールだから
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ああ　そうだな　私は悪いことだとは思ってはいないが――
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	せやな　セオリらしいっちゃらしいけどな
分岐1-1～1-4共通	
ミクマリ	えっと――　わたしが言いたいのは　そういうことじゃなくて――　わたしは前のセオリと約束したんだ　セオリのことを忘れないって　あの子は二人一緒に仲良くいることを望んでた　だから　わたしは――
セオリ	あまり気にしなくていいんじゃない？　今の私はそうは思ってないし――　それに私もミクマリも一度は記憶がなくなってるんだから――
ミクマリ	――っ
ミクマリのドライバー	なんて声をかける？／なんて声をかけよう？／なんて声をかけようか？／なんて声をかけよか？
選択肢A	
レックス	ミクマリの気持ちも考えてやって
ニア	ミクマリの気持ちも考えて
メレフ	ミクマリの気持ちも考えるべきだ
ジーク	ミクマリの気持ちも考えてやってや
セオリ	ゴメン――　冷たくしたいわけじゃなくて――
ミクマリ	ううん　わかってる　セオリの感覚だと　わたしもその他大勢のブレイドのうちの　一人なんだと思う
セオリ	ン――
ミクマリ	でもね　わたしは違う　昔のセオリを知ってるしずっと一緒にいたいと思ってるんだから
選択肢B	
レックス	二人は似てるよな
ニア	二人は似てるよな
メレフ	二人は似てるな
ジーク	二人は似てんで
セオリ	似てる――？
ミクマリのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	以前のミクマリは記憶のことは　あまり気にしてなかったんだ　だから前のセオリは　すごく悲しそうだったな――
分岐2-2	**ニア**
ニア	ミクマリは前の記憶のことは　ちっとも気にしてなかったんだ　だから前のセオリは　すごく悲しそうだった
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	ミクマリは以前の記憶については　ほとんど気にしていなかったんだ　だから前のセオリは　とても悲しそうな表情をしていたよ
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ミクマリは過去の記憶については　ほぼほぼ気にしとらんかったわ　せやから前のセオリは　めっちゃ悲しそうな顔をしとったんや
分岐2-1～2-4共通	
セオリ	だから今は前の私を知ってるミクマリが　悲しんでる？
ミクマリ	まだそんなに悲しんでないけど　これが延々と続けば悲しむのかも？　なんてね
セオリ	――
選択肢AB共通	
ミクマリのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	二人は姉妹だな　ブレイドで姉妹っていうのはヘンかもしれないけど――
分岐3-2	**ニア**
ニア	二人は姉妹だね！　ブレイドで姉妹っていうのは違和感あるけどさ
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	二人は姉妹だな　ブレイドで姉妹っていうのは語弊があるかもしれないが――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	二人は姉妹やな！　ブレイドで姉妹ゆうんは　ヘンかもしれんけど――
分岐3-1～3-4共通	
セオリ	姉妹――
ミクマリ	姉妹っていいね！
セオリ	いいかな？
ミクマリ	いいよ！　特別感があるもん　わたしがお姉ちゃんで　セオリが妹だね！
セオリ	ん―――
ミクマリ	セオリ　わたしのこと　お姉ちゃんって呼んでみて
セオリ	イヤ
ミクマリ	うーん　いきなりは難しいかぁ　妹よ　いつでもお姉ちゃんって　呼んでくれていいんだからね！
セオリ	絶対に呼ばない
ミクマリ	先は長そうだね――　でも　ありがとう！　ちょっと悩んでたんだけど　セオリとの約束が守れそうな気がしてきた！
テンペランティア	
講和	
宿屋イベント	
メレフ	カグツチ――　テンペランティアへアエーシュマの　様子を見に行こうと思う
カグツチ	巨神獣兵器発掘現場へいくのですね？　ついてまいります
トラ	トラも行くも！　ユーディキウムの巨神獣兵器がきになるも！
キズナトーク	
トラ	メレフ――　スペルビア帝国軍はまたアエーシュマを　掘り返してるも？
メレフ	いや　発掘作業は　例の一件以来中断している
ハナJK	でも　帝国の皆さんはまだ大勢いますも　スペルビアに帰らないんですも？
メレフ	放置すればまたイーラの連中に　利用されるかもしれない　掘り起こしたものを埋めたとしてもまた同じ問題が起きるだろう　だから　ここを管理することにしたんだ
カグツチ	今度は誰にも渡さないように　兵の数を増やし巨神獣戦艦も係留させているの
ハナJK	なるほどですも
トラ	トラ　アエーシュマを　少し調査したいも！　ユーディキウムの兵器なんか　今まで見たことないから　興味あるも
メレフ	すまないな　トラ　インヴィディア烈王国と結んだ約束でな　それはできないのだ
カグツチ	このアエーシュマを　調査や研究　それに利用することは　禁じられているのよ
トラ	ももっ！　そんな約束　いつしたも？
カグツチ	この前の首脳会談よ
ハナJK	戦争を起こしかけた代償は　高くついたってことですも？
メレフ	そういうことだな――
トラ	何を聞くも？
選択肢A	**賠償金も支払ったも？**
メレフ	実際は賠償金ではなかったが　確かに支払う可能性はあったな
カグツチ	試算するとおよそ400億Gでしたよね
トラ	高いも!?
ハナJK	ハナが1000体くらい作れますも――
カグツチ	意外とハナって高額なのね――
ハナJK	えっへんですも
トラ	お金じゃないってことは　メレフ達は何を払ったも？
選択肢B	**あまあまういんなを渡したも？**
ハナJK	それはご主人が食べたいだけですも
トラ	払うとしたら何年分だったも？
メレフ	ううむ――　およそ1億年分だろうな
カグツチ	メレフ様　計算するのが面倒だからって　適当に答えましたね――
トラ	しゃあ　実際には何を払ったも？
選択肢AB共通	
メレフ	インヴィディアが要求してきたのは　テンペランティアの調査権だ
ハナJK	それは何の役に立ちますも？
メレフ	緩衝地帯とはいえ　我々がユーディキウムの　巨神獣兵器を採掘してしまっただろう？　テンペランティアにはまだ　他の巨神獣兵器が埋まっていると　考えられているから――　インヴィディアは同じものを　手に入れておきたいのだ
カグツチ	それが抑止力となりますからね
メレフ	ああ　それが国を守るということだ
トラ	はー　やれやれも　トラは小難しい話をよそに自由気ままに巨神獣兵器をいじってみたいだけも
メレフ	フッ――　そうだな　我々もインヴィディアもトラのように　単純に考えられればいいんだがな――
カグツチ	そうですね――　羨ましい限りです
ハナJK	ご主人　単細胞だって言われていますも
トラ	誰もそんなこと言ってないも!?　こうなればユーディキウムの技術を使って　ハナの主人に対する態度を改良するも
メレフ	絶対にそれはやめてくれ
テンペランティア	
届け！　ウカの声	
宿屋イベント	
トラ	ウカいいこと思いついたも！　さっそくテンペランティアのスペルビア駐屯地へ行ってみるも！
ウカ	いいですけど――　何があるんですか？
トラ	それは行ってみてのお楽しみも
キズナトーク	
トラ	ウカ　到着したも
ウカ	ねぇ　トラタン　こんな所で何をするんですか？
トラ	何って　今から巨神獣――トルトガと会話をするも
ウカ	トラタンって巨神獣と会話できたんですね　尊敬しちゃいます
トラ	話をするのはトラじゃないも　ウカも
ウカ	えー!?　ウカには無理ですよ！　いつしかアヴァリティアのウズシオに試した時には　飲み込まれそうになったんですから！
トラ	それはノポン語じゃないから　通じなかったんだも
ウカ	そうなんでしょうか？
トラ	ここにいるトルトガは毎日のように　スペルビア帝国の言葉を聞いてるも
ウカ	だから　ウカ達の言葉で話しかけても　理解してもらえると？
トラ	その通りも　今までのウカは相手の言語で　語りかけてなかったんじゃないかって　トラは考え至ったも
ウカ	うーん　それが原因だったのかなぁ？
ウカのドライバー	ウカにどう声をかけようか？
選択肢A	
レックス	ものは試しだ　やってみればいいじゃないか
ニア	ものは試しなんだから　やってみれば？
メレフ	ものは試しだ　やってみればいいだろう
ジーク	ものは試しや　挑戦してみ
ウカ	そうですね　挑戦するのは何度だってできますもんね　では　さっそく――　トルトガさん　初めまして　ウカです
ドライバー	……
ウカ	スペルビア帝国の方々に　勝手に改造されちゃって怒ってませんか？　無理強いされてイヤですよね――　もっとのんびり生きていたいですよね？　どうですか？
ウカのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	やっぱり話は通じてないよな――？
分岐1-2	**ニア**
ニア	やっぱり話は通じてないんじゃない？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	やはり会話は不可能か――
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	こりゃあ失敗とちゃうか？
分岐1-1～1-4共通	
ウカ	はっ!?　もしかするとウカの声は聞こえているのに　返事ができないだけではないですか？
ドライバー	？
ウカ	スペルビア帝国の悪しき技術のせいで　喋る力を根こそぎ奪われているんです！　許すまじ　帝国！
ウカのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	いやいや　さすがにそこまではしてないと思うよ
分岐2-2	**ニア**
ニア	さすがにそこまではしてないでしょ
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	断じてそういうことはしてない　信じてくれ　ウカ
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	舌はついとるし　帝国と言えども　さすがにそこまではやらへんやろ
分岐2-1～2-4共通	
ウカ	うーん　見当違いでしたか――　ちょっとはヒントを得た気がしたんですけど　今回もダメでした――
トラ	残念だったも――　トラがウカのために一晩寝ながら考えて　導き出した方法だったのに――
ウカのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	ウカ　次はうまくいくといいね！
分岐3-2	**ニア**
ニア	ウカ　きっといつか自由に会話できるよ
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	また挑戦すればいいさ　ウカならいつかうまくやれるだろう
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	ウカのくじけへん心があれば　いつか話し合える時がくるやろ
分岐3-1～3-4共通	
ウカ	皆さん　ありがとうございます！　トルトガさんとお話はできませんでしたが　皆さんの心遣いが染入りました　ウカ　皆さんの期待に応えられるように　まだまだ挑戦します！　そして最終的には不動のゴンザレスと　仲良くなって　ピクニックに行きます！　がんばりますよー！
ウカのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	先は長そうだな――

分岐4-2	ニア
ニア	ピクニックがぁ―― どんなお弁当持っていくんだろ――
分岐4-3	メレフ
メレフ	私の寿命が持つだろうか――
分岐4-4	ジーク
ジーク	不動やからピクニックには 行かれへんのとちゃうか――
選択肢B	
レックス	言語よりも気持ちが大切だと思うけどな
ニア	人の言葉よりも気持ちが大切なんじゃない？
メレフ	言語よりも気持ちが大切だと思うが――
ジーク	大切なのは言葉よりも気持ちやろ？
ウカ	そう！ そうですよね！ 意思疎通したいって気持ちが大切なんです！ 理屈じゃないんですよ！
トラ	じゃあ、サイカに聞いてみるも
ウカ	どうしてです？
トラ	サイカはルクスリアの巨神獣を呼び出せるからきっと意志疎通できてるも
ウカのドライバー分岐	
分岐5-1	レックス
レックス	確かにゲンブを雲海から浮上させたよな 可能性はあるかもな
分岐5-2	ニア
ニア	それは名案だな ルクスリアに行く時みたいにやればいいのかも
分岐5-3	メレフ
メレフ	ふむ―― それは盲点だったな 聞いてみる価値はありそうだ
分岐5-4	ジーク
ジーク	名案やな 確かにサイカやったら できるかもしれへん
分岐5-1～5-4共通	
ウカ	サイカさん よろしくお願いします！
サイカ	せやけど うちの力はゲンブにしか 効かへんかもしれんへんよ？
ウカ	いえ 挑戦してみたいんです 教えてもらっていいですか？
サイカ	ええよ まずは胸に手を当てるんや それでな巨神獣の事を思い浮かべて やさしーく 話しかけてみるんや
ウカ	――もしもーし ウカの声が聞こえますか？
ドライバー	……
ウカ	――もしもーし ウカとお話してくださーい
ドライバー	……
サイカ	――何か聞こえてこーへんか？
ウカ	――全然 返事がありません
サイカ	え？ ――何も聞こえん？
ウカ	はい 全く何も聞こえません もしかして サイカさんみたいな 耳じゃないのがいけないのかな？
サイカ	耳？
ウカ	だって ウカの耳はサイカさんみたいに 尖がってないですからね
サイカ	関係ないとは思うけど―― でも カクタンとスケタンの耳は尖がってるやん
ウカ	っ確かに！ カクタンとスケタンには聞こえてるのに それをウカに教えてくれないんですね！ ひどい裏切りです！
サイカ	二人とも困ってるやん―― ちょっとした冗談やったのに――
ウカのドライバー分岐	
分岐6-1	レックス
レックス	はぁ―― ウカが動物と会話できる日は まだまだ先みたいだな
分岐6-2	ニア
ニア	はぁ―― ウカが動物と会話できる日は いつになったら来るんだろ――
分岐6-3	メレフ
メレフ	はぁ―― ウカが動物と会話できる日は まだまだ先になりそうだな
分岐6-4	ジーク
ジーク	はぁ―― ウカが動物と会話できる日は いつ来るんやろか――

ルクスリア王国
アデルの大好物

宿屋イベント	
ニア	なぁ ルクスリアにも 色々おいしい食べ物 あるんだよね？
ジーク	まあ こんな状況下やけど そこそこいけるやつはあるで―― 案内したるから 食べに行ってみるか？
ニア	ああ 行ってみたい！
キズナトーク	
ニア	ん―― 何だこれ？ ――英雄の大好物？
ヒカリ	どうしたの ニア？ 何か食べたいものでもあった？
ジーク	お！ ニア ええところに目ぇつけたな！ ええか これはな 英雄アデルが 昔 大好物やったという名物料理や！ なんでも500年も昔の 伝統的な香辛料を使った料理らしいで ま ルクスリアはごっつう寒いさかい アデルが辛いモン好きちゅうのも頷けるがな
ヒカリ	辛いもの――？
ニア	アデルって こんなのが好きだったのか？ 英雄様も変わってるよな――
ジーク	こんなのとはひどいやないか ニア 結構うまいんやで？ それとも 辛いモンは苦手なんか？
ニア	何だよ―― 苦手じゃ悪いのか？
ジーク	ハハハッ いつもは勝気なお嬢様ゆうても 中身はまだまだお子様なんやな――
ニア	なんだよそれ!? 喧嘩売ってんのか 亀！
ジーク	まぁまぁ そう怒らんと 奢ったるさかい 食べてみ なぁ ヒカリもどうや？
ヒカリ	……
ジーク	――ん？ どないしたんや？
ヒカリ	あのさ この料理なんだけど―― アデルって―― 辛いモノが苦手だったんだよね
ジーク	へ？
ニア	はぁ？
ニア	つまりどういうことだろう？
選択肢A	英雄アデル焼きは好物じゃなかった？
ヒカリ	そうね 食べてるところは見たことないわ アデルって少しでも辛いものを食べると すぐにお腹壊しちゃうのよ
ニア	あはは！ 英雄様も結構 子供っぽいところがあるんだな――
ジーク	そんなんウソや！ そんな話聞いたら―― ワイの英雄アデルのイメージが どんどん崩れ去ってまうやないか！
ニア	なぁなぁ ヒカリ もっと面白い話はないの？
ヒカリ	面白い話ねぇ―― 何かあったかしら？
ニア	英雄様の本当の好物は？
ヒカリ	――確かアデルは タルタリ焼きが好きだったかな
ニア	レックスと同じじゃないか！
ヒカリ	そうそう タルタリ焼きが出てきたときは 特に機嫌がよかったわね
ニア	英雄様は子供っぽいものが 好きだったんだな―― 他にはないのか？
ジーク	待て待て！ これ以上はあかんで！ ワイの中の英雄アデルを これ以上汚さんといてくれぇ！
ニア	なんだよ 別にいいじゃん 英雄様だって普通の人間だったってことだろ？ 亀ちゃんだって 子供っぽいんだし 似たもの同士じゃないか？
ジーク	アホか そんなん素直に喜べへんわ！ くっそー 『英雄アデルの歴史』を読み直して イメージを再構築せんと――
選択肢B	ルクスリア名物って看板に偽りあり？
ヒカリ	そう まったくの嘘よ デタラメもいいとこね
ニア	なんだよ インチキか ひどい店だな
ジーク	――ちょい待ちや まだインチキと決まったわけやないで
ニア	――え？
ジーク	例えアデルの好物やなかったとしても 歴史と伝統が残っとる！ 500年前から作られてた伝統の料理なんやで 多少 誇張されたとしても許されるやろ！ もしかしたら ヒカリが知らんところで アデルが一口だけ食べて 「うまっ」って言ったかもしれへんやろ？
ニア	そんなにムキになるなよ 亀ちゃん
ジーク	別にムキになっとらんわ ええか ワイはな―― 歴史ある料理をインチキと決めつけるのは よくないと言っとるだけや！
ヒカリ	――あぁ なるほど そういうことね ――ジーク あなた この料理がお気に入りなんでしょう？
ジーク	――うっ
ヒカリ	しかもアデルの好物って売り文句に惹かれて 好きになったんじゃない？
ジーク	――うう
ニア	うわっ わかりやすっ！ だから ムキになってたのか？ まるで 子供だな――
ジーク	え―― ええやろ別に！ ちっさい頃から アデルの好物と信じて食っとったんや！ これは500年間 子供達の憧れの食べ物やったんやで！ それが一プレイドのひょんな一言で ひっくり返されてたまるか！
ヒカリ	でも 実際アデルは辛いものが 苦手だったわけだし―― 好んで食べるわけないんだよね 一口だってね
ジーク	うおぉぉぉぉっ！ ワイの想い出が―― 子供の頃の純粋な心が―― もう―― 誰も 信じられへん――
ニア	そんなに落ち込むなよ 亀ちゃん アタシが奢ってやるから 元気出せよ―― な！

ルクスリア王国
悪運のジーク

キズナトーク	
カグツチ	ねぇ サイカ ジークって運が悪いわよね ついていくので大変でしょ？
サイカ	せやねん ウチのとこの王子の運の悪さは ほんまシャレにならんよ アルスト運の悪さランキングがあったら 間違いなくダントツトップを取るとおもうで
ビャッコ	確かに私が見てきた限りでも 崖から落ちたり 転がってきた大岩に下敷きになりかけたり 雲海に落ちていったこともありましたよね
サイカ	まだまだ それだけやあらへんで 港を歩いてたら巨神獣船にかぶりつかれたり 尻尾で払われたこともあるし 急に吹雪いてきたから遭難した先で 100体のイグーナに囲まれたこともある 数えだしたらキリがないわ
ビャッコ	それはまた何といいますか―― サイカさんも今までよく無事で生きてこられましたね――
カグツチ	ほんとお疲れ様― いえ―― ご愁傷様かしら？
サイカ	カグツチ それ洒落になっとらんで しっかしそれだけに ほんま目が離せんくて 世話の焼ける王子様なんや 付き合わされる方の身にも なって欲しいわ――
カグツチ	何て言おうかしら？
選択肢A	そういうところも含めて好きなんでしょう？
サイカ	――はぁ!? 何でここで好き嫌いの話になるんや？
ビャッコ	なるほど嫌よ嫌よも好きのうち ――というやつですね
カグツチ	そうそういわゆる――ツンデレってやつ？
サイカ	アホか誰がツンデレやねん！ んなわけあるかいな
カグツチ	サイカ 照れなくていいわよ ブレイド同士 あなたの王子様には黙っておいてあげるから
ビャッコ	ええこのことは他言無用 私たちだけの秘密ということにしておきましょう
サイカ	何言うとんのや そんなんとちゃうねん！
カグツチ	もう照れてる顔もかわいいわよ
ビャッコ	そうですねぇ――
サイカ	あーそこ！ 生暖かい目で見るんやない！ これも全部 あの不幸王子のせいや――!!
選択肢B	何だか心配性のお母さんみたいね
サイカ	そうそう ほんま手のかかる息子やで―― って誰がオカンやねん！ そこはせめてお姉ちゃんって言うてよ！
ビャッコ	おお これが本物のノリツッコミ！ 素晴らしいキレですな！
サイカ	お わかるか？ そうなんよ この切り返しのテンポが重要なんやで！ やなくて―― そもそも王子が問題やねん あんだけ運が悪いのが傍におったら オカンやなくても心配んなるわ ほんま決める時はビシィッと決まるのに―― いつもあんな感じやったらええのになぁ
カグツチ	でも運の悪さが無くなったら ジークじゃないわよね？
ビャッコ	そうですねそれこそが ジーク様のアイデンティティーですからね
サイカ	せやな― そのとおりなんや はあぁ―― まったく厄介な王子やで

ルクスリア王国
カメキチの扱い

宿屋イベント	
ニア	あー 眠い―― 亀ちゃんとサイカに文句言わなきゃ―― セルケス支柱へ行った時に 言ってやろう―― ふぁぁーあ それにしても眠い――
キズナトーク	
ニア	なぁ 亀ちゃんにサイカ ちょっといいか？
ジーク	どないしたんや？ ニアから真剣な話があるなんて 珍しいやないか
ニア	カメキチのことなんだけど――
サイカ	カメキチの!?
ジーク	カメキチはワイらのアイドルや ニアが欲しいっていても譲ったれへんで
サイカ	せやね 頭を撫でるくらいなら させてあげてもええやろうけど
ニア	はいはい その様子じゃ 全然気づいてないみたいだな―― 実はカメキチが毎晩アタシの布団の中に 入ってくるんだよ
ジーク	な なんやて!?
ニア	寝ている間に押しつぶさないか心配で心配で 熟睡できないんだよな 仮にも二人にとってはアイドルなんだろ？ 怪我させると怒られると思ってさだから 最近寝不足気味なんだ
ジーク	そりゃ ウチのカメキチが 迷惑かけて悪かったな
サイカ	王子 どうしてちゃんとカメキチのこと 見張ってないん？
ジーク	はっはっは！ ワイはベッドに入ったら一瞬で爆睡やからな
サイカ	うーん―― 何か対策せな あかんね
サイカ	どうすればええやろ？
選択肢A	ウチの布団で寝るとか？
ジーク	せやな 夜はそれがええかもしれんな
サイカ	昔はウチのベッドで寝てたんやし きっと大丈夫やろ
ニア	だったら安心か サイカ よろしくな
サイカ	うん 任せといて
ニア	そういやさっき昔はサイカと寝てたって言ってたけど カメキチっていつからいるんだ？
サイカ	ウチと王子のつきあいよりは短いけど―― 結構長いやんな？
ニア	へー それにしては全然 大きくならないだなもしカメキチが ビャッコくらいの大きさになったら 亀ちゃんはどうすんの？
ジーク	自分 しょーもない想像すんなぁ
ニア	うっさい
サイカ	さすがに手のひらには乗せられへんよな――
ニア	だろ？ そうなっても一緒に旅するのかなって思ってさ
ジーク	逆にワイがカメキチに乗って 移動するってのはどうや？
サイカ	ニアとビャッコみたいに？
ジーク	そうや かっこええやろ！
ニア	いや かっこ良くないし！ それにたぶん歩くのめっちゃ遅いから
サイカ	せやろな――
ジーク	せやな カメキチはいつまでも 小さいままでいてや――
選択肢B	発想を逆転させるのはどうやろ？
ニア	発想を？
ジーク	逆転させる？
サイカ	そうや カメキチかて 立派なウチらの仲間やろ？ いつまでもウチと王子だけの アイドルやないと思うんよ レックスにとっても トラにとっても メレフにとっても そしてニアにとっても 仲間やと思うねん だから この際 カメキチの面倒は 全員で見るっていうのはどうやろ？
ジーク	おお！ 名案やな！
サイカ	せやろー そうしたら ニアの布団の中に入るのも 何らおかしないってもんやわ
ニア	いやいや それって結局 あたし一人で面倒見るのと同じだろ アタシの寝不足問題は解消されてないよ
ジーク	ほな ビャッコに見てもらうのはどうや？
サイカ	ふかふかしてて寝心地よさそうやね
ジーク	それならトラでもよさそうやな
サイカ	そっちもふかふかしてて寝心地よさそうやね
ニア	なぁ―― 二人ともカメキチの面倒見るのイヤなのか？
ジーク	!? そ そんなことあらへんで なぁ サイカ？
サイカ	うん そやで たまに忘れてしまうけど めっちゃ好きやで
ニア	なんかカメキチがあたしの布団の中に 来た気持ちが分かった気がするよ――

ルクスリア王国
ジークの故郷

キズナトーク	
ジーク	どうや この王宮は？ スペルビアにも負けてへんやろ？
メレフ	まったく 国を捨てたお前が それを言うか
ジーク	ツッコミがえげつないなぁ
メレフ	まだ国に戻るつもりはないのか？
ジーク	――せやな
メレフ	何かわだかまりがあるのか？
ジーク	なぁ メレフ お前は自分の国が大切か？
メレフ	なんだ 藪から棒に？
ジーク	ええから 答えてくれ 何よりも自分の国を守りたいと思うか？
メレフ	なんと返答しようか？
選択肢A	当然だ
メレフ	どうしてそんなことを聞く？
ジーク	いやな―― 確かに王子として国や人を守るんは当然や でも それだけでええんかな？
メレフ	どういうことだ？
ジーク	この世界はもう限界に来とる お前もあちこち見てきてわかるやろ
メレフ	――――
ジーク	ワイのオヤジは 国と民を守るために 外との関わりを断ったんや けどな それは現実から目を逸らして 逃げただけや 一時的に国や民は守れても いずれ世界が滅んでまえば お終いやんけ ワイはオヤジのその考えに どうしても納得がいかんかった

メレフ	だから　国を出たのか？
ジーク	そうや　もしワイの力で世界を救う可能性が　僅かでもあるんやったら――　困っている人たちを助けられるなあと思うたんや　まぁ　ガキの熱病みたいなもんやな　現実は厳しかったで　己がいかに無力か思い知らされたわ
メレフ	だが　お前はまだ世界を救うことを　諦めたわけではないのだろ？
ジーク	当然や　力が足りんやったら　もっと力をつけたる　ワイだけで足りんのやったら　もっと仲間を集めればええんや　メレフ　お前にも力を貸してもらうからな　よろしく頼むで
メレフ	フッ――　努力しよう
選択肢B	**お前は違うのか？**
メレフ	自分の国を守りたいと思うのは当然だし　責務だろう？
ジーク	それや！　ワイのオヤジも同じことを言うとったわ　けどな　ほんまにそれでええんか？
メレフ	どういうことだ？
ジーク	この世界はもう限界が来とる　このままではいずれ滅んでしまうんや　ワイのオヤジは　世界で起きていることに目をつぶり　自分の国だけを守ることを選んだんや
メレフ	国と民を守るのが王だ　間違った選択はしていないし　王を責めることはできん
ジーク	せやけど　自分の国さえ良ければ　それでいいんか？ 内にこもって　何も知らずに過ごすんが　ほんまに幸せなんか？ そんなことしたって　いずれ世界は滅び　この国もなくなってしまうんや　ワイはそれが我慢ならんのや　何もせず　黙って滅びるなんて幸せなわけあるかいな　ワイは未来を諦めるなんてまっぴらや　だから　ワイはこの国を出たんや　この世界を守るまで　国に戻るつもりはあらへん
メレフ	フフッ――　まっすぐな男だな　だが　素直に自分を表に出せるジークが　羨ましくもある
ジーク	なに言うてんねん　お前かって　出したらええんや　誰に遠慮することもないやろ
メレフ	――フッ　レックスやジークのように　まっすぐな者ばかりでは　周りが見えなくなることもあるからな
ジーク	まったく　難儀なやっちゃな　でも　これからも頼むで
メレフ	ああ　任せておけ

ルクスリア王国
真名

宿屋イベント	
ジーク	サイカ　出かけるで！
サイカ	どこへ行くん？
ジーク	決まっとるやろ　ゲンブ港や　あそこは雷轟のジークに　相応しい場所やからな

キズナトーク	
ジーク	なぁ　サイカ　ええこと思いついたんやけどな――
サイカ	却下や
ジーク	早っ!?　まだなんも言うてへんやん！
サイカ	王子は単純やさかいな　考えてることなんてバレバレやで
ジーク	自分のドライバーをつかまえて　単純ってどういうことや！　そこまで言うんやったら　ワイが何を思いついたか当ててみい！
サイカ	そんなん簡単や　どうせ　新しい真名でも思いついたんやろ？
ジーク	うっ――
サイカ	フフッ　大当たりやな　ほんで？　今回はどんなん思いついたん？　笑わんから　お姉さんに言うてみ
ジーク	誰がお姉さんや！　ちゅうか　なんで笑うこと前提やねん！　まあええわ　ワイの新しい真名を聞いて驚くんやないで！
ジーク	その名も！　ジーク・B・極・究極・玄武や!!
サイカ	――フッ
ジーク	おおい！　今　鼻で笑うたやろ!?　なんやねん　かっこええやんけ　この名前!?
サイカ	はいはい　ごっつうかっこええな　さすがはジーク・B・極・究極・玄武様や
ジーク	感情が全くこもってへんやんけ　やり直しや！
ホムラ	ふふふ　ジークさん達っていつも楽しそうですね
ジーク	おっ　ホムラか！　ええ所に来たで　サイカじゃ埒があかん　いっちょホムラが判断してくれや
ホムラ	え！　私がですか？
ジーク	せや！　ホムラはどう思う？　ジーク・B・極・究極・玄武　っていうワイの新たな真名を！
ホムラ	どう思ったでしょうか
選択肢A	**すごくいい名前だと思いますよ！**
ジーク	せやろ？　そうそう　やっぱホムラはわかっとるわぁ！
サイカ	――すまんな　ホムラ　別に王子に気い遣わんでもええんやで？
ホムラ	いえ　気を遣ってなんかいませんよ　とっても独創的でかっこいいと思います！
サイカ	え？　ウソ――　まじなんか？
ジーク	いやぁ　良き理解者がいて　ほんま良かったわぁ　そや！　ホムラも真名をつけへんか？
ホムラ	真名　――ですか？
ジーク	せや！　ホムラというブレイドを表す　心の名前や！
サイカ	なぁ王子　そこまでにしとき　ホムラもイヤがっとるやないか――
ホムラ	ジークさん　お願いします　私にも真名をつけてください！
サイカ	――って　ノリノリやないかい！
ジーク	ほんなら　今日からホムラの真名は――　ホムラ・F・超・極光や！　どうや？
ホムラ	ホムラ・F・超・極光――　ですか？
サイカ	あんなホムラ――　イヤならイヤやと正直に――
ホムラ	いいですね！　正直　意味はよくわかりませんがとってもかっこいいと思います！
サイカ	――あ　ごりゃあかん　この二人　ウチの手には負えへんで
ジーク	そうやろ！　やっぱりホムラは　ワイと心が通じてるんやな！　心の通じ合った者同士　このままワイのブレイドになるちゅうんはどうや？
ホムラ	――あ　すみません　それは遠慮いたします
ジーク	――え？
ホムラ	ジークさん　すごく面白いんですけど　ドライバーとしては――　ちょっと
ジーク	――あれ？
サイカ	あはははは！　ごりゃ　痛恨の一撃やな　ええでホムラ　最高のオチや　ごりゃ　王子は当分立ち直れへんわ――
選択肢B	**正直　かっこ悪いです――**
ホムラ	それに意味が被ってませんか？
ジーク	ぐふっ!?
サイカ	お　王子!?
ジーク	そ　そないはっきりと言われると　心に深く突き刺さるもんやな――
サイカ	王子！　しっかりしや！　まだ傷は浅い！　死んだらあかんで！
ホムラ	え!?　あの　ジークさん大丈夫ですか？
ジーク	すまん　ワイはもうあかん――
ホムラ	え!?　あ　あの――すみません！　私　思ったことを　つい正直に言ってしまって――
ジーク	げふっ!?
サイカ	王子いっ!?
ホムラ	え？　あれ？　あの　ええと――
サイカ	ホムラあかん！　それ以上は王子がもたへん！
ジーク	まさかホムラが　こないに辛口やったとは――
ホムラ	いえ　私　そんなつもりは　ないんですけど――　でも　ジークさんの冗談にしては　あまり面白くなかったかなぁって――
ジーク	がっふっ!?
サイカ	王子ーー!?　――あかん致命傷や　ごりゃ　当分立ち直れへんで――

ルクスリア王国
正義の使者

キズナトーク	
グレン	このクレバスはスゲーな！　ゲンブ大雪原があんなに上にあるぜ　なぁ――　このクレバスってどうやってできたんだ？
グレンのドライバー	どう答えようか？／何て答えよう？／どう返答しようか／何て声を掛けよか？
選択肢A	
レックス	誰かが拳で割ってできたってじっちゃんから聞いたなぁ
ニア	誰かが拳で割って出来たっていう　逸話を聞いたよ
メレフ	誰かが拳で割ってできた――　という逸話を聞いたことがある
ジーク	誰かが拳で割ったって逸話があるんや
グレン	マジかよ――　俺のアイシクルジャッジメントじゃ絶対にこうはならねーよな　俺のはまだまだ威力が弱いってことか――　上には上がいるんだな――
ドライバー	……
グレン	って　何だその顔は？　まさか冗談だってことか!?　全く俺はドストレートな　ブレイドなんだから　紛らわしいことは言わないでくれよな　けどよ　マジでこれほどの亀裂を　生み出すようなパワーを身につけたら――
選択肢B	
レックス	巨神獣が動いたからだよ
ニア	巨神獣が動いたからかな
メレフ	巨神獣が動いたからだろうな
ジーク	巨神獣が動いたからやろな
グレン	ここはゲンブの中だもんな――　巨神獣が動く時のエネルギーって　きっと相当なもんだよな？　何せこんなにドデカイ身体を　してるんだからな　俺も巨神獣が動くときと同じくらいの　パワーを身につけたら――
選択肢AB共通	
グレン	きっとどんな悪にだって負けねえ　激熱な拳を手に入れられるんだろうな　お前も　そう思うだろ？

グレンのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	相変わらず熱い心を持ってるな　グレンは
分岐1-2	**ニア**
ニア	グレンは相変わらず暑っ苦しいね
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	グレンは相変わらず熱い心を持っているな
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	グレンの熱い心は変わらへんな
分岐1-1～1-4共通	
グレン	あぁ　もちろんだぜ　俺の心も拳も変わりはしねえよ　人を救うということは　人の弱い心を救うことだろ？　そのためには　俺自身がブレちゃ意味がねえ　俺の心と拳は常にまっすぐに　熱く燃え続けてなきゃダメなんだよ！

グレンのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	でもさ　グレンの拳って氷だよね？
分岐2-2	**ニア**
ニア	けど　グレンの拳って氷だよな？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	ふと思ったのだが――　グレンの拳は氷ではないか？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	えらい熱なってるけど　拳をよう見てみ　氷やで
分岐2-1～2-4共通	
グレン	あぁ？　――いや　ちょっと待て　確かにそうだな――　何で氷なんだ？　どう考えても　俺の方は火じゃないとおかしいだろ？　俺はいつも熱い漢なんだぞ!?　どうするんだよこれ？

グレンのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	いや　そんなこと聞かれても――
分岐3-2	**ニア**
ニア	いや　そんなこと聞かれてもな――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	いや　そう言われても　答えようがないな――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	知らんがな――
分岐3-1～3-4共通	
グレン	――よし　こうなりゃ　これしかねえ！　いいか　ドライバー　俺の拳は氷じゃねえ　青い炎だ！　見た形も何となくそれっぽいし　問題ねえだろ！　いいな！　青い炎だぞ　わかったな！

グレンのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	ちょっと無理がないか？
分岐4-2	**ニア**
ニア	ちょっと無理があるだろ
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	カグツチと被る上に　かなり無理があると思うが？
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	なんぼなんでも　無理がありすぎやろ？
分岐4-1～4-4共通	
グレン	いいんだよ！　遠目ならわかりゃしねえだろ　よし！　今日から俺は青き炎のグレンだぜ！

ルクスリア王国
営み

キズナトーク	
カグツチ	ねぇ　ヴァサラ？　こんな場所から何か見えるの
ヴァサラ	――街だ
カグツチ	それはそうよね――　で　その街に何かあるの？
ヴァサラ	――灯りだ
カグツチ	灯り？
ヴァサラ	静まり返った冷たい夜の闇の中に　温かく灯る人の証　その一つ一つに　この街に住む人の人生がある　しかし　どれほどの人間が　幸せに暮らしているのだろうか――

ヴァサラのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	ヴァサラって　時々　詩人みたいなことを言うね
分岐1-2	**ニア**
ニア	ヴァサラって　時々　詩人みたいなことを言うよな
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ヴァサラ　君は時々　詩人のようなことを言うな
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	なんやヴァサラて　時々　詩人みたいなことを言いよるな
分岐1-1～1-4共通	
ヴァサラ	詩？　我の言葉が？　我はありのままを話しているだけで　そんなつもりはないのだがな――
ドライバー	……
ヴァサラのドライバー	何か尋ねようか／何か尋ねてみよう／何か尋ねてみようか／何か尋ねてみるか
選択肢A	
レックス	どうして不殺を貫くんだ？
ニア	どうして不殺を貫くんだ？
メレフ	どうして不殺を貫くんだ？
ジーク	何で不殺を貫くんや？
ヴァサラ	そうだな――　我は人を斬らない　悪しき心を斬っている――　そういう意味では人を殺しはしないが――　相手を同情しているからではない　殺して済ますのはあまりにも簡単だからだ
カグツチ	簡単？
ヴァサラ	殺すということは　それで罪を許すということだろう？　我はそんなに容易く罪を許すつもりはない　生きて償いを続けることは　ある意味　死ぬよりも苦行だ　だから我はそうさせることで　初めて罪を償わせることができると思っている

ヴァサラのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	生きることは　死ぬよりもつらいこと　か――　やっぱりヴァサラは　詩人だな
分岐2-2	**ニア**
ニア	生きることは　死ぬよりもつらいこと　か――　やっぱり　ヴァサラは詩人だな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	生きることは　死ぬよりもつらいことか――　フム　やはり君は詩人だな
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	生きることは　死ぬよりもつらいことか――　やっぱ　ヴァサラは詩人やな
分岐2-1～2-4共通	
ヴァサラ	フッ――　我は詩人ではない　只の殺し屋だ――　悪人を斬るため　これからも力を貸してもらうぞ
選択肢B	
レックス	どうして人助けをするんだ？
ニア	どうして人助けをするんだ？
メレフ	どうして人助けをするんだ？
ジーク	何で人助けをするんや？
ヴァサラ	――難しい質問だな　世界を良くするとか　悪を滅ぼすためとか　理想を語るのは簡単だろうが――　我はそんなことなど考えてはいない
カグツチ	じゃあ　どうして人助けをしているのかしら？　この間みたいに――
ヴァサラ	人は平等であると声を上げる者が多いが　この世界は決して人に平等ではない　この世界を律する決まりは　まだまだ未熟で歪なものだからな　そんな世界では道徳や規律を破る悪人が強く　弱者はそれらに利用され不幸になる　そんな者達をせめて我だけでも　見捨てずに救ってやりたい――　ただ　それだけのことなのだ

ヴァサラのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	つまりヴァサラは目の前で困ってる人を　助けたいと思ってるってことなんだな　地道ですごく長い道のりになりそうだけど　オレ手伝うよ！
分岐3-2	**ニア**
ニア	つまり困ってる人を見過ごせないってことだろ？　いいね　アタシはそういう生き方　結構好きだよ
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	とどのつまり弱きを助け強きを挫くということか　私もその考えには賛成だ　今後も継続していきたいものだな
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	つまりヴァサラは世直しのため　悪人を斬ってるってごっちゃな　ええ理由やな――　気に入ったわ
分岐3-1～3-4共通	
ヴァサラ	フフフ――　そうだな　お前がいるから　我は迷うことなく悪を滅し　人助けができる　我がドライバーよ　これからも頼りにさせてもらうぞ

ルクスリア王国
ユウオウの提案

宿屋イベント	
ユウオウ	皆に話しておきたいことがあるのだが――

トラ	なんだも　改まって？
ユウオウ	今後の行動について気になったことがあってなどうだろう　近くのカフェで話をしないか？
キズナトーク	
ユウオウのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	なぁ　ユウオウ　こんな場所で作戦会議をするのか？
分岐1-2	**ニア**
ニア	ユウオウ――　こんな場所で作戦会議すんの？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ユウオウ　本当にこのような場所で　作戦会議をするつもりなのか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	なぁ　ユウオウ　こないな場所で作戦会議をするんか？
分岐1-1～1-4共通	
ユウオウ	たまには　気分を変えてみるのも　いいだろうと思ってな――　では　まずは　これまでの戦闘について整理をしておこう　今までの戦いを　私なりに分析してみたのだが――　五人のドライバーがいるのだから　もっと連携してしかるべきでは　ないだろうか？
トラ	なるほども　例えばトラだとハナと連携するのに必死で　アニキ達と連携することを　ふかーく考えていないってことも
ユウオウ	その通りだ　今までは　ブレイドとドライバーの連携だけで　何とかなってきたかもしれないが――
トラ	これからはドライバー間の連携も大事だと　ユウオウは思ってるも？
ユウオウ	!?　ア　アレは――　あの向こうの席のアレは何だ!?
トラ	ん？　どうしたも　ユウオウ？
ユウオウ	え？　あ　いや――　なんでもない　そう　それで今後は　ブレイドからもドライバーとの連携を――　ハッ!?　向こうの女性が食べているのは――あれは新しいスイーツだな!?　焼き菓子のようにも見えるが――　しかしあの中にあるのは――　フルーツか!?
ユウオウのドライバー	何て声をかけようか？／何て声をかけよう？／何と声をかけるべきか／何て声をかけよか？
選択肢A	
レックス	向こうにいる女性が気になるのか？
ニア	向こうにいる女性が気になんのか？
メレフ	向こうにいる女性が気になっているようだが？
ジーク	向こうにいる女性が気になるんか？
ユウオウ	いや　そうではない　気にしないでくれ――
トラ	ユウオウはさすがによく見てるも　でも　トラもユウオウが気づいたことに　気づいたも　確かにあの女の人　見覚えがあるも――　おそらくトラ達を尾行してるスパイも!!
ユウオウ	いや違う　そうじゃないんだ!　彼女は何も関係ない――
トラ	も？
ユウオウのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	じゃあ　どうしたんだ？
分岐2-2	**ニア**
ニア	じゃあ　どうしたんだよ？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	では　何があったと言うのだ？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	ほな　どないしたっていうんや？
分岐2-1～2-4共通	
ユウオウ	――――スイーツだ
トラ	スイーツ？　――どういう意味も？
ユウオウ	―実は向こうの女性が食べている　スイーツが気になってしまってな
トラ	何だ――　それならそうと早く言うも!　トラもスイーツが食べたいも!　頼んでもいいも!?
ユウオウのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	仕方ないな――　じゃ　皆でスイーツを食べながら　話の続きをしようか
分岐3-2	**ニア**
ニア	仕方ない――　それじゃ　皆でスイーツを食べながら　話の続きをしよう
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	全く　仕方ないな――　では　皆でスイーツを食べながら　話の続きをするとしようか
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	しゃーないな――　ほな　皆でスイーツを食べながら　話の続きでもしようか
分岐3-1～3-4共通	
ユウオウ	では　向こうの女性の食べているスイーツを　3つ頼みたいのだが　構わないかな？
選択肢B	
レックス	そんなにオレ達の行動に問題があるのか？
ニア	そんなにアタシ達の行動に問題があるのか？
メレフ	我らの行動に重大な問題があるのか？
ジーク	ワイらの行動が問題だらけなんか？
ユウオウ	あ――　いや　そういうわけではない　君達の行動には問題は――　!!?　なるほど――　やはりアレはフルーツだ!　しかも　何かで煮詰めているな――　一体何だ!?　蜜か？　果物の果汁か!?
トラ	どうしたも　ユウオウ？
ユウオウ	ん!?　あぁ　すまない　話の続きだったな――　そこで提案なのだが　今後は私が君達の戦闘に――　まさか!?　何――　だと!?　中に入っているのはフルーツだけではないのか!?　アレは――　クリームか!　一体　何のクリームだ？　くそ　確かめたい――　あのクリームの正体を――　知りたい!
ユウオウのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	あのさ　ユウオウ？
分岐4-2	**ニア**
ニア	あのさ　ユウオウ？
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	ちょっといいか　ユウオウ？
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	あー　あのな　ユウオウ？
分岐4-1～4-4共通	
ユウオウ	ん!?　あぁ　すまない　話の続きだが――
トラ	いや　そうじゃないも　ユウオウの独り言が　まる聞こえだったも――
ユウオウ	な　何!?

トラ	全く　スイーツが食べたいなら　格好つけずに素直にそう言えばいいも
ユウオウ	いや――　それは――
トラ	心配ないも　トラ達も食べるから何も問題ないも!　皆もそれでいいも？
ユウオウのドライバー分岐	
分岐5-1	**レックス**
レックス	――仕方ないな　で　ユウオウは何が食べたいんだ？
分岐5-2	**ニア**
ニア	――仕方ないな　で　ユウオウは何が食べたいんだよ？
分岐5-3	**メレフ**
メレフ	――仕方あるまい　それで　ユウオウは何を食べたいのだ？
分岐5-4	**ジーク**
ジーク	――しゃーないな　ほんで　ユウオウは何が食べたいんや？
分岐5-1～5-4共通	
ユウオウ	――では　向こうの席の女性が　食べているスイーツを3つ頼むとしようか

ルクスリア王国
深すぎる愛

宿屋イベント	
アザミ	ねえ　近くにいい雰囲気の場所があるんだけど　一緒に行かない？　宿屋の主人の話だと　空中宝座って場所よ　二人で行けば　きっと楽しいわよ
キズナトーク	
アザミ	はぁーあ――
アザミのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	どうしたんだ　アザミ　ここの景色が見たかったんだろ？
アザミ	もういいわ――
レックス	もういいって――　満足したのか？
アザミ	だって　退屈なの――　余計なオマケがいっぱいついてきてるから――　邪魔者抜きで私とデートしましょうよ？
レックス	はぁ？　でーと？
分岐1-2	**ニア**
ニア	どうしたんだよ　アザミ　ここの景色が見たかったんじゃないの？
アザミ	もういいわ――
ニア	もういいって　ちゃんと見たのか？
アザミ	だって　退屈なの――　余計なオマケがいっぱいついてきてるから――　邪魔者抜きで私とデートしましょうよ？
ニア	はあ？　でーと!?
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	どうしたのだ　アザミ　ここの景色が見たかったのだろう？
アザミ	もういいわ――
メレフ	どういうことだ？　ちゃんと景色を見たのか？
アザミ	だって　退屈なの――　余計なオマケがいっぱいついてきてるから――　邪魔者抜きで私とデートしましょうよ？
メレフ	デート？　私とか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	どないしたんや　アザミ　この景色が見たかったんやろう？
アザミ	もういいわ――
ジーク	何やそれ？　ちゃんと見たんかいな？
アザミ	だって　退屈なの――　余計なオマケがいっぱいついてきてるから――　邪魔者抜きで私とデートしましょうよ？
ジーク	デートって　何やいきなり？
分岐1-1～1-4共通	
アザミ	フフフッ――　いいでしょう？　貴方のこと　もっとたくさん知りたいの　綺麗な景色やおいしいものを食べながら　二人っきりで語りましょう
ヒカリ	ちょっと！　何で二人っきりなの？
アザミ	フフフッ――　おかしい？　ドライバーとブレイドなのよ？　常に二人一緒にいるのが普通でしょ？
ヒカリ	おかしいわよ　私達は仲間なんだから　皆一緒でいいじゃない
アザミ	えー　嫌よ　私は二人で話をしたいの　ねえ　私の愛しのドライバーは　どう思っているのかしら？
アザミのドライバー	どう返事をしようか？／どう返事をしよう？／どう返事すべきか？／何て返事すればええんや？
選択肢A	
レックス	皆といるのがいいな
ニア	皆といるのがいいよ
メレフ	皆といるのがいい
ジーク	皆とおるのがええな
アザミ	そう――　そうなのね――
ヒカリ	残念ね　アザミ
アザミ	いえ――　まだまだこれからよ――　愛しのドライバー　あなたの好きな食べものは？
アザミのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	好きなものか　タルタリ焼きかな――
分岐2-2	**ニア**
ニア	好きなものって　クリームオレンジパラータかな――
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	好きなものか――　カタレッタが好みだが――
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	好きなもん？　そうやな　アルマパラ肉の甘角煮やな――　あの安くて脂っぽい感じがたまらんのや
分岐2-1～2-4共通	
アザミ	フフフッ――　期待していてね
ヒカリ	何をするつもり？
アザミ	毎朝作って食べてもらうのよ　愛しのドライバーは今はまだ　皆でいるのがいいと思ってる――けれど　いつの日か毎日朝食を作る私が　いかに献身的か気づくの　アザミと離れたくない　傍にいなければダメだって　思うようになってるのよ
ヒカリ	あー　アザミって病んでるよね――
アザミ	フフフッ――　恋患いかしら
ヒカリ	そういうかわいいもんじゃなくて――　朝食に薬とか入ってそう――
アザミ	フフフッ――　愛しのドライバー　楽しみにしていてね
ヒカリ	アザミが作った料理には気をつけなさいよ

選択肢B	
レックス	アザミと二人がいいな
ニア	アザミと二人ってのもいいかもな
メレフ	アザミと二人でいるのも悪くはなさそうだ
ジーク	アザミと二人っきりってのも興味あんで
アザミ	ほんと!?　じゃあ　さっそく二人きりで　出かけましょうよ　まずはアヴァリティア商会で有名な　チャノポンを食べたいわ――　それから雲海に沈んでいくタ陽を見た後は　ウズシオを借り切って　グーラに向かうの　ノポン族が奏でる音楽をききながらディナーを楽んで――　二泊三日のクルーズの後は　トリゴの街のスイートルームに泊まるのよ
ヒカリ	ちょっと待った!　新婚旅行じゃないんだから!　いい加減にしておかないと　ドライバーも困ってるでしょ
アザミ	そうかしら？
ヒカリ	そんなんじゃ　いつかドライバーに嫌われるわよ？
アザミ	そんな――!?
ヒカリ	アザミがドライバーのことが　大好きなのはよくわかったけど　相手のことも考えなきゃ
アザミ	――そう　かもしれないわね
ヒカリ	そうなの　だから　二人で出かけるとしても　ほどほどにするのよ
アザミ	わかったわ――　残念だけど――　トリゴの街に到着するまでにしておくわね
ヒカリ	全然わかってない!

ルクスリア王国
儚い

宿屋イベント	
店主	ゆっくりお休みになられましたか？　一件言伝がありますよ　テオスピティ神殿で待つ　テンイを連れて来い――　とのことです　男性が来られたんですが――　すぐに帰られたので　お名前もわからないんですよ　でも　確かにお伝えしましたからね!
キズナトーク	
ゼーリッヒ	封印されしブレイドを蘇らせたのだな――
テンイのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	王様――
分岐1-2	**ニア**
ニア	王様――
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	ゼーリッヒ王――
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	親父――
分岐1-1～1-4共通	
ゼーリッヒ	ここに来るのは随分と久しぶりだ　子供のころはよく遊びにきたものだが――
ドライバー	……
ゼーリッヒ	このテオスピティ神殿が　なぜ破壊されたか知っているか？
テンイのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	さあ　わかりません――
分岐2-2	**ニア**
ニア	さあ　知らないな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	存じ上げません
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	大昔から壊れてるのは知っとるけど　原因までは知らへんな
分岐2-1～2-4共通	
ゼーリッヒ	ブレイドの暴走だ――　あまりに強大な力ゆえドライバーにも制御できなかったという――　暴走したブレイドは誰にも止められず　ドライバーが自決することで　ようやく収束したらしい　そしてコアクリスタルは　封印することになった　戒めの意味も込めて　災厄を起こしたこの神殿の跡にな
テンイのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	暴走したブレイドって　もしかして――
分岐3-2	**ニア**
ニア	暴走したブレイドって　もしかして――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	暴走したブレイドとは　もしかすると――
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	暴走したブレイドってのは　まさか――
分岐3-1～3-4共通	
ゼーリッヒ	そう　そこにいるテンイだ――
テンイ	私には記憶はない――　だが　腑に落ちる話だ　時折感じることがある――　底知れぬ自分の力を――　王よ――　私は罰を受け入れる――　コアクリスタルを砕き　永遠に葬り去ればいい――
テンイのドライバー	テンイに何て声をかけよう？／テンイに何て声をかけよう？／テンイに何て声をかけるか？／テンイに何て声をかけるか？
選択肢A	
レックス	その判断を尊重するよ
ニア	その判断を尊重するよ
メレフ	君の判断を尊重しよう
ジーク	テンイの判断を尊重すんで
テンイ	感謝する――　では　王よ――
ゼーリッヒ	待て　その判断は早いのではないか？　伝承通りなら　テンイの力は　これからの戦いで頼りになるはずだ　テンイよ　そなたのドライバーには素質と力がある――　なによりも強い意志が――　それに天の聖杯も　行動を共にしているのだぞ？　数百年前のドライバーとは明らかに違うのだ　お前は暴走の心配をすることはない　私がここに来たのは　そなたを封印するためではなく――　その力を存分に発揮し　ドライバーの助けとなるよう話にきたのだ
テンイ	――
ドライバー	テンイ――
テンイ	従おう　それが私の罪を償うことに　なるのであれば――
ゼーリッヒ	フッ――　まだ理解してもらうには時間が掛かるか　だが　頼んだぞ
テンイのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	ああ　テンイのことは任せてよ

分岐4-2	ニア
ニア	ああ　テンイのことは任せてくれよ
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	承知いたしました　テンイのことはお任せを
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	おう　テンイのことは任せとき
選択肢B	
レックス	オレなら暴走を防げる
ニア	アタシなら絶対に暴走させない
メレフ	私なら暴走を防いでみせる
ジーク	ワイなら暴走させへんけどな
テンイのドライバー分岐	
分岐5-1	**レックス**
テンイ	レックス――
分岐5-2	**ニア**
テンイ	ニア――
分岐5-3	**メレフ**
テンイ	メレフ――
分岐5-4	**ジーク**
テンイ	ジーク――
分岐5-1～5-4共通	
ゼーリッヒ	ハッハッハ―― 思った通りだな　テンイよ　そなたのドライバーは　そなたのことを信じているようだぞ　そして私は　ドライバーのことを信じている　例え　テンイが過去を知ったとしても　気に病むことはない――　過去にとらわれず　ドライバーの力となれ――　そう伝えに来たのだ
テンイ	しかし　私は罪を償わなければならない
ゼーリッヒ	そう考えるのは仕方のないことかもしれんが　罪の償い方は一つではない　これから激しさの増すであろう戦いで　ドライバーの力となるのも償いの一つだ
テンイ	そうだろうか――
テンイのドライバー分岐	
分岐6-1	**レックス**
レックス	ああ　テンイの力が必要なんだ　だから　過去の出来事に囚われず　一緒に戦って欲しい
分岐6-2	**ニア**
ニア	そう　テンイの力が必要なんだ　昔のことになんて囚われずにさ　一緒に戦ってよ！
分岐6-3	**メレフ**
メレフ	ああ　テンイの力が必要なのだ　だから　過去に囚われず　私達と一緒に戦って欲しい
分岐6-4	**ジーク**
ジーク	せや　テンイの力が必要なんや　昔のことに縛られることはあらへん　一緒に戦って欲しいんや
分岐6-1～6-4共通	
テンイ	わかった――　努力しよう――
ゼーリッヒ	案するな　お前がどうなろうと立派なドライバーが　ついているのだからな
テンイ	王よ――　感謝する
ゼーリッヒ	ああ――　期待しているぞ

エルピス霊洞	
500年に渡る役目	
宿屋イベント	
レックス	じっちゃん　ちょっと話したいことがあるんだ
じっちゃん	なんじゃ　かしこまって　話くらいいくらでも聞いてやるぞ
レックス	じゃあ　エルピス霊洞の　骸の谷に行ってから話すよ
じっちゃん	わざわざ遠いところにいくんじゃなぁ
キズナトーク	
レックス	なぁ――　じっちゃんって　この場所を守ってたんだよな？
じっちゃん	そうじゃぞ　500年に渡ってな
レックス	でもさ　オレが小さい頃――　イヤサキ村にいたとき　そんなそぶりはちっともなかったよな？
じっちゃん	この300年は静かなもんじゃったからの　人の世は200年も経てば　伝説になったり　架空の出来事のように思われるみたいじゃな　大昔はドライバーが入ったりしておったが　その数も減って行ったよ　それにリベラリタスの生まれてなければ　ここの入口は開かん　寂しいことにイヤサキ村の人口は　徐々に減っておるしの　この場所のことを知る者は減る一方じゃ
レックス	そっか――
ニア	じーさんも昔は活躍してたんだな
じっちゃん	今もしとるじゃろ！？　ワシがここのことを教えてやったんじゃぞ！？
ニア	はいはい――
じっちゃん	まったくニアは若い頃のコルルみたいじゃな
レックス	えっ！？　そうなの！？
ニア	なんだか　嬉しくないような――
じっちゃん	彼奴も活発でのう　子供のころ　ここに入ったこともあるぞ
ニア	勇敢だな――
じっちゃん	まあ　橋の手前で引き返したがの　この場所に怖れを感じたんじゃろうな
レックス	そりゃあ　お守り様の奥ぢもんね　イヤサキ村で育ってたらそういう感情はあるかも
じっちゃん	怖れがあるから敬える――　畏怖という言葉があるくらいでな　イヤサキ村の者は皆　この場所の重要性を肌で理解しとるんじゃ
レックス	何て声を掛けようか？
選択肢A	**それはじっちゃんのおかげだよ**
レックス	ずーっと長い間　この場所を守り続けていたんだろ？　イヤサキ村の皆が　お守り様を大切に思うのは　じっちゃんがいてくれたからだと思うな
ジーク	確かにこの場所の意味を伝えてくれる　誰かがおってなんぼやな
メレフ	もしセイリュウという巨神獣がいなければ　この場所は本当に忘れ去られたかもしれないな
じっちゃん	そういう風に言われたことは　今までなかったのう――
ニア	500年もの間　お疲れさまだね
レックス	うん　お疲れさま
じっちゃん	……　ワシが少しみじみと思うのは――　この姿になってレックスたちと共に　旅ができてよかったということじゃな　身体が大きいままだったら　ここに来て　その言葉を聞けなんだ――!!
ジーク	もっとええ話が聞けると思ったら　そんなことかい!
じっちゃん	ふぉっふぉっふぉ――

選択肢B	村以外の人はどう感じるのかな？
じっちゃん	イヤサキ村以外の人間が――　最近は誰も入っておらんが　四百年前にはイヤサキ村の若者と　一緒に探索に入ったりしとったな　やはり外の人間はこの場所を　遺跡の一つにしか思っとらん　ワシはここの入口で説得を試みたが　理解はしてもらえんかったのう　じゃが　戦ってまで　止めようとまではせんかった　どうせ最後まで辿りつくことは　できんからの――　じゃから帰らぬ冒険者が　増えるばかりじゃった
メレフ	だが　その不謹の輩のおかげで　この場所は畏怖すべき対象になったのかも　しれないな
ジーク	入ったら誰も帰ってこない遺跡なんて　そりゃおっそろしいと思うわな
じっちゃん	確かにそういう側面もあるじゃろうな
ニア	そういう人たちを見ながら　500年もここを守ってたんだろ？　確かに大変だったな――　さっきは軽口叩いてゴメン――
じっちゃん	気にするでない　ニア　お前さんの口の悪さは　よーくわかっとるからの　本当は心優しいってこともものぉ
ニア	うぐっ――　言い返したいけど　今は言い返せないー―!

エルピス霊洞	
死後のこと	
キズナトーク	
メレフ	見事な遺跡だな
カグツチ	ええ――　スペルビアでは見られない構造ですね――
ジーク	ルクスリアにも遺跡はめっちゃあるけど　ここまで規模の大きいのはあらへんな
サイカ	ここの巨神獣の特徴なんやろね
ジーク	というか　ここはどういう造りになっとんのや？
じっちゃん	ワシが以前説明してやったじゃろう
ジーク	ワイはたぶん　聞いてへんで
レックス	まだジークが仲間に　なってない時じゃなかったっけ？
じっちゃん	そ　そうじゃったかのう――　だったらもう一度話してやろう　リベラリタス島嶼群は山のような雲海と　巨神獣が島のように集まっているのが特徴じゃ　小型の巨神獣は　大きな巨神獣の周りをまわっておるのじゃが――　その大きな巨神獣というのは　雲海の山脈の中心におるんじゃ
ジーク	つまり――　こないに大きな遺跡があるこの場所は　大きな巨神獣の中やってことか
じっちゃん	うむ　その通りじゃ
サイカ	へえ　すごい場所にあるんやね
レックス	それにしてもこの遺跡ってどうやって　造ったんだろうな？　お守り様から　石を運び入れたわけじゃないだろうし――
メレフ	この大型の巨神獣が　雲海の中に入る前に　造られたものではないのか？
ジーク	なるほどな　最初は普通の巨神獣と　同じやったちゅうことか　その後　いつしか雲海の山脈ができはじめ　今のリベラリタス島嶼群になったんやな
メレフ	ああ　それならば　造れるだろう　が　今の時代はこのように　巨大な遺跡を作るのは困難だろうな
カグツチ	そうですね――　労働力もなければ　新しい土地もありません　スペルビアにもインヴィディアにも　ルクスリアにも　こういった遺跡は造れないでしょうね
ジーク	――サイカ　もしワイが死ぬときは　ここまで立派にせんでもええからな
サイカ	一心同体のウチに託されても困るわ　でも　王子のことやから墓石やのうて　雪だるまくらいがお似合いやと思うで
ジーク	ワイの墓は　テオスアウレの裏門かい！　まあそれでもええけどな
レックス	いいんだ――
ジーク	ワイの墓は決まったとして――
ジーク	誰に尋ねようか？
選択肢A	**レックスの墓はどこや？**
レックス	オレの墓!？　考えたことなかったな
サイカ	レックスは若いからな
ジーク	ワイはおっさんやっちゅうんかい！
レックス	パッと思いつくのは　イヤサキ村にある両親と同じ墓かなぁ
ジーク	このエルピス霊洞でもええんちゃうか？
レックス	ええっ　それはちょっと――
サイカ	そうや　ここは寂しすぎて孤独死してしまうで
ジーク	もう死んどるっちゅうねん
レックス	皆の近くがいいと思うな　今はよく分からないから　たぶん　だけどね
ジーク	ま　レックスらしい答えやな
選択肢B	**メレフの墓はどこや？**
メレフ	私は既に決まっているぞ　スペルビア帝国に代々伝わる――
ジーク	皆まで言うな　予想通りの回答やな
メレフ	なっ!？　では　もう一度尋ねてくれ　次はひねって見せよう
カグツチ	メレフ様　無理に意地を張らなくても――
メレフ	知っているだろう？　私は負けるのが嫌いなのだ
ジーク	なら　いくで――　メレフの墓はどこや？
メレフ	デオスアウレの裏門の雪だるまだ！
ジーク	はっ!？
サイカ	まさかルクスリア王家に嫁ぐってことなん？
メレフ	っ！　そういうわけではない！　ジークのボケをまねただけで――　これならイヤサキ村の墓だと言うべきだったか――!
レックス	ええっ!？
カグツチ	いえ　それもそれで――
メレフ	くっ!
ジーク	はっはっは！　メレフはボケに関しては　まだまだみたいやな
じっちゃん	まったく　若いもんはええのう　こんなところでも呑気にやっとるわい

エルピス霊洞	
不屈の意志	
宿屋イベント	
トキハ	すみません　みなさん　少し付き合っていただきたい場所があります
ジーク	なんや　あらたまって　どないしたんや？
トキハ	エルピス霊洞の審判の碑へ行ってみたいのですが　よろしいでしょうか？
ニア	別にいいけど――　あそこはブレイドにはキツいよ
トキハ	望むところです
キズナトーク	
トキハ	ふぅ――　ここは素晴らしい眺めですね　どのようにして　このようなものを建造したのか　興味深いです　くっ――
トキハのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	やっぱりブレイドには　厳しい場所だよな――
トキハ	いえ――　この程度　何ともありません
レックス	いや　でもさ――　大丈夫か　トキハ？
トキハ	問題――　――ありません
レックス	それにしても　どうしてここに来たかったんだ？
分岐1-2	**ニア**
ニア	ブレイドにはキツいよな　よーくわかるよ
トキハ	いえ――　この程度　何ともありません
ニア	トキハ　無理はしない方がいいって
トキハ	問題――　――ありません
ニア	それにしても　どうしてこの場所に来る必要があったんだ？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	やはりブレイドには厳しい場所だな
トキハ	いえ――　この程度　何ともありません
メレフ	だが――　相当無理をしてるだろう？
トキハ	問題――　――ありません
メレフ	それにしても　なぜこの場所に来る必要があったのだ？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	ブレイドにはキッツい場所やな　ワイにもようわかるけど――
トキハ	いえ――　この程度　何ともありません
ジーク	せやけど　やせ我慢してるやろ？　変な汗かいてへんか？
トキハ	問題――　――ありません
ジーク	それにしてもなんでここに来たんや？
分岐1-1～1-4共通	
トキハ	なぜだと――　思いますか？
トキハのドライバー	何て答えようか？／何て答えよう？／何と答えようか？／何て答えようか？
選択肢A	
レックス	英雄アデルに会いたかったから？
ニア	英雄アデルに会いたかったから？
メレフ	英雄アデルに会いたかったからか？
ジーク	英雄アデルに会いたかったからやろ
トキハ	そうです――　厳密には会うためではなく　知りたかったという理由ですね
選択肢B	
レックス	つらいことが好きだから？
ニア	つらくて苦しいことが好きだから？
メレフ	つらいことが好きだからか？
ジーク	つらいことが好きやからやろ
トキハ	なっ!？　勘違いしないでください！　決してそのような趣味はありません！　確かにここに来ると　想像以上に苦しい思いをしますし――　ただこれも修行の一環だと思い　耐えていますが――　断じて辛いことや苦しいことが　好きだからではありません！　くっ!
トキハのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	そ　そっか――　でも　それならどうしてここへ？
分岐2-2	**ニア**
ニア	そ　そうだよな――　だったら　どうしてここへ来たかったんだ？
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	さすがに見当違いだったか――　だが　どうしてここへ来たかったんだ？
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	そうか　真っ当な趣味しとったか　ほな　何でここへ来たかったんや？
分岐2-1～2-4共通	
トキハ	それは――　英雄アデルのことを　少しでも知りたかったのです
選択肢AB共通	
トキハ	ホムラやヒカリにカグツチ　それからシンやメツも英雄アデルに関係があります　私は過去を知ることで　現在を理解したかった――　歴史を知ることで　私達が今　戦う意味も　より明らかになると考えたのです　そうすれば　私の槍は　迷いなく倒すべき相手を　貫くことができるでしょう
トキハのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	トキハは真面目すぎるよ　そこまでやることないんじゃないかな
分岐3-2	**ニア**
ニア	トキハは真面目すぎるよ　そこまでやらなくても――
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	トキハ　真面目すぎるのも考えものだぞ　今の君は普通じゃない
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	トキハは真面目すぎるんとちゃうか　何もそないになってまで――
分岐3-1～3-4共通	
トキハ	いえ　この程度　当然のことです　ドライバーの剣となり盾となるのが　私の役目ですから　一点の曇りもないようにしておきたいのです　さあ　もう少しこのエルピス霊洞を　調査しましょう　くっ―― ――いえ　心配ありませんから　先に進みましょう
トキハのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	トキハの意志の強さは　よくわかったけど――　今回はこの辺で　引き上げた方がよさそうだな――
分岐4-2	**ニア**
ニア	トキハの意志の強さは　よくわかったけど――　そろそろ帰らないと　トキハが持ちそうにないよな――
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	トキハの意志の強さは　よくわかったが――　私が止めないと　限界を越えても進みそうだな
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	トキハの意志の強さは　ようわかったけど――　そろそろ引き返さんと　トキハが倒れてまうな

モルスの断崖
メレフの弟

キズナトーク	
メレフ	……
ホムラ	メレフさん　こんな所にいたんですね　――どうかしたんですか？
メレフ	あ　いや　ちょっと考え事をな
ホムラ	――何か心配ごとでも？
メレフ	あぁ　その――　弟のことで少しな
ホムラ	ネフェル皇帝のことですか？
メレフ	あぁ――　無理をしていないかと心配でな
ホムラ	ネフェル皇帝って　随分とお若いですよね
メレフ	あぁ　国の重責を担うには　少し若すぎるかもしれないな――
ホムラ	二人でお話をしたりはしないんですか？
メレフ	特別執権官として　報告は常に行っているが――
ホムラ	そうじゃなくて――　姉弟の話ですよ　普通に家族の会話をしないんですか？
メレフ	姉と弟の会話か――　恥ずかしい話だが　私も皇帝も　普通の会話というのがよくわからないのだ
ホムラ	難しく考えることはないですよ　お仕事以外の会話なら　なんだっていいと思います　まずは会いに行くのはどうですか？
メレフ	いや　向こうも多忙の身だからな――　私と雑談するなど――　邪魔になるだけだよ
ホムラ	どうお返事しましょう？
選択肢A	**お姉さんと会うのは嬉しいはずです**
ホムラ	お姉さんが会いに来るとなれば　ネフェル皇帝だって喜ばれるはずですよ
メレフ	――ありがとう　ホムラ　だが　やはり私と弟は普通の家族ではないのだ　スペルビア皇帝とその臣下である特別執権官――　私と陛下では立場も生きる道も違うのだ　ごく普通の姉弟の会話など　できるはずもない――
ヒカリ	そんなことないわ　家族や姉弟って関係に　立場が影響すると思う？
メレフ	ヒカリ!?　いつの間に――
ヒカリ	何かじれったくなっちゃってね　メレフとネフェル皇帝は　本当の家族なんでしょ？　だったら　皇帝であろうと　一人の弟なのよ　それにどうして悩む必要があるの？
メレフ	とは言えだな――　長い間　姉と弟という立場で考えたことがないのだぞ
ヒカリ	私とホムラだって　長い間　話してなかったわよでも　すぐに仲良しよ
メレフ	いや　それは同――
ヒカリ	黙って！　アンタが弟のことを気にかけてる時点でもう十分に家族なのよ　だから　立場がどうとか気にしなくていいの　姉として当然の振る舞いをすればいいのよ
メレフ	うぅむ――　そうだろうか――
ヒカリ	そうよ　決まってるじゃない　弟といっぱい楽しい話をして　たくさん甘えさせてあげればいいのよ
メレフ	――そうだな　普通の姉になれるように努力してみるよ
ヒカリ	今度　皇帝に会ったときは絶対だからね
メレフ	わかった――　約束する
ヒカリ	あー　これでスッキリね　レックスもメレフも考え込む癖があるから　やきもきするわ
メレフ	フッ――　助言をありがとう　ヒカリ
ヒカリ	どういたしまして
選択肢B	**もしかして皇帝に会いたくないんですか？**
ホムラ	もしかしてメレフさんは　ネフェル皇帝にお会いしたくないんですか？
メレフ	いや　そういうわけではない　私も会って　ゆっくりと話がしたいとは思うのだ　ただ　お互い立場が　邪魔をしてしまってな――
ホムラ	立場って――　皇帝だからですか？
メレフ	そうだ　私は弟が帝位につく際に　自ら弟を守る盾になることを志願した　そしてその時に　お互い家族であることを捨てたのだ
ホムラ	――メレフさん
メレフ	勘違いしないでくれ　私はその生き方を後悔はしていない　弟とスペルビア帝国を守ることができるのだ　姉として　これ以上の喜びはない
ホムラ	…… ――私はブレイドで家族はいないから　家族の絆にすごく憧れているんです　メレフさんとネフェル皇帝は既に　すごく強い絆で結ばれているじゃないですか　なのに　どうして会いに行かないんです？　互いを思いやっているということは　ゆっくりお話をすることも　許されるんじゃないですか？　私なら――　ゆっくりお話ししたいって思いますよ
メレフ	……
ホムラ	きっとネフェル皇帝だって　お姉さんとお話がしたいと思ってますよ　だって　家族ってそういうものですよね？　絆って　そんなに簡単に　断ち切れるものじゃないですよね？
メレフ	――ホムラ
ホムラ	まずは会って話をしましょう　皇帝とか臣下だとかそんなことは関係ないんです　姉が弟に話をするのに　理由なんか必要ないですよ！　きっとネフェル皇帝も　それを望んでいるはずです
メレフ	フッ　そうだな　ホムラの言う通りかもしれない　私は自分自身で　弟との間に壁を作っていたのかもしれないな
ホムラ	まずは　その壁を　壊すことから始めましょう！
メレフ	あぁ　がんばってみるよ　ありがとう　ホムラ

モルスの断崖
今も変わらないもの

キズナトーク	
レックス	なぁ　メレフはジークのこと　昔から知ってたのか？
メレフ	ああ　直接話したことはないが　顔ぐらいはな
カグツチ	彼がルクスリアを発ってすぐでしょうか　我が国を表敬訪問したことがありましたよね
メレフ	確かにあったな――
レックス	何て質問しようか
選択肢A	**その頃はどんな様子だった？**
カグツチ	そうですね――　黒すくめに変な口調の怪しい男を捕えたと　報告を受けましたよね
メレフ	ああ――　皇宮の入口で衛兵が捕え　牢に閉じ込めそうになったことがあったな
レックス	今と変わらず胡散臭い感じだった　ってことだな――
カグツチ	彼が寛容だからよかったものの　国際問題に発展しかけましたね
メレフ	ああ　彼の度量に感謝せねばなるまい
レックス	でも　ジークらしいな　その光景が想像できるよ
サイカ	フフフ　ウチの王子の武勇伝は　そんなもんやないで！
カグツチ	もっとひどいのがあると？
サイカ	ようさんあるでぇ　不幸が鎧着て歩いてるようなもんやからな　インヴィディアを訪問したときなんかは　新人の傭兵と間違えられて　二泊三日の訓練に行かされたんや　王子は他国の訓練に参加できるなんて　めったなことやないでと言って　喜んでたけど――　ウチにとっては最悪以外の　何物でもなかったな――　ご飯はアルマのエサみたいなもんやし　お風呂もあらへんし――
カグツチ	それは災難だったわね
メレフ	しかし　そんな扱いを受けても　国際問題にならなかったところをみると――　ジークの器は相当なものだな
サイカ	たぶん　何も考えてへんだけやと思うで――
レックス	いや　オレはそんなことないと思うけどなぁ　どんな状況に陥っても　前進する力に変えるところがさすがジークよ！
サイカ	王子がその言葉を聞いたら　涙流すと思うわ――
選択肢B	**メレフは興味がなかったのか？**
メレフ	興味はあった――　その頃からルクスリア随一のドライバーと　誉めそやされていたからな　手合せを願いたかったが　あいにく私には任務があったのだ
カグツチ	私も興味はありましたが――　残念でしたね
レックス	今は手合せしたいとか思わないのか？
メレフ	思わないな――　今は隣でその腕前を見ることができる　頼もしい限りだと思っているよ
カグツチ	そうですね――　少々変わった性格をしてますが　腕前は疑いようがありません
レックス	そっかぁ――　オレは興味あったけどね　二人が手合せするの
メレフ	ふむ――　機会があれば　ジークと手合せするのも悪くはないな　切磋琢磨とか言おうか――　互いに長所や欠点を　知るのはいいことだからな
カグツチ	レックス――　あまりメレフ様を焚き付けないですぐに真に受けるのだから
レックス	ごめん――

モルスの断崖
カサネは振り返らない

宿屋イベント	
カサネ	聞いてください！　起きてすぐに占いをしたんです　夕方にモルスの断崖の　ゲトリクス神託跡地へ行くと　きれいな夕日が見えるだろうって――　行ってみたいですよね――　ですよね？
キズナトーク	
カサネ	見てください！　綺麗な夕陽ですねぇ――　ここまで見に来てよかったですね――　心に残る美しい景色です――　ずっと眺めていたい――
ドライバー	……
カサネ	って、あれ――？　何だか徐々に雲行きが――　うーん　私って　もしかすると　雨女なのかもしれません――　からっとした天気なのに　急に雨が――　それどころか雪に霰に雹が降るってこともありましたので　自分は雨女かもって思うんです　でも　一度に二つの光景を楽しめるなんてすごくお得なことですよね？
カサネのドライバー	何て答えよう？／何て答えよう？／何て答えようか？／何て答えよか？
選択肢A	
レックス	カサネはいつでもポジティブだね
ニア	カサネってポジティブだよな
メレフ	カサネはいつでもポジティブだな
ジーク	カサネはいつでもポジティブやな
カサネ	はい　私は何があってもポジティブですよ！　せっかくの夕日が雨によって台無しにされても――　この前　お店で買った幸運を呼ぶ石が　すぐに真っ二つに割れても――　私は前向きでいたいんです　どんなに辛くても立ち止らず　前を向いて進む人の元にこそ　幸せはやってくると思うんです　それに例えば　ドライバーに悲しいことがあっても　私が前向きだったら　少しの気休めになるかもって思うんですよ　ブレイドはドライバーを支えてこそ！　ですもんね
選択肢B	
レックス	背中のお面をお祓いしてもらった方がいいかも
ニア	背中のお面をお祓いしてもらった方がいいかもね
メレフ	背中のお面をお祓いしてもらった方がいいかもしれないな
ジーク	背中のお面をお祓いしてもろた方がええんとちゃうか
カサネ	ええっ!?　このお面　かわいくないですか？　すっごくチャーミングだと思うんですけど!?　それに幸運を招いてくれるんですよ！　お祓いするなんてとんでもないです！
カサネのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	えっと――　でも　戦闘の時のカサネを見ると　戦々恐々としちゃうときがあるよ　お面を被って相手を容赦なく攻撃するんだ
分岐1-2	**ニア**
ニア	いやいや　絶対にお祓いしてもらった方がいいって　戦闘の時　カサネがお面を装着すると　人が変わったように敵をボコスカ　攻撃するんだよ？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	うぅむ――　誰かがはっきり言わないと気付かないか――　カサネ　戦いのときの君は少しおかしいんだお面を被って　一心不乱に敵を攻撃しているんだぞ
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	いや、せやけど、戦闘になると　ごっつ禍々しいオーラ出てんで　カサネがお面被って　ボッコボコに敵を攻撃してる時もあるくらいや
分岐1-1～1-4共通	
カサネ	あはは っ　私がそんなことするわけないじゃないですかぁ
ドライバー	……
カサネ	あれ？　でも、私、戦闘に夢中になっちゃう時があって　その時は記憶があまりなかったりするんですよね　でも　きっと集中しすぎてるからだと思うんですよ　皆さんをお守りするにはそれはもう　たくさんの集中力が要りますから　まさに無我夢中なんです
ドライバー	……
選択肢AB共通	
カサネ	さてさて――雨が強くなってきましたし　名残惜しいですがそろそろ帰りましょうか　今日はあなたとここに来られてよかったです　おかげで楽しい時間を過ごせました
ドライバー	……
カサネ	私は幸せ者ですよね？　素敵なドライバーと素晴らしい仲間と　一緒にいられるんですから　この幸せを世界中に広めつつ　そして、ますます幸せになるためにがんばりましょう！

モルスの地
ヒカリvsカグツチ

キズナトーク	
ヒカリ	ここならゆっくり休めそうね――
カグツチ	ねえ　ヒカリ　ちょっといいかしら？
ヒカリ	何　あらたまってどうしたの？
カグツチ	過去の記録を読み返してみたんだけど　私はあなたと訓練がてら何度も戦ってるじゃない？　でいつも私が　負けてたみたいなんだけど――
ヒカリ	仕方ないわよ　かなりいい線までいってたけど　実力の差ってやつかな　で　それがどうしたの？
カグツチ	いえ　それがね　記録だと一度だけ　私が勝ったことがあるみたいなのよね
ヒカリ	――え？
カグツチ	詳しいことは書かれてないのよ　でも　天の聖杯に勝つなんてよっぽどのことじゃない？　だから　どうやって勝ったのか　知っておきたいと思って――
ヒカリ	――ウソよ
カグツチ	え？
ヒカリ	その記録はウソ！　私は負けてなんかいないわ
カグツチ	ウソじゃないわよ　日記にちゃんと記録されてるもの
ヒカリ	いつの話？　どの勝負のこと？
カグツチ	イーラ辺境のキャンプ地で　演習の最終日の話よ
ヒカリ	――そんな事実は無いわ　ぜーったいウソ！
カグツチ	何て反論しましょうか？
選択肢A	**私の記録が間違ってるって言うの？**
ヒカリ	だって　その戦いは無効のはずよ！
カグツチ	無効ってどういうこと？
ヒカリ	あの時はカスミと模擬戦をした後だったのに　あなたがどうしてもって言うから　相手になってあげたのよ　だから　勝負にはカウントされないわ！
カグツチ	なるほど　負けを認めるのがイヤなのね？
ヒカリ	だから負けてないって言ってるでしょ！
カグツチ	全く子供みたい　大体他の勝負だって　僅差で勝っただけでしょう？　自慢になんかならないわよ
ヒカリ	――へえ　その減らず口も　あなたの日記に書いてあるのかしら？
カグツチ	言ってくれるわね　何なら今ここで試してみる？
ピャッコ	ちょちょっと待ってください！　二人共！　ケンカはダメですよ！
ヒカリ	ケンカじゃないわよ
カグツチ	そうよ　これは訓練よ　さぁ　準備をしなさい　長年の決着をつけてあげるわ
ヒカリ	今度こそはっきりと　私のほうが上だって　わからせてあげる
ピャッコ	ちょっと待ってくださいよ！　誰か二人を止めてください！
選択肢B	**私がウソツキみたいな言い方じゃない！**
ヒカリ	その通りじゃないの？　その勝負は私が疲れてるところを狙って　戦いを仕掛けてきたんでしょう？　卑怯者としか言いようがないわよ
カグツチ	よく言うわ――　いつもギリギリの勝負で　接戦だったって書いてあるわ　実力はほとんど拮抗してたまに私が勝ってもおかしくはないんじゃないかしら？
ヒカリ	ちょっと　なんでそんなことを事細かに記録してるの？　その日記を貸しなさいよ　私が訂正するわ！
カグツチ	やめてよ！　私の日記にウソを書かないで！
ピャッコ	あ　あのー
ヒカリ	何!?
カグツチ	何よ！
ピャッコ	二人ともケンカはよくないと思いますが？
カグツチ	ケンカなんてしてないわよ！　怪我したくないならあっちに行きなさい！
ヒカリ	そうよこれはスキンシップみないなものなの！　ピャッコは黙ってて！　カグツチ　今日こそ私の強さを思い知らせてあげるわ！
カグツチ	ヒカリ　あなたこそ　皆の前で恥をかくことになるわよ！
ピャッコ	――ええと　あれはあれで　仲がいいってことなんでしょうか――？

モルスの地
前人未到のモルス

キズナトーク	
ニア	まさか雲海の下がこんな光景だなんてな
レックス	ああ――　サルベージャーが潜る限界深度を　越えた先にこんなに広い空間があるとは　思わなかったよ
ジーク	こんなに広い空間は　アルストのどこを探してもないやろうな
ニア	昔はここに人が住んでたのかな？　今アタシ達がいる建物みたいなのが　向こうの方までずっと続いてるとしたら――　相当な数の人が　ここにいたってことだよな？
ジーク	せやな　ただ人の数もさることながら　この建物を辺り一面に作るなんて尋常やないで
レックス	想像できない世界だな――　サルベージでオレ達には使い方や仕組みが　わからないお宝を　たくさん手に入れてきたけど――　この世界が由来だっていうなら　納得できるな――
ジーク	せやけど　いつの時代でも　文明っていうのは人の業によって栄え　その業によって滅ぶもんなんやな
レックス	悲しいよな

ニア	ここってどうして滅んだろう――
レックス	どう答えようか？
選択肢A	**雲海ができたからかな？**
ジーク	どこからか雲海が発生して　このモルスの地を覆ったと？
レックス	うん　それで作物は育たなくなり　人は生きていけなくなったんだ　だから　人は雲海の上で　生活をするようになった――　違うかな？
ジーク	ワイの考えは逆やな　レックスの考えは雲海が発生して　問題が起きたから　人は巨神獣の上で暮らしてるってことやんな　ワイは問題が起きたから　雲海と巨神獣ができたんやと思ったんや　モルスの地に住めんようになったから　人は住める場所を別に作ったってわけや
レックス	うーん――　ニアはどう思う？
ニア	アタシは――　わかるか！　100年や200年前のことじゃないんだ　もっともっと昔のことなんて考えてわかると思う？
ジーク	わからんから想像するんやろ？
ニア	そうだけど　やっぱりここで考えていても仕方ないよ　まだこの場所のことは　一握りしかわかってないんだから　くまなく探索してみようよ
ジーク	まっ　それもそうやな
選択肢B	**きっと戦争があったんだ**
ジーク	そうやな――　悲惨な戦争があったんかもしれんな
ニア	でも　それでこんなに壊れちゃうか？　大変地異があったってのは？
ジーク	その可能性も否めんやろうけど　このずっと先まで同じ状態になるか？　よう見てみ　どこまでもここと同じ感じや
ニア	うーん――　でも　それは戦争でも同じことが言えるだろ　こんなに広い範囲が　破壊されるなんてありえるのか？
レックス	それは――　オレ達が知らないような　強力な兵器があるとか？
ジーク	あるいはめちゃくちゃ数が多いとかやな　500年前の戦争は　ものすごい数のブレイド達が戦ったそうや
ニア	それと同じことがあったって？
ジーク	それはわからんけど――　もっとこのモルスの地を　探し回って考えようや
選択肢AB共通	
ジーク	ワイらの理解の範疇を越えてる場所やからな
レックス	うん　正直、ちょっとだけワクワクもしてるんだ　オレ

モルスの地
自信あります

キズナトーク	
ライコ	うん　うん！　えへへ
ホムラ	何か楽しそうですね　ライコ
ライコ	えへ　わかります？
ライコのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	どうしたんだ？　いいことでもあったのか？
分岐1-2	**ニア**
ニア	どうしたんだ？　いいことでもあったのか？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	どうしたのだ？　良いことでもあったのか？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	どないしたんや？　ええことでもあったんかいな？
分岐1-1～1-4共通	
ライコ	はい！　このあたりって　雷の力が必要な所がいっぱいあるから――　わたしの力の見せどころだなって
ホムラ	すごく力の使い方がうまくなったし　大活躍ですよね！
ライコのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	うん　ライコがいなかったら　ここまで順調には進めなかっただろうね
分岐2-2	**ニア**
ニア	そうだね　ライコがいなかったら　ここまで順調には進めなかっただろうな
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	確かに　ライコがいなかったら　ここまで順調には進めなかっただろうな
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	せやな　ライコがおらんかったら　ここまで順調には進まれへんかったやろな
分岐2-1～2-4共通	
ライコ	えへへ　皆さんにそう言われると　わたしすごくうれしいです！　もう皆さんをビリビリさせたりはしませんよー
ライコのドライバー	どう返答しようか？／どう返答しようか？／どう返答すべきか？／どう返答すべきや？
選択肢A	
レックス	ライコはすごく努力したよな
ニア	ライコはすごくがんばったよな
メレフ	ライコはよく精進したな
ジーク	ライコの特訓の成果やな
ライコ	はい！　今でも　力を調整できるように　ずっと特訓してるんです！
ホムラ	どんな特訓してるんですか？
ライコ	えーと　例えばですね――　すごく弱く　でも長い時間　ビリビリを出し続けたりとか　おじいさんおばあさんに　肩もみしてあげたりとか　とにかく　ビリビリを　思い通りに操れるように練習してるんです！
ホムラ	がんばってますね！
ライコ	はい！　一人前のライコになったわたしは　今度は二人前のライコを目指してるんですよ！
ライコのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	じゃあ　これからもライコを　頼らせてもらうよ
分岐3-2	**ニア**
ニア	じゃ　これからもライコを　頼らせてもらおうかな
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	では　これからもライコを　頼らせてもらおうか
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	ほな　これからもライコを　頼らせてもらうで
分岐3-1～3-4共通	
ライコ	はい！　がんばります！　わたしのこと　どんどこ頼ってくださいね！

選択肢B	
レックス	調子に乗ってるとまた失敗するぞ？
ニア	調子に乗ってるとまた失敗するかもよ？
メレフ	油断大敵だぞ
ジーク	調子に乗ったらあかんで
ライコ	えへへ　心配いりませんよ　わたし　すごく気を付けてますから――　もう絶対に他の人を　ビリビリさせたりしません！
ホムラ	あっ――
ライコ	え？
ホムラ	あの　ライコの背中に虫が――
ライコ	え？　虫!?　どこどこ？　どこですか!?　やですよー　取ってください！
ライコのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	ちょっと待って　今取ってあげるから
分岐3-2	**ニア**
ニア	ちょっと待って　今取ってあげる
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	動かないでくれ　今取ってやろう
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	おっと　動くんやないで　今取ってたるさかい
分岐3-1～3-4共通	
ライコ	え　あ　やだ　変なとこに入りました―!?
ドライバー	ぎあぁぁぁぁぁぁぁ!!
ライコ	あ――　やっちゃった　ごめんなさい　まだまだですね――　わたし　もっとがんばります!!

モルスの地
光を越えて

キズナトーク	
ヤエギリ	ここがイーラの巨神獣の中か――　この場所で500年前に　壮絶な戦いがあったんだよな？
ヒカリ	ええ　そうよ――
ヤエギリ	あーあ　アタシも　その戦いに参加したかったなー
ヤエギリのドライバー分岐	
分岐1-1	**レックス**
レックス	いや　記憶がないだけで　もしかしたら　いたかもしれないぞ？
分岐1-2	**ニア**
ニア	いや　記憶がないだけで　もしかしたら　いたかもしれないだろ？
分岐1-3	**メレフ**
メレフ	いや　記憶を失ってしまっただけで　参加していたのかもしれないぞ？
分岐1-4	**ジーク**
ジーク	いや　覚えとらんだけで　もしかしたら　おったかもしれんやろ？
分岐1-1～1-4共通	
ヤエギリ	そう言われてみれば　そんな心躍る可能性があるね！　なぁ！　ヒカリは覚えてる？
ヒカリ	いたような気もするし　いなかったような気もするし――
ヤエギリ	はっきりしないなぁー　どっちなんだ？
ヒカリ	500年も前に誰がいたかなんて　細かく覚えてないわよ
ヤエギリ	――ちぇ　残念だなー
ヤエギリのドライバー分岐	
分岐2-1	**レックス**
レックス	そうがっかりするなよ　でもさ　ヤエギリがいたとしたら――
分岐2-2	**ニア**
ニア	そうがっかりするなよ　でも　ヤエギリがいたなら――
分岐2-3	**メレフ**
メレフ	そんなに落胆することはない　しかし　ヤエギリが参加していたなら――
分岐2-4	**ジーク**
ジーク	そないがっかりせんでもええやろ？　しかし　ヤエギリがおったとしたら――
分岐2-1～2-4共通	
ヤエギリのドライバー	何て声をかける？／何て声をかけよう？／何て声をかけようか？／何て声をかけよか？
選択肢A	
レックス	ヒカリと戦ってたのかな？
ニア	ヒカリと戦ってたのかな？
メレフ	ヒカリと敵だったのか？
ジーク	ヒカリと戦っとったんかな
ヤエギリ	そう！　それ以外にあり得ないよ！　それこそ　お互い死力を尽くして　戦いを繰り広げていたはずだよ　アタシは　どんな時も　最強のブレイドを目指していただろうし――　そうなると　ヒカリは絶好の好敵手ってことだからね！
ヤエギリのドライバー分岐	
分岐3-1	**レックス**
レックス	どう思う　ヒカリ？
分岐3-2	**ニア**
ニア	ヒカリはどう思う？
分岐3-3	**メレフ**
メレフ	そうなのか　ヒカリ？
分岐3-4	**ジーク**
ジーク	そうなんか　ヒカリ？
分岐3-1～3-4共通	
ヒカリ	そうね――　ヤエギリみたいなブレイドと戦ったなら　さすがに記憶に残ると思うから――　たぶん当時はいなかったんじゃない？　まぁ　いたとしても　私は相手にせずに誰かに任せてたりして？
選択肢B	
レックス	ヒカリと仲間だったのかな？
ニア	ヒカリと仲間だったのかな？
メレフ	ヒカリと仲間だったのか？
ジーク	ヒカリと仲間やったかもしれへんな
ヤエギリ	仲間？　ヒカリの？
ヒカリ	なるほど　確かにありえなくはないわね
ヤエギリ	――いや　それはないね！
ヒカリ	何で断言できるの？
ヤエギリ	アタシは　アルスト最強を目指してるブレイドだよ？　アルストがどんな状況であろうと　必ずヒカリ達に戦いを挑んでいたはず！
ヒカリ	戦争中の話よ　そんな個人的な理由は関係ないでしょ？

ヤエギリ	いや　アタシの戦う理由はたった一つ！　ドライバーが誰であろうと　それは絶対に変わらない――　いつの時代であっても　強いヤツを求めて戦うんだ！
ヒカリ	――何か　むちゃくちゃな理由ね　でも　ヤエギリらしいわ
ヤエギリのドライバー分岐	
分岐4-1	**レックス**
レックス	それだけ　ヒカリの強さを　認めているってことだろ？
分岐4-2	**ニア**
ニア	それだけ　ヒカリの強さを　認めているってことだろ？
分岐4-3	**メレフ**
メレフ	ヒカリの強さを　それだけ認めているのだろう？
分岐4-4	**ジーク**
ジーク	そんだけ　ヒカリの強さを　認めてるんやろ？
分岐4-1～4-4共通	
ヒカリ	まぁね　そのこだわりは嫌いじゃない　その想いがある限り　いつか必ず最強の名を手に入れられるわよ
選択肢AB共通	
ヤエギリ	うーん　あの感じじゃ　まだまだアタシと戦ってくれそうにないね　模擬戦でもいいから　相手をしてくれって言ってるんだけどさ――　いっつも軽くあしらわれるんだよ
ヤエギリのドライバー分岐	
分岐5-1	**レックス**
レックス	確かに　ヒカリは戦う気はないようだね
分岐5-2	**ニア**
ニア	確かに　ヒカリは戦う気はないみたいだね
分岐5-3	**メレフ**
メレフ	確かにな　ヒカリは戦う気はないようだ
分岐5-4	**ジーク**
ジーク	せやな　ヒカリに戦うつもりはないみたいやな
分岐5-1～5-4共通	
ヤエギリ	まっ　今はそれでもいいか！　アタシもまだまだ修行の途中だからね　ドライバーと一緒にもっともっと　いろんなヤツと戦って経験を積んで――　いつかヒカリを乗り越えてみせるよ！

世界樹
ジャッジメントデイ

キズナトーク	
ジーク	しっかし　この世界樹の中は　謎だらけやな――
トラ	トラもビックリも　世界樹の内部が　こんなになってるなんて　全く想像できなかったも
ジーク	なんや　トラは　こういうのに強いんやないのか？
ハナJD	いえ　ご主人にも　知らないことがいっぱいありますも　特に　一般常識が欠如していますも――
トラ	こらっ　ハナ！　当たり前のように主人を　ディスるんじゃないも！　まったく　JDモードになると　性格までキツくなった気がするも　困ったヤツも――
ジーク	困ったって――　ハナを作ったのは自分やないか
トラ	確かにそうだけども　ハナは親子三代の知恵と技術の結晶なんだも　――実はトラにも　わからない部分があるも
ハナJD	ハナの身体の中には　センゾー博士　タテゾー博士　そしてご主人――　三人の男の欲望が詰まってますも　いつ溢れ出しても　おかしくはありませんも！
ジーク	ハナ　そう言い方はな　倫理的にめっちゃヤバいと思うで――　それより　トラ――　自分もしかして　このJDモードの能力を　全て理解してるわけやないんか？
トラ	その通りも　そもそも　モードチェンジの基礎はセンゾーじいちゃんが組んだものも　だから　システムのコアの部分は　いまだにブラックボックスになってるも
ジーク	何て尋ねようか
選択肢A	**トラは解析できへんのか？**
トラ	それは無理も　父ちゃんにだって解析できないもなぜなら　箱に「開けるべからずも！」って　書いてあるも――
ジーク	箱？　――いやいや　ブラックボックスって　ほんまに箱なんかい！
ハナJD	見ますも？
ジーク	何や、箱はハナの腹の中なんか　よっしゃ　ほんなら開けて見てみようや
トラ	ダメも！　そんなことしたら　自爆してしまうかもしれないも！
ジーク	自爆!?　まさか　そんな機能もついとるんか？
トラ	当然も　センゾーじいちゃんは　自爆にロマンを熱やす熱い漢だったも　だから油断はできないも――
ジーク	何ちゅう迷惑なロマンを　詰め込んどんねん――　ちゅうか　ハナ――　自分　腹ん中に爆弾抱えとって　それで平気なんか？
ハナJD	はい　問題ないですも！　だってハナには　爆弾より危ないものがありますも
トラ	……
ジーク	……
ハナJD	も？　どうしたんですも？　ジーク？　ご主人？　どうして　ハナから　離れていくんですも？
選択肢B	**ハナも自分の能力を把握しとらんのか？**
ハナJD	――ハナの能力ですも？
ジーク	そうや　何かまだ秘められた能力が　あるんとちゃうか？
ハナJD	うーん――　――ありましたも！
ジーク	お　何や？　何や？　見してみい
ハナJD	ハナはジークに萌え萌えだわん　――ねぇねぇジークぅ？　ハナもっと甘えてもいいわん？
ジーク	――何やこれ？
ハナJD	ハナの秘められた能力　獣属性犬耳バージョンですも
トラ	ハナ！　それはトラ以外に使っちゃだめも！　人格が疑われるから　永遠に封印するように言ったはずも!!
ジーク	――これもトラの趣味なんか　ったく　どんだけ欲望に正直やねん
トラ	お恥ずかしいも―
ジーク	って　そんな機能やなくてやな　もっと　こう戦闘に役立つもんとか　冒険に役立つもんとかがあるやろ？　トラは知らんでも　ハナだけがブラックボックスから　引き出せる能力があるんとちゃうか？
ハナJD	一切ありませんも
ジーク	無いんかーい！

世界樹
楽園伝説
キズナトーク
条件分岐
分岐a	第一低軌道ステーションの「楽園を見下ろす丘」に到達する前
メレフ	なぁレックス　君は本当に楽園があると信じているのか？
レックス	――信じてるに決まってるだろ？
ジーク	何や　メレフは信じてもおらんのに　ついて来とるんかいな？
メレフ	――いや　そういうわけではない　ただ皆がどう思ってるのかを　確かめておきたくてな　ジークも楽園のことは　伝え聞いたことがあるくらいだろう？
ジーク	まぁ　そりゃそうやけど――　ボンは夢ん中で楽園を見たって話なんやろ？
レックス	一面が緑で　暖かくて　見たこともない綺麗な街もあって――　そこを見下ろす丘にホムラが立ててさ　たぶん　あそこが楽園なんだと思う――アルストにあんな場所はないからね
メレフ	夢で見た場所か――　そんな不確かな情報だけで　楽園の存在を信じていいのだろうか？
レックス	メレフはオレやホムラを　信じてないのか？
メレフ	いや　信用はしている　ただ　夢で見た世界のことを　そのまま鵜呑みには　出来ないと思っただけだ　――なぁ　ジーク　お前は楽園の存在について　僅かでも疑いはしなかったのか？
ジーク	うーん　疑ったことはないわけやないな　正直なところ　楽園があるかどうかは　行ってみなけりゃわからんやろ？
メレフ	それはそうだな――
ジーク	ただボンはあると信じとるんや　せやったら　ワイはそれに　ついていくだけやろ
レックス	ジーク――
ジーク	楽園はあるに越したことはないけど　なかったとしても構わんやろ？　ボンは　大切な人の想いを叶えるために　一直線につっぱしっとるんや　せやったら　それを最後まで見守るんが　ワイの務めや
メレフ	務めか――
ジーク	ええやないか　夢に向かって突き進む――　これぞ男のロマンや！
メレフ	――なるほど　気持ちは理解できた　その男のロマンというのは　私にはよく分からないがな――
ジーク	大丈夫　大丈夫　メレフにもそのうち理解できるで　なんせメレフは男みたいなもんやからな
メレフ	――ジーク　世の中には冗談では　済まないことがあるのだ　お前は悪ふざけが過ぎる　ここで性根を　叩き直してやってもいいのだぞ？
ジーク	おいメレフ？　目がマジやで？　ちょっと待ってえな！　そない怒らんでもええやろ！
メレフ	フッフッ――
ジーク	なぁ　とりあえず　その殺気を消してくれえ！
分岐b	第一低軌道ステーションの「楽園を見下ろす丘」に到達した後
メレフ	なぁ　レックス　君は本当にあれが楽園だと思うのか？
ジーク	確かにな　あんな何もない枯れ果てた場所が楽園とは信じられへんよな――
レックス	――正直　オレにも良くわからないよ　オレが見たのは　もっと光と緑が溢れてて　すごくあたたかい場所だったんだ
メレフ	では　楽園は違う場所にあると思うのか？
レックス	ううん――　確かにあの場所で間違いない　緑も光も無いけど　あの場所はオレの見た楽園だった――
ジーク	ほな楽園ちゅうんは　レックスの見たただの夢の世界ってことか？
メレフ	いや　そうとも言い切れないだろう　もしかしたら　レックスが見たのは　過去の楽園の姿なのかもしれない――
ジーク	過去の？
メレフ	そうだ　誰かの記憶の中にある　過去の楽園の姿――
ジーク	それをボンが　夢で見たいうんか？　――けったいな話やな
メレフ	そうだな　常人には理解しがたい話だよ
レックス	……　今の楽園がもし　夢で見た楽園が風化したものだとしたら――　いずれアルストも　ああなっちゃうかもしれないんだよな
メレフ	ああ　モルスの地で見たイーラの巨神獣と同じだ　時間と共に風化するのは当然だからな
レックス	でもさ　今は時間のせいじゃなくて　メツがアルストをあんなふうに　してしまうかもしれないんだ――
メレフ	そうだな――　ああなれば　私たちはおろか巨神獣でさえも　生きることができない世界になるだろう
レックス	だったら　なんとしてもメツを止めないと！
ジーク	一段と気合がはいっとるな　ボン　楽園の光景にへこんどるのかと　思っとったけど　心配する必要は無いようやな
メレフ	ああ　レックスは　こんなことでくじけるような男ではない　だから　私達は　安心してついていくことができるのだ
レックス	な　なんだよ　二人共？　おだてても何も出ないぞ？
ジーク	気にすんな　ボンは今までどおりでええんや
メレフ	そう　真っ直ぐ前を向いて走れ　レックス

世界樹
熟くなる想い
キズナトーク
メノウのドライバー分岐
分岐1-1	レックス
レックス	どうしたんだ　メノウ？
分岐1-2	ニア
ニア	メノウ どうしたんだ？
分岐1-3	メレフ
メレフ	メノウ？　どうかしたのか？
分岐1-4	ジーク
ジーク	どないしたんや　メノウ？
分岐1-1～1-4共通	
メノウ	ちょっとこれを見て　――この遺跡の壁や床って何でできていると思う？
トラ	普通の石じゃないも？
メノウ	私も最初は何かの石を切り出して　組み上げていると思ったんだけど――　自然界のものを少し加工して　積み上げていくくらいじゃ　いずれひずみができてしまう――　この遺跡は大地から空へと伸びてるから――　低い位置で少しのひずみでもあれば　大きく傾くことになってしまう
メノウのドライバー分岐	
分岐2-1	レックス
レックス	なら　どうやって　この遺跡を造ったんだ？
分岐2-2	ニア
ニア	だったら　どうやって　この遺跡を造ったのさ？
分岐2-3	メレフ
メレフ	では　どうやって　この遺跡を造ったというのだ？
分岐2-4	ジーク
ジーク	ほな　どないして　こんな遺跡を造ったんや？
分岐2-1～2-4共通	
メノウ	寸分のズレもなく完璧な寸法で　加工した素材を地面から天高くまで積み上げたのよ　しかも　強度は相当なもの　数百数千　あるいは数万年経っても　この床や壁はもろくなってない――
トラ	昔の人ってすごいも！
メノウ	今の技術じゃ絶対に無理よね　一体どんな鉱石や材料を使って　この遺跡を造ったんだろう――　この世界樹って　本当　すべてが謎だらけよ――
メノウのドライバー	何て声をかけようか？／何て声をかけよう？／何て声をかけるべきか／何て声をかけようか？
選択肢A	
レックス	今　すっごくワクワクしてるだろ？
ニア	今　すごくワクワクしてるよな？
メレフ	今　すごく気持ちが高揚しているのだな
ジーク	今　めっちゃワクワクしとるやろ？
メノウ	当然じゃない！　遺跡の造りももちろん気になるけど　私は冒険も大好きなのよ　遥か昔の人達がどんな想いをこめて　この遺跡を造ったのか　それを考えるだけでドキドキしない？　知らない文字に　未知の仕掛けや罠――　見たこともない素材でできた　数々のオブジェクト――　この場所にいるだけで　気分が高揚して　熱くなってくる――！
メノウのドライバー分岐	
分岐3-1	レックス
レックス	わかる　わかる！
メノウ	こんなに巨大な建造物を造るには　考えられないくらい大勢の人が　関わったはず――　きっとこの床や壁を造るのにも　何十人って人がたくさんの時間を掛けてる――　多くの人達の想いの一つ一つが　この場所に大切に収められているのよ
レックス	この場所は古代の人々の　想いの結晶ってことだな
分岐3-2	ニア
ニア	そうだな　わかる気がするよ
メノウ	こんなに巨大な建造物を造るには　考えられないくらい大勢の人が　関わったはず――　きっとこの床や壁を造るのにも　何十人って人がたくさんの時間を掛けてる――　多くの人達の想いの一つ一つが　この場所に大切に収められているのよ
ニア	この場所は古代の人々の　想いの結晶ってことか
分岐3-3	メレフ
メレフ	フッ――　その気持ち　わからないでもないな
メノウ	こんなに巨大な建造物を造るには　考えられないくらい大勢の人が　関わったはず――　きっとこの床や壁を造るのにも　何十人って人がたくさんの時間を掛けてる――　多くの人達の想いの一つ一つが　この場所に大切に収められているのよ
メレフ	そうか　この場所は古代の人々の　想いの結晶ってことだな
分岐3-4	ジーク
ジーク	せやな　わかるで―
メノウ	こんなに巨大な建造物を造るには　考えられないくらい大勢の人が　関わったはず――　きっとこの床や壁を造るのにも　何十人って人がたくさんの時間を掛けてる――　多くの人達の想いの一つ一つが　この場所に大切に収められているのよ
ジーク	この場所は古代の人々の　想いの結晶ってことやな
分岐3-1～3-4共通	
メノウ	へぇ　熱いこと言うじゃない　そうね　こんなに素晴らしい結晶は　アルスト中のどこを探したって見つからない　この遺跡を隅々まで探索して　古代の人が残した想いを　全部受け取って帰るわよ！
選択肢B	
レックス	ここには虫はいないみたいだね
ニア	ここには虫がいないんだね
メレフ	ここには虫はいないみたいだな
ジーク	ここには虫がおらんなぁ―
メノウ	ちょっと！　どうして残念そうに言うの!?　世界樹の中は虫が生息しそうにない　環境でホッとしてたんだから！　樹って呼ばれてるくらいだから　虫の巣窟だって覚悟してたんだけど――
メノウのドライバー分岐	
分岐5-1	レックス
レックス	だから　いい気分で探索してたんだな
メノウ	そういうこと！　私は鉱石が大好きだけど　それに反比例して虫が大嫌いなんだから　鉱石を好きになればなるほど　虫が嫌いになっていくの
レックス	ほんとに虫が嫌いなんだな　メノウが雲海の中に入ったら　どうなるんだろ――
ハナJS	ご主人　お待たせしましたも
トラ	ハナ　ご苦労だったも　もうお腹がぐーぐーも
ハナJS	最高の食材を集めてきましたも
メノウ	こんな場所で食材なんて採れるの？
レックス	何を集めてきたんだ？
分岐5-2	ニア
ニア	だから　上機嫌で探索してたんだな
メノウ	そういうこと！　私は鉱石が大好きだけど　それに反比例して虫が大嫌いなんだから　鉱石を好きになればなるほど　虫が嫌いになっていくの

ニア	どんな理屈だよ
ハナJS	ご主人　お待たせしましたも
トラ	ハナ　ご苦労だったも　もうお腹がぐーぐーも
ハナJS	最高の食材を集めてきましたも
メノウ	こんな場所で食材なんて採れるの？
ニア	何を集めたんだ？　アタシも食いたいな
分岐5-3	メレフ
メレフ	だから　上機嫌で探索していたのだな
メノウ	そういうこと！　私は鉱石が大好きだけど　それに反比例して虫が大嫌いなんだから　鉱石を好きになればなるほど　虫が嫌いになっていくの
メレフ	不思議な理屈もあったものだな
ハナJS	ご主人　お待たせしましたも
トラ	ハナ　ご苦労だったも　もうお腹がぐーぐーも
ハナJS	最高の食材を集めてきましたも
メノウ	こんな場所で食材なんて採れるの？
メレフ	何を集めたんだ？
分岐5-4	ジーク
ジーク	だから　ノリノリで探索してたんやな
メノウ	そういうこと！　私は鉱石が大好きだけど　それに反比例して虫が大嫌いなんだから　鉱石を好きになればなるほど　虫が嫌いになっていくの
ジーク	どういう理屈なんや――
ハナJS	ご主人　お待たせしましたも
トラ	ハナ　ご苦労だったも　もうお腹がぐーぐーも
ハナJS	最高の食材を集めてきましたも
メノウ	こんな場所で食材なんて採れるの？
ジーク	何を採ってきたんや？　ワイも食いたいわ
分岐5-1～5-4共通	
ハナJS	揚げて食べるとおいしいらしい　ジャバラムシですも！
メノウ	きゃあああああっ!!

第一低軌道ステーション
輪
キズナトーク
レックス	メツは強い――
ニア	けど　諦めるわけにはいかないよな
メレフ	ああ　ここで我々が挫けてしまっては　アルストが消滅する
ジーク	そうなりゃ　ワイらの大切な人はもちろん　罪のない人々まで皆　消えてしまう
トラ	そんな事態――　サイアクも――
ニア	でも　あたし達にはシンやイーラの連中　アルストの皆から託された想いがある――
ジーク	これまでもいろんな苦難があったけど　力を合わせてここまで来たんや
メレフ	今回はあまりに高い障壁だが　同じように乗り越えていこうか
トラ	皆がいれば　絶対に乗り越えられるも！
レックス	皆　これが最後の戦いだ！　ドライバーとブレイドの絆の力　見せてやろう！
全員	おー！

第一低軌道ステーション
アルストを見下ろして
キズナトーク
カグツチ	すごいわね――　下に見えるのって　私達が住んでいた場所なんでしょう？
メレフ	そのようだな　こんな高い場所にまで　人は来ることができるのか――
ジーク	しかも　この世界樹は　遥か昔からあるもんやからな　ワイの頭じゃ　この状況に　よう追いついていかへんわ
サイカ	なぁなぁ　王子！　あれ　見てみ！
ジーク	なんや？　何かあったんか？
サイカ	あれやあれ　ゲンブやで！　絶対　ゲンブやろう！
ジーク	ほんまか!?　――おぉ　確かに　あれはゲンブやな！
カグツチ	何言ってるのよ　こんな高い場所から見えるわけないじゃない
サイカ	見えるんやって　こっち来て見てみい？
カグツチ	どう答えるべきかしら？
選択肢A	どうせ雲かなんかでしょう？
カグツチ	ルクスリアなんかどこにも見えないわよ？
ジーク	そっちやない　こっちやで
サイカ	ほら　あそこや！
カグツチ	小さすぎてよくわからないわね　勘違いじゃないの？
サイカ	勘違いやあらへんって　間違いなくゲンブやで！
カグツチ	んー　そうかしら？
メレフ	――カグツチ
カグツチ	どうしました　メレフ様？
メレフ	いや　私には　あれがスペルビアに見えるのだが違うだろうか？
カグツチ	――え？
ジーク	なんや　メレフも見つけたんか？
カグツチ	どこですか？
メレフ	あれだ　変な形の雲の横に――
カグツチ	あぁ　確かに何かありますね――
メレフ	あの特徴的な形　スペルビアだと思わないか？
カグツチ	そうですね――　あの巨大な大地はスペルビアに見えますね　おそらく　周りを飛んでいるのが巨神獣戦艦ですね！
メレフ	やはりそうか！　――この位置からでも　スペルビアの威厳のある姿は伝わるものだな
カグツチ	はい　メレフ様！
ジーク	いやいや　二人とも目を凝らしてよう見いや　たぶんあれはリベラリタス島嶼群やろ　スペルビアにあんな緑があるかいな
メレフ	むぅ――
カグツチ	くっ――
選択肢B	別に興味はないわ
サイカ	なんや　ノリが悪いなぁ
ジーク	せっかく　こんな珍しい場所まで来とるんやもっと楽しんだらええやんか？
カグツチ	何言ってるのよ　遊びに来てるわけじゃないでしょう？
メレフ	いや　たまには息抜きも必要だと思うぞ　カグツチ
カグツチ	メレフ様？

メレフ	私はすでに　リベラリタス島嶼群を見つけた
カグツチ	ええ!?　あんなに小さい島々をですか?
サイカ	なんや　メレフは　ノリノリのようやな?　王子　こっちも負けられへんで!
ジーク	おう　心配いらんで　あそこを見てみい
サイカ	ん?　何もあらへんよ?
ジーク	よお見い　あそこにちっさい点があるやろ?　あれはアヴァリティア商会のゴルトムントやで!
メレフ	ゴルトムントだと!?
カグツチ	どこよ?　そんなの見えないわよ
メレフ	うむ――　確かにゴルトムントだな!
カグツチ	見えるんですか　メレフ様!?
メレフ	カグツチ　こちらも何か見つけないと　このままでは負けてしまう!
カグツチ	いや　これ勝負だったんですか?
メレフ	あれがゴルトムントだとすると――　あの隣にあるのがウズシオか?
カグツチ	えー　まぁ　そうかもしれませんね?
メレフ	お　見てみろ　カグツチ!　ウズシオにいるノポン族の船員が　こちらに手を振っているぞ!
カグツチ	はぁ!?
ジーク	――いやいや　メレフ　それは無理があるやろ
メレフ	嘘ではない　私には見えるのだが――
カグツチ	ええ?　あの　メレフ様――　それは　後ろにいるトラが　窓に映っているだけですよ――
メレフ	いや違う　あれは間違いなくウズシオの船員だ
カグツチ	……
ジーク	結構おもろかったな
サイカ	せやな　メレフがめっちゃ負けず嫌いやって　分かったわ

第一低軌道ステーション	
オアシス	
キズナトーク	
ホタルのドライバー分岐	
分岐1-1	レックス
レックス	どうしたんだ　ホタル?　元気がないみたいだけど――
分岐1-2	ニア
ニア	どうしたんだよ　ホタル?　元気がないな――
分岐1-3	メレフ
メレフ	どうした　ホタル?　元気がないみたいだが――
分岐1-4	ジーク
ジーク	どないしたんや　ホタル?　しょげた顔しとるな――
分岐1-1～1-4共通	
ホタル	――大地が砂で埋まってる　ねえ　ここが本当に楽園?　花も樹も草さえない　砂と岩だけの大地が――?　見てよ　あれはおそらく湖だったんだよ　でも　水なんか一滴もない
ホタルのドライバー分岐	
分岐2-1	レックス
レックス	この場所では雨も降らないんだろうな
分岐2-2	ニア
ニア	この場所では雨も降らないんだろうな
分岐2-3	メレフ
メレフ	この場所では雨も降らないのだろう
分岐2-4	ジーク
ジーク	この場所では雨も降らへんやろうな
分岐2-1～2-4共通	
ホタル	命にとって　水はかけがえのないものなのに　その水が　この場所にはないんだ――　こんな土地じゃ命は生まれないよ――　痩せた土地ならまだ望みはある　でも　ここは――　この土地はもう死んじゃってるよ――
ホタルのドライバー	ホタル――
選択肢A	
レックス	緑を蘇らせる方法はないのかな?
ニア	どうにか緑を蘇らせる方法はないか?
メレフ	緑を蘇らせる方法は見つけられないか?
ジーク	緑を蘇らせる方法　あるんとちゃうか?
ホタル	こんな砂じゃ根も生えないし　水がないから草木も育たないし――　！　――いや　できるかも
ドライバー	?
ホタル	あのね　命っていうのは　ものすごく強いんだ　確かに　この砂の土地では　命は生まれないかもしれないけど――
ホタルのドライバー分岐	
分岐3-1	レックス
レックス	他の場所で育った草木を　ここで育てることはできるかもしれない?
分岐3-2	ニア
ニア	他の場所で育った草木を　ここで育てることはできるかもしれない?
分岐3-3	メレフ
メレフ	他の場所で育った草木を　ここで育てることは可能かもしれないな
分岐3-4	ジーク
ジーク	他の場所で育った草木を　ここで育てることはできるかもしれへんな
分岐3-1～3-4共通	
ホタル	うん!　きっと最初は　そう長くは生きられないかもしれない　でも　その植物が死んでも　この大地に肥料として残り――　次の緑を育てる糧となるんだ　ものすごく時間はかかるかもしれないけど　それを繰り返せば――　きっとこの死んでしまった大地も　生き返らせることができるかも!
ホタルのドライバー分岐	
分岐4-1	レックス
レックス	ようやく　いつものホタルに戻ったみたいだ
分岐4-2	ニア
ニア	ようやく　いつものホタルに戻ったな
分岐4-3	メレフ
メレフ	ようやく　いつものホタルに戻ったようだな
分岐4-4	ジーク
ジーク	ようやく　いつものホタルに戻ったようやな
分岐4-1～4-4共通	
ホタル	うん!　ありがとう　ボク　やってみるよ　絶対にこの土地に　緑を蘇らせてあげるんだ!
選択肢B	
レックス	自然が失われて本当に悲しいよな
ニア	自然が失われるって悲しいことだよな
メレフ	自然が失われるのは辛いことだな
ジーク	自然が失われるってのは悲しいなぁ
ホタル	そりゃ悲しいよ――　自然が失われれば　命も何もかも失われちゃうんだ　ねえ　人間はこの光景を見て　悲しくないの?　多くの命は自然から生まれ　自然と共に生きているはずなのに――　どうしてそれを大切にしようとしないの?　自分たちの命と同じくらい大切なモノなのに　どうして粗末にできるの?
ホタルのドライバー分岐	
分岐5-1	レックス
レックス	それは　あまりにも当たり前すぎて　きっとその大切さに気づかないんだよ
分岐5-2	ニア
ニア	それは　あまりにも当たり前すぎて　きっとその大切さに気づかないんだろうな
分岐5-3	メレフ
メレフ	それは　あまりにも当たり前すぎて　きっとその大切さに気づかないのだ
分岐5-4	ジーク
ジーク	それはな　あまりにも当たり前すぎて　きっとその大切さに気づかへんねや
分岐5-1～5-4共通	
ホタル	ボクはブレイドだから　自然から生まれたわけじゃない　だからすごく人間がうらやましいし　自然を大切にしない人間が許せない　アナタみたいな優しい人間もいるけど――　ボクはまだ　多くの人間のことを理解できないよ
ホタルのドライバー分岐	
分岐6-1	レックス
レックス	今は　それでいいと思うよ　焦る必要はないさ　ゆっくりとお互いを理解しようよ
分岐6-2	ニア
ニア	今は　それでいいんじゃない　いずれ理解し合えるときがくると思う
分岐6-3	メレフ
メレフ	焦る必要はないだろう　時間をかけて　ゆっくりとお互いを理解しようじゃないか
分岐6-4	ジーク
ジーク	今は　それでええやろ　ゆっくりとお互いを理解すればええんや
分岐6-1～6-4共通	
ホタル	うん　そうだね――　あなたはボクのこと　よーくわかってるくれてるよね　だから　悲しいことがあっても　前を向こうって気持ちになれるんだ　ありがとう!　これからもよろしくね!

第一低軌道ステーション	
曙光	
キズナトーク	
トラ	やっぱり壮観も――
ビャッコ	よもやアルストを見下ろす日が来るとは　思ってもいませんでした――　でも　あまりにも高くて身のもがよだつ思いですよ――
KOS-MOS Re：	マスター　あなたはここに立ち　何を思いますか?
KOS-MOS Re：のドライバー	ここに立って何を思う?／ここに立って何を思う?／ここに立ち何を思うか?／ここに立って何を思うか?
選択肢A	
レックス	世界樹が倒れたらどうしよう?
ニア	世界樹が倒れたらどうしよう?
メレフ	世界樹が倒壊する恐れはないのだろうか
ジーク	この世界樹が倒れたらヤバいよな?
KOS-MOS Re：のドライバー分岐	
分岐1-1	レックス
レックス	ここってすっごく高いよな――　もし世界樹が倒れたらどうしようとか　思っちゃうよ
分岐1-2	ニア
ニア	ここってかなり高いよな――　もし世界樹が倒れたらどうしようとか　不安になるな
分岐1-3	メレフ
メレフ	ここは信じられない高さにある　だからもし　世界樹が倒壊すれば　どうなるのかなどと考えてしまうな
分岐1-4	ジーク
ジーク	ここは信じられへん高さにあるやろ?　せやからもし世界樹が倒れたら　どうなるんやって不安になるで
分岐1-1～1-4共通	
トラ	確かに心配も!　こんなに長くて細い建物が安全なのか　不安になってきたも――
ビャッコ	もし世界樹が倒れたら　我々は助かりませんよね?
KOS-MOS Re：	ここにいる限りアルストに衝突する可能性は　限りなく低いと判断します　世界樹のさらに下層――　マルベーニやシンと戦った場所であれば　倒壊するでしょう　しかし　ここは空気のない宇宙空間――　しかもアルストの軌道上にあります　仮に世界樹が倒壊したとしても　この場所は宇宙空間に　留まるであろうと予測できます
KOS-MOS Re：のドライバー分岐	
分岐2-1	レックス
レックス	想像できないな――
分岐2-2	ニア
ニア	んー　よくわかんないな――
分岐2-3	メレフ
メレフ	にわかには信じられないな――
分岐2-4	ジーク
ジーク	信じがたいけどほんまなんやろな――
分岐2-1～2-4共通	
トラ	でも　倒壊しても　ここが無事なのがわかったから　少し安心したも
ビャッコ	いえ　しかし　アルストに戻る手段が　なくなるのではありませんか?
トラ	もももっ!?　KOS-MOS Re：　トラ達は一体どうなるも?
KOS-MOS Re：	アルストの軌道上を永遠に周回し続けるか　あるいは軌道を外れ　宇宙を彷徨うか　どちらかになります
ビャッコ	いずれにせよここで死を迎える――　ということですね?
KOS-MOS Re：	その通りです
トラ	トラ　お家に帰りたくなってきたも――
KOS-MOS Re：	安心してください　そのような事態を招かないよう善処します　ドライバーを守るのが私の使命ですから
トラ	でも　トラは厳密にはドライバーじゃないも　ただのノポン族の少年も
KOS-MOS Re：	――　レックス　ニア　メレフ　ジークの後でよければお守りします
トラ	ももっ!?　5番目も!?
KOS-MOS Re：	――最優先がよろしければ　ハナに守ってもらうことを推奨します
トラ	KOS-MOS Re：　冷たいもっ!
KOS-MOS Re：のドライバー分岐	
分岐3-1	レックス
レックス	あはははっ　KOS-MOS Re：はおもしろいね
KOS-MOS Re：	そうでしょうか?　私は至って真面目なのですが――
レックス	いや　それでいいんだ　それで
分岐3-2	ニア
ニア	ははは っ　KOS-MOS Re：はおもしろいな
KOS-MOS Re：	そうでしょうか?　私は至って真面目なのですが――
ニア	いや　それでいいんだよ　KOS-MOS Re：はね
分岐3-3	メレフ
メレフ	フフフ　KOS-MOS Re：はおもしろいな
KOS-MOS Re：	そうでしょうか?　私は至って真面目なのですが――
メレフ	いや　KOS-MOS Re：はそれでいいのだ――
分岐3-4	ジーク
ジーク	ハッハッハ　KOS-MOS Re：はおもろいやっちゃな
KOS-MOS Re：	そうでしょうか?　私は至って真面目なのですが――
ジーク	いや　KOS-MOS Re：はそれでええんや
選択肢B	
レックス	ここってどうやって造られたんだろう?
ニア	ここってどうやって造られたんだろう?
メレフ	ここはどのように建造されたのだろうか?
ジーク	ここってどうやって造られたんやろな?
KOS-MOS Re：	まずはアルストから軌道上に　衛星を打ち上げます
トラ	ふもふも――
KOS-MOS Re：	軌道上に留まり続けるその静止衛星から　アルストに向けてケーブルを垂らします　そしてちょうど反対側にはおもりをつけて　ケーブルを伸ばします
ビャッコ	なるほど――
KOS-MOS Re：	それを繰り返すといずれケーブルは　アルストに到達します　そのケーブルに昇降機を取り付け　物資を輸送します
トラ	ふもふも――
KOS-MOS Re：	それから徐々に規模を大きくしながら　世界樹を建造していきます
トラ	ちょっとイメージできたけども　ちんぷんかんぷんも
ビャッコ	ええ　さっぱり理解できませんね
KOS-MOS Re：のドライバー分岐	
分岐4-1	レックス
レックス	なぜKOS-MOS Re：は　そんなことを知っているんだ?
分岐4-2	ニア
ニア	何でKOS-MOS Re：は　そんなことを知ってるんだ?
分岐4-3	メレフ
メレフ	KOS-MOS Re：　君はなぜ　そんなことを知っているのだ?
分岐4-4	ジーク
ジーク	なぁ　何でKOS-MOS Re：は　そないなこと知っとるんや?
分岐4-1～4-4共通	
KOS-MOS Re：	それは　私にもわかりません
トラ	わからないも?
KOS-MOS Re：	はい　これらのデータは　私の記憶データとは別に存在し――　コアクリスタルとなっても　失われることはないようです　私達ブレイドが生まれる時に名前を　記憶しているのと同じく　これらの知識も元から備わっているのです　ですので　何者がどういう理由で　このようなデータを埋め込んだのかは　不明です
KOS-MOS Re：のドライバー分岐	
分岐5-1	レックス
レックス	KOS-MOS Re：にも　わからないことがあるんだな
分岐5-2	ニア
ニア	KOS-MOS Re：にも　わからないことがあるんだね
分岐5-3	メレフ
メレフ	KOS-MOS Re：にも　理解の及ばないことがあるのだな
分岐5-4	ジーク
ジーク	KOS-MOS Re：にも　わからんことがあるんやな
分岐5-1～5-4共通	
KOS-MOS Re：	そうですね――　おそらく　それを知るために　私はドライバーと共にあるのだと思います

ゼノブレイド2 本編 STAFF

キャスト

レックス　下野 紘
ホムラ/ヒカリ　下地 紫野
ニア　大和田 仁美
トラ　野中 藍
メレフ　斎賀 みつき
ジーク　津田 健次郎
ヴァンダム　玄田 哲章
ビャッコ　稲田 徹
ハナ　久野 美咲
カグツチ　伊藤 静
サイカ　広橋 涼
スザク　藤本 たかひろ
じっちゃん　千葉 繁

シン　櫻井 孝宏
メツ　中村 悠一
サタヒコ　浪川 大輔
ヨシツネ　島﨑 信長
ベンケイ　のぐち ゆり
ザンテツ　勝 杏里
オオツチ　利根 健太朗
カムイ　山岡 ゆり
ラゴウ　平井 啓二

ラウラ/ファン　早見 沙織
アデル　半田 裕典
ネフェル　石田 彰
ゼーリッヒ　牛山 茂
モーフ　平井 啓二
コール　龍田 直樹
バーン　大塚 明夫
ラゲルト　小山 茉美
ムイムイ　三ツ矢 雄二

マルベーニ　諏訪部 順一

クラウス　浅沼 晋太郎

KOS-MOS Re:　鈴木 麻里子
T-elos Re:　鈴木 麻里子
アザミ　斎藤 千和
イダテン　平野 綾
イブキ　悠木 碧
ヴァサラ　KENN
ウカ　M・A・O
カサネ　水瀬 いのり
クビラ　宮野 真守
グレン　古谷 徹
ザクロ　赤﨑 千夏
シキ　能登 麻美子
セオリ　川澄 綾子
ヂカラオ　武内 駿輔
ツキ　進藤 尚美
テンイ　遠藤 綾
トキハ　小清水 亜美
ナナコオリ　日高 里菜
ニューツ　日笠 陽子
ホタル　石原 夏織
ミクマリ　佐倉 綾音
ムスビ　高橋 美紀
メイ　千本木 彩花
メノウ　種﨑 敦美
ヤエギリ　竹達 彩奈
ユウオウ　前野 智昭
ライコ　茜屋 日海夏
リンネ　小澤 亜李
ワダツミ　池田 秀一

〈エキスパンション・パス〉
ハナMk-Ⅱ　久野 美咲
ハナバスター　加瀬 康之

シュルク　浅沼 晋太郎
フィオルン　中尾 衣里
リキ　甲斐田 ゆき
タツ　阪口 大助
モノボン　長久 友紀
ノボンダイセンニン　大和田 仁美

ヒバナ　高森 奈津美

カムヤ　村瀬 歩
エルマ　桑島 法子

イルイル　櫻井 孝宏
ペッコペコ　中村 悠一
ファララ　伊藤 静
ズズー　石田 彰
ルビルビ　斎賀 みつき
カワカワ　浅沼 晋太郎
タニタニ　森下 由樹子
シマシマ　下野 紘
ヤマヤマ　津田 健次郎
ルリルリ　早見 沙織
モタタ　半田 裕典
マウマウ　三木 眞一郎
クビイタビイ　櫻井 孝宏
ウモン　諏訪部 順一
ドーン　牛山 茂
ニルニー　増谷 康紀
ヌボボン　諏訪部 順一
ナボボン　鈴木 麻里子
ニボボン　加瀬 康之
ノボボン　千葉 繁
クビイ　大和田 仁美
ヌン　千葉 繁
ツムジ　浅沼 晋太郎
ボテボテ　石田 彰
カカ　伊藤 静
ジツ　半田 裕典

サツ　中尾 衣里
ヨヨツ　大和田 仁美
ゴツ　下野 紘
ムツツ　下地 紫野
カズロー　下野 紘
ゴワゴワー　池田 秀一
ノボリック　半田 裕典
ザザダン　津田 健次郎
ホコ　中村 悠一
メフィメフィ　斎賀 みつき
ストロジャム　伊藤 静
ミンカ　早見 沙織
ミコ　下地 紫野
ミガミガ　中尾 衣里
バーン　咲野 俊介
ガルダ　池田 秀一
ドバガス　津田 健次郎
レク　石田 彰

バトルナレーション
利根 健太朗

荒井 聡太　服部 想之介
新井 良平　日比 愛子
梅田 未央　藤井 ゆきよ
川原 慶久　増谷 康紀
けいたろう　松原 大典
佐々木 愛　間宮 康弘
鈴木 真仁　桃瀬 あやみ
高塚 正也　わたなべよしき
野村 大地

企画原案

株式会社モノリスソフト
任天堂株式会社

脚本
高橋 哲哉　兵頭 一歩
竹田 裕一郎　太田 守

演出
白井 宏旨(株式会社グラフィニカ)
久保 雄介(株式会社グラフィニカ)

設定考証協力
鈴木 貴昭

メインキャラクターデザイン
齋藤 将嗣

イーラキャラクターデザイン
野村 哲也(株式会社スクウェア・エニックス)
塚田 大悟(株式会社スクウェア・エニックス)
石井 美穂子(株式会社スクウェア・エニックス)

音楽
光田 康典
ACE(工藤 ともり, CHiCO)
平松 建治
清田 愛未

ブレイドデザイン
相場 良祐(株式会社CyDesignation)
I-Ⅳ　麻宮 騎亜
岩本 稔(株式会社バンダイナムコスタジオ)
梅津 泰臣
江端 里沙(株式会社サテライト)
緒方 剛志　田中 久仁彦
木村 貴宏 & RICCA　麦谷興一(CHOCO)
コザキユースケ　野上 武志
嵯峨 空哉　hakus
しらび　パセリ
鈴木 康士　日暮 央
タイキ　水 あさと
皆葉 英夫(株式会社CyDesignation)
山下 しゅんや

〈エキスパンション・パス〉
あっと　足立 慎吾

■ブレイドデザイン協力
株式会社CyDesignation
前田 誠矢　足立 竜胆

株式会社サテライト
増田 典浩　上間 康弘
関原 幸枝

株式会社スクウェア・エニックス
橋本 真司　平野 智彦
今泉 英樹

株式会社バンダイナムコエンターテインメント
今西 智明　八木 正忠
馬場 龍一郎　小野 靖
飯吉 康二　宇出津 和仁
梅木 馨

株式会社バンダイナムコスタジオ
柳沢 直幹　武者 匡彦

〈エキスパンション・パス〉
株式会社KADOKAWA アライブ編集部
赤坂 泰基

株式会社A-1 Pictures
加藤 淳

ゲームデザイン

株式会社モノリスソフト

プログラム

統括
矢島 利明

プログラム
板井 克倫　山本 克利
島尻 雅人　中川 泰徳
稲葉 道彦　山口 幸宏
舘野 圭　鵜飼 真広
大宮 広樹　岸野 俊明
佐々木 涼平　石原 義久
村上 健

■プログラム技術協力
小山 武宏　郷原 裕明
堂田 卓宏　宮原 聡
斎藤 智久　櫻庭 義彦
朝倉 淳　金谷 仁嗣
山本 宗一　奥寺 洋次
古川 修平　丸子 良太
湊 匡平

グラフィック

統括
高橋 英治

アートワーク
戸田 恒平　守屋 優里奈
油井 誠　稲田 航
天引 哲也　内藤 雅文
谷山 哲也

本根 康之

横山 新　加藤 敦子
松本 秀幸　山崎 太郎
トナミカンジ

I-Ⅳ

則定和磨

キャラクターモデリング
宮田 隆　大島 達生
山川 秋信　中村 太郎
荒井 史子　湯元 督裕
石川 貴実　田中 昌樹
ヤマザキマサハル

加藤 来夢　岩﨑 優次
横川 和政

マップモデリング
松澤 沙也可　下玉利 崇史
油井 誠　本宮 忠嗣
小井戸 孝明　馬籠 浩平

アニメーション
折田 寛孝　田中 秀樹
歌津 知寿恵　志村 奈美
小出 慎二

吉田 和代　今田 誠
武藤 道子

エフェクト
多胡 裕司　山中 大生
金岡 政岳

■グラフィック協力
株式会社アニマ
赤城 晴康　荒井 淳
田中 秀典　中島 貴由起
堤 真士　熊澤 直紀
植木 忍　星 ゆかり
一柳 守　藤井 智寛
矢内 大之　賴 傳明
安藤 優作

株式会社アバン
澁谷 貴俊　望月 伸一
安蔵 勇二　高野 槙

株式会社イマジカデジタルスケープ
嶋谷 龍司

株式会社イマジカデジタルスケープ
バウハウス エンタテインメント
水野 拓海　笠原 悠佑
金子 玄季　中澤 裕文
坂本 剛　山岸 一磨
浅見 龍太郎　小谷野 麻美
山本 志帆美　若林 那奈
坂本 祥太郎

株式会社KATACHI
窪内 純一　小澤 久欣
長島 孝　川島 隆寛
山川 真介　長水 望

株式会社キュートロン
長井 知佳

株式会社クリーク・アンド・リバー社
榎本 文明　半澤 治郎
山本 絵理　伊藤 嘉徳
大久保 鉄士　高橋 徳光
中河原 怜　深谷 卓

横江 恵里香　鈴木 達生
山本 智人
株式会社QREAZY
李 暎宰　金子 将馬
森 美早紀　柴田 まどか
加藤 恵美

株式会社クレスト・ワークス
大塚 竹男　小川 大

株式会社ジュピター
林 祐樹

株式会社SEVEN DREAMS
佐々木 基裕　野澤 颯
山本 敏也　矢橋 頌太郎
河崎 万理子　松原 まゆ子
河嶋 晃弘　野倉 翔悟
浅場 敬介

株式会社デジタルワークスエンターテインメント
T Kazuhisa　N Masatoshi
I Satoru　O Hiroshi
X Tho　T Luan
V Bao　H Hoa
D Cuong　Q Hien
T Nguyen　H Oanh
Q Tien　V Hung
C Chanh　N Huy
T Hieu　Bao Chau
H Quynh　H Minh
D Tuan　N Tinh
X Cang　T Tam
P Doanh　N Sang
C Thanh　N Yusuke
K Kouka　T Mayuko
O Yuta　I Ai
K Yuka　I Sarii
O Chisato　S Takahiro
S Hayato　K Toshio
Z qifeng　H Yuichi
Y Natsuki

株式会社トゥエンティイレブン
山本 俊介　石川 第五郎
高須 祐樹　中里 敦樹
米山 大翼

株式会社トライエース
原 邦生臣　安藤 一希
大塚 舞子　小塚 喜梅
坂本 安由美　頓所 弘毅
山田 芽以　杉山 貴志
水上 亮　三鴨 ユキ

株式会社NAC
財津 直彦　関口 雅樹
冨樫 光大　照井 裕樹
三戸 恵介　鬼木 拓実
大鷲 真翔　柿原 惇
中出 敬範　本間 貴大
海老沼 佑季　中村 雅浩
松岡 大祐　山田 直樹
米山 優樹子　吉村 和貴
安川 千明　小嶋 健太
宮川 瞬　霧生 知美
改発 智哉　横田 和己

株式会社ニューロン・エイジ
武内 貞樹　福井 智久
佐藤 玄　安光 正樹
山崎 歩　昼馬 千紘
深堀 真　坂口 悠馬
杉江 仁　古関 聖也
二階 学　冨士末 登喜夫

株式会社バラボラ
福島 淳志

株式会社ビグミースタジオ
渡部 興三　山本 あかり

株式会社ブラッシュアップ
犬飼 泰三　中村 貴光
松山 裕貴　千葉 春輝
白石 葵　小林 祐介
中澤 達也　高林 愛
平田 夕純　丸屋 絵玲奈
小松 慈　保田 幸一
工藤 夏音　横山 拓哉
中田村 太　朝倉 千晶
大竹 康平　前原 莉沙

株式会社プラネッタ
高村 康実　篠宮 成美
山口 留里　坂下 直子
讃岐 雄一　藍川 隆一郎
箱崎 秀明　大谷 勇太
高橋 健

株式会社ミックス
平野 祐幸　黒田 薫
村山 遥　菅野 智佳
中村 謙織

株式会社ライノスタジオ
西川 俊也

QREAZY TAIWAN (克雷幾有限公司)
林 祺荃　徐 鈺茹
蕭 芳如　李 香霖
劉 穎諺　曾 宇楷
王 琳嵐　周 瑞傑
簡 洋　邱 筱芳
陳 卿源　鄧 婕妮

有限会社アニモ・クリエイティブワークス
今岡 奈緒美　高橋 広樹
長田 直行　謝花 一喜
足立 尚樹　高木 直美
出口 翔大　谷 真理子

プランニング

統括
早矢仕 康治

フィールドプランニング
岩本 将拓　中山 香苗
藏本 潤　江川 豊
河田 真二

バトルプランニング
萩 光弘　榎本 岳夫
島本 誠

川邊 照久

UIプランニング
早矢仕 康治　武藤 孝英
戸田 恒平　田中 良治

■プランニング協力
株式会社ウインズ
米坂 典彦　本間 元規
若林 勝彦　星野 恵里
須崎 淳平　中澤 茉夕
山岸 莉恵　小野 拓朗
居串 雄飛　佐々木 琴絵

株式会社クアックラック
谷山 尚未

株式会社スタージョン
馬場 博年　佐賀野 仁

イベントシーン

統括
太田 守

制作進行
野嵜 敦夫

カットシーン制作
大木 玲奈　仁川 隼人

武藤 道子

株式会社グラフィニカ

カットシーンディレクション
白井 宏旨

カットシーンサブディレクション
神谷 久泰

カットシーン絵コンテ
白井 宏旨　島村 大輔
久保 雄介

ラインテスト
高橋 貴也　新沼 奈美

プロダクションアシスタント
都筑 崇裕　上野 無有
戸川 翌　近泉 愛里菜
加藤 真里　白濱 啓太郎
竹内 一洋　秋山 華子

カットシーン制作
本間 健太郎　コ リビン
堀 光貴　矢吹 佳奈子
上妻 徹也　牛田 繁孝
江坂 益代　三浦 武蔵
倭 慎太郎　中藤 和馬
山本 英史　香取 隼
宮下 博光　中畑 幸治
石毛 摩耶　荒木 浩介
茅野 巧斗　上野 萌美
泉 香菜美　大西 絢子
関根 康勝　志村 はるか
石田 周作　小林 司
志摩 駿宙　長谷川 十紀
中野 碧　田村 晴奈

スペシャルサンクス
吉岡 宏起　堀口 広太郎

■ラインテスト協力
株式会社アスラフィルム
比嘉 友哉　早川 悟史
梶田 至　出嶋 渉
金澤 泰斗　池田 優希
宮城 勝伍　木村 峻
結城 貴光　内田 みなみ
高橋 潤三　三田 千鶴

■カットシーン協力
株式会社シモグミ
近藤 栄司　大河原 みなみ
郷 博　田中 俊也

株式会社フォトン・アーツ
江本 亘隆　大橋 千鶴
大原 平行　橋本 慎作
古賀 喬行　ルビー ハン
長岡 舞華　ジャスビア クバリ
板垣 櫻子　アンシェル チャーハン

作美 良平　近藤 孝幸
林 文子

安田 拓二　薮内 悠
橋本 翔太　佐々木 賢司
山元 太陽

株式会社ライオットヴィジュアライゼーション
伊藤 国臣　樋口 晃教
田中 孝廣　荒川 拓
片山 江里子　根岸 智
富沢 真栄

上野 公宏　奥山 寛行

株式会社リズ
根岸 裕一　武石 一輝
白井 尚美

CGCGスタジオ株式会社
茶屋 知樹　平栗 義樹
野呂 和真　関口 真利
紺野 碧　三角 甫

藤田 周文　藤原 充伸

有限会社チュウチュウ・コンビナート
小原 智和　小池 智実

ワオワールド事業部
桂 直也　吉田 一彦
服部 泰宏　戸田 一二三
田原 圭亮　西村 和弥
村山 佳　田中 修平
生亀 信幸　林 菜月
張 暉

浅野 昌典　冷泉 真澄

スクリプトイベントディレクション
宮木 ヨシオ(株式会社クアックラック)

スクリプトイベント絵コンテ
所 俊克(株式会社トライフォース)
古賀 一臣
小池 智実(有限会社チュウチュウ・コンビナート)
小原 智和(有限会社チュウチュウ・コンビナート)
小川 諒(有限会社チュウチュウ・コンビナート)

制作進行
谷山 尚未(株式会社クアックラック)

スクリプトイベント制作
髙野 絵美

関口 雄貴　今田 誠

スクリプトイベント協力

株式会社QREAZY
吉安 徹　劉 心蕙
三浦 良真　鈴木 健太
加藤 愛　磯崎 昴平
奥田 飛翔　衛藤 麻美

QREAZY TAIWAN(克雷幾有限公司)
林 晉加

モーションキャプチャー&カットシーン

活劇座

アクションコーディネート
古賀 亘

モーションアクト
杉原 明　人見 早苗
細川 桃仁　屋敷 紘子
和田 圭市　上田 理絵
タイソン 大屋　肥後 あかね
日野 由佳　本間 崇寛
川名 優子　神戸 豊
中川 素州

スクリプトイベント&フィールド

キャスティング
谷山 尚未(株式会社クアックラック)

アクションコーディネート
宮木 ヨシオ(株式会社クアックラック)

モーションアクト
川渕 かおり
芝井 美香(有限会社スターダス・21)
白濱 孝次
和田 三四郎

モーションキャプチャー協力
株式会社 デジタル・フロンティア
豊嶋 勇作　藤田 智大
藤原 翌　今辻 勇人
越田 弘毅　宮内 陽子
栗田 亜弥　猪甘 真希子
井本 裕太　和田 美里
増田 亜美　王 鵬
齋藤 達也　舟橋 俊
橋本 大七　米山 愛子
佐渡 祐一郎　村岡 隆雄
畑 慎一郎　佐野 実波

小箱合同会社
今中 正志

音楽

サウンド・プロデューサー
光田 康典(有限会社プロキオン・スタジオ)

アレンジャー&オーケストレーター
マリアム・アボンナサー
(有限会社プロキオン・スタジオ)

ピアノアレンジ
吉村 隆行

レコーディングエンジニアリング
ミキシングエンジニアリング
秋田 裕之
ブライアン・マスターソン

アシスタント・エンジニア
柿沼 響(アバコクリエイティブスタジオ)
黒田 彩(ビクタースタジオ)
川人 俊之(ビクタースタジオ)
金井 亮(ビクタースタジオ)
安中 龍磨(バーディハウス)
近藤 麻衣(ランドマークスタジオ)
立石 佑太(株式会社シャングリラ)

レコーディング・ロケーション
ソニー・ミュージックスタジオ
アバコクリエイティブスタジオ
ビクタースタジオ
かながわアートホール
ランドマーク・スタジオ
ABS RECORDING
シャングリラスタジオ
プロキオン・スタジオ

レコーディング・コーディネーター
里見 勉(株式会社シャングリラ)
津田 清(株式会社シャングリラ)
是松 渓太(株式会社ブランクトン)
光田 康典(有限会社プロキオン・スタジオ)

レコーディング通訳
マリアム・アボンナサー
(有限会社プロキオン・スタジオ)

写譜
光田 康典(有限会社プロキオン・スタジオ)
マリアム・アボンナサー
(有限会社プロキオン・スタジオ)
瀬尾 高康(楽譜浄書RUTH屋)

挿入歌
「Drifting Soul」

歌
Jen Bird

音楽
ACE(工藤 ともり, CHiCO)

原詞
高橋 哲哉

英詞
LYSSA & カストロさとし

エンディングテーマ
「One Last You」

歌
Jen Bird

音楽
光田 康典(有限会社プロキオン・スタジオ)

ストリングス・アレンジ
マリアム・アボンナサー
(有限会社プロキオン・スタジオ)

原詞
高橋 哲哉

英詞
LYSSA & カストロさとし

■オーケストラ・セッション
オーケストラ演奏
神奈川フィルハーモニー交響楽団

コンサートマスター
石田 泰尚

コンサートマスター　ソロ・ヴァイオリン
戸澤 哲夫

指揮
佐々木 新平　阿部 未来

■ANÚNA
指揮
マイケル・マクグリン

フューチャリング
ドーナル・キラーニー　アンドレア・デラニー

ソプラノ
サラ・ディ・ベラ　ミリアム・プレナハセット
レイチェル・トンプソン　ドミニク・カニンガム
ハンナ・トレイナー　アンドレア・デラニー

バリトン
マイケル・マクグリン　フランシス・フラッド
ザカリー・トルートン　ドーナル・キラーニー

バス
サム・クライデンワイス　ニック・ストッペル
ヤン・クハール

■ブラチスラヴァ・シンフォニー・クワイア
指揮
デイビット・エルナンド・リコ

レコーディングエンジニア
マルティン・ローラー

コーラス指導
オンドレイ・シャライ

ライブラリアン　ヤン・マザン

レコーディング・ロケーション
スロバキア放送ビル

■ミュージシャン
ボイス
清田 愛未　CHiCO(ACE)

ロー・ホイッスル　ティン・ホイッスル
野口 明生

アイリッシュ・ハープ
梅田 千晶

ピアノ
フェビアン・レザ・パネ

ヴァイオリン
真部 裕

二胡
土屋 玲子

ドラムス
山内 "masshoi" 優

アコースティック・ギター
バンジョー　マンドリン
田代 耕一郎

アコースティック・ギター
エレクトリック・ギター
望月 清文　ヨコタロウ
石成 正人

エレクトリック・ベース
TABOKUN　渡辺 等
持田 裕輔

フルート　アルトフルート
高桑 英世　宮崎 由美香

ピッコロ　フルート
森川 道代

フルート
木ノ脇 道元　鈴木 茜

オーボエ
荒川 文吉　荒木 奏美

オーボエ　コーラングレ
大西 幸生

クラリネット
中 ヒデヒト　福島 広之
栗生田 直樹　篠塚 友里江

ファゴット
笹崎 雅通　皆神 陽太
宮崎 寿理　石井 野乃香

ソロ・フリューゲルホルン
小島 光博

ホルン
ジョナサン・ハミル　大野 雄太
加藤 智浩　鈴木 優

ソロ・トランペット　トランペット
辻本 憲一

トランペット
尹 千浩　田中 敏雄

トロンボーン
古賀 光　石原 左近
奥村 尚美

チューバ
次田 心平

オーケストラ・パーカッション
高田 みどり　大家 一将
野崎 めぐみ　光田 康典

■室屋ストリングス
ソロヴァイオリン
室屋 光一郎

1stヴァイオリン
室屋 光一郎　中島 優紀
徳永 友美　山本 理紗
納富 彩歌　小寺 里奈
伊藤 彩　對馬 哲男
沖 祥子　猶井 悠樹
石亀 協子　岡部 磨知

2nd ヴァイオリン
川口 静華　執行 恒宏
柳原 有弥　上里 はな子
申 愛聖　横溝 耕一
氏川 恵美子　楢村 海香
遠藤 雄一　田口 薫
松井 利世子

ソロ・ヴィオラ
御法川 雄矢

ヴィオラ
御法川 雄矢　榎戸 崇浩
松本 有理　坂口 弦太郎
角谷 奈緒子　生野 正樹
西村 知佳子　島岡 智子

ソロ・チェロ
門脇 大樹　堀沢 真己

チェロ
堀沢 真己　中村 潤
結城 貴弘　岩永 知樹
奥泉 貴圭　遠藤 益民

コントラバス
齋藤 順　一本 茂樹
竹下 欣伸　赤池 光治
瀬 泰幸

音楽制作協力
川島 恵子(株式会社ブランクトン)
中村 理佐(有限会社プロキオン・スタジオ)
芦野 麻美(有限会社プロキオン・スタジオ)
野崎 麻結(有限会社プロキオン・スタジオ)
光田 淑江

〈エキスパンション・パス〉
「名を冠する者たち」
ACE+ (TOMOri Kudo,CHiCO,Kenji Hiramatsu)

「Wir fliegen」
作曲・編曲
澤野 弘之

作詞
Rie

ボーカル
Cyua

「Uncontrollable」
作曲・編曲
澤野 弘之

作詞
mpi

ボーカル
小林未郁 & mpi

サウンド
有限会社プロキオン・スタジオ

サウンド・プログラム
鈴木 秀典

サウンド・エフェクト
黒田 純也　斎藤 智美
斎藤 正剛　井元 啓富

音声収録
音響監督
千葉 繁

キャスティング
角 康昭(株式会社青二プロダクション)

音響制作進行
加藤 寛子(株式会社青二プロダクション)

レコーディングエンジニアリング
太田 友基(株式会社音響ハウス)
萩谷 仁美(株式会社音響ハウス)

テスティング
テスティング管理
細井 俊宗(マリオクラブ株式会社)
中尾 隆平(ボールトゥウィン株式会社)

ボールトゥウィン株式会社

テスティング進行
橋本 竜一郎　須賀 健太
柴田 淳　北尾 優樹
濵 真行

テスティング協力
ボールトゥウィン株式会社
細野 浩一　鈴木 洋平
濵田 基弘　丹羽 隆行

博特盈(上海)信息科技有限公司
青木 豊隆　張 星
李 崢　劉 思辰
厳 育新

マリオクラブ株式会社
谷川 祐貴　伊藤 まゆみ
光村 強　渡辺 啓介
芝山 泰範　葛西 瑶亮
渡邉 理奈　前田 伸明
大橋 亜規子　箱舘 成昌
今枝 理加　伊藤 章
竹田 篤嗣　村山 喬之
鳥越 聖太朗　善定 尚平
門坂 裕子　増田 青
垣内 里美　吉村 泰昌
柳井 恵美子　隅田 めぐみ
足立 真吾　飯田 かおり
木村 茜　木村 祥之
平尾 友宏　嶽山 真人
梅田 和弘　谷口 翔大
西郷 麻奈未

デザインスーパーバイザー
森澤 孝泰

スペシャルサンクス
花本 拓郎　倉地 篤
日野 伸昭　丹羽 紀行
林 幸世子　松下 慎吾
鈴木 愛彌　二宮 啓
黒田 祐年　森脇 彩湖
飯塚 悦之
任天堂(香港)有限公司

プロダクションマネージメント
四條 貴子

ディレクター
小島 幸　横田 弦紀

プロデューサー
小島 幸　山上 仁志

ゼネラル・プロデューサー
蒔原 智洋　寺崎 啓祐

エグゼクティブ・プロデューサー
杉浦 博英　高橋 伸也

総監督
高橋 哲哉

ゼノブレイド2 黄金の国イーラ STAFF

キャスト
ラウラ/カスミ 早見 沙織
シン 櫻井 孝宏
アデル 半田 裕典
ヒカリ 下地 紫野
ミノチ 三木 眞一郎
ユーゴ 石田 彰
カグツチ 伊藤 静
ワダツミ 池田 秀一
ミルト 森下 由樹子
サタヒコ 長久 友紀
セイリュウ 千葉 繁
ゴウト 咲野 俊介
マルベーニ 諏訪部 順一
イーラ王 牛山 茂
ゼッタ 加瀬 康之
ラダリア 増谷 康紀
バルトリッチ 小原 雅人
スタニフ 掛川 裕彦

兵士 麻生 智久
兵士 阪口 大助
兵士 浅沼 晋太郎

バトルナレーション 利根 健太朗

メツ 中村 悠一

脚本
高橋 哲哉　太田 守
竹田 裕一郎

メインキャラクターデザイン
齋藤 将嗣

メインキャラクターデザイン
野村 哲也(株式会社スクウェア・エニックス)

ブレイドデザイン
コザキユースケ

音楽
光田 康典
ACE(工藤 ともり, CHiCO)
平松 建治
清田 愛未

企画原案
株式会社モノリスソフト
任天堂株式会社

ゲームデザイン
株式会社モノリスソフト

プログラム
統括
矢島 利明

プログラム
板井 克倫　佐々木 涼平
稲葉 道彦　村上 健
大宮 広樹　山口 幸宏

舘野 圭　鵜飼 真広
山本 克利　石原 義久
中川 泰徳

大田 裕紀

テクニカルサポート
小山 武宏

グラフィック
統括
高橋 英治

アートワーク
戸田 恒平　守屋 優里奈
油井 誠　則定 和磨
天引 哲也

キャラクターモデリング
宮田 隆　石川 貴実
山川 秋信　ヤマザキマサハル
荒井 史子　福井 智久

マップモデリング
油井 誠　村上 海渡
小井戸 孝明　松澤 沙也可

アニメーション
折田 寛孝　吉田 和代
歌津 知寿恵　長田 直之

エフェクト
多胡 裕司　山中 大生
金岡 政岳

■メインキャラクターデザイン協力
株式会社スクウェア・エニックス
塚田 大悟　石井 美穂子
橋本 真司　今泉 英樹
平野 智彦

■グラフィック協力
株式会社アバン
澁谷 貴俊　望月 伸一
安蔵 勇二　高野 横

株式会社トゥエンティイレブン
中里 敦樹　石川 第五郎
住山 充　冨樫 裕哉

株式会社トライエース
皆川 浩二　長谷川 隆道

株式会社NAC
海老沼 佑季　野内 敏充
改発 智哉　中村 謙太郎

株式会社ブラッシュアップ
小林 祐介

プランニング
統括
早矢仕 康治

クエスト&街プランニング
岩本 将拓　木内 悠介
江川 豊　堀 いつみ

フィールドプランニング
河田 真二

バトルプランニング
萩 光弘　榎本 岳夫
島本 誠

UIプランニング
村上 健　山村 知揮
戸田 恒平　澤口 大岳
武藤 孝英　相原 南希
川島 一記

設定考証協力
鈴木 貴昭

プランニング協力
株式会社ウインズ
須崎 淳平　山岸 莉恵

イベントシーン
統括
太田 守

カットシーン制作
大木 玲奈　本間 健太郎
仁川 隼人　六本 周平

株式会社デジタル・フロンティア

カットシーンプロデュース
豊嶋 勇作　藤原 奨

カットシーンディレクション
大塚 康弘

アニメーションユニット
矢舩 貴之　武田 直幸
岩渕 智美　増尾 智仁
今辻 勇人　宮内 陽子
宮脇 倫紀　舛永 孝志
黒川 直樹　佐渡 祐一郎
宮原 一麿　鈴木 潤平
藤田 智大　松山 慎吾
小山 遼　楊 心豫
Bigot Wilfried　井上 佳威

フェイシャルユニット
石山 健作　石塚 優一朗
高尾 翔英　虫上 昌宏
印牧 英丈　熊井 実紗

カットシーンテクニカルディレクション
石田 利生　森本 厚
大桃 雅寛

カットシーン絵コンテ
實渕 乃子

カットシーンシステム管理
倉地 忠彦　森田 誠
田村 佳大　松藤 祥子

モーションキャプチャーユニット
越田 弘毅　栗田 亜弥
井本 裕太　増田 亜美
齋藤 達也

カットシーンプロダクションマネージメント
米山 愛子　土谷 菜緒

カットシーンコーディネート
村岡 隆雄　佐野 実波
毛利 優花

■カットシーン協力
有限会社 TYUTYU
小原 智和　中島 明美

株式会社TONEPLUS
Bernard JP Edlington
佐藤 誠
野口 秀昭
金子 瞬
能地 智央
Pinaki Bandopadhyay
近藤 和之
高橋 宏人
朴 志勲
曺 由眞
Cristian Bonora
猪俣 美江
和田 麻里
佐藤 到
劉 陟
鹿田 耕児 アンドリュー
Vito Martian
Ade Suria
Adi Halim Pratama
Patrizia Agnes
Angga Prima
Luis Garnacho
Bjørn Erik Edvardsen
猪立山 海人
堀 大治
森野 万平
秋永 美穂
郭 成帆
神田 真嵩
三浦 勇人
Arie Hendrawan
Arief Rahman
Enroe Pudja
Dimas Sofyandi
Marcos Elias
Iswan Sudaryo
Gusti Muhammad Ilham Noor
Yohanes Rokhmat Haryo Suwasono

株式会社クリーク・アンド・リバー社
前澤 大樹

株式会社NAC
海老沼 佑季　野内 敏充
改発 智哉　中村 謙太郎
米山 優樹子　宮川 瞬

スクリプトイベントディレクション
宮木 ヨシオ(株式会社クアックラック)

スクリプトイベント制作
髙野 絵美　関口 雄貴

スクリプトイベント協力
株式会社NAC

モーションキャプチャー
コーディネート
宮木 ヨシオ(株式会社クアックラック)

モーションアクト
谷山 尚未(株式会社クアックラック)
川渕 かおり　倉貫匡弘
白濱 孝次　和田 三四郎

辻 彩加(株式会社MIRAGE)
富田 稔(株式会社MOAI)
山崎 勝之(有限会社ネオ・エージェンシー)

アシスタント
桜川 愛以　橋本 知加子
西岡 洋憲

モーションキャプチャー協力
株式会社デジタル・フロンティア

小箱合同会社
今中 正志

音楽
音楽
光田 康典
ACE(工藤 ともり, CHiCO)
平松 建治　清田 愛未
清田 愛未

アレンジャー
マリアム・アボンナサー(プロキオン・スタジオ)

レコーディング・エンジニア
秋田 裕之
佐藤 宏章(ランドマークスタジオ)
井野 健太郎(F.M.F)

アシスタント・エンジニア
五十嵐 覚(サウンド・シティ)
立石 佑太(シャングリラ)
近藤 麻衣(ランドマークスタジオ)

ミキシング・エンジニア
秋田 裕之　赤工 隆
レコーディング・ロケーション
サウンド・シティ
シャングリラスタジオ
ランドマークスタジオ
StudioFLATPINE

レコーディング・コーディネーター
里見 勉(シャングリラ)
津田 清(シャングリラ)
ACE

エンディングテーマ
「A Moment of Eternity」

歌
Jen Bird

音楽
光田 康典(プロキオン・スタジオ)

原詞
高橋 哲哉株式会社モノリスソフト)

英詞
LYSSA & カストロさとし

レコーディング・ロケーション
State of the Ark Studios

レコーディング・エンジニア
Tom McFall

レコーディング通訳
マリアム・アボンナサー(プロキオン・スタジオ)

フルート／リコーダー
坂本 圭

オーボエ
荒木 奏美

クラリネット
中 ヒデヒト

ファゴット
福士 マリ子

サックス
庵原 良司

ピアノ
森下 唯　平松 建治
伊賀 拓郎

パーカッション
野崎 めぐみ　平松 建治

ドラム
大槻"KALTA"英宣

ベース
川村 竜

ギター
ヨコタロウ　工藤 ともり(ACE)

■室屋ストリングス
1st ヴァイオリン
室屋 光一郎　戸原 直
徳永 友美　小寺 里奈
伊藤 彩　山本 理沙

2nd ヴァイオリン
川口 静華　申 愛聖
石亀 協子　楢村 海香

ヴィオラ
馬渕 昌子　岡 さおり
島岡 智子

チェロ
堀沢 真己　奥泉 貴圭

コントラバス
一本 茂樹　真部Strings

1st ヴァイオリン
真部 裕　森本 安弘
徳永 友美　城元 絢花
柳原 有弥　浮村 恵梨子

2nd ヴァイオリン
石橋 尚子　岡部 磨知
石亀 協子　林 周雅

ヴィオラ
大沼 幸江　島岡 智子
生野 正樹　金 孝珍

チェロ
遠藤 益民　西方 正輝
奥泉 貴圭

コントラバス
齋藤 順

■音楽制作協力
尾田 珠美
中村 理佐(プロキオン・スタジオ)
芦野 麻美(プロキオン・スタジオ)
野崎 麻結(プロキオン・スタジオ)

サウンド
有限会社プロキオン・スタジオ

サウンド・エフェクト
黒田 純也　斎藤 智美
斎藤 正剛　井元 啓富

音声収録
音響監督
高橋 哲哉

キャスティング
角 康昭(株式会社青二プロダクション)

音響制作進行
加藤 寛子(株式会社青二プロダクション)

レコーディングエンジニアリング
太田 友基(株式会社音響ハウス)
櫻井 繁郎(株式会社音響ハウス)

テスティング
テスティング管理
中尾 隆平

マリオクラブ株式会社
谷川 祐貴　光村 強
細井 俊宗　渡邉 理奈
今枝 理加　隅田 めぐみ
飯田 かおり　足立 真吾
門坂 裕子　田中 良和
葛西 瑶亮　前田 伸明
伊藤 章　村山 喬之
増田 青　嶽山 真人
木村 祥之　谷口 翔大

ポールトゥウィン株式会社
細野 浩一　鈴木 洋平
濵田 基弘　丹羽 隆行
橋本 竜一郎　濵 真行
北尾 優樹　中井 義喜
岡本 彬　下川 浩志
安達 洸貴

スペシャルサンクス
Nintendo (Hong Kong) Limited
iQue (China) Ltd.

ローカライズ
Localization Producers
Theodoros Spenis
Naiara Ordorika Ibarguengoitia
Zarrah K. Bevan

■Translation
Coordination
Andrea Jähn

English Translation
Greg T. Sadownik
Ben Kaestner-Frenchman
Benjamin Roffey
Claudia Smith
Eren Baykal
Grace Yon
Jo Legge
John Mullen
Sarah Elizabeth Kelly

French Translation
Abdelkader Beldjilali
Claire Stalter
Emmanuel Adien
Sylvain Gsell
Véronique Schneider

German Translation
Benedikt Grosser
Alexander van de Bergh
Arne Glinka
Katharina Glowotz
Sebastian Brück
Sven Pötzl

Italian Translation
Mirko Capocelli
Anna Tarantini
Giacomo Iacumin
Giovanna Canta
Marco Morbin
Tito Leati
Vincenzo Russo

Spanish Translation
Miguel Rodríguez Ramos
Álex Hernández-Puertas
Ainhoa Bernad Hurtado
Blanca Hueso Taulés
Cristina Solà Picas
Enrique Sánchez Rosa
Jónatan Marcos Millán

■Quality Assurance
Coordination
Sebastian Donnerstag

English
Andrew Hall
Ben Howard-Hale
Christopher Hannah
James Clarke

French
Emilien de Salles Costa
Guillaume Deschamps
Julien Llopart
Yannick Carrey

German
Christina Stoffel
Michaela Koch
Peter Eiselt
Sarah Nist
Sebastian Jende

Italian
Daniele Albrito
Marzia Faustinelli
Pasquale Gianluca Miceli
Valeria Castellino

Spanish
David Martín Navarro
Jessica Sánchez Herrera
Mercedes Dólera Hernández
Teresa Dugnol

■English Voice Recording
Producer
Sergio Massabò

Production Manager
Michael Dunn

Dialogue Editors
Leyton Rooney
James Kirk

Casting
Hannah McCarthy
Adam Chapman

Voice Directors
Jimmy Livingstone
Matt Roberts

Recording Engineers
Ruth Rainey
Don Hoffman

Special Thanks
Liquid Violet Ltd.
Binari Sonori S.r.l.

NOA Localization
Ethan Stockton

プロダクションマネージメント
四條 貴子

ディレクター
小島 幸　横田 弦紀

プロデューサー
小島 幸　山上 仁志

ゼネラル・プロデューサー
蕪原 智洋　寺崎 啓祐
高橋 伸也

エグゼクティブ・プロデューサー
杉浦 博英　古川 俊太郎

総監督
高橋 哲哉

ゼノブレイド2
オフィシャルアートワークス アルスト・レコード

2019年2月2日　初版発行

発行人　青柳昌行

編集人　林克彦

発行　株式会社Gzブレイン
〒104-8457 東京都中央区築地1-13-1
銀座松竹スクエア
電話 0570-000-664（ナビダイヤル）
http://gzbrain.jp/

発売　株式会社KADOKAWA
〒102-8177 東京都千代田区富士見2-13-3
https://www.kadokawa.co.jp/

編集長　谷塚真一

副編集長　千葉久子

編集　藤田知沙

執筆　安藤伸一（カラーフィールド）
吉田祐一（カラーフィールド）
加藤智久
米澤崇史

デザイン　宮澤洋貴（カラーフィールド）
シレロ・グラフィック

装丁　早房君枝

監修・協力　任天堂株式会社

印刷　図書印刷株式会社



●本書の無断複製（コピー、スキャン、デジタル化）等並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き禁じられています。
また、本書を代行業者等の第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内での利用であっても一切認められておりません。
●本書におけるサービスのご利用、プレゼントのご応募などに関連してお客様からご提供いただいた個人情報につきましては、
弊社のプライバシーポリシー（http://gzbrain.jp/privacy.html）の定めるところにより、取り扱わせていただきます。

本書の内容・不良交換についてのお問い合わせ

Gzブレイン カスタマーサポート

電話　0570-000-664（土日祝日を除く正午～17時）
フォーム　http://gzbrain.jp/
（最下段「お問い合わせ」へお進みください）

※製造不良品につきましては上記窓口にて承ります。
※記述・収録内容を超えるご質問にはお答えできない場合があります。
※サポートは日本国内に限らせていただきます。

Nintendo Switchのロゴ・Nintendo Switchは任天堂の商標です。
Licensed by NINTENDO

©2017 Nintendo / MONOLITHSOFT
©2019 Gzbrain Inc.

本体価格はカバーに表示してあります。

ISBN978-4-04-733367-3
C0076

Printed in JAPAN

ISBN978-4-04-733367-3
C0076 ¥2900E

定価：本体 2,900円（税別）

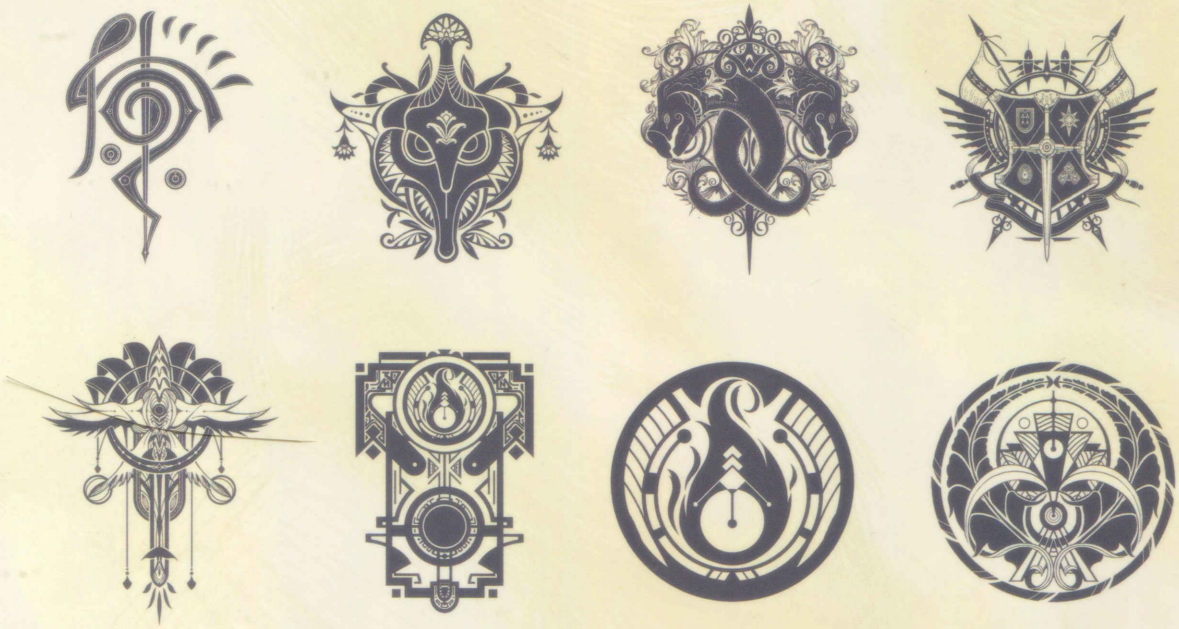
9784047333673

発行：株式会社Gzブレイン

Gzブレイン

1920076029004

©2017 Nintendo / MONOLITHSOFT



ゼノブレイド2

XENOBLADE2 OFFICIAL ARTWORKS ARST RECORD

オフィシャルアートワークス
アルスト・レコード



『ゼノブレイド2』
『ゼノブレイド2 黄金の国イーラ』
2作品のビジュアルを網羅した
公式アートワークス

カバーイラストは齋藤将嗣氏の特別描き下ろし

ISBN978-4-04-733367-3
C0076 ¥2900E

定価：本体 2,900円（税別）

9784047333673

発行：株式会社Gzブレイン

Gzブレイン

1920076029004

©2017 Nintendo / MONOLITHSOFT

